

旭中央病院 2022 年年報

第22号

Asahi General Hospital
2022 Annual Report
Vol.22



地方独立行政法人

総合病院 国保旭中央病院

千葉県旭市イ 1326 番地

Asahi General Hospital

I -1326, Asahi City, Chiba, Japan

2023 年発行

基本理念

すべては患者さんのために

私たちは地域の皆さまの健康を守るために、常に研鑽に努め、
医学的にも経済的にも社会的にも適正な
模範的医療を提供します。

基本方針

信頼され選ばれる病院へ

患者さんの権利と尊厳を尊重し、満足と信頼が得られる病院をめざします
常に安全に配慮した医療環境の維持向上に努めます

地域とともに歩む

地域の皆さまの健康を守り、地域医療の向上に努めます
すべての救急医療をいつでも提供できるよう努めます
保健・医療・介護・福祉の連携の核となる病院になります

未来へ向かって

時代の要請に応じた最高水準の先進的な医療を提供する病院をめざします
地方独立行政法人として、自主性・公共性・透明性の高い病院運営を行います
職員の教育・研修の充実を図り、働きやすく、やりがいの持てる環境づくりを推進します

2001年1月(制定) 2017年4月(改訂)

目次

病院の概要

病院概要（病院完成への道）	2
組織図	6
幹部名簿	7
収支状況表（2022年度）	10
科別請求額前年比（2022年度）	11
市町村別レセプト請求件数（2022年度）	12
診療実績（2022年度）	13
講演会などへの講師派遣一覧（2022年度）	14
健康づくり支援委員会出前講座実施一覧（2022年度）	22

医療統計

医療実績（クリニカルインディケーター）	24
科別退院患者数の動向	25
地区別退院患者数の動向	29
退院患者平均在院日数の動向	30
退院患者科別平均在院日数（2022年度）	31
入院患者数（2022年度）	33
退院患者数（2022年度）	35
科別・年齢別・性別退院患者数（2022年度）	37

疾病分類別統計

全科疾病分類別集計（2022年度）	40
全科疾病分類別上位頻度表（2022年度）	41

悪性新生物統計

部位別退院患者件数（2022年度）	48
年齢別患者件数（2022年度）	49
部位順位表 性別・年齢（2022年度）	50
悪性新生物による死亡患者数（2022年度）	54

死亡患者統計

科別死亡率（2022年度）	56
死亡患者数（2022年度）	57
死亡患者数の割合（2022年度）	58
年齢別死亡患者数（2022年度）	59
死亡患者における疾病順位表 性別・年齢	60

DPC 統計

全科 MDC2 別退院患者数 (2022 年度)	64
全診療科 MDC2 別上位疾患 (2022 年度)	65
診療科別 診断群分類別 (MDC6) 上位頻度疾患 (2022 年度)	71

クリニカル・パスの統計

クリニカル・パスの使用率 (2022 年度)	80
診療科別クリニカル・パスの使用率 (2022 年度)	81
クリニカル・パスの使用件数 (2022 年度)	85

臨床指標

全体臨床指標	94
科別臨床指標	95

診療局

内科 (2022 年度)	116
消化器内科 (2022 年)	116
循環器内科 (2022 年度)	117
血液内科 (2022 年度)	118
腎臓内科 (2022 年)	121
呼吸器内科 (2022 年度)	123
糖尿病代謝内科 (2022 年度)	124
神経内科 (2022 年)	125
総合診療内科 (2022 年度)	126
アレルギー・膠原病内科 (2022 年度)	127
化学療法センター (2022 年度)	129
透析センター (2022 年)	131
外科 (2022 年度)	132
呼吸器外科 (2022 年)	134
乳腺センター (2022 年度)	136
小児科 (2022 年度)	137
新生児科 (2022 年)	139
心臓外科 (2022 年度)	139
整形外科 (2022 年度)	141
リハビリテーション科 (2022 年度)	144
脳神経外科 (2022 年)	155
形成外科 (2022 年)	156
産婦人科 (2022 年)	157
眼科 (2022 年度)	159
耳鼻咽喉科 (2022 年度)	161
皮膚科 (2022 年度)	162
歯科・歯科口腔外科 (2022 年度)	163

麻酔科・中央手術室（2022年度）	167
泌尿器科（2022年）	171
神経精神科（2022年度）	173
救命救急センター（2022年度）	175
緩和ケアセンター（2022年度）	177
PET 画像診断センター・核医学科（2022年度）	179
集中治療科（2022年度）	180
臨床病理科（2022年）	181
遠隔病理診断センター（2022年度）	185
遺伝子診療科（2022年度）	186

看護局

看護局（2022年度）	188
スキンケア相談室（2022年度）	196
訪問看護室（2022年度）	200
中央洗浄滅菌室（2022年度）	202

薬剤局

薬剤局（2022年度）	204
-------------	-----

診療技術局

中央検査科（2022年度）	212
放射線科（2022年度）	215
臨床工学室（2022年度）	216
神経精神科（2022年度）	218
臨床栄養科（2022年度）	223
医療連携福祉相談室（2022年度）	225

センター等

予防医学研究センター（2022年度）	236
入院・手術サポートセンター（2022年度）	242

診療支援・企画情報局

経営企画室（2022年度）	246
医療情報室（2022年度）	247
診療支援室（2022年度）	248

事務局

総務人事課（2022年度）	250
---------------	-----

経理課（2022年度）	250
医事課（2022年度）	251
施設課（2022年度）	251
契約課（2022年度）	253
広報患者相談課（2022年度）	253

医療安全管理推進室

医療安全管理推進室（2022年度）	256
-------------------	-----

TQM センター

TQM センター（2022年度）	262
------------------	-----

内部監査室

内部監査室（2022年度）	270
---------------	-----

地域医療支援センター

地域医療支援センター（2022年度）	272
--------------------	-----

附属施設・併設施設

旭中央病院附属飯岡診療所（2022年度）	280
旭中央病院附属病理診断科診療所（2022年度）	280
旭中央病院附属看護専門学校（2022年度）	280
介護老人保健施設シルバーケアセンター（2022年度）	287
養護老人ホーム東総園・特別養護老人ホーム東総園（2022年度）	292
ケアハウス東総園（2022年度）	295
訪問看護ステーション 旭こころとくらしのケアセンター（AKK）（2022年度）	297



病院の概要

●病院概要（病院完成への道）

——国保旭中央病院のあゆみとめざすもの——

【沿革】

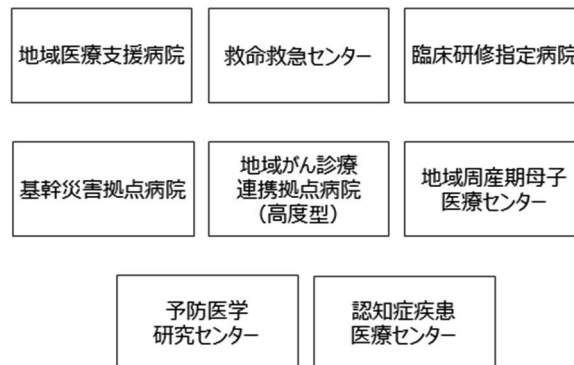
地域住民の健康を自らの手で守り、国の皆保険制度実現に協力するため、旭町他8ヶ町村（現旭市）は1953（昭和28）年3月1日、国保旭中央病院を開院した。2005年7月1日の旭市・飯岡町・海上町・干潟町の合併により旭市立病院となった。2016年4月1日に地方独立行政法人へ移行した。

開院当時は、病床数113床（一般35／結核78）、診療科目4科（内科／外科／産婦人科／小児科）、全職員45名、うち医師8名、敷地面積6,600㎡、建物面積2,375㎡であった。

その後、増改築工事を重ね、平成以後では1993年9月、各病棟・外来棟の大改造、1996年11月、救命救急センター（現3号館）増築、1999年3月、1号館完成、11月、基幹災害医療研修センター完成、2002年3月、附属飯岡診療所移転新築、2004年10月、PET画像診断センターの新築を行ってきた。

こうした拡張の結果、①患者動線悪化 ②老朽建物の増加 ③耐震性の確保の問題が生じ、新本館の建設を含む再整備事業（2006～2012年度）に着手した。2009年12月には、放射線治療棟がオープンした。2011年3月に、地上12階建ての免震構造による待望の新本館が完成した。2012年3月には、地域医療再生計画に基づき、地域医療支援センターが開設された。2021年6月には、病理診断の充実を図るため、東京に附属病理診断科診療所を開設した。また、職員の住環境の改善を図るため2015年2月に医師マンションA（104戸）、2020年4月に新看護師宿舎（166戸・保育所併設）を整備した。

【役割】



【特色】

- 地域医療支援病院である。
- 24時間対応の救命救急センターを併設している。

ウォークイン救急患者が多く、救急受診者数は2020年度：33,966人、2021年度：38,154人、2022年度：44,365人であり、地域医療の核となっている。
- 診療圏が広く、千葉県北東部、茨城県南東部を含む病院を中心とした半径30km以内、診療圏人口90万人。
- 高度先進医療を含む地域で一番の高品質な医療を提供している。
- 地域における5疾病4事業の拠点病院である。
- 基幹災害拠点病院として災害時に中心的役割を果たしている（2011年3月の東日本大震災で実証済み）
- 1981年に臨床教育病院に指定されており、「教育のない病院に発展性はない」というスローガンのもと、研修医、専攻医をはじめ医療従事者の教育研修に力を入れている。
- 2017年に当院が学会長をつとめた全国自治体病院学会幕張大会でテーマに掲げた「医療がつくる地方創生」を

実現するために、地域の病院、診療所、行政機関、施設等と連携を密にし、病院がまちづくりのコアメンバーとして参画している。

- 病院の敷地が広い：193,080 m² (58,407 坪)。
- 職員宿舎が完備されている (医師 288 名、看護師等 441 名、看護学生 96 名)
- 初代病院長 諸橋芳夫先生の言葉 【病気は治って喜ばれ、不幸にして亡くなられてもそのご家族から良い病院を選んだと感謝される病院、更に死後剖検をさせていただき死因を究明し、医学医術の進歩に寄与し、医師の反省、研修の糧にさせていただく。また、ご家族に死因を正しくお伝えし満足していただく病院でありたい】を大切に、剖検に力を入れている。

【地域医療に対するビジョン】

- 医学的に正しく、早く、安く、親切に治療する。
- 医師をはじめとする病院職員は患者さんのため、国民のためにあるのであって、病院及び職員のために患者さんがあるのではない。
- 医師をはじめとする病院職員は健康な人を一層健康にし、病気の早期発見に努め、病気やけがを一日も早く治し社会復帰させてあげることに生きがいを感じる。
- 公的医療機関は民間医療の対応できない高度・不採算医療、土日祝日、年末年始をはじめ、24 時間無休の救急医療等を受け持つことは当然。
- 地域の人に喜ばれ、且つ職員の働きがいのある病院にする。
- 働き方改革をすすめ職員の満足度を向上させる。
- 財政基盤の安定なくしては持続可能な病院経営は不可能である。

【概要】

(2022 年 4 月 1 日現在)

所在地	千葉県旭市イの 1326 番地
病床数 (許可) 989 床 (稼働) 819 床	<input type="checkbox"/> 一般 763 床 (内、救命救急センター 30 床 ・ ICU 4 床 ・ SCU 3 床 ・ NICU 9 床 ・ GCU 21 床 ・ 小児入院医療管理病棟 (2) 45 床 ・ 緩和ケア病棟 20 床) <input type="checkbox"/> 精神 220 床 (稼働 精神科救急病棟 50 床) <input type="checkbox"/> 感染 6 床 (第二種感染症指定医療機関)
診療科目 40 科	<input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病代謝内科 <input type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input type="checkbox"/> 化学療法内科 <input type="checkbox"/> 人工透析内科 <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 緩和ケア内科 <input type="checkbox"/> 消化器内視鏡内科 <input type="checkbox"/> 小児科 <input type="checkbox"/> 新生児内科 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 血管外科 <input type="checkbox"/> 乳腺外科 <input type="checkbox"/> 呼吸器外科 <input type="checkbox"/> 消化器外科 <input type="checkbox"/> 心臓外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 形成外科 <input type="checkbox"/> 産婦人科 <input type="checkbox"/> 泌尿器科 <input type="checkbox"/> 眼科 <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 <input type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> リハビリテーション科 <input type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 歯科 <input type="checkbox"/> 歯科口腔外科 <input type="checkbox"/> 神経精神科 <input type="checkbox"/> 放射線科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 病理診断科
職員数 (常勤)	2,259 名 (内、医師 301 名 (研修医を含む) / 看護師 995 名 / 薬剤師 48 名 / 臨床検査技師 68 名 / 診療放射線技師 38 名 / 理学療法士 50 名 / 作業療法士 23 名 / 言語聴覚士 9 名 / 臨床工学技士 35 名 / 管理栄養士・栄養士 14 名 / 視能訓練士 10 名 / 公認心理師 8 名 / 社会福祉士 18 名 / 精神保健福祉士 7 名 / 歯科衛生士 9 名 / 歯科技工士 3 名 / 事務職員 297 名)
附属施設	<input type="checkbox"/> 旭中央病院附属飯岡診療所 <input type="checkbox"/> 旭中央病院附属病理診断科診療所 (東京都文京区) <input type="checkbox"/> 旭中央病院附属看護専門学校 (3 年制・定員 180 名) <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設シルバーケアセンター (定員 100 名) <input type="checkbox"/> 養護老人ホーム東総園 (定員 50 名) <input type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム東総園 (定員 50 名) <input type="checkbox"/> ケアハウス東総園 (定員 40 名) <input type="checkbox"/> 訪問看護ステーション旭こころとくらしのケアセンター

施設面積	敷地面積：193,080 m ²
	建築面積：42,323 m ² (本館 8,581 m ² 、1号館 2,095 m ² 、2号館 2,766 m ² 、3号館 1,965 m ² 、その他 26,916 m ²)
	延床面積：174,922 m ² (本館 54,534 m ² 、1号館 12,331 m ² 、2号館 11,153 m ² 、3号館 9,355 m ² 、その他 87,549 m ²)
駐車場	来院者用 1,283 台 (歩行困難者用 14 台含む)

【診療実績】

【2022 年度】

	外 来	入 院
1 日平均患者数	2,430 名	751 名
新患者数	99,107 名	19,134 名
	一 般 (763 床)・感染 (6 床)	精 神 (50 床)
平均在院日数	12.7 日	64.0 日
(除外有)	14.0 日	77.0 日
稼動病床利用率	92.6%	76.1%

- 救命救急センター 受診者数：44,365 人 (内、即時入院 6,782 人、救急車搬送 8,904 件、紹介依頼 2,523 件)
- 中央手術室 手術件数 (中央手術室 15 室)：8,329 件
- 放射線科 治療人数：12,538 人 外来化学療法件数：13,026 件
- 分娩件数：713 件 剖検数：72 件 (剖検率：5.9%)

【指定・認定施設、第三者評価、主な学会認定 (専門医の教育病院等)】

(2022 年 4 月 1 日現在)

<input type="checkbox"/> 生活保護法指定医療機関 <input type="checkbox"/> 原子爆弾被爆者一般疾病医療機関 <input type="checkbox"/> 結核予防法指定医療機関 <input type="checkbox"/> 精神科措置入院指定病院 <input type="checkbox"/> 救急告示病院 <input type="checkbox"/> 臨床研修指定病院 <input type="checkbox"/> 救命救急センター (S ランク) <input type="checkbox"/> 未熟児養育医療担当機関 <input type="checkbox"/> 外国医師・歯科医師の臨床修練指定病院 <input type="checkbox"/> 精神科応急入院指定病院 <input type="checkbox"/> エイズ治療拠点病院 <input type="checkbox"/> 基幹災害拠点病院 (基幹災害医療センター) <input type="checkbox"/> 地域周産期母子医療センター <input type="checkbox"/> 歯科臨床研修指定施設 <input type="checkbox"/> 精神科救急医療施設(基幹病院・措置輪番病院・輪番病院) <input type="checkbox"/> 第二種感染症指定医療機関 <input type="checkbox"/> 小児救急医療拠点病院 <input type="checkbox"/> 地域リハビリテーション広域支援センター <input type="checkbox"/> 臨床研修協力施設 <input type="checkbox"/> 難病患者指定医療機関 <input type="checkbox"/> 地域難病相談支援センター <input type="checkbox"/> 精神科指定通院医療機関 <input type="checkbox"/> 協力型臨床研修指定病院 <input type="checkbox"/> DMAT 指定医療機関 <input type="checkbox"/> 地域がん診療連携拠点病院 <input type="checkbox"/> 千葉県肝炎治療特別促進事業指定医療機関 <input type="checkbox"/> 千葉県特定不妊治療実施医療機関 <input type="checkbox"/> 千葉県肝疾患専門医療機関 <input type="checkbox"/> 指定小児慢性特定疾病医療機関 <input type="checkbox"/> 母体保護法指定医師研修機関 <input type="checkbox"/> 認知症疾患医療センター <input type="checkbox"/> 地域包括医療・ケア認定施設 <input type="checkbox"/> 千葉県精神障害者地域移行・地域定着協力病院 <input type="checkbox"/> 地域医療支援病院 <input type="checkbox"/> 身体疾患合併症対応協力病院「対応協力病院 I 群」 <input type="checkbox"/> 難病医療協力病院 <input type="checkbox"/> 千葉県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関 <input type="checkbox"/> 千葉県アレルギー疾患地域基幹病院 <input type="checkbox"/> 高次脳機能障害支援普及事業地域支援拠点機関
<input type="checkbox"/> 日本医療機能評価機構認定 (3rdG:ver.1.1) <input type="checkbox"/> 日本医療機能評価機構付加機能 (救急医療機能 Ver2.0) <input type="checkbox"/> 人間ドック健診施設機能評価 (Ver4.0) <input type="checkbox"/> JIS Q9001:2015 (ISO9001:2015) <input type="checkbox"/> ISO15189:2012 (英語対訳版)
<input type="checkbox"/> 日本内科学会 <input type="checkbox"/> 日本外科学会 <input type="checkbox"/> 日本整形外科学会 <input type="checkbox"/> 日本リハビリテーション医学会 <input type="checkbox"/> 日本形成外科学会 <input type="checkbox"/> 日本脳神経外科学会 <input type="checkbox"/> 日本皮膚科学会 <input type="checkbox"/> 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 <input type="checkbox"/> 日本泌尿器科学会 <input type="checkbox"/> 日本産科婦人科学会 <input type="checkbox"/> 日本精神神経科学会 <input type="checkbox"/> 日本小児科学会 <input type="checkbox"/> 日本周産期・新生児医学会 <input type="checkbox"/> 日本眼科学会 <input type="checkbox"/> 日本救急医学会 <input type="checkbox"/> 日本集中治療医学会 <input type="checkbox"/> 日本麻酔科学会 <input type="checkbox"/> 日本ペインクリニック学会 <input type="checkbox"/> 日本医学放射線学会 <input type="checkbox"/> 日本核医学会 <input type="checkbox"/> 日本病理学会 (A ランク) <input type="checkbox"/> 日本臨床細胞学会 <input type="checkbox"/> 日本病院総合診療医学会 <input type="checkbox"/> 日本がん治療認定医機構 <input type="checkbox"/> 日本人間ドック学会 <input type="checkbox"/> 日本女性医学学会 <input type="checkbox"/> 日本消化器病学会 <input type="checkbox"/> 日本消化器外科学会 <input type="checkbox"/> 日本消化器内視鏡学会 <input type="checkbox"/> 日本消化管学会

JCOG（日本臨床腫瘍研究グループ） 日本肝胆膵外科学会 日本肝臓学会 日本胆道学会 日本膵臓学会
日本循環器学会 日本心血管インターベンション治療学会 3学会構成心臓血管外科専門医認定機構
日本脈管学会 経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会
浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会 日本不整脈心電学会 日本心臓リハビリテーション学会
日本超音波医学会 日本呼吸器学会 呼吸器外科専門医合同委員会 日本腎臓学会 日本透析医学会
日本血液学会 日本骨髄バンク 日本造血・免疫細胞療法学会 JALSG（成人白血病治療共同研究機構）
日本糖尿病学会 日本内分泌外科学会専門医制度 日本乳癌学会 日本乳がん検診精度管理中央機構
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 日本神経学会 日本脊椎脊髄病学会 日本脳卒中学会
日本脳卒中の外科学会 日本脳神経外傷学会 てんかん支援ネットワーク施設 日本認知症学会
日本リウマチ学会 日本アレルギー学会 日本IVR学会 日本急性血液浄化学会 日本口腔外科学会
日本有病者歯科医療学会 日本顎顔面インプラント学会 日本静脈経腸栄養学会 日本臨床栄養代謝学会
日本専門医機構 等

●幹部名簿

2023年3月1日現在

役員

役職	氏名	備考
理事長	吉田 象 二	
副理事長	野村 幸 博	病院長
理事	齊藤 陽 久	特任医師
理事	渡邊 三 郎	特任医師
理事	塩尻 俊 明	副院長
理事	川副 泰 成	特任医師
理事	紫村 治 久	副院長
理事	伊藤 由紀恵	看護局長
理事	菅谷 敏之史	事務局長
理事(非常勤)	高林 克日己	千葉大学名誉教授
理事(非常勤)	加瀬 寿 一	元旭市副市長
監事	向後 剛	弁護士
監事	高根 雅 人	税理士

病院幹部（部長相当職以上）

氏名	職名
野村 幸 博	病院長 兼診療統括局長
塩尻 俊 明	副院長 兼内科主任部長 兼総合診療内科部長 兼教育研修部長 兼臨床教育センター長 兼訪問看護室長
中津 裕 臣	副院長 兼泌尿器科主任部長 兼感染対策室長 兼中央手術室長 兼総合患者支援センター長 兼入院・手術サポートセンター長
神田 順 二	副院長 兼循環器内科主任部長 兼循環器センター長
志村 謙 次	副院長 兼消化器内科主任部長 兼救命救急センター部長
高橋 功	副院長 兼救急救命科主任部長 兼救命救急センター長
糸林 詠	副院長 兼消化器画像診断部長 兼医療安全管理推進室長
紫村 治 久	副院長 兼飯岡診療所長 兼消化器内視鏡部長 兼予防医学研究センター参与 兼医療連携福祉相談室長
宮内 義 浩	副院長 兼腎臓内科部長 兼透析センター部長
鈴木 良 夫	院長補佐 兼臨床病理科部長
平野 稔	院長補佐 兼乳腺外科部長 兼乳腺センター長
北澤 克 彦	院長補佐 兼小児科主任部長 兼小児科小児総合診療部長
中村 朗	院長補佐 兼化学療法科部長 兼化学療法センター長 兼感染症科部長 兼救命救急センター部長 兼新型コロナウイルス特命担当部長
渡邊 隆	院長補佐 兼透析科部長 兼透析センター長

氏 名	職 名
小 林 康 祐	院長補佐 兼産婦人科主任部長 兼地域周産期母子医療センター長
永 井 元 樹	院長補佐 兼外科主任部長
青 木 勉	院長補佐 兼神経精神科主任部長 兼ぴあハウス施設長
杉 山 宏	院長補佐 兼整形外科主任部長 兼救命救急センター部長
松 本 弘	院長補佐 兼新生児科主任部長 兼地域周産期母子医療センター部長
磯 貝 純	院長補佐 兼放射線科（診断部門）主任部長
持 田 英 俊	脳神経外科主任部長
小 錢 健 二	麻酔科部長
石 井 昭 広	中央検査科部長 兼輸血部部長
鈴 木 規 之	泌尿器科部長
大 江 恭 司	麻酔科部長 兼集中治療科部長 兼救命救急センター部長
太 田 禎 久	リハビリテーション科部長
青 野 光 夫	麻酔科部長
大 塚 祐 司	神経精神科部長
加々美 新一郎	アレルギー・膠原病内科部長 兼アレルギー・リウマチセンター長 兼臨床教育副センター長
櫛 田 俊 一	循環器内科部長 兼循環器センター部長
新 靱 正 明	整形外科部長
久保田 茂 樹	小児科部長
山 本 哲 史	心臓外科部長
仙 田 昌 義	小児科部長
窪 田 学	消化器内科部長
川 村 剛 以	リハビリテーション科部長
荻 野 淳	糖尿病代謝内科部長
島 敬 之	泌尿器科部長
糟 谷 美有紀	救急救命科部長 兼救命救急センター副センター長
太 田 さや子	放射線科（治療部門）部長
平 林 和 也	麻酔科主任部長 兼中央手術室副室長
伊 藤 史 生	救急救命科主任部長代理 兼救命救急センター副センター長
磯 野 友 厚	神経精神科部長
山 内 友 規	整形外科部長
小 林 宏 伸	小児科部長
富 樫 順 一	外科部長
樋 口 正 美	消化器内科部長
網 谷 兆 康	泌尿器科部長
中 田 康 一	歯科口腔外科部長
野 本 洋 平	眼科部長
田 中 宏 明	血液内科部長
宮 地 浩太郎	循環器内科部長
小 林 誠	神経内科部長

氏 名	職 名
福 井 崇 人	感染症科部長 兼脳神経外科部長
山 本 邦 厚	脳神経外科部長
中 野 倫 代	皮膚科部長
桑 野 秀 規	呼吸器外科部長
鈴 木 孝 典	脳神経外科部長
大 藏 慶 憲	産婦人科部長 兼地域周産期母子医療センター部長
赤 井 隆 文	血管外科部長
大 戸 弘 人	耳鼻咽喉科部長
秋 葉 正 一	歯科口腔外科参与
深 山 正 久	遠隔病理診断センター長
橋 本 尚 武	予防医学研究センター長
山 内 直 子	遠隔病理診断センター部長 兼旭中央病院附属病理診断科診療所長
鳥井原 彰	PET画像診断センター長 兼核医学科部長
村 上 信 乃	名誉院長 兼介護老人保健施設長 兼ケアハウス施設長
伊良部 徳 次	附属看護専門学校長 兼内科顧問 兼透析センター顧問 兼診療報酬担当顧問
浅 田 学	老人ホーム施設長
齊 藤 陽 久	特任医師 兼呼吸器内科主任部長 兼診療支援・企画情報局長 兼医療情報室長 兼診療情報管理室長 兼TQMセンター長
渡 邊 三 郎	特任医師 兼臨床研究支援センター長
岡 龍 弘	特任医師
川 副 泰 成	特任医師 兼特命担当（働き方改革プロジェクト担当） （職員健康相談担当）
本 多 昭 仁	特任医師
古 川 恵 一	特任医師 兼感染症センター長
本 田 亮 一	特任医師
古 屋 隆 俊	特任医師 兼スキルセンター長
大 屋 滋	特任医師
伊 藤 由紀恵	看護局長
浅 井 秀 樹	診療技術局長
川 島 美智子	薬剤局長
菅 谷 敏之史	事務局長
河 口 成 富	訪問看護ステーション旭こころとくらしのケアセンター施設長

●科別請求額前年比 (2022年度)

(単位=千円)

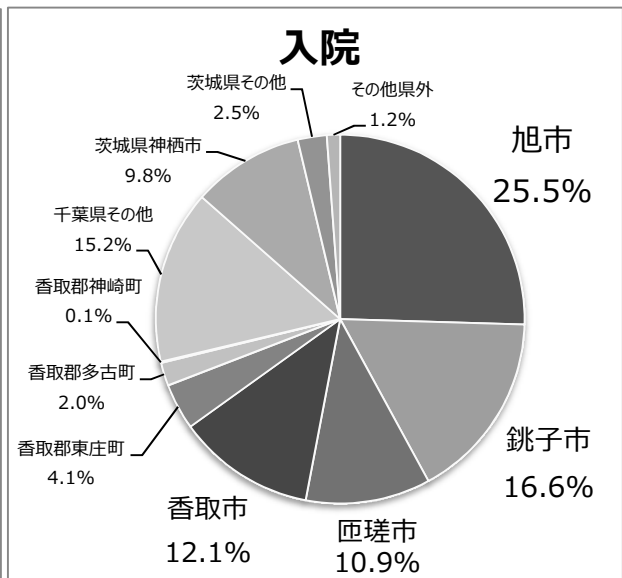
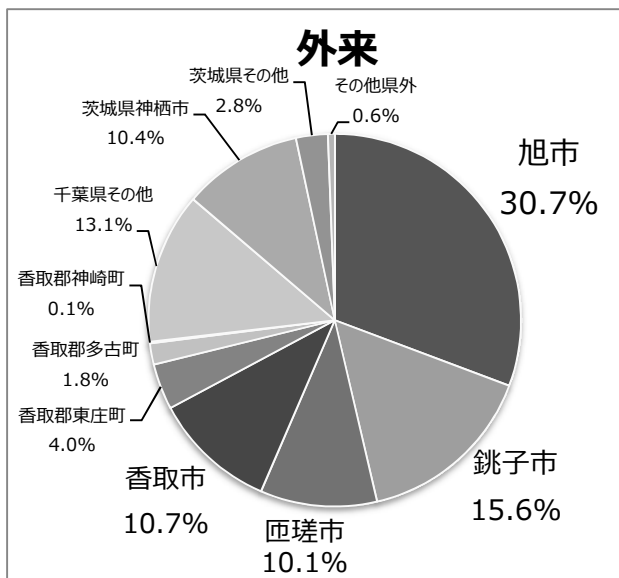
科 別	外・入別	2021年度	2022年度	%	科 別	外・入別	2021年度	2022年度	%	
内 科	外来件数	141,857	147,101	103.7	新生児科	外来件数	0	0		
	入院件数	11,642	11,539	99.1		入院件数	575	575	100.0	
	外来金額	7,642,512	8,080,590	105.7		外来金額	0	0		
	入院金額	9,645,136	9,955,206	103.2		入院金額	529,700	474,785	89.6	
	合計金額	17,287,648	18,035,796	104.3		合計金額	529,700	474,785	89.6	
外 科	外来件数	20,370	20,152	98.9	脳神経外科	外来件数	8,251	8,508	103.1	
	入院件数	2,831	2,949	104.2		入院件数	1,354	1,384	102.2	
	外来金額	1,083,929	994,554	91.8		外来金額	158,757	171,450	108.0	
	入院金額	2,424,079	2,555,945	105.4		入院金額	1,344,009	1,407,241	104.7	
	合計金額	3,508,008	3,550,499	101.2		合計金額	1,502,766	1,578,692	105.1	
産婦人科 分娩件数	外来件数	26,340	26,759	101.6	麻 酔 科	外来件数	1,606	1,578	98.3	
	入院件数	(771件)3,069	(713件)3,164	103.1		入院件数	0	0		
	外来金額	366,531	369,204	100.7		外来金額	14,067	13,702	97.4	
	入院金額	953,963	1,044,199	109.5		入院金額	0	0		
	合計金額	1,320,494	1,413,403	107.0		合計金額	14,067	13,702	97.4	
眼 科	外来件数	18,108	18,072	99.8	心臓外科	外来件数	1,842	1,799	97.7	
	入院件数	864	1,000	115.7		入院件数	212	193	91.0	
	外来金額	536,353	544,637	101.5		外来金額	37,958	37,800	99.6	
	入院金額	338,393	390,759	115.5		入院金額	686,271	617,906	90.0	
	合計金額	874,745	935,395	106.9		合計金額	724,229	655,706	90.5	
皮 膚 科	外来件数	11,656	10,970	94.1	形 成 外 科	外来件数	6,599	6,530	99.0	
	入院件数	291	284	97.6		入院件数	506	409	80.8	
	外来金額	192,579	204,187	106.0		外来金額	93,073	92,292	99.2	
	入院金額	138,099	121,907	88.3		入院金額	345,847	255,286	73.8	
	合計金額	330,678	326,094	98.6		合計金額	438,920	347,579	79.2	
耳鼻咽喉科	外来件数	13,311	14,345	107.8	リハビリ科	外来件数	2,491	2,586	103.8	
	入院件数	642	652	101.6		入院件数	0	1		
	外来金額	231,210	292,278	126.4		外来金額	88,235	92,784	105.2	
	入院金額	367,791	385,124	104.7		入院金額	0	12		
	合計金額	599,000	677,402	113.1		合計金額	88,235	92,795	105.2	
整 形 外 科	外来件数	18,014	18,171	100.9	歯 科	外来件数	22,199	21,068	94.9	
	入院件数	1,365	1,496	109.6		入院件数	131	136	103.8	
	外来金額	289,241	306,937	106.1		外来金額	267,852	253,505	94.6	
	入院金額	1,423,404	1,486,453	104.4		入院金額	69,795	61,790	88.5	
	合計金額	1,712,644	1,793,390	104.7		合計金額	337,647	315,295	93.4	
精 神 科	外来件数	20,808	19,673	94.5	合 計	外来件数	360,323	367,413	102.0	
	入院件数	542	545	100.6		入院件数	27,975	28,228	100.9	
	外来金額	291,032	280,396	96.3		外来金額	14,747,412	15,457,741	104.8	
	入院金額	317,744	341,478	107.5		入院金額	20,650,913	21,109,116	102.2	
	合計金額	608,776	621,874	102.2		合計金額	35,398,325	36,566,857	103.3	
泌 尿 器 科	外来件数	18,032	18,234	101.1	※放射線科 (※再掲)	外来件数	3,629	3,675	101.3	
	入院件数	2,039	2,092	102.6		外来金額	398,049	385,142	96.8	
	外来金額	1,249,322	1,437,006	115.0		診 療 所	外来件数	3,686	3,581	97.2
	入院金額	918,044	1,012,940	110.3		外来金額	20,206	20,135	99.6	
	合計金額	2,167,367	2,449,947	113.0		そ の 他	差額室料	523,510	513,201	98.0
透 析	外来件数	4,769	4,800	100.7	そ の 他	その他外	219,234	223,389	101.9	
	入院件数	999	796	79.7						
	外来金額	1,631,303	1,622,444	99.5						
	入院金額	770,044	562,582	73.1						
	合計金額	2,401,347	2,185,026	91.0						
小 児 科	外来件数	24,070	27,067	112.5	総合計		36,161,275	37,323,581	103.21	
	入院件数	913	1,013	111.0						
	外来金額	573,459	663,977	115.8						
	入院金額	378,592	435,501	115.0						
	合計金額	952,051	1,099,478	115.5						

※外来・入院件数は、レセプト請求件数(実患者数)です。

2023.4.12 医事課

●市町村別レセプト請求件数（2022年度）

市町村	外来		入院	
	件数	割合	件数	割合
旭市	106,246	30.7%	6,945	25.5%
銚子市	54,041	15.6%	4,526	16.6%
匝瑳市	35,035	10.1%	2,986	10.9%
香取市	37,042	10.7%	3,295	12.1%
香取郡東庄町	13,747	4.0%	1,106	4.1%
香取郡多古町	6,395	1.8%	550	2.0%
香取郡神崎町	434	0.1%	34	0.1%
千葉県その他	45,317	13.1%	4,149	15.2%
茨城県神栖市	35,992	10.4%	2,673	9.8%
茨城県その他	9,565	2.8%	690	2.5%
その他県外	2,017	0.6%	319	1.2%
全体	345,831	100.0%	27,273	100.0%



●診療実績 (2022年度)

科別	外 来						入 院							
	1日平均		1年延数		1日平均		1年延数		1日平均		1年延数			
	診療日数	令和3年度	診療日数	令和4年度	令和3年度	令和4年度	診療日数	令和3年度	診療日数	令和4年度	令和3年度	令和4年度	救命救急 各科内訳	緩和ケア 各科内訳
内科	242	708	243	712	171,368	173,029	365	336	365	345	122,640	125,931	4,836	3,563
感染症							365	0	365	0	0	0	0	0
心臓外科	106	22	107	22	2,331	2,316	365	9	365	8	3,221	3,038	853	0
麻酔科	242	14	227	14	3,279	3,194	365	0	365	0	0	0	0	0
外科	242	127	243	123	30,846	29,989	365	79	365	80	28,668	29,253	918	571
形成外科	242	47	243	45	11,479	10,924	365	14	365	11	4,958	3,946	54	1
脳神経外科	242	41	243	42	9,897	10,289	365	47	365	48	17,113	17,412	420	218
整形外科	242	114	243	115	27,615	27,952	365	51	365	57	18,752	20,651	484	791
産婦人科	242	140	243	140	33,886	33,963	365	31	365	33	11,266	11,982	19	473
耳鼻咽喉科	242	85	243	89	20,656	21,723	365	15	365	14	5,501	5,012	78	351
皮膚科	242	98	243	93	23,655	22,550	365	7	365	6	2,671	2,266	24	37
泌尿器科	242	107	243	108	26,007	26,193	365	35	365	38	12,884	13,729	140	857
眼科	242	135	243	135	32,759	32,719	365	10	365	12	3,698	4,204	0	0
歯科	242	144	243	127	34,907	30,899	365	3	365	3	1,176	920	8	47
小児科	242	96	243	96	23,342	23,294	365	16	365	17	5,725	6,293	4	0
透析	313	190	312	184	59,409	57,385	365	37	365	28	13,681	10,189	156	65
周産期医療センター							365	17	365	14	6,308	5,189		
救命救急センター	365	105	365	122	38,154	44,365	365	(22)	365	(22)	(7,954)	(7,995)		
緩和ケア							365	(14)	365	(19)	(5,156)	(6,974)		
リハビリ科	242	31	243	32	7,590	7,880	365	(241)	365	(243)	(88,085)	(88,850)		
人間ドック	242	10	243	11	2,522	2,591								
放射線科	242	74	243	70	17,908	17,122								
PET	242	1	243	1	237	234								
訪問診療	242	1	243	1	291	298								
一般計		2,290		2,282	578,138	578,909	365	707	365	714	258,262	260,015	7,994	6,974
前年度比				99.7%		100.1%				101.0%		100.7%		
神経精神科	242	157	243	148	37,875	35,931	365	33	365	32	12,114	11,662		
前年度比				94.3%		94.9%				97.0%		96.3%		
合計		2,447		2,430	616,013	614,840		740	365	746	270,376	271,677	7,994	6,974
前年度比				99.3%		99.8%				100.8%		100.5%		
ドック(外泊)							242	7	243	7	1,714	1,773		
飯岡診療所	147	26	149	25	3,837	3,655								
シルバーケア	309	16	241	17	5,076	4,084	365	91	365	91	33,167	33,112		
養護老人ホーム							365	24	365	9	8,595	3,392		
特別養護老人ホーム							365	39	365	29	14,264	10,736		
ケアハウス							365	40	365	40	14,600	14,600		

患者数	種別	令和3年度		令和4年度		救急患者数	令和3年度		令和4年度		放射線科	治療人数	令和3年度		令和4年度		
		新患者数	92,242	98,517	新患者数		28,287	29,402	総数	38,154			44,365	検査人数	13,365	12,538	
外来患者数	一般	(新患者数※)	28,287	29,402	救急患者数	即時入院	7,032	6,782	検査人数	178,903	178,325	PET検査総件数	1,455	1,492			
		最高患者数	2,620	2,679		救急車搬送	7,792	8,904		検査科	検査件数		6,018,675	6,149,599	透 析 件 数	59,023	57,187
		最低患者数	1,760	1,520		死亡数	1,160	1,223		中央手術室手術件数	8,204		8,330	分娩件数	771	713	
		新患者数	651	590		剖検	剖検数	74		72	外来化学療法件数		12,439	13,026			
		最高患者数	275	235			剖検率	6.4%		5.9%							
	入院患者数	一般	最低患者数	62	84	稼働病床利用率	一般病床	92.0%	92.6%	除外(無)	12.5	12.7	ドクタースカパー件数(NICU)	53	55		
			新患者数	19,087	18,952		精神病床	79.0%	76.1%	除外(有)	13.4	14.0	ドクターカー件数(救急)	117	139		
			(1日平均)	52.3	51.9		平均在院日数(一般)	71.7	64.0	レセプト件数(一般)	外来	382,586	390,056				
			最高患者数	787	773		平均在院日数(精神)	除外(無)		入院	25,839	25,927					
			最低患者数	549	530		紹介患者数	18,533	18,574	紹介率	65.5%	63.2%	レセプト件数(精神)	外来	22,866	21,668	
	新患者数	164	182	逆紹介患者数	26,435	28,058	逆紹介率	93.5%	95.4%	入院	542	536					
	最高患者数	39	39														
	最低患者数	26	21														

※ 平均在院日数 除外(有)

H30年度より短期滞在手術基本料3Iに該当・緩和ケア・NICU・GCU・精神科救急入院料・自費・労災の患者を除く

※ 稼働病床利用率… 稼働病床内訳 平成26年4月～(一般763床、感染6床、精神42床)

※ 病床利用率=月延患者数÷(稼働病床数×月日数) 一般病床利用率には感染6床を含む

※ (新患者数※)…初診料算定の患者数

2023/4/26 総務人事課

●講演会などへの講師派遣一覧（2022年度）

派遣日	依頼元	講師名	依頼内容（演題等）	場所	対象者
4月1日～ 2023年 3月31日	埼玉医科大学	岡 龍弘 医師	手術室内で臨床麻酔指導	埼玉医科大学 病院	同大学院麻酔科
4月1日～ 2023年 3月31日	国立大学法人 東京医科歯科大学	磯貝 純 医師	非常勤講師 「画像標準化に関する研究」	国立大学法人 東京医科歯科大学	同大学生
4月1日～ 12月31日 週1回	杏文学園 東京柔道整復専門学校	山内 直子 医師	2年午前部「病理学概論」の講義	東京柔道整復 専門学校	同学校講義受講学生
4月4日～ 9月23日 まで 計7回	学校法人君津あすなろ学園 千葉医療福祉専門学校	平野 いつみ 理学療法士	講師 小児理学療法治療学（前期14 コマ）及び試験問題作成	千葉医療福祉 専門学校	同学校講義受講学生
4月1日～ 2023年 3月31日 まで月1回	千葉県中央障害者相談 センター	太田 禎久 医師	障害者に対する医学的判定及び 相談	国保旭中央病院	障害者
4月16日	一般社団法人内科学会 専門医部会	坂本 壮 医師	第119回 日本内科学会総会講演会 講師 「明日の内科を語るゆうべ」	WEB	同学会員
4月23日	一般社団法人 千葉県糖尿病対策推進会議	荻野 淳 医師	CDE-Chiba スキルアップ研 修会 注射薬導入のハードルを 飛び越えよう! ～注射剤・注 入器の特徴から薬価まで～	ホテルポート プラザちば 2階「ロイヤル」	CDE-Chibaの資格を有する方
5月～7月	香取おみがわ医療センター 附属看護専門学校	持田 英俊 医師 成田 大輔 看護師	非常勤講師 「病理生理治療学Ⅰ」 「精神看護援助演習」	香取おみがわ 医療センター 附属看護専門学校	同学校看護学生22名
5月13日	城西国際大学看護学部	秋元 安代 助産師	講師 「病院における助産管理」	城西国際大学 東金キャンパス	同大学看護学部助産師課程 4年生7名
5月19日～ 9月15日 で6日間	香取都市医師会附属 佐原看護学校	坂本 壮 医師	非常勤講師 「人体のしくみとはたらき循環系」 「臨床看護概論」	香取都市医師会 附属佐原 看護学校	同学校1年生、2年生
5月19日	千葉県消防学校	中津 裕臣 医師	講師 救急業務及び救急医学の基礎 「解剖生理」（泌尿系） 応急処置の総論 「観察」（泌尿器系疾患）	千葉県消防学校	同学校救急科50期生60名
5月20日	長野医療生活協同組合 長野中央病院	坂本 壮 医師	救急セミナー	Zoom 視聴会場： 長野中央病院 研修ホール	同病院研修医・指導医
5月24日	千葉県消防学校	神田 順二 医師	講師 救急業務及び救急医学の基礎 「解剖生理」（循環系）	千葉県消防学校	同学校救急科50期生60名
5月25日	千葉県立保健医療大学	今野 和成 作業療法士	特別講義 「地域ケア会議での連携を理解 する」	同大学仁戸名 キャンパス	同大学作業療法学専攻3年生
5月27日	旭市地域自立支援協議会	木脇 和利 社会福祉士 伊藤 亜寿華 社会福祉士	令和4年度第1回こども部会	旭市さわやか ホール	同協議会関係者
6月1日	千葉県立保健医療大学	今野 和成 作業療法士	特別講義 「災害時の地域作業療法を学ぶ」	同大学仁戸名 キャンパス	同大学作業療法学専攻3年生

派遣日	依頼元	講師名	依頼内容（演題等）	場所	対象者
6月1日	東京情報大学	鈴木 恵 看護師	精神看護方法論 「精神障がい者の地域生活を支える多職種連携」	同大学 1号館401教室	同大学看護学部看護学科学生
6月2日	千葉県消防学校	伊藤 史生 医師	講師 病態別応急処置「心肺停止」	千葉県消防学校	同学校救急科50期生60名
6月2日	国際医療福祉大学 保健医療学部	藤田 圭一 放射線技師	診療放射線特論 臨時講義 「医療の現場から」	国際医療福祉 大学	同大学放射線・情報科学科 4年生
6月3日	旭市地域自立支援協議会	櫻井 孝二 精神保健福祉士 新澤 なつみ 精神保健福祉士	令和4年度第1回暮らし部会	旭市役所3階 政策決定室	同協議会関係者
6月7日	香取市立佐原第五中学校	綿貫 美恵 助産師	思春期講演会 「考えよう！生命とあなたの 夢・行動」	香取市立 佐原第五中学校	同中学校3年生50名
6月10日	白井市	今野 和成 作業療法士	自立支援型地域ケア会議と 助言者に求められるもの	Zoom 白井市役所東庁舎 3階会議室303	同市自立支援型地域ケア会議 における助言者
6月15日	東京情報大学	出口 文比呂 ピアスタッフ	精神看護方法論 「精神科デイケアにおけるピア スタッフの役割」	同大学 1号館401教室	同大学看護学部看護学科学生
6月15日	千葉県健康福祉部 児童家庭課	仙田 昌義 医師	「児童虐待・DVの医学的な診断 方法」について	千葉県総合教育 センター 本館7階 映写ホール	市町村、千葉県男女共同参画セ ンター、女性サポートセンタ ー、健康福祉センター、児童相 談所、県警、児童福祉施設、DV 被害者支援活動団体等の新任 職員
6月17日	社会医療法人宏潤会 大同病院	坂本 壮 医師	「救急外来におけるトリアージ」 に関するレクチャー	Zoom	同病院および周辺病院の救急診 療にかかわる若手医師・スタッフ
6月17日	社会福祉法人千葉県 社会福祉協議会	仙田 昌義 医師	令和4年度児童福祉司任用前 講習会 「子ども虐待対応の基本②」	千葉県社会福祉 センター5階 大研修室	・千葉県または県内市町村の職 員で児童福祉司に任用予定の者 ・市町村職員のうち、職務上の任 用資格付与の為、研修が必要な者
6月20日	旭市地域自立支援協議会	宇田川 恵美子 作業療法士	飯岡地区の福祉を考える会の 参加	旭市社会福祉 協議会 研修室	同協議会関係者
6月21日 他3日	千葉県立 飯高特別支援学校	宇井 円 言語聴覚士	特別非常勤講師 自立活動（認知・コミュニケー ション）の指導	千葉県立飯高 特別支援学校	同校学生
6月30日	千葉県健康福祉部 児童家庭課	仙田 昌義 医師	「児童虐待・DVの医学的な診断 方法」について	千葉市文化 センター5階 セミナー室	市町村、千葉県男女共同参画セ ンター、女性サポートセンタ ー、健康福祉センター、児童相 談所、県警、児童福祉施設、DV 被害者支援活動団体等の新任 職員
7月1日～ 8月19日	千葉県養護教諭会	仙田 昌義 医師	第75回 千葉県養護教諭研修会講演 「子ども虐待・DVの医学的診断 方法」	ホームページ 掲載	千葉県養護教諭会会員1,573名
7月2日～ 7月3日	一般社団法人 日本子ども虐待医学会	仙田 昌義 医師	BEAMS Stage 1,2,3	愛媛県医師会館	医療従事者・児童虐待対応に 関わる関係機関の方
7月4日	千葉県健康福祉部 児童家庭課	仙田 昌義 医師	「児童虐待・DVの医学的な診断 方法」について	千葉県教育会館 303会議室	市町村、千葉県男女共同参画セ ンター、女性サポートセンタ ー、健康福祉センター、児童相 談所、県警、児童福祉施設、DV 被害者支援活動団体等の新任 職員
7月4日	千葉県立 銚子特別支援学校	遠藤 響 理学療法士	児童生徒の指導場面の視察と 指導助言	同校 自立活動室	同校職員

派遣日	依頼元	講師名	依頼内容(演題等)	場所	対象者
7月6日 他4日	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	鈴木 真 医師	Team STEPPS研修	医療管理本部 研究研修部 継続学習センター 研修室	同病院職員約300名
7月7日	地方独立行政法人 静岡市立静岡病院	坂本 壮 医師	救急外来たぐいま診断中 in 静岡 ver.7	WEB	研修医・救急業務に携わる 看護師等 約50名
7月11日	千葉県健康福祉部 児童家庭課	仙田 昌義 医師	「児童虐待・DVの医学的な診断 方法」について	千葉県教育会館 303会議室	市町村、千葉県男女共同参画セ ンター、女性サポートセンタ ー、健康福祉センター、児童相 談所、県警、児童福祉施設、DV 被害者支援活動団体等の新任 職員
7月12日	公益社団法人 日本看護協会 看護研修学校	坂本 壮 医師	「演習・演習支援 フィジカル アセスメント:基礎」評価およ び質問対応がある場合はそれ を含む	公益社団法人 日本看護協会 看護研修学校、 またはWEB	同校学生30名
7月12日	東庄町立東庄中学校	中津 裕臣 医師	思春期講演会 性教育(思春期 の心と体の成長・性感症等)	同校体育館	同校3年生
7月12日	海匠保健所	中津 裕臣 医師	青少年に対するエイズ等 性感症対策講習会 「知ってる?性感症 わたし たちにできること」	千葉県立 東総工業高等学校	同校1年生145名及び 教職員12名
7月12日	公益社団法人 日本看護協会	坂本 壮 医師	「臨床疫学の理論と演習」 eラーニング 講義資料作成、 講義収録、打合せ、収録内容 確認、確認テスト作成	看護研修学校	eラーニング講義受講者
7月15日	豊田市・藤田医科大学 連携地域医療学寄付講座	坂本 壮 医師	藤田医科大学 総合診療プログラム勉強会 講師「救急外来でのトリアージ &初期対応」	公益財団法人 豊田地域医療 センター (Zoom)	同勉強会参加者
7月17日	第32回 全国病児保育研究大会 inちば	仙田 昌義 医師	教育講演 「子どもの虐待の発見・対処方 法について ～虐待のサイン を見逃さないために～」	幕張メッセ 国際会議場	病児保育に関わる全国の保育士・ 看護師・医師など約1,000名
7月28日	千葉県海匠保健所	中村 朗 医師	講師 「管内入所施設職員を対象とし た第7波へむけた施設のコロ ナ対応及びオミクロン株にお けるクラスター対策について」	Zoomによる WEB講習会、 YouTubeにて オンデマンド配信 (期間限定)	海匠管内高齢者入所施設職員、 障害者入所施設職員
7月30日	長野医療生活協同組合 長野中央病院	坂本 壮 医師	救急セミナー 「診断エラー@ER」	長野中央病院 研修ホール	同病院研修医・指導医・医学生・ メディカルスタッフ
8月上旬～	公益社団法人 全国自治体病院協議会	関根 智紀 超音波指導技師	臨床検査部会 オンラインセミナーvol.2 「超音波検査の実践」 新人を指導する際の注意点など (総論的な内容)	オンライン (オンデマンド)	臨床検査部門の職員
8月3日	聖路加国際大学	古川 恵一 医師	集中講義 「いのちを健康で彩る智慧」	アリス・C・ セントジョン メモリアルホール	同大学看護学部1年生・ 立教大学全学共通カリキュラム (全学部生)・ 立教セカンドステージ大学
8月4日	銚子市高齢者福祉課 銚子市東部地域包括支援 センター 銚子市中央地域包括支援 センター 銚子市西部地域包括支援 センター	佐々木 優子 感染対策認定 看護師	地域ケア実務者会議(研修会) 「感染症対策について」	銚子市役所 市民ホール	銚子市内・周辺地域の保健・ 医療・福祉・介護関係者 約50名

派遣日	依頼元	講師名	依頼内容（演題等）	場所	対象者
8月5日	千葉県健康福祉部 児童家庭課	仙田 昌義 医師	君津市子どもを守る地域 ネットワーク代表者会議	君津市役所5階 大会議室	君津市子どもを守る地域 ネットワーク構成員
8月10日	千葉県健康福祉部 児童家庭課	仙田 昌義 医師	令和4年度 第2回母子保健指導者研修会 講演 「乳幼児の発達と健診のポイント」	千葉県健康福祉部 児童家庭課内 (Zoomウェビナー)	市町村母子保健事業担当者、市 町村子育て支援担当者、健康福 祉センター職員、児童相談所職 員、千葉県助産師会会員（保健 師・助産師・保育士等）
8月12日	千葉大学医学部附属病院	加々美 新一郎 医師	2023年度 研修医選抜試験試験官		同試験受験者
8月17日	一般社団法人 日本家族計画協会	仙田 昌義 医師	第9回切れ目のない妊娠・出産・ 育児支援のためのセミナー 講師 「子どもを守る虐待発見と連携」	本会 新宿区市谷田町 保健会館新館	保健師、助産師、看護師、医師、 ソーシャルワーカー、保育士、 子ども家庭センター設置担当 者、子育て世代包括支援センタ ー担当者等
8月18日	公益社団法人 北海道勤医協中央病院	坂本 壮 医師	講演会 「救急外来診療の原則（仮題） について」	WEB	同病院所属初期研修医、 医師研修委員会委員 20名程度
8月19日	公益社団法人 日本看護協会 看護研修学校	高橋 功 医師	講義 主要病態とケア 評価および質問対応がある 場合はそれを含む	同校での対面授 業、またはWeb による遠隔授業	同校学生30名
8月24日	社会福祉法人 恩寵財団母子愛育会 総合母子保健センター	仙田 昌義 医師	「児童虐待の予防と早期発見、 多職種他機関連携」	社会福祉法人 恩寵財団 母子愛育会	保健師・助産師・看護師 保育士ほか
8月24日	千葉大学医学部附属病院	加々美 新一郎 医師	令和4年度アレルギー疾患 医療連携体制ネットワーク会議	Zoomによる オンライン開催	同会議参加者
8月29日	千葉県健康福祉部 児童家庭課	仙田 昌義 医師	学校職員等に対するDV・児童 虐待対応研修の講師「児童虐 待・DVの医学的な診断方法」	Zoomによる オンライン研修	児童の支援者
8月30日	一般社団法人 しまね地域医療支援センター	坂本 壮 医師	令和4年度島根県臨床研修 指導医講習会（第1回） アンガーマネジメント	Zoomによる WEB会議	同県医師25名
8月31日	千葉科学大学	鈴木 良夫 医師	講師 「細胞診断学特別実習Ⅰ」	千葉科学大学 マリーナ キャンパス	同大学危機管理学部 保健医療学科学学生
9月8日	淑徳大学大学院 総合福祉研究科	吉田 崇一郎 公認心理師	2022年度 心理実践実習 実習指導者会	Zoomによる オンライン	同会合 参加者
9月13日	香取市立佐原中学校	中津 裕臣 医師	思春期講演会 「エイズを含めた性感染症の予防」	同中学校 体育館	同中学校 3年生173名
9月16日	長野県飯田市立病院	坂本 壮 医師	症例検討及びウェブ講演	オンライン	同病院研修医
9月16日	全国国民健康保険 診療施設協議会	菅谷 誠 TQMセンター室 長補佐兼内部監 査室長補佐	第62回 全国国保地域医療学会研究発表 S15_教育、人材育成Ⅰ 座長	かずさアカデミ アホール 第5会場（101）	同学会 研究発表者
9月16日	全国国民健康保険 診療施設協議会	大橋 佐知子 看護師	第62回 全国国保地域医療学会研究発表 S17_教育、人材育成Ⅲ 座長	かずさアカデミ アホール 第5会場（101）	同学会 研究発表者
9月21日 ①②・ 28日①	公益社団法人 日本看護協会 看護研修学校	加瀬 昌子 皮膚・排泄ケア 認定看護師	講義・演習支援 ①創傷管理関連＜創傷の管理 の実際＞ ②ストーマの管理	同校での対面授 業、またはWeb による遠隔授業	同校学生30名
9月28日	旭市地域自立支援協議会	宇田川 恵美子 作業療法士	飯岡地区の福祉を考える会	旭市防災資料館	同会参加者
10月1日	千葉県保育協議会 海匝支会	仙田 昌義 医師	保育士講習会 「食物アレルギー対応について」	いいおかユート ピアセンター	保育士50名程度

派遣日	依頼元	講師名	依頼内容（演題等）	場所	対象者
10月5日、13日、19日、24日	千葉県健康福祉部 児童家庭課	仙田 昌義 医師	DV・児童虐待相談担当職員研修（Ⅲ部） 「告知のロールプレイ」	千葉県総合教育センター	市町村、千葉県男女共同参画センター、女性サポートセンター、健康福祉センター、児童相談所、県警、児童福祉施設、DV被害者支援活動団体等の中堅職員
10月8日	加計学園 医用科学教育センター	大橋 嗣実 臨床工学技士	第17回医用科学教育支援講演会 血液浄化療法・緊急治療・患者管理における臨床工学技士の役割 等	千葉科学大学 マリーナキャンパス4205教室	加計学園の臨床工学教育関係の学生および教員
10月11日	千葉県消防学校	中津 裕臣 医師	救急科第51期 救急業務及び救急医学の基礎「解剖生理」（泌尿器系）、応急処置の総論 「観察」（泌尿器系疾患）	千葉県消防学校	同学校科目受講生63名
10月15日	船橋市立医療センター	信太 千恵子 看護師	2022年度第1回緩和ケア研修会 「看護師のための緩和ケア研修会」 モジュール8：臨死期のケア	船橋市立 医療センター C館401会議室	エンド・オブ・ライフ・ケアに携わる船橋市近郊の看護師、訪問看護師
10月16日	(公社) 日本小児歯科学会 第37回関東地方会	仙田 昌義 医師	(公社) 日本小児歯科学会 第37回関東地方会大会・総会 臨床講演講師 「地域小児歯科のLevel Up」	取手市民会館・ 福祉会館	同会参加者
10月18日	千葉県消防学校	神田 順二 医師	救急科第51期 救急業務及び救急医学の基礎 「解剖生理」（循環器系）	千葉県消防学校	同学校科目受講生63名
10月19日	学校法人 旭鈴木学園 認定こども園 あさひこひつじ幼稚園	仙田 昌義 医師	令和4年度 子育て支援センター講演会 「子どもの新型コロナウイルスについて」	あさひこひつじ 幼稚園	幼稚園園児の保護者・就学前児の保護者
10月22日、11月5日、19日	特定非営利活動法人 言語発達障害研究会	宇井 円 言語聴覚士	<S-S法> 言語発達遅滞検査 講習会 講師	Zoomによる配信 (中小企業会館 東京都中央区 銀座2-10-18)	同講習会申込者
10月23日	一般社団法人 旭市歯科医師会	小島 佑貴 歯科医師	令和4年度 旭市歯科医師会学術講演会 「東総地区における、歯科麻酔の需要と現状について」	旭サンモール ホテル6F	旭市歯科医師会会員
10月27日	千葉県消防学校	伊藤 史生 医師	救急科第51期 病態別応急処置「心肺停止」	千葉県消防学校	同学校科目受講生63名
10月28日	千葉科学大学	香取 良美 看護師	看護学部講義 成人急性期看護援助論Ⅰ 「手術室の看護」	千葉科学大学	看護学部2年生
10月30日	千葉県こども病院	仙田 昌義 医師	令和4年度 第1回児童虐待防止研修会 「子ども虐待 基本の“き” ～自信をもって対応できるように～」	Zoomでの オンライン	同研修会参加者
11月1日	茨城県東地区 特別支援教育研究部	金屋 麻衣 言語聴覚士	茨城県東地区難聴・言語障害 教育担当者研修会、講話・指導 並びに実技	神栖市立 波崎西小学校	同研修会参加者
11月6日	神奈川県立 中井やまゆり園	大屋 滋 医師	令和4年度 発達障害支援センター公開講座 「発達障害の理解と支援について ～親として、医師として、支援者としての想い～」	神奈川県 総合医療会館 7階大講堂	同県民
11月9日	香取市役所福祉健康部 子育て支援課	仙田 昌義 医師	令和4年度児童虐待防止研修会 「児童虐待の見立て ～サインを見逃さないために～」	佐原中央公民館 3階 大会議室	同市 児童等に係る職員

派遣日	依頼元	講師名	依頼内容（演題等）	場所	対象者
11月9日	公益社団法人 地域医療振興協会	小山 知秀 医師	日本ATOM第23回 自治医科大学コース インストラクター	自治医科大学 先端医療技術 開発センター	同コース受講者等 約30名
11月11日	長野医療生活協同組合 長野中央病院	坂本 壮 医師	オンライン救急セミナー	Zoomによる オンライン	研修医・指導医
11月13日	大阪公立大学 医学部附属病院	小山 知秀 医師	日本ATOM第18回 大阪市大コース 出席	MEDDEC 神戸医療機器 開発センター	同コース受講生等 約30名
11月18日	公益社団法人 北海道勤医協中央病院	坂本 壮 医師	講演会 「救急外来診療の原則（仮題）」 について	WEB（同病院で の現地開催も 含めて検討中）	同病院所属初期研修医、 医師研修委員会委員 20名程度
11月18日	一般社団法人 日本子ども虐待医学会	仙田 昌義 医師	BEAMS Stage 2	岐阜県関市 中濃厚生病院	全ての医療者
11月23日	植草学園大学 保健医療学部	川島 康平 理学療法士	アドバンストセミナー 講師 「客観的臨床能力試験の外部評価」	植草学園大学 L棟 運動療法室	保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻3年次生 44名
12月2日	地方独立行政法人 静岡市立静岡病院	坂本 壮 医師	救急外来たぐいま診断中 in静岡 ver.7	同病院 WEB 配信による開催	研修医・救急業務に携わる 看護師等 約50名
12月4日	特定非営利活動法人 千葉医師研修支援 ネットワーク	坂本 壮 医師 中村 聡志 医師 武井 沙也加 医師	第7回 Chiba Clinical Skills Boot Camp 2022 講師	ペリエホール (ペリエ千葉7階)	初期臨床研修医40名
12月6日	日本大学薬学部	岩田 佳之 薬剤師	業界研究セミナー講師 「地方独立行政法人としての役割」	日本大学薬学部 5号館1階 511教室	同学校3～5年生
12月7日	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	鈴木 真 医師	Team STEPPS研修	医療管理本部 研究研修部 継続学習センター 研修室	同病院職員 約25名
12月9日	日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第二病院	坂本 壮 医師	講演「薬物中毒」	WEB配信	同病院職員
12月13日	千葉県健康福祉部	橋本 尚武 医師 石毛 莉奈 管理栄養士	令和4年度糖尿病性腎症・CKD 重症化予防における保健指導 従事者研修会「糖尿病性腎症の 病態と重症化予防について」 「糖尿病性腎症重症化予防に 向けた栄養指導のポイント」	オンライン開催 (Zoomを使用)	同研修会参加者
12月16日	福井大学医学部附属 総合診療・総合内科センター	坂本 壮 医師	GGG web seminar 1216 救急外来での上手な時間の使い方 講師	WEB	同セミナー参加者
12月22日	ふなばしファミリー サポートセンター代表 公益財団法人 船橋市福祉サービス公社	大屋 滋 医師	「ステップアップ講座」講師 「自閉症児をもつ父親の子育て について」、他	船橋市福祉ビル	ファミリーサポート センター全会員 ・船橋市民 30名
1月6日	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	坂本 壮 医師	救急診療の原則	社会医療法人 かりゆし会 ハートライフ病院 2階講堂	同院初期研修医・専攻医
1月6日、 7日、8日	公益社団法人 全日本病院協会	高橋 功 医師	AMAT隊員養成研修 講師 「AMATの活動－演習と実働－」	TKP新宿西口 カンファレンス センター 8D	病院勤務者
1月8日～ 18日、 1月23日～ 30日	千葉県臨床細胞学会	磯部 良徳 臨床検査技師	WEBによるWSIを用いた症例 検討会 各症例における細胞 判定のポイントを学ぶ	WEB開催	同研修会参加者
1月13日	長野県飯田市立病院	坂本 壮 医師	症例検討及び講演による研修会	オンライン	同病院研修医

派遣日	依頼元	講師名	依頼内容（演題等）	場所	対象者
1月13日	社会医療法人愛仁会 明石医療センター	坂本 壮 医師	初期臨床研修医対象の勉強会 講師	オンライン	同医療センター 臨床研修医
1月16日	一般社団法人 千葉県高齢者福祉施設協会	持田 英俊 医師	令和4年度千葉県認知症地域 支援推進員研修 講師 新任者研修「認知症の専門知識」	Zoomによる オンライン	千葉県認知症地域支援推進員 (新任者)
1月17日	千葉県消防学校	神田 順二 医師	救急科第52期講師 救急業務及び救急医学の基礎 「解剖生理」(循環器系)	千葉県消防学校	同学校救急科52期生65名
1月20日	名古屋掖済会病院	坂本 壮 医師	講師 「高齢者の“動けない” ー実践的アプローチー」	名古屋掖済会病院 会議室 (Zoom開催)	同院 初期臨床研修医
1月24日	千葉県消防学校	中津 裕臣 医師	救急科第52期講師 救急業務 及び救急医学の基礎「解剖生 理」(泌尿器系) 応急処置の 総論「観察」(泌尿器系疾患)	千葉県消防学校	同学校救急科52期生65名
1月25日	松戸市	仙田 昌義 医師	松戸市児童虐待防止ネットワ ーク 令和4年度 第2回医療 機関ネットワーク研修会 講師 「子ども虐待に医療は何がで きるのか？～地域の多機関で支 えあうコツ～」	Zoomによる オンライン	松戸市医師会・松戸歯科医師 会、松戸市児童虐待防止ネット ワーク構成員、松戸市の母子保 健担当職員、子ども家庭総合支 援拠点職員等
1月25日、 2月1日	公益社団法人 日本看護協会	坂本 壮 医師	2022年度特定行為研修 「講義 フィジカルアセスメン ト：基礎」 講師	看護研修学校、 またはWEB	同講義受講者
1月26日	鹿嶋市郡医師会附属 准看護学院	石上 享嗣 歯科医師	歯科口腔外科 科目 講師	鹿嶋市郡医師会 附属准看護学院	同講義受講者
1月27日	南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター	坂本 壮 医師	第10回レジデントデイ 「救急医療」についての勉強会	南奈良総合 医療センター (オンライン)	同院研修医
2月2日	千葉県消防学校	伊藤 史生 医師	救急科第52期講師 病態別応急処置「心肺停止」	千葉県消防学校	同学校救急科52期生65名
2月3日	静岡赤十字病院	坂本 壮 医師	若手医師向け救急セミナー講師	WEB開催	同病院 研修医・若手医師
2月9日	市立秋田総合病院	仙田 昌義 医師	児童虐待対応講演会講師 「子ども虐待と体罰～日本って 体罰禁止になりましたが、知っ てました？～」	オンライン方式 (Zoom)	医療関係者
2月9日	一般社団法人 千葉県歯科医師会	中田 康一 歯科医師	令和4年度有病者口腔健康 管理地域連携検討会議	Zoomによる WEB会議	同会議出席者
2月13日	千葉県立 保健医療大学健康科学部	園田 美侑 看護師	第3回進路支援ガイダンス& 卒業生と話す会	千葉県 保健医療大学 B棟111教室	同大学3年次生、3年次編入生
2月14日	一般社団法人 千葉県高齢者福祉施設協会	持田 英俊 医師 秋 慶一 社会福祉士	令和4年度千葉県認知症地域 支援推進員研修 講師 現任者研修「認知症の専門知識」 「地域資源と連携体制の構築」	Zoomによる オンライン	千葉県認知症地域支援推進員 (現任者)
2月14日、 3月8日	公益社団法人 日本看護協会 看護研修学校	加瀬 昌子 皮膚・排泄ケア 特定認定看護師	2022年度特定行為研修「講義 創傷管理関連＜創傷の管理の 基本＞」「演習支援 創傷管理 関連＜創傷管理の実際＞」	同校での対面授 業、またはWEB による遠隔授業	同研修受講者
2月16日	医療介護連携推進委員会 てうしケアマネクラブ 銚子市高齢者福祉課	伊藤 史生 医師	令和4年度医療と介護をつな ぐ研修会 講師 「DNAR (心肺蘇生しないこと)」	オンライン (Zoom)	医療・介護の関係者 100名程度
2月16日	一般社団法人 千葉県歯科医師会	中田 康一 歯科医師	令和4年度 口腔がん等研修事業運営会議	Zoomによる WEB会議	同会議出席者
2月16日	島根県立中央病院	坂本 壮 医師	島根県病院総合医養成事業に 係る総合診療セミナー 講師	島根県立中央病院 (WEB形式)	同セミナー出席者

派遣日	依頼元	講師名	依頼内容（演題等）	場所	対象者
2月17日	一般社団法人 しまね地域医療支援センター	坂本 壮 医師	令和4年度第2回島根県臨床 研修指導医講習会 講師 「アンガーマネジメント」	WEB会議	島根県内医師28名
2月17日	松江赤十字病院救急部	坂本 壮 医師	第3回 まつえグリーンサミット 講師 「救急学、総合内科学の啓蒙」	オンライン (Zoom)	松江市、島根県における 初期研修医・若手研修医
2月18日	長野医療生活協同組合 長野中央病院	坂本 壮 医師	救急セミナー 講師	長野中央病院 研修ホール	同病院 研修医・指導医
2月21日、 28日	千葉県健康福祉部 高齢者福祉課	持田 英俊 医師	令和4年度病院勤務の医療 従事者向け認知症対応力向上 研修 講師	オンライン (Zoom)	病院で勤務する医師、看護師、 事務職等を含む医療従事者
2月22日	公益社団法人 全国自治体病院協議会	川副 泰成 医師	2022年度精神保健指定医研修会 講演司会	東京「砂防会館 別館」 利根	受講後1年以内に精神保健指定医 の申請を行う者 約270名
2月24日	旭スタディーグループ	荻野 淳 医師	旭スタディーグループ外来講演会 「糖尿病患者への口腔ケア等 による 歯科領域の関わり方につ いて」(仮題)	旭中央病院内	同講演会聴講者
2月25日	NPO法人 岡山医師研修支援機構	坂本 壮 医師	レジデントカップ2023 講師	オンライン開催	同講義参加者
2月26日	茨城災害リハビリ テーション支援協議会	今野 和成 作業療法士	令和4年度茨城災害リハビリ テーション支援協議会研修会 「災害リハビリテーションにお けるロジスティクス」	オンライン方式 (Zoom)	災害リハに関する機関および 職員（主に作業療法士、理学療 法士等）
2月28日	多古町立多古中学校	中津 裕臣 医師	思春期講演会講師 「エイズ・ 性感染症予防と命の大切さ」	多古町立 多古中学校 第一集会室	同校3年生 90名
3月10日	千葉県健康福祉部 障害者福祉推進課	仙田 昌義 医師	令和4年度第11回 広域専門指導員等連絡調整会議 講師「発達・精神障害のある方 への相談対応等について」	千葉県文書館 6階 多目的ホール	広域専門指導員及び障害者 条例事務を担当する職員
3月13日	広島医療ネットワーク	坂本 壮 医師	田坂メモリアルレクチャー 講演	オンライン研修 (Zoom)	同講演会参加者（医学生、 研修医、ベテラン医師）
3月16日	千葉科学大学 危機管理学部保健医療学科 救急救命学コース	糟谷 美有紀 医師	外傷観察処置コース (JPTEC教育プログラム)講師	千葉科学大学 マリーナ キャンパス	保健医療学科 救急救命学 コース4年生12名
3月21日	NP-General	坂本 壮 医師	NP-General Festival “Calculate Back 2040” 研修会講師	オンライン開催 (Zoom)	診療看護師（NP）、看護師
3月23日	独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター	坂本 壮 医師	WEB勉強会における講師として	名古屋医療 センター内 (WEB開催)	同勉強会参加者

●健康づくり支援委員会出前講座実施一覧（2022年度）

依頼者	人数	開催日	会場	講師	演題
瀬道あじさいクラブ	21	12月2日	瀬道区民館	脳神経外科主任部長 持田 英俊 医師	No.23 脳卒中について
匝瑳シニアクラブ	66	3月1日	八日市場公民館	救急看護認定看護師 鈴木 佑美 看護師	No.38 家庭で出来る応急処置について
旭市保護司会	35	3月10日	旭市民センター	循環器内科主任部長 神田順二 医師	No.13 高血圧の話



医療統計

●医療実績（クリニカルインディケーター）

項目		2021年度	2022年度	計算方式
退院患者数		19,231人	19,217人	
1日平均在院患者数		741人	745人	$\frac{\text{在院患者延べ数}}{365}$
平均在院日数	一般	13.5日	13.7日	$\frac{\text{在院患者延べ数}}{\text{退院患者数}}$
	精神	73.9日	64.1日	$\frac{\text{在院患者延べ数}}{\text{退院患者数}}$
院内粗死亡率		5.6%	5.9%	$\frac{\text{死亡患者数}}{\text{退院患者数}} \times 100$
院内精死亡率		4.8%	5.0%	$\frac{\text{入院48時間以後死亡数}}{\text{退院患者数}} \times 100$
剖検率		6.8%	6.4%	$\frac{\text{剖検数}}{\text{死亡患者数}} \times 100$
新生児死亡率		0‰	1.4‰	$\frac{\text{新生児死亡数}}{\text{出生数}} \times 1000$
帝王切開率		25.1%	29.2%	$\frac{\text{帝王切開件数}}{\text{分娩件数}} \times 100$

分類及び集計方法

- 対象期間は2022/04/01～2023/03/31とする。
- 国際疾病分類(International Classification of Diseases 略号:ICD-10)は、厚生省大臣官房統計情報部編「疾病、傷害および死因統計分類提要」を使用した。
- 病名に関する統計は、筆頭主病名を対象とした。
- 手術分類(International Classification of Diseases, 9th Revision, Clinical Modification, Volume3, Procedures, fifth-edition 略号:ICD-9-CM)を使用した。
- 内科詳細科の分類は、診療実績を把握するため主治医で判断する。
内科で救急救命科医師が主治医の場合、救急救命科として表記する。
内科以外の診療科で救急救命医が主治医の場合は、()で表示する。
- 退院患者と病名に関する統計件数の誤差は、産科を省いたために生じたもの。

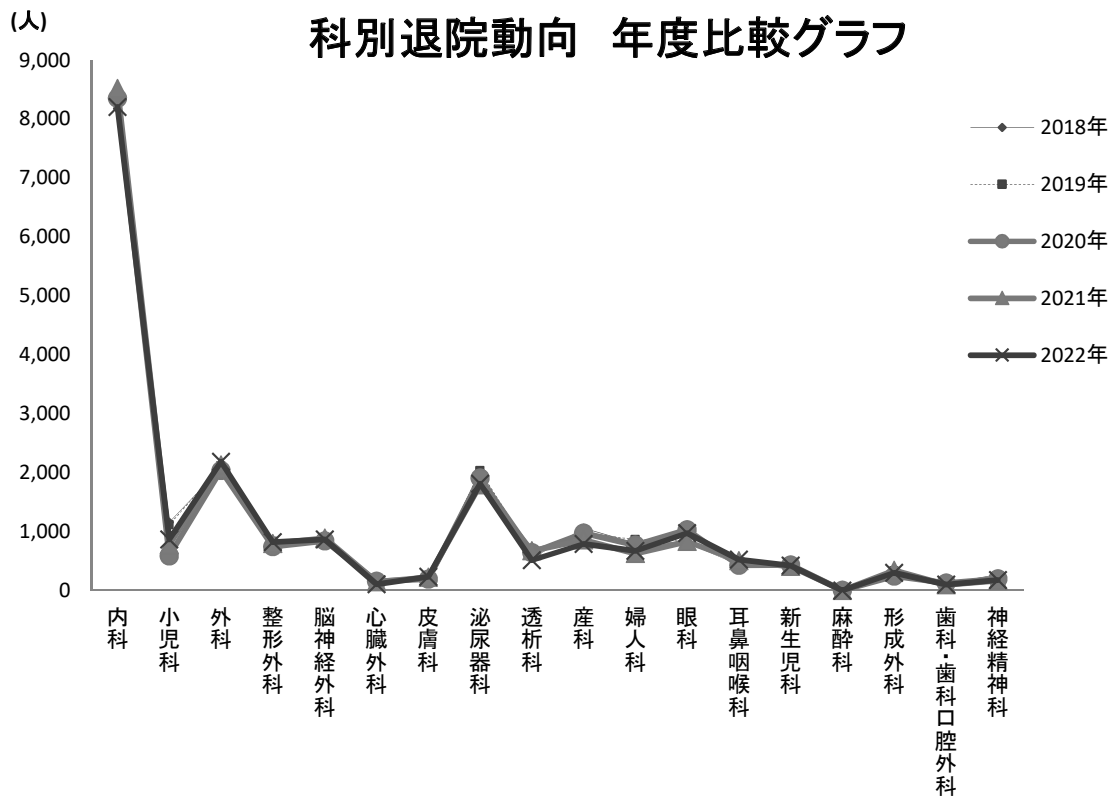
統計表の見方

転科を行った場合

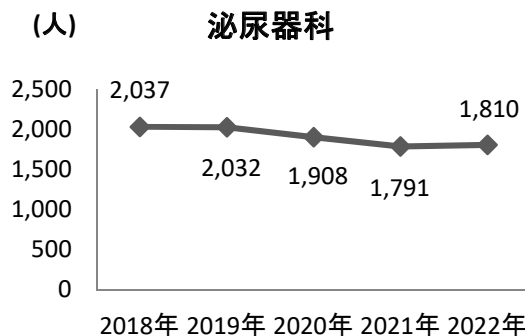
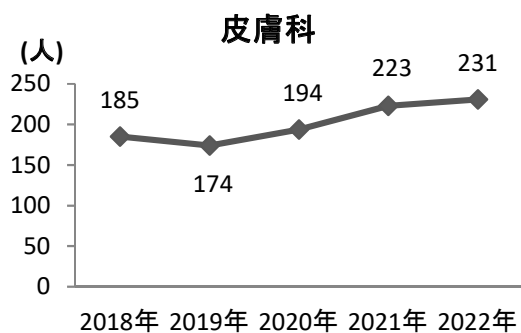
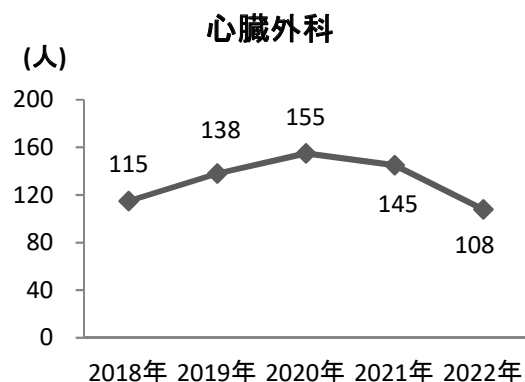
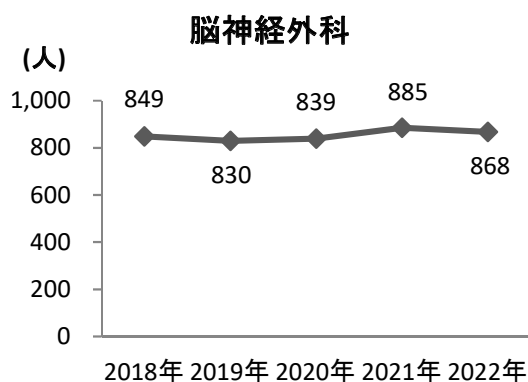
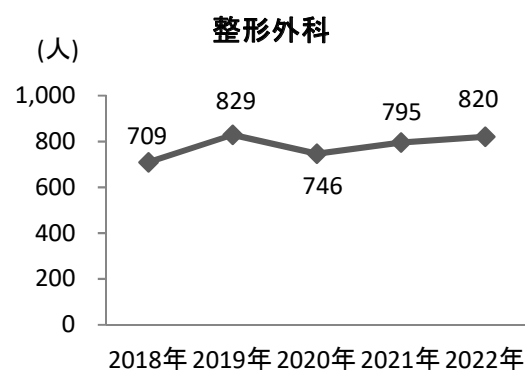
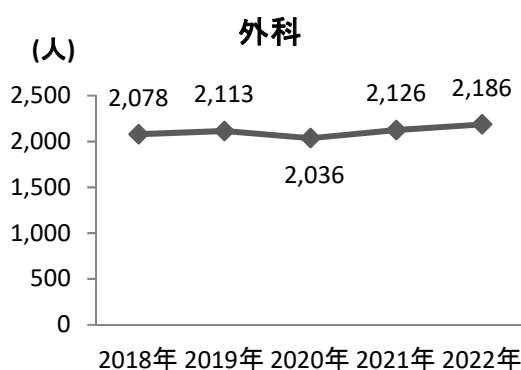
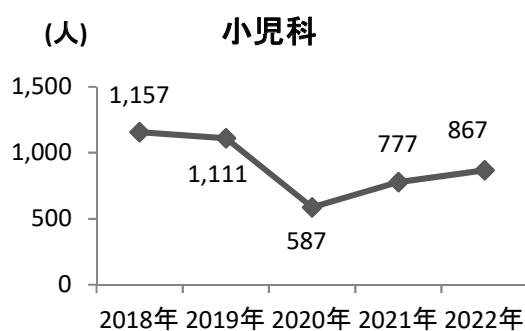
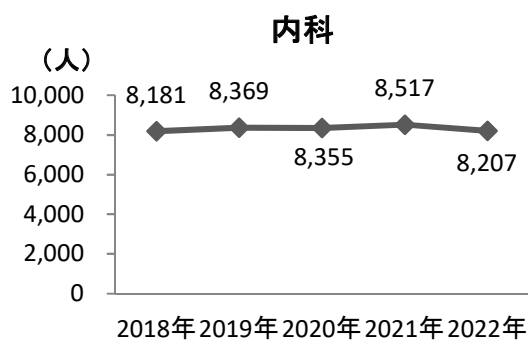
- 退院患者に関する統計
診療科が関係する統計表では、各々の診療科で集計(延べ人数)
診療科が関係しない統計表では、1件として集計(実人数)
- 病名に関する統計
各々の診療科で集計(延べ数)

●科別退院患者数の動向

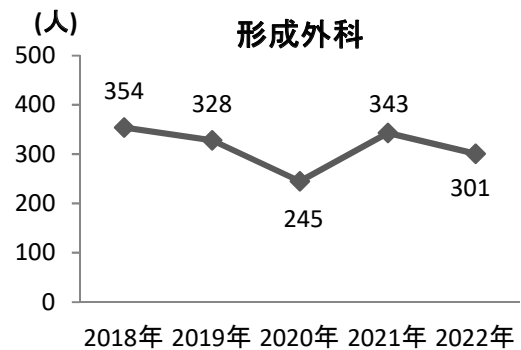
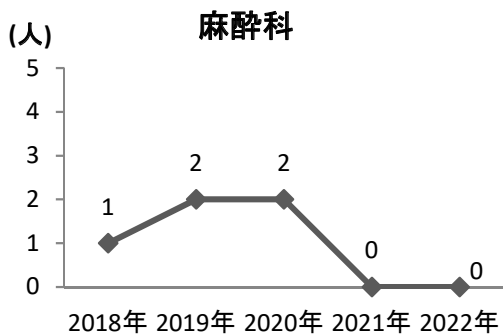
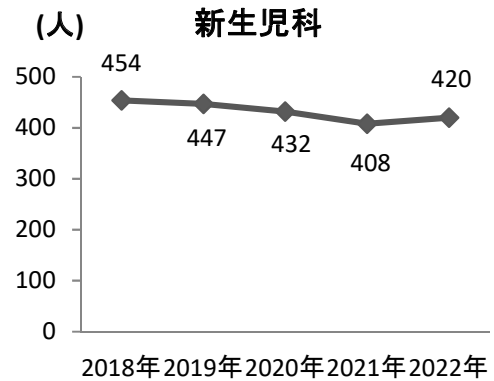
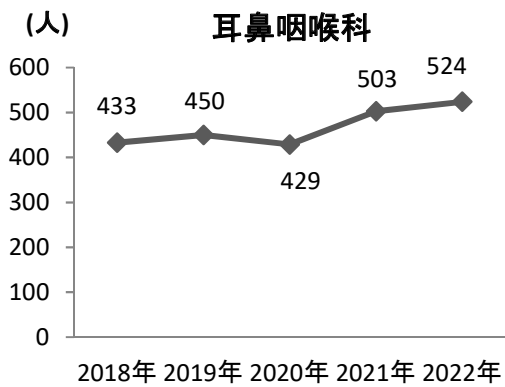
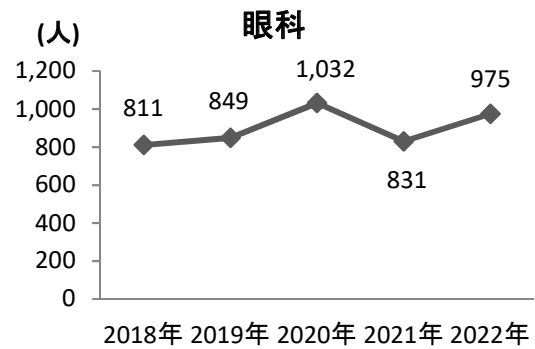
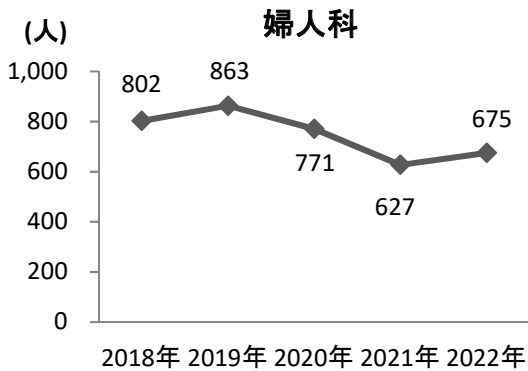
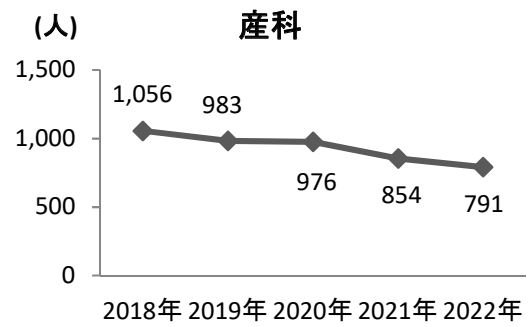
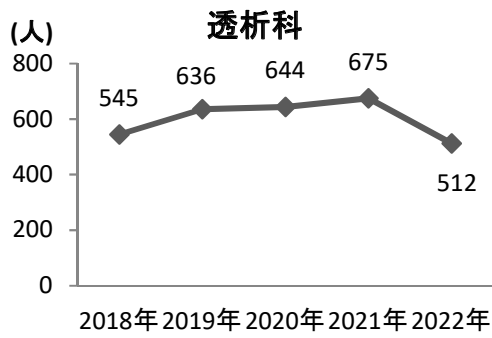
科名 \ 年度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
内科	8,181	8,369	8,355	8,517	8,207
小児科	1,157	1,111	587	777	867
外科	2,078	2,113	2,036	2,126	2,186
整形外科	709	829	746	795	820
脳神経外科	849	830	839	885	868
心臓外科	115	138	155	145	108
皮膚科	185	174	194	223	231
泌尿器科	2,037	2,032	1,908	1,791	1,810
透析科	545	636	644	675	512
産科	1,056	983	976	854	791
婦人科	802	863	771	627	675
眼科	811	849	1,032	831	975
耳鼻咽喉科	433	450	429	503	524
新生児科	454	447	432	408	420
麻酔科	1	2	2	0	0
形成外科	354	328	245	343	301
歯科・歯科口腔外科	111	133	127	97	101
神経精神科	270	237	198	169	177
合計	20,148	20,524	19,676	19,766	19,573



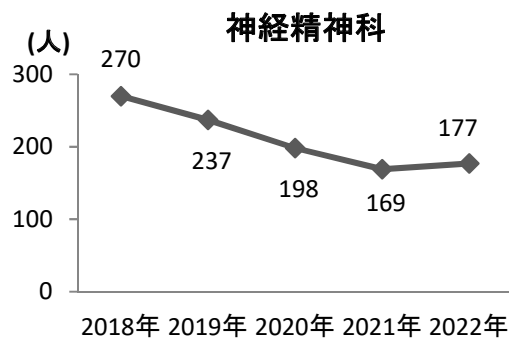
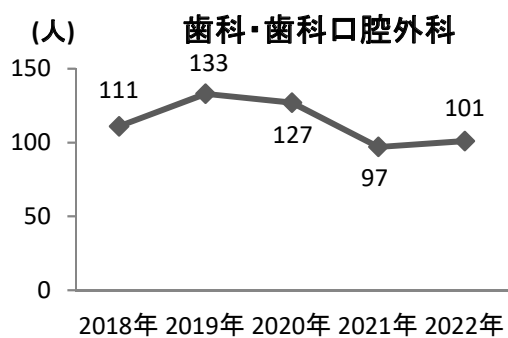
科別退院患者数 年度比較グラフ



科別退院患者数 年度比較グラフ



科別退院患者数 年度比較グラフ



●地区別退院患者数の動向（2次保健医療圏）（2022年度）

地区		香取海匝	山武長生 夷隅	鹿行	その他 (診療圏外)	印旛	千葉	東葛南部	取手・ 竜ヶ崎
男女 計	(人)	13,549	2,627	2,414	213	174	74	62	38
	%	70.5	13.7	12.6	1.1	0.9	0.4	0.3	0.2
男	(人)	7,631	1,541	1,291	78	103	30	24	27
	%	71.0	14.3	12.0	0.7	1.0	0.3	0.2	0.3
女	(人)	5,918	1,086	1,123	135	71	44	38	11
	%	69.9	12.8	13.3	1.6	0.8	0.5	0.4	0.1

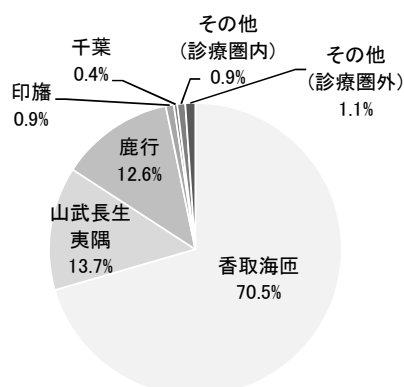
地区		東葛北部	君津	市原	水戸	安房	つくば	土浦	日立
男女 計	(人)	31	10	8	5	4	4	2	1
	%	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男	(人)	11	3	5	3	1	1	1	1
	%	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女	(人)	20	7	3	2	3	3	1	0
	%	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地区		不明	常陸太田・ ひたちなか	筑西・ 下妻	古河・ 坂東	合 計
男女 計	(人)	1	0	0	0	19,217
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
男	(人)	0	0	0	0	10,751
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
女	(人)	1	0	0	0	8,466
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

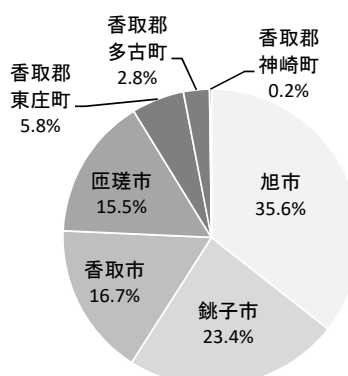
香取海匝地区詳細

地区		旭市	銚子市	香取市	匝瑳市	香取郡 東庄町	香取郡 多古町	香取郡 神崎町	合 計
男女 計	(人)	4,823	3,176	2,262	2,098	781	381	28	13,549
	%	35.6	23.4	16.7	15.5	5.8	2.8	0.2	100.0
男	(人)	2,603	1,791	1,349	1,183	455	231	19	7,631
	%	34.1	23.5	17.7	15.5	6.0	3.0	0.2	100.0
女	(人)	2,220	1,385	913	915	326	150	9	5,918
	%	37.5	23.4	15.4	15.5	5.5	2.5	0.2	100.0

地区別患者退院割合



香取海匝地区退院患者割合

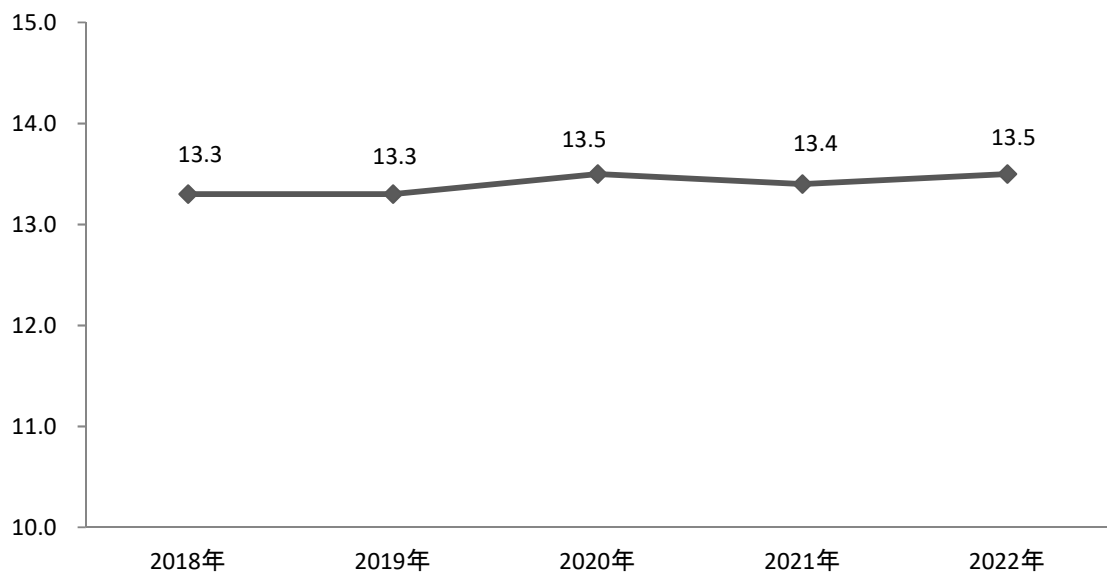


●退院患者平均在院日数の動向

期間		年度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
0-8日	件数		11,192	11,650	10,952	11,059	11,124
	%		56.3	57.4	56.2	56.4	57.4
9-15日	件数		3,927	3,924	3,845	3,897	3,769
	%		19.8	19.3	19.7	19.9	19.4
16-22日	件数		1,623	1,573	1,653	1,635	1,516
	%		8.2	7.8	8.5	8.3	7.8
23-31日	件数		1,246	1,165	1,193	1,149	1,019
	%		6.3	5.7	6.1	5.9	5.3
32-61日	件数		1,431	1,461	1,336	1,399	1,400
	%		7.2	7.2	6.9	7.1	7.2
62-91日	件数		319	332	306	319	349
	%		1.6	1.6	1.6	1.6	1.8
3-6ヶ月	件数		123	157	169	120	194
	%		0.6	0.8	0.9	0.6	1.0
6ヶ月-1年	件数		13	21	15	14	22
	%		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
1-2年	件数		2	3	7	4	2
	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2年-	件数		2	1	2	1	1
	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計			19,878	20,287	19,478	19,597	19,396
平均在院日数			13.3	13.3	13.5	13.4	13.5

(日)

平均在院日数の年次推移

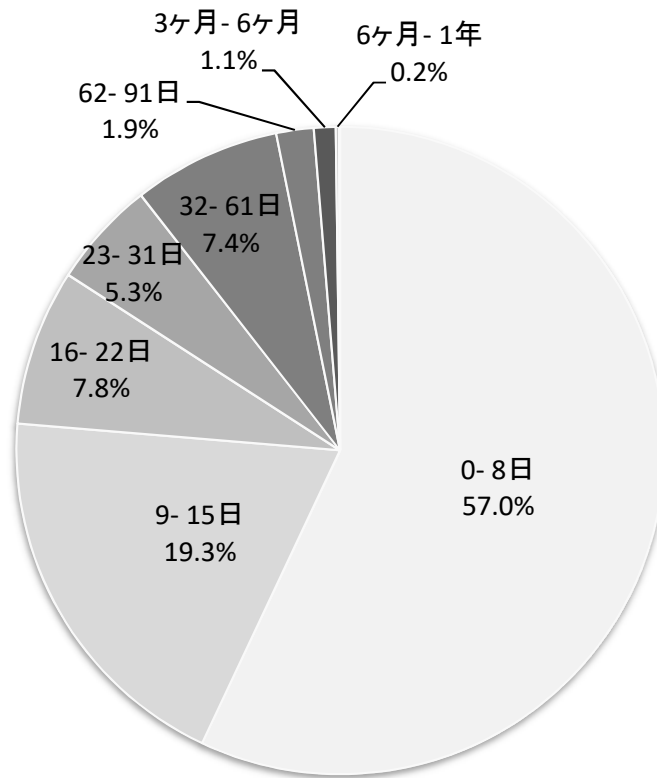


*一般科のみの表記とする

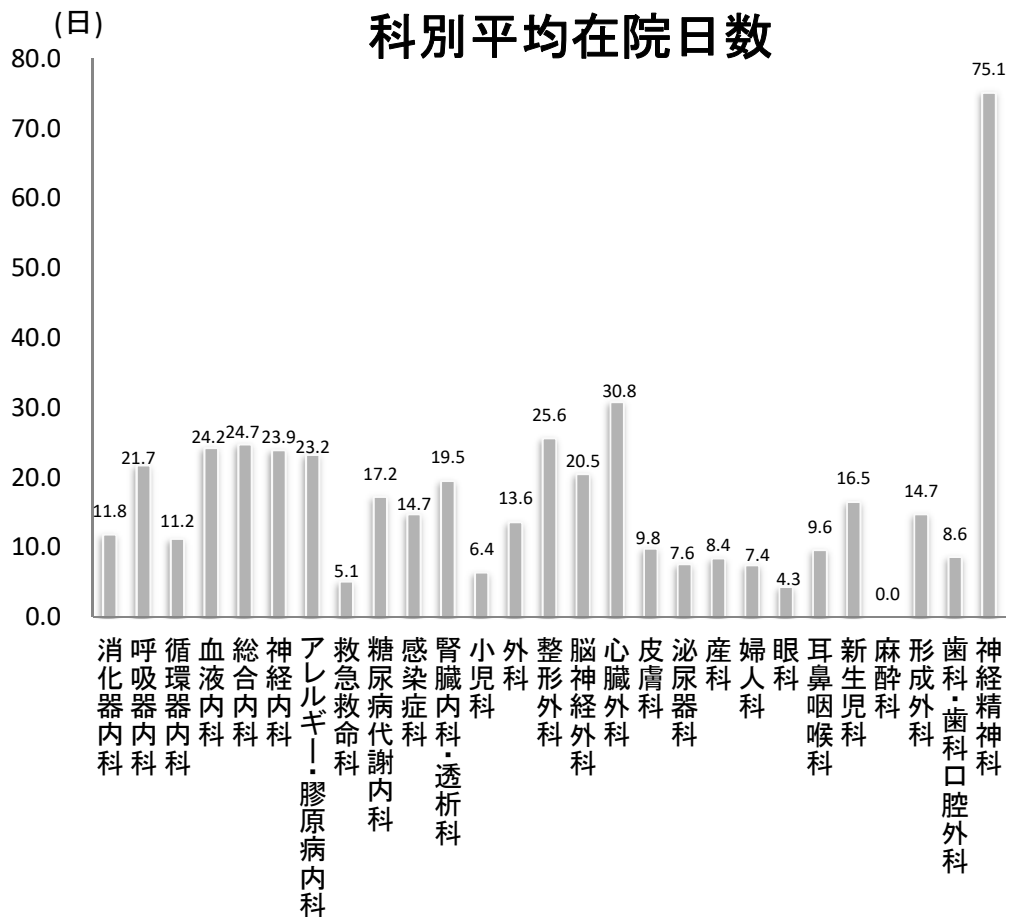
●退院患者科別平均在院日数（2022年度）

科名	期間										合計	平均在院日数
	0-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3ヶ月-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-		
消化器内科	1,578	677	226	99	124	30	12	1	1	-	2,748	11.8
呼吸器内科	245	159	99	76	135	33	8	1	-	-	756	21.7
循環器内科	1,572	435	192	114	133	34	15	1	-	-	2,496	11.2
血液内科	203	89	69	59	69	26	22	2	-	-	539	24.2
総合内科	232	209	113	95	145	43	23	3	-	-	863	24.7
神経内科	47	59	27	24	36	11	4	-	-	-	208	23.9
アレルギー・膠原病内科	62	88	40	36	52	9	4	2	-	-	293	23.2
救急救命科	121	7	4	2	4	-	-	-	-	-	138	5.1
糖尿病代謝内科	8	23	12	4	5	-	-	-	-	-	52	17.2
感染症科	42	44	13	5	7	2	1	-	-	-	114	14.7
腎臓内科・透析科	228	114	48	28	63	15	15	1	-	-	512	19.5
小児科	709	97	29	18	12	-	2	-	-	-	867	6.4
外科	1,093	612	176	111	135	32	23	4	-	-	2,186	13.6
整形外科	173	121	157	140	180	35	12	2	-	-	820	25.6
脳神経外科	429	121	67	63	124	35	27	2	-	-	868	20.5
心臓外科	6	26	25	23	19	1	7	1	-	-	108	30.8
皮膚科	160	29	18	6	16	2	-	-	-	-	231	9.8
泌尿器科	1,386	249	72	44	39	14	5	1	-	-	1,810	7.6
産科	584	159	19	8	20	1	-	-	-	-	791	8.4
婦人科	457	170	20	11	14	2	1	-	-	-	675	7.4
眼科	847	106	17	5	-	-	-	-	-	-	975	4.3
耳鼻咽喉科	403	66	14	11	25	3	2	-	-	-	524	9.6
新生児科	287	47	26	21	24	6	6	1	1	1	420	16.5
麻酔科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0.0
形成外科	177	46	30	15	15	13	5	-	-	-	301	14.7
歯科・歯科口腔外科	75	16	3	1	4	2	-	-	-	-	101	8.6
神経精神科	35	10	12	22	45	18	22	8	3	2	177	75.1
合計	11,159	3,779	1,528	1,041	1,445	367	213	33	5	3	19,573	14.1
構成比(%)	57.0	19.3	7.8	5.3	7.4	1.9	1.1	0.2	0.0	0.0	100.0	0

在院日数分布



科別平均在院日数



●入院患者数（2022年度）

科名	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消化器内科	200 (3) 2	237 (1) 1	250 (1) -	237 (2) 1	249 (2) 1	237 -
呼吸器内科	70 1	59 (1) -	54 4	61 -	65 1	58 -
循環器内科	193 (2) 6	205 (1) 3	198 9	193 9	206 2	188 (1) 3
血液内科	48 1	45 4	44 1	45 2	48 -	46 -
総合内科	73 1	76 1	68 2	94 1	60 5	65 1
神経内科	16 -	15 -	22 1	14 1	9 -	24 1
アレルギー・膠原病内科	22 1	22 -	20 1	30 -	26 -	30 1
救急救命科	13 (13) -	8 (9) 1	10 (10) -	16 (14) -	8 (8) -	9 (7) -
糖尿病代謝内科	3 -	5 -	7 -	3 -	4 -	2 -
感染症科	7 -	3 -	8 -	9 -	22 -	6 -
腎臓内科・透析科	41 5	40 2	44 (5) 2	39 (3) 3	43 (1) 1	43 (1) 2
小児科	49 -	68 -	63 -	85 -	86 (1) -	64 -
外科	161 (1) 6	158 (3) 11	179 (4) 4	158 (5) 12	175 (3) 11	168 (2) 9
整形外科	64 (3) 2	62 (3) -	74 (2) 1	65 (2) 1	63 (3) 1	58 (1) 2
脳神経外科	76 (2) 6	64 (2) 1	79 (1) 1	58 (2) 1	67 -	72 (1) -
心臓外科	3 6	8 3	6 3	6 3	7 -	6 -
皮膚科	20 -	17 -	21 -	24 -	26 -	23 -
泌尿器科	147 1	153 (1) -	149 (1) 2	138 (1) 3	162 3	154 -
産科	64 1	52 -	64 -	76 -	67 -	68 -
婦人科	42 -	53 (1) -	55 -	62 -	55 2	74 2
眼科	74 -	77 -	97 -	84 -	83 -	73 -
耳鼻咽喉科	43 2	53 (1) -	42 1	39 -	44 -	37 (1) -
新生児科	36 -	30 -	37 -	43 -	37 -	28 -
麻酔科	- -	- -	- -	- -	- -	- -
形成外科	22 (1) 3	30 3	42 (2) 2	30 3	27 2	28 2
歯科・歯科口腔外科	4 -	8 -	10 1	9 -	10 -	8 -
神経精神科	16 1	18 -	23 2	16 -	9 -	21 1
*正常新生児	57 -	45 -	50 -	63 -	54 -	63 -
入院患者数	1,507 (25)	1,566 (23)	1,666 (26)	1,634 (29)	1,658 (18)	1,590 (14)
転科入院数	45	30	37	40	29	24
合計	1,552 (25)	1,596 (23)	1,703 (26)	1,674 (29)	1,687 (18)	1,614 (14)

(注) 上段は入院患者数、下段は転科入院患者数

*1 内科は救急救命医が主治医の場合、救急救命内科として表記する
内科以外の科は救急救命医が主治医の場合、() に表記する

*2 正常出生児は入院患者数、転科入院数及び%に含めず

科名	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比 (%)
消化器内科	240 (1)	217 (1)	212 (1)	215 (3)	204	225	2,723 (15)	14.2
	2	3	-	3	1	1	15	4.2
呼吸器内科	56	57	73	69	58	72	752 (1)	3.9
	1	-	1	1	-	2	11	3.1
循環器内科	213	201 (1)	204	190 (1)	205	230 (1)	2,426 (7)	12.7
	4	1	3	1	4	3	48	13.5
血液内科	56	43	34	36	40	45	530	2.8
	-	-	-	-	-	1	9	2.5
総合内科	67	69	67	78	53	67	837	4.4
	2	-	-	1	-	1	15	4.2
神経内科	13	12	17	15	19	21	197	1.0
	-	-	-	-	-	1	4	1.1
アレルギー・膠原病内科	23 (1)	22	28	19	18	25	285 (1)	1.5
	2	-	-	1	-	-	6	1.7
救急救命科	10 (10)	12 (12)	10 (10)	21 (21)	7 (7)	12 (11)	136 (132)	0.7
	-	-	-	-	-	-	1	0.3
糖尿病代謝内科	3	6	3	3	8	3	50	0.3
	-	-	-	-	-	1	1	0.3
感染症科	3	16	17 (1)	16	1	1	109 (1)	0.6
	-	-	1	-	-	-	1	0.3
腎臓内科・透析科	40	36 (1)	38	46 (3)	31	39 (2)	480 (16)	2.5
	-	-	3	3	1	3	25	7.0
小児科	91	79	73	73	63	68	862 (1)	4.5
	-	-	1	2	-	-	3	0.8
外科	177 (7)	184 (3)	181 (3)	188 (5)	172 (3)	182 (2)	2,083 (41)	10.9
	9	7	13	2	5	9	98	27.6
整形外科	78 (6)	73 (3)	69 (2)	77 (1)	61 (1)	69 (1)	813 (28)	4.3
	1	1	-	1	1	2	13	3.7
脳神経外科	73	67	77 (1)	79 (3)	62 (1)	68	842 (13)	4.4
	-	2	-	-	3	1	15	4.2
心臓外科	10	8	7	3	5	7	76	0.4
	1	1	4	1	3	-	25	7.0
皮膚科	17	19	19	13	13	16	228	1.2
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
泌尿器科	149	151	138	145	134	166	1,786 (3)	9.3
	1	1	2	2	-	1	16	4.5
産科	79	70	57	70	60	60	787	4.1
	-	-	-	-	1	-	2	0.6
婦人科	66	45	48	54 (1)	51	66	671 (2)	3.5
	2	1	1	-	-	1	9	2.5
眼科	85	100	70	87	78	62	970	5.1
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
耳鼻咽喉科	45 (1)	47 (3)	45	33	40	53	521 (6)	2.7
	-	1	-	-	1	1	6	1.7
新生児科	36	37	33	36	29	31	413	2.2
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
麻酔科	-	-	-	-	-	-	0	0.0
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
形成外科	24	23	19	10 (1)	7	5	267 (4)	1.4
	2	-	1	-	2	1	21	5.9
歯科・歯科口腔外科	11	11	6	7	7	10	101	0.5
	-	-	-	-	-	-	1	0.3
神経精神科	9	10	16	9	14	11	172	0.9
	1	-	2	1	1	1	10	2.8
*正常新生児	60	57	51	54	36	57	647	3.4
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
入院患者数	1,674 (26)	1,615 (24)	1,561 (18)	1,592 (39)	1,440 (12)	1,614 (17)	19,117 (271)	100.0
転科入院数	28	18	32	19	23	30	355	100.0
合計	1,702 (26)	1,633 (24)	1,593 (18)	1,611 (39)	1,463 (12)	1,644 (17)	19,472 (271)	-

(注) 上段は入院患者数、下段は転科入院患者数

*1 内科は救急救命医が主治医の場合、救急救命内科として表記する
内科以外の科は救急救命医が主治医の場合、() に表記する

*2 正常出生児は入院患者数、転科入院数及び%に含めず

●退院患者数（2022年度）

科名	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消化器内科	204 (3)	196 (1)	254 (1)	231 (2)	234 (2)	240 (1)
	3	8	3	7	8	7
呼吸器内科	55	74 (1)	49	63	63	58
	3	-	2	2	-	-
循環器内科	229 (2)	175 (1)	206	228	187	187 (1)
	9	7	4	6	-	2
血液内科	43	47	52	44	51	44
	-	1	-	1	1	-
総合内科	77	73	76	70	64	79
	6	1	2	1	2	2
神経内科	26	14	20	13	13	13
	-	-	-	3	-	-
アレルギー・膠原病内科	20	24	19	31	22	27
	4	-	1	1	-	-
救急救命科	10 (11)	12 (12)	10 (11)	10 (10)	13 (12)	7 (7)
	1	-	1	1	-	2
糖尿病代謝内科	4	2	7	6	3	2
	-	-	-	-	-	-
感染症科	8	6	4	5	20	14
	-	-	-	-	1	-
腎臓内科・透析科	45 (2)	39	42 (1)	47 (4)	37 (3)	46
	2	1	3	3	3	-
小児科	49	67	60	84	85 (1)	62
	-	1	-	-	-	-
外科	174 (1)	155 (1)	181 (5)	171 (6)	166 (2)	175 (2)
	2	5	3	5	2	1
整形外科	67 (3)	59 (2)	61 (4)	72 (2)	63 (3)	61 (2)
	-	-	3	2	1	2
脳神経外科	78 (2)	65 (2)	75 (1)	64 (2)	71	64 (1)
	2	2	5	1	2	2
心臓外科	11	9	8	9	5	5
	2	-	3	1	1	-
皮膚科	17	16	23	23	25	19
	1	-	-	1	-	1
泌尿器科	157	143 (1)	160	136 (2)	150	153
	7	1	2	2	4	1
産科	65	58	52	87	59	64
	1	-	-	-	-	-
婦人科	44	60 (1)	49	57	56	73
	-	-	1	2	-	2
眼科	75	74	92	87	86	75
	-	-	-	-	-	1
耳鼻咽喉科	46 (1)	45 (1)	40	41	49	39 (1)
	-	1	1	-	1	-
新生児科	38	26	36	46	41	30
	-	-	-	-	-	-
麻酔科	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
形成外科	27 (1)	27	44 (2)	37	31	27
	1	1	3	2	2	1
歯科・歯科口腔外科	4	7	10	9	7	12
	-	-	-	-	-	-
神経精神科	12	17	24	20	11	13
	1	1	-	-	1	-
*正常新生児	52	52	45	66	53	57
	-	-	-	-	-	-
退院患者数	1,585 (26)	1,490 (23)	1,654 (25)	1,691 (28)	1,612 (23)	1,589 (15)
転科退院数	45	30	37	41	29	24
合計	1,630 (26)	1,520 (23)	1,691 (25)	1,732 (28)	1,641 (23)	1,613 (15)

(注) 上段は退院患者数、下段は転科退院患者数

*1 内科は救急救命医が主治医の場合、救急救命内科として表記する

内科以外の科は救急救命医が主治医の場合、() に表記する

*2 正常出生児は退院患者数、転科退院数及び%に含めず

科名	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比 (%)
消化器内科	234 (1)	219	223 (1)	192 (4)	213	233	2,673 (16)	13.9
	7	7	10	2	6	7	75	21.1
呼吸器内科	57	63	66	58	57	84	747 (1)	3.9
	-	-	1	-	-	1	9	2.5
循環器内科	213	197	220 (1)	159 (1)	195	250 (1)	2,446 (7)	12.7
	3	1	9	2	5	2	50	14.0
血液内科	50	50	44	29	39	41	534	2.8
	-	1	-	-	1	-	5	1.4
総合内科	64	64	70	73	59	70	839	4.4
	3	2	1	1	2	1	24	6.7
神経内科	18	15	16	11	20	25	204	1.1
	1	-	-	-	-	-	4	1.1
アレルギー・膠原病内科	30	18 (1)	33	21	16	24	285 (1)	1.5
	-	-	-	1	-	1	8	2.2
救急救命科	8 (9)	12 (12)	7 (9)	18 (19)	9 (9)	11 (12)	127 (133)	0.7
	1	-	2	1	-	2	11	3.1
糖尿病代謝内科	4	3	6	2	2	9	50	0.3
	1	-	-	-	-	1	2	0.6
感染症科	4	6	24 (1)	15	5	2	113 (1)	0.6
	-	-	-	-	-	-	1	0.3
腎臓内科・透析科	39 (1)	39 (1)	45	36 (2)	35	40	490 (14)	2.5
	1	3	2	3	-	1	22	6.2
小児科	92	84	77	74	64	68	866 (1)	4.5
	-	-	-	-	-	-	1	0.3
外科	191 (5)	191 (6)	211 (2)	160 (3)	175 (3)	200 (4)	2,150 (40)	11.2
	3	4	1	4	3	3	36	10.1
整形外科	71 (6)	69 (2)	88 (3)	58	63 (1)	74 (1)	806 (29)	4.2
	1	-	-	1	2	2	14	3.9
脳神経外科	72	58	86 (1)	63 (3)	72 (1)	81	849 (13)	4.4
	1	-	-	2	1	1	19	5.3
心臓外科	9	6	11	10	2	11	96	0.5
	-	-	2	1	2	-	12	3.4
皮膚科	23	16	18	14	15	19	228	1.2
	-	-	-	-	-	-	3	0.8
泌尿器科	157	149	155	125	143	160	1,788 (3)	9.3
	2	-	-	-	-	3	22	6.2
産科	77	75	68	65	52	68	790	4.1
	-	-	-	-	-	-	1	0.3
婦人科	69	47	54	50 (1)	53	57	669 (2)	3.5
	-	-	1	-	-	-	6	1.7
眼科	80	100	78	77	77	72	973	5.1
	-	-	1	-	-	-	2	0.6
耳鼻咽喉科	39 (1)	50 (2)	45	39 (1)	36	49	518 (7)	2.7
	-	-	-	-	-	3	6	1.7
新生児科	31	36	38	33	28	37	420	2.2
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
麻酔科	-	-	-	-	-	-	0	0.0
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
形成外科	24	23	20	9 (1)	8	8	285 (4)	1.5
	3	-	1	1	-	1	16	4.5
歯科・歯科口腔外科	10	10	7	8	5	12	101	0.5
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
神経精神科	14	9	11	12	16	11	170	0.9
	1	-	1	-	1	1	7	2.0
*正常新生児	65	60	53	53	33	60	649	3.4
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
退院患者数	1,680 (23)	1,609 (24)	1,721 (18)	1,411 (35)	1,459 (14)	1,716 (18)	19,217 (272)	100.0
転科退院数	28	18	32	19	23	30	356	100.0
合計	1,708 (23)	1,627 (24)	1,753 (18)	1,430 (35)	1,482 (14)	1,746 (18)	19,573 (272)	-

(注) 上段は退院患者数、下段は転科退院患者数

*1 内科は救急救命医が主治医の場合、救急救命内科として表記する
内科以外の科は救急救命医が主治医の場合、() に表記する

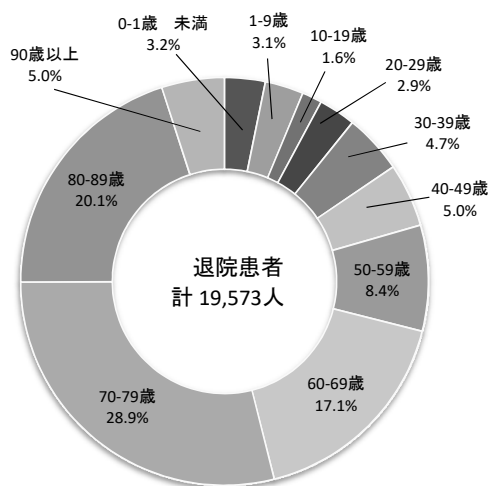
*2 正常出生児は退院患者数、転科退院数及び%に含めず

●科別・年齢別・性別退院患者数（2022年度）

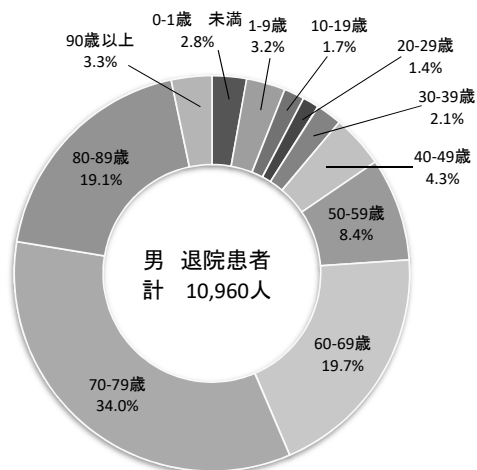
科・性別		年齢階層								
		0-1歳 未満	1-9歳	10-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳
合計（人）	計	632	597	311	572	923	986	1,644	3,354	5,651
	男	309	350	183	148	231	474	925	2,154	3,728
	女	323	247	128	424	692	512	719	1,200	1,923
構成比（%）	計	3.2	3.1	1.6	2.9	4.7	5.0	8.4	17.1	28.9
	男	2.8	3.2	1.7	1.4	2.1	4.3	8.4	19.7	34.0
	女	3.8	2.9	1.5	4.9	8.0	5.9	8.3	13.9	22.3
消化器内科	男	-	-	2	10	20	52	145	359	630
	女	-	-	-	13	15	22	79	170	292
呼吸器内科	男	-	-	2	1	7	9	30	82	200
	女	-	-	-	2	1	2	8	30	55
循環器内科	男	-	-	5	11	20	66	149	339	620
	女	-	-	-	-	5	19	50	111	253
血液内科	男	-	-	1	3	6	11	34	74	127
	女	-	-	-	2	2	12	37	47	60
総合内科	男	-	-	-	3	7	25	41	82	157
	女	-	-	3	7	7	14	32	34	89
神経内科	男	-	-	1	-	3	5	7	19	34
	女	-	-	-	-	3	7	9	18	27
アレルギー・膠原病内科	男	-	-	1	3	3	3	13	18	51
	女	-	-	3	5	8	2	18	43	53
救急救命科	男	-	-	-	7	2	6	7	11	17
	女	-	-	2	4	6	9	9	6	7
糖尿病代謝内科	男	-	-	-	1	-	5	6	5	7
	女	-	-	-	2	3	5	3	5	6
感染症科	男	-	-	-	1	3	3	5	3	7
	女	-	-	-	1	-	1	3	3	11
腎臓内科・透析科	男	-	-	2	3	13	14	38	79	103
	女	-	-	3	5	6	7	22	31	48
小児科	男	114	302	67	3	2	-	-	-	-
	女	96	218	54	3	4	4	-	-	-
外科	男	-	-	20	26	23	61	104	297	463
	女	-	-	8	15	21	74	126	178	276
整形外科	男	1	12	32	13	15	29	42	65	88
	女	1	3	7	7	5	18	31	84	111
脳神経外科	男	1	-	4	8	12	16	42	99	165
	女	-	6	-	6	3	10	46	62	92
心臓外科	男	-	-	-	-	2	3	7	16	30
	女	-	-	-	-	-	3	3	14	16
皮膚科	男	-	-	3	2	5	9	11	24	39
	女	-	-	1	2	1	5	7	11	12
泌尿器科	男	-	4	8	8	26	53	124	365	646
	女	-	-	2	9	8	25	36	71	84
産科	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	8	267	467	49	-	-	-
婦人科	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	8	31	93	159	98	113	143
眼科	男	-	-	3	1	7	18	34	96	227
	女	-	3	2	1	2	12	29	86	206
耳鼻咽喉科	男	-	15	13	25	23	43	37	65	65
	女	-	4	11	32	6	33	23	44	37
新生児科	男	192	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	226	2	-	-	-	-	-	-	-
麻酔科	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
形成外科	男	1	13	12	6	14	21	20	37	31
	女	-	9	4	-	8	6	23	21	27
歯科・歯科口腔外科	男	-	4	6	7	10	5	4	6	7
	女	-	-	3	5	8	2	3	7	9
神経精神科	男	-	-	1	6	8	17	25	13	14
	女	-	2	9	5	10	12	24	11	9

科・性別	年齢階層		合計	平均年齢	
	80-89歳	90歳以上			
合計(人)	計	3,928	975	19,573	63.7
	男	2,095	363	10,960	65.2
構成比(%)	計	20.1	5.0	100.0	0.0
	男	19.1	3.3	100.0	0.0
消化器内科	男	407	65	1,690	72.0
	女	350	117	1,058	75.2
呼吸器内科	男	162	46	539	75.1
	女	75	44	217	79.1
循環器内科	男	355	53	1,618	71.2
	女	319	121	878	77.6
血液内科	男	59	11	326	70.3
	女	48	5	213	69.1
総合内科	男	114	38	467	72.4
	女	120	90	396	76.5
神経内科	男	26	9	104	72.1
	女	24	16	104	73.3
アレルギー・膠原病内科	男	30	1	123	70.4
	女	35	3	170	67.4
救急救命科	男	14	7	71	66.4
	女	14	10	67	63.3
糖尿病代謝内科	男	1	-	25	60.6
	女	3	-	27	57.6
感染症科	男	25	8	55	74.4
	女	14	26	59	83.4
腎臓内科・透析科	男	74	9	335	68.8
	女	42	13	177	69.4
小児科	男	-	-	488	4.0
	女	-	-	379	4.6
外科	男	255	19	1,268	68.5
	女	189	31	918	67.8
整形外科	男	61	13	371	59.5
	女	131	51	449	72.5
脳神経外科	男	132	23	502	71.1
	女	111	30	366	71.7
心臓外科	男	4	2	64	67.9
	女	8	-	44	70.4
皮膚科	男	44	7	144	70.2
	女	35	13	87	74.9
泌尿器科	男	216	36	1,486	69.6
	女	65	24	324	68.4
産科	男	-	-	0	0.0
	女	-	-	791	31.7
婦人科	男	-	-	0	0.0
	女	30	-	675	55.0
眼科	男	72	5	463	70.7
	女	163	8	512	73.7
耳鼻咽喉科	男	19	8	313	54.3
	女	20	1	211	53.4
新生児科	男	-	-	192	0.0
	女	-	-	228	0.0
麻酔科	男	-	-	0	0.0
	女	-	-	0	0.0
形成外科	男	18	3	176	53.3
	女	21	6	125	60.4
歯科・歯科口腔外科	男	4	-	53	43.7
	女	9	2	48	57.0
神経精神科	男	3	-	87	54.4
	女	7	1	90	49.9

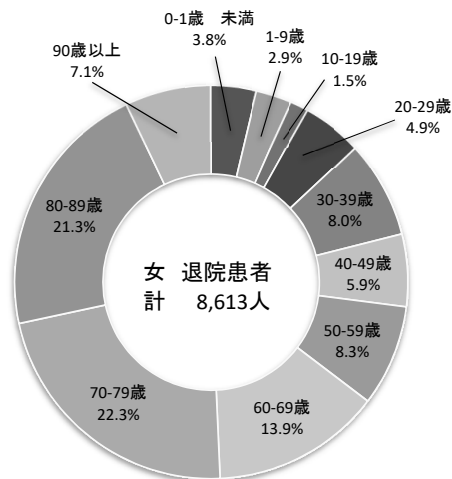
退院患者年齢分布(男女計)



退院患者年齢分布(男)



退院患者年齢分布(女)





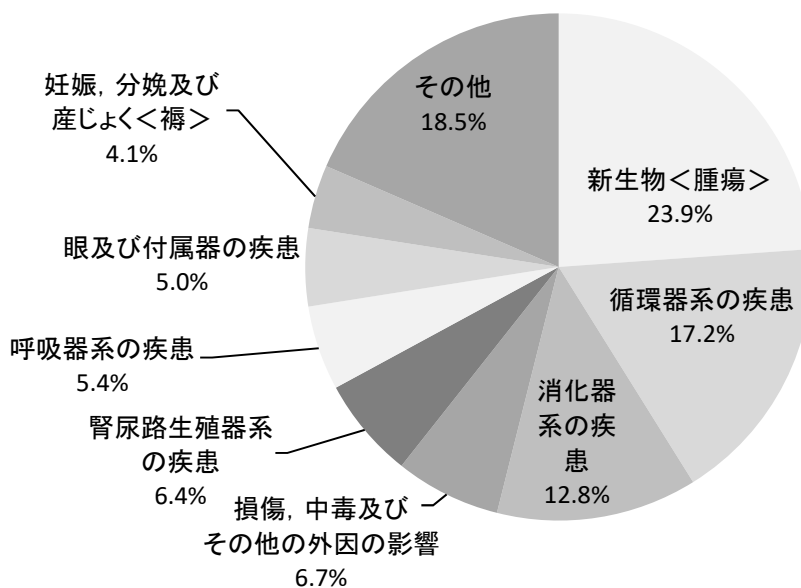
疾病分類別統計



●全科疾病分類別集計（2022年度）

コード	分類名	件数	構成比(%)	平均在院 日数
I	感染症及び寄生虫症	365	1.9	17.6
II	新生物<腫瘍>	4,672	23.9	14.1
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	84	0.4	17.2
IV	内分泌, 栄養及び代謝疾患	358	1.8	17.5
V	精神及び行動の障害	198	1.0	67.1
VI	神経系の疾患	333	1.7	20.2
VII	眼及び付属器の疾患	971	5.0	4.1
VIII	耳及び乳様突起の疾患	80	0.4	5.5
IX	循環器系の疾患	3,375	17.2	14.6
X	呼吸器系の疾患	1,054	5.4	16.7
X I	消化器系の疾患	2,509	12.8	10.0
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	212	1.1	17.7
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	506	2.6	25.2
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	1,262	6.4	13.0
X V	妊娠, 分娩及び産じょく<褥>	796	4.1	8.3
X VI	周産期に発生した病態	417	2.1	12.3
X VII	先天奇形, 変形及び染色体異常	105	0.5	23.2
X VIII	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	201	1.0	12.6
X IX	損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,318	6.7	18.1
X X	傷病及び死亡の外因	0	0.0	0.0
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	468	2.4	4.1
X X II	エマージェンシーコード (COVID-19)	289	1.5	15.1
合計		19,573	100.0	14.1

全科疾病別割合



●全科疾病分類別上位頻度表 (2022年度)

I 感染症及び寄生虫症		コード	件数	構成比 (%)
1	その他の敗血症	A41	67	18.4
2	その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの	A09	54	14.8
3	部位不明の細菌感染症	A49	41	11.2
4	ウイルス性及びその他の明示された腸管感染症	A08	25	6.8
4	帯状疱疹 [帯状ヘルペス]	B02	25	6.8
6	部位不明のウイルス感染症	B34	20	5.5
7	皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症, 他に分類されないもの	B08	14	3.8
8	その他の細菌性腸管感染症	A04	11	3.0
9	その他の腸ぜんく癖> 虫症, 他に分類されないもの	B81	10	2.7
10	その他の細菌性疾患, 他に分類されないもの	A48	7	1.9
11	その他		91	24.9
合計			365	100.0

II 新生物		コード	件数	構成比 (%)
1	大腸の悪性新生物	C18-C20	449	9.6
2	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	C61	400	8.6
3	胃の悪性新生物<腫瘍>	C16	374	8.0
4	気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	C34	322	6.9
5	脾の悪性新生物<腫瘍>	C25	242	5.2
6	膀胱の悪性新生物<腫瘍>	C67	201	4.3
7	乳房の悪性新生物<腫瘍>	C50	170	3.6
8	結腸, 直腸, 肛門及び肛門管の良性新生物<腫瘍>	D12	167	3.6
9	非ろ<濾>胞性リンパ腫	C83	156	3.3
10	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	C22	140	3.0
11	その他		2,051	43.9
合計			4,672	100.0

III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		コード	件数	構成比 (%)
1	紫斑病及びその他の出血性病態	D69	19	22.6
2	サルコイドーシス	D86	15	17.9
3	無顆粒球症	D70	14	16.7
4	その他の貧血	D64	9	10.7
5	鉄欠乏性貧血	D50	7	8.3
6	その他の無形成性貧血	D61	5	6.0
7	リンパ細胞網織及び細胞網織球組織のその他の明示された疾患	D76	3	3.6
8	後天性赤芽球ろう<病> [赤芽球減少症]	D60	2	2.4
8	その他の凝固障害	D68	2	2.4
8	その他の免疫機構の障害, 他に分類されないもの	D89	2	2.4
11	その他		6	7.1
合計			84	100.0

IV 内分泌, 栄養および代謝疾患		コード	件数	構成比 (%)
1	2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	E11	119	33.2
2	その他の体液, 電解質及び酸塩基平衡障害	E87	55	15.4
3	下垂体機能低下症及びその他の下垂体障害	E23	34	9.5
4	その他の非中毒性甲状腺腫	E04	21	5.9
5	ミネラル<鈣質>代謝障害	E83	18	5.0
6	その他の膵内分泌障害	E16	17	4.7
7	アミロイドーシス<アミロイド症>	E85	14	3.9
8	1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>	E10	13	3.6
9	副甲状腺<上皮小体>機能亢進症及びその他の副甲状腺<上皮小体>障害	E21	11	3.1
9	その他の副腎障害	E27	11	3.1
11	その他		45	12.6
合計			358	100.0

V 精神および行動の障害				構成比 (%)
コード	件数	構成比 (%)		
1	57	28.8	F20	統合失調症
2	35	17.7	F31	双極性感情障害<躁うつ病>
3	23	11.6	F32	うつ病エピソード
4	12	6.1	F10	アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害
5	9	4.5	F25	統合失調感情障害
5	9	4.5	F50	摂食障害
7	6	3.0	F84	広汎性発達障害
8	5	2.5	F43	重度ストレスへの反応及び適応障害
9	4	2.0	F05	せん妄, アルコールその他の精神作用物質によらないもの
9	4	2.0	F23	急性一過性精神病性障害
11	34	17.2		その他
合計				198 100.0

VII 眼および付属器の疾患				構成比 (%)
コード	件数	構成比 (%)		
1	641	66.0	H25	老人性白内障
2	97	10.0	H35	その他の網膜障害
3	95	9.8	H40	緑内障
4	54	5.6	H02	眼瞼のその他の障害
5	38	3.9	H33	網膜剥離及び裂孔
6	18	1.9	H43	硝子体の障害
7	5	0.5	H50	その他の斜視
8	4	0.4	H16	角膜炎
9	3	0.3	H26	その他の白内障
9	3	0.3	H30	網脈絡膜の炎症
11	13	1.3		その他
合計				971 100.0

VI 神経系の疾患				構成比 (%)
コード	件数	構成比 (%)		
1	95	28.5	G40	てんかん
2	28	8.4	G51	顔面神経障害
3	25	7.5	G47	睡眠障害
4	22	6.6	G91	水頭症
5	18	5.4	G20	パーキンソン<Parkinson>病
6	15	4.5	G04	脳炎, 脊髄炎及び脳脊髄炎
7	14	4.2	G90	自律神経系の障害
8	13	3.9	G45	一過性脳虚血発作及び関連症候群
9	11	3.3	G50	三叉神経障害
10	9	2.7	G41	てんかん重積(状態)
11	83	24.9		その他
合計				333 100.0

VIII 耳および乳突突起の疾患				構成比 (%)
コード	件数	構成比 (%)		
1	24	30.0	H91	その他の難聴
2	18	22.5	H71	中耳真珠腫
3	14	17.5	H81	前庭機能障害
4	13	16.3	H66	化膿性及び詳細不明の中耳炎
5	4	5.0	H65	非化膿性中耳炎
6	3	3.8	H61	その他の外耳障害
7	2	2.5	H72	鼓膜穿孔
8	1	1.3	H70	乳(様)突(起)炎及び関連病態
8	1	1.3	H90	伝音及び感音難聴
合計				80 100.0

IX 循環器系の疾患				構成比 (%)
コード	件数	構成比 (%)		
1 狭心症	I20	499	14.8	
2 脳梗塞	I63	452	13.4	
3 心不全	I50	360	10.7	
4 心房細動及び粗動	I48	300	8.9	
5 急性心筋梗塞	I21	291	8.6	
6 アテローム<じゅく>粥<状>硬化(症)	I70	233	6.9	
7 脳内出血	I61	169	5.0	
8 非リウマチ性大動脈弁障害	I35	154	4.6	
9 大動脈瘤及び解離	I71	124	3.7	
10 動脈の塞栓症及び血栓症	I74	83	2.5	
11 その他		710	21.0	
合計			3,375	100.0

XI 消化器系の疾患				構成比 (%)
コード	件数	構成比 (%)		
1 胆石症	K80	905	36.1	
2 そけい<腸径>ヘルニア	K40	230	9.2	
3 腸の憩室性疾患	K57	149	5.9	
4 消化器系の処置後障害, 他に分類されないもの	K91	132	5.3	
5 急性虫垂炎	K35	119	4.7	
6 胆道のその他の疾患	K83	107	4.3	
7 麻痺性イレウス及び腸閉塞, ヘルニアを伴わないもの	K56	104	4.1	
8 急性痔瘻	K85	72	2.9	
9 胃潰瘍	K25	69	2.8	
10 十二指腸潰瘍	K26	54	2.2	
11 その他		568	22.6	
合計			2,509	100.0

X 呼吸器系の疾患				構成比 (%)
コード	件数	構成比 (%)		
1 固形物及び液体状物による肺臓炎	J69	150	14.2	
2 細菌性肺炎, 他に分類されないもの	J15	119	11.3	
3 肺炎, 病原体不詳	J18	85	8.1	
4 その他の間質性肺疾患	J84	76	7.2	
5 慢性副鼻腔炎	J32	62	5.9	
6 喘息	J45	58	5.5	
7 扁桃周囲膿瘍	J36	49	4.6	
8 気胸	J93	42	4.0	
9 その他の慢性閉塞性肺疾患	J44	40	3.8	
10 急性細気管支炎	J21	38	3.6	
11 その他		335	31.8	
合計			1,054	100.0

XII 皮膚および皮下組織の疾患				構成比 (%)
コード	件数	構成比 (%)		
1 蜂巣炎<蜂窩織炎>	L03	88	41.5	
2 皮膚膿瘍, せつ<フルンケル>及びよ<カルブケル>	L02	22	10.4	
3 じょ<瘡>瘡性潰瘍及び圧迫領域	L89	18	8.5	
4 下肢の潰瘍, 他に分類されないもの	L97	10	4.7	
5 円形脱毛症	L63	9	4.2	
6 頬天疱瘡	L12	8	3.8	
6 皮膚及び皮下組織の毛包のう<囊>胞	L72	8	3.8	
8 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症	L08	6	2.8	
9 多形紅斑	L51	5	2.4	
9 非電離放射線の慢性曝露による皮膚変化	L57	5	2.4	
11 その他		33	15.6	
合計			212	100.0

X III 筋骨格系および結合組織の疾患			
コード	件数	構成比 (%)	
1	50	9.8	その他の脊椎障害
2	44	8.7	結節性多発(性)動脈炎及び関連病態
3	41	8.1	その他の全身性結合組織疾患
4	33	6.5	膝関節症 [膝の関節症]
5	29	5.7	股関節症 [股関節部の関節症]
5	29	5.7	その他のえくぼ<壊>死性血管障害
5	29	5.7	脊椎症
8	23	4.5	全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡> <SLE>
9	22	4.3	その他の関節リウマチ
9	22	4.3	骨髄炎
11	186	36.6	その他
合計			508 100.0

X IV 泌尿器系の疾患			
コード	件数	構成比 (%)	
1	302	23.9	腎結石及び尿管結石
2	192	15.2	急性尿管管間質性腎炎
3	186	14.7	慢性腎不全
4	67	5.3	前立腺肥大(症)
5	62	4.9	泌尿系その他の障害
6	56	4.4	急性腎不全
7	35	2.8	下部尿路結石
8	32	2.5	反復性及び持続性血尿
9	26	2.1	ネフローゼ症候群
9	26	2.1	子宮内膜炎
11	278	22.0	その他
合計			1,262 100.0

X V 妊娠、分娩および産じょく(褥)			
コード	件数	構成比 (%)	
1	191	24.0	分娩における会陰裂傷<laceration>
2	108	13.6	前期破水
3	80	10.1	既知の母体骨器臓器の異常又はその疑いのための母体ケア
4	72	9.0	娩出力の異常
5	34	4.3	胎児ストレス [仮死<ジストレス>] を合併する分娩
6	31	3.9	切迫早産及び早産
7	29	3.6	子かん<痲>前症
8	22	2.8	既知の胎位異常又はその疑いのための母体ケア
9	21	2.6	分娩後出血
10	17	2.1	その他の産科的外傷
11	191	24.0	その他
合計			796 100.0

X VI 周産期に発生した病態			
コード	件数	構成比 (%)	
1	131	31.4	新生児の呼吸窮<促>迫
2	96	23.0	妊娠期間短縮及び低出生体重に関連する障害、他に分類されないもの
3	73	17.5	その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸
4	27	6.5	胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害
5	18	4.3	新生児の哺乳上の問題
6	17	4.1	周産期に発生したその他の呼吸器病態
7	14	3.4	現在の妊娠とは無関係の場合もありうる母体の病態により影響を受けた胎児及び新生児
8	6	1.4	その他の分娩合併症により影響を受けた胎児及び新生児
8	6	1.4	新生児のその他の体温調節機能障害
10	5	1.2	新生児の細菌性敗血症
11	24	5.8	その他
合計			417 100.0

X VII 先天性奇形、変形および染色体異常		コード	件数	構成比 (%)
1	喉頭の先天奇形	Q31	25	23.8
2	顔面及び顔部のその他の先天奇形	Q18	12	11.4
3	循環器系のその他の先天奇形	Q28	9	8.6
4	のうく囊>胞性腎疾患	Q61	6	5.7
5	心(臓)中隔の先天奇形	Q21	4	3.8
5	末梢血管系のその他の先天奇形	Q27	4	3.8
5	唇裂を伴う口蓋裂	Q37	4	3.8
5	皮膚のその他の先天奇形	Q82	4	3.8
5	多系統におよぶその他の明示された先天奇形症候群	Q87	4	3.8
10	腸のその他の先天奇形	Q43	3	2.9
11	その他		30	28.6
合計			105	100.0

X VIII 症状、徴候および異常臨床所見		コード	件数	構成比 (%)
1	けいれん<痙攣>、他に分類されないもの	R56	56	27.9
2	その他の原因による熱及び不明熱	R50	31	15.4
3	悪心及び嘔吐	R11	14	7.0
3	食物及び水分摂取に関する症状及び徴候	R63	14	7.0
5	傾眠、昏迷及び昏睡	R40	11	5.5
6	気道からの出血	R04	8	4.0
6	循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候	R09	8	4.0
8	失神及び虚脱	R55	7	3.5
9	え<瘰>痕、他に分類されないもの	R02	6	3.0
9	身体標準発育不足	R62	6	3.0
11	その他		40	19.9
合計			201	100.0

X IX 損傷、中毒およびその他の外因の影響		コード	件数	構成比 (%)
1	頭蓋内損傷	S06	257	19.5
2	大腿骨骨折	S72	237	18.0
3	有害作用、他に分類されないもの	T78	80	6.1
4	下腿の骨折、足首を含む	S82	73	5.5
5	処置の合併症、他に分類されないもの	T81	67	5.1
6	心臓及び血管のプロステシス、挿入物及び移植片の合併症	T82	64	4.9
7	腰椎及び骨盤の骨折	S32	49	3.7
8	肩及び上腕の骨折	S42	45	3.4
9	その他及び詳細不明の胸腔内臓器の損傷	S27	34	2.6
10	その他の体内プロステシス、挿入物及び移植片の合併症	T85	32	2.4
11	その他		380	28.8
合計			1,318	100.0

X X I 健康に影響をおよぼす要因および健康サービスの利用		コード	件数	構成比 (%)
1	疾病及び病態の疑いに対する医学的観察及び評価	Z03	298	63.7
2	移植された器具の調整及び管理	Z45	73	15.6
3	その他の整形外科的経過観察<フォローアップ>ケア	Z47	47	10.0
4	人工開口部に対する手当て	Z43	27	5.8
5	臓器及び組織の提供者<ドナー>	Z52	7	1.5
6	形成手術後の経過観察<フォローアップ>ケア	Z42	6	1.3
7	特定の処置のための保健サービスの利用者、未施行	Z53	4	0.9
8	悪性新生物<腫瘍>以外の病態の経過観察<フォローアップ>検査	Z09	2	0.4
9	愁訴がない又は診断名の記載がない者の一般検査及び診査	Z00	1	0.2
9	分娩後のケア及び検査	Z39	1	0.2
11	その他		2	0.4
合計			468	100.0



悪性新生物統計



●部位別退院患者件数（2022年度）

※再入院患者の場合も含む

男女計	順位	疾病部位	件数	構成比 (%)
	1	大腸	449	10.9
	2	前立腺	400	9.7
	3	胃	374	9.1
	4	気管支及び肺	322	7.8
	5	脾	242	5.9
	6	膀胱	201	4.9
	7	乳房	170	4.1
	8	非ろく濾> 胞性リンパ腫	156	3.8
	9	肝及び肝内胆管	140	3.4
	10	その他及び部位不明の胆道	125	3.0
	11	その他	1,546	37.5
合 計			4,125	100.0

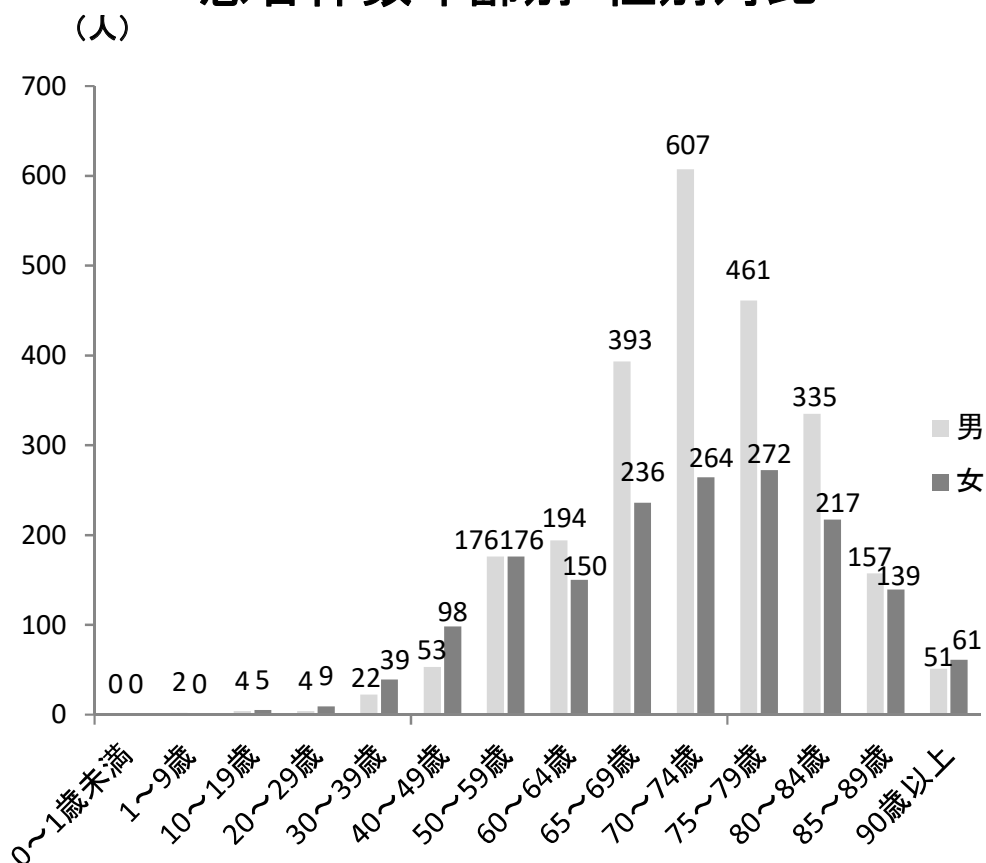
男	順位	疾病部位	件数	構成比 (%)
	1	前立腺	400	16.3
	2	大腸	272	11.1
	3	胃	265	10.8
	4	気管支及び肺	235	9.6
	5	膀胱	150	6.1
	6	脾	127	5.2
	7	肝及び肝内胆管	95	3.9
	8	食道	93	3.8
	9	非ろく濾> 胞性リンパ腫	84	3.4
	10	その他及び部位不明の胆道	80	3.3
	11	その他	658	26.8
合 計			2,459	100.0

女	順位	疾病部位	件数	構成比 (%)
	1	大腸	177	10.6
	2	乳房	170	10.2
	3	脾	115	6.9
	4	子宮体部	114	6.8
	5	胃	109	6.5
	6	子宮頸部	95	5.7
	7	卵巣	91	5.5
	8	気管支及び肺	87	5.2
	9	非ろく濾> 胞性リンパ腫	72	4.3
	10	膀胱	51	3.1
	11	その他	585	35.1
合 計			1,666	100.0

●年齢別患者件数（2022年度）

年齢区分	性別		男女計
	男	女	
0～1歳未満	0	0	0
1～9歳	2	0	2
10～19歳	4	5	9
20～29歳	4	9	13
30～39歳	22	39	61
40～49歳	53	98	151
50～59歳	176	176	352
60～64歳	194	150	344
65～69歳	393	236	629
70～74歳	607	264	871
75～79歳	461	272	733
80～84歳	335	217	552
85～89歳	157	139	296
90歳以上	51	61	112
合計	2,459	1,666	4,125

患者件数年齢別・性別対比



● 部位順位表 性別・年齢 (2022年度)

性別	年齢階層	順位		1	2	3	4	5
		患者数						
男 計 2,459	0～1歳未満	0	-	0	-	0	-	0
	1～9歳	2	脳	2	-	0	-	0
	10～19歳	4	その他の内分泌腺及び関連組織	2	甲状腺	1	骨髄性白血病	1
	20～29歳	4	その他の内分泌腺及び関連組織	3	大腸	1	-	0
	30～39歳	22	精巣<嚢丸>	11	気管支及び肺	3	骨髄性白血病	3
	40～49歳	53	大腸	15	皮膚のその他	6	気管支及び肺	4
	50～59歳	176	大腸	26	胃	20	気管支及び肺	20
	60～64歳	194	大腸	26	前立腺	22	気管支及び肺	19
	65～69歳	393	前立腺	74	胃	42	膀胱	39
	70～74歳	607	前立腺	148	大腸	66	胃	64
	75～79歳	461	前立腺	70	胃	56	気管支及び肺	54
	80～84歳	335	前立腺	53	大腸	43	胃	37
	85～89歳	157	胃	31	その他及び部位不明の胆道	15	大腸	14
	90歳以上	51	膀胱	9	皮膚のその他	6	大腸	5
	女 計 1,666	0～1歳未満	0	-	0	-	0	-
1～9歳		0	-	0	-	0	-	0
10～19歳		5	卵巣	2	脳	2	骨髄性白血病	1
20～29歳		9	膀胱	4	子宮頸(部)の上皮内癌	2	大腸	1
30～39歳		39	子宮頸部	19	子宮頸(部)の上皮内癌	13	乳房	5
40～49歳		98	乳房	22	子宮頸(部)の上皮内癌	17	子宮頸部	14
50～59歳		176	乳房	28	子宮頸部	20	大腸	19
60～64歳		150	卵巣	21	乳房	15	子宮体部	15
65～69歳		236	乳房	26	大腸	22	食道	21
70～74歳		264	乳房	33	大腸	30	膀胱	24
75～79歳		272	子宮体部	38	大腸	28	乳房	22
80～84歳		217	大腸	26	膀胱	21	胃	19
85～89歳		139	大腸	27	膀胱	14	その他及び部位不明の胆道	11
90歳以上		61	皮膚のその他	11	大腸	9	胃	5

性別	年齢階層	6	7	8	9	10	11						
男	0～1歳未満	-	0	-	0	-	0						
	1～9歳	-	0	-	0	-	0						
	10～19歳	-	0	-	0	-	0						
	20～29歳	-	0	-	0	-	0						
	30～39歳	呼吸器及び消化器の続発性	1	その他の部位及び部位不明の続発性	1	-	0	0					
	40～49歳	腎盂を除く腎	3	胸腺	2	膀胱	2	リンパ性白血病	2	骨髄性白血病	2	その他及び部位不明の大唾液腺	1
	50～59歳	腎盂	7	脾	6	肝及び肝内胆管	5	その他の部位及び部位不明の続発性	5	精巣<睾丸>	5	腎盂を除く腎	4
	60～64歳	胃	11	膀胱	10	肝及び肝内胆管	9	骨髄性白血病	8	非ろ<濾>胞性リンパ腫	7	その他及び部位不明の胆道	5
	65～69歳	気管支及び肺	27	骨髄異形成症候群	16	食道	13	肝及び肝内胆管	12	下咽頭	10	呼吸器及び消化器の続発性	9
	70～74歳	膀胱	32	食道	21	肝及び肝内胆管	21	その他及び部位不明の胆道	15	非ろ<濾>胞性リンパ腫	15	呼吸器及び消化器の続発性	13
	75～79歳	食道	26	脾	23	肝及び肝内胆管	22	その他及び部位不明の胆道	22	非ろ<濾>胞性リンパ腫	20	骨髄異形成症候群	17
	80～84歳	その他及び部位不明の胆道	16	膀胱	16	骨髄性白血病	16	脾	12	食道	11	皮膚のその他	9
	85～89歳	皮膚のその他	9	非ろ<濾>胞性リンパ腫	9	膀胱	8	肝及び肝内胆管	5	その他及び部位不明の上皮内癌	5	食道	4
90歳以上	胃	4	中咽頭	3	肝及び肝内胆管	2	非ろ<濾>胞性リンパ腫	2	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	2	食道	1	
女	0～1歳未満	-	0	-	0	-	0						
	1～9歳	-	0	-	0	-	0						
	10～19歳	-	0	-	0	-	0						
	20～29歳	-	0	-	0	-	0						
	30～39歳	-	0	-	0	-	0						
	40～49歳	甲状腺	7	非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	6	鼻<上>咽頭	3	胃	3	呼吸器及び消化器の続発性	3	気管支及び肺	2
	50～59歳	卵巣	10	骨髄性白血病	10	子宮頸(部)の上皮内癌	9	胃	8	呼吸器及び消化器の続発性	6	脾	5
	60～64歳	脾	9	大腸	8	気管支及び肺	8	非ろ<濾>胞性リンパ腫	8	腎盂	4	リンパ性白血病	4
	65～69歳	非ろ<濾>胞性リンパ腫	17	胃	14	子宮頸部	14	卵巣	11	気管支及び肺	10	呼吸器及び消化器の続発性	7
	70～74歳	気管支及び肺	21	肝及び肝内胆管	15	膀胱	13	後腹膜及び腹膜	8	卵巣	8	骨髄異形成症候群	7
	75～79歳	胃	17	非ろ<濾>胞性リンパ腫	16	卵巣	15	骨髄異形成症候群	13	呼吸器及び消化器の続発性	10	その他及び部位不明の胆道	9
	80～84歳	その他及び部位不明の胆道	14	気管支及び肺	14	肝及び肝内胆管	11	乳房	9	皮膚のその他	8	膀胱	8
	85～89歳	乳房	8	膀胱	8	皮膚のその他	7	非ろ<濾>胞性リンパ腫	6	尿管	4	皮膚の上皮内癌	4
90歳以上	その他及び部位不明の胆道	3	脾	3	腎盂	3	膀胱	3	肛門及び肛門管	2	胆のう<囊>	2	

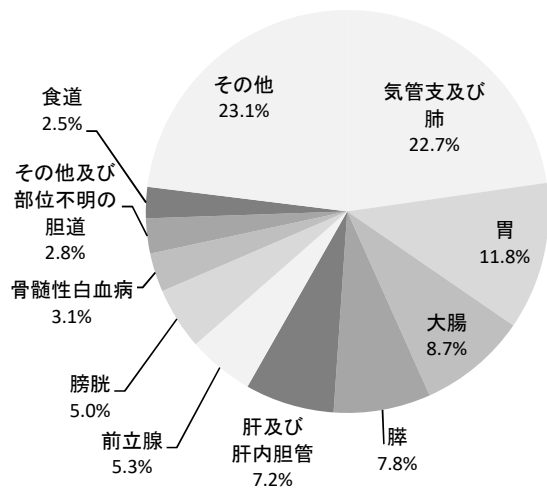
性別	年齢階層	12	13	14	15	16	17	
男	0～1歳未満	-	0	-	0	-	0	
	1～9歳	-	0	-	0	-	0	
	10～19歳	-	0	-	0	-	0	
	20～29歳	-	0	-	0	-	0	
	30～39歳	-	0	-	0	-	0	
	40～49歳	精巣<睾丸>	1 脳	1 甲状腺	1 呼吸器及び消化器の続発性	1 ホジキン<Hodgkin>病	1 ろ<濾>胞性リンパ腫	1
	50～59歳	尿管	4 膀胱	4 呼吸器及び消化器の続発性	4 骨髄性白血病	4 その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	4 小腸	3
	60～64歳	リンパ性白血病	5 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	4 呼吸器及び消化器の続発性	3 その他の部位及び部位不明の続発性	3 細胞型不明の白血病	3 舌のその他及び部位不明	2
	65～69歳	腎盂を除く腎	7 腎盂	6 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	6 梨状陥凹<洞>	5 皮膚のその他	5 非ろ<濾>胞性リンパ腫	5
	70～74歳	その他及び部位不明の上皮内癌	13 骨髄異形成症候群	12 腎盂を除く腎	8 腎盂	8 皮膚のその他	7 骨髄性白血病	5
	75～79歳	その他及び部位不明の上皮内癌	7 皮膚のその他	6 腎盂を除く腎	6 非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	5 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	5 その他の部位及び部位不明の続発性	4
	80～84歳	腎盂	9 その他及び部位不明の上皮内癌	8 尿管	7 非ろ<濾>胞性リンパ腫	7 呼吸器及び消化器の続発性	5 腎盂を除く腎	4
	85～89歳	腎盂を除く腎	3 尿管	3 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	3 骨髄異形成症候群	3 脾	2 腎盂	2
90歳以上	脾	1 喉頭	1 腎盂を除く腎	1 腎盂	1 部位が明示されていないもの	1 その他及び部位不明の上皮内癌	1	
女	0～1歳未満	-	0	-	0	-	0	
	1～9歳	-	0	-	0	-	0	
	10～19歳	-	0	-	0	-	0	
	20～29歳	-	0	-	0	-	0	
	30～39歳	-	0	-	0	-	0	
	40～49歳	リンパ性白血病	2 皮膚のその他	1 リンパ節の続発性及び部位不明	1 その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	1 乳房の上皮内癌	1 -	0
	50～59歳	その他の部位及び部位不明の続発性	5 膀胱	4 脳	4 甲状腺	3 ろ<濾>胞性リンパ腫	3 非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	3
	60～64歳	鼻<上>咽頭	3 食道	3 甲状腺	3 呼吸器及び消化器の続発性	3 肝及び肝内胆管	2 胸腺	2
	65～69歳	尿管	6 その他の部位及び部位不明の続発性	6 肝及び肝内胆管	4 その他及び部位不明の上皮内癌	4 骨髄異形成症候群	4 腎盂を除く腎	3
	70～74歳	その他及び部位不明の胆道	6 非ろ<濾>胞性リンパ腫	6 子宮頸部	5 食道	4 呼吸器及び消化器の続発性	4 その他の部位及び部位不明の続発性	4
	75～79歳	子宮頸部	8 膀胱	8 肝及び肝内胆管	7 甲状腺	5 子宮頸(部)の上皮内癌	5 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	4
	80～84歳	ろ<濾>胞性リンパ腫	6 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	6 尿管	5 舌のその他及び部位不明	4 子宮体部	4 呼吸器及び消化器の続発性	4
	85～89歳	胆のう<嚢>	3 子宮体部	3 骨髄性白血病	3 食道	2 小腸	2 肝及び肝内胆管	2
90歳以上	乳房	2 非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	2 骨髄異形成症候群	2 甲状腺	1 その他の部位及び部位不明の続発性	1 非ろ<濾>胞性リンパ腫	1	

性別	年齢階層	18	19	20	21				
男	0～1歳未満	-	0	-	0	0			
	1～9歳	-	0	-	0	0			
	10～19歳	-	0	-	0	0			
	20～29歳	-	0	-	0	0			
	30～39歳	-	0	-	0	0			
	40～49歳	非ろく濾> 胞性リンパ腫	1	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	1	皮膚の上皮内癌	1	その他及び部位不明の上皮内癌	1
	50～59歳	皮膚のその他	3	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型	3	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	3	その他	14
	60～64歳	中咽頭	2	小腸	2	喉頭	2	その他	20
	65～69歳	喉頭	4	その他の部位及び部位不明の統発性	4	成熟T/NK細胞リンパ腫	4	その他	41
	70～74歳	小腸	4	胆のう<嚢>	4	尿管	4	その他	44
	75～79歳	成熟T/NK細胞リンパ腫	4	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	4	尿管	3	その他	40
	80～84歳	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型	4	リンパ節の統発性及び部位不明	3	その他の部位及び部位不明の統発性	3	その他	23
	85～89歳	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	2	歯肉	1	下咽頭	1	その他	10
90歳以上	骨髄異形成症候群	1	-	0	-	0	-	0	
女	0～1歳未満	-	0	-	0	0			
	1～9歳	-	0	-	0	0			
	10～19歳	-	0	-	0	0			
	20～29歳	-	0	-	0	0			
	30～39歳	-	0	-	0	0			
	40～49歳	-	0	-	0	0			
	50～59歳	気管支及び肺	2	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	2	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	2	その他	6
	60～64歳	リンパ節の統発性及び部位不明	2	その他の部位及び部位不明の統発性	2	ホジキン<Hodgkin>病	2	その他	11
	65～69歳	甲状腺	3	乳房の上皮内癌	3	胆のう<嚢>	2	その他	21
	70～74歳	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	4	その他及び部位不明の上皮内癌	4	ろく濾> 胞性リンパ腫	3	その他	20
	75～79歳	皮膚のその他	3	リンパ節の統発性及び部位不明	3	その他及び部位不明の上皮内癌	3	その他	22
	80～84歳	その他及び部位不明の上皮内癌	4	皮膚の上皮内癌	3	中咽頭	2	その他	17
	85～89歳	脳	2	部位が明示されていないもの	2	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	2	その他	11
90歳以上	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	1	リンパ性白血病	1	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	1	-	0	

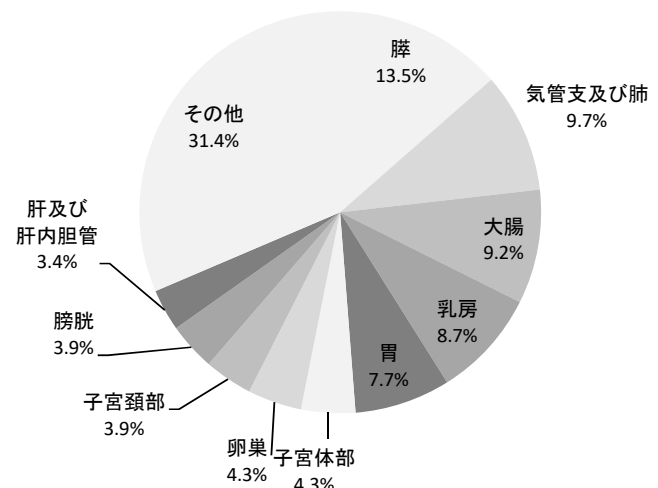
●悪性新生物による死亡患者数（2022年度）

男			女			男女計		
順位	部位	件数	順位	部位	件数	順位	部位	件数
1	気管支及び肺	73	1	膵	28	1	気管支及び肺	93
2	胃	38	2	気管支及び肺	20	2	胃	54
3	大腸	28	3	大腸	19	3	膵	53
4	膵	25	4	乳房	18	4	大腸	47
5	肝及び肝内胆管	23	5	胃	16	5	肝及び肝内胆管	30
6	前立腺	17	6	子宮体部	9	6	膀胱	24
7	膀胱	16	6	卵巣	9	7	乳房	18
8	骨髄性白血病	10	8	子宮頸部	8	8	前立腺	17
9	その他及び部位不明の胆道	9	8	膀胱	8	9	その他及び部位不明の胆道	14
10	食道	8	10	肝及び肝内胆管	7	9	骨髄性白血病	14
11	その他	74	11	その他	65	11	その他	164
合計		321	合計		207	合計		528

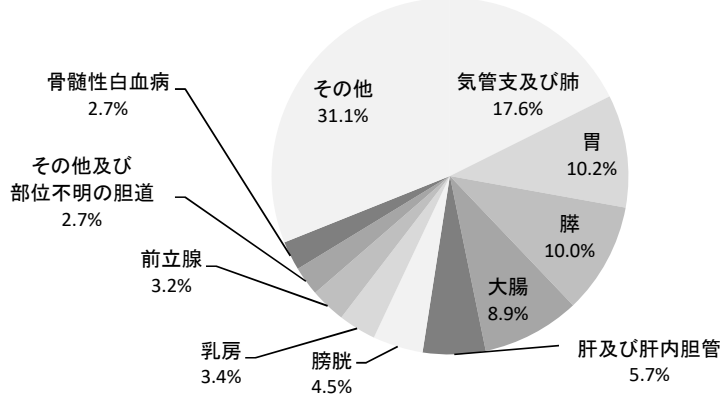
悪性新生物による死亡患者割合
(男)



悪性新生物による死亡患者割合
(女)



悪性新生物による死亡患者割合
(男女計)





死亡患者統計



●科別死亡率（2022年度）

科	患者数			退院患者数							
	男	女	男女計	死亡患者数		死亡患者数		死亡患者数		死亡率 (%)	平均年齢 (歳)
消化器内科	1,646	1,027	2,673	124	(111)	84	(77)	208	(188)	7.8	76.3
呼吸器内科	530	217	747	164	(145)	52	(42)	216	(187)	28.9	77.8
循環器内科	1,589	857	2,446	64	(54)	44	(36)	108	(90)	4.4	81.2
血液内科	323	211	534	53	(50)	27	(24)	80	(74)	15.0	75.5
総合内科	454	385	839	34	(26)	50	(37)	84	(63)	10.0	82.3
神経内科	104	100	204	7	(6)	4	(3)	11	(9)	5.4	80.6
アレルギー・膠原病内科	120	165	285	7	(7)	6	(6)	13	(13)	4.6	76.1
救急救命科	60	67	127	22	(13)	12	(6)	34	(19)	26.8	75.7
糖尿病代謝内科	25	25	50	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0
感染症科	54	59	113	8	(4)	3	(1)	11	(5)	9.7	79.3
腎臓内科・透析科	317	173	490	15	(11)	13	(12)	28	(23)	5.7	80.6
小児科	488	378	866	0	(0)	2	(2)	2	(2)	0.2	31.0
外科	1,245	905	2,150	40	(36)	55	(40)	95	(76)	4.4	74.6
整形外科	365	441	806	6	(4)	8	(7)	14	(11)	1.7	84.1
脳神経外科	489	360	849	53	(31)	37	(27)	90	(58)	10.6	74.5
心臓外科	58	38	96	7	(7)	2	(1)	9	(8)	9.4	69.0
皮膚科	142	86	228	1	(1)	1	(1)	2	(2)	0.9	74.5
泌尿器科	1,476	312	1,788	46	(42)	17	(15)	63	(57)	3.5	79.2
産科	0	790	790	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0
婦人科	0	669	669	0	(0)	30	(27)	30	(27)	4.5	66.8
眼科	462	511	973	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0
耳鼻咽喉科	309	209	518	13	(13)	8	(7)	21	(20)	4.1	78.0
新生児科	192	228	420	0	(0)	1	(1)	1	(1)	0.2	1.0
麻酔科	0	0	0	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0
形成外科	167	118	285	2	(2)	1	(1)	3	(3)	1.1	76.3
歯科・歯科口腔外科	53	48	101	1	(1)	2	(1)	3	(2)	3.0	82.3
神経精神科	83	87	170	1	(1)	0	(0)	1	(1)	0.6	79.0
合計	10,751	8,466	19,217	668	(565)	459	(374)	1,127	(939)	5.9	77.2

(注) ・ () 内は精死亡数を表す。精死亡とは入院後48時間以降の死亡をいう

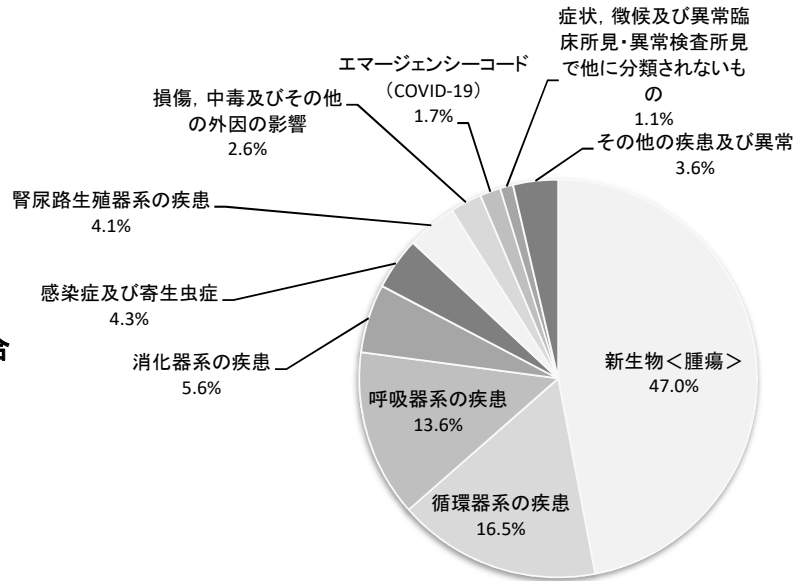
・ 転科の場合は、退院時の科で集計

●死亡患者数（2022年度）

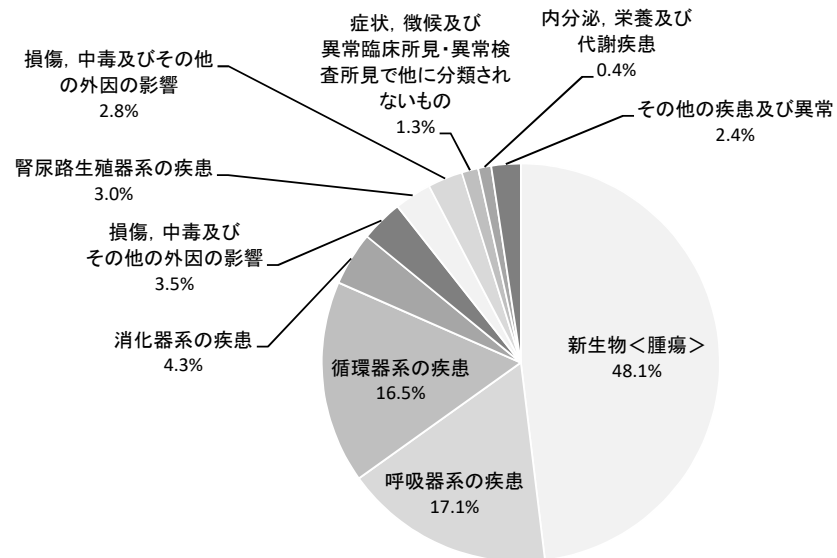
疾病大分類		死亡患者数			
		男	女	男女計	構成比 (%)
I	感染症及び寄生虫症	23	25	48	4.3
II	新生物<腫瘍>	321	209	530	47.0
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1	1	2	0.2
IV	内分泌, 栄養及び代謝疾患	3	7	10	0.9
V	精神及び行動の障害	0	0	0	0.0
VI	神経系の疾患	6	5	11	1.0
VII	眼及び付属器の疾患	0	0	0	0.0
VIII	耳及び乳様突起の疾患	0	0	0	0.0
IX	循環器系の疾患	110	76	186	16.5
X	呼吸器系の疾患	114	39	153	13.6
X I	消化器系の疾患	29	34	63	5.6
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	1	4	5	0.4
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	7	3	10	0.9
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	20	26	46	4.1
X V	妊娠, 分娩及び産じょく<褥>	0	0	0	0.0
X VI	周産期に発生した病態	0	1	1	0.1
X VII	先天奇形, 変形及び染色体異常	0	2	2	0.2
X VIII	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5	7	12	1.1
X IX	損傷, 中毒及びその他の外因の影響	19	10	29	2.6
X X	傷病及び死亡の外因	0	0	0	0.0
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0	0	0.0
X X II	エマージェンシーコード (COVID-19)	9	10	19	1.7
合計		668	459	1,127	100.0

●死亡患者数の割合（2022年度）

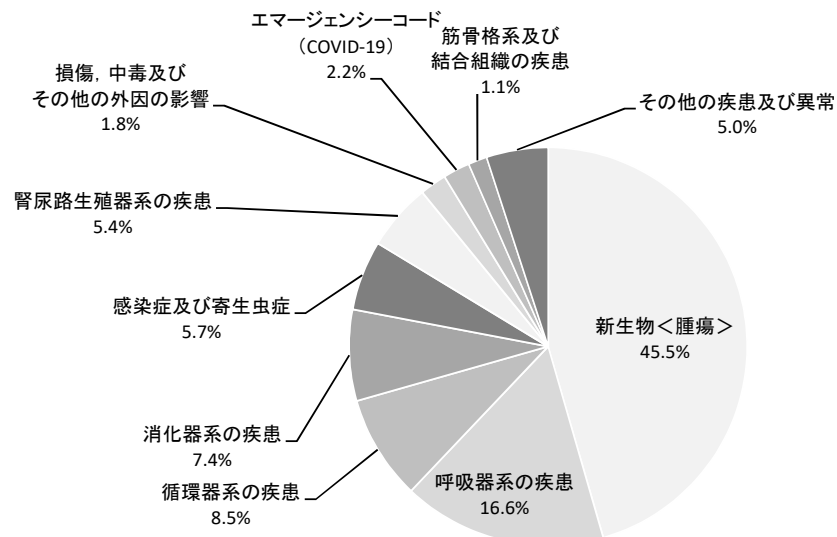
疾病別割合
(男女計)



疾病別割合
(男)

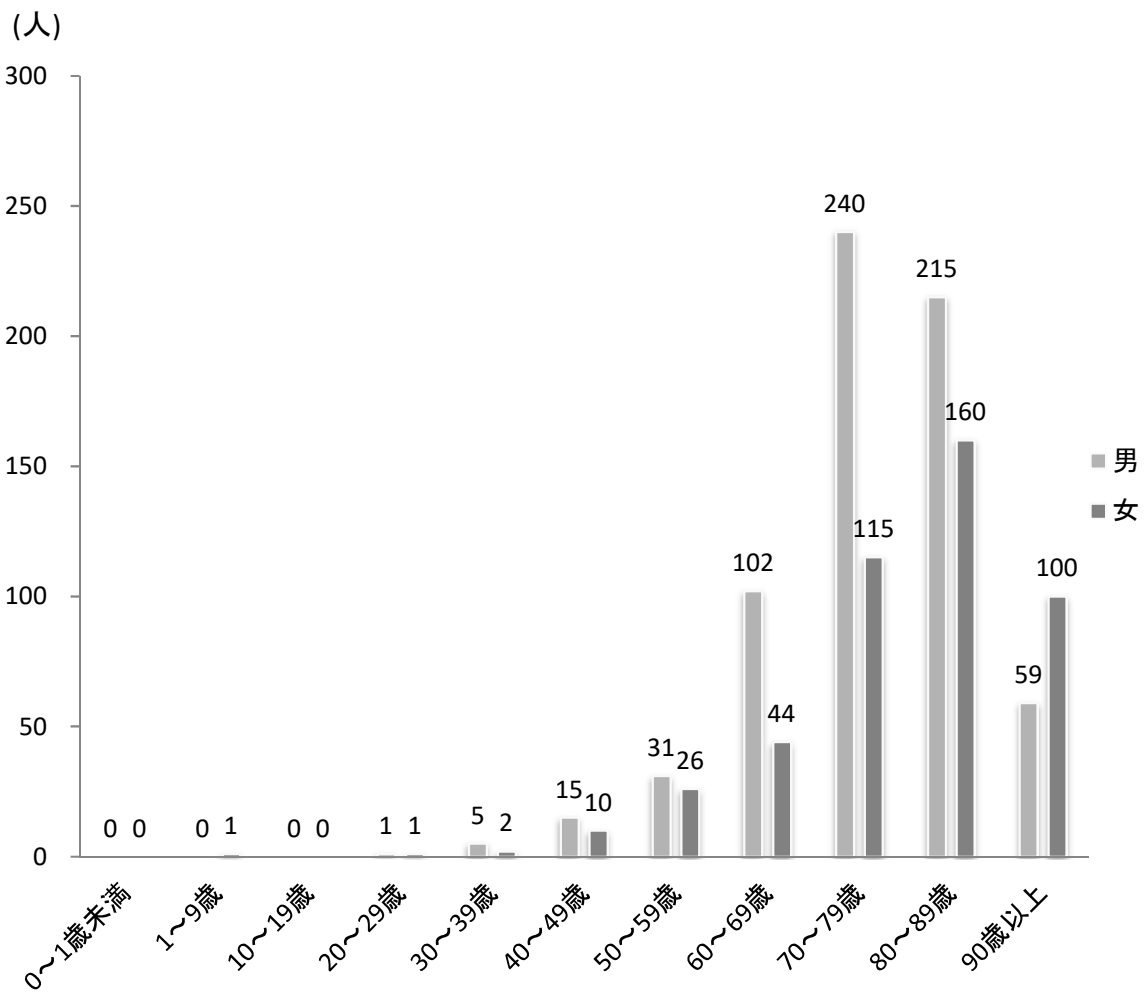


疾病別割合
(女)



●年齢別死亡患者数（2022年度）


年齢階層	性別		男女計
	男	女	
0～1歳未満	0	0	0
1～9歳	0	1	1
10～19歳	0	0	0
20～29歳	1	1	2
30～39歳	5	2	7
40～49歳	15	10	25
50～59歳	31	26	57
60～69歳	102	44	146
70～79歳	240	115	355
80～89歳	215	160	375
90歳以上	59	100	159
合計	668	459	1,127




●死亡患者における疾病順位表 性別・年齢

性別	年齢階層	順位	1	2	3	4			
		患者数							
男 計 668	0～1歳未満	0	0	0	0	0			
	1～9歳	0	0	0	0	0			
	10～19歳	0	0	0	0	0			
	20～29歳	1	循環器系の疾患	1	0	0			
	30～39歳	5	循環器系の疾患	2	新生物	1	消化器系の疾患	1	損傷、中毒及びその他の外因の影響
	40～49歳	15	新生物	6	循環器系の疾患	5	呼吸器系の疾患	2	消化器系の疾患
	50～59歳	31	新生物	15	循環器系の疾患	7	呼吸器系の疾患	4	消化器系の疾患
	60～69歳	102	新生物	62	循環器系の疾患	16	呼吸器系の疾患	12	損傷、中毒及びその他の外因の影響
	70～79歳	240	新生物	138	呼吸器系の疾患	38	循環器系の疾患	30	消化器系の疾患
	80～89歳	215	新生物	88	呼吸器系の疾患	40	循環器系の疾患	38	消化器系の疾患
90歳以上	59	呼吸器系の疾患	18	新生物	11	循環器系の疾患	11	損傷、中毒及びその他の外因の影響	
女 計 459	0～1歳未満	0	0	0	0	0			
	1～9歳	1	周産期に発生した病態	1	0	0	0		
	10～19歳	0	0	0	0	0			
	20～29歳	1	神経系の疾患	1	0	0	0		
	30～39歳	2	新生物	1	神経系の疾患	1	0	0	
	40～49歳	10	新生物	7	循環器系の疾患	1	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1	損傷、中毒及びその他の外因の影響
	50～59歳	26	新生物	13	腎尿路生殖器系の疾患	3	循環器系の疾患	2	呼吸器系の疾患
	60～69歳	44	新生物	30	循環器系の疾患	6	呼吸器系の疾患	5	感染症及び寄生虫症
	70～79歳	115	新生物	71	循環器系の疾患	11	呼吸器系の疾患	8	消化器系の疾患
80～89歳	160	新生物	64	循環器系の疾患	38	消化器系の疾患	15	呼吸器系の疾患	
90歳以上	100	新生物	23	循環器系の疾患	18	腎尿路生殖器系の疾患	13	感染症及び寄生虫症	

性別	年齢階層	5	6	7	8				
男	0～1歳未満	-	0	0	0				
	1～9歳	-	0	0	0				
	10～19歳	-	0	0	0				
	20～29歳	-	0	0	0				
	30～39歳	-	0	0	0				
	40～49歳	損傷, 中毒及び その他の外因の影響	1	0	0				
	50～59歳	感染症及び寄生虫症	1	筋骨格系及び 結合組織の疾患	1	損傷, 中毒及び その他の外因の影響	1	0	
	60～69歳	感染症及び寄生虫症	2	神経系の疾患	2	腎尿路生殖器系の疾患	2	その他	3
	70～79歳	感染症及び寄生虫症	6	筋骨格系及び 結合組織の疾患	4	腎尿路生殖器系の疾患	4	その他	12
	80～89歳	腎尿路生殖器系の疾患	12	感染症及び寄生虫症	8	症状, 徴候及び異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	5	その他	11
90歳以上	感染症及び寄生虫症	6	消化器系の疾患	3	腎尿路生殖器系の疾患	2	エマーゲンシーコード	1	
女	0～1歳未満	-	0	0	0				
	1～9歳	-	0	0	0				
	10～19歳	-	0	0	0				
	20～29歳	-	0	0	0				
	30～39歳	-	0	0	0				
	40～49歳	-	0	0	0				
	50～59歳	感染症及び寄生虫症	1	血液及び造血系の疾患 並びに免疫機構の障害	1	神経系の疾患	1	その他	3
	60～69歳	腎尿路生殖器系の疾患	1	損傷, 中毒及び その他の外因の影響	1	-	0	0	
	70～79歳	感染症及び寄生虫症	7	内分泌, 栄養及び代謝 疾患	3	腎尿路生殖器系の疾患	3	その他	4
	80～89歳	感染症及び寄生虫症	6	腎尿路生殖器系の疾患	6	内分泌, 栄養及び代謝 疾患	3	その他	14
90歳以上	呼吸器系の疾患	10	消化器系の疾患	10	エマーゲンシーコード	7	その他	9	



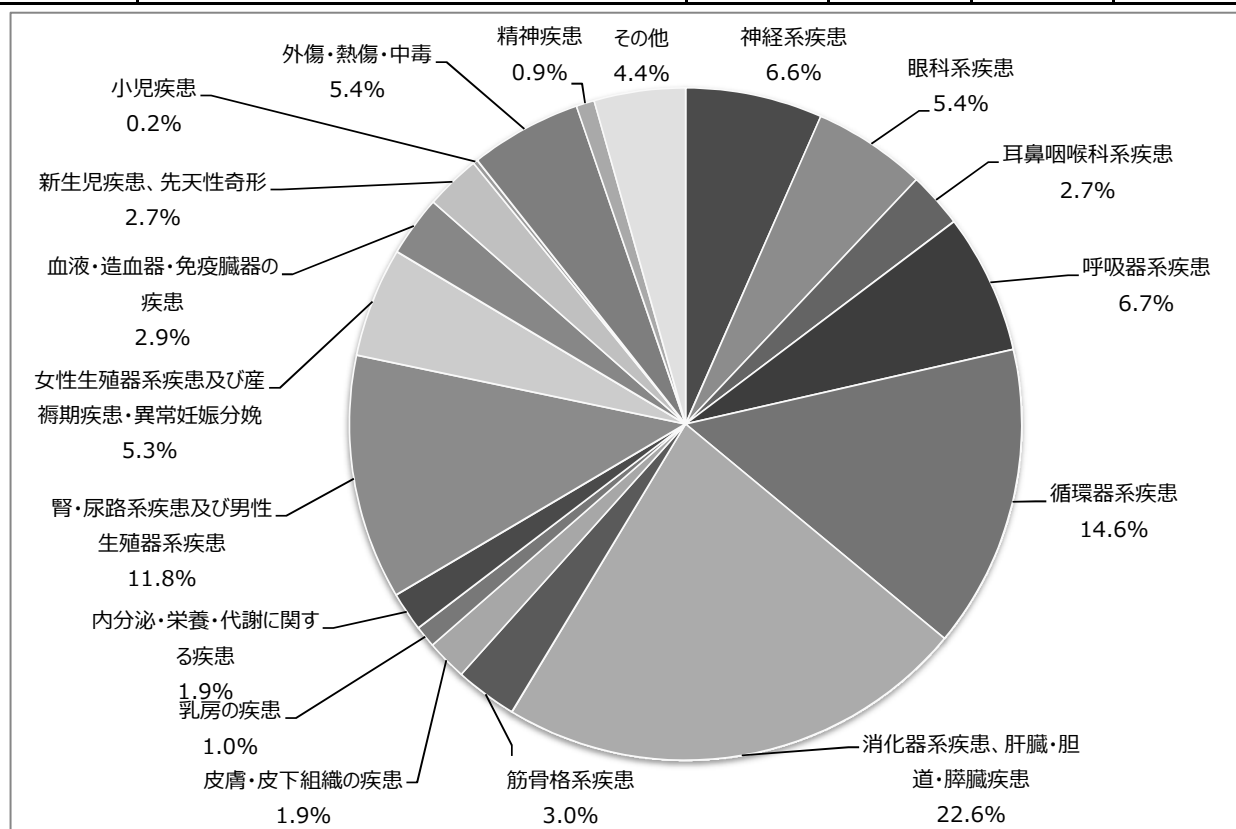
D P C 統 計



●全科 MDC2 別退院患者数（2022 年度）

対象：2022年4月1日～2023年3月31日退院患者（自費患者を除く）

MDC番号	分類名	件数	割合	平均在院日数	DPC期間Ⅱ超率
MDC01	神経系疾患	1,238	6.6%	24.4日	37.1%
MDC02	眼科系疾患	1,023	5.4%	4.2日	36.0%
MDC03	耳鼻咽喉科系疾患	503	2.7%	8.9日	23.1%
MDC04	呼吸器系疾患	1,260	6.7%	19.1日	43.3%
MDC05	循環器系疾患	2,737	14.6%	11.5日	24.9%
MDC06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	4,250	22.6%	12.2日	37.0%
MDC07	筋骨格系疾患	561	3.0%	23.9日	46.0%
MDC08	皮膚・皮下組織の疾患	365	1.9%	10.4日	28.2%
MDC09	乳房の疾患	197	1.0%	8.2日	9.6%
MDC10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	354	1.9%	16.0日	42.7%
MDC11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	2,212	11.8%	10.5日	19.8%
MDC12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	991	5.3%	8.8日	20.0%
MDC13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	546	2.9%	23.4日	33.3%
MDC14	新生児疾患、先天性奇形	499	2.7%	14.5日	24.4%
MDC15	小児疾患	42	0.2%	17.3日	83.3%
MDC16	外傷・熱傷・中毒	1,009	5.4%	20.5日	37.9%
MDC17	精神疾患	165	0.9%	61.8日	-
MDC18	その他	824	4.4%	18.8日	17.8%
	総件数	18,776	100.0%	14.4日	30.8%



●全診療科 MDC2 別上位疾患（2022年度）

対象：2022年4月1日～2023年3月31日退院患者（自費を除く）

MDC01：神経系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	010060	脳梗塞	453	36.6%	25.5日	42.4%
2	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	175	14.1%	26.2日	47.4%
3	010230	てんかん	116	9.4%	15.8日	39.7%
4	010070	脳血管障害	91	7.4%	10.4日	8.8%
5	010010	脳腫瘍	76	6.1%	29.0日	34.2%
6	010030	未破裂脳動脈瘤	66	5.3%	5.8日	7.6%
7	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	59	4.8%	29.8日	13.6%
8	010080	脳脊髄の感染を伴う炎症	40	3.2%	44.9日	67.5%
9	010200	水頭症	25	2.0%	49.1日	32.0%
10	010160	パーキンソン病	21	1.7%	36.6日	47.6%
		その他	116	9.4%		
		合計	1,238	100.0%	24.4日	37.1%

MDC02：眼科系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	020110	白内障、水晶体の疾患	634	62.0%	2.3日	25.6%
2	020220	緑内障	97	9.5%	6.9日	44.3%
3	020200	黄斑、後極変性	79	7.7%	7.8日	68.4%
4	020230	眼瞼下垂	49	4.8%	2.3日	8.2%
5	020180	糖尿病性増殖性網膜症	36	3.5%	7.6日	52.8%
5	020160	網膜剥離	36	3.5%	12.0日	86.1%
7	020240	硝子体疾患	31	3.0%	6.0日	61.3%
8	020210	網膜血管閉塞症	21	2.1%	9.1日	61.9%
9	020350	脈絡膜の疾患	12	1.2%	8.8日	91.7%
10	020320	眼瞼、涙器、眼窩の疾患	5	0.5%	2.6日	0.0%
10	020150	斜視(外傷性・癒着性を除く)	5	0.5%	3.0日	0.0%
		その他	18	1.8%		
		合計	1,023	100.0%	4.2日	36.0%

MDC03：耳鼻咽喉科系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	030240	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	87	17.3%	11.3日	47.1%
2	03001x	頭頸部悪性腫瘍	80	15.9%	20.2日	47.5%
3	030350	慢性副鼻腔炎	74	14.7%	4.5日	5.4%
4	030230	扁桃、アデノイドの慢性疾患	37	7.4%	8.1日	10.8%
5	030150	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍	33	6.6%	5.1日	0.0%
6	030440	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫	30	6.0%	5.3日	16.7%
7	030390	顔面神経障害	28	5.6%	7.0日	3.6%
8	030428	突発性難聴	23	4.6%	6.8日	0.0%
9	030250	睡眠時無呼吸	22	4.4%	2.0日	0.0%
10	030360	副鼻腔嚢胞、鼻前庭嚢胞	15	3.0%	4.0日	0.0%
		その他	74	14.7%		
		合計	503	100.0%	8.9日	23.1%

MDC04 : 呼吸器系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	040040	肺の悪性腫瘍	325	25.8%	15.1日	30.8%
2	040080	肺炎等	200	15.9%	21.9日	43.5%
3	040081	誤嚥性肺炎	182	14.4%	31.3日	53.8%
4	040110	間質性肺炎	117	9.3%	25.2日	59.8%
5	040100	喘息	87	6.9%	5.9日	29.9%
6	040090	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他)	68	5.4%	6.6日	64.7%
7	040150	肺・縦隔の感染、膿瘍形成	49	3.9%	35.8日	61.2%
8	040120	慢性閉塞性肺疾患	42	3.3%	14.7日	28.6%
8	040200	気胸	42	3.3%	17.6日	59.5%
10	040070	インフルエンザ、ウイルス性肺炎	24	1.9%	7.3日	41.7%
		その他	124	9.8%		
		合計	1,260	100.0%	19.1日	43.3%

MDC05 : 循環器系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	592	21.6%	4.9日	16.4%
2	050070	頻脈性不整脈	398	14.5%	6.6日	11.3%
3	050130	心不全	312	11.4%	21.6日	36.9%
4	050170	閉塞性動脈疾患	307	11.2%	13.2日	25.7%
5	050210	徐脈性不整脈	305	11.1%	6.7日	22.0%
6	050030	急性心筋梗塞(続発性合併症を含む)、再発性心筋梗塞	304	11.1%	14.4日	32.2%
7	050080	弁膜症(連合弁膜症を含む)	202	7.4%	10.9日	16.8%
8	050163	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤	70	2.6%	18.3日	22.9%
9	050161	大動脈解離	58	2.1%	25.8日	58.6%
10	050340	その他の循環器の障害	47	1.7%	11.2日	40.4%
		その他	142	5.2%		
		合計	2,737	100.0%	11.5日	24.9%

MDC06 : 消化器系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	060340	胆管(肝内外)結石、胆管炎	699	16.4%	7.7日	27.8%
2	060335	胆嚢炎等	395	9.3%	11.3日	24.6%
3	060020	胃の悪性腫瘍	334	7.9%	13.5日	32.9%
4	060035	結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍	254	6.0%	15.2日	55.1%
5	060160	鼠径ヘルニア	230	5.4%	2.6日	5.2%
6	06007x	脾臓、脾臓の腫瘍	219	5.2%	16.6日	45.2%
7	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	206	4.8%	13.0日	35.4%
8	060100	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む)	196	4.6%	6.6日	93.9%
9	060040	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍	195	4.6%	22.4日	52.3%
10	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む)	172	4.0%	12.1日	32.0%
		その他	1,350	31.8%		
		合計	4,250	100.0%	12.2日	37.0%

MDC07 : 筋骨格系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	070560	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患	152	27.1%	24.3日	36.8%
2	070343	脊柱管狭窄(脊椎症を含む) 腰部骨盤、不安定椎	48	8.6%	20.0日	56.3%
3	07040x	股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む)	47	8.4%	22.2日	55.3%
4	070230	膝関節症(変形性を含む)	33	5.9%	19.5日	45.5%
5	070010	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く)	32	5.7%	5.2日	46.9%
6	070071	骨髄炎(上肢以外)	30	5.3%	37.9日	46.7%
7	070341	脊柱管狭窄(脊椎症を含む) 頸部	27	4.8%	23.9日	44.4%
8	070470	関節リウマチ	24	4.3%	14.2日	16.7%
9	070350	椎間板変性、ヘルニア	20	3.6%	13.4日	30.0%
10	070330	脊椎感染(感染を含む)	19	3.4%	72.4日	73.7%
		その他	129	23.0%		
		合計	561	100.0%	23.9日	46.0%

MDC08 : 皮膚・皮下組織の疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	080010	膿皮症	107	29.3%	14.1日	43.9%
2	080006	皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外)	87	23.8%	5.3日	10.3%
3	080270	食物アレルギー	62	17.0%	1.5日	9.7%
4	080020	帯状疱疹	21	5.8%	7.7日	19.0%
5	080180	母斑、母斑症	16	4.4%	3.6日	18.8%
6	080250	褥瘡潰瘍	15	4.1%	48.8日	60.0%
7	080007	皮膚の良性新生物	14	3.8%	3.7日	35.7%
8	080190	脱毛症	9	2.5%	3.0日	0.0%
8	080110	水疱症	9	2.5%	42.2日	77.8%
10	080090	紅斑症	8	2.2%	11.9日	62.5%
		その他	17	4.7%		
		合計	365	100.0%	10.4日	28.2%

MDC09 : 乳房の疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	090010	乳房の悪性腫瘍	190	96.4%	8.4日	10.0%
2	090020	乳房の良性腫瘍	7	3.6%	3.0日	0.0%
		合計	197	100.0%	8.2日	9.6%

MDC10 : 内分泌・栄養・代謝に関する疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	100393	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害	37	10.5%	13.6日	32.4%
2	10007x	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)	36	10.2%	17.2日	63.9%
3	100250	下垂体機能低下症	35	9.9%	3.8日	88.6%
4	100020	甲状腺の悪性腫瘍	34	9.6%	10.7日	35.3%
5	100130	甲状腺の良性結節	25	7.1%	6.8日	4.0%
6	100040	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡	21	5.9%	18.5日	47.6%
7	100330	栄養障害(その他)	15	4.2%	20.5日	53.3%
8	100392	カルシウム代謝障害	14	4.0%	28.6日	50.0%
9	100210	低血糖症	12	3.4%	7.8日	41.7%
9	100100	糖尿病足病変	12	3.4%	54.8日	50.0%
		その他	113	31.9%		
		合計	354	100.0%	16.0日	42.7%

MDC11 : 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	110080	前立腺の悪性腫瘍	663	30.0%	4.6日	6.8%
2	110310	腎臓又は尿路の感染症	287	13.0%	16.4日	38.7%
3	110070	膀胱腫瘍	268	12.1%	9.5日	20.1%
4	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	262	11.8%	22.7日	32.4%
5	11012x	上部尿路疾患	257	11.6%	4.4日	11.3%
6	110060	腎盂・尿管の悪性腫瘍	92	4.2%	7.7日	23.9%
7	11013x	下部尿路疾患	81	3.7%	6.7日	18.5%
8	11022x	男性生殖器疾患	59	2.7%	6.6日	23.7%
9	110290	急性腎不全	58	2.6%	31.9日	43.1%
9	110200	前立腺肥大症等	58	2.6%	6.7日	1.7%
		その他	127	5.7%		
		合計	2,212	100.0%	10.5日	19.8%

MDC12 : 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	12002x	子宮頸・体部の悪性腫瘍	266	26.8%	7.3日	15.8%
2	120180	胎児及び胎児付属物の異常	122	12.3%	9.3日	12.3%
3	120060	子宮の良性腫瘍	97	9.8%	8.1日	14.4%
4	120260	分娩の異常	94	9.5%	8.1日	19.1%
5	120010	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	89	9.0%	6.5日	19.1%
6	120070	卵巣の良性腫瘍	72	7.3%	9.3日	15.3%
7	120170	早産、切迫早産	43	4.3%	22.6日	48.8%
8	120160	妊娠高血圧症候群関連疾患	35	3.5%	11.4日	25.7%
9	120165	妊娠合併症等	26	2.6%	13.0日	50.0%
10	120090	生殖器脱出症	25	2.5%	7.6日	12.0%
		その他	122	12.3%		
		合計	991	100.0%	8.8日	20.0%

MDC13 : 血液・造血器・免疫臓器の疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	130030	非ホジキンリンパ腫	239	43.8%	21.2日	34.7%
2	130010	急性白血病	100	18.3%	38.4日	36.0%
3	130060	骨髄異形成症候群	83	15.2%	17.2日	26.5%
4	130040	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物	48	8.8%	21.7日	33.3%
5	130090	貧血(その他)	17	3.1%	10.5日	23.5%
6	130110	出血性疾患(その他)	14	2.6%	16.0日	28.6%
7	130080	再生不良性貧血	10	1.8%	41.4日	40.0%
8	130050	骨髄増殖性腫瘍	7	1.3%	27.0日	42.9%
9	130111	アレルギー性紫斑病	6	1.1%	7.2日	16.7%
10	130120	血液疾患(その他)	5	0.9%	6.2日	20.0%
10	130020	ホジキン病	5	0.9%	21.6日	40.0%
		その他	12	2.2%		
		合計	546	100.0%	23.4日	33.3%

MDC14 : 新生児疾患・先天性奇形

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	410	82.2%	15.6日	24.1%
2	140230	喉頭の疾患(その他)	20	4.0%	9.8日	10.0%
3	140210	先天性耳瘻孔、副耳	12	2.4%	3.5日	0.0%
4	140600	女性性器の先天性異常	7	1.4%	5.7日	71.4%
4	14031x	先天性心疾患(動脈管開存症、心房中隔欠損症を除く)	7	1.4%	3.4日	0.0%
6	140140	口蓋・口唇先天性疾患	6	1.2%	7.5日	50.0%
7	140420	腸重積	5	1.0%	3.6日	60.0%
8	140110	鼻の先天異常	4	0.8%	6.3日	25.0%
8	140490	手足先天性疾患	4	0.8%	4.0日	0.0%
8	140170	正中頸嚢胞・側頸嚢胞	4	0.8%	6.5日	0.0%
8	140550	先天性嚢胞性腎疾患	4	0.8%	22.3日	100.0%
		その他	16	3.2%		
		合計	499	100.0%	14.5日	24.4%

MDC15 : 小児疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	150070	川崎病	38	90.5%	18.8日	89.5%
2	150040	熱性けいれん	2	4.8%	3.0日	50.0%
2	150120	脳性麻痺	2	4.8%	2.5日	0.0%
		合計	42	100.0%	17.3日	83.3%

MDC16 : 外傷・熱傷・中毒

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	160100	頭蓋・頭蓋内損傷	257	25.5%	11.2日	19.1%
2	160800	股関節・大腿近位の骨折	217	21.5%	30.9日	62.7%
3	161070	薬物中毒(その他の中毒)	53	5.3%	3.3日	13.2%
4	160870	頸椎頸髄損傷	39	3.9%	36.3日	53.8%
5	160835	下腿足関節周辺部の骨折	38	3.8%	31.7日	57.9%
6	161060	詳細不明の損傷等	31	3.1%	36.7日	38.7%
7	160850	足関節・足部の骨折・脱臼	27	2.7%	13.6日	44.4%
7	160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む)	27	2.7%	23.3日	48.1%
9	160820	膝関節周辺部の骨折・脱臼	26	2.6%	25.4日	38.5%
10	160740	肘関節周辺部の骨折・脱臼	25	2.5%	9.8日	20.0%
		その他	269	26.7%		
		合計	1,009	100.0%	20.5日	37.9%

MDC17 : 精神疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	170030	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	67	40.6%	94.5日	-
2	170040	気分[感情]障害	49	29.7%	43.4日	-
3	170060	その他の精神及び行動の障害	24	14.5%	39.3日	-
4	170020	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	14	8.5%	38.9日	-
5	170050	神経症性障害,ストレス関連障害及び身体表現性障害	11	6.7%	22.1日	-
		合計	165	100.0%	61.8日	-

MDC18 : その他

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	180030	その他の感染症(真菌を除く)	538	65.3%	17.1日	7.4%
2	180010	敗血症	155	18.8%	27.0日	43.2%
3	180040	手術・処置等の合併症	86	10.4%	15.6日	25.6%
4	180050	その他の悪性腫瘍	26	3.2%	17.5日	42.3%
5	180060	その他の新生物	17	2.1%	5.8日	29.4%
6	180035	その他の真菌感染症	2	0.2%	86.0日	100.0%
		合計	824	100.0%	18.8日	17.8%

●診療科別 診断群分類別 (MDC6) 上位頻度疾患 (2022年度)

対象：2022年4月1日から2023年3月31日退院患者（自費を除く）

診療科：内科 消化器系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	060340	胆管(肝内外)結石、胆管炎	687	26.7%	7.5日	27.1%
2	060020	胃の悪性腫瘍	225	8.7%	11.3日	34.7%
3	060100	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む)	190	7.4%	6.7日	96.3%
4	06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	159	6.2%	15.6日	45.9%
5	060335	胆嚢炎等	138	5.4%	19.5日	44.9%
6	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む)	119	4.6%	10.4日	33.6%
7	060102	穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患	118	4.6%	8.8日	29.7%
8	060035	結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍	114	4.4%	11.2日	86.0%
9	060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	105	4.1%	13.3日	41.0%
10	060130	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患)	101	3.9%	9.4日	36.6%
		その他	619	24.0%		
		合計	2,575	100.0%	11.2日	43.0%

診療科：内科 循環器系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	574	23.0%	4.4日	15.9%
2	050070	頻脈性不整脈	398	15.9%	6.6日	11.3%
3	050210	徐脈性不整脈	300	12.0%	6.8日	22.3%
4	050030	急性心筋梗塞(続発性合併症を含む)、再発性心筋梗塞	298	11.9%	14.0日	31.5%
5	050170	閉塞性動脈疾患	289	11.6%	10.9日	25.3%
6	050130	心不全	274	11.0%	22.2日	39.1%
7	050080	弁膜症(連合弁膜症を含む)	174	7.0%	8.9日	13.8%
8	050340	その他の循環器の障害	45	1.8%	11.7日	42.2%
9	050161	大動脈解離	38	1.5%	25.1日	63.2%
10	050190	肺塞栓症	32	1.3%	26.1日	65.6%
		その他	75	3.0%		
		合計	2,497	100.0%	10.4日	23.8%

診療科：内科 呼吸器疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	040040	肺の悪性腫瘍	217	25.9%	17.1日	29.5%
2	040080	肺炎等	160	19.1%	23.5日	42.5%
3	040081	誤嚥性肺炎	155	18.5%	30.6日	53.5%
4	040110	間質性肺炎	117	14.0%	25.2日	59.8%
5	040120	慢性閉塞性肺疾患	42	5.0%	14.7日	28.6%
6	040150	肺・縦隔の感染、膿瘍形成	40	4.8%	34.5日	57.5%
7	04026x	肺高血圧性疾患	19	2.3%	9.1日	21.1%
8	040200	気胸	17	2.0%	25.3日	70.6%
9	040160	呼吸器の結核	12	1.4%	24.3日	0.0%
10	040190	胸水、胸膜の疾患(その他)	9	1.1%	21.0日	44.4%
		その他	49	5.9%		
		合計	837	100.0%	22.6日	43.2%

診療科：内科 神経系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	010060	脳梗塞	388	64.9%	22.4日	38.7%
2	010230	てんかん	66	11.0%	21.9日	59.1%
3	010080	脳脊髄の感染を伴う炎症	34	5.7%	44.4日	67.6%
4	010160	パーキンソン病	19	3.2%	32.0日	47.4%
5	010110	免疫介在性・炎症性ニューロパチー	11	1.8%	33.4日	54.5%
6	010061	一過性脳虚血発作	9	1.5%	5.6日	55.6%
6	010290	自律神経系の障害	9	1.5%	9.1日	44.4%
8	010260	ウェルニッケ脳症	7	1.2%	45.9日	57.1%
9	010130	重症筋無力症	6	1.0%	14.2日	0.0%
9	010170	基底核等の変性疾患	6	1.0%	19.0日	33.3%
9	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	6	1.0%	38.0日	33.3%
9	010070	脳血管障害	6	1.0%	16.0日	83.3%
		その他	31	5.2%		
		合計	598	100.0%	25.1日	44.8%

診療科：内科 血液系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	130030	非ホジキンリンパ腫	229	45.0%	21.8日	34.5%
2	130010	急性白血病	98	19.3%	37.8日	35.7%
3	130060	骨髄異形成症候群	83	16.3%	17.2日	26.5%
4	130040	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物	46	9.0%	22.4日	34.8%
5	130110	出血性疾患(その他)	11	2.2%	17.4日	27.3%
6	130080	再生不良性貧血	10	2.0%	41.4日	40.0%
7	130050	骨髄増殖性腫瘍	7	1.4%	27.0日	42.9%
8	130090	貧血(その他)	6	1.2%	14.3日	50.0%
9	130020	ホジキン病	5	1.0%	21.6日	40.0%
10	130130	凝固異常(その他)	4	0.8%	34.0日	75.0%
		その他	10	2.0%		
		合計	509	100.0%	24.4日	34.2%

診療科：内科 筋骨格系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	070560	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患	144	63.2%	24.8日	38.2%
2	070470	関節リウマチ	23	10.1%	14.1日	17.4%
3	070510	痛風、関節の障害(その他)	14	6.1%	19.6日	71.4%
4	070330	脊椎感染(感染を含む)	11	4.8%	70.7日	72.7%
5	070071	骨髄炎(上肢以外)	7	3.1%	46.3日	100.0%
6	070040	骨の悪性腫瘍(脊椎を除く)	6	2.6%	18.7日	16.7%
7	070480	脊椎関節炎	5	2.2%	14.6日	40.0%
8	07010x	化膿性関節炎(下肢)	4	1.8%	49.0日	75.0%
9	070050	肩関節炎、肩の障害(その他)	3	1.3%	14.7日	66.7%
9	07034x	脊柱管狭窄(脊椎症を含む)	3	1.3%	24.7日	33.3%
		その他	8	3.5%		
		合計	228	100.0%	25.8日	41.7%

診療科：外科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	060335	胆嚢炎等	257	12.0%	6.8日	13.6%
2	060160	鼠径ヘルニア	222	10.3%	2.6日	5.0%
3	090010	乳房の悪性腫瘍	180	8.4%	8.1日	6.1%
4	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	175	8.2%	12.4日	32.6%
5	060040	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍	146	6.8%	26.6日	38.4%
6	060035	結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍	138	6.4%	18.5日	29.7%
7	060150	虫垂炎	111	5.2%	7.9日	37.8%
8	060020	胃の悪性腫瘍	109	5.1%	18.2日	29.4%
9	040040	肺の悪性腫瘍	105	4.9%	11.3日	33.3%
10	060370	腹膜炎、腹腔内膿瘍(女性器臓器を除く)	67	3.1%	35.9日	56.7%
		その他	637	29.7%		
		合計	2,147	100.0%	14.0日	27.4%

診療科：心臓外科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	050080	弁膜症(連弁膜症を含む)	27	27.6%	22.6日	37.0%
2	050161	大動脈解離	20	20.4%	27.3日	50.0%
3	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	15	15.3%	21.5日	33.3%
4	050163	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤	14	14.3%	51.8日	57.1%
5	180040	手術・処置等の合併症	4	4.1%	36.3日	75.0%
5	050030	急性心筋梗塞(続発性合併症を含む)、再発性心筋梗塞	4	4.1%	32.0日	50.0%
7	050162	破裂性大動脈瘤	3	3.1%	129.0日	66.7%
7	050130	心不全	3	3.1%	34.3日	0.0%
9	180010	敗血症	2	2.0%	74.0日	50.0%
		その他	6	6.1%		
		合計	98	100.0%	34.1日	45.9%

診療科：整形外科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	160800	股関節・大腿近位の骨折	215	28.5%	31.1日	62.8%
2	070343	脊柱管狭窄(脊椎症を含む) 腰部骨盤、不安定椎	48	6.4%	20.0日	56.3%
3	07040x	股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む)	46	6.1%	22.7日	56.5%
4	160835	下腿足関節周辺の骨折	38	5.0%	31.7日	57.9%
5	160870	頸椎頸髄損傷	37	4.9%	37.8日	56.8%
6	070230	膝関節症(変形性を含む)	33	4.4%	19.5日	45.5%
7	160850	足関節・足部の骨折・脱臼	27	3.6%	13.6日	44.4%
8	160820	膝関節周辺の骨折・脱臼	26	3.4%	25.4日	38.5%
9	070341	脊柱管狭窄(脊椎症を含む) 頸部	26	3.4%	24.7日	46.2%
10	160740	肘関節周辺の骨折・脱臼	25	3.3%	9.8日	20.0%
10	160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む)	25	3.3%	23.7日	48.0%
		その他	209	27.7%		
		合計	755	100.0%	25.9日	51.8%

診療科：脳神経外科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	160100	頭蓋・頭蓋内損傷	238	28.0%	11.7日	19.7%
2	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	166	19.6%	26.2日	48.8%
3	010070	脳血管障害	84	9.9%	10.1日	3.6%
4	010010	脳腫瘍	67	7.9%	31.0日	34.3%
5	010030	未破裂脳動脈瘤	64	7.5%	5.6日	6.3%
6	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	59	6.9%	29.8日	13.6%
7	010060	脳梗塞	59	6.9%	44.3日	62.7%
8	010200	水頭症	25	2.9%	49.1日	32.0%
9	010230	てんかん	23	2.7%	9.4日	26.1%
10	010120	特発性(単)ニューロパチー	11	1.3%	8.6日	0.0%
		その他	53	6.2%		
		合計	849	100.0%	20.6日	27.4%

診療科：形成外科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	020230	眼瞼下垂	48	17.7%	2.3日	8.3%
2	070010	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く)	27	10.0%	5.1日	44.4%
3	080010	膿皮症	19	7.0%	11.5日	26.3%
4	160200	顔面損傷(口腔、咽頭損傷を含む)	18	6.6%	5.4日	11.1%
5	070071	骨髓炎(上肢以外)	17	6.3%	32.4日	17.6%
6	050170	閉塞性動脈疾患	15	5.5%	44.4日	26.7%
7	080250	褥瘡潰瘍	13	4.8%	51.6日	61.5%
8	160660	皮下軟部損傷・挫滅損傷、開放創	12	4.4%	9.6日	41.7%
9	080180	母斑、母斑症	11	4.1%	2.9日	0.0%
10	100100	糖尿病足病変	9	3.3%	49.2日	33.3%
10	090010	乳房の悪性腫瘍	9	3.3%	11.6日	88.9%
		その他	73	26.9%		
		合計	271	100.0%	15.9日	33.6%

診療科：皮膚科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	080006	皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外)	86	37.9%	5.3日	10.5%
2	080010	膿皮症	52	22.9%	13.0日	44.2%
3	080020	帯状疱疹	17	7.5%	7.2日	5.9%
4	161070	薬物中毒(その他の中毒)	9	4.0%	3.0日	22.2%
4	080190	脱毛症	9	4.0%	3.0日	0.0%
4	080110	水疱症	9	4.0%	42.2日	77.8%
7	180050	その他の悪性腫瘍	7	3.1%	3.0日	0.0%
8	080007	皮膚の良性新生物	4	1.8%	3.0日	0.0%
8	080245	放射線皮膚障害	4	1.8%	3.0日	0.0%
8	080090	紅斑症	4	1.8%	13.5日	75.0%
8	180060	その他の新生物	4	1.8%	3.3日	0.0%
		その他	22	9.7%		
		合計	227	100.0%	9.9日	23.8%

診療科：耳鼻咽喉科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	030240	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	80	15.4%	9.4日	48.8%
2	030350	慢性副鼻腔炎	74	14.3%	4.5日	5.4%
2	03001x	頭頸部悪性腫瘍	74	14.3%	21.3日	50.0%
4	030230	扁桃、アデノイドの慢性疾患	37	7.1%	8.1日	10.8%
5	030150	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍	32	6.2%	5.2日	0.0%
6	030390	顔面神経障害	24	4.6%	6.8日	0.0%
7	030428	突発性難聴	23	4.4%	6.8日	0.0%
8	030440	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫	22	4.2%	5.2日	4.5%
9	100020	甲状腺の悪性腫瘍	18	3.5%	12.8日	55.6%
10	100130	甲状腺の良性結節	17	3.3%	7.2日	5.9%
		その他	117	22.6%		
		合計	518	100.0%	9.7日	24.3%

診療科：泌尿器科・透析科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	110080	前立腺の悪性腫瘍	662	29.1%	4.6日	6.8%
2	110070	膀胱腫瘍	265	11.7%	9.3日	20.0%
3	11012x	上部尿路疾患	256	11.3%	4.4日	11.3%
4	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	252	11.1%	21.5日	31.7%
5	110310	腎臓又は尿路の感染症	153	6.7%	16.7日	41.8%
6	110060	腎盂・尿管の悪性腫瘍	92	4.0%	7.7日	23.9%
7	11013x	下部尿路疾患	77	3.4%	5.5日	15.6%
8	110200	前立腺肥大症等	58	2.6%	6.7日	1.7%
9	11022x	男性生殖器疾患	54	2.4%	4.7日	16.7%
10	11001x	腎腫瘍	45	2.0%	12.9日	17.8%
		その他	358	15.8%		
		合計	2,272	100.0%	10.4日	19.7%

診療科：産科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	120180	胎児及び胎児付属物の異常	122	32.1%	9.3日	12.3%
2	120260	分娩の異常	94	24.7%	8.1日	19.1%
3	120170	早産、切迫早産	43	11.3%	22.6日	48.8%
4	120160	妊娠高血圧症候群関連疾患	35	9.2%	11.4日	25.7%
5	120165	妊娠合併症等	26	6.8%	13.0日	50.0%
6	180030	その他の感染症(真菌を除く)	20	5.3%	10.1日	0.0%
7	120182	前置胎盤及び低置胎盤	11	2.9%	9.8日	9.1%
8	120140	流産	5	1.3%	1.8日	20.0%
8	120150	妊娠早期の出血	5	1.3%	6.2日	20.0%
10	110310	腎臓又は尿路の感染症	4	1.1%	12.0日	50.0%
		その他	15	3.9%		
		合計	380	100.0%	10.8日	22.1%

診療科：婦人科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	12002x	子宮頸・体部の悪性腫瘍	265	39.6%	7.3日	15.8%
2	120060	子宮の良性腫瘍	96	14.3%	7.9日	13.5%
3	120010	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	85	12.7%	5.6日	16.5%
4	120070	卵巣の良性腫瘍	71	10.6%	9.1日	14.1%
5	120090	生殖器脱出症	25	3.7%	7.6日	12.0%
6	120100	子宮内膜症	22	3.3%	6.4日	18.2%
7	120110	子宮・子宮附属器の炎症性疾患	20	3.0%	11.5日	45.0%
8	120130	異所性妊娠(子宮外妊娠)	14	2.1%	5.6日	28.6%
9	140600	女性性器の先天性異常	7	1.0%	5.7日	71.4%
9	130090	貧血(その他)	7	1.0%	3.4日	0.0%
9	120140	流産	7	1.0%	2.6日	57.1%
		その他	50	7.5%		
		合計	669	100.0%	7.6日	18.7%

診療科：眼科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	020110	白内障、水晶体の疾患	634	65.4%	2.3日	25.6%
2	020220	緑内障	97	10.0%	6.9日	44.3%
3	020200	黄斑、後極変性	79	8.1%	7.8日	68.4%
4	020160	網膜剥離	36	3.7%	12.0日	86.1%
5	020180	糖尿病性増殖性網膜症	36	3.7%	7.6日	52.8%
6	020240	硝子体疾患	31	3.2%	6.0日	61.3%
7	020210	網膜血管閉塞症	21	2.2%	9.1日	61.9%
8	020350	脈絡膜の疾患	12	1.2%	8.8日	91.7%
9	020150	斜視(外傷性・癒着性を除く)	5	0.5%	3.0日	0.0%
10	020280	角膜の障害	4	0.4%	14.5日	75.0%
		その他	15	1.5%		
		合計	970	100.0%	4.3日	37.4%

診療科：小児科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	180030	その他の感染症(真菌を除く)	108	12.7%	5.6日	2.8%
2	040100	喘息	79	9.3%	5.7日	29.1%
3	040090	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他)	68	8.0%	6.6日	64.7%
4	080270	食物アレルギー	62	7.3%	1.5日	9.7%
5	060380	ウイルス性腸炎	58	6.8%	3.7日	13.8%
6	150070	川崎病	38	4.5%	18.8日	89.5%
7	100250	下垂体機能低下症	31	3.6%	3.0日	90.3%
8	110310	腎臓又は尿路の感染症	23	2.7%	8.1日	17.4%
8	040080	肺炎等	23	2.7%	10.8日	65.2%
9	010230	てんかん	21	2.5%	3.6日	0.0%
9	040070	インフルエンザ、ウイルス性肺炎	21	2.5%	7.4日	38.1%
		その他	321	37.6%		
		合計	853	100.0%	6.5日	29.5%

診療科：新生児科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	395	98.0%	16.0日	24.6%
2	14031x	先天性心疾患(動脈管開存症、心房中隔欠損症を除く)	2	0.5%	1.5日	0.0%
3	140110	鼻の先天異常	1	0.2%	13.0日	100.0%
3	14029x	動脈管開存症、心房中隔欠損症	1	0.2%	136.0日	100.0%
3	140280	気道の先天異常	1	0.2%	105.0日	0.0%
3	180060	その他の新生物	1	0.2%	8.0日	100.0%
3	140230	喉頭の疾患(その他)	1	0.2%	138.0日	0.0%
3	140620	その他の先天異常	1	0.2%	55.0日	100.0%
		合計	403	100.0%	16.8日	25.1%

診療科：神経精神科科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ超率
1	170030	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	66	38.8%	95.9日	-
2	170040	気分[感情]障害	49	28.8%	43.4日	-
3	170060	その他の精神及び行動の障害	18	10.6%	50.8日	-
4	170050	神経症性障害,ストレス関連障害及び身体表現性障害	9	5.3%	25.2日	-
5	01021x	認知症	6	3.5%	54.3日	-
6	170020	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	5	2.9%	98.4日	-
6	010230	てんかん	5	2.9%	5.6日	-
8	100270	間脳下垂体疾患(その他)	2	1.2%	71.5日	-
		その他	10	5.9%		
		合計	170	100.0%	73.4日	-



クリニカル・パスの統計



●クリニカル・パスの使用率（2022年度）

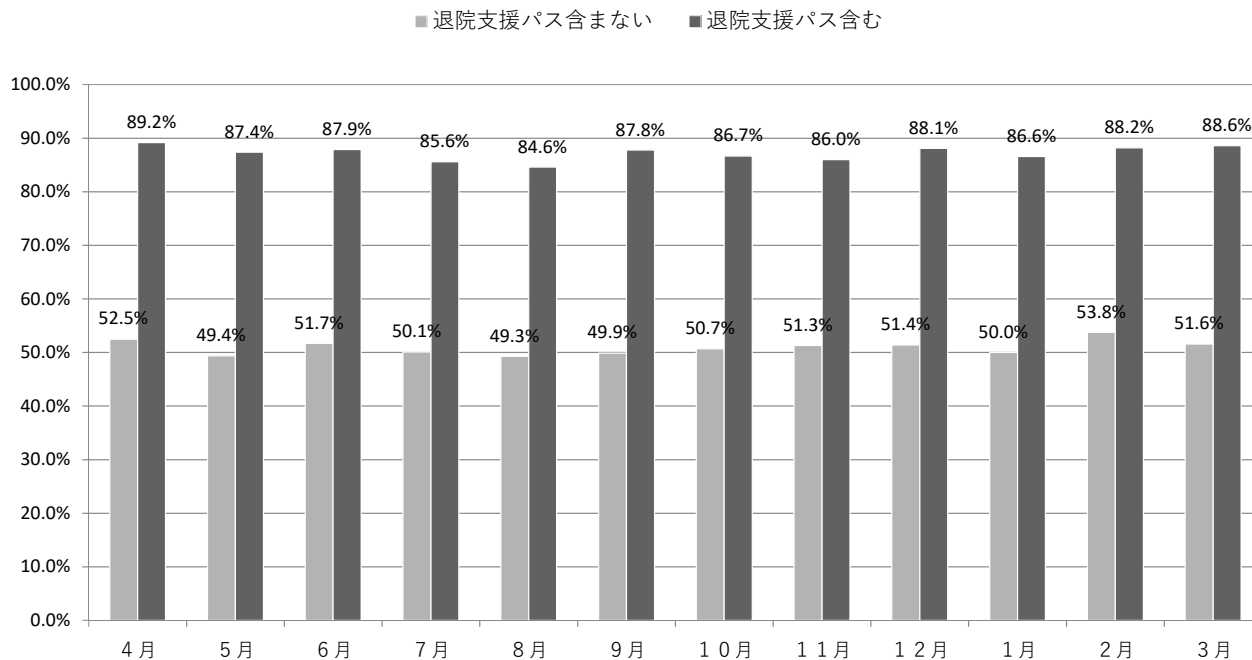


図1 2022年度 クリニカル・パス使用率

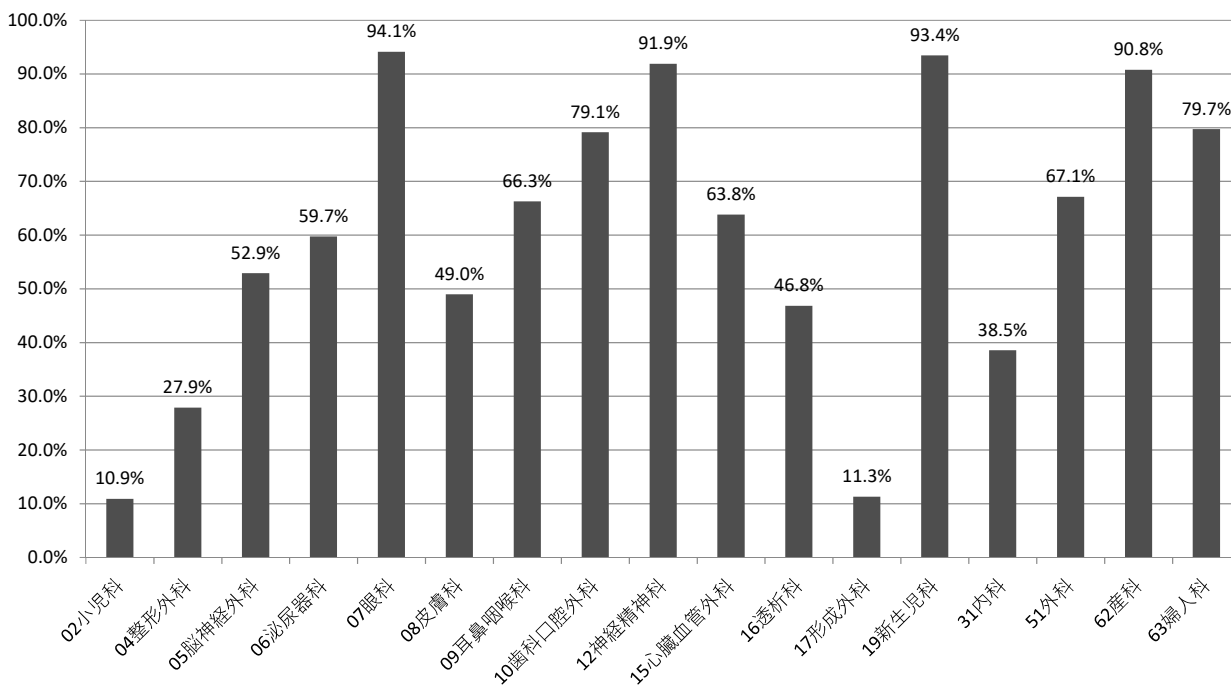
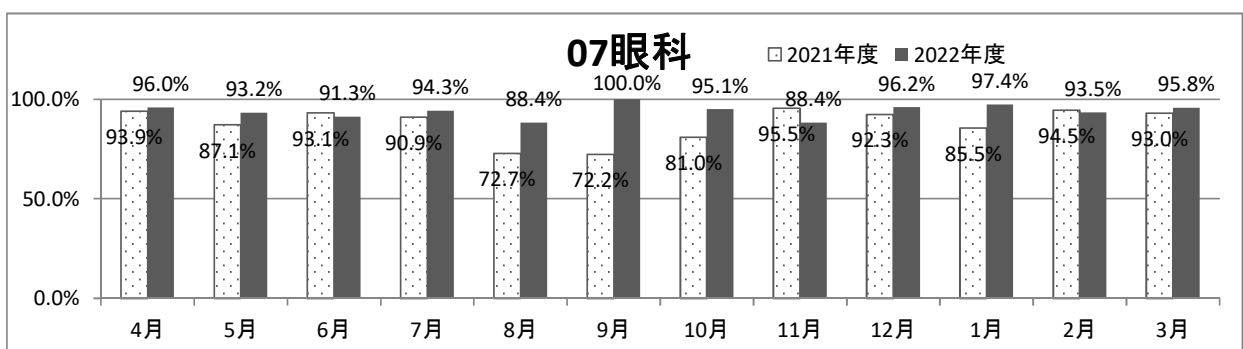
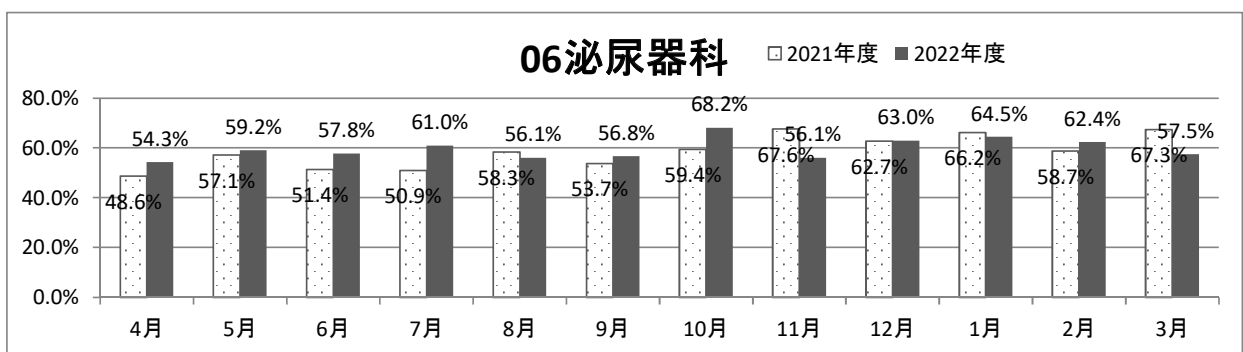
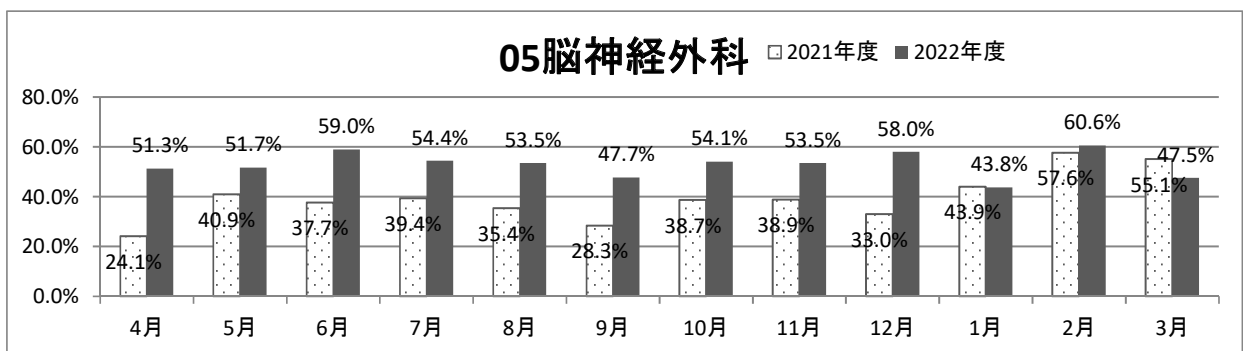
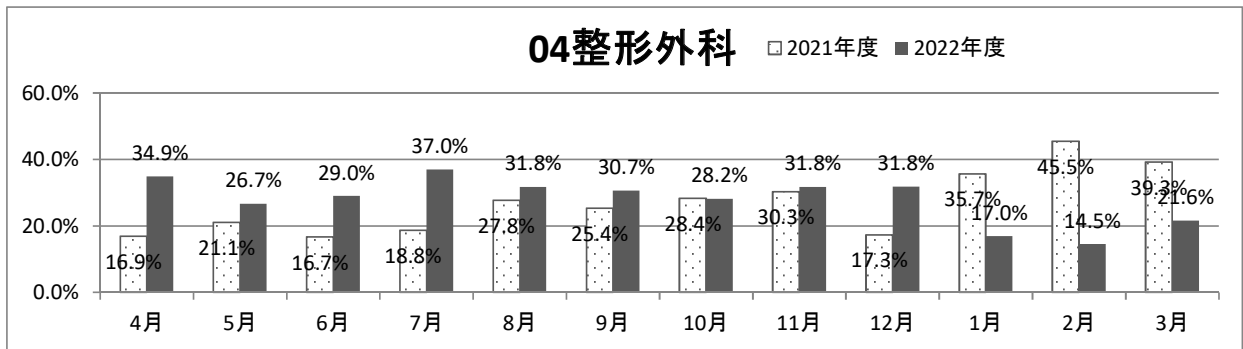
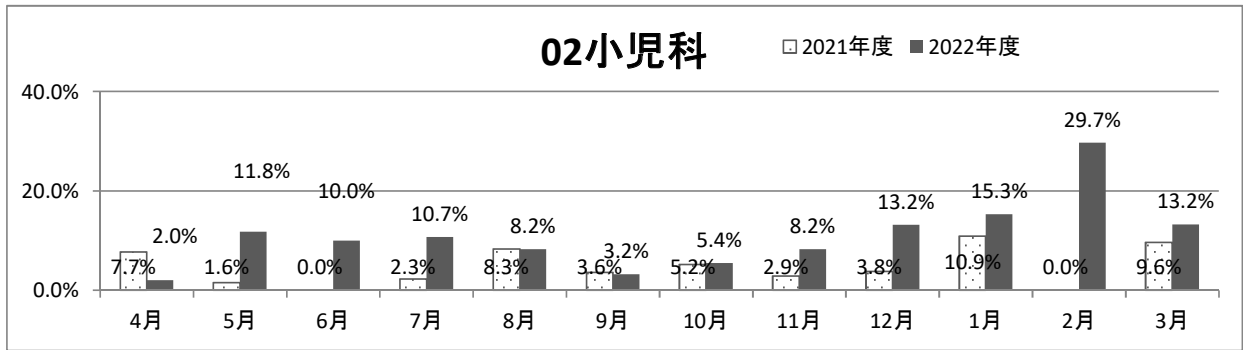


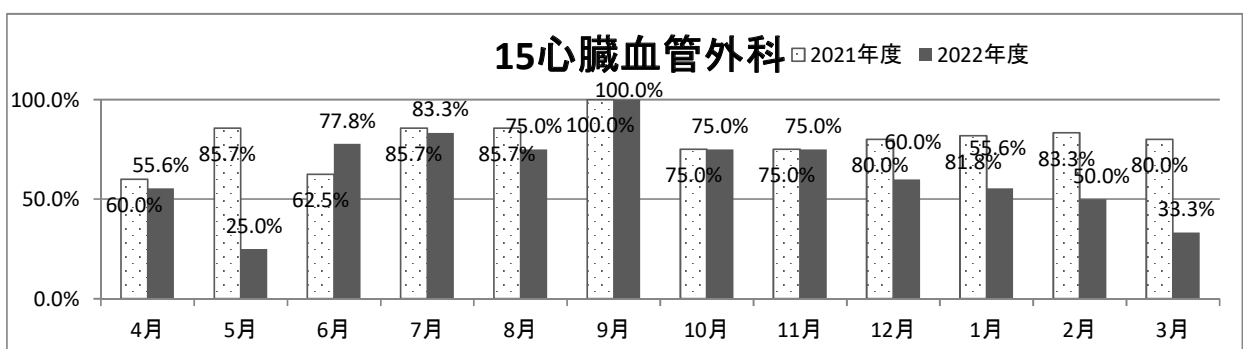
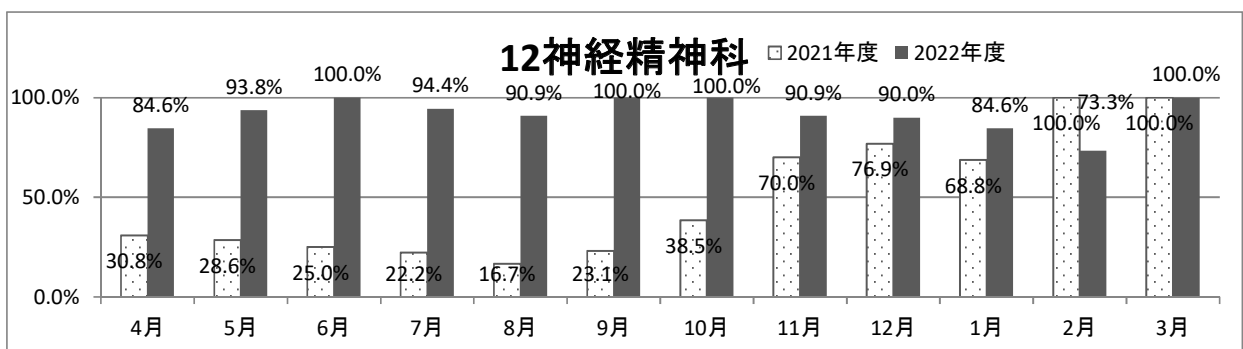
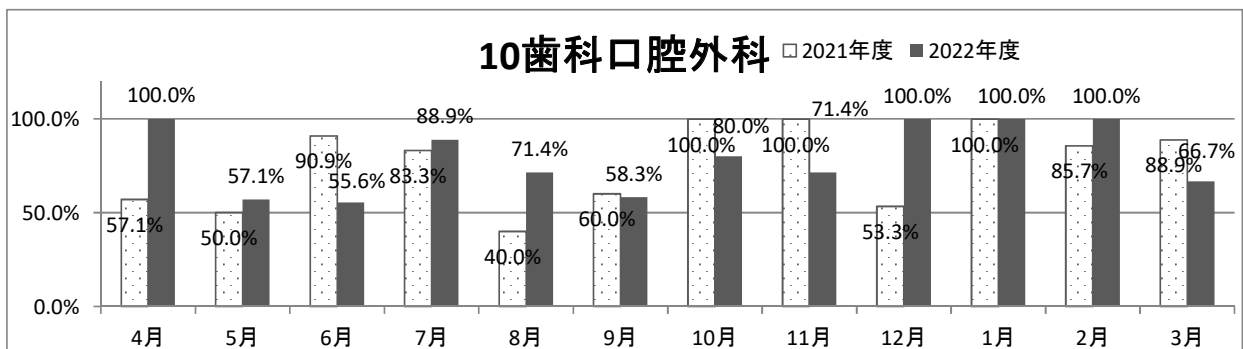
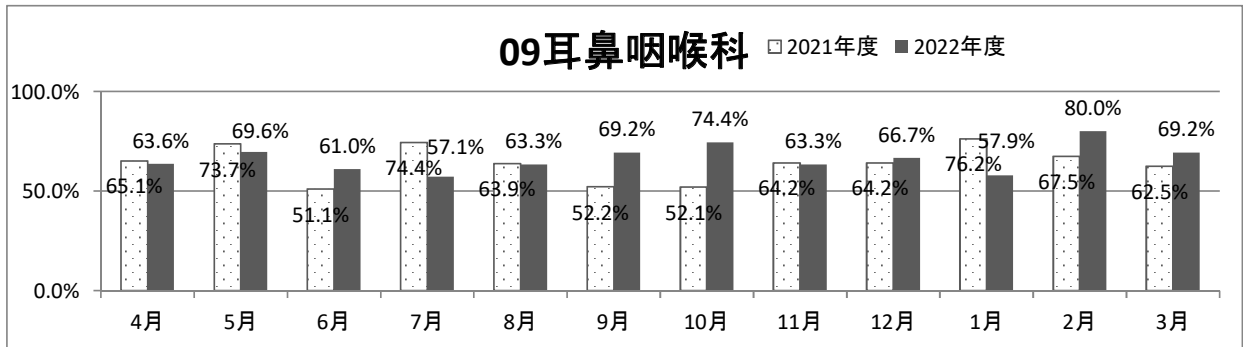
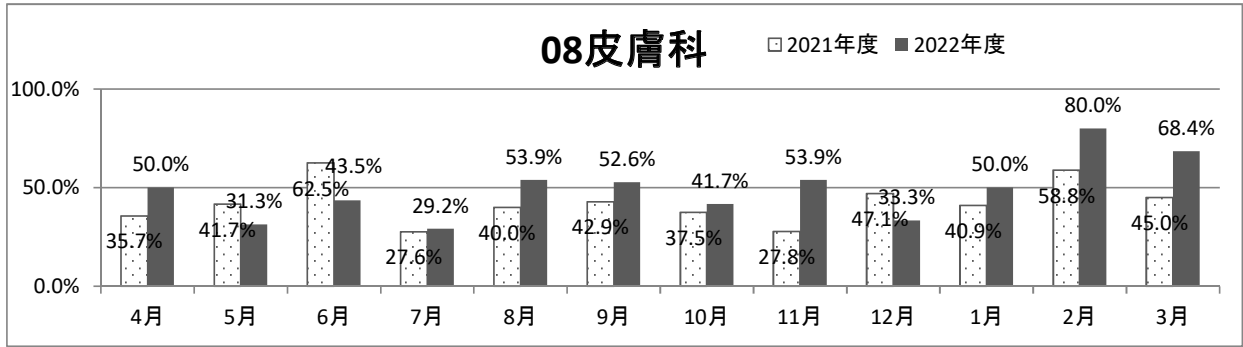
図2 2022年度 診療科別クリニカル・パス年間平均使用率

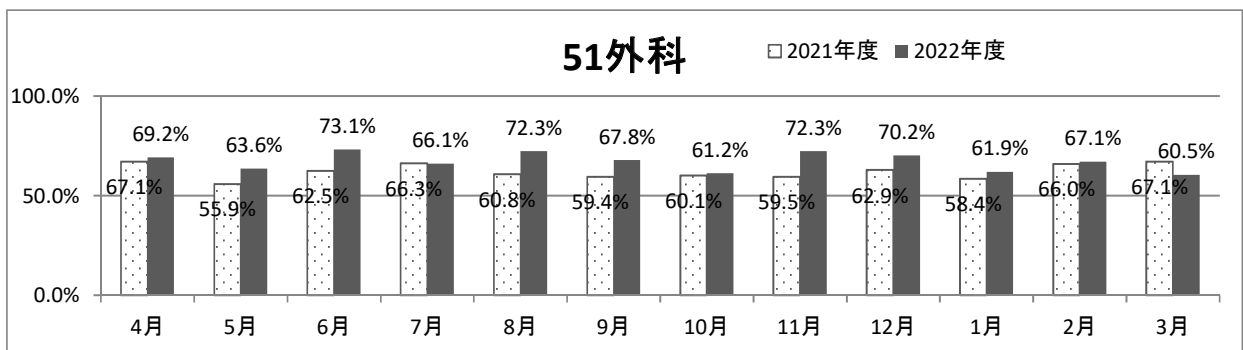
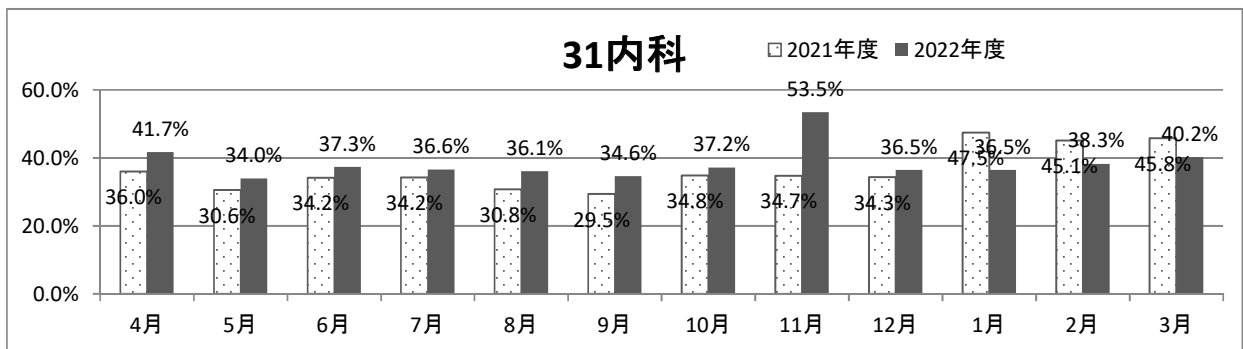
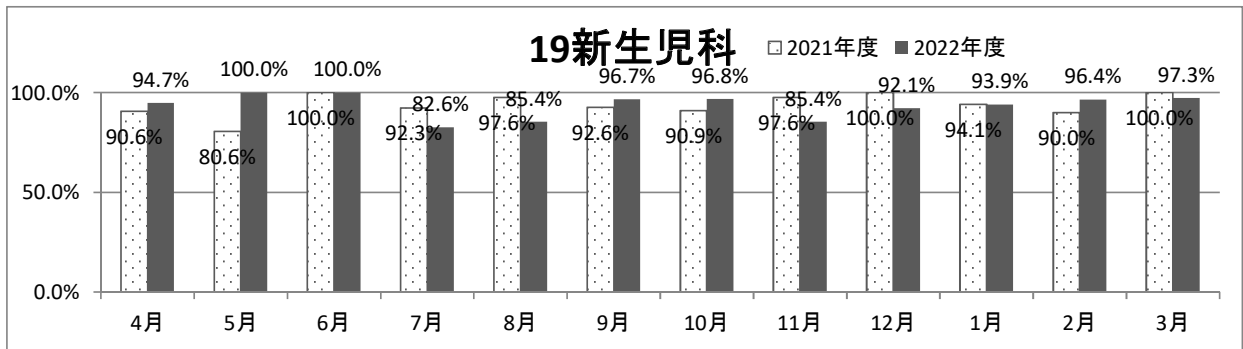
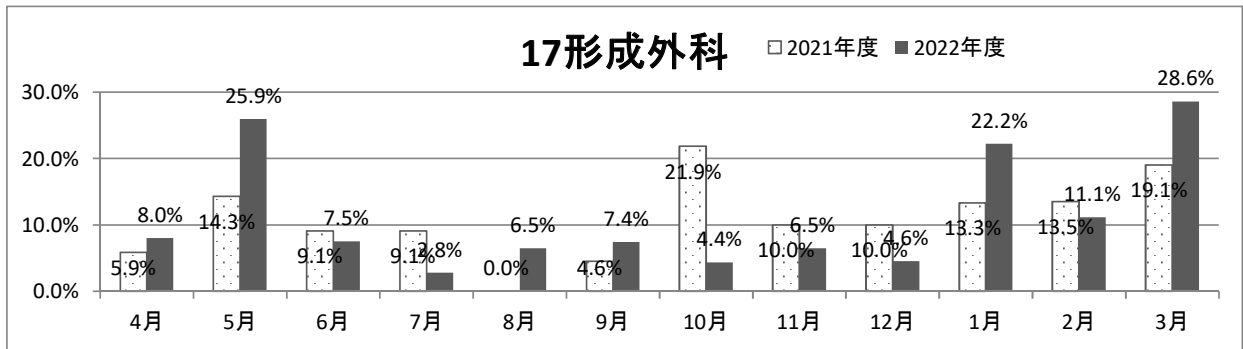
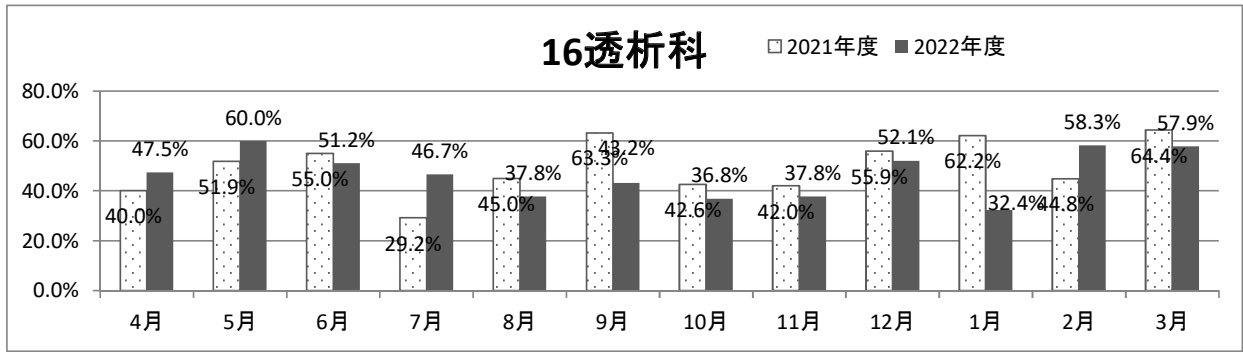
●診療科別クリニカル・パスの利用率（2022年度）

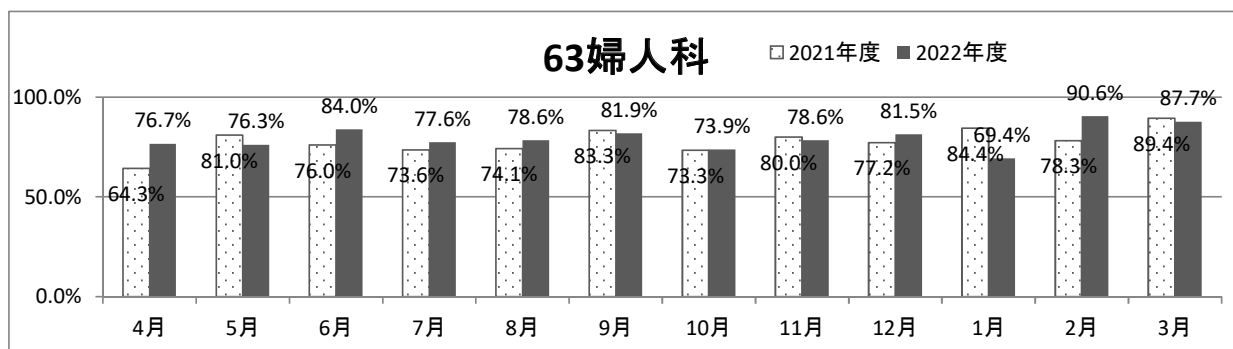
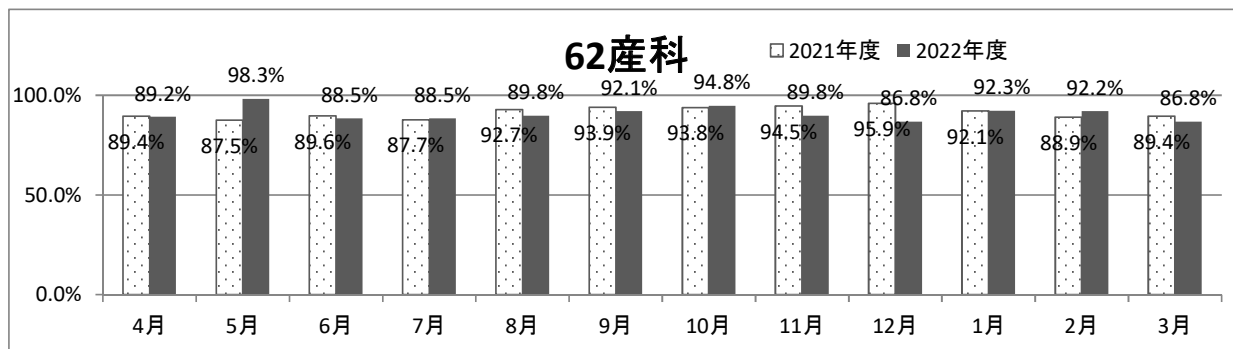
（退院支援パスは除外）

分子：クリニカル・パス利用患者 分母：退院患者









●クリニカル・パスの使用件数（2022年度）

電子カルテパス、Yahgeeパスをカウントした。（紙パスは統計対象外）

診療科/パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
内科	595	562	577	648	2,382
ABL	55	55	62	66	238
AZA静注7日間	2	2		6	10
AZA皮下注5日間	2	2	6	9	19
AZA皮下注7日間	3	3	1		7
CAG上肢（腎機能異常）	1	4	3	3	11
CAG上肢（腎機能正常）	10	2	7	1	20
CAG鼠径（腎機能異常）	1	1	1		3
CAG鼠径（腎機能正常）			1		1
EBUS(超音波気管支鏡検査)一泊	10	13	14	16	53
EPS・ABL	7	6	7	8	28
ERCP				33	33
EUS-FNAパス	6	8	3	2	19
EUS-FNAパス（腎機能低下・高齢者用）	3	2	2	3	10
EVT創傷あり（腎機能異常）	18	13	11	23	65
EVT創傷あり（腎機能正常）	14	8	3	14	39
EVT創傷あり（透析患者用）	5	5	5	11	26
EVT創傷なし（腎機能異常）	11	16	23	17	67
EVT創傷なし（腎機能正常）	26	10	22	18	76
EVT創傷なし（透析患者用）	7	7	9	13	36
GB療法（初回）		1			1
G B療法（初回）ガザイバ3日目				2	2
PCI上肢（腎機能異常）	29	25	24	18	96
PCI上肢（腎機能正常）	51	45	44	28	168
PCI鼠径（腎機能異常）	17	18	14	11	60
PCI鼠径（腎機能正常）	10	12	13	11	46
RB療法（初回）		1			1
R-CHOP療法（木曜以外の入院）	1	2			3
R-CHOP療法（木曜日入院）		1			1
アテローム血栓性脳梗塞パス	17	14	13	22	66
シャント造設術（維持透析患者）			1		1
ペースメーカー・ICD植え込み術	32	36	33	24	125
ポート造設術	3	3	2	3	11
ラジオ波凝固療法（RFA）：前日入院用	1	1	3	8	13
胃ポリペク	4	2	1	1	8
胃ポリペク（胃カメラ再検後 食だし不可）		1			1
胃ポリペク（腎機能低下または透析）	1		3		4
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（前日入院・抗血小板あり：腎機能低下）		1	1	1	3
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（前日入院・抗血小板あり）		2	1		3
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（前日入院・抗血小板なし）	3	2	4	3	12
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（前日入院・抗血小板なし：腎機能低下）	4	2	1		7
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（当日入院・抗血小板あり）	2	2	1	4	9
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（当日入院・抗血小板あり：腎機能低下）	2	5	3	1	11
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（当日入院・抗血小板なし）	4	19	12	16	51
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（当日入院・抗血小板なし：腎機能低下）	3	6	4	4	17
肝生検パス		3	1	4	8
肝動脈塞栓術(TAE)	4	12	8	7	31
経皮的内視鏡下胃瘻造設パス	13	7	4	6	30
骨髄採取（ドナー用）		2		1	3
十二指腸ESD	2		2		4
十二指腸ESD（腎機能低下・高齢者ver.	1	1		1	3
上腕動脈表在化造設（維持透析患者）		1		1	2
食道ESD	2	2	1	1	6
食道ESD（腎機能低下・高齢者ver.		3	2		5
心原性脳塞栓症パス	2	2	4	9	17
腎生検（e-GFR 50以下または透析）	5	2	3	2	12
腎生検（e-GFR50以上）	1	1	4	4	10
睡眠時無呼吸症候群 PSG検査	4	3	6	10	23
鼠径ヘルニア			1		1
大腸ESD	13	13	17	15	58
大腸ESD（腎機能低下または高齢者）	9	7	9	12	37
大腸ポリペク	10	15	18	10	53

診療科/パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
大腸ポリペク（腎機能低下または透析）	13	12	12	21	58
胆管炎（ERCP後入院：タソビベ）			1		1
胆管炎（当日ERCP：セフメタゾール）	2				2
胆管炎（当日ERCP：セフメタゾール）腎機能低下・高齢者ver	1				1
胆管炎（翌日ERCP：セフメタゾール）			1		1
当日入院CAG上肢（腎機能正常）	5	7	4	3	19
当日入院CAG鼠径（腎機能正常）		1	2	1	4
当日入院EVT創傷あり（腎機能正常）	6	3	3	6	18
当日入院EVT創傷あり（透析患者用）	3	1	2	8	14
当日入院EVT創傷なし（腎機能正常）	14	13	12	15	54
当日入院EVT創傷なし（透析患者用）	4	2	2	4	12
当日入院PCI上肢（腎機能正常）	11	15	15	18	59
当日入院PCI鼠径（腎機能正常）	4	8	5	14	31
入院中CAG上肢（腎機能異常）	3	1	3	4	11
入院中CAG上肢（腎機能正常）	4		2		6
入院中CAG鼠径（腎機能異常）	1			2	3
入院中CAG鼠径（腎機能正常）			1	1	2
入院中PCI上肢（腎機能異常）	12	9	15	11	47
入院中PCI上肢（腎機能正常）	16	6	14	7	43
入院中PCI鼠径（腎機能異常）	9	2	7	19	37
入院中PCI鼠径（腎機能正常）	6	2	9	6	23
末梢血幹細胞採取（ドナー用）	3	1	1		5
患者用心臓外科手術パス	2	3			5
医療者用緩和ケア病棟入棟初期パス	23	21	24	23	91
医療者用血液透析パス アクセスなし(初回～3回)	3	1	1	1	6
医療者用在宅酸素療法導入パス	2		1	1	4
患者用急性心筋梗塞（救命救急センター用）パス	17	22	2		41
透析科	387	169	208	230	994
CAPDカテーテル抜去術		1			1
EVT創傷あり（腎機能異常）				1	1
シャントPTA	2				2
シャント造設術（維持透析患者）	4	9	5	5	23
シャント造設術（導入期患者）	18	9	19	17	63
血液透析導入	10	3	2	5	20
上腕動脈表在化造設（維持透析患者）	7	8	1	5	21
上腕動脈表在化造設（導入期患者）	12	4	3	3	22
心原性脳塞栓症パス			1		1
腎生検（e-GFR 50以下または透析）	8	4	6	10	28
腎生検（e-GFR50以上）	5	5	2	5	17
大腸ポリペク（腎機能低下または透析）			1		1
入院中PCI鼠径（腎機能正常）	1				1
慢性硬膜下血腫 前日入院（1週間）				1	1
医療者用外来シャントPTAパス（透析あり）	1				1
医療者用血液透析パス アクセスなし(初回～3回)	90	51	82	61	284
医療者用血液透析移行期No.1パス	6	2	7	9	24
医療者用血液透析移行期No.2パス	11	11	7	7	36
血液透析移行期クリニカルパスNO.1		1		1	2
血液透析移行期クリニカルパスNO.2	5	1	1	2	9
血液透析導入クリニカルパス シャント造設術後	73	21	33	38	165
血液透析導入クリニカルパス（シャントあり）	1	1	2	2	6
血液透析導入クリニカルパスグラフトシャント造設術後		2	7		9
血液透析導入クリニカルパスシャント造設術後	1	1		1	3
血液透析導入クリニカルパス動脈表在化術後	116	31	26	55	228
外来シャントエコー下PTA	16	2	2		20
外来シャント造影クリニカルパス		2	1	2	5
小児科	14	13	23	35	85
ESS	1				1
その他アレルギー-負荷試験			1	8	9
牛乳アレルギー-負荷試験		1	1	3	5
小児腎生検～前日入院～	1				1
鎮静剤使用検査パス（入院用）			7	5	12
低月齢児発熱～ラクテック/セフォタックス・ピクシリン～	1				1
低身長精査**アルギニン→クロニジン	5	9	2	3	19
低身長精査～L-DOPAから～	1	1	3	1	6
低身長精査～クロニジンから～		2	3		5
卵アレルギー-負荷試験	5		6	15	26

診療科/パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
外科	382	370	393	350	1,495
《VTEver》胃全摘 術後1病日～	2				2
《VTEver》幽門側胃切除術 術後1病日～	3	3	1	2	9
【共通】胃切除術（手術前日～当日）	23	26	23	21	93
【共通】直腸癌（入院日～手術当日）	26	25	20	15	86
EVAR	7	5	3	8	23
Miles術 術後1病日～ VTEver	1	2			3
イレウス保存治療	24	15	35	19	93
ポート造設術	14	10	12	12	48
胃全摘 術後1病日～	3				3
右気胸の手術パス			2	1	3
右側結腸パス（前日入院）			3	10	13
右側結腸パス（前日入院） VTEver		11	23	12	46
右肺切除パス				1	1
下肢静脈瘤	5	5	2	2	14
開腹AAA	7	6	6	6	25
開腹胆摘	3	2	2	5	12
肝切除	12	16	12	16	56
肝動脈塞栓術(TAE)			1		1
甲状腺手術、PHPT手術	9	9	8	8	34
左側結腸パス（2日前入院）			1	5	6
左側結腸パス（2日前入院） VTEver			7	13	20
左側結腸パス（前処置あり、2日前入院） VTEver	4	10	10		24
試験開腹orバイパス術 術後1病日～	2		1		3
小児鼠径ヘルニア	1	1			2
上腕動脈表在化瘤切除術		1			1
成人ヘルニア 1泊2日	35	36	37	41	149
成人ヘルニア 2泊3日	16	17	16	12	61
虫垂切除術	9	3	4	4	20
直腸癌低位前方切除術 術後1病日～	1	1	1		3
直腸癌低位前方切除術 術後1病日～ VTEver	4		4		8
直腸癌低位前方切除術+covering stoma 術後1病日～	1	1	1		3
直腸癌低位前方切除術+covering stoma 術後1病日～ VTEver		1		1	2
当日前立腺生検（P生検）				3	3
乳腺手術（術後：ドレーンあり）パス	30	34	27	12	103
乳腺手術（術後：ドレーンなし）パス	14	14	13	15	56
乳腺手術（術前）パス	44	47	38	27	156
非開腹ASO、末梢動脈瘤		1			1
腹腔鏡下胆嚢摘出術	62	44	62	61	229
腹腔鏡下虫垂切除術	6	12	11	8	37
幽門側胃切除術 術後1病日～			1		1
肛門疾患パス	8	8	4	9	29
医療者用緩和ケア病棟入棟初期パス	6	4	2	1	13
整形外科	43	30	28	25	126
右人工股関節置換術パス	4	3	1		8
右人工膝関節置換術用パス		1	2		3
右大腿骨近位部骨折	6	4	2	1	13
金曜日入院：右人工股関節置換術パス	2				2
金曜日入院：右人工膝関節置換術用パス		2	2		4
金曜日入院：左人工股関節置換術パス	1			1	2
金曜日入院：左人工膝関節置換術用パス	1	1	3	1	6
頸椎症性脊髄症	4	3	2	7	16
腰部脊柱管狭窄症	14	10	12	10	46
左人工股関節置換術パス	4		3	3	10
左人工膝関節置換術用パス	3	3	1		7
左大腿骨近位部骨折	4	2		2	8
医療者用緩和ケア病棟入棟初期パス		1			1
脳神経外科	70	60	63	66	259
CAS（頸動脈ステント留置術）	10	11	15	9	45
CAS（頸動脈ステント留置術） 腎機能低下	3	6	3	8	20
V-Pシャント術 金曜日入院～退院まで			1	1	2
V-Pシャント術 前日入院～退院まで	6	6	2	4	18
コイル塞栓術	6	2	4	3	15
コイル塞栓術 腎機能低下	3				3
ジャネット術（顔面痙攣）パス 3日前入院			1		1
ジャネット術（顔面痙攣）パス 前日入院	1	1	1		3

診療科/パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
ジャンネット術パス（三叉神経痛） 前日入院	3	2	3	2	10
下垂体腫瘍摘出術（前日入院～退院まで）	2	1			3
血管撮影（前日入院）			3		3
血管撮影（当日入院）	10	7	9	18	44
聴神経鞘腫摘出術				1	1
慢性硬膜下血腫 術後入院		1	1		2
慢性硬膜下血腫 前日入院	2		2	2	6
慢性硬膜下血腫 前日入院（1週間）	1				1
慢性硬膜下血腫 当日入院	18	21	15	15	69
慢性硬膜下血腫 当日入院（1週間）	4	1	3	1	9
医療者用緩和ケア病棟入棟初期パス	1	1		2	4
泌尿器科	320	334	322	323	1,299
PNL1回目	5	4	5	8	22
Ptec		1			1
RALP術後5日造影 ロボット支援前立腺摘除術	10	13	2	15	40
RALP術後7日造影 ロボット支援前立腺摘除術	4	3	2	1	10
RAPN（ロボット支援腎部分切除術）	5	3	6	2	16
TUL	67	81	48	65	261
T U R B T	41	52	49	33	175
TURP・TUEB（経尿道的前立腺切除）	20	15	16	11	62
陰嚢水腫	6	6	4	2	18
鏡視下腎尿管全摘・膀胱部分切除術	5	8	1	5	19
経尿道的膀胱結石砕石術（TUVL）	6	11	8	4	29
高位除鞅術	3		1	2	6
根治的前立腺摘除術	4	3	3	2	12
除鞅術	3	5	4	2	14
水圧拡張術	1	1	1	2	5
前日入院 前立腺生検（P生検）	2	1	3	2	8
鼠径ヘルニア	3		2	1	6
当日ESWL	4	3	3	1	11
当日手術 高位除鞅術		2		1	3
当日前立腺生検（P生検）	108	99	143	148	498
内視尿道切開（尿道狭窄）	4	2	1	1	8
尿管鏡検査	11	6	8	6	31
腹腔鏡下腎摘除術（ラパロ腎摘）	2	4	4	3	13
膀胱全摘回腸導管造設術	3	3	3	1	10
医療者用緩和ケア病棟入棟初期パス	3	8	4	5	20
医療者用血液透析パス アクセスなし(初回～3回)			1		1
眼科	160	173	176	162	671
白内障 右眼 2日間	57	61	55	58	231
白内障 右眼 3日間	16	22	29	22	89
白内障 左眼 2日間	62	64	63	51	240
白内障 左眼 3日間	11	18	20	23	72
緑内障 右眼 7日間	1			1	2
緑内障 左眼 7日間	2	1	1	2	6
緑内障+白内障 右眼 7日間	6	2	4	3	15
緑内障+白内障 左眼 7日間	5	3	2	1	11
睫毛内反 右眼 3日間 全身麻酔			1		1
睫毛内反 左眼 3日間 全身麻酔		1		1	2
睫毛内反 両眼 3日間 全身麻酔		1	1		2
皮膚科	21	30	26	32	109
円形脱毛症 2泊3日	2	1	2	3	8
全層植皮術 局所麻酔	19	28	23	29	99
医療者用緩和ケア病棟入棟初期パス		1	1		2
耳鼻咽喉科	70	67	73	72	282
ESS	20	19	28	26	93
アデノイド切除・チューピング（小児）		1	2		3
チューピング（小児）		1	1	1	3
デビコンコ		1		1	2
顔面神経麻痺・Hunt	2	2	1	2	7
顔面神経麻痺・ヘル麻痺	4	5	3	2	14
頸部リンパ節郭清術	2	3	2		7
鼓室形成術（小児）	1	2	1		4
鼓室形成術（成人）	8	5	7	5	25
口蓋扁桃摘出術（小児）	2	1			3
口蓋扁桃摘出術（成人）	9	4	4	7	24

診療科/パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
口蓋扁桃摘出術・アデノイド切除・チュービング (小児)		1		3	4
喉頭微細手術	3	1	2	1	7
甲状腺全摘出術	3		2	1	6
甲状腺部分切除術	2	3	4	7	16
耳瘻管摘出術	1	2		1	4
耳瘻管摘出術 (小児)		3	3		6
食道ESD (腎機能低下・高齢者ver.)		1			1
全麻リンパ節生検	1	1		2	4
唾液腺手術	6	4	5	9	24
突発性難聴 (中用量)	6	6	7	3	22
突発性難聴 (中用量) めまい合併	1	1	1	1	3
耳鼻咽喉科頭頸部外科	4	3	5	10	22
ESS		1		1	2
チュービング (小児)				1	1
デビコンコ				1	1
顔面神経麻痺・Hunt				1	1
鼓室形成術 (成人)				1	1
唾液腺手術				2	2
医療者用緩和ケア病棟入棟初期パス	4	2	5	3	14
歯科・歯科口腔外科	13	18	23	20	74
炎症疾患 手術無し 7日間			1	1	2
顎骨骨折 観血整復固定術 全身麻酔 7日間Ver.		1	1	2	4
顎骨骨折 非観血整復固定術 局所麻酔 7日間Ver.		1			1
顎変形症手術 上下骨切り 1 4日間			1		1
歯槽部関連疾患 局所麻酔 4日間Ver.	2				2
歯槽部関連疾患 局所麻酔 5日間Ver.			2		2
歯槽部関連疾患 全身麻酔 4日間Ver.	5	14	13	11	43
歯槽部関連疾患 全身麻酔 5日間Ver.	3	2	2	2	9
歯槽部関連疾患 全身麻酔 7日間Ver.	1		1	3	5
上顎洞関連疾患 全身麻酔 7日間Ver.	2			1	3
医療者用緩和ケア病棟入棟初期パス			2		2
産科	173	191	191	166	721
円錐切除パス：手術当日入院：外来から手術室				2	2
緊急帝王切開パス：腰麻	17	21	7	13	58
緊急帝王切開パス：腰麻：児はNICU管理	9	9	9	9	36
緊急帝王切開パス：全麻		1			1
緊急帝王切開パス：全麻：児はNICU管理		1	1	1	3
緊急腹腔鏡下卵巣・卵管手術パス				2	2
後期流産パス (2日間入院)	3	1			4
産褥パス (適用開始産褥1日)：産褥5日退院：児は産科管理		1			1
産褥パス：産褥4日退院：児はNICU管理：会陰縫合あり	1				1
産褥パス：産褥4日退院：児は産科管理：会陰縫合あり	1				1
産褥パス：産褥5日退院：児はNICU管理：会陰縫合あり	5	6	6	10	27
産褥パス：産褥5日退院：児はNICU管理：会陰縫合なし		1	1	1	3
産褥パス：産褥5日退院：児は産科管理：会陰縫合あり	98	109	115	98	420
産褥パス：産褥5日退院：児は産科管理：会陰縫合なし	5	8	11	8	32
準広汎子宮全摘術パス：ドレーンあり	1				1
選択的帝王切開パス：腰麻	16	9	14	12	51
選択的帝王切開パス：腰麻：児はNICU管理	2	7	9	5	23
選択的帝王切開パス：全麻	1	1		1	3
選択的帝王切開パス：全麻：児はNICU管理	3		1	1	5
中期中絶術パス (2日間入院)	1	1	1	1	4
妊娠悪阻パス：入院10日間		3	3		6
婦人科TC/TC+アバスチン用パス	1				1
腹腔鏡下卵巣・卵管手術パス			1		1
腹式単純子宮全摘術：ドレーンなし	1		2		3
羊水検査パス：CTGあり		1			1
羊水検査パス：CTGなし			2		2
特定妊婦パス	8	11	8	2	29
婦人科	123	167	138	149	577
ロボット支援腹腔鏡下子宮全摘出手術パス	2	1	1	2	6
円錐切除パス：手術前日入院	3				3
円錐切除パス：手術当日入院：外来から手術室	7	11	12	19	49
円錐切除パス：手術当日入院：病棟から手術室		3	1		4
緊急帝王切開パス：腰麻		2	1		3
緊急帝王切開パス：腰麻：児はNICU管理	1			1	2

診療科/パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
緊急婦人科開腹術パス：全麻：ドレーンなし	1	1			2
緊急婦人科開腹術パス：全麻+硬膜外：ドレーンあり			1	1	2
緊急腹腔鏡下卵巣・卵管手術パス	3	2		6	11
経頸管の子宮鏡下手術パス：3日間入院：腰痛麻酔	1	2	3	2	8
頸管縫縮術パス		1			1
広汎子宮全摘術パス	1	2		2	5
産褥パス：産褥5日退院：児はNICU管理：会陰縫合あり	1				1
子宮脱手術パス	6	5	4	3	18
子宮内容除去術パス：前日入院・術後1日退院	1		1	2	4
準広汎子宮全摘術パス：ドレーンあり	3		1	1	5
選択的帝王切開パス：腰麻	2	8	6	4	20
選択的帝王切開パス：腰麻：児はNICU管理			1		1
妊娠悪阻パス：入院10日間	1	3	1	3	8
婦人科AP療法パス		5	6	1	12
婦人科BEP療法パス		1			1
婦人科TC/TC+アバスチン用パス	25	24	24	26	99
婦人科化学療法パス	11	29	8	9	57
婦人科開腹術パス：予定手術：ドレーンあり				2	2
婦人科開腹術パス：予定手術：ドレーンなし	4	4	4	1	13
腹腔鏡下子宮全摘出手術パス	7	10	9	7	33
腹腔鏡下卵巣・卵管手術パス	13	9	11	16	49
腹式単純子宮全摘術：ドレーンあり	6	4	5	2	17
腹式単純子宮全摘術：ドレーンなし	16	18	19	18	71
麻酔別腔式手術パス：3日間入院：腰椎麻酔			1		1
麻酔別腔式手術パス：3日間入院：全身麻酔	1			1	2
卵巣腫瘍(悪性疑い)手術パス：術後：ドレーンあり	3	1	3	2	9
卵巣腫瘍(悪性疑い)手術パス：術後：ドレーンなし：クレキサソあり		1	1		2
卵巣腫瘍(悪性疑い)手術パス：術後：ドレーンなし：クレキサソなし		6	3	5	14
卵巣腫瘍(悪性疑い)手術パス：術前	2	8	6	7	23
腔式単純子宮全摘術パス	1	1	1		3
医療者用緩和ケア病棟入棟初期パス	1	4	4	6	15
特定妊婦パス		1			1
新生児科	110	102	111	98	421
医療者用育児指導パス	85	76	91	78	330
帝王切開で出生した児のパス	25	26	20	20	91
神経精神科	423	425	353	354	1,555
修正型電気けいれん療法 入院用	9	17	16	22	64
医療者用クワザル外来運用パス	246	242	246	254	988
医療者用神経精神科外来地域生活支援パス	88	103	44	39	274
医療者用神経精神科退院支援・調整パス（回復期・社会復帰期）	25	18	17	9	69
医療者用神経精神科退院支援・調整パス（急性期）	55	45	29	28	157
医療者用輸血療法パス			1		1
患者用神経精神科外来地域生活支援パス				1	1
医療者用神経精神科退院支援・調整パス（急性期）				1	1
救命科	404	395	356	280	1,435
【共通】胃切除術（手術前日～当日）		1			1
【共通】直腸癌（入院日～手術当日）				1	1
ABL				1	1
CAG上肢（腎機能正常）			1		1
EPS・ABL			1		1
ERCP				2	2
ESS		4		3	7
EUS-FNAパス		1			1
EVT創傷あり（腎機能異常）				1	1
EVT創傷あり（腎機能正常）		1		1	2
EVT創傷なし（腎機能異常）	1		4		5
EVT創傷なし（腎機能正常）		1			1
PCI上肢（腎機能異常）				2	2
PCI上肢（腎機能正常）	1	1	3	3	8
PCI鼠径（腎機能異常）		1	1		2
PCI鼠径（腎機能正常）	1				1
TUL	1		1		2
アテローム血栓性脳梗塞パス	25	31	44	32	132
イレウス保存治療	7	2	7	12	28
コイル塞栓術			1		1
ペースメーカー・ICD植え込み術	3			1	4

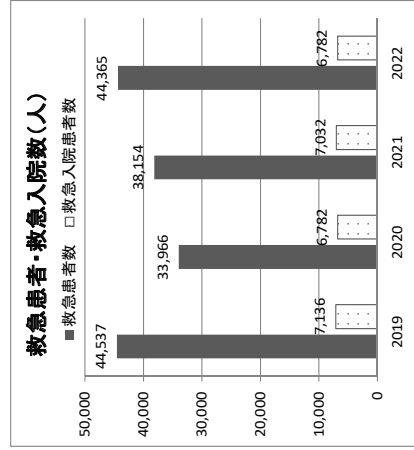
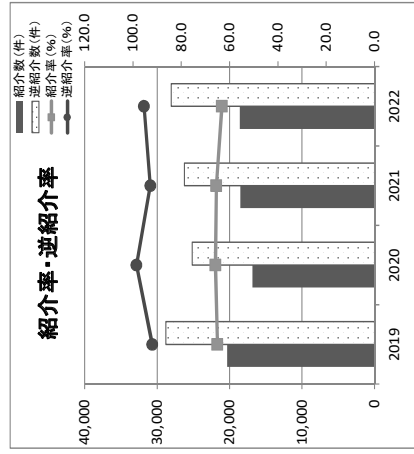
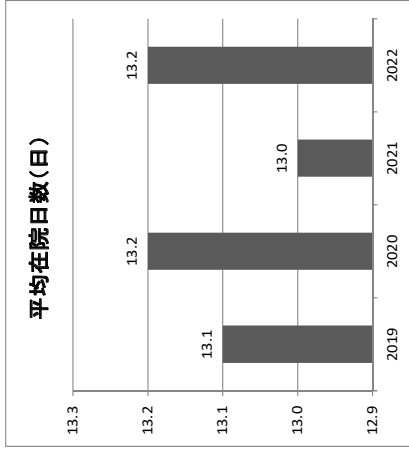
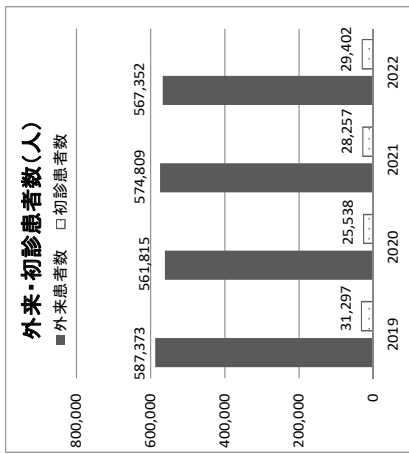
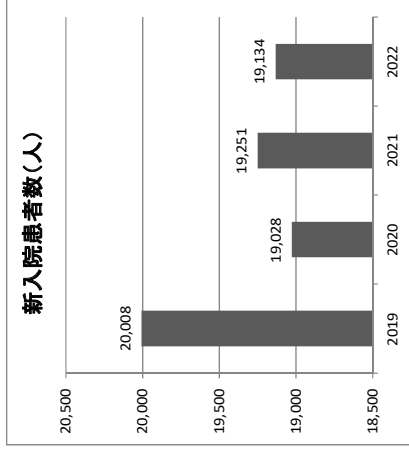
診療科/パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
胃内視鏡の粘膜下層剥離術（当日入院・抗血小板薬なし）		1		1	2
右大腿骨近位部骨折	1		1		2
顎骨骨折 非観血整復固定術 局所麻酔 7日間Ver.		1			1
緊急婦人科開腹術パス：全麻＋硬膜外：ドレーンなし		1			1
緊急腹腔鏡下卵巣・卵管手術パス				1	1
経尿道の膀胱結石碎石術（TUVL）		1	1		2
口蓋扁桃摘出術（成人）				1	1
甲状腺手術、PHPT手術	1				1
甲状腺部分切除術		1			1
左大腿骨近位部骨折	2	1			3
心原性脳塞栓症パス	10	19	13	7	49
大腸ポリペク		1			1
胆管炎（ERCP後入院：タゾピペ）腎機能低下・高齢者ver				1	1
虫垂切除術	3	2	1	3	9
低身長精査**アルギニン→クロニジン		1			1
当日手術 高位除鞅術			1		1
当日前立腺生検（P生検）		3	3	3	9
当日入院EVT創傷あり（腎機能正常）		1		1	2
当日入院EVT創傷なし（腎機能正常）		1			1
当日入院EVT創傷なし（透析患者用）				1	1
当日入院PCI上肢（腎機能正常）	1	1	2		4
当日入院PCI鼠径（腎機能正常）		1	1		2
腹腔鏡下胆嚢摘出術				2	2
腹腔鏡下虫垂切除術			1		1
慢性硬膜下血腫 前日入院	1	2		4	7
慢性硬膜下血腫 前日入院（1週間）			1		1
慢性硬膜下血腫 当日入院	9	7	3	9	28
慢性硬膜下血腫 当日入院（1週間）			1	1	2
医療者用ACSパス			1		1
医療者用消化管穿孔パス				1	1
脳梗塞（医療者用）パス			1		1
A C S クリニカルパス	49	63	51	51	214
急性虫垂炎クリニカルパス	14	10	14	9	47
急性薬物中毒クリニカルパス	7	2	2	2	13
胸痛クリニカルパス	2	6	6	4	18
呼吸困難クリニカルパス	10	7	7	3	27
小児：痙攣クリニカルパス	2	2		1	5
消化管出血クリニカルパス	38	28	16	8	90
大腿骨骨折クリニカルパス	24	30	22	18	94
胆道感染・胆管炎クリニカルパス	9	5	5	4	23
腸閉塞クリニカルパス	17	8	5	6	36
頭蓋内病変クリニカルパス	69	55	55	26	205
脳梗塞(医療者用)クリニカルパス	41	45	34	19	139
脳出血・S A Hクリニカルパス	34	24	27	16	101
発熱クリニカルパス	7	7	2	2	18
慢性硬膜下血腫クリニカルパス	11	11	12	15	49
痙攣クリニカルパス	3	4	4	1	12
放射線科	1				1
アテローム血栓性脳梗塞パス	1				1
形成外科		1			1
EVT創傷あり（腎機能正常）		1			1
全体	1,131	1,180	1,102	964	4,377
医療者用輸血療法パス	1,131	1,180	1,102	964	4,377
総件数	4,444	4,290	4,168	3,984	16,886



臨床指標

● 全体臨床指標

全体
臨床指標



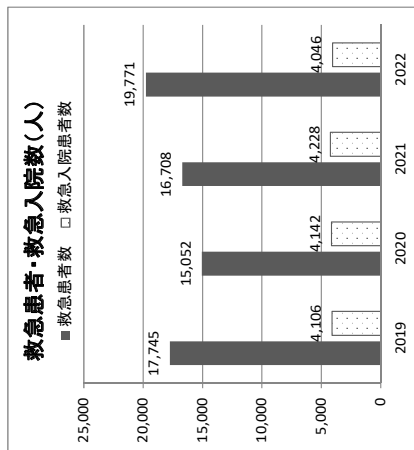
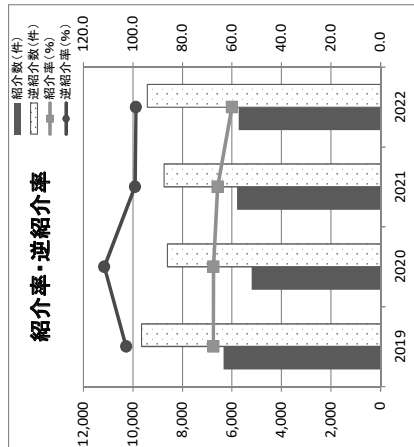
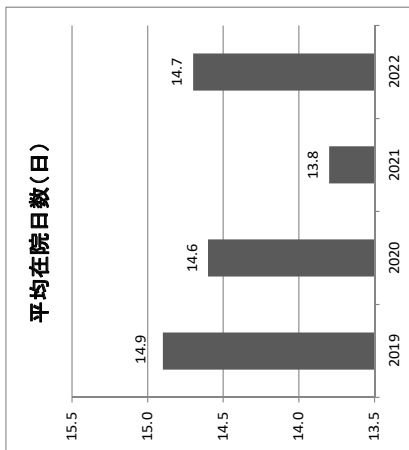
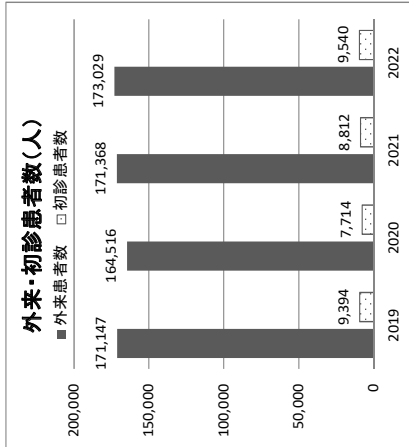
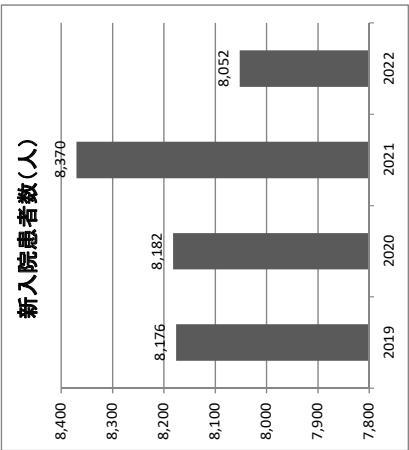
全体

区分	2019				2020				2021				2022			
	日数	日	人	千円	日	人	千円	千円	日	人	千円	千円	日	人	千円	千円
基礎指標	入院診療日数	366	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365
	外来診療日数	241	243	242	242	243	243	242	242	243	243	243	243	243	243	243
	医師数	188	202	205	205	202	202	205	205	205	205	205	205	205	205	205
	入院患者数	282,390	270,676	270,376	270,376	270,676	270,676	271,677	270,376	270,376	271,677	271,677	271,677	271,677	271,677	271,677
分析指標	新入院患者数	20,008	19,028	19,251	19,251	19,028	19,251	19,134	19,028	19,251	19,134	19,134	19,028	19,251	19,134	19,134
	入院収益 A	19,490,193	20,428,338	20,650,913	20,650,913	20,428,338	20,650,913	21,109,116	20,650,913	20,650,913	21,109,116	21,109,116	21,109,116	21,109,116	21,109,116	21,109,116
	外来患者数	587,373	561,815	574,809	574,809	561,815	574,809	567,352	561,815	574,809	567,352	567,352	567,352	567,352	567,352	567,352
	初診患者数	31,297	25,538	28,257	28,257	25,538	28,257	29,402	25,538	28,257	29,402	29,402	29,402	29,402	29,402	29,402
生産性指標	外来収益 B	13,549,768	13,500,377	14,747,412	14,747,412	13,500,377	14,747,412	15,457,741	13,500,377	14,747,412	15,457,741	15,457,741	15,457,741	15,457,741	15,457,741	15,457,741
	診療収益 A+B	33,039,961	33,928,715	35,398,325	35,398,325	33,928,715	35,398,325	36,566,857	33,928,715	35,398,325	36,566,857	36,566,857	36,566,857	36,566,857	36,566,857	36,566,857
	入院診療単価	69,019	75,472	76,378	76,378	75,472	76,378	77,699	75,472	76,378	77,699	77,699	77,699	77,699	77,699	77,699
	新入院患者数/日	54.7	52.1	52.7	52.7	52.1	52.7	52.4	52.1	52.7	52.4	52.4	52.4	52.4	52.4	52.4
分析指標	平均在院日数	13.1	13.2	13.0	13.0	13.2	13.2	13.2	13.2	13.0	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2
	外来診療単価	23,068	24,030	25,656	25,656	24,030	25,656	27,245	24,030	25,656	27,245	27,245	27,245	27,245	27,245	27,245
	紹介率	65.0	65.9	65.5	65.5	65.0	65.9	63.2	65.0	65.9	63.2	63.2	63.2	63.2	63.2	63.2
	外来平均患者数/日	2,437	2,312.0	2,375.2	2,375.2	2,312.0	2,375.2	2,334.8	2,312.0	2,375.2	2,334.8	2,334.8	2,334.8	2,334.8	2,334.8	2,334.8
	初診患者数/日	129.9	105.1	116.8	116.8	105.1	116.8	121.0	105.1	116.8	121.0	121.0	121.0	121.0	121.0	121.0
	救急患者数	44,537	33,966	38,154	38,154	33,966	38,154	44,365	33,966	38,154	44,365	44,365	44,365	44,365	44,365	44,365
	救急入院患者数	7,136	6,782	7,032	7,032	6,782	7,032	6,782	6,782	7,032	6,782	6,782	6,782	6,782	6,782	6,782
	救急入院患者数/新入院患者数	35.7	35.6	36.5	36.5	35.7	36.5	35.4	35.6	36.5	35.4	35.4	35.4	35.4	35.4	35.4
	紹介数(紹介患者加算)	20,350	16,827	18,498	18,498	16,827	18,498	18,574	16,827	18,498	18,574	18,574	18,574	18,574	18,574	18,574
	逆紹介数(診療情報提供書)	28,801	25,164	26,224	26,224	25,164	26,224	28,058	25,164	26,224	28,058	28,058	28,058	28,058	28,058	28,058
	逆紹介率	92.0	98.5	92.8	92.8	92.0	92.8	95.4	92.0	92.8	95.4	95.4	95.4	95.4	95.4	95.4
	手術件数(手術室利用)	8,462	8,163	8,204	8,204	8,163	8,204	8,330	8,163	8,204	8,330	8,330	8,330	8,330	8,330	8,330
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	283,255	277,070	275,989	275,989	277,070	275,989	266,512	277,070	275,989	266,512	266,512	266,512	266,512	266,512	266,512
	医師1人1日当たり外来収益	299,059	275,035	297,267	297,267	275,035	297,267	293,143	275,035	297,267	293,143	293,143	293,143	293,143	293,143	293,143
	医師1人1日当たり診療収益	582,314	552,105	573,256	573,256	552,105	573,256	559,656	552,105	573,256	559,656	559,656	559,656	559,656	559,656	559,656
	医師1人1日当たり入院患者数	4.1	3.7	3.6	3.6	4.1	3.7	3.4	3.7	3.6	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
生産性指標	医師1人1日当たり外来患者数	13.0	11.4	11.6	11.6	11.4	11.6	10.8	11.4	11.6	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8
	医師1人1日当たり新入院患者数	106.4	94.2	93.9	93.9	94.2	93.9	88.2	94.2	93.9	88.2	88.2	88.2	88.2	88.2	88.2
	医師1人1日当たり救急患者数	236.9	168.1	186.1	186.1	168.1	186.1	204.4	168.1	186.1	204.4	204.4	204.4	204.4	204.4	204.4
	医師1人1日当たり救急入院患者数	38.0	33.6	34.3	34.3	33.6	34.3	31.3	33.6	34.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3
生産性指標	医師1人1日当たり紹介数	108.2	83.3	90.2	90.2	83.3	90.2	85.6	83.3	90.2	85.6	85.6	85.6	85.6	85.6	85.6
	医師1人1日当たり逆紹介数	153.2	124.6	127.9	127.9	124.6	127.9	129.3	124.6	127.9	129.3	129.3	129.3	129.3	129.3	129.3
	医師1人1日当たり手術件数	45.0	40.4	40.0	40.0	40.4	40.0	38.4	40.4	40.0	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4
	医師1人1日当たり手術件数	45.0	40.4	40.0	40.0	40.4	40.0	38.4	40.4	40.0	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4	38.4

(注) 1 医師数は2022年4月1日現在(当指標にない診療科の医師、研修医は含まれていない)
 2 当指標にない診療科の外来患者は含まれていない。
 3 入院収益、外来収益はレプト請求額であり戻戻、査定は考慮していない(室料差額等は含まれていない)
 4 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

●科別臨床指標

内科 臨床指標



内科

区分	2019				2020				2021				2022		2022/2019			
	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数	日	入院診療日数	外来診療日数	医師数	日	入院診療日数	外来診療日数	医師数	件	件	件	件	比率	比率
基礎指標	入院患者数	129,482	126,798	122,640	125,931	97.3	入院患者数	8,176	8,182	8,370	8,052	98.5	新入院患者数	8,600,584	9,574,500	9,645,136	9,955,206	115.8
	外来患者数	171,147	164,516	171,368	173,029	101.1	初診患者数	9,394	7,714	8,812	9,540	101.6	初診患者数	15,579,328	16,316,098	17,287,648	18,035,796	115.8
	初診患者数	9,394	7,714	8,812	9,540	101.6	外来収益 A	6,741,598	7,642,512	8,080,590	115.8	外来収益 B	66,423	75,510	78,646	79,053	119.0	
	外来収益 A+B	6,741,598	7,642,512	8,080,590	8,080,590	115.8	診療収益 A+B	15,579,328	16,316,098	17,287,648	18,035,796	115.8	診療収益 A+B	66,423	75,510	78,646	79,053	119.0
分析指標	入院診療単価	22.3	22.4	22.9	22.1	98.8	入院診療単価	14.9	14.6	13.8	14.7	98.7	入院診療単価	40,776	40,978	44,597	46,701	114.5
	平均在院日数	14.9	14.6	13.8	14.7	98.7	平均在院日数	67.5	67.5	65.8	60.0	88.9	平均在院日数	704.3	677.0	708.1	712.1	101.1
	外来診療単価	40,776	40,978	44,597	46,701	114.5	外来診療単価	38.7	31.7	36.4	39.3	101.6	外来診療単価	17,745	15,052	16,708	19,771	111.4
	紹介率	67.5	67.5	65.8	60.0	88.9	紹介率	38.7	31.7	36.4	39.3	101.6	紹介率	4,106	4,142	4,228	4,046	98.5
	外来平均患者数/日	704.3	677.0	708.1	712.1	101.1	外来平均患者数/日	50.2	50.6	50.5	50.2	100.1	外来平均患者数/日	503,844	407,988	471,353	481,934	95.7
	初診患者数/日	38.7	31.7	36.4	39.3	101.6	初診患者数/日	6,342	5,204	5,798	5,726	90.3	初診患者数/日	9,648	8,605	8,735	9,421	97.6
	救急患者数	17,745	15,052	16,708	19,771	111.4	救急患者数	102.7	111.6	99.1	98.8	96.2	救急患者数	6	1	21	98	1,633.3
	救急入院患者数	4,106	4,142	4,228	4,046	98.5	救急入院患者数	412,261	385,757	394,403	395,283	95.9	救急入院患者数	503,844	407,988	471,353	481,934	95.7
	救急入院患者数/新入院患者数	50.2	50.6	50.5	50.2	100.1	救急入院患者数/新入院患者数	916,105	793,746	865,756	877,217	95.8	救急入院患者数/新入院患者数	6.2	5.1	5.0	5.0	80.6
	紹介数(紹介患者加算)	6,342	5,204	5,798	5,726	90.3	紹介数(紹介患者加算)	12.4	10.0	10.6	10.3	83.5	紹介数(紹介患者加算)	143.4	120.3	124.9	116.7	81.4
逆紹介数(診療情報提供書)	9,648	8,605	8,735	9,421	97.6	逆紹介数(診療情報提供書)	311.3	221.4	249.4	286.5	92.0	逆紹介数(診療情報提供書)	72.0	60.9	63.1	58.6	81.4	
生産性指標	逆紹介率	102.7	111.6	99.1	98.8	96.2	逆紹介率	111.3	76.5	86.5	83.0	74.6	逆紹介率	169.3	126.5	130.4	136.5	80.7
	手術件数(手術室利用)	6	1	21	98	1,633.3	手術件数(手術室利用)	0.1	0.0	0.3	1.4	0.0	手術件数(手術室利用)	0.1	0.0	0.3	1.4	0.0
	医師1人1日当りの入院収益	412,261	385,757	394,403	395,283	95.9	医師1人1日当りの入院収益	412,261	385,757	394,403	395,283	95.9	医師1人1日当りの入院収益	412,261	385,757	394,403	395,283	95.9
	医師1人1日当りの外来収益	503,844	407,988	471,353	481,934	95.7	医師1人1日当りの外来収益	503,844	407,988	471,353	481,934	95.7	医師1人1日当りの外来収益	503,844	407,988	471,353	481,934	95.7
医師1人1日当りの診療収益	916,105	793,746	865,756	877,217	95.8	医師1人1日当りの診療収益	916,105	793,746	865,756	877,217	95.8	医師1人1日当りの診療収益	916,105	793,746	865,756	877,217	95.8	
医師1人1日当りの入院患者数	6.2	5.1	5.0	5.0	80.6	医師1人1日当りの入院患者数	6.2	5.1	5.0	5.0	80.6	医師1人1日当りの入院患者数	6.2	5.1	5.0	5.0	80.6	
医師1人1日当りの外来患者数	12.4	10.0	10.6	10.3	83.5	医師1人1日当りの外来患者数	12.4	10.0	10.6	10.3	83.5	医師1人1日当りの外来患者数	12.4	10.0	10.6	10.3	83.5	
医師1人1日当りの新入院患者数	143.4	120.3	124.9	116.7	81.4	医師1人1日当りの新入院患者数	143.4	120.3	124.9	116.7	81.4	医師1人1日当りの新入院患者数	143.4	120.3	124.9	116.7	81.4	
医師1人1日当りの救急患者数	311.3	221.4	249.4	286.5	92.0	医師1人1日当りの救急患者数	311.3	221.4	249.4	286.5	92.0	医師1人1日当りの救急患者数	311.3	221.4	249.4	286.5	92.0	
医師1人1日当りの救急入院患者数	72.0	60.9	63.1	58.6	81.4	医師1人1日当りの救急入院患者数	72.0	60.9	63.1	58.6	81.4	医師1人1日当りの救急入院患者数	72.0	60.9	63.1	58.6	81.4	
医師1人1日当りの逆紹介数	111.3	76.5	86.5	83.0	74.6	医師1人1日当りの逆紹介数	111.3	76.5	86.5	83.0	74.6	医師1人1日当りの逆紹介数	111.3	76.5	86.5	83.0	74.6	
医師1人1日当りの手術件数	169.3	126.5	130.4	136.5	80.7	医師1人1日当りの手術件数	169.3	126.5	130.4	136.5	80.7	医師1人1日当りの手術件数	169.3	126.5	130.4	136.5	80.7	

(注) 1 医師数は2022年4月1日現在(研修医は含まれていない)
 2 入院収益、外来収益はレプト請求額であり区分、査定は考慮していない(資料差額等は含まれていない)
 3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

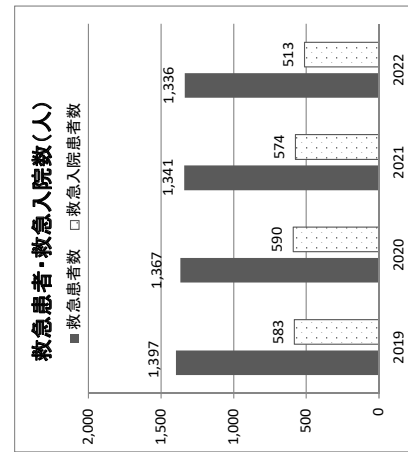
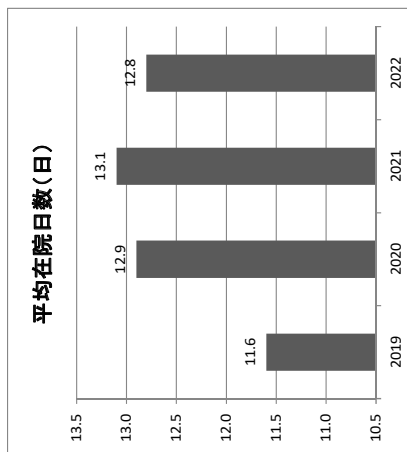
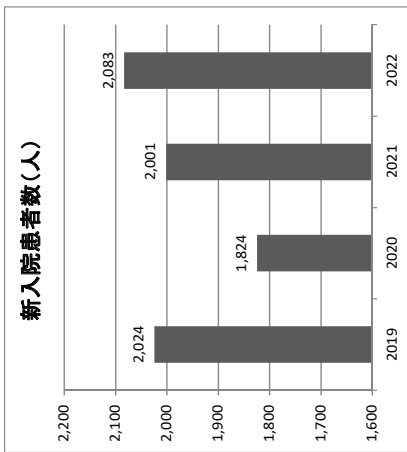
外科

日数	区分		2019	2020	2021	2022	2022/2019
	入院診療日数	外来診療日数					
基礎指標	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	242	243	242	243	100.4
	医師数	人	24	24	25	24	100.0
	入院延患者数	人	25,637	26,468	28,668	29,253	114.1
	新入院患者数	人	2,024	1,824	2,001	2,083	102.9
	入院収益 A	千円	2,211,987	2,314,561	2,424,079	2,555,945	115.5
	外来患者数	人	27,693	27,966	30,846	29,989	108.3
	初診患者数	人	1,494	1,153	1,408	1,242	83.1
	外来収益 B	千円	781,073	924,873	1,083,929	994,554	127.3
	診療収益 A+B	千円	2,993,060	3,239,434	3,508,008	3,550,499	118.6
	入院診療単価	円	86,281	87,448	84,557	87,374	101.3
分析指標	新入院患者数/日	人	5.5	5.0	5.5	5.7	103.2
	平均在院日数	日	11.6	12.9	13.1	12.8	110.3
	外来診療単価	円	28,205	33,071	35,140	33,164	117.6
	紹介率	%	76.6	74.4	79.5	77.9	101.8
	外来平均患者数/日	人	114.4	115.1	127.5	123.4	107.8
	初診患者数/日	人	6.2	4.7	5.8	5.1	82.8
	救急患者数	人	1,397	1,367	1,341	1,336	95.6
	救急入院患者数	人	583	590	574	513	88.0
	救急入院患者数/新入院患者数	%	28.8	32.3	28.7	24.6	85.5
	紹介数(紹介患者加算)	人	1,144	858	1,120	968	84.6
生産性指標	逆紹介数(診療情報提供書)	人	1,719	1,544	1,538	1,617	94.1
	逆紹介率	%	115.1	133.9	109.2	130.2	113.2
	手術件数(手術室利用)	件	1,750	1,702	1,741	1,755	100.3
	医師1人1日当たり入院収益	円	251,820	264,219	265,652	291,775	115.9
	医師1人1日当たり外来収益	円	134,482	158,586	179,162	170,534	126.8
	医師1人1日当たり診療収益	円	386,302	422,805	444,814	462,308	119.7
	医師1人1日当たり入院患者数	人	2.9	3.0	3.1	3.3	114.4
	医師1人1日当たり外来患者数	人	4.8	4.8	5.1	5.1	107.8
	医師1人当たり新入院患者数	人	84.3	76.0	80.0	86.8	102.9
	医師1人当たり救急入院患者数	人	58.2	57.0	53.6	55.7	95.6
医師1人当たり紹介数	件	24.3	24.6	23.0	21.4	88.0	
医師1人当たり逆紹介数	件	47.7	35.8	44.8	40.3	84.6	
医師1人当たり手術件数	件	71.6	64.3	61.5	67.4	94.1	
	医師1人当たり手術件数	件	72.9	70.9	69.6	73.1	100.3

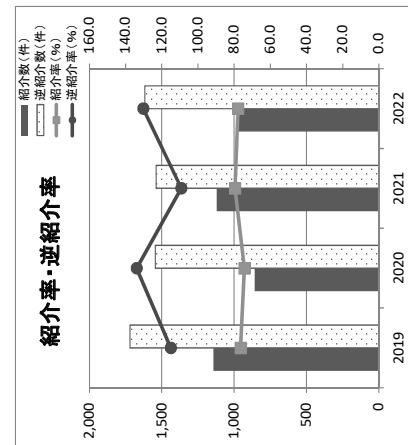
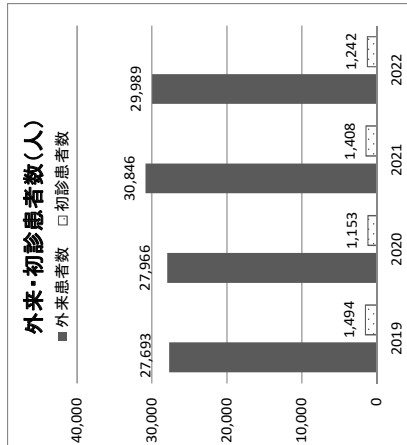
(注) 1 医師数は2022年4月1日現在(研修医は含まれない)

2 入院収益、外来収益はレポート請求額であり戻戻、査定は考慮していない(室料差額等は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している



外科
臨床指標



産婦人科

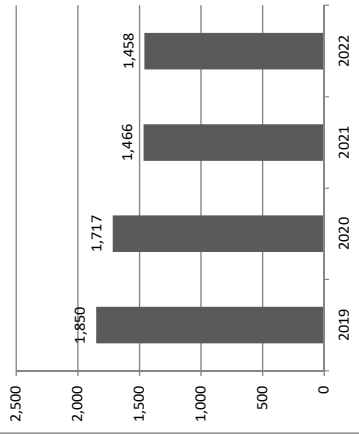
日数	区分					2022/2019
	2019	2020	2021	2022	2022/2019	
入院診療日数	366	365	365	365	99.7	
外来診療日数	242	243	242	243	100.4	
医師数	12	10	8	15	125.0	
入院延患者数	14,152	13,837	11,266	11,982	84.7	
新入院患者数	1,850	1,717	1,466	1,458	78.8	
入院収益 A	1,097,359	1,097,030	953,963	1,044,199	95.2	
外来患者数	35,405	34,191	33,886	33,963	95.9	
初診患者数	1,790	1,471	1,469	1,444	80.7	
外来収益 B	371,522	367,370	366,531	369,204	99.4	
診療収益 A+B	1,468,881	1,464,400	1,320,494	1,413,403	96.2	
入院診療単価	77,541	79,282	84,676	87,147	112.4	
新入院患者数/日	5.1	4.7	4.0	4.0	79.0	
平均在院日数	6.7	7.0	6.7	7.2	107.5	
外来診療単価	10,493	10,745	10,817	10,871	103.6	
紹介率	41.5	40.7	42.3	46.8	112.9	
外来平均患者数/日	146.3	140.7	140.0	139.8	95.5	
初診患者数/日	7.4	6.1	6.1	5.9	80.3	
救急患者数	980	828	863	780	79.6	
救急入院患者数	223	185	189	177	79.4	
救急入院患者数/新入院患者数	12.1	10.8	12.9	12.1	100.7	
紹介数 (紹介患者加算)	742	598	622	676	91.1	
逆紹介数 (診療情報提供書)	1,220	1,074	904	1,010	82.8	
逆紹介率	68.2	73.0	61.5	69.9	102.6	
手術件数 (手術室利用)	665	599	572	631	94.9	
医師1人1日当りの入院収益	249,854	300,556	326,700	190,721	76.3	
医師1人1日当りの外来収益	127,935	151,181	189,324	101,291	79.2	
医師1人1日当りの診療収益	377,789	451,737	516,024	292,012	77.3	
医師1人1日当りの入院患者数	3.2	3.8	3.9	2.2	67.9	
医師1人1日当りの外来患者数	12.2	14.1	17.5	9.3	76.4	
医師1人1日当りの新入院患者数	154.2	171.7	183.3	97.2	63.0	
医師1人1日当りの救急患者数	81.7	82.8	107.9	52.0	63.7	
医師1人1日当りの紹介患者数	18.6	18.5	23.6	11.8	63.5	
医師1人1日当りの逆紹介数	61.8	59.8	77.8	45.1	72.9	
医師1人1日当りの手術件数	101.7	107.4	113.0	67.3	66.2	
医師1人1日当りの手術件数	55.4	59.9	71.5	42.1	75.9	

(注) 1 医師数は2022年4月1日現在 (研修医は含まれていない)

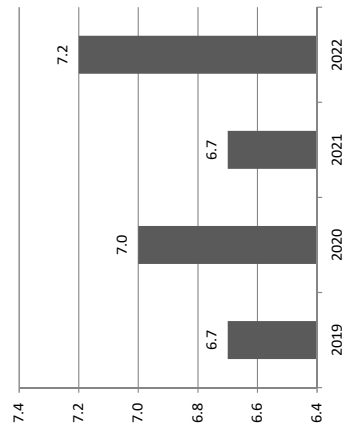
2 入院収益、外来収益はセプト請求額であり戻戻、査定は考慮していない (室料差額等は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

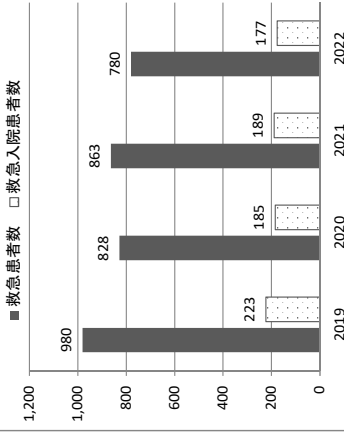
新入院患者数(人)



平均在院日数(日)

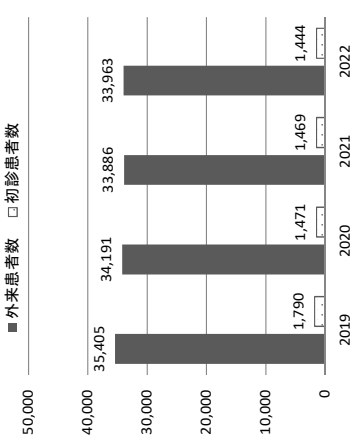


救急患者・救急入院数(人)

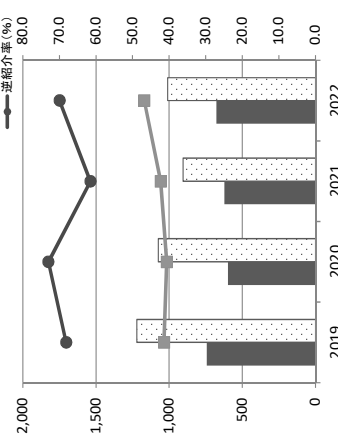


産婦人科
臨床指標

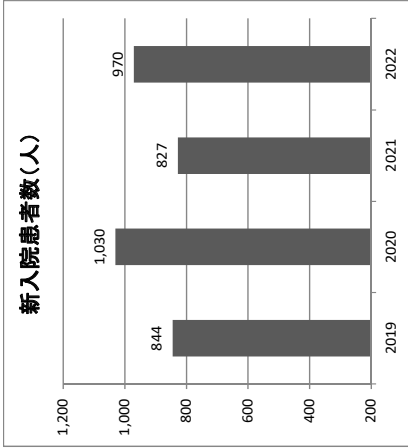
外来・初診患者数(人)



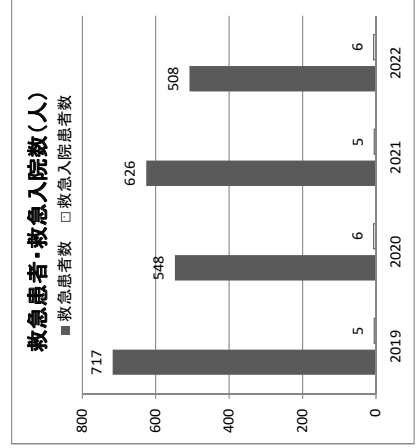
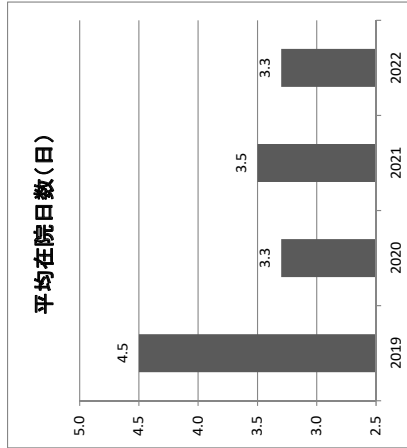
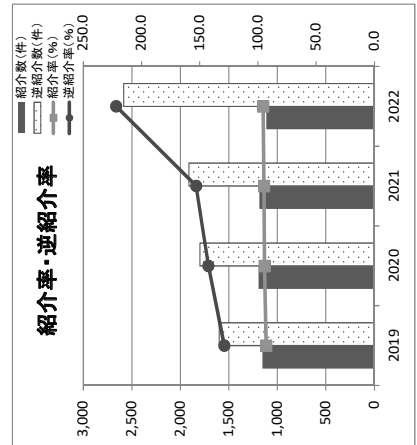
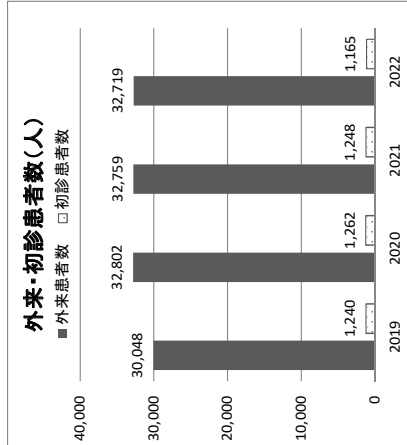
紹介率・逆紹介率



眼科



眼科
臨床指標



日数	区分				2019	2020	2021	2022	2022/2019
	入院診療日数	外来診療日数	医師数	新入院患者数					
基礎指標	入院診療日数	366	365	365	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	242	243	242	242	243	242	243	100.4
	医師数	5	7	7	5	7	7	7	140.0
	入院延患者数	4,625	4,474	3,698	4,625	4,474	3,698	4,204	90.9
	新入院患者数	844	1,030	827	844	1,030	827	970	114.9
	入院収益 A	345,456	391,396	338,393	345,456	391,396	338,393	390,759	113.1
	外来患者数	30,048	32,802	32,759	30,048	32,802	32,759	32,719	108.9
	初診患者数	1,240	1,262	1,248	1,240	1,262	1,248	1,165	94.0
	外来収益 B	528,141	549,178	536,353	528,141	549,178	536,353	544,637	103.1
	診療収益 A+B	873,597	940,574	874,745	873,597	940,574	874,745	935,395	107.1
	入院診療単価	74,693	87,482	91,507	74,693	87,482	91,507	92,949	124.4
	新入院患者数/日	2.3	2.8	2.3	2.3	2.8	2.3	2.7	115.2
	平均在院日数	4.5	3.3	3.5	4.5	3.3	3.5	3.3	73.3
	平均診療単価	17,577	16,742	16,373	17,577	16,742	16,373	16,646	94.7
	紹介率	93.0	94.5	94.9	93.0	94.5	94.9	95.6	102.8
	外来平均患者数/日	124.2	135.0	135.4	124.2	135.0	135.4	134.6	108.4
	初診患者数/日	5.1	5.2	5.2	5.1	5.2	5.2	4.8	93.6
	救急患者数	717	548	626	717	548	626	508	70.9
	救急入院患者数	5	6	5	5	6	5	6	120.0
	救急入院患者数/新入院患者数	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	104.4
	紹介数(紹介患者加算)	1,153	1,192	1,184	1,153	1,192	1,184	1,114	96.6
	逆紹介数(診療情報提供書)	1,598	1,799	1,911	1,598	1,799	1,911	2,584	161.7
	逆紹介率	128.9	142.6	153.1	128.9	142.6	153.1	221.8	172.1
	手術件数(手術室利用)	1,684	1,812	1,799	1,684	1,812	1,799	1,850	109.9
	医師1人1日当たり入院収益	188,774	153,188	132,443	188,774	153,188	132,443	152,939	81.0
	医師1人1日当たり外来収益	436,480	322,856	316,619	436,480	322,856	316,619	320,186	73.4
	医師1人1日当たり診療収益	625,254	476,044	449,063	625,254	476,044	449,063	473,125	75.7
	医師1人1日当たり入院患者数	2.5	1.8	1.4	2.5	1.8	1.4	1.6	65.1
	医師1人1日当たり外来患者数	24.8	19.3	19.3	24.8	19.3	19.3	19.2	77.5
	医師1人1日当たり新入院患者数	168.8	147.1	118.1	168.8	147.1	118.1	138.6	82.1
	医師1人1日当たり救急患者数	143.4	78.3	89.4	143.4	78.3	89.4	72.6	50.6
	医師1人1日当たり救急入院患者数	1.0	0.9	0.7	1.0	0.9	0.7	0.9	85.7
	医師1人1日当たり紹介数	230.6	170.3	169.1	230.6	170.3	169.1	159.1	69.0
	医師1人1日当たりの逆紹介数	319.6	257.0	273.0	319.6	257.0	273.0	369.1	115.5
	医師1人1日当たり手術件数	336.8	258.9	257.0	336.8	258.9	257.0	264.3	78.5

(注) 1 医師数は2022年4月1日現在(研修医は含まれていない)
 2 入院収益、外来収益はレポート請求額であり戻戻、査定は考慮していない(室料差額等は含まれていない)
 3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

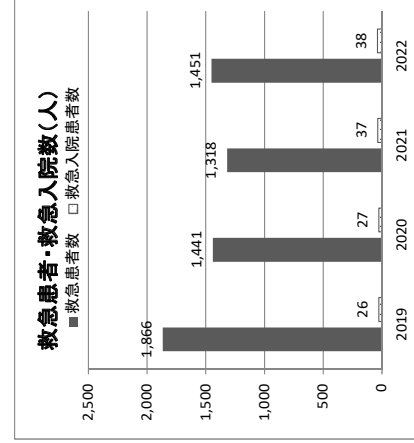
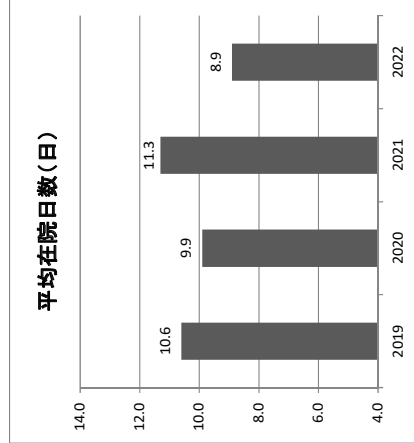
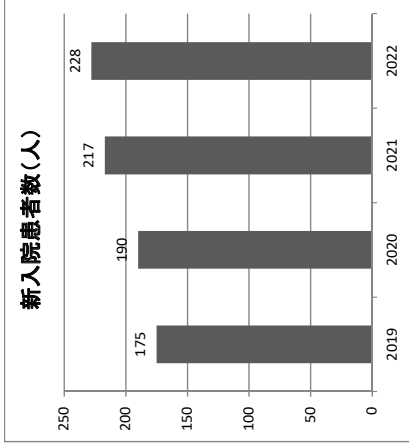
皮膚科

日数	区分					2019	2020	2021	2022	2022/2019
	入院診療日数	外来診療日数	医師数	入院延患者数	新入院患者数					
基礎指標	人	日	人	人	人	366	365	365	365	99.7
基礎指標	日	日	人	人	人	242	243	242	243	100.4
基礎指標	人	人	人	人	人	3	4	4	4	133.3
基礎指標	人	人	人	人	人	1,966	2,064	2,671	2,266	115.3
基礎指標	人	人	人	人	人	175	190	217	228	130.3
基礎指標	千円	千円	千円	千円	千円	83,647	111,965	138,099	121,907	145.7
基礎指標	人	人	人	人	人	24,235	25,333	23,655	22,550	93.0
基礎指標	人	人	人	人	人	2,011	1,706	1,869	1,824	90.7
基礎指標	千円	千円	千円	千円	千円	183,108	228,555	192,579	204,187	111.5
基礎指標	千円	千円	千円	千円	千円	266,755	340,520	330,678	326,094	122.2
分析指標	円	円	円	円	円	42,547	54,247	51,703	53,798	126.4
分析指標	人	人	人	人	人	0.5	0.5	0.6	0.6	130.6
分析指標	日	日	日	日	日	10.6	9.9	11.3	8.9	84.0
分析指標	円	円	円	円	円	7,556	9,022	8,141	9,055	119.8
分析指標	%	%	%	%	%	38.0	38.5	40.4	43.7	114.9
分析指標	人	人	人	人	人	100.1	104.3	97.7	92.8	92.7
分析指標	人	人	人	人	人	8.3	7.0	7.7	7.5	90.3
分析指標	人	人	人	人	人	1,866	1,441	1,318	1,451	77.8
分析指標	人	人	人	人	人	26	27	37	38	146.2
分析指標	%	%	%	%	%	14.9	14.2	17.1	16.7	112.2
分析指標	人	人	人	人	人	765	657	756	797	104.2
分析指標	人	人	人	人	人	269	321	532	601	223.4
分析指標	%	%	%	%	%	13.4	18.8	28.5	32.9	246.3
生産性指標	件	件	件	件	件	97	97	105	111	114.4
生産性指標	円	円	円	円	円	76,181	76,688	94,588	83,498	109.6
生産性指標	円	円	円	円	円	252,215	235,139	198,945	210,069	83.3
生産性指標	円	円	円	円	円	328,396	311,827	293,534	293,567	89.4
生産性指標	人	人	人	人	人	1.8	1.4	1.8	1.6	86.7
生産性指標	人	人	人	人	人	33.4	26.1	24.4	23.2	69.5
生産性指標	人	人	人	人	人	58.3	47.5	54.3	57.0	97.7
生産性指標	人	人	人	人	人	622.0	360.3	329.5	362.8	58.3
生産性指標	人	人	人	人	人	8.7	6.8	9.3	9.5	109.6
生産性指標	件	件	件	件	件	255.0	164.3	189.0	199.3	78.1
生産性指標	件	件	件	件	件	89.7	80.3	133.0	150.3	167.6
生産性指標	件	件	件	件	件	32.3	24.3	26.3	27.8	85.8

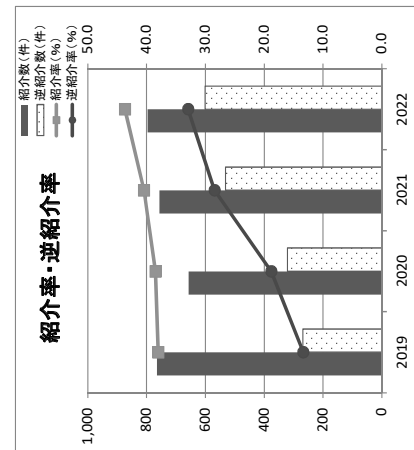
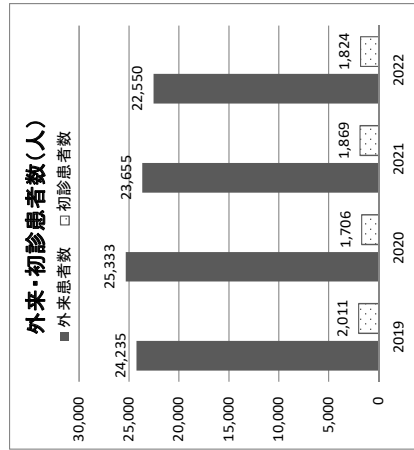
(注) 1 医師数は2022年4月1日現在 (研修医は含まれていない)

2 入院収益、外来収益はレポート請求額であり返戻、査定は考慮していない (室料差額等は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

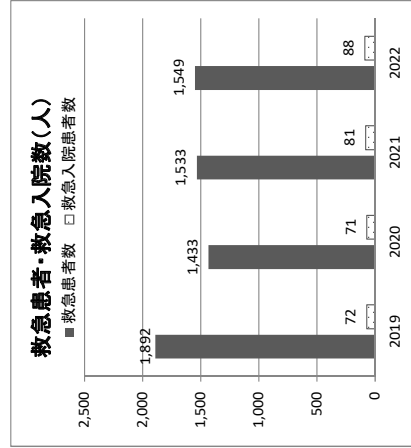
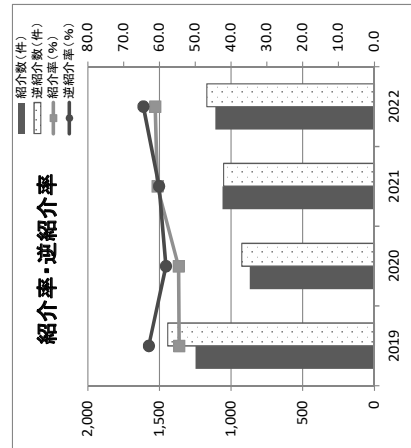
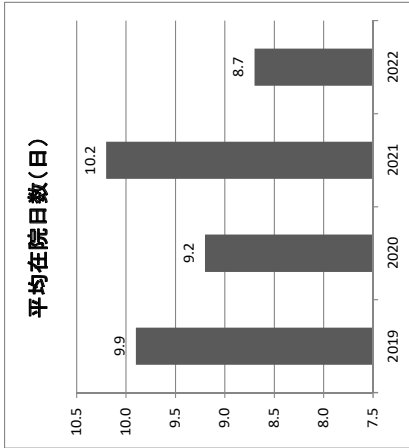
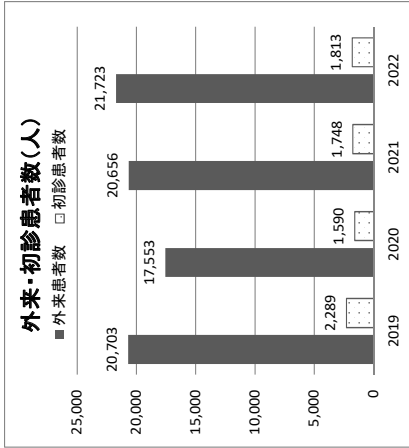
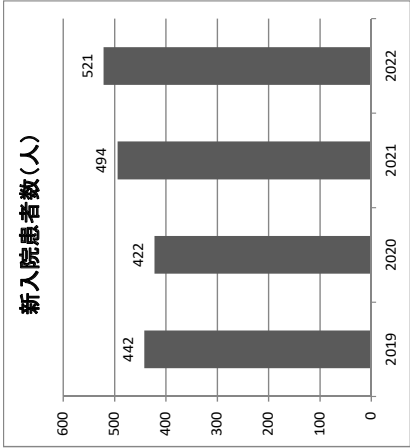


皮膚科
臨床指標



耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科
臨床指標



区分	2019		2020		2021		2022		2022/2019	
	日数	日	日数	日	日数	日	日数	日	2022	2022/2019
基礎指標	入院診療日数	366	365	365	365	365	365	365	365	99.7
	外来診療日数	243	243	243	242	242	243	243	243	100.0
	医師数	4	4	4	4	5	5	5	5	125.0
	入院患者数	4,829	4,313	5,501	5,012	5,012	5,012	5,012	5,012	103.8
	新入院患者数	442	422	494	521	521	521	521	521	117.9
	入院収益 A	291,551	297,471	367,791	385,124	385,124	385,124	385,124	385,124	132.1
	外来患者数	20,703	17,553	20,656	21,723	21,723	21,723	21,723	21,723	104.9
	初診患者数	2,289	1,590	1,748	1,813	1,813	1,813	1,813	1,813	79.2
	外来収益 B	212,891	222,226	231,210	292,278	292,278	292,278	292,278	292,278	137.3
	診療収益 A+B	504,442	519,697	599,000	677,402	677,402	677,402	677,402	677,402	134.3
分析指標	入院診療単価	60,375	68,971	66,859	76,840	76,840	76,840	76,840	76,840	127.3
	新入院患者数/日	1.2	1.2	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	118.2
	平均在院日数	9.9	9.2	10.2	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	87.9
	外来診療単価	10,283	12,660	11,193	13,455	13,455	13,455	13,455	13,455	130.8
	紹介率	54.5	54.7	60.6	61.2	61.2	61.2	61.2	61.2	112.3
	外来平均患者数/日	85.2	72.2	85.4	89.4	89.4	89.4	89.4	89.4	104.9
	初診患者数/日	9.4	6.5	7.2	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	79.2
	救急患者数	1,892	1,433	1,533	1,549	1,549	1,549	1,549	1,549	81.9
	救急入院患者数	72	71	81	88	88	88	88	88	122.2
	救急入院患者数/新入院患者数	16.3	16.8	16.4	16.9	16.9	16.9	16.9	16.9	103.7
生産性指標	紹介数(紹介患者加算)	1,247	869	1,059	1,109	1,109	1,109	1,109	1,109	88.9
	逆紹介数(診療情報提供書)	1,441	925	1,051	1,169	1,169	1,169	1,169	1,169	81.1
	逆紹介率	63.0	58.2	60.1	64.5	64.5	64.5	64.5	64.5	102.4
	手術件数(手術室利用)	280	252	281	320	320	320	320	320	114.3
	医師1人1日当りの入院収益	199,147	203,747	201,529	211,027	211,027	211,027	211,027	211,027	106.0
	医師1人1日当りの外来収益	219,024	228,628	191,083	240,558	240,558	240,558	240,558	240,558	109.8
	医師1人1日当りの診療収益	418,171	432,375	392,612	451,585	451,585	451,585	451,585	451,585	108.0
	医師1人1日当りの入院患者数	3.3	3.0	3.0	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	83.3
	医師1人1日当りの外来患者数	21.3	18.1	17.1	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	83.9
	医師1人1日当りの新入院患者数	110.5	105.5	98.8	104.2	104.2	104.2	104.2	104.2	94.3
医師1人1日当りの救急患者数	473.0	358.3	306.6	309.8	309.8	309.8	309.8	309.8	65.5	
医師1人1日当りの救急入院患者数	18.0	17.8	16.2	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	97.8	
医師1人1日当りの紹介数	311.8	217.3	211.8	221.8	221.8	221.8	221.8	221.8	71.1	
医師1人1日当りの手術件数	360.3	231.3	210.2	233.8	233.8	233.8	233.8	233.8	64.9	
医師1人1日当りの手術件数	70.0	63.0	56.2	64.0	64.0	64.0	64.0	64.0	91.4	

(注) 1 医師数は2022年4月1日現在(研修医は含まれていない)

2 入院収益・外来収益はレポート請求額であり返戻・査定は考慮していない(室料差額等は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

歯科口腔外科

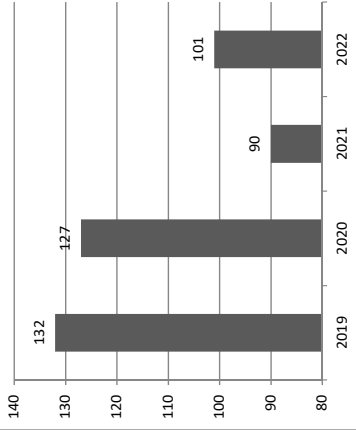
日数	区分					2019	2020	2021	2022	2022/2019																					
	入院診療日数	外来診療日数	医師数	入院患者数	新入院患者数																										
基礎指標	入院患者数	入院収益 A	外来患者数	初診患者数	外来収益 B	診療収益 A+B	入院診療単価	新入院患者数/日	平均在院日数	外来診療単価	紹介率	外来平均患者数/日	初診患者数/日	救急患者数	救急入院患者数	救急入院患者数/新入院患者数	紹介数 (紹介患者加算)	逆紹介数 (診療情報提供書)	逆紹介率	手術件数 (手術室利用)	医師1人1日当たり入院収益	医師1人1日当たり外来収益	医師1人1日当たり診療収益	医師1人1日当たり入院患者数	医師1人1日当たり外来患者数	医師1人当たり新入院患者数	医師1人当たり救急患者数	医師1人当たり救急入院患者数	医師1人当たり逆紹介数	医師1人当たり手術件数	
	日	円	人	人	円	円	円	人	日	円	%	人	人	人	人	%	人	人	%	件	円	円	円	人	人	人	人	人	人	人	件
	366	365	8	1,243	264,313	324,951	57,088	0.4	8.5	6,456	75.2	162.6	11.6	727	19	5.5	2,117	1,755	62.3	113	24,235	131,194	155,429	0.4	20.3	16.5	90.9	2.4	264.6	219.4	14.1
	99.7	365	9	1,176	267,852	337,647	62,152	0.3	10.7	7,238	81.0	144.2	9.7	423	7	8.9	1,986	1,415	57.7	81	19,122	110,683	129,805	0.3	14.4	9.0	37.1	0.8	198.6	141.5	8.1
	242	243	9	69,795	34,907	59,349	10.7	11.5	8.1	85.7	127.2	10.1	9.7	342	6	5.9	2,025	1,501	63.5	99	18,810	115,914	134,724	0.3	14.1	11.2	38.0	0.7	225.0	166.8	11.0
	112.5	243	9	34,907	2,451	2,359	0.3	0.2	8.1	85.7	127.2	10.1	9.7	342	6	5.9	2,025	1,501	63.5	99	18,810	115,914	134,724	0.3	14.1	11.2	38.0	0.7	225.0	166.8	11.0
	74.0	90	101	76.5	87.1	78.5	83.9	99.8	97.0	117.6	76.7	95.3	127.1	114.0	78.2	83.6	47.0	31.6	87.6	77.6	88.4	86.7	66.0	69.5	68.0	41.8	28.1	85.0	76.0	77.9	

(注) 1 医師数は2022年4月1日現在 (研修医は含まれていない)

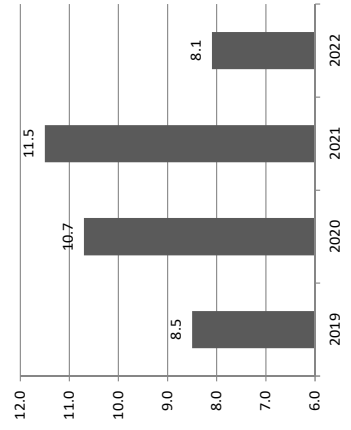
2 入院収益、外来収益はレプト請求額であり戻戻、査定は考慮していない (室料差額等は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

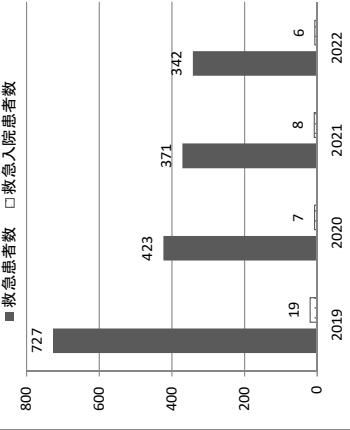
新入院患者数(人)



平均在院日数(日)

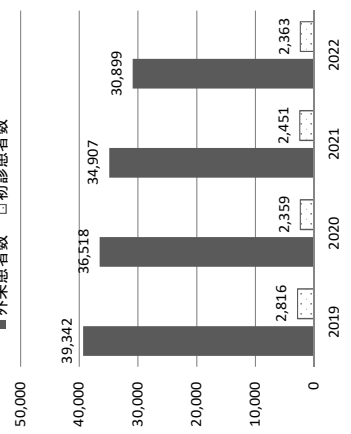


救急患者・救急入院数(人)

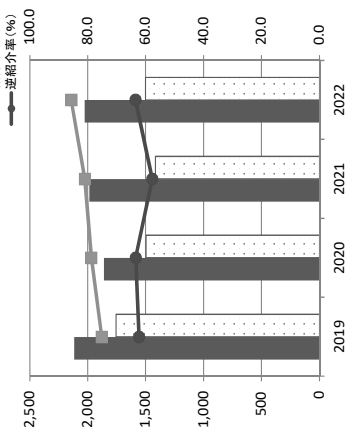


歯科口腔外科 臨床指標

外来・初診患者数(人)



紹介率・逆紹介率



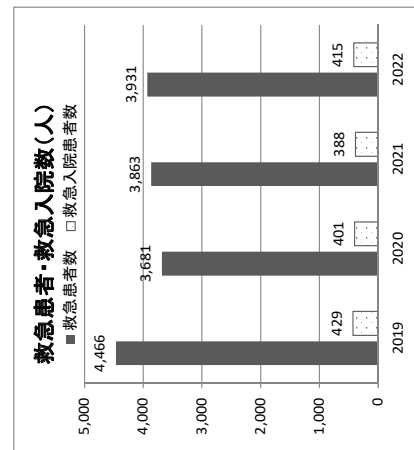
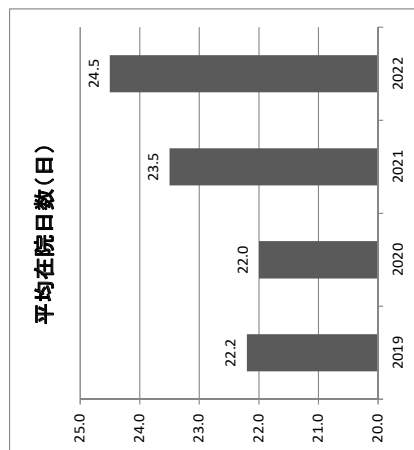
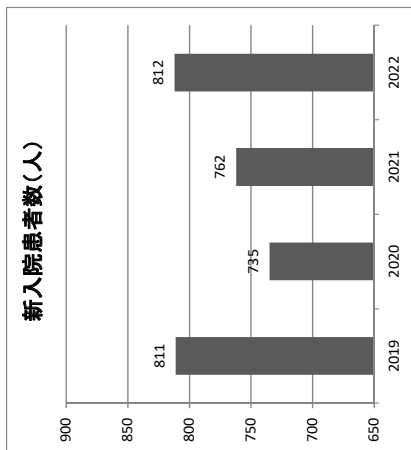
整形外科

日数	区分				2019	2020	2021	2022	2022/2019
	入院診療日数	外来診療日数	医師数	入院延患者数					
基礎指標	入院延患者数	811	735	762	812	366	365	365	99.7
	新入院患者数	1,406,624	1,336,961	1,423,404	1,486,453	242	243	243	100.4
	入院収益 A	28,110	26,088	27,615	27,952	5	5	8	160.0
	外来患者数	1,735	1,553	1,697	1,667	18,677	18,752	20,651	110.6
	初診患者数	326,218	314,062	289,241	306,937	811	762	812	100.1
	外来収益 B	1,732,842	1,651,023	1,712,644	1,793,390	1,406,624	1,423,404	1,486,453	105.7
	診療収益 A+B	75,313	79,467	75,907	71,980	5	5	8	99.4
	入院診療単価	2.2	2.0	2.1	2.2	2.0	2.1	2.2	100.4
	新入院患者数/日	22.2	22.0	23.5	24.5	22.2	22.0	24.5	110.4
	平均在院日数	11,605	12,039	10,474	10,981	11,605	12,039	10,981	94.6
	外来診療単価	50.1	45.7	47.7	49.6	50.1	45.7	49.6	99.0
	紹介率	116.2	107.4	114.1	115.0	116.2	107.4	115.0	99.0
	外来平均患者数/日	7.2	6.4	7.0	6.9	7.2	6.4	7.0	95.7
	初診患者数/日	4,466	3,681	3,863	3,931	4,466	3,681	3,931	88.0
	救急患者数	429	401	388	415	429	401	415	96.7
	救急入院患者数	52.9	54.6	50.9	51.1	52.9	54.6	51.1	96.6
	救急入院患者数/新入院患者数	869	710	810	827	869	710	827	95.2
	紹介数 (紹介患者加算)	1,216	1,324	1,461	1,276	1,216	1,324	1,276	104.9
	逆紹介数 (診療情報提供書)	70.1	85.3	86.1	76.5	70.1	85.3	76.5	109.2
	逆紹介率	1,066	968	913	976	1,066	968	976	91.6
	手術件数 (手術室利用)	768,647	732,581	557,105	509,059	768,647	732,581	509,059	66.2
	医師1人1日当りの入院収益	269,602	258,487	170,744	157,889	269,602	258,487	157,889	58.6
	医師1人1日当りの外来収益	1,038,249	991,069	727,850	666,949	1,038,249	991,069	666,949	64.2
	医師1人1日当りの診療収益	10.2	9.2	7.3	7.1	10.2	9.2	7.1	69.3
	医師1人1日当りの入院患者数	23.2	21.5	16.3	14.4	23.2	21.5	14.4	61.9
	医師1人1日当りの外来患者数	162.2	147.0	108.9	101.5	162.2	147.0	101.5	62.6
	医師1人当りの新入院患者数	893.2	736.2	551.9	491.4	893.2	736.2	491.4	55.0
	医師1人当りの救急患者数	85.8	80.2	55.4	51.9	85.8	80.2	51.9	60.5
	医師1人当りの紹介数	173.8	142.0	115.7	103.4	173.8	142.0	103.4	59.5
	医師1人当りの逆紹介数	243.2	264.8	208.7	159.5	243.2	264.8	159.5	65.6
	医師1人当りの手術件数	213.2	193.6	130.4	122.0	213.2	193.6	122.0	57.2

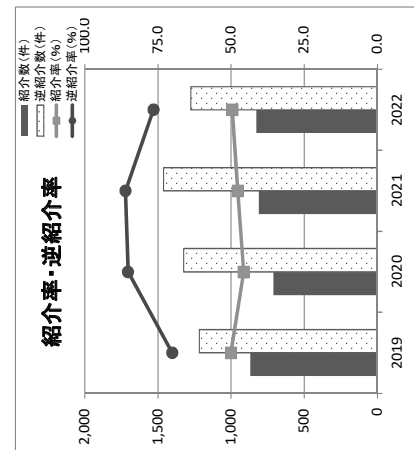
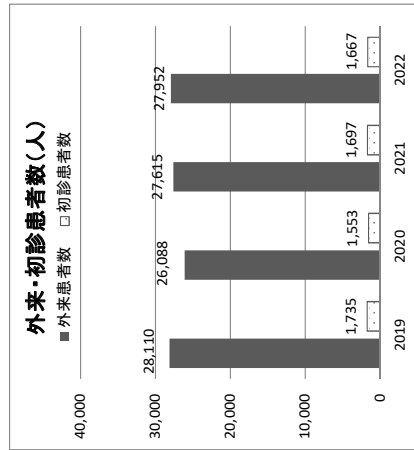
(注) 1 医師数は2022年4月1日現在 (研修医は含まれていない)

2 入院収益、外来収益はセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない (室料差額等は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している



整形外科
臨床指標



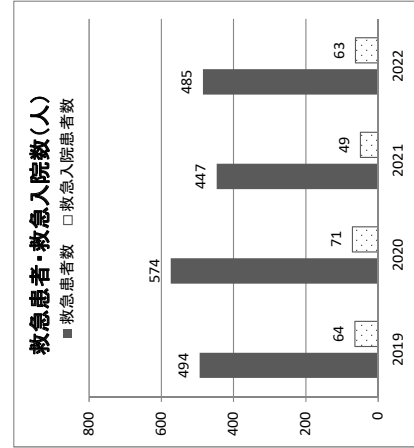
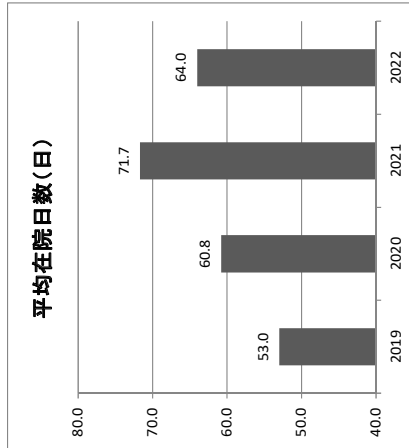
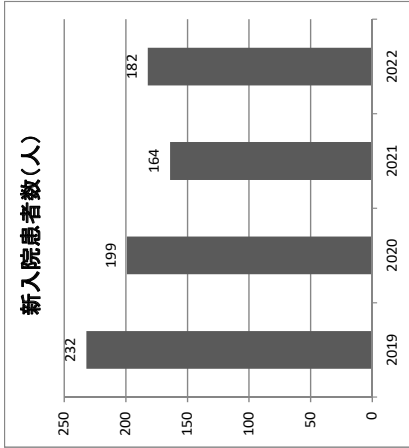
神経精神科

日数	区分				2019	2020	2021	2022	2022/2019
	入院診療日数	外来診療日数	医師数	診療日数					
基礎指標	入院延患者数	12,616	12,260	12,114	11,662	92.4			
	新入院患者数	232	199	164	182	78.4			
	入院収益 A	347,344	349,378	317,744	341,478	98.3			
	外来患者数	42,352	38,039	37,875	35,931	84.8			
	初診患者数	193	170	154	138	71.5			
	外来収益 B	322,265	304,802	291,032	280,396	87.0			
	診療収益 A+B	669,609	654,180	608,776	621,874	92.9			
	入院診療単価	27,532	28,497	26,229	29,281	106.4			
	新入院患者数/日	0.6	0.5	0.4	0.5	78.7			
	平均在院日数	53.0	60.8	71.7	64.0	120.8			
	外来診療単価	7,609	8,013	7,684	7,804	102.6			
	紹介率	74.1	81.2	81.8	81.9	110.5			
	外来平均患者数/日	175.0	156.5	156.5	147.9	84.5			
	初診患者数/日	0.8	0.7	0.6	0.6	71.2			
	救急患者数	494	574	447	485	98.2			
	救急入院患者数	64	71	49	63	98.4			
	救急入院患者数/新入院患者数	27.6	35.7	29.9	34.6	125.5			
	紹介数(紹介患者加算)	143	138	126	113	79.0			
	逆紹介数(診療情報提供書)	314	254	220	205	65.3			
	逆紹介率	162.7	149.4	142.9	148.6	91.3			
	手術件数(手術室利用)	201	119	117	62	30.8			
	医師1人1日当りの入院収益	79,086	95,720	87,053	103,951	131.4			
	医師1人1日当りの外来収益	110,973	125,433	120,261	128,210	115.5			
	医師1人1日当りの診療収益	190,058	221,153	207,314	232,161	122.2			
	医師1人1日当りの入院患者数	2.9	3.4	3.3	3.6	123.6			
	医師1人1日当りの外来患者数	14.6	15.7	15.7	16.4	112.7			
	医師1人当りの新入院患者数	19.3	19.9	16.4	20.2	104.6			
	医師1人当りの救急患者数	41.2	57.4	44.7	53.9	130.9			
	医師1人当りの救急入院患者数	5.3	7.1	4.9	7.0	131.3			
	医師1人当りの紹介数	11.9	13.8	12.6	12.6	105.4			
	医師1人当りの逆紹介数	26.2	25.4	22.0	22.8	87.0			
	医師1人当りの手術件数	16.8	11.9	11.7	6.9	41.1			

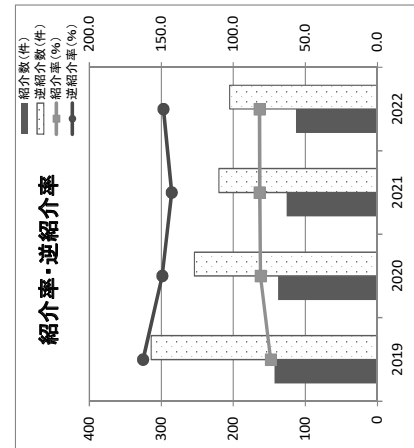
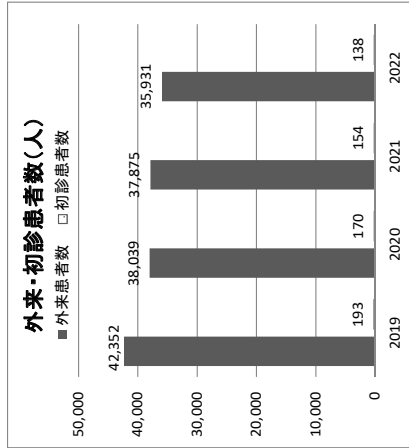
(注) 1 医師数は2022年4月1日現在(研修医は含まれていない)

2 入院収益、外来収益はセプト請求額であり戻戻、査定は考慮していない(室料差額等は含まれていない)

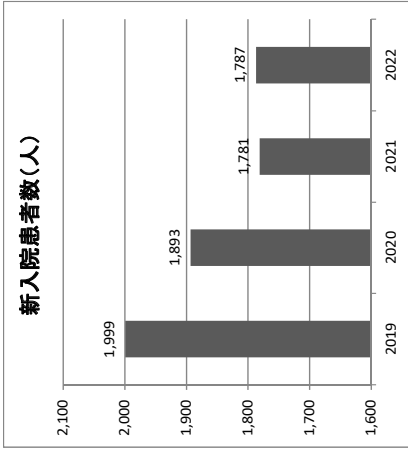
3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している



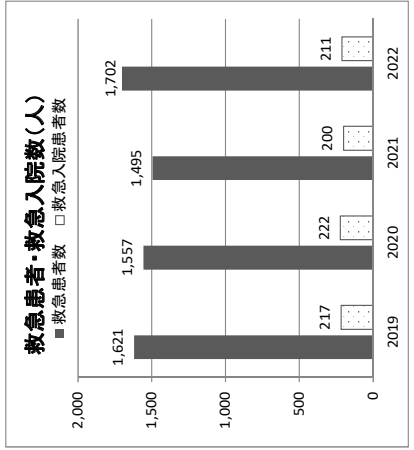
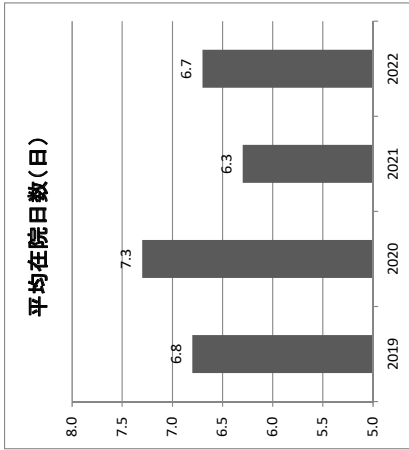
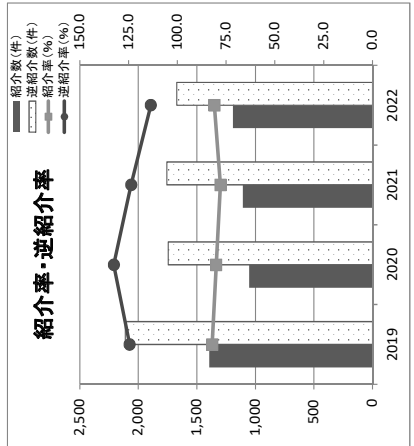
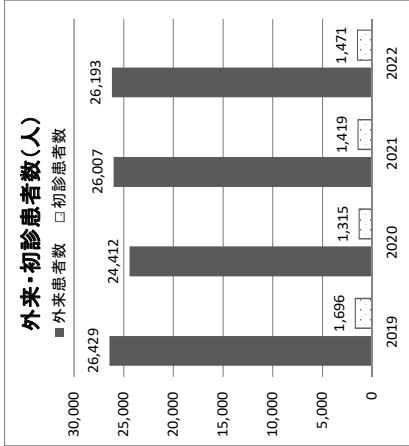
神経精神科 臨床指標



泌尿器科



泌尿器科
臨床指標



日数	区分				2019	2020	2021	2022	2022/2019
	入院診療日数	外来診療日数	医師数	診療単価					
基礎指標	人	人	人	円	366	365	365	365	99.7
入院延患者数	人	人	人	円	242	243	242	243	100.4
新入院患者数	人	人	人	円	8	9	9	8	100.0
入院収益 A	千円	千円	千円	円	15,731	15,655	12,884	13,729	87.3
外来患者数	人	人	人	円	1,999	1,893	1,781	1,787	89.4
初診患者数	人	人	人	円	1,056,768	1,087,050	918,044	1,012,940	95.9
外来収益 B	千円	千円	千円	円	26,429	24,412	26,007	26,193	99.1
診療収益 A+B	千円	千円	千円	円	979,831	1,019,432	1,249,322	1,437,006	146.7
入院診療単価	円	円	円	円	2,036,599	2,106,482	2,167,367	2,449,947	120.3
新入院患者数/日	人	人	人	人	67,177	69,438	71,255	73,781	109.8
平均在院日数	日	日	日	日	5.5	5.2	4.9	4.9	89.6
外来診療単価	円	円	円	円	6.8	7.3	6.3	6.7	98.5
紹介率	%	%	%	%	37,074	41,759	48,038	54,862	148.0
外来平均患者数/日	人	人	人	人	82.2	80.2	77.9	81.0	98.6
初診患者数/日	人	人	人	人	109.2	100.5	107.5	107.8	98.7
救急患者数	人	人	人	人	7.0	5.4	5.9	6.1	86.4
救急入院患者数	人	人	人	人	1,621	1,557	1,495	1,702	105.0
救急入院患者数/新入院患者数	%	%	%	%	217	222	200	211	97.2
紹介数(紹介患者加算)	人	人	人	人	10.9	11.7	11.2	11.8	108.8
逆紹介数(診療情報提供書)	人	人	人	人	1,394	1,054	1,106	1,192	85.5
逆紹介率	%	%	%	%	2,111	1,744	1,756	1,671	79.2
手術件数(手術室利用)	件	件	件	件	124.5	132.6	123.7	113.6	91.3
医師1人1日当りの入院収益	円	円	円	円	1,786	1,674	1,621	1,591	89.1
医師1人1日当りの外来収益	円	円	円	円	360,918	330,913	279,465	346,897	96.1
医師1人1日当りの診療収益	円	円	円	円	506,111	466,133	573,610	739,201	146.1
医師1人1日当りの救急患者数	人	人	人	人	867,029	797,046	853,075	1,086,098	125.3
医師1人1日当りの紹介患者数	人	人	人	人	5.4	4.8	3.9	4.7	87.5
医師1人1日当りの外来患者数	人	人	人	人	13.7	11.2	11.9	13.5	98.7
医師1人当りの新入院患者数	人	人	人	人	249.9	210.3	197.9	223.4	89.4
医師1人当りの救急患者数	人	人	人	人	202.6	173.0	166.1	212.8	105.0
医師1人当りの紹介患者数	人	人	人	人	27.1	24.7	22.2	26.4	97.2
医師1人当りの逆紹介数	件	件	件	件	174.3	117.1	122.9	149.0	85.5
医師1人当りの手術件数	件	件	件	件	263.9	193.8	195.1	208.9	79.2
医師1人当りの手術件数	件	件	件	件	223.3	186.0	180.1	198.9	89.1

(注) 1 医師数は2022年4月1日現在(研修医は含まれていない)
 2 入院収益・外来収益はセプト請求額であり戻戻、査定は考慮していない(室料差額等は含まれていない)
 3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

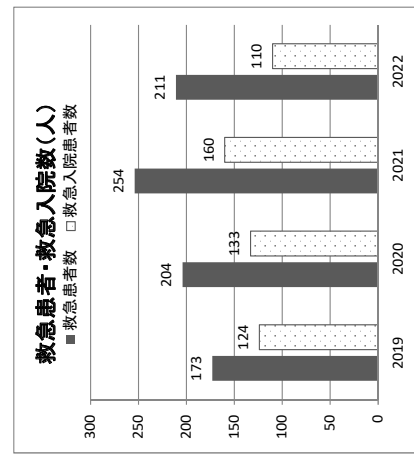
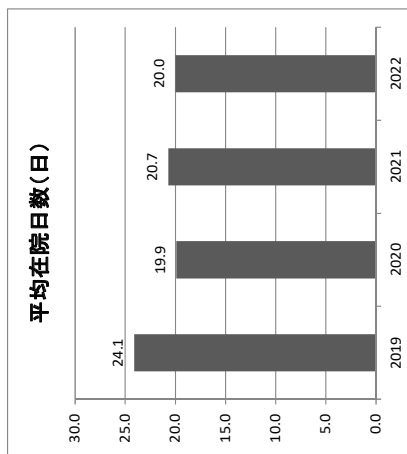
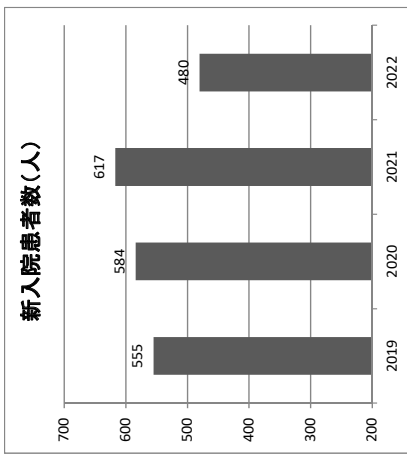
透析科

日数	区分				2019	2020	2021	2022	2022/2019
	入院診療日数	外来診療日数	医師数	診療単価					
基礎指標	入院患者数	外来患者数	初診患者数	外来患者数	14,503	12,437	13,681	10,189	70.3
	新入院患者数	新入院患者数	初診患者数	初診患者数	555	584	617	480	86.5
	入院収益 A	入院収益 A	初診患者数	初診患者数	739,728	716,044	770,044	562,582	76.1
	外来収益 B	外来収益 B	初診患者数	初診患者数	59,468	60,681	59,409	57,385	96.5
	診療収益 A+B	診療収益 A+B	初診患者数	初診患者数	1,578,176	1,620,179	1,631,303	1,622,444	102.8
	入院診療単価	入院診療単価	初診患者数/日	初診患者数/日	2,317,904	2,336,223	2,401,347	2,185,026	94.3
	平均在院日数	平均在院日数	初診患者数/日	初診患者数/日	51,005	57,574	56,286	55,215	108.3
	外来診療単価	外来診療単価	初診患者数/日	初診患者数/日	1.5	1.6	1.7	1.3	86.7
	紹介率	紹介率	初診患者数/日	初診患者数/日	24.1	19.9	20.7	20.0	83.0
	外来平均患者数/日	外来平均患者数/日	初診患者数/日	初診患者数/日	26,538	26,700	27,459	28,273	106.5
	初診患者数/日	初診患者数/日	初診患者数/日	初診患者数/日	110.6	123.1	115.3	123.7	111.9
	救急入院患者数	救急入院患者数	初診患者数/日	初診患者数/日	189.4	193.9	189.8	183.9	97.1
	救急入院患者数/新入院患者数	救急入院患者数/新入院患者数	初診患者数/日	初診患者数/日	0.5	0.2	0.2	0.2	39.3
	紹介数(紹介患者加算)	紹介数(紹介患者加算)	初診患者数/日	初診患者数/日	173	204	254	211	122.0
	逆紹介数(診療情報提供書)	逆紹介数(診療情報提供書)	初診患者数/日	初診患者数/日	124	133	160	110	88.7
	逆紹介率	逆紹介率	初診患者数/日	初診患者数/日	22.3	22.8	25.9	22.9	102.6
	手術件数(手術室利用)	手術件数(手術室利用)	初診患者数/日	初診患者数/日	167	96	68	73	43.7
	医師1人1日当りの入院収益	医師1人1日当りの入院収益	初診患者数/日	初診患者数/日	421	381	361	319	75.8
	医師1人1日当りの外来収益	医師1人1日当りの外来収益	初診患者数/日	初診患者数/日	278.8	488.5	611.9	540.7	193.9
	医師1人1日当りの診療収益	医師1人1日当りの診療収益	初診患者数/日	初診患者数/日	0	0	0	0	0.0
	医師1人1日当りの救急入院患者数	医師1人1日当りの救急入院患者数	初診患者数/日	初診患者数/日	2,021,115	1,961,764	2,109,710	1,541,321	76.3
	医師1人1日当りの新入院患者数	医師1人1日当りの新入院患者数	初診患者数/日	初診患者数/日	5,026,038	5,176,291	5,211,831	5,200,141	103.5
	医師1人1日当りの救急患者数	医師1人1日当りの救急患者数	初診患者数/日	初診患者数/日	7,047,153	7,138,055	7,321,540	6,741,462	95.7
	医師1人1日当りの紹介患者数	医師1人1日当りの紹介患者数	初診患者数/日	初診患者数/日	39.6	34.1	37.5	27.9	70.4
	医師1人1日当りの逆紹介数	医師1人1日当りの逆紹介数	初診患者数/日	初診患者数/日	189.4	193.9	189.8	183.9	97.1
	医師1人1日当りの手術件数	医師1人1日当りの手術件数	初診患者数/日	初診患者数/日	555.0	584.0	617.0	480.0	86.5
	医師1人1日当りの入院患者数	医師1人1日当りの入院患者数	初診患者数/日	初診患者数/日	173.0	204.0	254.0	211.0	122.0
	医師1人1日当りの救急入院患者数	医師1人1日当りの救急入院患者数	初診患者数/日	初診患者数/日	124.0	133.0	160.0	110.0	88.7
	医師1人1日当りの紹介患者数	医師1人1日当りの紹介患者数	初診患者数/日	初診患者数/日	167.0	96.0	68.0	73.0	43.7
	医師1人1日当りの逆紹介数	医師1人1日当りの逆紹介数	初診患者数/日	初診患者数/日	421.0	381.0	361.0	319.0	75.8
	医師1人1日当りの手術件数	医師1人1日当りの手術件数	初診患者数/日	初診患者数/日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

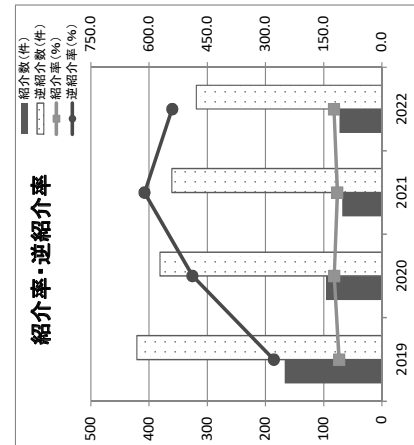
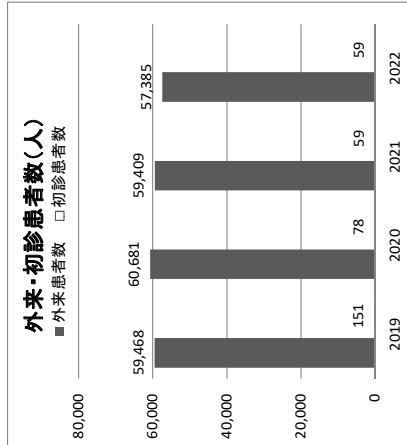
(注) 1 医師数は2022年4月1日現在(研修医は含まれていない)

2 入院収益、外来収益はレプト請求額であり戻戻、査定は考慮していない(室料差額等は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している



透析科 臨床指標



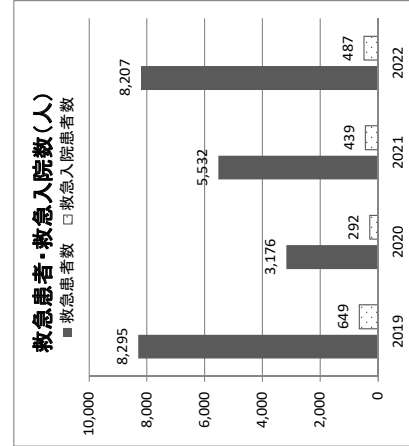
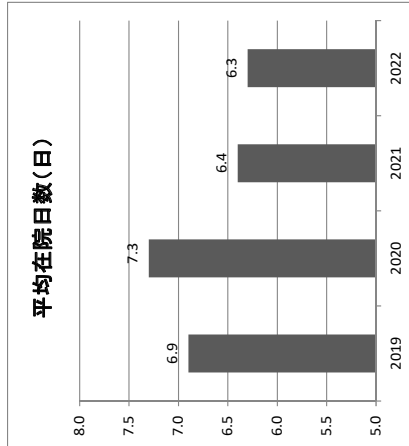
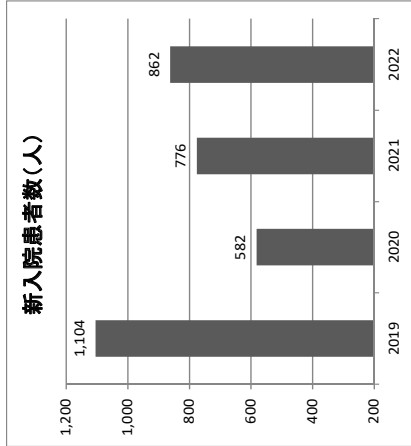
小児科

日数	区分		2019	2020	2021	2022	2022/2019
	入院診療日数	外来診療日数					
基礎指標	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	242	243	100.0
	医師数	人	11	11	13	15	136.4
	入院延患者数	人	8,745	4,865	5,725	6,293	72.0
	新入院患者数	人	1,104	582	776	862	78.1
	入院収益 A	千円	530,108	317,794	378,592	435,501	82.2
	外来患者数	人	26,271	22,397	23,342	23,294	88.7
	初診患者数	人	2,214	1,485	1,899	2,639	119.2
	外来収益 B	千円	568,087	519,228	573,459	663,977	116.9
	診療収益 A+B	千円	1,098,195	837,022	952,051	1,099,478	100.1
	入院診療単価	円	60,618	65,323	66,130	69,204	114.2
	新入院患者数/日	人	3.0	1.6	2.1	2.4	78.3
	平均在院日数	日	6.9	7.3	6.4	6.3	91.3
	外来診療単価	円	21,624	23,183	24,568	28,504	131.8
	紹介率	%	50.1	54.8	40.8	31.7	63.2
	外来平均患者数/日	人	108.1	92.2	96.5	95.9	88.7
	初診患者数/日	人	9.1	6.1	7.8	10.9	119.2
	救急患者数	人	8,295	3,176	5,532	8,207	98.9
	救急入院患者数	人	649	292	439	487	75.0
	救急入院患者数/新入院患者数	%	58.8	50.2	56.6	56.5	96.1
	紹介数 (紹介患者加算)	人	1,110	814	774	836	75.3
	逆紹介数 (診療情報提供書)	人	2,144	1,288	1,515	1,744	81.3
	逆紹介率	%	96.8	86.7	79.8	66.1	68.2
	手術件数 (手術室利用)	件	0	0	0	0	0.0
	医師1人1日当りの入院収益	円	131,671	79,152	79,788	79,544	60.4
	医師1人1日当りの外来収益	円	212,528	194,249	182,282	182,161	85.7
	医師1人1日当りの診療収益	円	344,199	273,401	262,070	261,705	76.0
	医師1人1日当りの入院患者数	人	2.2	1.2	1.2	1.1	52.9
	医師1人1日当りの外来患者数	人	9.8	8.4	7.4	6.4	65.0
	医師1人当りの新入院患者数	人	100.4	52.9	59.7	57.5	57.3
	医師1人当りの救急患者数	人	754.1	288.7	425.5	547.1	72.6
	医師1人当りの救急入院患者数	人	59.0	26.5	33.8	32.5	55.0
	医師1人当りの逆紹介数	件	100.9	74.0	59.5	55.7	55.2
	医師1人当りの手術件数	件	194.9	117.1	116.5	116.3	59.7
	医師1人当りの手術件数	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

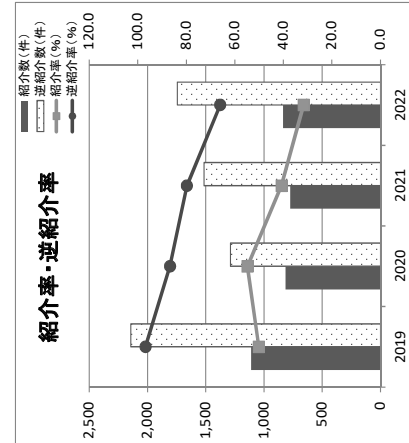
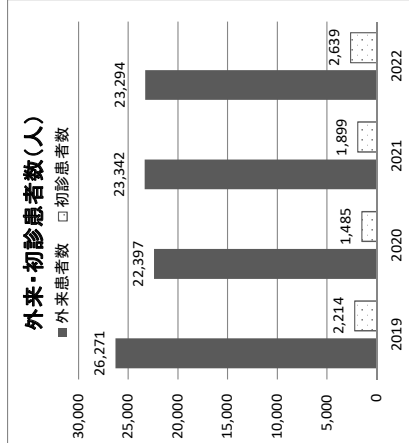
(注) 1 医師数は2022年4月1日現在 (研修医は含まれていない)

2 入院収益、外来収益はレポート請求額であり返戻、査定は考慮していない (室料差額等は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している



小児科
臨床指標



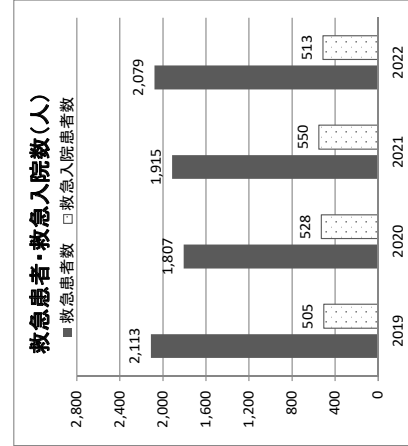
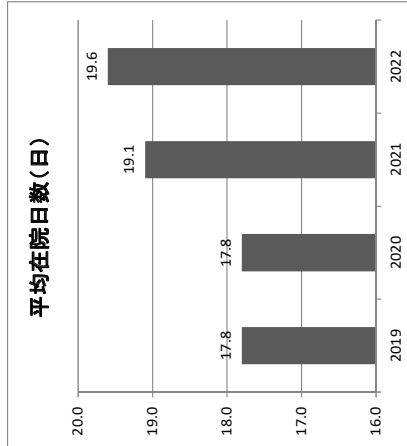
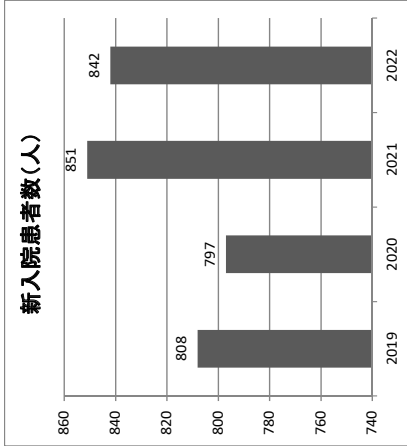
脳神経外科

日数	区分				2019	2020	2021	2022	2022/2019
	入院診療日数	外来診療日数	医師数	診療日数					
基礎指標	入院延患者数	808	797	842	15,097	15,096	17,113	17,412	115.3
	新入院患者数	808	797	842	808	797	851	842	104.2
	入院収益 A	1,155,140	1,199,066	1,344,009	1,155,140	1,199,066	1,344,009	1,407,241	121.8
	外来患者数	10,266	9,231	9,897	10,266	9,231	9,897	10,289	100.2
	初診患者数	1,053	837	940	1,053	837	940	865	82.1
	外来収益 B	187,778	151,033	158,757	187,778	151,033	158,757	171,450	91.3
	診療収益 A+B	1,342,918	1,350,099	1,502,766	1,342,918	1,350,099	1,502,766	1,578,692	117.6
	入院診療単価	76,515	79,429	78,537	76,515	79,429	78,537	80,820	105.6
	新入院患者数/日	2.2	2.2	2.3	2.2	2.2	2.3	2.3	104.5
	平均在院日数	17.8	17.8	19.1	17.8	17.8	19.1	19.6	110.1
	外来診療単価	18,291	16,361	16,041	18,291	16,361	16,041	16,663	91.1
	紹介率	53.4	56.2	56.2	53.4	56.2	56.2	55.3	103.5
	外来平均患者数/日	42.4	38.0	40.9	42.4	38.0	40.9	42.3	99.8
	初診患者数/日	4.4	3.4	3.9	4.4	3.4	3.9	3.6	81.8
	救急患者数	2,113	1,807	1,915	2,113	1,807	1,915	2,079	98.4
	救急入院患者数	505	528	550	505	528	550	513	101.6
	救急入院患者数/新入院患者数	62.5	66.2	64.6	62.5	66.2	64.6	60.9	97.5
	紹介数 (紹介患者加算)	562	474	528	562	474	528	478	85.1
	逆紹介数 (診療情報提供書)	912	819	925	912	819	925	845	92.7
	逆紹介率	86.6	97.8	98.4	86.6	97.8	98.4	97.7	112.8
	手術件数 (手術室利用)	417	445	507	417	445	507	550	131.9
	医師1人1日当たり入院収益	526,020	469,302	460,277	526,020	469,302	460,277	428,384	81.4
	医師1人1日当たり外来収益	129,324	88,791	82,003	129,324	88,791	82,003	78,395	60.6
	医師1人1日当たり診療収益	655,344	558,092	542,280	655,344	558,092	542,280	506,779	77.3
	医師1人1日当たり入院患者数	6.9	5.9	5.9	6.9	5.9	5.9	5.3	77.1
	医師1人1日当たり外来患者数	7.1	5.4	5.1	7.1	5.4	5.1	4.7	66.5
	医師1人当たり新入院患者数	134.7	113.9	106.4	134.7	113.9	106.4	93.6	69.5
	医師1人当たり救急患者数	352.2	258.1	239.4	352.2	258.1	239.4	231.0	65.6
	医師1人当たり救急入院患者数	84.2	75.4	68.8	84.2	75.4	68.8	57.0	67.7
	医師1人当たり紹介数	93.7	67.7	66.0	93.7	67.7	66.0	53.1	56.7
	医師1人当たり逆紹介数	152.0	117.0	115.6	152.0	117.0	115.6	93.9	61.8
	医師1人当たり手術件数	69.5	63.6	63.4	69.5	63.6	63.4	61.1	87.9

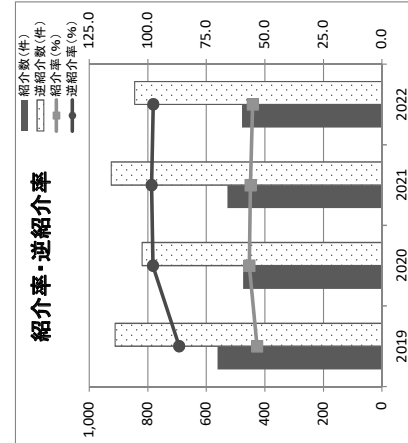
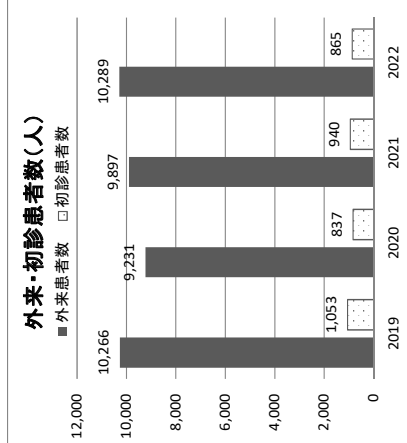
(注) 1 医師数は2022年4月1日現在 (研修医は含まれていない)

2 入院収益、外来収益はレプト請求額であり医戻、査定は考慮していない (室料差額等は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している



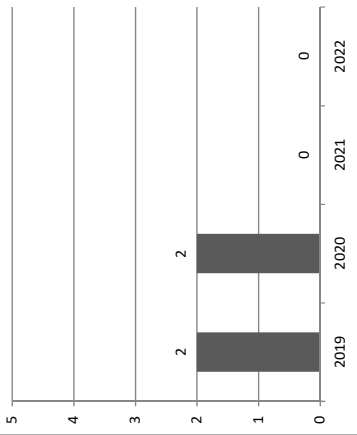
脳神経外科 臨床指標



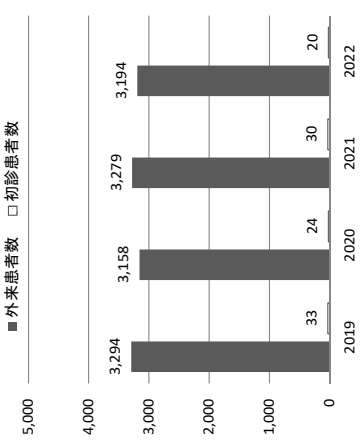
麻酔科

麻酔科
臨床指標

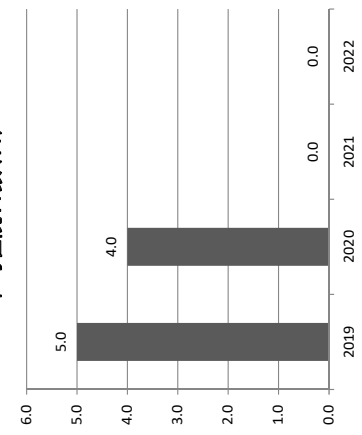
新入院患者数(人)



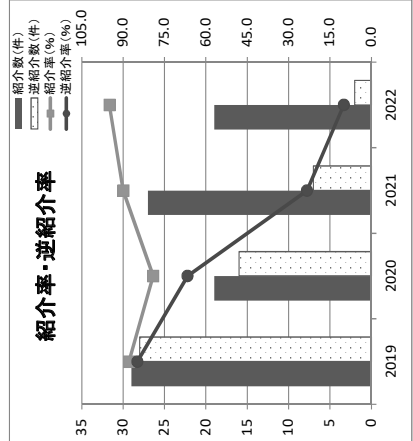
外来・初診患者数(人)



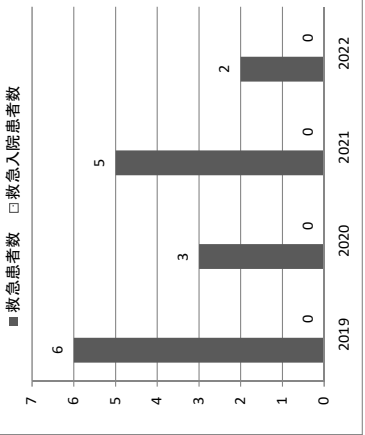
平均在院日数(日)



紹介率・逆紹介率



救急患者・救急入院患者数



日数	区分				2019	2020	2021	2022	2022/2019
	入院診療日数	外来診療日数	医師数	新入院患者数					
基礎指標	入院診療日数	外来診療日数	医師数	新入院患者数	366	365	365	365	99.7
	入院診療日数	外来診療日数	医師数	新入院患者数	242	243	242	227	93.8
	入院延患者数	入院延患者数	入院延患者数	入院延患者数	11	9	9	11	100.0
	新入院患者数	新入院患者数	新入院患者数	新入院患者数	2	2	0	0	0.0
	入院収益 A	入院収益 A	入院収益 A	入院収益 A	4,795	3,082	0	0	0.0
	外来患者数	外来患者数	外来患者数	外来患者数	3,294	3,158	3,279	3,194	97.0
	初診患者数	初診患者数	初診患者数	初診患者数	33	24	30	20	60.6
	外来収益 B	外来収益 B	外来収益 B	外来収益 B	21,989	28,960	14,067	13,702	62.3
	診療収益 A+B	診療収益 A+B	診療収益 A+B	診療収益 A+B	26,784	32,042	14,067	13,702	51.2
	入院診療単価	入院診療単価	入院診療単価	入院診療単価	399,583	308,200	0	0	0.0
	新入院患者数/日	新入院患者数/日	新入院患者数/日	新入院患者数/日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平均在院日数	平均在院日数	平均在院日数	平均在院日数	5.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	外来診療単価	外来診療単価	外来診療単価	外来診療単価	6,675	9,170	4,290	4,290	64.3
	紹介率	紹介率	紹介率	紹介率	87.9	79.2	90.0	95.0	108.1
	外来平均患者数/日	外来平均患者数/日	外来平均患者数/日	外来平均患者数/日	13.6	13.0	13.5	14.1	103.4
	初診患者数/日	初診患者数/日	初診患者数/日	初診患者数/日	0.1	0.1	0.1	0.1	64.6
	救急患者数	救急患者数	救急患者数	救急患者数	6	3	5	2	33.3
	救急入院患者数	救急入院患者数	救急入院患者数	救急入院患者数	0	0	0	0	0.0
	救急入院患者数/新入院患者数	救急入院患者数/新入院患者数	救急入院患者数/新入院患者数	救急入院患者数/新入院患者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	紹介数(紹介患者加算)	紹介数(紹介患者加算)	紹介数(紹介患者加算)	紹介数(紹介患者加算)	29	19	27	19	65.5
	逆紹介数(診療情報提供書)	逆紹介数(診療情報提供書)	逆紹介数(診療情報提供書)	逆紹介数(診療情報提供書)	28	16	7	2	7.1
	逆紹介率	逆紹介率	逆紹介率	逆紹介率	84.8	66.7	23.3	10.0	11.8
	手術件数(手術室利用)	手術件数(手術室利用)	手術件数(手術室利用)	手術件数(手術室利用)	7	6	3	5	71.4
	医師1人1日当たり入院収益	医師1人1日当たり入院収益	医師1人1日当たり入院収益	医師1人1日当たり入院収益	1,191	938	0	0	0.0
	医師1人1日当たり外来収益	医師1人1日当たり外来収益	医師1人1日当たり外来収益	医師1人1日当たり外来収益	8,260	13,242	6,459	5,487	66.4
	医師1人1日当たり診療収益	医師1人1日当たり診療収益	医師1人1日当たり診療収益	医師1人1日当たり診療収益	9,451	14,180	6,459	5,487	58.1
	医師1人1日当たり入院患者数	医師1人1日当たり入院患者数	医師1人1日当たり入院患者数	医師1人1日当たり入院患者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人1日当たり外来患者数	医師1人1日当たり外来患者数	医師1人1日当たり外来患者数	医師1人1日当たり外来患者数	1.2	1.4	1.5	1.3	103.4
	医師1人当たり新入院患者数	医師1人当たり新入院患者数	医師1人当たり新入院患者数	医師1人当たり新入院患者数	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり救急患者数	医師1人当たり救急患者数	医師1人当たり救急患者数	医師1人当たり救急患者数	0.5	0.3	0.6	0.2	33.3
	医師1人当たり救急入院患者数	医師1人当たり救急入院患者数	医師1人当たり救急入院患者数	医師1人当たり救急入院患者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり紹介数	医師1人当たり紹介数	医師1人当たり紹介数	医師1人当たり紹介数	2.6	2.1	3.0	1.7	65.5
	医師1人当たり逆紹介数	医師1人当たり逆紹介数	医師1人当たり逆紹介数	医師1人当たり逆紹介数	2.5	1.8	0.8	0.2	7.1
	医師1人当たり手術件数	医師1人当たり手術件数	医師1人当たり手術件数	医師1人当たり手術件数	0.6	0.7	0.3	0.5	71.4

(注) 1 医師数は2022年4月1日現在(研修医は含まれていない)

2 入院収益、外来収益はレポート請求額であり戻戻、査定は考慮していない(室料差額等は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

心臓外科

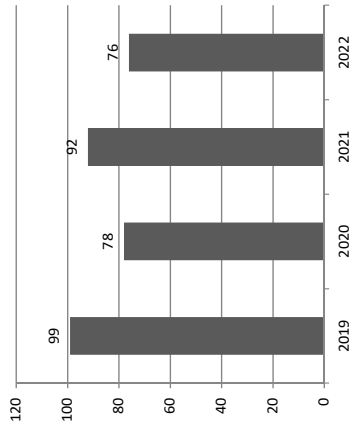
日数	区分				2019	2020	2021	2022	2022/2019
	入院診療日数	外来診療日数	医師数	診療単価					
基礎指標	入院患者数	外来患者数	初診患者数	新入院患者数	3,733	2,803	3,221	3,038	81.4
	入院患者数	外来患者数	初診患者数	新入院患者数	99	78	92	76	76.8
	入院収益 A	外来収益	初診収益	新入院収益	751,402	632,338	686,271	617,906	82.2
	入院患者数	外来患者数	初診患者数	新入院患者数	2,556	2,455	2,331	2,316	90.6
	初診患者数	外来患者数	初診患者数	新入院患者数	5	4	7	8	160.0
	外来収益 B	入院収益	初診収益	新入院収益	38,622	38,141	37,958	37,800	97.9
	診療収益 A+B	入院診療日数	外来診療日数	診療単価	790,024	670,479	724,229	655,706	83.0
	入院診療単価	入院患者数/日	外来患者数/日	初診患者数/日	201,286	225,593	213,061	203,392	101.0
	新入院患者数/日	入院患者数/日	外来患者数/日	初診患者数/日	0.3	0.2	0.3	0.2	77.0
	平均在院日数	入院患者数	外来患者数	初診患者数	35.6	30.0	31.8	34.0	95.5
	外来診療単価	入院患者数	外来患者数	初診患者数	15,110	15,536	16,284	16,321	108.0
	紹介率	入院患者数	外来患者数	初診患者数	140.0	150.0	114.3	112.5	80.4
	外来平均患者数/日	入院患者数	外来患者数	初診患者数	24.8	23.2	22.0	21.6	87.2
	初診患者数/日	入院患者数	外来患者数	初診患者数	0.0	0.0	0.1	0.1	154.0
	救急患者数	入院患者数	外来患者数	初診患者数	27	39	38	26	96.3
	救急入院患者数	入院患者数	外来患者数	初診患者数	13	15	22	15	115.4
	救急入院患者数/新入院患者数	入院患者数	外来患者数	初診患者数	13.1	19.2	23.9	19.7	150.3
	紹介数 (紹介患者加算)	入院患者数	外来患者数	初診患者数	7	6	8	9	128.6
	逆紹介数 (診療情報提供書)	入院患者数	外来患者数	初診患者数	388	440	443	473	121.9
	逆紹介率	入院患者数	外来患者数	初診患者数	7,760.0	11,000.0	6,328.6	5,912.5	76.2
	手術件数 (手術室利用)	入院患者数	外来患者数	初診患者数	147	153	153	102	69.4
	医師1人1日当りの入院収益	入院患者数	外来患者数	初診患者数	513,253	433,108	470,049	423,223	82.5
	医師1人1日当りの外来収益	入院患者数	外来患者数	初診患者数	93,743	89,955	89,524	88,318	94.2
	医師1人1日当りの診療収益	入院患者数	外来患者数	初診患者数	606,995	523,063	559,572	511,541	84.3
	医師1人1日当りの入院患者数	入院患者数	外来患者数	初診患者数	2.5	1.9	2.2	2.1	81.6
	医師1人1日当りの外来患者数	入院患者数	外来患者数	初診患者数	6.2	5.8	5.5	5.4	87.2
	医師1人1日当りの新入院患者数	入院患者数	外来患者数	初診患者数	24.8	19.5	23.0	19.0	76.8
	医師1人1日当りの救急患者数	入院患者数	外来患者数	初診患者数	6.8	9.8	9.5	6.5	96.3
	医師1人1日当りの救急入院患者数	入院患者数	外来患者数	初診患者数	3.3	3.8	5.5	3.8	115.4
	医師1人1日当りの紹介数	入院患者数	外来患者数	初診患者数	1.8	1.5	2.0	2.3	128.6
	医師1人1日当りの逆紹介数	入院患者数	外来患者数	初診患者数	97.0	110.0	110.8	118.3	121.9
	医師1人1日当りの手術件数	入院患者数	外来患者数	初診患者数	36.8	38.3	38.3	25.5	69.4

(注) 1 医師数は2022年4月1日現在 (研修医は含まれていない)

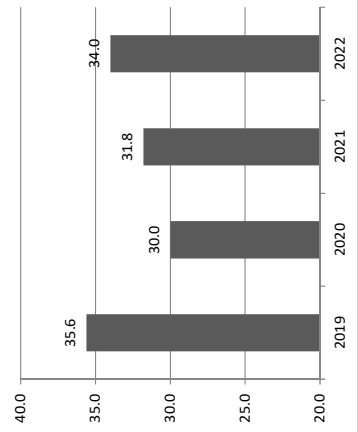
2 入院収益、外来収益はセプト請求額であり戻戻、査定は考慮していない (室料差額等は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

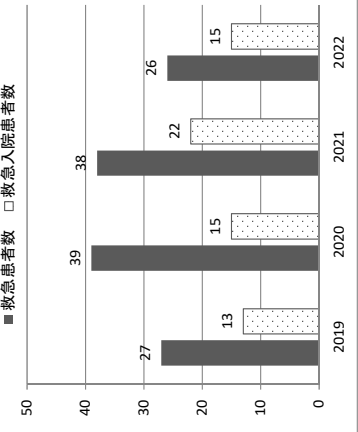
新入院患者数(人)



平均在院日数(日)

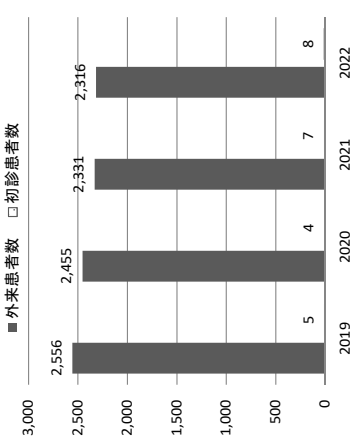


救急患者・救急入院数(人)

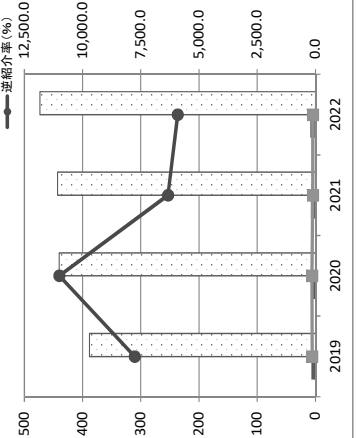


心臓外科 臨床指標

外来・初診患者数(人)



紹介率・逆紹介率



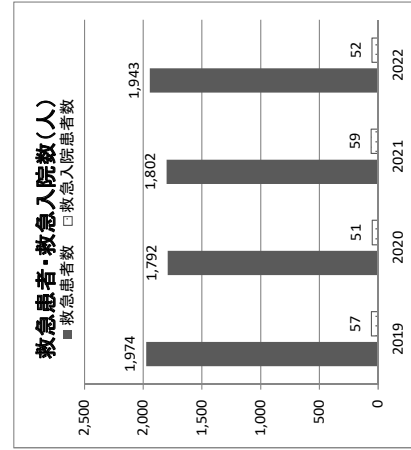
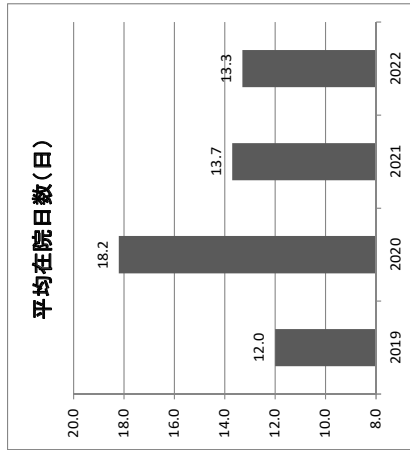
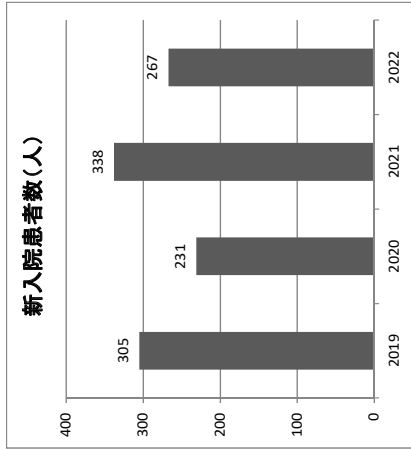
形成外科

日数	区分					2022/2019
	2019	2020	2021	2022	2022/2019	
入院診療日数	366	365	365	365	365	99.7
外来診療日数	242	243	242	242	243	100.4
医師数	5	5	5	5	5	100.0
入院患者数	4,072	4,436	4,958	3,946	3,946	96.9
新入院患者数	305	231	338	267	267	87.5
入院収益 A	281,201	280,371	345,847	255,286	255,286	90.8
外来患者数	12,124	11,272	11,479	10,924	10,924	90.1
初診患者数	1,044	786	851	826	826	79.1
外来収益 B	109,599	99,071	93,073	92,292	92,292	84.2
診療収益 A+B	390,800	379,442	438,920	347,579	347,579	88.9
入院診療単価	69,057	63,204	69,755	64,695	64,695	93.7
新入院患者数/日	0.8	0.6	0.9	0.7	0.7	87.8
平均在院日数	12.0	18.2	13.7	13.3	13.3	110.8
外来診療単価	9,040	8,789	8,108	8,449	8,449	93.5
紹介率	53.2	52.4	54.4	55.4	55.4	104.3
外来平均患者数/日	50.1	46.4	47.4	45.0	45.0	89.7
初診患者数/日	4.3	3.2	3.5	3.4	3.4	78.8
救急患者数	1,974	1,792	1,802	1,943	1,943	98.4
救急入院患者数	57	51	59	52	52	91.2
救急入院患者数/新入院患者数	18.7	22.1	17.5	19.5	19.5	104.2
紹介数 (紹介患者加算)	555	412	463	458	458	82.5
逆紹介数 (診療情報提供書)	652	419	496	577	577	88.5
逆紹介率	62.5	53.3	58.3	69.9	69.9	111.9
手術件数 (手術室利用)	243	219	290	180	180	74.1
医師1人1日当たり入院収益	153,662	153,628	189,505	139,883	139,883	91.0
医師1人1日当たり外来収益	90,578	81,540	76,920	75,960	75,960	83.9
医師1人1日当たり診療収益	244,239	235,168	266,425	215,843	215,843	88.4
医師1人1日当たり入院患者数	2.2	2.4	2.7	2.2	2.2	97.2
医師1人1日当たり外来患者数	10.0	9.3	9.5	9.0	9.0	89.7
医師1人当たり新入院患者数	61.0	46.2	67.6	53.4	53.4	87.5
医師1人当たり救急患者数	394.8	358.4	360.4	388.6	388.6	98.4
医師1人当たり救急入院患者数	11.4	10.2	11.8	10.4	10.4	91.2
医師1人当たり紹介数	111.0	82.4	92.6	91.6	91.6	82.5
医師1人当たり逆紹介数	130.4	83.8	99.2	115.4	115.4	88.5
医師1人当たり手術件数	48.6	43.8	58.0	36.0	36.0	74.1

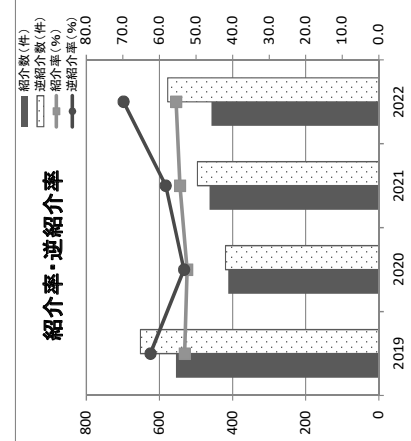
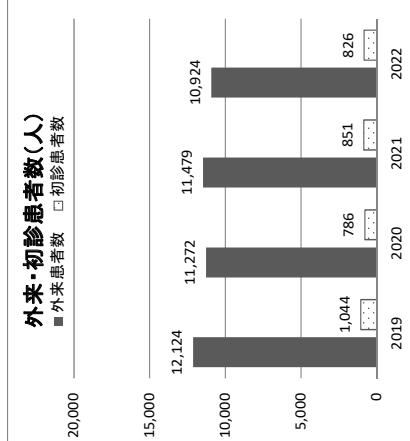
(注) 1 医師数は2022年4月1日現在 (研修医は含まれていない)

2 入院収益、外来収益はレプト請求額であり戻戻、査定は考慮していない (室料差額等は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

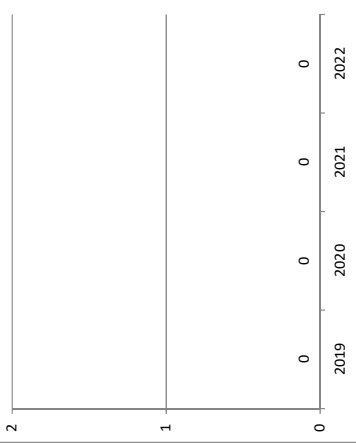


形成外科
臨床指標



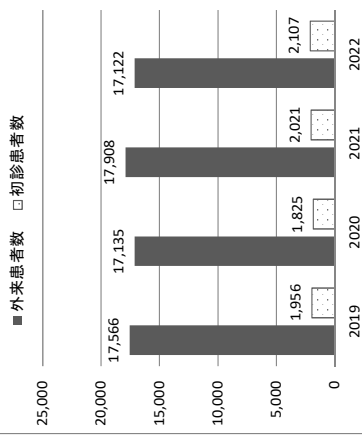
放射線科

新入院患者数(人)

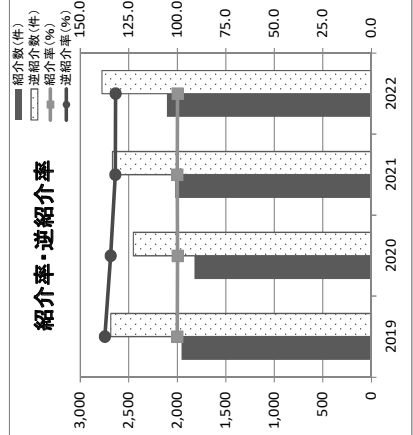


放射線科 臨床指標

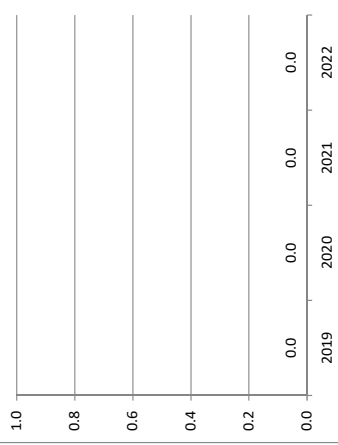
外来・初診患者数(人)



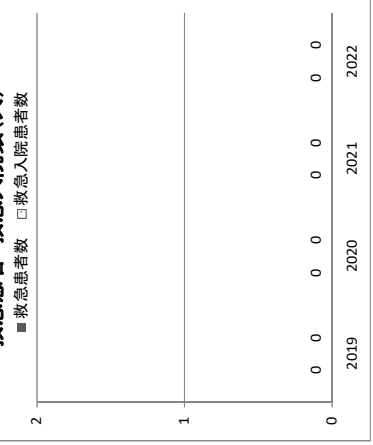
紹介率・逆紹介率



平均在院日数(日)



救急患者・救急入院患者数



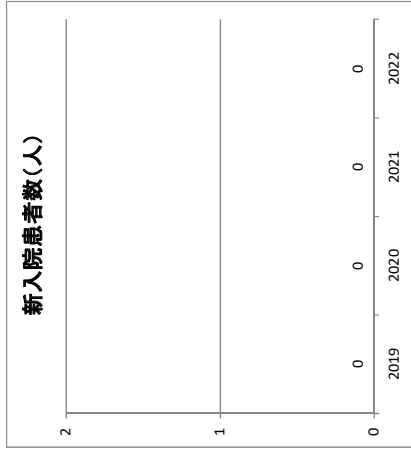
区分	2019		2020		2021		2022		2022/2019	
	日数	日	千円	千円	千円	千円	千円	千円	比率	比率
基礎指標	入院診療日数	366	17,566	17,135	17,908	17,122	365	365	99.7	99.7
	外来診療日数	245	1,956	1,825	2,021	2,107	243	243	99.2	99.2
	医師数	8	17,566	17,135	17,908	17,122	11	10	125.0	125.0
	入院延患者数	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	新入院患者数	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	入院収益 A	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	外来患者数	17,566	17,135	17,908	17,122	365	365	365	99.7	99.7
	初診患者数	1,956	1,825	2,021	2,107	2,021	2,107	2,107	107.7	107.7
	外来収益 B	339,433	343,689	398,049	385,142	398,049	385,142	385,142	113.5	113.5
	診療収益 A+B	339,433	343,689	398,049	385,142	398,049	385,142	385,142	113.5	113.5
	入院診療単価	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	新入院患者数/日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平均在院日数	100.0	99.9	100.0	116.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	外来診療単価	19,323	20,058	22,227	22,494	22,227	22,494	22,494	116.4	116.4
	紹介率	100.0	99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	外来平均患者数/日	71.7	70.5	74.0	70.5	74.0	70.5	70.5	98.3	98.3
	初診患者数/日	8.0	7.5	8.4	8.7	8.4	8.7	8.7	108.6	108.6
	救急患者数	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	救急入院患者数	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	救急入院患者数/新入院患者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	紹介数 (紹介患者加算)	1,956	1,823	2,021	2,106	2,021	2,106	2,106	107.7	107.7
	逆紹介数 (診療情報提供書)	2,686	2,452	2,668	2,777	2,668	2,777	2,777	103.4	103.4
	逆紹介率	137.3	134.4	132.0	131.8	132.0	131.8	131.8	96.0	96.0
	手術件数 (手術室利用)	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	医師1人1日当たり入院収益	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	医師1人1日当たり外来収益	173,180	128,578	182,759	158,495	182,759	158,495	158,495	91.5	91.5
	医師1人1日当たり診療収益	173,180	128,578	182,759	158,495	182,759	158,495	158,495	91.5	91.5
	医師1人1日当たり入院患者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人1日当たり外来患者数	9.0	6.4	8.2	7.0	8.2	7.0	7.0	78.6	78.6
	医師1人当たり新入院患者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり救急患者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり救急入院患者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり紹介数	244.5	165.7	224.6	210.6	224.6	210.6	210.6	86.1	86.1
	医師1人当たり逆紹介数	335.8	222.9	296.4	277.7	296.4	277.7	277.7	82.7	82.7
	医師1人当たり手術件数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 1 医師数は2022年4月1日現在 (研修医は含まれていない)

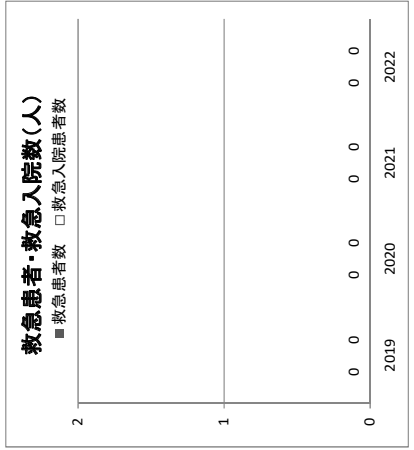
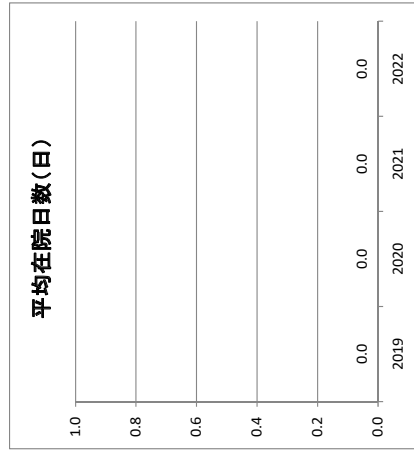
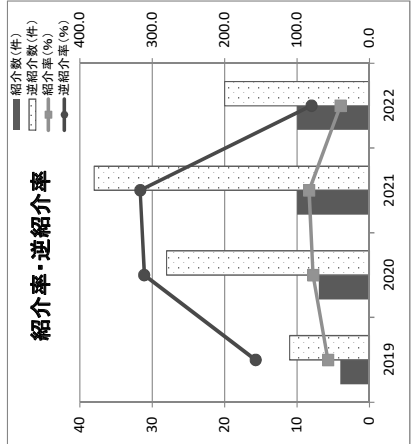
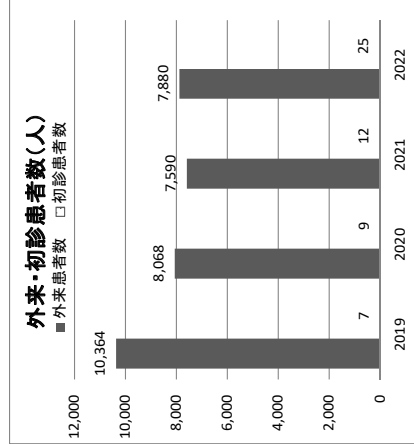
2 入院収益、外来収益はレプト請求額であり返戻、査定は考慮していない (室料差額等は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

リハビリテーション科



リハビリテーション科
臨床指標

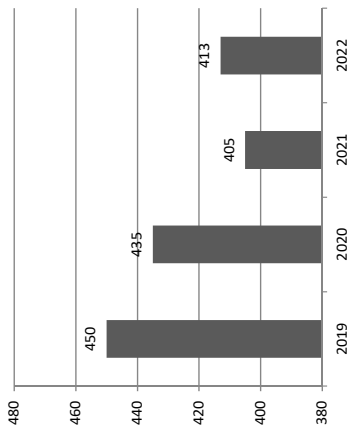


日数	区分				2019	2020	2021	2022	2022/2019
	入院診療日数	外来診療日数	医師数	人					
基礎指標	入院延患者数	人	0	0	0	0	0	0	0.0
	新入院患者数	人	0	0	0	0	0	0	0.0
	入院収益 A	千円	0	0	0	0	0	12	0.0
	外来患者数	人	10,364	8,068	7,590	7,880	76.0		
	初診患者数	人	7	9	12	25	357.1		
	外来収益 B	千円	107,733	107,356	88,235	92,784	86.1		
	診療収益 A+B	千円	107,733	107,356	88,235	92,795	86.1		
	入院診療単価	円	0	0	0	0	0.0		
	新入院患者数/日	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平均在院日数	日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	外来診療単価	円	10,395	13,306	11,625	11,775	113.3		
	紹介率	%	57.1	77.8	83.3	40.0	70.0		
	外来平均患者数/日	人	42.5	33.2	31.4	32.4	76.3		
	初診患者数/日	人	0.0	0.0	0.0	0.1	358.6		
	救急患者数	人	0	0	0	0	0.0		
	救急入院患者数	人	0	0	0	0	0.0		
	救急入院患者数/新入院患者数	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	紹介数(紹介患者加算)	人	4	7	10	10	250.0		
	逆紹介数(診療情報提供書)	人	11	28	38	20	181.8		
	逆紹介率	%	157.1	311.1	316.7	80.0	50.9		
	手術件数(手術室利用)	件	0	0	0	0	0.0		
	医師1人1日当たり入院収益	円	0	0	0	33	0.0		
	医師1人1日当たり外来収益	円	441,529	441,794	364,607	381,827	86.5		
	医師1人1日当たり診療収益	円	441,529	441,794	364,607	381,860	86.5		
	医師1人1日当たり入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	医師1人1日当たり外来患者数	人	42.5	33.2	31.4	32.4	76.3		
	医師1人当たり新入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	医師1人当たり救急患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	医師1人当たり救急入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	医師1人当たり紹介数	件	4.0	7.0	10.0	10.0	250.0		
	医師1人当たりの逆紹介数	件	11.0	28.0	38.0	20.0	181.8		
	医師1人当たり手術件数	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(注) 1 医師数は2022年4月1日現在(研修医は含まれていない)
 2 入院収益、外来収益はレポート請求額であり返戻、査定は考慮していない(室料差額等は含まれていない)
 3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

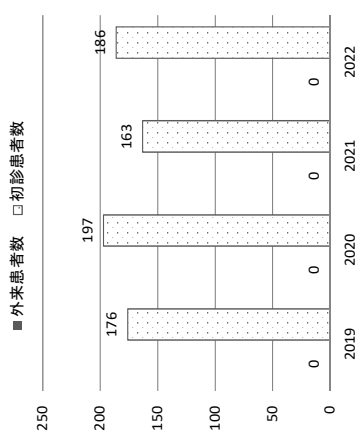
新生児科

新入院患者数(人)

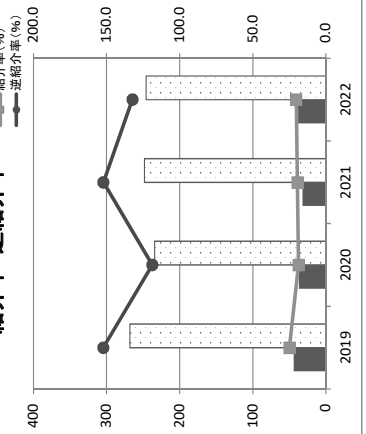


新生児科 臨床指標

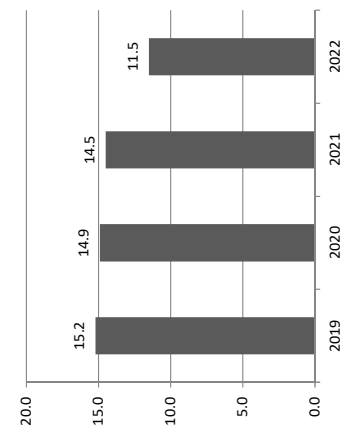
外来・初診患者数(人)



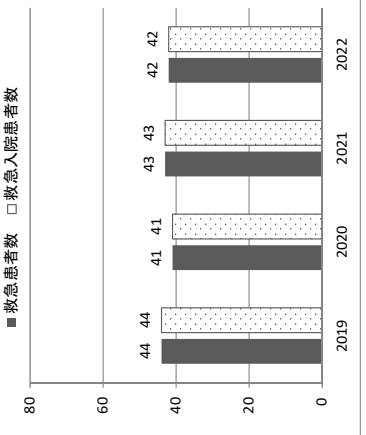
紹介率・逆紹介率



平均在院日数(日)



救急患者・救急入院患者数



区分	2019		2020		2021		2022		2022/2019	
	日数	日	日数	日	日数	日	日数	日	比率	比率
基礎指標	入院診療日数	366	365	365	365	365	365	365	0.0	0.0
	外来診療日数	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	医師数	3	3	3	3	3	3	3	100.0	100.0
	入院延患者数	7,270	6,885	6,308	5,189	6,308	5,189	71.4		
	新入院患者数	450	435	405	413	405	413	91.8		
	入院収益 A	515,539	629,700	529,700	474,785	529,700	474,785	92.1		
	外来患者数	0	0	0	0	0	0	0.0		
	初診患者数	176	197	163	186	163	186	105.7		
	外来収益 B	0	0	0	0	0	0	0.0		
	診療収益 A+B	515,539	629,700	529,700	474,785	529,700	474,785	92.1		
分析指標	入院診療単価	70,913	91,380	83,973	91,498	83,973	91,498	129.0		
	新入院患者数/日	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	92.0		
	平均在院日数	15.2	14.9	14.5	11.5	14.5	11.5	75.7		
	外来診療単価	0	0	0	0	0	0	0.0		
	紹介率	25.0	18.8	19.6	20.4	19.6	20.4	81.7		
	外来平均患者数/日	0	0	0	0	0	0	0.0		
	初診患者数/日	0	0	0	0	0	0	0.0		
	救急患者数	44	44	43	42	43	42	95.5		
	救急入院患者数	44	44	43	42	43	42	95.5		
	救急入院患者数/新入院患者数	9.8	9.4	10.6	10.2	10.6	10.2	104.0		
生産性指標	紹介数 (紹介患者加算)	44	37	32	38	32	38	86.4		
	逆紹介数 (診療情報提供書)	268	234	248	246	248	246	91.8		
	逆紹介率	152.3	118.8	152.1	132.3	152.1	132.3	86.9		
	手術件数 (手術室利用)	0	0	0	0	0	0	0.0		
	医師1人1日当りの入院収益	469,526	574,564	483,744	433,594	483,744	433,594	92.3		
	医師1人1日当りの外来収益	0	0	0	0	0	0	0.0		
	医師1人1日当りの診療収益	469,526	574,564	483,744	433,594	483,744	433,594	92.3		
	医師1人1日当りの入院患者数	6.6	6.3	5.8	4.7	5.8	4.7	71.6		
	医師1人1日当りの外来患者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	医師1人1日当りの新入院患者数	150.0	145.0	135.0	137.7	135.0	137.7	91.8		
医師1人1日当りの救急患者数	14.7	13.7	14.3	14.0	14.3	14.0	95.5			
医師1人1日当りの救急入院患者数	14.7	13.7	14.3	14.0	14.3	14.0	95.5			
医師1人1日当りの紹介数	14.7	12.3	10.7	12.7	10.7	12.7	86.4			
医師1人1日当りの逆紹介数	89.3	78.0	82.7	82.0	82.7	82.0	91.8			
医師1人1日当りの手術件数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

(注) 1 医師数は2022年4月1日現在 (研修医は含まれていない)
 2 入院収益、外来収益はレプト請求額であり戻戻、査定は考慮していない (室料差額等は含まれていない)
 3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している



診 療 局

●内科（2022年度）

1. 内科医局会の定期的開催

内科の中でも各診療科で専門性が高度に高まる昨今ですが、内科医としての最新の医学知識や知見をアップデートすることは極めて重要となっています。第1、3金曜日の月2回、内科医師、ローテート初期研修医、内科専攻医に出席していただき内科医局会を開催しています。各科のトピックや稀少症例を共有する場となっており、内科外来など共通の取り決め事が必要は事項の議論など、各内科の連携機会としても機能しています。

2. 2022年入院、外来の状況

各内科診療科の項で、入院・外来状況を御参照ください。

3. 2022年度の人材育成・確保・新専門医制度

2022年度、全内科では部長16名（昨年19名）、医長7名（昨年11名）、医員11名（昨年度10名）、専攻医5年次3名（昨年度10名）、専攻医4年次15名（昨年度9名）、専攻医3年次8名（昨年度9名）、総専攻医数26名（昨年度28名）でした。昨年度に比べて専攻医は微減に留まり、医員クラスが微増となっておりますが、指導医としての役割のある医長数は昨年より減少しています。地方病院での医師確保という課題はなかなか解消できていませんが、対策として医員クラスの医師が、ステップアップできるキャリアプランを具体的に提示していればと考えております。

●消化器内科（2022年）

スタッフでは千葉大学から肝臓専門医として派遣されていた丸田が退職となり、千葉大学より井上と小林が非常勤医として外来および血管造影・ラジオ波焼灼術など肝疾患治療を引き継ぎました。東大医局から榎奥が常勤として勤務を始めましたが、家庭の事情から7月からは再度外来のみの非常勤勤務に戻りました。また宮内が退職しましたが、外来は非常勤勤務医として継続となりました。

専門研修医では千葉大学医局から派遣の土屋、粒良が医局へと戻り、伊藤（4年次）が交代して派遣となりました。また東大医局からは長澤（3年次）が、当院初期臨床研修終了の重原（3年次）が専門研修を開始しました。

新型コロナウイルス感染症を受けて上下部内視鏡検査総数はほぼ横ばいですが、治療となる胃・大腸のESD件数は増加しています。スクリーニングにて発見される膵嚢胞の減少を受けてEUSは減少、肝臓癌については肝臓専門の常勤医不在を受けてRFA/MWAが減少する一方で化学療法は増加しております。

病棟業務では専門研修医が多忙となっていることを配慮して、初期臨床研修医の教育はスタッフにて行うこととしました。自身の受けもち患者と日常検査・処置に集中して診療ができるようになったと好評です。

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
GF	12,092	11,464	9,349	10,643	10,360
CF	5,790	5,729	5,079	5,681	5,569
CF-EMR	1,298	1,331	1,340	1,414	1,430
GF-ESD	134	160	171	124	153
CF-ESD	108	135	107	119	128
ERCP	1,126	1,231	1,240	1,126	1,280
EUS	664	585	543	522	430
EUS-FNA	66	55	55	79	58
TAE	80	54	67	43	29
RFA・MWA	38	31	47	73	34

●循環器内科（2022年度）

<スタッフ>（2022年4月1日現在）計21名

主任部長：神田順二、部長：櫛田俊一、宮地浩太郎、医長：早川直樹、井ノ口安紀

主任医員：荒川雅崇、平野智士、市原慎也、佐橋秀一、矢島琴音

専攻医：金上輝明（5年次）、高梨啓介（5年次）、山浦貴士（5年次）、長田遊貴（4年次）、久慈広樹（4年次）、永富駿平（4年次）、外田望（3年次）、速水康成（3年次）、本康宗佳（3年次）、山口雄己（3年次）、三輪宏美（3年次）

<人事異動>

2022年4月から当院で初期研修を終えた外田望、速水康成、本康宗佳、山口雄己の4名と東大病院で初期研修を終えた三輪宏美が循環器後期研修を開始した。三輪は当院と東大のたすき掛け研修のため、初期研修1年目は当院で過ごしている。5人全員が初期研修を優秀な成績で終了し、それぞれ高い目標を持って後期研修に励んでおり、今後の成長が楽しみである。

2023年3月には当院に38年間勤務し、2008年から循環器内科の主任部長であった神田順二が退職し、焼津市岡本石井病院の院長となった。旭中央病院循環器内科の黎明期から充実期を支え、当院を国内有数のカテーテル治療施設へと導いていただいた。

<診療の概要>

2022年度は医師数が21人と過去最高に増えたため、病棟患者管理は従来の3チーム制から4チーム制とし、チーム長は櫛田、宮地、早川、井ノ口の4名が務めている。常勤スタッフ、専攻医に加えてローテーションの初期研修医が4～5名配属となるため、各チーム医師数6～7名の体制で入院患者の診療にあたっている。また、当院は3次救命救急センター併設病院であるため、急性心筋梗塞や急性心不全などの緊急症例が多いので、数年来ICUチームを編成して、医師3～4名が救命救急センター病棟収容患者を中心に診療にあたっている。当科は毎日のカテーテル検査・治療はもちろんのこと、術前の心電図や心エコー図検査など他部門からの依頼検査も多数請け負わねばならないという性格上、日常の仕事量が多い。また、連日の救急患者に対応するため、1年365日循環器当直医制を敷き、当地域の循環器救急の大半を担っている。外来診療も連日の循環器専門再診外来にとどまらず、新患外来にも連日循環器専門医を配置しており、曜日を選ばず、近隣の病医院より紹介患者を受け入れられる体制を採用している。

<診療実績>

過去5年間の主要治療件数を表に示す。PCI件数は年間700件を超えることが常となってきた。EVT件数の増加は著しく2022年には486件と過去最高を記録し、国内外から多くの見学者が集まっている。

2019年より経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）が開始され順調に治療件数を伸ばしている。2021年6月には経皮的左心耳閉鎖術（WATCHMAN）、2022年2月から重症僧帽弁閉鎖不全症に対する経皮的僧帽弁接合不全修復術（MitraClip）を開始した。

治療名	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
PCI（冠動脈インターベンション）	674	781	735	712	729
上記の内急性冠症候群に対するPCI	270	280	234	235	266
EVT（末梢動脈インターベンション）	281	315	382	443	486
カテーテルアブレーション	163	173	259	255	276
ペースメーカー植込み術	121	105	163	133	162
ICD（植込み型除細動器）植込み術	19	16	27	24	23
CRT（心臓再同期療法）	20	22	19	27	15
TAVI（経カテーテル大動脈弁留置術）	—	12	42	50	55
WATCHMAN（経皮的左心耳閉鎖術）	—	—	—	12	21
MitraClip（経皮的僧帽弁接合不全修復術）	—	—	—	—	17

●血液内科（2022年度）

診療体制

2022年度の診療体制は、大野沙耶香が昨年に引き続いて留任となり、さらに桑名由希子が後期研修医として新たに赴任した。田中宏明(部長)、清水亮(医長)とあわせて血液内科常勤医4人体制となった。非常勤医師として高木敏之医師および千葉大から派遣された和泉医師、久保寺医師の2名と、当院輸血部部長の石井昭広医師にもお手伝い頂き、計7コマの血液内科外来診療も昨年同様に続けられていた。また2022年4月から国際医療福祉大血液内科准教授 大和田千佳子医師に来て頂いて、同種移植後症例を中心に隔週で外来診療を行って頂いている。

毎週月曜日に病棟カンファレンス、木曜日に中央検査科と合同で骨髄カンファレンスおよび隔週金曜日に同種移植カンファレンスを行っている。また不定期ではあったが病理・血液カンファレンスも継続できた。

2022年度の動向

ここ3年間の当院で診断された症例数は下記の通りである。各年1-12月のデータで、2022年は10月までのデータとなっている。他院で診断され加療目的に紹介された症例は含んでいない。

	2022(-10月)	2021	2020	2019
慢性骨髄増殖性腫瘍				
慢性骨髄性白血病	1	5	6	7
本態性血小板血症	7	7	4	9
真性多血症	2	3	3	1
原発性骨髄線維症	1	1	3	2
慢性骨髄単球性白血病	1	2	2	2
骨髄異形成症候群	18	16	17	28
急性骨髄性白血病	15	20	14	10
うち急性前骨髄球性白血病	1	2	3	3
急性リンパ性白血病	3	6	4	4
慢性リンパ性白血病	3	3	1	4
悪性リンパ腫				
びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	42	54	51	37
うち中枢神経原発びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	2	5	2	4
うち血管内大細胞型B細胞性リンパ腫	0	1	3	1
濾胞性リンパ腫	5	18	11	19
MALTリンパ腫	9	11	9	13
末梢性T細胞性リンパ腫・詳細不明	7	2	2	1
血管免疫芽球性T細胞性リンパ腫	2	2	1	2
ホジキンリンパ腫	3	1	1	2
多発性骨髄腫	14	16	16	17
再生不良性貧血	2	2	4	7
特発性血小板減少性紫斑病	4	5	10	16
自己免疫性溶血性貧血	1	1	1	1

移植件数に関して、各年1-12月までの件数を下記に示した。2021年8月に非血縁者間造血細胞移植施設に認定されたこともあり2022年は過去最高の移植件数となった。血縁者間末梢血幹細胞移植(R-PBSCT)のうち3例はHLA半合致移植である。

	auto-PBSCT	R-PBSCT	R-BMT	UR-PBSCT	UR-BMT	CBT
2022年	11件	6件	0件	2件	2件	2件
2021年	9件					
2020年	14件	3件	2件			
2019年	14件	3件	1件			
2018年	6件	1件				

auto:自家、R:血縁者間、UR：非血縁者間、PBSCT:末梢血幹細胞移植、BMT:骨髄移植、CBT：臍帯血移植

<移植後長期フォローアップ外来（LTFU 外来）の開設>

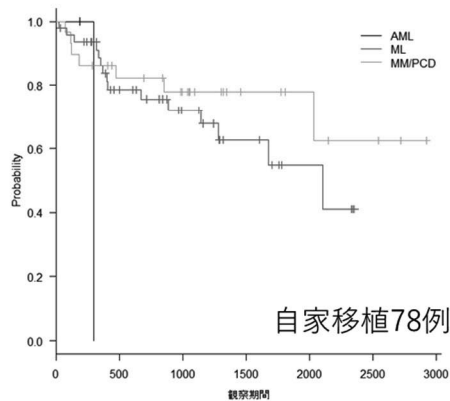
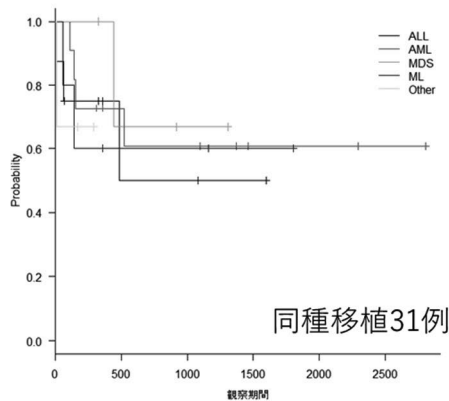
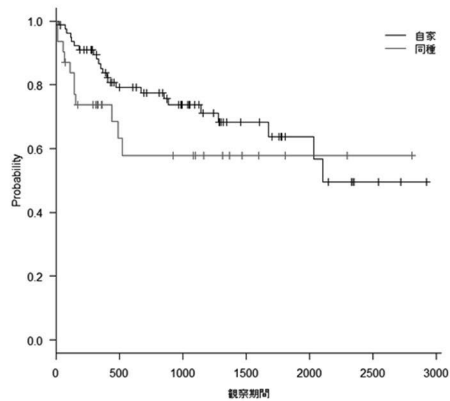
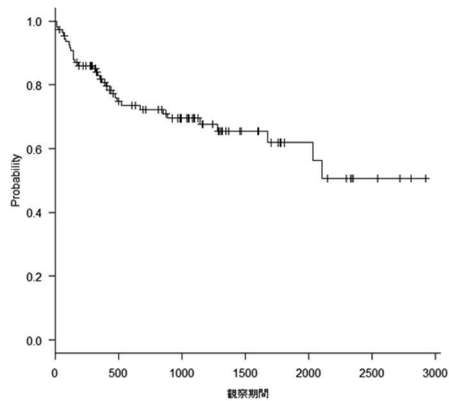
同種移植後症例の長期生存に伴い重要視されるようになったLTFU 外来を2021年12月から当院でも開設している。退院後の日常生活の状況把握、日常生活における感染予防・皮膚および口腔ケアなどの生活指導、2次がん予防を目的とした健診およびワクチン接種などを目的とした専門看護師を中心とした外来であり、認定看護師の誕生により、2023年3月から移植後患者指導管理料として加算もとれるようになっている。

<造血細胞移植コーディネーター（HCTC）の育成>

同種移植に伴う骨髄バンク、さい帯血バンクとの連携、血縁ドナーへの説明同意と必要検査や処置などの手配などを行うHCTC業務を11西病棟看護師2名に行っている。学会による認定HCTCとなるべく研修、講習会参加をして頂いており、造血幹細胞移植推進拠点病院事業として支援を頂きながら千葉大学病院造血細胞移植センターにて2022年9月から2023年2月まで週1回のHCTC認定研修も行った。

<当院における移植治療の成績>

非血縁者間移植認定施設として学会から求められているため、2014年1月1日から2022年12月31日まで当科で移植治療を行った計109例の治療成績を解析した。年齢中央値59(21-69)歳。男性/女性65/44人。急性骨髄性白血病(AML)13人、骨髄異形成症候群(MDS)4人、急性リンパ性白血病(ALL)8人、悪性リンパ腫(ML)52人、形質細胞性腫瘍(MM/PCD)29人、その他3人。自家移植78人、同種移植31人。自家移植はすべて末梢血幹細胞移植で、同種移植は、血縁者間末梢血幹細胞移植22人、血縁者間骨髄移植3人、非血縁者間末梢血幹細胞移植2人、非血縁者間骨髄移植2人、臍帯血移植2人。観察期間中央値813(11-2920)日。観察期間中の死亡34人。生存期間中央値は未到達(95%CI:1675-NA)、3年生存率は69.5%(95%CI:58.9-77.9)。同種移植31例では、3年生存率57.9%(95%CI:35.7-74.8)。自家移植78例では3年生存率73.7%(95%CI:61.2-82.7)。一人でも多くの移植症例の長期生存とQOL維持を目指して今後も研鑽に励みたい。



多施設共同研究として、日本成人白血病研究グループ(JALSG)の多施設共同研究に引き続き参加し、千葉大学血液内科とも連携していくつかの臨床研究を行っている。

学会発表としては、2022年度として日本血液学会学術総会に2題ずつ、日本血液学会関東甲信越地方会に1題報告し、英論文1本、和論文1本を報告した。

2023年4月以降は、大野医師、桑名医師が異動となり、代わりに千葉大血液内科から2名後期研修医が派遣されることになっている。血液学会研修認定病院として血液内科専攻医に充実した研修を送ってもらうことと共に、生え抜きの血液内科専門医を育成できるようにすること、また膨大な症例数を生かした多施設共同研究への積極的な参加や院内の臨床研究の立ち上げを引き続き進めていきたいと考えている。

移植診療に際しては、現在の暫定的な認定であるカテゴリー3の非血縁者間移植施設認定からカテゴリー1の認定を受けられるように準備を進めていく。また移植診療は多職種連携が不可欠であり、現在も放射線科、歯科口腔外科、看護師、薬剤師、リハビリテーション科などの様々な方々にご協力を頂いて移植治療を継続できている。この恵まれた状況を維持できるように今後も努力していければと考えている。

●腎臓内科（2022年）

1. 体制

スタッフは2017年3月まで腎透析科常勤5名、非常勤1名で診療にあたっていたが、2017年4月より腎透析科常勤3名、非常勤3名となった。しかし2018年4月より常勤1名が増え、常勤4名体制となった。さらに、2019年4月 - 後期研修医2名が増え、常勤6名、非常勤2名の体制となり、2021年も同様の体制であった。2022年は常勤5名、非常勤2名となっている。

看護単位は病棟と透析センターの2つよりなる。

2. 病棟部門

病棟は49床であるが、腎臓内科としては腎・透析関係および、一部一般内科の患者を受け入れている。2022年では、腎透析関係546名であった。(表1)

腎生検については79件で当科での最高件数であった。(表2) 後期研修医の減員などに伴い、透析関連の入院がそれ以前の20%ほど減員の状態で維持していたが、2019年より年間600名前後と元のレベルに戻った。しかし、コロナ下の2022年は550名と減少した。なお、入院患者、腎生検患者、年末透析患者、透析導入患者の推移を添付する。(表3-6)

3. 外来部門

(1) 腎臓内科外来

内科外来の一部として、常勤スタッフ5名と非常勤スタッフ2名にて、合計10コマの外来を担当している。

(2) 透析外来

2つの透析センターにて、血液透析および腹膜透析の患者を管理している。また、血漿交換や白血球除去療法などの特殊血液浄化も施行している。なお、2019年6月より夜間透析を第一透析センター(4F)から第二透析センター(6F)に移動させた。また、透析センターの項も参照。

4. 診療のトピック

腎臓病については、HIF-PH 阻害剤の外来患者への使用が軌道に乗ったことなどのほかは診療内容としては新しいものはなかった。コロナ下入院患者は減少したが腎生検の件数は増加した。

透析患者の管理については、2020年度にはすべての透析装置の入れ替えが完了し、Online-HDF と Intermittent-HDF が本格的に稼働している。また、近年多発している COVID - 19 感染について、2021年度には検査体制を確立するとともに、陽性者用の透析ベッドを確保し、感染症科と連携して入院または外来通院加療のシステムを構築した。

なお2022年には、新規の透析患者さんの治験は0件であった。また腎透析関連の学会発表8件、投稿1件あったが、大学教授などによる講演会はコロナ感染症の蔓延により Web 開催のみ数件と低調であった。

(表 1)2022/1/1-12/31 腎臓内科 入院患者 内訳

腎・透析科	556
慢性腎不全(合併症の精査加療含む)	72
慢性腎不全(透析導入)	73
腎炎/ネフローゼ症候群	71
急性腎不全	31
尿路感染症	4
水/電解質異常	35
その他	6
透析患者	254
透析関連合併症	38
CAPD 関連	3
ブラッドアクセス関連	112
併発合併症	101
循環器	2
消化器	8
呼吸器	10
神経	8
感染症	60 (うち COVID-19 関連 38)
その他	13
一般内科	10

(表 2)腎生検 (2022/1/1-12/31)

MGA	13 名
FSGS	2 名
MN	2 名
IgA 腎症	24 名
MPGN	4 名
その他の糸球体腎炎	1 名
Cres GN/血管炎	7 名
紫斑病性腎炎	2 名
SLE	3 名
DM	6 名
動脈硬化	3 名
尿細管/間質障害	8 名
アミロイドーシス/骨髄腫腎	3 名
その他	1 名
計	79 名

〈診療実績〉 2022/1/1~12/31

入院患者(表 3)

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
腎疾患	304	287	295	281	276	266	333	357	322	322	292
透析関連	293	234	224	255	229	197	207	277	307	345	254
その他	27	62	73	71	62	18	4	0	0	9	10
計	624	583	592	607	567	481	544	634	629	676	556

腎生検数(表 4)

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
件数	55	48	49	54	72	49	75	77	55	74	79

年末透析患者数(表 5)

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
年末 HD	422	402	423	409	405	390	392	391	404	396	378
年末 CAPD	19	17	16	14	10	10	10	8	6	4	4
計	441	419	439	423	415	400	402	399	410	400	382

透析導入患者数(表 6)

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
件数	89	88	130	97	90	107	108	108	128	117	103

●呼吸器内科（2022年度）

2022年度の概要

常勤医は4月に交代があり、池田/伊地知/本田/齊藤の4人となった。非常勤は内田（昭和大学）、川崎（千葉大学）、津島（国際医療福祉大学）の応援は変わりなく、外来ならびに気管支鏡体制を維持することができた。10月より昭和大学より望月が赴任され、5人体制となった（敬称略）。

この年もやはりCOVID-19に振り回された1年であった。第7波（4月～9月）及び第8波（10月～2月）の入院例は202例であった。2023年7月現在5類へ移行し、表面的には落ち着いている様だが、散発的にクラスターはやはり発生している。第9波が心配である。

新規肺癌例数は347例で昨年度とほぼ同じであった。肺癌の内科的薬物療法は新規遺伝子変異に対応した分子標的薬が年々開発され、また免疫療法も含めた肺癌術前・術後の薬物療法が現在のトピックスである。当院では臨床病理科のご協力により9月より院内で遺伝子検査（コンパニオン診断；Amoy）が可能となり、結果を得るのに数日という短縮ができたことは臨床現場にとってはありがたいことであった。肺炎例は相変わらず多く、ほとんどが医療介護関連肺炎であることに変わりはない。COPDと喘息治療はICS/LABA/LAMAの併用

が主役になり、喘息ではさらに生物学的製剤が重症喘息で使用例が増えてきている。間質性肺炎では先述の分子標的薬や免疫療法に伴う薬剤性肺炎が年々増えてきている様である。結核は東南アジアからの在留者の発生例が徐々に増えてきている印象があり、日本ではあまり見なくなっていた喉頭結核や肋骨周囲膿瘍などの例が散見される。非結核性抗酸菌症はやはり増えていると思われ、特効薬の開発が待ち望まれるところである。最後に当科の課題は相変わらず常勤医の確保である。

統計

<新規症例数>

1 原発性肺癌新規症例数：	347例（外科も含む）
2 縦隔腫瘍：	12例（外科も含む）
3 悪性胸膜中皮腫：	3例
4 肺抗酸菌症	
肺結核症：	15例（感染症内科も含む）
非結核性抗酸菌症：	19例
5 肺炎（主）：	341例（呼吸器内科入院例のみ）
6 COVID-19肺炎：	204例（感染症内科他も含む）
7 間質性肺炎（主）：	57例

●糖尿病代謝内科（2022年度）

診療科の活動

2022年度は部長:荻野 淳、医長:竹村浩至、主任医師:木下大輔、は変更なく、糖尿病外来は常勤3.5枠、非常勤2.5枠（非常勤医師は3名）、内分泌外来は非常勤1枠（医師数2名）であった。内分泌外来は横尾英孝医師が2022年4月から鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 医歯学教育開発センター 教授に就任されたため、千葉大附属病院より非常勤で高崎敦史医師が担当している。

当院は日本糖尿病学会 認定教育施設Iに加え、2022年4月より日本内分泌学会 認定教育施設として認定された。内分泌疾患についても幅広く対応できる体制の構築を目指している。

当院では、例年4000名以上の通院糖尿病患者に対して、内科を中心とする他科医師にもご協力頂き対応している。2022年度もCOVID-19感染拡大が続いたが、当院全体の糖尿病通院患者数および当科の通院患者数は2021年度を上回った。また、当院全体でも当科全体でも平均HbA1cが8.0%を下回る改善が得られた。千葉県内の他地域に比べ香取海匠地域は糖尿病患者数や潜在的な耐糖能障害者数が多く、血糖管理が芳しくないとこれまで言われてきたが、平均HbA1cの低下は今後に向けての明るい見通し・兆しである。

旭市、千葉大学医学部附属病院、ノボノルディスクファーマ株式会社による旭市における2型糖尿病患者の発症抑制および重症化予防研究など糖尿病対策に関する包括連携協定は2年目を迎えた。当科では橋本尚武医師（予防医学研究センター長）と共に、旭市でのCCD(Cities Changing Diabetes)プログラム（糖尿病予防介入プログラム）に関わっており、新たに発足した旭市糖尿病対策連絡会で旭市役所、旭匠瑳医師会、旭市歯科医師会、旭匠瑳薬剤師会、海匠健康福祉センター、千葉大附属病院と定期的に会議を開催している。

引き続いての取り組みとして、1. 糖尿病腎症予防プログラムへの取り組み：糖尿病透析予防指導（90件）、糖尿病栄養指導（757件）の推進、2. 院内多職種の糖尿病サポートチーム（10職種・約40名）との協働にて、(1)当院通院中の糖尿病患者の糖尿病改善、(2)当院医療職への糖尿病教育活動、(3)当院周辺地域の糖尿病状態の改善、等が挙げられる。

(1)においてはCOVID-19感染防止策を講じ、1型糖尿病患者の会（すずの会）を対面で3年ぶりに開催することができた。一方、病院祭での活動は再開できなかった。多職種による糖尿病教室は外来患者に限定し、感染防止策を講じて継続している。

(2)においては看護学校での代謝・内分泌分野の系統講義や各医療職種の日本糖尿病療法指導士(CDE-J)・千葉県糖尿病療養指導士(CDE-Chiba)の資格取得支援継続（有資格者それぞれ20名・13名）などをほぼ例年通り行ったが、院内向けレクチャーは1回に留まった。一方で糖尿病看護認定看護師に1名が合格した。中心的な活躍が今後期待される。

(3)においては世界糖尿病デーへの参画活動となるブルーライトアップ（当院標識や旭市商工会議所、飯岡刑部岬展望館）を実施し、旭市からの要請でおひさまテラスでの啓発活動（講演、血糖測定ブース運営）を行った。周辺市町村の各種祭りでの活動は2022年度も全て中止であったが、コロナ禍で途絶えていた当地域周辺で糖尿病に関心を持つコメディカルの会（さくら会）の活動を徐々に再開し、2023年3月には1型糖尿病で元プロ野球選手の岩田稔さんの特別講演を対面で開催することができた。

COVID-19流行状況次第となるが、引き続き糖尿病サポートチームメンバーはじめ内外の方々と協力して、一つ一つの活動に取り組んでいきたい。

診療実績

【2022年度診療概要】

- ・糖尿病専門外来[常勤3.5枠、非常勤2.5枠] 1893例
内、薬物療法中の糖尿病 1214例、平均HbA1c 7.9%
(同；当院外来全体 4941例、平均HbA1c 7.1%)
内、妊娠糖尿病 103例
内、新患 454例（外来339例、入院115例）
- ・内分泌外来[非常勤1枠] 298例
- ・入院患者血糖管理 298例
- ・外来1型糖尿病 291例[内、インスリンポンプ27例]
(当院外来全体)

●神経内科(2022年)

<スタッフ>(2023年4月1日現在) 計3名

部長：小林誠

医長：鈴木陽一

医員：吉清水安芸

<診療体制>

2023年度の診療体制は、鈴木陽一が残留し、新たに吉清水安芸が後期研修医として着任し3人体制の増員となった。外来は非常勤医師として千葉大からの3名の派遣で週5日の勤務体制を継続している。

<診療の概要>

外来診療ではパーキンソン関連疾患をはじめとする変性疾患(パーキンソン病、進行性核上性麻痺、多系統萎縮症、大脳皮質基底核変性症、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、原発性側索硬化症、家族性痙性対麻痺など)、神経免疫疾患(重症筋無力症、ランバート・イートン症候群、多発性硬化症、視神経脊髄炎、慢性炎症性脱髄性多発神経炎など)、機能的疾患(てんかん、ジストニア、頭痛、本態性振戦など)、認知症(アルツハイマー型認知症、レヴィー小体型認知症、前頭側頭型認知症、血管性認知症など)といった神経難病から日常に支障が出る身近な疾患まで脳神経内科領域の疾患を幅広く診療しており、1年間の初診患者は360件に上った。

今年度のトピックは、パーキンソン病に対するデバイス治療のL-DOPA持続静注療法が7月に販売されるようになり、Wearing-off症状でQOLの低下しているパーキンソン病患者の治療選択肢が増えた。高齢化社会のため今後もパーキンソン病患者は増加すると考えられ、デバイス治療でも新たな治療戦略が期待されている。

<診療実績>

2022年度の入院患者内訳を以下に示す。入院疾患の大多数は虚血性脳血管障害だが、脳炎や重症筋無力症、ギラン・バレー症候群といった神経免疫性疾患なども時々入院しており、近年では新たに抗体が認知されるようになった抗GFAPアストロサイトパチーや、ブトリシラン治療により認知されるようになった非集積地家族性アミロイドポリニューロパチーなど診断・治療を要する疾患は多彩だった。

疾患名		件数
脳血管障害	脳梗塞	84
	一過性脳虚血発作(TIA)	4
	その他(PRES等)	1
変性疾患	パーキンソン病関連疾患	7
	筋萎縮性側索硬化症	3
自己免疫性疾患	辺縁系脳炎	1
	重症筋無力症	1
	ギラン・バレー症候群	1
	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	3
	脊髄炎	3
感染性疾患	脳炎・髄膜炎等	5
遺伝性疾患	家族性アミロイドポリニューロパチー	1
機能的疾患	てんかん	21
	めまい	2
	心因性昏迷	1
その他		70
合計		208

●総合診療内科（2022年度）

施設認定：日本病院総合診療医学会認定施設

部長：塩尻俊明

医長：染小英弘 宮本翔平

専攻医：榎本雅之 和泉貴生 藤本可子

当科は、2010年から入院患者受け入れを開始した比較的新しい診療科であり、入院対象患者は、虚血性脳血管障害、尿路感染症、敗血症・菌血症、肺炎、糖尿病、電解質異常、膿瘍、てんかん、不明熱、皮膚・軟部組織感染症、ウイルス感染症、椎体炎、偽痛風、慢性閉塞性肺疾患、副腎不全、低体温症、リウマチ性多発筋痛症、間質性肺炎など多岐に及んでいる。

救急外来からの患者受け入れ基本コンセプトは、上記疾患群に加えて、いくつかの専門科にまたがる複数の疾患をもつ患者、どこの専門内科に属するのが不明の患者、主病名が内科以外の他科であるが、内科合併症や全身状態が不良のため内科管理が必要な患者、また、集中治療が必要な重篤疾患を抱えているが、緩和的加療が中心となる超高齢者、内科専門科に属せない複合的問題を抱えている患者や社会的複雑な背景を持った患者など24時間体制で受け入れている。

入院患者は、8階西病棟を中心に50床から60床体制で受け入れている。過去5年間の入院患者数は、2018年度1,084名、2019年度1,056名、2020年度1,012名、2021年度902名、2022年度870名となっている。入院患者の担当は、2チーム体制で、それぞれスタ

ッフをチームリーダーとし、担当医は初期研修医に任せている。午前にはほぼ毎日部長回診を行い、昼にケースカンファレンス、夕方にはチームリーダーによるチャートラウンドが行われている。

外来診療においては、火曜日、木曜日の午前、週2回総合診療内科の初診外来を開設している。特に、木曜日は新専門医制度の外来研修が必須されていることもあり、シニアレジデントの教育を兼ねた外来としている。シニアレジデントがまず診察した上で、スタッフと議論し方針を決定する屋根瓦方式をとっている。外来では、通常の一般内科の業務に加えて、他の医療機関や院内において診断困難症例の診療を受け入れている。

また、当科は初期研修医の教育的機能も担っている。ベッドサイドを中心に問診、身体所見など基本的診療技能を主に教育項目としている。週2回はケースカンファレンスを研修医向けに開き、臨床推論の方法論についての教育も行なっている。また、週1回は、身体診察の勉強会を開催している。対外的には、医学生向けの臨床推論を学ぶためのカンファレンスを毎年定期的に企画している。

●アレルギー・膠原病内科（2022年度）

1年間のまとめ（2022年4月～2023年3月）

診療体制

部長：加々美新一郎

部長心得：松浦功

医長：中村隆之、杉山隆広

後期研修医：長谷部圭亮、井上優子、小沢一世、喜屋武慶尚

学会認定施設等

日本リウマチ学会教育施設、日本リウマチ学会専門研修認定施設（基幹病院）

日本アレルギー学会 アレルギー専門医教育研修施設

（千葉県アレルギー疾患地域基幹病院：アレルギー膠原病内科、小児科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科）

スタッフの異動

千葉大学アレルギー膠原病内科から杉山隆広、東京女子医大八千代医療センターから松浦功が入職した。一方で策愛子が国際医療福祉大学成田病院に異動した。後期研修医として東京大学アレルギーリウマチ内科から喜屋武慶尚が入職し、鷺澤恭平が昭和大学リウマチ・膠原病内科、菊地諒が千葉市立青葉病院にそれぞれ異動した。一部の外来は千葉大学、国際医療福祉大学からの派遣にて対応した。

診療におけるトピックス

生物学的製剤の適応症例の拡大により投与症例の増加が目立つ。特に ANCA 関連血管炎においてはリツキシマブを寛解導入に用いることによりステロイド剤の速やかな減量効果が示されていることからステロイド剤による副作用に軽減や入院期間の短縮に寄与している。

また全身性エリテマトーデスに対するベリムマブ、アニフロルマブが投与可能となったことからステロイド剤のさらなる減量が可能となることが報告されており、ステロイド剤フリーを視野に入れた治療の可能性が示唆された。

入院診療

総退院数、平均在院日数は下記表1に示す。

過去2年間と比較して若干入院症例数が減少となった。平均在院日数に関しても前年と比し延長となった。

入院症例に関しては例年通り関節リウマチ関連の入院が多く、全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎、ANCA 関連血管炎などの典型的な症例に加え、複雑な病態の症例や高齢発症による ADL の低下への対応を必要とした症例も散見された。

（表1）

	2020年度	2021年度	2022年度
総退院数	310人	327人	292人
平均在院日数	24.7日	22.7日	23.2日

外来診療

外来通院患者数は表2に示すようにリウマチ膠原病については増加傾向となっている。喘息・アレルギーについては一部の外来が閉鎖したため減少となった。

新患者数は減少傾向となっているが人口減少による可能もあり、今後注視したい。

(表2) *各年度11月における1年以内の外来予約のある患者数

通院患者数	2020年度	2021年度	2022年度
リウマチ膠原病	2,746人	2,954人	3,030人
喘息・アレルギー	675人	644人	211人

(表3) *院外・院内からの紹介症例

	2020年度	2021年度	2022年度
新患者数	549人	493人	465人

(表4)

	2020年度	2021年度	2022年度
関節超音波件数	630件	823件	788件

学術活動

日本リウマチ学会総会・学術集会：ワークショップ座長（加々美）

日本アレルギー学会学術大会：1演題

日本内科学会関東地方会：4演題

千葉県膠原病セミナー：1演題

日本リウマチ学会関東支部学術集会：2演題

治験

国立研究開発法人日本医療研究開発機構難治性疾患実用化研究事業

「本邦のシュニツラー症候群患者の急性期炎症所見に対するカナキヌマブを用いた多施設医師主導治験」1件

企業治験

関節リウマチ1件、遺伝性血管浮腫（希少疾患）1件

●化学療法センター（2022年度）

当センターは外来通院で、がん薬物療法、膠原病疾患、炎症性腸疾患の治療患者を受け入れていきます。年間患者数は年々増加しており、2022年度は合計13,026件で、2021年度より677件の増加でした。内訳は表1に、月推移は表2に示します。免疫チェックポイント阻害薬が、従来の抗腫瘍性薬剤や分子標的薬剤との組み合わせによる適応拡大によって、よりレジメンが複雑化・長時間になっています。併用療法レジメンの増加から1患者のベッド占有時間が長くなり、ベッドの回転が悪くなり待ち時間にも影響が及ぶと見えています。待ち時間は50%は30分以内、80%は1時間以内ですが、前年度よりもやや延長しており、業務の見直しを繰り返しています。

レジメン・プロトコル委員会の新規レジメンは22で、新規承認薬剤は7種類でした（表3）。

表1. 内訳

利用診療科		件数
内科	消化器	2,885
	血液	2,376
	呼吸器	1,975
	アレルギー-膠原病	1,790
外科（乳腺外科含む）		2,325
泌尿器科		1,037
婦人科		307
耳鼻科		224
脳外科		32
皮膚科		66
小児科		6
歯口科		3

表2. 月推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アレルギー-膠原病内科	149	141	137	147	153	152	139	147	157	149	141	178	1,790
呼吸器内科	134	118	136	120	144	182	191	213	214	168	163	192	1,975
消化器内科	258	225	256	217	252	221	235	246	234	248	227	266	2,885
血液内科	182	183	205	203	198	213	202	195	212	188	184	211	2,376
外科	225	217	206	182	199	186	192	193	180	178	180	187	2,325
婦人科	29	28	25	26	27	17	27	30	18	28	25	27	307
泌尿器科	81	80	95	88	98	90	85	79	77	88	89	87	1,037
小児科	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	6
耳鼻科	11	12	11	10	22	17	12	19	20	25	30	35	224
皮膚科	4	7	7	8	11	6	3	4	2	5	5	4	66
脳外科	0	2	3	1	2	1	2	3	2	6	6	4	32
歯口科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
													件
2022年の件数・月合計/日平均	1,073/54	1,014/53	1,081/49	1,003/50	1,106/50	1,086/54	1,089/54	1,129/56	1,117/56	1,083/57	1,051/55	1,194/54	13,026
2021年の件数・月合計/日平均	1,069/51	925/51	1,060/48	999/50	1,042/50	1,059/53	981/47	999/50	1,024/51	1,049/55	998/55	1,234/56	
2020年の件数・月合計/日平均	948/45	833/46	911/41	952/45	966/48	969/48	1,045/48	938/49	932/47	942/50	878/49	1,110/48	

表3. 新規の登録レジメンと採用薬剤

	レジメン	採用薬剤
4月	血液内科・ベスポンサ療法 泌尿器科・ニボルマブ療法（尿路上皮癌） 全科共通・アドリアシン療法（軟部肉腫）	ベスポンサ・ ラパリムス錠
5月	全科共通・ハラヴェン療法（肉腫）	
6月	呼吸器内科・アテゾリズマブ術後免疫療法	ルマケラス錠
7月	血液内科・CA/CY/TBI療法 消化器内科・FP療法、NIVO+FP療法、ニボルマブ・イピリムマブ療法（食道がん） 婦人科・TIP療法	
8月	呼吸器内科・イピリムマブ+ニボルマブ療法（悪性胸膜中皮腫）、ペメトレキセド・ カルボプラチン・アテゾリズマブ療法（導入/維持） 耳鼻科・weeklyCDDP+RT療法	
9月	血液内科・PolaR-CHP療法	ヴァンフリタ錠・ ジェセリ錠・ ハイヤスタ錠
10月	婦人科・TC+ペムブロリズマブ療法（導入/維持）、TC+Bev+ペムブロリズマブ療法 （導入/維持） 泌尿器科・ペムブロリズマブ術後補助療法（腎がん） 皮膚科・アベルマブ療法（メルケル細胞がん） 血液内科・FluCYATG療法	
1月	婦人科・TP療法±Bev（子宮頸がん） 消化器内科・デュルバルマブ単剤療法（切除不能肝細胞がん）、デュルバルマブ+GC療法 （胆管がん・胆のうがん）	
3月		イジユド

●透析センター（2022年）

2022年12月末現在の当院における透析患者数は382名(HD 378名、PD 4名(HD併用を含む))であった。2021年末が400名(HD 396名、CAPD 4名)であったことより、全体で18名の減少(-4.5%)であり、透析療法別にみるとHDは18名の減少(-4.55%)であるのに対して、CAPDは減少がみられなかった(+0%)。2022年における新規透析導入患者は103名(2020年は117名)で減少しているが(-12.0%)、ここ10年間をみるとそれほど大きな変動はない。死亡者数は58名(2020年は63名)であり、昨年と比較して5名減少している(-7.9%)。年末患者数の減少は、新規導入患者数の減少だけでなく、患者の高齢化やADL低下による通院困難の影響が大きいと思われる。

当院では、慢性透析療法(HD、CAPD)以外に、急性血液浄化療法や特殊治療も行っている。腹膜透析単独を除いた慢性・急性血液浄化療案件数は2022年の一年間で57,636件(2021年58,543件)にのぼった。浄化療法別では、一昨年の血液浄化機器の新規機器への更新に伴い、血液浄化療法のモダリティが変化したことが挙げられる。(間欠的)血液透析(リクセル併用を含む)の件数が減り(オンライン)血液(透析)濾過が著明に増加した。2022年では、(間欠的)血液透析(リクセル併用を含む)と(オンライン)血液(透析)濾過および間欠補充型血液透析(濾過)の合計が57,448件であり、これらで全体の99.7%を占めていた。その他として、直接血液灌流、(二重濾過)血漿交換、血漿吸着、白血球除去なども行われた。外科的治療や血管内治療に難渋する重症下肢虚血に対するLDL吸着(レオカーナ)は2021年から施行されており、2021年は34件、2022年は58件行われている。患者の高齢化にともない対象患者の増加が想定される。

慢性血液透析患者では、十分な透析療法を行うために良好な血流を確保できる血管アクセスが必要であり、血管アクセスを確保するためにアクセス造設術あるいは修復術を行う必要がある。2022年における当院での血管アクセス関連手術であるが全体で190件であり、2021年(237件)と比較して47件(-19.8%)減少した。内訳は内シャント117件(61.6%)、人工血管内シャント7件(3.7%)、動脈表在化42件(28.4%)、その他(血栓除去術、血管瘤切除術、静脈結紮術等)12件(6.3%)であった。当院の特徴として動脈表在化の割合が高いが、他院よりアクセス造設困難で紹介される症例は血管が荒廃している場合が多く、また、心機能を含め全身状態不良のために紹介される症例も少なくないという理由によるものと思われる。一方、狭窄したアクセスの修復等に関しては、20年ほど前より経皮的血管拡張術(PTA)を行っているが、2022年におけるPTA件数は172件と2021年(263件)と比較して91件減少(-34.6%)している。特に超音波ガイド下でのPTAが大きく減少(121件→41件)しており、コロナの影響による透析フロアーの使用制限および他院からの受け入れ制限がPTA件数減少の原因と思われる。透析医療の特殊性から、コロナの影響は少なからず残るものと思われるが、患者の安全を配慮しつつ対応していきたい。

シャントPTA件数 2022年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
アンギオ室	3	7	8	9	4	10	14	16	13	14	13	20	131
エコーガイド	11	1	5	5	7	7	4	0	0	0	1	0	41
合計	14	8	13	14	11	17	18	16	13	14	14	20	172

他院からの紹介	1	4	1	4	2	7	6	3	0	7	5	5	45
長期留置カテーテル	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3

アクセス手術件数 2022年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内シャント	11	8	10	10	12	15	6	6	9	8	10	12	117
グラフト内シャント	1	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	0	7
動脈表在化	3	7	4	7	6	8	5	1	5	3	1	4	54
血栓除去術	0	0	1	0	0	5	0	0	0	1	1	1	9
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	3
合計	15	15	15	17	18	28	12	9	18	13	12	18	190

●外科（2022年度）

1. 体制

外科常勤医は21名（スタッフ13名、専攻医8名）、非常勤医3名である。甲状腺外科は、日本医科大学より杉谷巖教授を非常勤医として招聘している。

2. 診療

2022年度の手術件数は1746件（中央手術室集計）で、昨年度と大きな変化はない。

胃、直腸領域でロボット手術件数が大幅に増加している。

2022年11月にHCU4床を開設した。これにより術後患者をより早期に回復させ、早期退院に向けた術後管理を行っている。

3. チーム医療

理学療法士、薬剤師、栄養士、臨床検査技師など多職種によるチーム医療によって、術後合併症の低減と在院日数の短縮が図られている。

4. 地域連携

ソーシャルワーカーを中心に診療支援室や連携室の積極的な活動と、地域の医療施設・福祉施設のご協力とご理解により、紹介・逆紹介の件数が増加している。

I：外科手術件数（2022.1月～2022.12月）

	2021年（内視鏡手術）	2022年（内視鏡手術）
合計	1,739件	1,746件
頸部	27	39
肺	127 (58)	130 (52)
縦隔	5	6
乳房	173	185
血管	115	84
消化器	1,031 (405)	1,000 (453)
食道	12 (0)	12 (0)
胃	122 (33ロボット16)	120 (40ロボット31)
十二指腸	12 (0)	7 (0)
小腸	88 (13)	70 (14)
虫垂	107 (30)	97 (37)
結腸	193 (64)	198 (70)
直腸	91 (44ロボット1)	96 (59ロボット17)
肛門	25	38
腸閉塞	65	43
肝	35	44 (9)
胆道	249 (221)	244 (224)
膵	31	28
脾	1	2
ヘルニア	215	228
外傷	9	6
再手術	31	19
その他	85	83

Ⅱ：予定手術における術後合併症

1) 消化器

食道 C-D 分類Ⅲa:2、C-D 分類Ⅲb:1、C-D 分類Ⅳa,Ⅳb,V:0

胃 C-D 分類Ⅲa:4、C-D 分類Ⅲb:1、C-D 分類Ⅳa:0、C-D 分類Ⅳb,V:1

結腸 C-D 分類Ⅲa:5、C-D 分類Ⅲb:2、C-D 分類Ⅳa:0、C-D 分類Ⅳb,V:1

直腸 C-D 分類Ⅲa:6、C-D 分類Ⅲb:5、C-D 分類Ⅳa,Ⅳb,V:0

肝 C-D 分類Ⅲa:2、C-D 分類Ⅲb:1、C-D 分類Ⅳa:0、C-D 分類Ⅳb,V:1

胆道 C-D 分類Ⅲa:1、C-D 分類Ⅲb,Ⅳa,Ⅳb,V:0

膵 C-D 分類Ⅲa:6、C-D 分類Ⅲb:1,Ⅳa,Ⅳb,V:0

・消化器外科全体

手術関連死 3 (0.3%)

術死 2

在院死 1

2) 呼吸器

C-D 分類Ⅲa:4、C-D 分類Ⅲb:0、C-D 分類Ⅳa,Ⅳb,V:0

3) 乳腺

C-D 分類Ⅲa:4、C-D 分類Ⅲb:2、C-D 分類Ⅳa,Ⅳb,V:0

4) 血管

腹部大動脈瘤 (非破裂) 25 例 術死 0

腹部大動脈瘤 (破裂) 4 例 術死 0

EVAR 17 例 術死 0 ASO 8 例 術死 0 下肢静脈瘤 14 例

Ⅲ：外科全体 (予定・緊急) における術死及び手術関連死総数

11 (0.6%)

術死 5 (予定 2、緊急 3)

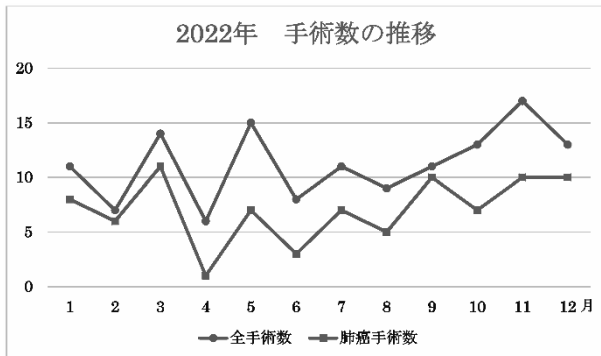
在院死 6 (予定 1、緊急 5)

●呼吸器外科 (2022年)

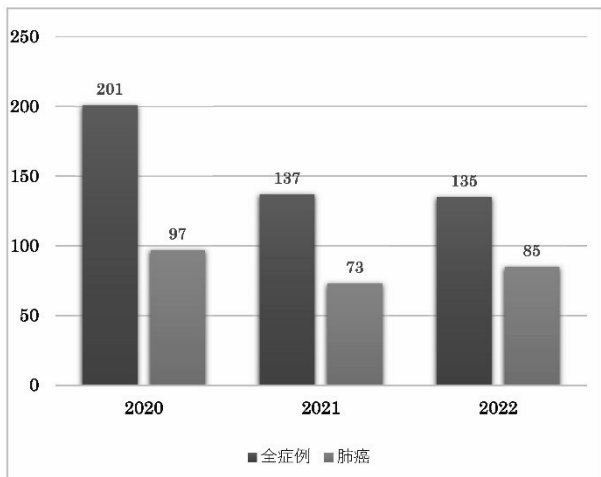
●診療体制

2022年1月から12月 桑野秀規・小林公彦

●手術数の推移



●3年間の手術件数の推移



●手術症例数

疾患名	症例数	
	2022年	2021年
原発性肺癌	85	73
嚢胞性肺疾患 (含: 気胸)	19	24
転移性肺腫瘍	13	10
縦隔腫瘍	6	3
膿胸	5	6
縦隔炎	1	3
炎症性肺疾患	0	3
良性肺腫瘍	0	3
胸膜・心膜腫瘍	2	0
胸壁腫瘍	0	1
胸部外傷	1	1
その他の疾患	3	10
合計	135	137

●合併症

合併症名	2022年	2021年
遷延性肺癆・遅発性肺癆	7	4
肺炎	3	6
肺捻転	0	0
ARDS	0	0
気管支断端瘻	1	0
肺血栓塞栓症	1	0
術後48時間以上の人工呼吸器	0	1
再挿管	0	0
気管切開 (ミニトラック挿入を含む)	1	0
治療を要する上室性不整脈	0	1
治療を要する心室性不整脈	0	1
心筋梗塞	0	0
再手術を要する出血	0	1
尿路感染	2	1
膿胸・縦隔炎	1	1
創感染	2	2
敗血症	1	1
新たな中枢神経障害 (TIA・脳梗塞)	0	0
反回神経麻痺	1	0
その他の神経合併症	1	0
治療を要する腎不全・術前の2倍以上のCr値上昇	0	0
ドレーナージ・内科治療を要する乳び胸	1	0
外科治療を要する乳び胸	0	0
せん妄	3	1

●手術死亡

	2022年	2021年
定時	0	0
緊急	1※※	1※
合計	1※※	1※

※胸部銃創症例
※※心停止後の縦隔炎

●原発性肺癌

●術式

	2022年	2021年
肺葉切除	67	51
部分切除	15	17
区域切除	0	2
肺全摘術	0	1
二葉切除	1	1
試験開胸	2	1

●アプローチ

	2022年	2021年
前側方	10	14
後側方	48	30
胸腔鏡	27	29

●合併切除

	2022年	2021年
隣接肺部分切除・区域切除	0	1
壁側胸膜・縦隔胸膜	0	0
肺動脈形成	0	1
胸壁（骨性胸郭）	0	1

●組織型

	2022年	2021年
Adenocarcinoma	65	56
Squamous cell carcinoma	15	11
LCNEC	2	2
Adenosquamous carcinoma	2	0
Small cell carcinoma	0	0
Pleomorphic carcinoma	1	3
Giant cell carcinoma	0	0
Atypical carcinoid	0	1
Typical carcinoid	0	0
Unclassified non-small cell carcinoma	0	0

●転移性肺腫瘍

原発臓器	2022年	2021年
大腸癌	7	6
胆管癌	1	0
膵臓癌	1	0
乳癌	1	0
咽頭癌	1	0
食道癌	0	1
腎細胞癌	1	2
尿管癌	0	1
子宮頸癌	1	0

●縦隔腫瘍

	2022年	2021年
胸腺腫	3	2
胸腺癌	2	0
奇形種	0	0
神経原性腫瘍	0	1
その他	1	0

●その他の疾患・術式

	2022年	2021年
肋骨固定術	1	0
胸腔内血種除去術	1	0
心嚢内膿瘍（心膜開窓術）	0	1
悪性リンパ腫（肺切除を伴う）	0	4
胸膜・心膜生検	2	2
縦隔リンパ節生検	0	1
乳幼児気管切開	1	1
術後肺瘻	1	1

●乳腺センター（2022年度）

○認定施設

日本乳癌学会認定施設

日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定エキスパンダー実施施設

日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定インプラント実施施設

○スタッフ

乳腺センター長・乳腺外科部長 平野稔

乳がん看護認定看護師 新井田明美、他看護師 2 名

事務（パート含） 3 名

○診療体制

		月	火	水	木	金
午前	初診・再診	平野	平野	手術日	平野	平野
午後	再診	平野	平野		平野	平野

○外来患者数

	2022 年度			紹介件数	
	初診	再診	合計	合計	(内、市町村 検診後)
4 月	63	526	589	26	2
5 月	58	576	634	30	6
6 月	110	589	699	79	53
7 月	129	538	667	107	76
8 月	100	594	694	71	47
9 月	70	577	647	44	25
10 月	67	535	602	44	19
11 月	66	555	621	39	25
12 月	50	571	621	26	5
1 月	56	496	552	28	2
2 月	42	523	565	21	0
3 月	65	573	638	32	3
総計	876	6,653	7,529	547	263

○手術件数

2022 年度	
4 月	16
5 月	13
6 月	20
7 月	16
8 月	21
9 月	16
10 月	10
11 月	15
12 月	14
1 月	6
2 月	11
3 月	14
総計	172

○化学療法センター利用件数

2022 年度	
4 月	119
5 月	85
6 月	78
7 月	66
8 月	78
9 月	74
10 月	75
11 月	74
12 月	77
1 月	71
2 月	73
3 月	70
総計	940

●小児科（2022年度）

施設認定：小児科専門医研修基幹施設

2022 年度活動状況、トピックス

人事異動：他施設で1年間小児科専攻医研修を終えた宮本幸奈、小森和磨、小林俊幸の3名が4月の異動で着任した。年度末には、久保田茂樹、馬 敏宰、土居秀基、野村隆之介、佐藤名帆子の5名が新たな研修施設への異動のため退職し、小林俊幸が院内新生児科に異動した。

診療体制の概要：外来診療は、循環器、神経専門領域で他施設専門医を招聘しているが、その他の領域では専攻医を含めた院内常勤医が担当しており従来の体制を継続している。時間外診療は、平日は病棟当直1名+準夜救急1名、休祭日は病棟当直1名+救急日直1名+準夜救急1名の体制である。

質目標の振り返り：働き方改革の準備として、平日に加え、休祭日当直明けの代休取得を部分的に開始した。医師記載のインシデントレポート増加、入院症例数の回復は達成できなかった。付き添い家族の負担軽減については準備段階であるが、鎮静検査、食物負荷試験、乳児血管腫入院治療のクリニカルパスを作成し、外来保険加算請求の見直しと請求を徹底した。

診療実績

過去10年間の入院患者数を図1に、2022年（1~12月）の入院症例疾患概要を表1に示す。年間入院患者数は、新型コロナウイルス感染症流行後大幅に減少したが、2022年は792名と2021年と同水準であった。2022年度の外来受診者数は、23,294名と前年度（23,342名）とほぼ同数であった。

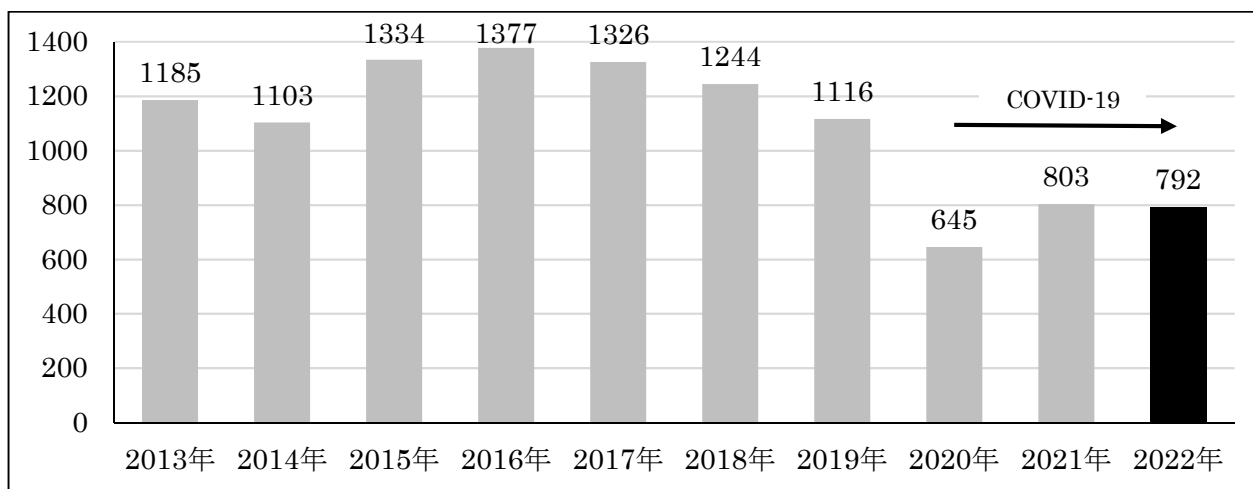


図1. 過去10年間の小児科病棟入院患者数

●新生児科（2022年）

総入院数	408
内新生児搬送	39
再入院数	13

◆出生体重別（院内出生のみ）

1,000g 未満	1
1,001g～1,500g	7
1,501g～2,000g	21
2,001g～2,500g	79
2,501g 以上	260
人工呼吸器	22

●心臓外科（2022年度）

①2022 年度の方針・概要

2022 年も常勤医 4 名の体制で診療にあたった。2022 年心臓大血管手術数は 98 件と 100 件に届かなかった。2019 年 4 月から開始した TAVI(経カテーテル大動脈弁植込術)手術数が 56 件で、TAVI を含めた心臓大血管手術数は 154 件と前年並みであった。手術の内訳としては、虚血性心疾患の手術数は横ばい、昨年度回復した心臓弁膜症手術数が再び減少、大動脈手術数が増加した。右小開胸による MICS 手術数は 12 件であった。

2022 年度の当科の部署「質」目標として、1.手術成績の安定化、2.入院日数の短縮、3.手術症例数の維持、4.緊急手術への常時対応を上げていた。また、それぞれの方針に対して、1.定時手術死亡ゼロを目指す(目標値 5%以下)、2.DPC 入院期間 I,II での退院比率 65%以上、3.心大血管手術件数年 120 件(月 10 件)、4.緊急手術症例全例受入れを目指す(実質目標当院で 8 割以上の対応)ことを目標として設定していた。

2022 年度手術数に関して、心臓外科手術件数は総数 147 例、うち心臓大血管手術数 94 例で、年間 120 例(心臓大血管手術 100 例)の目標に総数では達したが、心臓大血管手術数は及ばず。手術死亡 6 例のうち 5 例は緊急手術症例で、定時手術症例は 1 例であり、TAVI を除く待機手術 77 例の手術死亡率は 1.3%で目標を達成した。2022 年度の DPC 入院期間 I,II での退院患者の比率は 51.6%(上半期 56.5%、下半期 46.8%)と、目標に届かず。術後転院までの日数を要した患者が多かったことが、比率の低下につながったものと思われる。2022 年度 1 年間の緊急手術適応症例は 51 例で、うち 41 例(80.3%)を当院で対応できたが、6 例は当科手術中のため、4 例は麻酔科対応不可能のため、他院へ搬送となった。緊急 TEVAR(胸部大動脈ステントグラフト治療)も 3 例施行した。緊急手術適応症例数自体は徐々に増加傾向であり、今後も可能な限り対応していく方針であるが、さらなる受入れのためには当科だけでなく麻酔科も含めた体制強化が必要と思われる。

②手術統計

心臓大血管手術 2022 年	手術件数	手術死亡
弁膜症		
単弁手術 大動脈弁置換術	18	
TAVI	56	
僧帽弁置換術	1	1
僧帽弁形成術	9	
二弁手術 大動脈弁置換術＋僧帽弁形成術	1	
大動脈弁置換術＋僧帽弁置換術	1	
大動脈弁置換術＋三尖弁形成術	3	
僧帽弁置換術＋三尖弁形成術	1	
僧帽弁形成術＋三尖弁形成術	4	
三弁手術 二弁置換術＋三尖弁形成術	1	
虚血性心疾患		
人工心肺使用 単独冠状動脈バイパス術	3	1
人工心肺非使用 単独冠状動脈バイパス	17	
心筋梗塞合併症	1	
心臓腫瘍	2	
成人先天性心疾患	0	
その他の心臓手術	0	
胸部大動脈疾患		
大動脈解離 急性大動脈解離 上行置換	6	1
全弓部置換	4	1
急性大動脈解離破裂 全弓部置換	1	
解離性大動脈瘤破裂 遠位弓部下置換	1	
真性大動脈瘤 大動脈基部置換	1	
上行置換	3	
部分弓部	2	
全弓部置換	6	1
下行置換	1	
胸腹部置換	1	1
TEVAR	7	
破裂性 全弓部置換	1	
TEVAR	2	
不整脈手術 (他の心臓大血管手術と併施)	(7)	
右小開胸手術 (MICS)	(12)	
合計 (TAVI 含む)	154	6

●整形外科（2022年度）

1. 2022年度のトピックス

（1）医師数の増加

2022年度は4月より海村朋孝医長が千葉大学より常勤医として着任し、常勤指導医が5名となった。派遣医は3名であったがうち1名は後期研修1年目に当院での勤務歴があり、あと1名も初期研修医として当院での勤務歴があった。また、5月1日から8月31日の期間と12月1日から3月31日の期間にそれぞれ1名ずつ後期研修医が派遣され、最大9名の体制となった。

また千葉大学より文部教官、大学院生の外来応援を受けており、股関節、手の外科、スポーツ膝関節、足の外科専門医の外来も前年と同様開設された。大鳥教授も多忙な中、外来診療のために来院されている。

（2）手術件数について

医師数が増えたためかコロナ禍の中でも総手術件数は976件（前年度913件）と前年度より6.9%増加した。

脊椎手術件数は159件（前年度181）と前年度より減少、人工関節手術は80件（前年度74）と増加した。

外傷に関しては大腿骨近位部骨折の手術件数は187件（前年度196）と減少したが、当院の手術件数過密の為他院に転院となった患者も相当数存在するため（2022年1月1日～12月31日間に18名）実質的な患者数は減少していないと思われる。

外傷や感染などの臨時手術に関しては、高齢者や合併症の多い症例が多く、麻酔科医の協力が必要である。手術室の定時枠がほぼ埋まっていることから時間外の手術となるが、働き方改革の影響により夜間に及ぶ手術に関しては手術室の受け入れも困難となっている。

多発外傷の患者は呼吸管理等で早期に起坐位をとらせたいとの救急救命科からの要望があり、重傷でなくても脊椎、下肢の骨折で手術までの待機期間が長いと廃用によりリハビリテーションの進行が遅くなり平均在院日数の延長につながる。未だに解決できない問題として残っている。

（3）地域連携パス運用

2022年度より大腿骨近位部骨折に対しての地域連携パス運用を成田リハビリテーション病院との間で開始した。イムス佐原リハビリテーション病院に続き2病院目である。入院早期からスムーズな連携を行うことで切れ目のない診療を行い、二次性骨折の予防を行って行きたいと考える。

（4）FLSチームの結成

大腿骨近位部骨折の二次性骨折予防継続管理料の新設を受けて、かねてから懸案であったFLSチームを立ち上げた。2023年度からの活動を予定している。

（5）COVID-19の影響

当科の医師4名が感染し、外来や手術に影響が出た。入院後の患者に感染が発覚し手術が延期される例もあり、また手術室スタッフの感染による人手不足で手術受け入れが困難となったこともあった。手術待機患者の増加により最大入院患者数は71名となった。

ISO 質目標に基づいた振り返り

（1）医師の働き方改革

有給休暇を各自年間5日以上取得することを目標とした。4か月勤務の後期研修医を除いた医師は全員取得できた。

（2）医療安全の強化

手術が夜間に及ぶことが多く、病院の主催する安全講習会の受講が困難なことから本年度もSafety plusの受講を奨励した。年2回の医療安全研修会は全員が受講した。

（3）医療の質の維持向上

医師の二次性骨折予防に対する意欲の格差の問題もあり各診療医に任せるのも限界があることから医師、看護師、薬剤師、PTをメンバーとしたFLS（骨折リエゾンサービス）チームを立ち上げた。また、全職員向けの二次性骨折予防に関する講演を行い、動画も撮影した。

（4）経営の質の向上

大腿骨骨折地域連携パスの連携先病院の確保を目標とし、新たに成田リハビリテーションとの連携パス利用が開始された。

2. 診療実績

年間整形外科新患数 3,896人

最大入院患者数 71人

手術症例 976件

1. 骨折手術

鎖骨	ORIF	11
上腕骨	頸部 ORIF	9
	骨幹部 ORIF	7
	顆上 ORIF	3

経皮鋼線固定術(小児)	7	抜釘	107
顆部 ORIF	5		
外顆 (小児) ORIF	2	2. 脊椎手術	
内顆 (小児) ORIF	2	頸椎 椎弓形成術	12
肘関節脱臼骨折 ORIF 靱帯再建	1	椎弓切除術	6
前腕 骨幹部 ORIF	24	前方椎体固定術	8
一時的創外固定	3	後方固定術	25
経皮鋼線固定	1	前後同時固定	1
ガレアッチ骨折 ORIF	1	胸椎 椎弓切除術	1
橈骨遠位端 ORIF	70	後方固定術	8
一時的創外固定	5	硬膜内髄外腫瘍切除	1
経皮鋼線固定	1	胸腰椎 後方固定	5
尺骨遠位端 経皮鋼線固定	1	前後同時固定	1
橈骨頭 ORIF	1	腰椎 椎弓切除術	9
肘頭 ORIF	6	椎弓形成術	5
手 手指 ORIF	4	髓核摘出術	6
経皮鋼線固定術	14	後方固定術	15
創外固定	1	後方椎体間固定術	28
骨盤 寛骨臼骨折 ORIF	2	前方椎体間固定術	7
骨盤輪骨折 ORIF	3	前方後方同時固定術	17
創外固定	2	骨切り術	2
大腿骨		経皮椎体形成	1
転子部 ORIF	84	MILD 法	1
頸部 ORIF	20		
人工骨頭置換術	82	3. 関節手術	
転子下 ORIF	1	人工関節手術	
インプラント周囲骨折 ORIF	1	人工股関節	44
骨幹部 ORIF	9	再置換術	2
一時的創外固定	2	人工膝関節	34(うち UKA 20)
偽関節手術	1	大腿骨近位骨切り術	1
顆上 ORIF	4	関節鏡視下手術	
顆部 ORIF	2	前十字靱帯再建	3
膝蓋骨 ORIF	5	鏡視下半月縫合	4
下腿骨 脛骨高原 ORIF	11	鏡視下半月切除	1
一時的創外固定	3	鏡視下関節鼠摘出術	1
脛骨顆間隆起 ORIF	1	非観血的脱臼整復術	1
脛骨骨幹部 ORIF	6	股関節	1
一時的創外固定	1	膝内側側副靱帯縫合	1
脛骨遠位端 ORIF	8		
一時的創外固定	4	4. 手の外科	
足関節 ORIF	40	腱縫合	1
一時的創外固定	6	腱移行	3
踵骨 ORIF	4	腱移植	1
足趾 経皮鋼線固定	1	手関節形成+腱移行	3
		靱帯再建	1

靭帯縫合	1	6. 腫瘍	
腱鞘切開	5	腫瘍切除	12
滑膜切除	2	ガングリオン切除	2
授動術	1		
手根管開放術	38	7. 切断術 下腿	2
ギヨン管開放術	1	指断端形成	1
神経移行	10		
神経移植	1	8. その他	
手舟状骨骨折 ORIF	1	感染症（骨搔爬 切開・デブリドマン・持続洗浄など）	36
マレット指 経皮鋼線固定術	8	骨髓炎 CLAP 1	
デュピュイトラン拘縮手術	1	筋膜切開（前腕コンパートメント症候群）	4
5. 足の外科			
アキレス腱縫合術	5		
内反足腱切離	2		
趾腱切除	1		

●リハビリテーション科（2022年度）

2022年度 疾患別新規処方件数

	理学療法		
	入院	外来	小計
脳血管障害	676	26	702
頭部外傷	110	1	111
その他の脳疾患	242	13	255
脊椎・脊髄疾患	214	123	337
神経筋疾患	35	3	38
運動器の疾患・外傷	561	152	713
切断	27	2	29
呼吸器疾患	962	1	963
循環器疾患	1,061	109	1,170
小児疾患	23	35	58
がん	1,594	166	1,760
浮腫	0	19	19
運動器不安定症	31	2	33
廃用症候群	1,732	4	1,736
松葉杖指導	6	132	138
その他の疾患	546	124	670
小計	7,820	912	
合計	8,732		

	作業療法		
	入院	外来	小計
脳血管障害	612	46	658
頭部外傷	87	5	92
その他の脳疾患	128	55	183
脊椎・脊髄疾患	60	33	93
神経筋疾患	26	3	29
運動器の疾患・外傷	149	132	281
切断	0	0	0
呼吸器疾患	5	0	5
循環器疾患	14	0	14
小児疾患	0	9	9
がん	12	0	12
運動器不安定症	1	0	1
廃用症候群	61	0	61
その他の疾患	8	3	11
小計	1,163	286	
合計	1,449		

	言語聴覚療法		
	入院	外来	小計
脳血管障害	563	19	582
頭部外傷	72	2	74
その他の脳疾患	113	2	115
脊椎・脊髄疾患	15	0	15
神経筋疾患	23	2	25
運動器の疾患・外傷	38	0	38
呼吸器疾患	417	0	417
循環器疾患	72	0	72
がん	92	0	92
廃用症候群	317	0	317
その他の疾患	55	2	57
小計	1,777	27	
合計	1,804		

療法別業務年報

理学療法 2022年度

診療行為	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
	人数	単位数	人数	単位数	人数	単位数	人数	単位数	人数	単位数	人数	単位数	人数	単位数	人数	単位数	人数	単位数	人数	単位数	人数	単位数	人数	単位数	人数	単位数	人数	単位数
心大血管	外来	64	190	89	265	122	366	110	327	109	321	71	213	60	180	69	203	94	280	77	231	56	165	72	215	993	2,956	
	入院	1,079	1,253	1,057	1,254	1,096	1,280	646	763	709	834	661	750	761	917	812	952	922	1,039	994	1,112	844	985	995	1,239	10,576	12,378	
脳血管	外来	138	287	137	282	163	352	122	258	129	276	122	257	135	297	124	280	126	270	137	296	115	250	168	375	1,616	3,480	
	入院	1,604	1,795	1,278	1,447	1,663	1,850	1,321	1,484	1,411	1,601	1,225	1,352	1,542	1,710	1,413	1,570	1,568	1,739	1,530	1,714	1,326	1,599	1,167	1,444	17,048	19,305	
脳血管(減)	外来	221																								6	9	
脳血管(要介減)	入院	37	43	27	27	13	13	18	18	34	37	55	67	46	57	25	25	46	48	49	52	21	21	9	9	380	417	
運動器	外来	120	185	97	148	121	187	134	211	139	234	129	223	132	228	149	275	156	277	134	243	150	288	160	312	1,621	2,811	
	入院	1,021	1,212	985	1,136	1,124	1,307	1,074	1,238	1,044	1,260	766	890	907	1,050	1,075	1,220	1,062	1,181	828	973	1,043	1,252	1,118	1,449	12,047	14,168	
運動器(減)	外来	10	13	13	20	5	9					5	10	5	10											41	68	
運動器(要介減)	入院	6	6	15	51	51	61	75	94	66	73	34	36	22	22	51	53	24	26	36	36	7	7	3	3	390	432	
呼吸器	外来	100	8	8	9	9	7	7	8	8	8	8	8	8	8	11	11	3	3							71	71	
	入院	175	1,069	1,229	813	945	975	1,157	839	944	956	1,037	986	1,066	1,032	1,158	907	1,063	942	1,076	1,242	1,387	1,068	1,261	1,022	1,240	11,851	13,563
廃用症候群	外来	3	6	1	2			5	8	7	12	6	11	4	11	4	9	4	10	4	11	4	12	4	6	18	48	110
廃用(減)	入院	1,423	1,585	1,342	1,489	1,238	1,404	1,225	1,384	1,646	1,841	1,618	1,812	1,377	1,551	1,134	1,269	1,317	1,401	1,212	1,352	1,070	1,239	1,244	1,520	15,846	17,847	
廃用(要介減)	外来	162																									723	781
がん患者	入院	16	16			4	4	6	6					6	7											48	49	
	外来	1,131	1,317	1,214	1,445	1,268	1,502	1,224	1,407	1,337	1,497	1,296	1,508	1,297	1,505	1,151	1,315	1,221	1,380	1,008	1,118	1,018	1,201	1,317	1,618	14,482	16,813	
リンパ浮腫(重度)	外来	30	30	26	26	40	40	40	40	35	35	40	40	40	47	47	42	42	56	53	53	49	49	48	48	506	506	
リンパ浮腫(軽度以外)	外来																											
リンパ浮腫(軽度)	入院																											
コストなし	外来	30	39	36	45	37	43	35	42	42	52	43	55	54	57	46	51	35	38	30	32	36	36	33	33	457	523	
早期加算(心大血管)	入院	142	151	134	136	115	117	111	119	92	99	76	78	123	129	87	93	84	84	90	94	96	100	107	114	1,257	1,314	
初期加算(心大血管)	入院	828	970	802	958	820	965	498	598	572	685	528	596	591	714	630	749	728	833	791	887	662	782	813	1,030	8,263	9,767	
早期加算(脳血管)	外来	557	655	585	702	507	600	379	460	417	499	427	475	425	519	460	543	572	662	540	607	469	548	579	740	5,917	7,010	
早期加算(脳血管)	入院	1,167	1,307	855	991	1,223	1,324	886	996	869	1,001	847	920	1,087	1,188	882	979	1,102	1,220	1,036	1,164	833	998	790	1,014	11,577	13,102	
早期加算(運動器)	外来	691	778	548	616	731	795	554	632	492	566	535	583	617	669	519	574	647	707	623	693	442	524	501	635	6,900	7,772	
早期加算(運動器)	入院	706	858	638	755	791	941	758	895	768	939	502	587	732	854	876	981	804	878	620	723	789	925	842	1,085	8,826	10,421	
早期加算(運動器)	外来	431	525	381	466	519	627	447	521	469	572	342	405	505	589	548	619	550	598	369	428	533	633	536	711	5,630	6,694	
早期加算(呼吸器)	入院	831	961	559	653	745	893	628	714	742	810	770	849	801	902	625	751	738	854	1,021	1,147	714	858	681	833	8,855	10,225	
初期加算(呼吸器)	外来	549	643	353	418	527	630	431	483	530	579	516	577	485	561	443	517	552	622	646	731	412	493	473	586	5,917	6,840	
早期加算(廃用)	入院	1,086	1,222	992	1,094	910	1,035	994	1,141	1,300	1,452	1,257	1,397	1,066	1,204	932	1,037	1,088	1,152	960	1,086	844	984	1,006	1,223	12,435	14,027	
初期加算(廃用)	外来	756	862	631	710	609	691	729	837	839	934	800	874	690	760	624	700	692	745	603	671	554	635	635	746	8,162	9,165	
在宅訪問	300	外来	2	5																						4	9	
外来合計		367	716	364	745	451	954	412	846	421	882	374	756	385	776	388	809	437	894	405	834	378	771	458	976	4,840	9,959	
入院合計		7,439	8,515	6,840	7,874	7,538	8,695	6,485	7,403	7,265	8,245	6,751	7,602	7,072	8,065	6,617	7,518	7,126	7,914	6,982	7,828	6,455	7,623	6,928	8,579	83,498	95,861	

作業療法 2022年度

診療行為	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	
心大血管	61	129	4	5	8	13	18	28	5	5	33	56	44	65	30	39	17	24	30	39	17	24	30	39	189	284	
脳血管	1,135	1,439	955	1,331	1,304	1,822	1,118	1,841	1,169	1,987	991	1,730	1,280	1,802	1,415	1,756	1,195	1,442	1,053	1,407	1,195	1,442	1,053	1,407	14,104	19,889	
脳血管(減)	18	23	7	15	15	25	25	33	34	37	48	37	44	49	39	53	7	7	7	7	7	7	7	7	291	329	
脳血管(要介減)	132	132	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	16	
運動器	186	360	173	334	193	368	190	366	197	375	185	365	183	355	206	401	212	408	174	324	198	370	193	374	2,290	4,400	
運動器(減)	44	49	70	94	62	70	80	122	126	183	132	215	132	175	208	296	209	232	299	341	336	381	344	478	2,042	2,636	
運動器(要介減)	167	167	19	23	19	23	18	27	4	6	12	25	6	12	4	7	6	6	4	7	6	6	6	3	43	86	
呼吸器	100	100	5	5	4	4	4	4	5	5	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	50	65	
廃用症候群	175	175	13	15	17	18	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	114	125	
廃用(減)	16	19	46	52	20	26	34	42	40	67	44	71	39	45	37	43	51	63	80	101	116	121	142	195	665	845	
廃用(要介減)	162	162																								24	28
がん患者	97	97																								24	28
がん患者	205	205	33	39	42	42	43	43	16	28	21	23	25	25	7	7	2	2	23	23	6	6	6	12	13	254	279
コストなし	0	0	3	3	4	4	2	2	1	1	1	1	2	2	5	8	1	1	3	3	3	5	9	1	1	29	36
早期加算(心大血管)	30	30	1	1	1	1	7	7	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	41	41
早期加算(脳血管)	45	45	4	5	4	5	8	13	8	13	5	12	8	13	23	41	13	18	12	19	15	22	14	23	94	153	
早期加算(脳血管)	30	30	965	1,399	720	1,197	745	1,304	705	1,251	936	1,335	936	1,335	718	1,034	1,013	1,289	961	1,199	753	923	714	986	9,834	14,021	
早期加算(脳血管)	45	45	621	567	778	436	718	428	733	407	691	550	812	428	627	579	720	594	721	371	460	371	460	453	623	5,784	8,172
早期加算(運動器)	30	30	63	86	57	65	75	114	68	98	77	116	101	137	164	237	180	200	247	287	275	307	267	387	1,610	2,073	
早期加算(運動器)	45	45	22	24	58	75	40	46	52	76	45	65	53	76	61	86	111	158	143	159	138	165	180	193	1,057	1,351	
早期加算(呼吸器)	30	30	13	15	13	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	39	48	
早期加算(廃用)	45	45	8	9	8	9	8	9	8	9	8	9	8	9	8	9	8	9	8	9	8	9	8	9	16	17	
早期加算(廃用)	30	30	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	484	611	
在宅訪問	45	45	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	305	372	
在宅訪問	300	300	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4	20	47	
外来合計	249	493	235	465	243	473	251	499	261	510	247	500	234	466	245	486	254	498	227	437	276	535	270	534	2,992	5,896	
入院合計	1,258	1,579	1,112	1,520	1,482	2,024	1,338	2,122	1,422	2,344	1,268	2,143	1,545	2,120	1,365	1,938	1,798	2,249	1,886	2,313	1,693	1,997	1,614	2,179	17,781	24,528	

言語聴覚療法 2022年度

診療行為	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計				
	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位			
脳血管(減)	15	16	7	7	3	3	4	11	2	2	6	29	30	1	3	22	22	22	28	20	22	1	3	5	15	13	38		
脳血管(要介護)	132	132	17	46	26	73	7	20	14	42	12	34	34	7	20	10	30	6	17	7	19	23	67	45	2	2	170		
脳血管	245	693	565	660	720	899	645	786	641	760	623	660	699	660	699	613	706	811	600	636	477	521	556	609	7,441	8,403	550		
呼吸器	175	264	198	219	208	239	162	176	222	237	285	298	241	168	176	184	178	184	245	254	348	356	290	299	2,800	2,957	1,395		
廃用症候群	180	124	150	163	91	107	84	94	109	116	130	145	66	72	132	140	150	153	63	66	99	102	105	110	1,303	1,395	51		
廃用(減)	162	7	11	11	21	22							3	3					8	8					50	51			
廃用(要介護)	97																												
がん患者	205	77	84	100	108	89	104	67	88	61	90	78	92	48	50	24	25	19	32	33	19	19	20	23	634	735	2		
摂食機能	185	17	30	30	15	15	9	9	4	4	4	1	1	8	8	32	32	12	4	4	2	2	2	11	145	145	2		
コストなし	0																									1	3		
摂食(非算定)	0																									29	32		
早期加算(脳血管)	79	79	57	57	51	51	32	32	18	18	7	7	7	31	31	39	39	35	15	15	17	17	17	75	456	456	5,107	5,755	
初期加算(脳血管)	481	516	370	429	522	640	433	525	396	472	390	424	473	506	473	412	477	536	394	422	314	346	386	428	5,107	5,755	3,406	3,406	
初期加算(脳血管)	45	281	305	246	289	312	377	241	290	245	283	234	250	282	305	265	306	315	334	258	159	164	223	245	3,046	3,046	2,115	2,243	
早期加算(呼吸器)	30	206	220	130	141	173	204	136	148	171	180	227	240	179	188	107	111	137	142	222	231	248	253	179	185	2,115	2,243	1,356	
初期加算(呼吸器)	45	131	141	82	89	122	142	75	79	119	124	142	151	90	96	76	80	105	109	146	154	134	137	134	140	1,356	1,442	978	
早期加算(廃用)	30	89	92	123	132	60	73	54	62	88	94	76	88	45	50	116	122	105	108	51	54	79	82	92	97	978	1,054	607	
初期加算(廃用)	45	51	53	56	62	35	48	30	34	44	49	47	57	28	32	77	80	49	51	27	30	53	54	54	57	551	607	210	
在宅訪問	300	21	59	17	46	27	74	11	31	16	48	12	34	8	23	10	30	6	17	8	20	24	70	50	138	12,545	13,863	590	
外来合計		1,142	1,222	1,061	1,198	1,147	1,389	973	1,159	1,049	1,219	1,089	1,189	1,039	1,095	991	1,101	1,146	1,207	972	1,023	952	1,007	984	1,054	12,545	13,863	590	
入院合計																													

評価・指導・検査・処置 2022年度

診療行為	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	
総合計画評価1	85	77	80	74	82	79	90	98	92	80	107	91	1035														10,458
総合計画評価2	867	859	872	840	913	890	860	864	880	867	845	901	10														107
退院時指導	1	4	7	9	8	6	7	12	25	10	6	12	107														1,031
退院前訪問指導	103	68	91	95	82	87	97	93	104	76	65	70	2														
リンパ浮腫(指導)	580	1				1																					
認知・心理検査(容易)	100	5	6	10	10	7	5	2	1	8	3	4	2	63													33
認知・心理検査(複雑)	80	2	1	6	3	5	2	2	1	2	2	2	1	33													1
治療用具採用法(その他)	450																										1
在宅訪問	200																										1

2022年度訪問リハビリ実績(介護保険)

	利用者数		延件数	訪問リハ料		加 算				減 算		合計単位数
	実数	新規		終了	実施回数	算定単位数	提供体制	リハマネ	短期集中リハ	移行支援	計画診療未実施	
4月	16	2	1	79	158	48,506	948	13回 5,850	0回 0	67日 1,139	8回 -400	56,043
5月	20	5	1	79	158	48,506	948	15回 6,750	0回 0	70日 1,190	8回 -400	56,994
6月	19	1	5	81	162	49,734	972	16回 7,200	0回 0	68日 1,156	8回 -400	58,662
7月	16	2	5	62	124	38,068	744	13回 5,850	0回 0	56日 952	18回 -900	44,714
8月	17	6	3	67	134	41,138	804	15回 6,750	6回 1,200	65日 1,105	18回 -900	50,097
9月	21	4	3	77	154	46,050	900	18回 8,100	14回 2,800	71日 1,207	6回 -300	58,757
10月	18	1	5	70	140	42,980	840	17回 7,650	14回 2,800	66日 1,122	0回 0	55,392
11月	12	0	5	41	82	25,174	492	12回 5,400	6回 1,200	41日 697	0回 0	32,963
12月	10	2	1	39	78	23,946	468	10回 4,500	6回 1,200	39日 663	0回 0	30,777
1月	11	2	2	45	90	27,630	540	11回 4,950	6回 1,200	45日 765	0回 0	35,085
2月	9	0	0	41	82	25,174	492	9回 4,050	6回 1,200	41日 697	0回 0	31,613
3月	10	2	1	46	92	28,244	552	10回 4,500	0回 0	45日 765	0回 0	34,061
合計	49(延179)	27	32	727	1,454	445,150	8,700	159回 71,550	58回 11,600	674日 11,458	66回 -3,300	545,158

令和4年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

事業実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
圏域	香取海匠 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	総合病院国保旭中央病院
重点活動 項目評価	① 地域ケア個別会議運営相談、専門職意見交換会 ② 旭市総合事業に係るリハ専門職の連携強化

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月（書面開催） <p>参集範囲：圏域内地域包括支援センター、健康福祉センター、地域リハ・パートナー 他</p> <p>イ その他の会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香取海匠圏域 地域リハ・パートナー会議 第1回：7月8日、第2回：3月17日 ・生活期リハ活動支援班会議 第1回：9月16日、第2回：2月17日 ・地域ネットワーク支援班会議 第1回：4月6日、第2回：5月25日、第3回：7月6日、第4回：8月3日、 第5回：10月19日、第6回：12月14日、第7回：2月1日 ・旭市リハビリテーション専門職連絡会（仮称） 第1回：5月2日、第2回：6月13日、第3回：10月27日
<p>② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭市 <p>住民主体の通いの場支援：</p> <ul style="list-style-type: none"> ガーベラ：4月25日 下永井あすなろ会：6月17日、9月9日 十日市場 健十会：9月28日、1月11日 広網町：12月7日、3月22日 宿天神さくら会：11月29日 高砂クラブ：12月14日 福寿会：2月8日 萬歳みどり会：2月22日 <p>住民主体の通いの場リーダー連絡会：12月5日</p> <p>旭市介護予防サポーター養成講座：8月10日</p> <p>地域ケア個別会議への専門職派遣：</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月28日、5月26日、6月23日、7月28日、8月19日、9月27日、10月27日、 11月24日、12月22日、1月26日、2月22日、3月23日（中止） <p>《旭市介護保険運営協議会・旭市地域包括支援センター運営協議会》</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回：8月（書面開催）、第2回：2月9日 <p>旭市介護予防・日常生活支援総合事業に係る介護予防リハビリテーション担当者連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回：4月25日、第2回：7月11日、第3回：9月30日

<p>《リハ専門職の同行訪問事業：34件》 《訪問型サービスC（短期集中予防）：12件（利用者：1名）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 匠瑛市 <ul style="list-style-type: none"> 自立支援のための地域ケア会議に係る意見交換会：4月26日、2月28日 地域ケア会議へのアドバイザー派遣：5月24日 一般介護予防事業に係る意見交換会：9月1日、3月15日 いきいき百歳体操DVD 匠瑛市版お披露目会：1月31日 ・ 白井市 <ul style="list-style-type: none"> 《自立支援型地域ケア会議に係る助言者向け研修会講師：6月10日》
<p>③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リハビリテーション専門職による訪問相談事業（香取保健所）：8月26日 ・ 講師派遣 <ul style="list-style-type: none"> 《ニチイ学館：介護職員初任者研修講師：7月7日、11月10日、3月1日》
<p>④ 研修等の実施を通じた協働促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域リハビリテーション講演会：2月5日、参加者：50名 テーマ：『地域包括ケア時代の地域連携～栄養、褥瘡、胃ろう、在宅看取り～』 ・ 高次脳機能障害支援研修会：12月1日、参加者：40名 テーマ：『高次脳機能障害について知ろう！～脳疲労と注意障害～』 ・ 生活期リハ活動支援班研修会 <ul style="list-style-type: none"> 第1回：9月16日、参加者：69名 テーマ：『香取海匠地域における介護予防・日常生活支援総合事業』 第2回：2月17日、参加者：44名 テーマ：『あなたならどう支援しますか、こんな症例 ～独居・生活保護・義足・重度糖尿病・肥満ぎみ・無趣味～』 ・ 地域ケア会議助言者向け意見交換会：11月25日、参加者：15名
<p>2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施 ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援 ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築 ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組
<p>(⑤) 内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「障害者交流会 和希楽会」運営 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度和希楽会全体集会：6月11日 会場：香取市小見川市民センター いぶき館 参加者：60名 内容：講演「香取の見どころ買い物どころ」、車いすダンス、サークル活動紹介 和希楽会ニュース発行：第24号（9月）、第25号（3月予定）

マッチング活動

サビキ釣り：4月17日、5月15日、6月19日、7月21日、9月18日、10月16日

ヘラブナ釣り：10月9日（参加者：7名）

公園散歩：5月28日（参加者：16名）、10月29日（参加者：23名）

3月26日（雨天中止）

障害者ゴルフ：5月15日（参加者：13名）

グランドゴルフ体験：9月25日（参加者：10名）

イチゴ狩り：2月26日（参加者：8名）

オンライン交流会：6月26日（参加者：4名）、12月4日（参加者：2名）

（ ⑥ ） 内容：

- ・住民主体の通いの場継続支援「再掲」

（ ⑧ ） 内容：

- ・ホームページ更新
- ・相談・問い合わせ対応：12件
- ・地域リハビリテーション出前講座：依頼なし
- ・各種会議・研修会等出席

令和4年度第2回千葉県地域リハビリテーション協議会：3月24日

千葉県地域リハビリテーション広域支援センター担当者連絡会議

第1回：6月28日、第2回：2月28日

千葉県地域リハビリテーション広域支援センター担当者意見交換会：4月18日

広域支援センター・県リハ支援センター定期ミーティング：

8月9日、10月11日、12月13日、2月14日

県支援センター圏域訪問：5月23日

今後の地域リハビリテーションのあり方検討会：

第1回：9月27日、第2回：10月28日、第3回：11月16日、第4回：12月13日、

第5回：欠席、第6回：1月31日、第7回：2月28日

第1回ちば地域リハ・パートナー同士WEBでつながろう2022：7月19日

第16回千葉県地域リハビリテーションフォーラム：2月12日

令和4年度地域リハ調整者養成研修：3月6日

旭市地域ケア実務者会議

第1回：4月20日、第2回：5月18日、第4回：7月20日、第10回：3月15日
広域支援センター運営会議：4月19日、7月8日、10月13日、2月9日
地域課題解決に向けた技術活用に関するワークショップ型調査への協力：12月20日

※他団体からの依頼等により、地域リハビリテーション広域支援センターとして実施しているが、
本事業の委託料を充当していない活動については、《》でくくって記載

千葉県高次脳機能障害支援普及事業 実績報告
(令和4年度集計)

1 相談支援事業

区分	直接相談(当事者家族からの相談)				間接相談(行政・医療・福祉等の相談)				合計
	電話	来院/来所	メール・書簡	その他(訪問等)	電話	来院/来所	メール・書簡	その他(訪問等)	
延べ数	9	208	0	4	50	3	29	0	303

2 普及・啓発事業

区分	実施時期	具体的な実施内容
①	6月	こ〜じのう掲示板第47号への寄稿
①	10月	こ〜じのう掲示板第48号への寄稿
①	2月	こ〜じのう掲示板第49号への寄稿

区分:①広報・啓発 ②情報収集・調査 ③診断評価・リハビリ ④その他

3 研修事業

(1)-A 研修会等の企画

区分	日時	会議等名称	参加団体	参加者数
①	4月19日	令和4年度第1回院内連絡会議	院内関係者	7
①	7月1日	高次脳機能障害者の就労支援に係る意見交換会	医療機関、就労支援機関	10
④	7月12日	第2回交流会打ち合わせ	旭中央病院、東総就業センター	6
①	7月26日	令和4年度第2回院内連絡会議	院内関係者	6
④	9月11日	高次脳機能障害 当事者・ご家族交流会	高次脳機能障害当事者・ご家族、関係機関職員	13
①	10月25日	令和4年度第3回院内連絡会議	院内関係者	6
②	12月1日	高次脳機能障害支援者向け研修会	圏域内関係者等	39
①	1月24日	令和4年度第4回院内連絡会議	院内関係者	7
①	1月26日	第3回交流会打ち合わせ	旭中央病院、東総就業センター	6

区分:①連絡会・協議会 ②研修会・講演会 ③勉強会・研究会 ④家族会・交流会

(1)-B ケース会議(委託先内部におけるケース会議)の開催状況

ケース会議開催回数	1 回
ケース会議参加者数(上記会議の合計人数)	2 人

(2) 研修会等への参加・協力

区分	日時	会議等名称	参加団体	参加者数
③	4月7日	連携カンファ	関係者	1
③	4月12日	会社面談	関係者	1
①	4月22日	第2回千葉県脳損傷者 運転支援連携会議	県内医療機関	4
①	5月31日	令和4年度高次脳機能障害 支援ネットワーク担当者会議	県内支援拠点機関等	2
①	6月29日	令和4年度第1回高次脳機能障害 支援普及全国連絡協議会	全国支援拠点機関等	2
①	6月29日	令和4年度第1回 支援コーディネーター全国会議	全国支援拠点機関等	3
①	7月22日	第3回千葉県脳損傷者 運転支援連携会議	県内医療機関	3
①	10月14日	第4回千葉県脳損傷者 運転支援連携会議	県内医療機関	3
②	10月16日	高次脳機能障害 リハビリテーション講習会	県内関係者等	1
①	11月11日	令和4年度障害のある方の雇用と 就業に関する地域意見交換会	圏域内関係者	1
①	11月18日	令和4年度高次脳機能障害普及支援関東 甲信越ブロック・東京ブロック合同会議	ブロック内支援拠点機関等	2
①	11月24日	令和4年度高次脳機能障害 支援ネットワーク連絡協議会	県内支援拠点機関等	3
①	1月16日	令和4年度千葉県高次脳機能障害支援 コーディネーター向け研修会打ち合わせ	県内支援拠点機関等	1
①	2月17日	第5回千葉県脳損傷者 運転支援連携会議	県内医療機関	2
①	2月17日	令和4年度第1回高次脳機能障害 支援普及全国連絡協議会	全国支援拠点機関等	2
①	2月17日	令和4年度第1回 支援コーディネーター全国会議	全国支援拠点機関等	3
①	2月21日	令和4年度千葉県高次脳機能障害 支援コーディネーター向け研修会	県内支援拠点機関等	3
			延べ参加者数	37
区分:①連絡会・協議会 ②研修会・講演会 ③委託先外ケース会議 ④勉強会・研究会 ⑤家族会・交流会				

※脳神経外科・神経精神科・医療連携福祉相談室等での対応も実績数に含む

●脳神経外科（2022年）

2022年の所属スタッフは、持田英俊(主任部長)、山本邦厚(部長)、鈴木孝典(部長)、福井崇人(部長)、谷口環(専攻医)、長順之(専攻医)、梁鉉宇(専攻医)、渡辺三郎(特任医師)、大屋滋(特任医師)の9名でした。

手術はなるべく幅広く脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍、機能的手術、血管内手術を実施しました。地域の中核病院として、周辺二次医療機関と連携し、脳外科救急医療の一翼を担いました。また、大学から術者を招聘し、高度な脳神経外科治療に取り組みました。

看護師など病棟スタッフ全員と協力し、患者さんの安全と権利擁護に向けた取り組みも継続しました。リハビリテーションスタッフ、医療相談スタッフと協働し、地域の医療機関、介護・福祉機関との連携に努めました。

2020年9月より稼働したSCU(STROKE CARE UNIT)3床も90%以上の病床利用率を保持しました。脳卒中に対して、予防的治療、血管内治療の割合が増加しました。

教育活動面では日本専門医研修脳神経外科研修プログラムの基幹施設として、3人の専攻医に実践的教育を行いました。

手術件数（2022年1月～12月）

大分類	小分類	件数
脳腫瘍	摘出術	54
	生検術	4
	経蝶形骨洞手術	8
	定位	1
脳血管障害	動脈瘤クリッピング	35
	開頭血腫除去	5
	減圧術	9
外傷	開頭血腫除去	26
	穿頭ドレナージ	137
シャント	VP シャント	30
	VA シャント	3
	内視鏡的第三脳室開放	2
	外誘導術	10
	シャント抜去	1
	入れ替え	1
	再建	5

大分類	小分類	件数
その他	神経血管減圧術	15
	頭蓋形成術	8
	膿瘍除去/ドレナージ	3
	デブリドマン	1
血管内手術	動脈瘤塞栓術	40
	血栓回収術	44
	CAS/PTA	74
	腫瘍塞栓術	10
	動静脈奇形塞栓術	7
	その他	12

●形成外科（2022年）

年間のトピックス

2022年は、田代（1月～12月）、でこれまでに引き続き、形成外科疾患一般領域に関して広く診療を行っております。昨年は、私費診療である美容外科を行っていましたが、2023年現在は行っていません。

当院形成外科の特徴として、救急外傷の対応、糖尿病や透析などを基礎とする下肢壊疽に対する創傷治療、悪性腫瘍切除後の再建手術（マイクロサージャリーを含む）、眼瞼下垂症など加齢性変性疾患に対する手術、リンパ浮腫に対する圧迫治療やリンパ管静脈吻合手術、色素性疾患などに対するレーザー治療などがあります。また他科術後の創傷治癒遅延や他科との合同の再建術なども積極的に行っていきます。

その他にも定期的に外部専門家を招聘しての、小児先天疾患の治療や乳がんに対する乳房再建も継続しています。旭中央病院および東総地区に益するような形成外科を目指しております。

診療実績（2022年1月～12月）

疾患大分類手技数	入院			外来			計
	全身麻酔	腰麻・ 伝達麻酔	局所麻酔 ・その他	全身麻酔	腰麻・ 伝達麻酔	局所麻酔 ・その他	
外傷	37	19	30		2	287	375
先天異常	15					14	29
腫瘍	85	5	15			440	545
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	4	4	2			23	33
難治性潰瘍	34	41	36			35	146
炎症・変性疾患	12	1	18			105	136
美容（手術）							
その他	4		68			47	119
Extra レーザー治療	6					40	46

●産婦人科（2022年）

I. 当院産婦人科の概要

産婦人科常勤医師（2023年10月現在）

主任部長：小林 康祐

部長：大藏 慶憲

医長：古賀 千悠、高橋 健太、北村 翔一

医員：森脇 隆太、小川 美咲、市川 瑛美、布施 史織、鈴木 拓真、藪田 薫理

◎1年間スタッフの人事異動（2022年4月～2023年3月）

- ・2022年4月 小川 美咲医師 千葉大学医局から
齊藤 梨紗医師 大学医局から
- ・2022年6月 市川 瑛美医師 青梅市立総合病院へ
- ・2022年8月 織田 愛実医師 聖隷浜松病院へ
- ・2022年9月 高知 祐輔医師 守谷総合病院へ
- ・2022年12月 鈴木 真医師 退職
- ・2023年1月 布施 史織医師 大学医局から
- ・2023年3月 三浦 貴大医師 大学医局へ

II. 当院産婦人科診療統計

- ・産科・婦人科合計外来数 1日平均147名
- ・当院は周産期医療と婦人科腫瘍および婦人科手術の領域で症例数が多いのが特徴です。

●婦人科手術統計（1年間 2022年1月～12月）

- ・ダビンチ手術は継続中です。
- ・腹腔鏡は年間100件程度を維持しています。
※大藏医師が腹腔鏡技術認定を所得しています。
- ・腹腔鏡が増加はしているのですが、その反面で開腹術の件数も確保されています。
- ・難易度によりますが、多くの手術において、専攻医が執刀あるいは執刀に準じる立場で手術に臨んでもらっています。

●産科統計（1年間 2022年1月～12月）

- ・産科は地域周産期母子医療センターの指定を受けております。
- ・NICU9床を有します。
- ・当院が24時間3次救急に対応しており、循環器内科、脳外科、精神科、麻酔科、中央手術室、ICUが常に迅速に対応可能な状態であるため、母体救命のためのマンパワーの確保がスムーズです。
- ・とくに、近年産褥期のメンタルケアが重要視されていますが、当院精神科の全面的なサポートにより、ケアも充実しています。

2022年(令和4)

手術件数		507
開腹(良性手術)	腹式単純子宮全摘術	40
	腔式単純子宮全摘術	0
	子宮筋腫核出術	9
	良性卵巣腫瘍手術	33
	異所性妊娠	7

		97
腹腔鏡	全腹腔鏡下子宮全摘術 (TLH)	24
	腹腔鏡補助下腔式単純子宮全摘術	0
	卵巣手術	66
	異所性妊娠	7
ロボット支援下腹腔鏡下子宮全摘術		8
子宮鏡下手術		7
子宮頸がん手術		8
子宮体がん手術		33
卵巣がん手術		17
悪性腫瘍のうち	広汎子宮全摘術	5
	準広汎子宮全摘術	3
子宮脱	VTH+膈壁形成術+膈断端挙上術	14
	腹腔鏡補助下腔式単純子宮全摘術	0
	中央膈閉鎖	6
円錐切除術		39
		182
帝王切開	選択的帝王切開術	90
	緊急帝王切開術	92
頸管縫縮手術		1

産科症例

分娩数(母体数)	704
分娩数(出産児数)	724
双胎	13
鉗子・吸引分娩	34
骨盤位経膈分娩	0
早産児数	66

Ⅲ. 専攻医への教育

- ・当院は初期研修の世界でも有名な研修施設です。

その特徴は、実践重視と豊富な臨床経験とともに、上級医師による教育・サポート体制にあります。産婦人科専攻医教育もその方針を踏襲しています。

- ・各症例の治療方針などを気軽に上級医師に質問できる雰囲気作り
- ・毎朝 8 時カンファレンス
- ・月曜日夕方の症例カンファレンス 症例検討会
- ・CTG モニター検討会(助産師と一緒に検討します)
- ・ガイドライン勉強会
- ・各種レクチャー
- ・スキルセンターの充実：約 1,600 m²の広さに、救急トレーニング室、診療科に応じたトレーニング室や研修室等を用意し、医師向け、看護師向け、救急トレーニング用など、60 種類以上の医療シミュレータを装備しました。産婦人科もスキルセンターに 2 室を確保し、母体救命のシミュレーションや骨盤位分娩、鉗子分娩のトレーニングを行っています。
- ・当院のさらなる特徴は、医師全員(現在約 280 名)が病院の敷地内に居住していることにあります。病院から医師マンションまでは 5 分程度ですので、分娩の緊急対応などの夜間上級医師をはじめとしたマンパワーの確保は迅速で、専攻医たちにとって研修しやすい環境を提供できます。

●眼科 (2022年度)

2022年は新型コロナウイルスの影響を受けつつの診療開始となった。

人事は前年に引き続き、7人体制で新年度が開始となり、人事の異動は無かった。ただ大学への入局者数の制限により2023年度は医師の減員が12月に正式に大学より通達があり、それに合わせて変革と新体制が年度末に向けて求められた。

手術件数の内訳は緑内障関連の手術件数は減少したが、水晶体再建術関係および硝子体手術関係の手術件数が増加した。結果的に前年度1,874件より47件増加し1,921件となった。ただし2023年度より医師数が7人→4人体制となるため、12月より患者紹介制限および1月より手術件数の制限をかけたため件数は減少したが、過去20年間で最大の手術件数を実施することができた。外来・中央手術室・病棟の関連部署の協力を重ねて感謝を申し上げたい。

眼科診療局の質目標を振り返ると医療と経営の質向上では日帰り手術件数は50件/月は大幅に超えて実施することができた。ただ一方で定時内外来診療の終了は、外来日数の半分以上が未到達であった。手術件数が増えると相対的に外来時間の延長にも影響したと思われる。翌年度に向けて適正かつ効率的な医療が提供できる体制作りの課題が残された。

年間を通して、当科の前部長である稲用和也医師が顧問として難治症例の診断・手術治療を行い、東総地区の医療水準を高く維持することができた。

2022年4月～2023年3月

◆ 医師

顧問 稲用和也
部長 野本洋平
医長 浅野公子、新井隆浩
医員 浅野祥太郎、原巧、秋山拓也、三好由希子
非常勤医 藤野亮介（～2022年11月）

◆ 外来

視能訓練士（ORT）（パート含） 11名
外来看護師 4名
看護補助員 1名
事務員（外来係）（パート含） 5名
◇（臨床支援係） 1名
外来診察室 8診

◆ 病棟

病床数 (11東病棟48床のうち28床)

病棟看護師 34名
看護補助員 7名
病棟診察室 2診

2022年度 旭中央病院 眼科手術件数

内 眼 手 術	PEA+IOL	1,404
	ECCE+IOL	1
	PPL/ICCE	1
	IOL2次挿入	3
	PPV+IOL 縫着/整復	20
	PPV(膜)	146
	PDRope	21
	PVRope	8
	PPV	12
	網膜復位術	4
	lotomy	44
	lectomy	15
	GSL	27
	緑内障（その他）	9
	眼球内容除去術	2
その他	10	
合計	1,727	
そ の 他	前後転術	4
	斜筋手術	1
	翼状片（江口法）	59
	涙道	20
	眼瞼その他	50
	その他	60
合計	194	
総合計		1,921

レ ー ザ ー 術	LI	34
	YAG	285
	LK	1,691
	cycrophoto	13
	c r y o	0
	合計	2,023

中央手術室 【日帰り】 手術件数

年月	白内障	白内障以外	合計
2022年4月	60	12	72
2022年5月	65	10	75
2022年6月	71	9	80
2022年7月	67	6	73
2022年8月	68	8	76
2022年9月	64	12	76
2022年10月	70	9	79
2022年11月	64	12	76
2022年12月	68	9	77
2023年1月	63	9	72
2023年2月	60	5	65
2023年3月	56	3	59
総合計	776	104	880

眼科入院件数

主病名	件数
白内障	640
緑内障	92
裂孔原性網膜剥離、網膜剥離	38
網膜前膜	50
増殖性糖尿病性網膜症	34
黄斑円孔	25
増殖性硝子体網膜症	14
眼内レンズ偏位	21
硝子体出血	6
角膜潰瘍、角膜穿孔	7
黄斑下出血	5
眼内炎	5
眼瞼下垂症	1
睫毛内反症	3
斜視	5
原田病	3
網膜分離症	1
硝子体黄斑牽引症候群	6
眼球破裂	2
視神経炎	1
硝子体混濁	1
網膜中心動脈閉塞症、網膜静脈分枝閉塞症	3
全身性エリテマトーデス	1
その他	6
総入院件数	970

耳鼻咽喉科（2022年度）

【認定施設】 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定 耳鼻咽喉科専門医研修施設

【スタッフ（2022年度末時点）】

常勤医師

部長 大戸 弘人：日本耳鼻咽喉科学会専門医

主任医長 小林 麻里：日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医、日本めまい平衡医学会めまい相談医、医学博士

医員 福田 伸樹、川崎 健史、伊藤 江里奈

臨時医員 志村 英二、長岡 真人、大村 和弘、森野 常太郎、武田 鉄平

1. 1年間のトピックス

常勤医においては、4月に海老原 央医師が異動となり川崎健史医師が赴任した。昨年度と同様に耳鼻咽喉科疾患領域に関して広く診療を行った。ただし、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、東総地域の感染者数によっては手術制限、診療制限下での診療となった。現在は、十分な感染対策を施した上で診療を行なっている。

その上で、ここ数年大きく変化している頭頸部領域における抗がん剤治療のさらなる充実を継続した。さらに他施設や他科との連携を強化し、術後抗がん剤治療や緩和抗がん剤治療、さらには低侵襲手術を当院で行えるように整備し、患者さん、患者さんご家族の負担を減らすことに務めた。

今後も近隣の耳鼻咽喉科が少ないことを踏まえ、耳鼻咽喉科疾患領域の診療の継続はもちろん、頭頸部癌領域の標準化を引き続き目指していく。

2. 外来担当医表

	月	火	水	木	金
午前	初診：小林	初診：小林	予約：小林	初診：小林	予約：森野
	初診：福田	予約：福田	初診：福田	初診：福田	予約：福田
	予約：長岡	初診：大戸	予約：大戸	予約：大戸	初診：大戸
	予約：大戸	初診：川崎	初診：川崎	予約：川崎	予約：川崎
	初診：川崎	初診：伊藤	予約：志村/大村	初診：伊藤	初診：伊藤
午後	手術	予約：伊藤	手術	予約：伊藤	手術
		予約：福田		予約：福田	
		予約：大戸		予約：大戸	
		予約：川崎		予約：川崎	

●皮膚科（2022年度）

2022年度の常勤医は山本麻琴、佐伯優佳が異動し、医員の熊田大樹、行木佑美香が赴任したため、部長の中野倫代、医員の岡崎大二郎の4人体制で診療を行った。非常勤医師として週に1回千葉大学皮膚科より外川八英に外来診療の協力を仰いだ。

月曜日から金曜日まで午前中は予約外で初診・再診の外来診療を行い、2022年度の1日平均外来患者数は93人であった。2022年10月より初診の選定療養費が7,700円に上がった影響もあり、10月から外来患者数は減少傾向にあった（表1）。皮膚疾患は夏に多く冬は少ない傾向にあることも影響していると思われる。月別の1日平均入院患者数は8月がピークの10人であり、平均は6人だった（表2）。月、水、木、金曜日の午後は、外来手術やパッチテスト、プリックテストを中心に外来診療を行った。外来手術は皮膚生検などを中心に628例施行した（表3）。統計には加えていないが、皮膚切開術も外来で複数例行った。その他、悪性黒色腫の免疫チェックポイント阻害薬やBRAF/MEK阻害薬、乾癬やアトピー性皮膚炎の生物学的製剤も複数例施行した。

火曜日の午後は中央手術室で入院手術を行った。皮膚悪性腫瘍の手術を中心に植皮や皮弁などの様々な再建法にも取り組んだ（表4）。

また、診療終了後に毎日、科内でカンファレンスを行い、診断や治療方針について検討し、学会・論文報告も複数行った。

表1 月別外来患者数/日

4月	89
5月	100
6月	93
7月	104
8月	105
9月	102
10月	93
11月	90
12月	87
1月	84
2月	83
3月	83

表2 月別入院患者数/日

4月	7
5月	4
6月	7
7月	7
8月	10
9月	9
10月	6
11月	3
12月	7
1月	8
2月	3
3月	3

表3 外来手術件数

皮膚試験採取	465
皮膚、皮下腫瘍摘出術	122
皮膚悪性腫瘍単純切除術	38
フェノール法	2
創傷処理	1

表4 入院手術件数

皮膚悪性腫瘍単純切除術	90
全層植皮術	39
皮弁作成術	11
皮膚、皮下腫瘍摘出術	8
デブリードマン	7
分層植皮術	1

● 歯科・歯科口腔外科（2022年度）

【2022年度「質」目標】

①働き方改革の推進：

【目標値】 タスク・シフト／シェアの推進

【主な活動】 各 Dr.は、院内のチームや委員会の担当／副担当となり、業務内容を熟知し、それに従事／サポートする。

②新たな生活様式に準じた地域連携：

【目標値】 近隣歯科医院とのオンライン環境の整備

【主な活動】 オンライン環境を整え、中止している歯科定例会を web 開催形式にて再開する。

③手術件数の拡大：

【目標値】 手術制限内にて可能な限りの手術の実施

【主な活動】 手術制限内にて、口腔外科認定医以上は 20 件以上、研修医は 5 件以上の手術執刀か手術患者を担当する。

④積極的な学会参加：

【目標値】 学会発表 5 件以上、論文作成 2 編以上

【主な活動】 オンライン環境を整え、web 講演会や学会参加を率先して行う。

【2022 年度の振り返り】

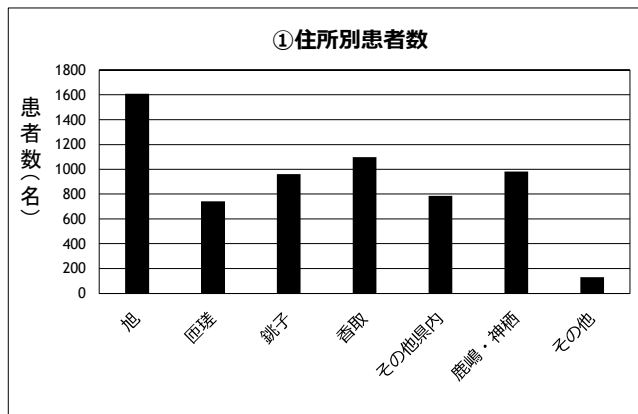
はじめに、病院全体の基本方針でもある働き方改革の推進として、タスク・シフト／シェアの推進を進めたが、医師各々が多忙のため、進行状況は十分とは言えなかった。また、地域連携として、近隣歯科医院の web 環境を確認までは行えたが、講演会の開催までは実現できず、これらの活動は次年度への持ち越しとなった。

入院手術に関しては、待機手術の自粛期間があったものの、年間 99 件（前年度比 122%）と増加し、外来手術であるインプラント手術は、年間 63 件（前年度比 95%）とおおむね例年通りであった。外来初診者数は、6,310 名（前年度比 96%）と例年通りであったが、80 歳以上が 1,316 名（前年度比 109%）と年々高齢者の割合が増加傾向にあり、それに伴い、有病者率（75.7%）も増加していた。

口腔ケアに関しては、病院全体の手術件数の増減などにより、変動はあったものの 1 日平均 51.1 人、1 か月平均 1,102 人と、コロナ禍以前の数値に戻りつつあった。口腔ケアに際して、歯科医師、歯科衛生士ともに、院内のさまざまな病棟を横断することから、感染防護などの対策を徹底することで、クラスターを発生することなく務めることができた。今後のアフターコロナを含めた、周囲を取り巻く環境に応じて、できうることを精力的に行っていきたい。

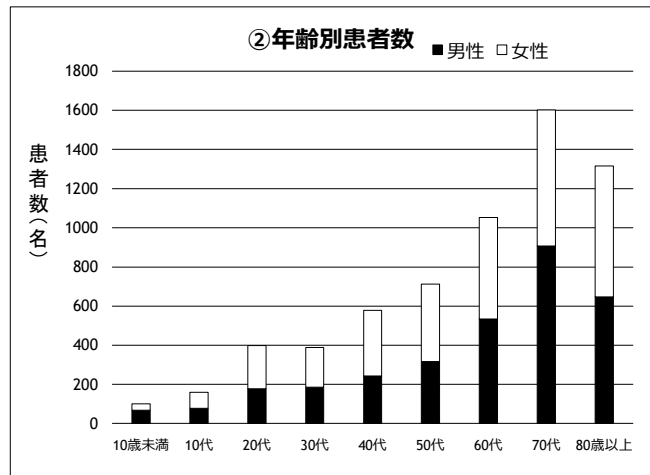
①住所別患者数

住所	患者数（名）
旭	1,608
匝瑳	742
銚子	961
香取	1,099
その他県内	787
鹿嶋・神栖	982
その他（鹿島・神栖以外の茨城県 の地域と他県、不明を含む）	131
計	6,310



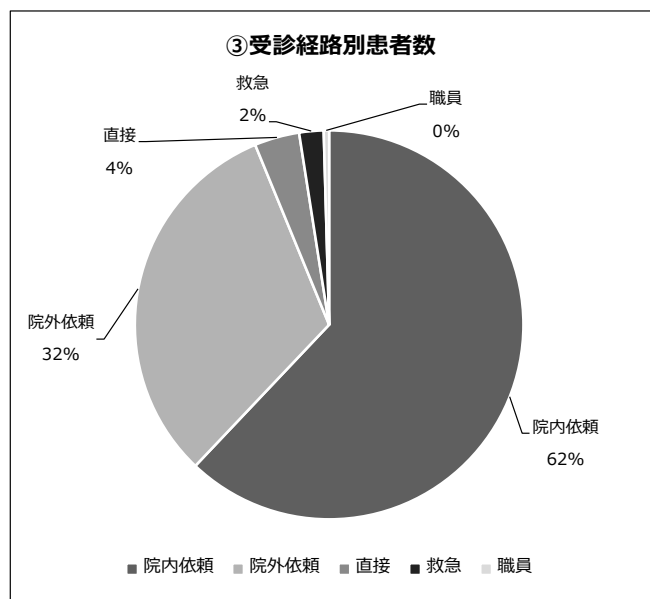
②年齢別患者数

年齢	男性	女性	患者数(名)
10歳未満	68	32	100
10代	77	83	160
20代	178	220	398
30代	186	203	389
40代	242	337	579
50代	317	395	712
60代	535	518	1,053
70代	906	697	1,603
80歳以上	646	670	1,316
計	3,155	3,155	6,310



③受診経路別患者数(年間)

総受診者数	6,310
院内依頼	3,918
(外来)	2,455
(入院)	1,463
院外依頼	2,000
(歯科)	1,889
直接	236
救急	127
職員	29



紹介	5,918
直接	392
計	6,310

④有病者別患者数

受診者数	6,310
有病者数	4,577

(有病者率：72.5%)

【参考：合併症(延べ数)】

高血圧症	1,440
糖尿病	595
虚血性心疾患	805
慢性腎不全(透析を含む)	183
脳血管障害	547
睡眠時無呼吸症候群	62
躁鬱症・精神分裂症	173
精神発達遅滞・ダウン症	64
神経・筋疾患	157
自己免疫疾患	254
内分泌疾患	68
肝炎以外の肝疾患	51

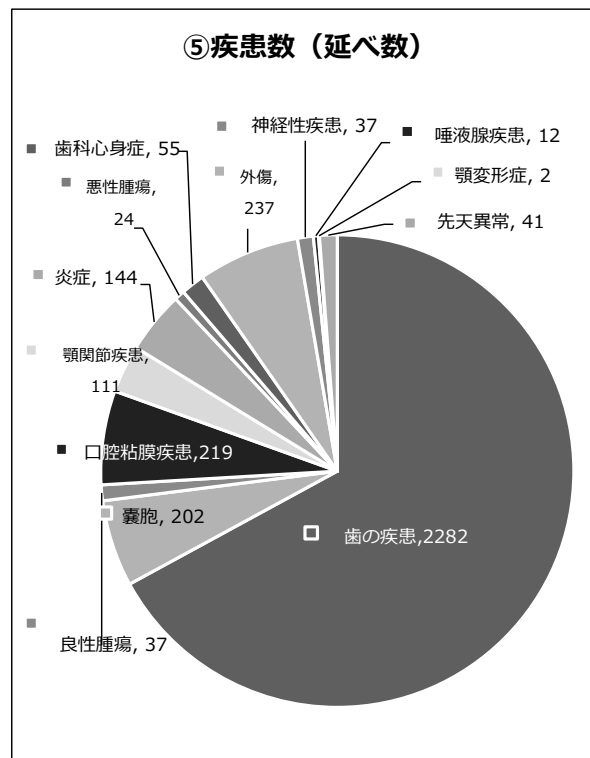
その他の消化器疾患	617
血液・造血器疾患	89
誤嚥性肺炎	18
敗血症	36
悪性腫瘍	1,574
ターミナル	29
貧血	50
運動器疾患	356
骨粗鬆症	211
感染症	82
アレルギー	48
喘息	130

BP製剤服薬歴	104
出血傾向	110
ペースメーカー	23
妊娠	5
その他	498
肝炎	43
呼吸器疾患	14
婦人科疾患	78
腹部大動脈瘤	20
唇顎口蓋裂	2
障害者歯科	80

⑤疾患数（延べ数）

疾患数（延べ数）の内訳

疾患名	計
先天異常	41
外傷	237
炎症	144
口腔粘膜疾患	219
嚢胞	202
良性腫瘍	37
悪性腫瘍	24
白板症	26
歯科心身症	55
顎変形症	2
顎関節疾患	111
神経性疾患	37
唾液腺疾患	12
専門的口腔ケア	1,644
周術期口腔機能管理	1,574
歯の疾患	2,282
合計	6,647



【参考：小分類】

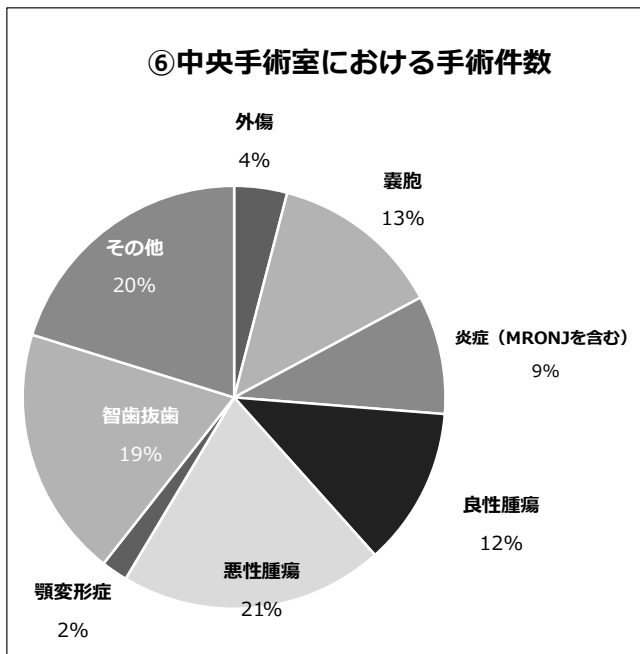
小分類	計
むし歯	140
歯周病	755
抜歯	1,387
顎関節疾患	111
三叉神経痛	30
口内炎	139
口腔カンジダ症	48
扁平苔癬【病名】	32

小分類	計
唾石症	10
唾液腺炎	2
骨隆起	19
小帯（舌・上唇・頬）	21
口唇口蓋裂	1
良性腫瘍	34
悪性腫瘍	27
癌	

小分類	計
白板症	26
舌痛症	55
粘液嚢胞	26
（術後性）上顎嚢胞	8
顎骨嚢胞	40
歯根嚢胞	128
線維腫	3
末梢神経障害	7

⑥中央手術室における手術件数

手術内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外 傷	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	4
囊 胞	0	0	3	2	2	2	3	0	0	0	0	1	13
炎症 (MRONJ を含む)	0	1	3	0	0	1	1	0	0	1	0	2	9
良 性 腫 瘍	0	0	0	0	1	0	1	3	1	0	2	4	12
悪 性 腫 瘍	1	3	1	2	3	2	0	2	1	1	2	2	20
粘 膜 病 変 (白板症を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
T M J 疾 患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
顎 変 形 症	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
智 歯 抜 歯	3	2	0	2	3	3	1	2	2	0	1	0	19
そ の 他	0	2	3	2	0	2	2	1	0	4	2	2	20
計	4	8	11	9	9	10	9	8	6	6	7	12	99



●麻酔科・中央手術室（2022年度）

2022年度の常勤麻酔科専従医は前年度と変わらず、平林和也、岡 龍弘、小銭健二、青野光夫、室内健志、長谷川まどかの6名であった。麻酔科専門研修プログラム履修中の専攻医は、前年度から継続して帝京大学医学部附属病院麻酔科専門研修プログラムの1名と千葉大学麻酔科専門研修プログラムの1名を迎えたほか、東京医科歯科大学病院麻酔科専門研修プログラムからの1名が加わった。また、歯科麻酔専門医の資格をもつ歯科医師である小島佑貴が麻酔科に所属し、医科麻酔研修と歯科麻酔を行った。

専攻医については、大学の麻酔科専門研修プログラムに登録している専攻医が連携施設である当院で研修を行うという形式で、2019年度から帝京大学、2020年度から千葉大学、2022年度から東京医科歯科大学の専攻医を迎えている。

手術室業務を行う非常勤医は、1日平均4.4名で前年度比マイナス0.4名であった。

年間の手術件数は前年度から約120件増加したが、新型コロナウイルス感染症流行以前の水準にはまだ戻らず、感染症の影響が長期化している様相をみせた。

外来業務については、前年度同様にペインクリニック外来の診察日を週2日、周術期麻酔科外来の診察日を週2日設定し、いずれの日も1名の担当医が全日診療を行った。

年度内の新たな取り組みとして、術後疼痛管理チームの設置にむけ、多職種からなるメンバーの選定とそのメンバーによる所定研修の受講を行った。今後はチームの稼働に向けて疼痛管理プロトコルの作成とオペレーションの整備を行っていく。また、術前診察に関する業務のペーパーレス化と業務フローのデジタル化を同時に行い、麻酔科、入院・手術サポートセンター、中央手術室の各所においてデジタルライゼーションによる業務効率化を進めた。

手術件数（2022年度）

	外科	整形外科	心臓外科	泌尿器 (ESWL)	脳外科(脳血内)	産科	婦人科	耳鼻科	眼科(外来)	歯口科	皮膚科	形成外科	内科	神経科	麻酔科	小児科	合計(臨時)
4月	148	70	8	129 (1)	48 (16)	18	26	33	143 (0)	4	8	20	6	2	2	0	665 (300)
5月	131	79	9	128 (2)	52 (17)	11	33	26	148 (0)	8	7	22	11	3	1	0	669 (286)
6月	162	80	10	152 (1)	47 (10)	21	39	26	182 (0)	11	8	26	9	4	1	0	778 (332)
7月	145	79	8	124 (1)	45 (13)	27	37	28	155 (0)	9	8	21	6	12	0	0	704 (284)
8月	155	94	8	133 (1)	41 (13)	20	33	29	159 (0)	9	11	17	10	3	0	0	722 (295)
9月	142	72	9	140 (1)	46 (12)	13	41	20	153 (0)	10	10	18	5	2	0	0	681 (264)
10月	136	81	9	135 (0)	45 (19)	18	34	28	159 (0)	9	8	16	9	9	0	0	696 (271)
11月	153	82	11	134 (3)	44 (17)	16	31	28	173 (0)	8	12	11	8	3	0	0	714 (293)
12月	154	82	12	125 (0)	44 (18)	15	34	23	152 (0)	6	8	11	10	2	0	0	678 (280)
1月	142	85	3	126 (0)	42 (16)	18	35	21	160 (0)	6	9	8	7	3	0	0	665 (276)
2月	136	86	8	128 (0)	49 (17)	12	39	25	143 (0)	7	12	7	8	11	0	0	671 (252)
3月	151	86	7	137 (0)	47 (15)	17	43	33	123 (0)	12	10	3	9	8	1	0	687 (302)
合計	1,755	976	102	1,591 (10)	550 (183)	206	425	320	1,850 (0)	99	111	180	98	62	5	0	8,330 (3,435)

※平成21年4月よりアンギオでの脳血内手術を集計する

手術件数・麻酔件数（2022年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
手術件数合計	665	669	778	704	722	681	696	714	678	665	671	687	8,330	
定時手術件数	365	383	446	420	427	417	425	421	398	389	419	385	4,895	
臨時手術件数	300	286	332	284	295	264	271	293	280	276	252	302	3,435	
臨時手術の内訳	救急からの緊急	(37)	(35)	(20)	(26)	(23)	(24)	(26)	(21)	(22)	(37)	(18)	(25)	(314)
	時間内開始終了	177	179	216	181	199	171	194	213	197	185	171	219	2,302
	時間内開始～時間外延長	61	46	65	54	49	55	41	39	45	46	48	40	589
	時間外開始	62	61	51	49	47	38	36	41	38	45	33	43	544
定時の時間外延長	60	73	86	65	67	72	80	70	72	53	63	40	801	
時間外開始	(7)	(9)	(10)	(2)	(7)	(7)	(12)	(4)	(9)	(2)	(3)	(1)	(73)	
※時間外の合計	183	180	202	168	163	165	157	150	155	144	144	123	1,934	
全麻件数	272	279	309	294	313	276	281	286	281	259	263	292	3,405	
腰麻件数	154	141	173	159	156	155	154	160	165	156	152	173	1,898	
硬麻件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
局麻件数	222	227	278	224	235	232	232	245	211	226	225	198	2,755	
静麻件数	16	20	17	26	17	17	28	20	21	23	31	24	260	
無麻件数	1	2	1	1	1	1	1	3	0	1	0	0	12	
感染症	15	20	22	28	15	22	32	26	10	22	42	36	290	
稼働日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	
稼働率	47.7%	50.6%	53.7%	52.4%	49.6%	50.1%	51.2%	49.2%	47.3%	47.2%	49.8%	44.8%	49.5%	
全麻件数	272	279	309	294	313	276	281	286	281	259	263	292	3,405	
全麻＋硬麻	(67)	(70)	(77)	(77)	(88)	(77)	(79)	(88)	(85)	(71)	(71)	(84)	(934)	
硬麻件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
腰・局・静麻麻酔科依頼	26	18	32	43	23	24	37	24	27	23	26	34	337	
腰麻＋硬麻	(1)	(1)	(3)	(6)	(3)	(1)	(9)	(5)	(1)	(2)	(0)	(1)	(33)	
麻酔科依頼件数合計	298	297	341	337	336	300	318	310	308	282	289	326	3,742	
麻酔科依頼の割合	44.8%	44.4%	43.8%	47.9%	46.5%	44.1%	45.7%	43.4%	45.4%	42.4%	43.1%	47.5%	44.9%	
救急ストップ	5	9	10	10	10	11	12	15	9	4	12	9	116	
24時間以内の再手術件数	2	1	2	0	0	4	0	0	1	1	0	1	12	

手術件数(2013～2022年度)

科名	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
外科	1,685	1,648	1,848	1,755	1,797	1,775	1,750	1,702	1,741	1,755
心臓外科	109	95	103	124	107	117	147	153	153	102
整形外科	843	851	762	882	967	878	1,066	968	913	976
泌尿器科	1,721	1,842	1,818	1,899	1,864	1,791	1,786	1,674	1,621	1,591
(E S W L)	(175)	(119)	(56)	(73)	(48)	(42)	(23)	(21)	(14)	(10)
脳外科	340	344	442	446	495	482	417	445	507	550
産科	272	232	206	209	214	217	177	188	190	206
婦人科	592	551	499	479	457	456	488	411	382	425
耳鼻科	308	278	273	245	243	253	280	252	281	320
眼科	1,355	1,390	1,484	1,641	1,593	1,588	1,684	1,812	1,799	1,850
歯口科	121	127	131	119	108	106	113	116	81	99
皮膚科	33	57	42	63	57	109	97	97	105	111
形成外科	253	348	279	268	258	319	243	219	290	180
内科	1	1	0	1	1	4	6	1	21	98
麻酔科	2	4	3	1	4	5	7	6	3	5
小児科	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
神経科	208	165	256	345	304	317	201	119	117	62
合計	7,845	7,935	8,146	8,477	8,469	8,417	8,462	8,163	8,204	8,330
臨時	2,136	2,128	2,175	2,287	2,305	2,258	2,870	3,898	3,522	3,435

麻酔件数(2013～2022年度)

種類	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
全身麻酔	3,281	3,350	3,600	3,592	3,617	3,453	3,419	3,268	3,368	3,405
腰椎麻酔	2,001	2,115	2,061	2,159	2,158	1,991	2,065	1,833	1,790	1,898
硬膜外麻酔	3	0	3	0	0	2	6	2	2	0
局所麻酔	2,127	2,133	2,178	2,386	2,346	2,414	2,597	2,768	2,723	2,755
静脈麻酔	255	214	246	263	299	511	349	268	304	260
麻酔なし	178	123	58	77	49	46	26	24	17	12
合計	7,845	7,935	8,146	8,477	8,469	8,417	8,462	8,163	8,204	8,330

麻酔科依頼件数(2013～2022年度)

種類	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
全身麻酔	3,281	3,350	3,600	3,592	3,617	3,453	3,419	3,268	3,368	3,405
硬膜外麻酔	3	0	3	0	0	2	6	2	2	0
腰麻・局麻	452	416	432	415	467	628	453	416	400	337
麻酔科依頼										
合計	3,736	3,766	4,035	4,007	4,084	4,083	3,878	3,686	3,770	3,742
麻酔科依頼の割合	47.6%	47.5%	49.5%	47.3%	48.2%	48.5%	45.8%	45.2%	46.0%	44.9%

表1 手術件数(麻酔別)(2013～2022年度)

種類	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
全身麻酔	3,281	3,350	3,600	3,592	3,617	3,453	3,419	3,268	3,368	3,405
全身麻酔以外	4,564	4,585	4,546	4,885	4,852	4,964	5,043	4,895	4,836	4,925
合計	7,845	7,935	8,146	8,477	8,469	8,417	8,462	8,163	8,204	8,330

表2 手術件数(麻酔別)(2013～2022年度)

種類	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
全身麻酔	3,281	3,350	3,600	3,592	3,617	3,453	3,419	3,268	3,368	3,405
麻酔科依頼	452	416	432	415	467	628	453	416	400	337
自科麻酔	4,112	4,169	4,114	4,470	4,385	4,336	4,590	4,479	4,436	4,588
合計	7,845	7,935	8,146	8,477	8,469	8,417	8,462	8,163	8,204	8,330

表1 手術件数(麻醉別)

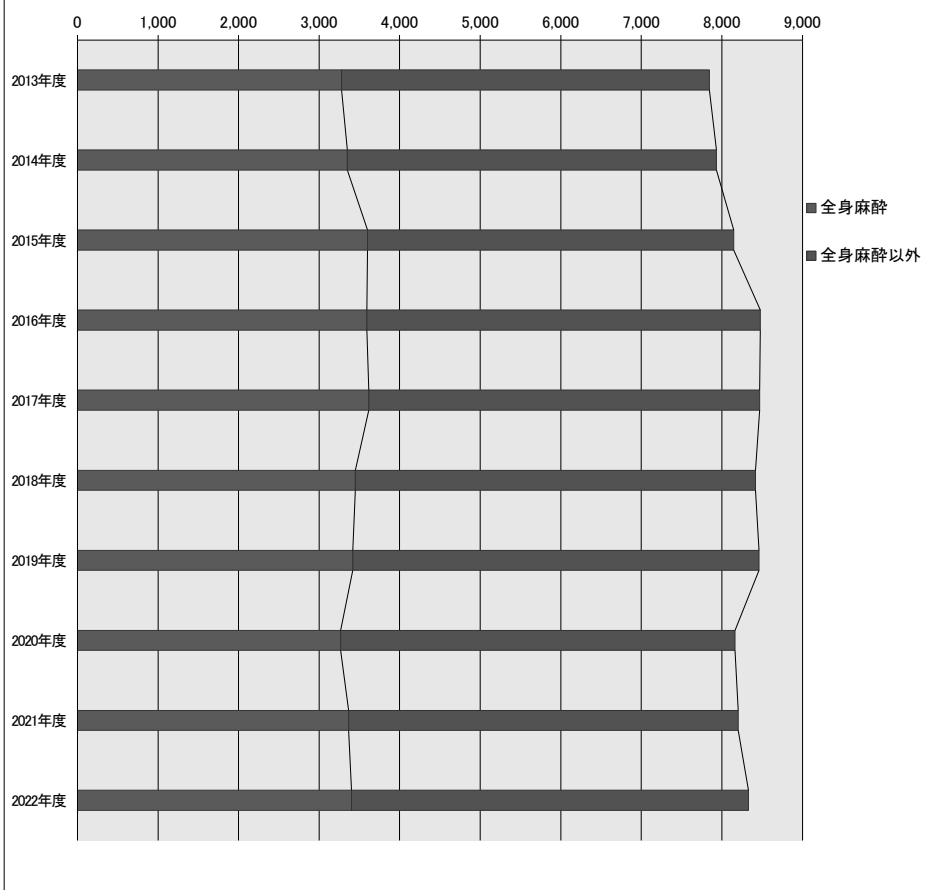
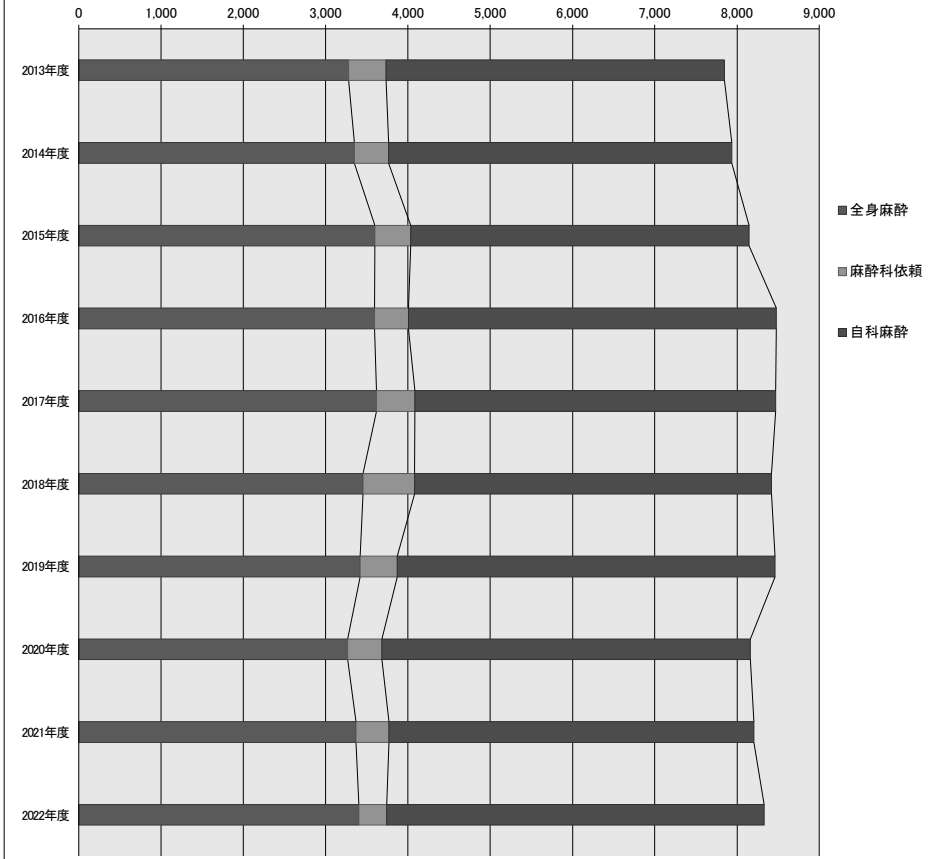


表2 手術件数(麻醉別)



●泌尿器科 (2022年)

2022年泌尿器科手術件数

術式	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
CAPDカテーテル抜去術								1					1
ESWL	2	1	2	1	2	1	1	1	1		3		15
f-TUL	10	19	21	19	18	24	18	29	16	10	18	9	211
TUL	1	3	4	3	3	1	4	4	6	3	1	3	36
PNL&f-TUL	1	2	1	1	1					2		1	9
PNL	4	2	2		2		2		2	2	1	1	18
TUVAL	2	7	4	4	5	5	4	5	7	5	4	2	54
パウチ内結石破砕術	1												1
ヘルニア手術(鼠径ヘルニア)	1	1	1	1		2				1		2	9
リンパ節群郭清術(骨盤)												1	1
陰嚢水腫手術(その他)	1	1			4	2	2	4		1	3	1	19
陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)								1					1
経尿道的憩室電気凝固術	1									2	1		4
経尿道的腎盂尿管腫瘍摘出術											1		1
経尿道的前立腺核出(TUEB)	6	5	4	6	6	3	1	2	9	6	8	2	58
経尿道的前立腺切除(TURis-P・TURis-V)				2	2		1	3					8
経尿道的尿管ステント留置術						1	2						3
経尿道的尿管癌切除術			1										1
経尿道的膀胱腫瘍切除(PDD使用TURis-Bt)	4	5	8	5	4	7	7	4	5	7	6	4	66
経尿道的膀胱腫瘍切除(TURis-Bt)	13	15	18	8	11	11	13	11	12	9	12	12	145
根治的腎摘除術(静脈血栓摘出術含まない)	1		1				1		1				4
根治的腎尿管摘除術			1										1
根治的腹腔鏡下腎摘除術	1		1			1		4		1	1		9
根治的腹腔鏡下尿管摘除術	1	1	2	1	1	3	3	3	3		1		19
腹腔鏡下腎摘出術		1	1				1			1	1		5
腹腔鏡下副腎摘出術						1	1						2
女子尿道脱手術(カルンクルス含む)		1		1							1	1	4
除睾術	2	2	1	2	2		3	2	1		3	2	20
腎摘出術		1					1				1	1	4
腎部分切除術(ダヴィンチ支援機器使用)		2	1	2	3	1		1	3	2	2	5	22
精索静脈瘤手術(高位結紮術)				1									1
精索捻転手術(対側精巣固定術を伴う)	3	3	1	3	1		2	1	1				15
精巣高位摘除術	3	1	2		1	2	1			1		1	12
前立腺生検	42	30	35	38	30	35	30	25	36	44	41	45	431
前立腺生検(フュージョン)	11	7	15	4	6	5	4	9	5	12	10	6	94
根治的前立腺全摘除術	1	1	2	3	2		3			3			15
前立腺全摘除術(ダヴィンチ支援機器使用)	2	4	4	7	1	6	2	8	5	3	1		43
前立腺膿瘍穿刺術								1					1
前立腺被膜下摘出術									1				1
内視尿道切開	1	1				3	2				1	1	9
尿管鏡検査	3	3	5	4	4	5	6	3	6	5	2	7	53
尿管皮膚瘻造設術		1											1
尿管膀胱吻合術						1							1
尿膜管摘出術		2					1	1					4
包茎手術(環状切除術)	2	2		1			1	2	3		2	1	14
包皮結紮術		1											1
膀胱異物摘出術(経尿道的手術)			2										2
膀胱鏡検査						1					1		2

2022年泌尿器科手術件数

術式	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
膀胱憩室切除術										1			1
膀胱後壁部分切除術								1					1
膀胱水圧拡張術	1	2			1	1		1	1			2	9
膀胱生検		1				4			1	1			7
腹腔鏡下膀胱全摘(回腸導管)ダウインジ使用	2				2		1			1		1	7
膀胱全摘(回腸導管)		1			1		1			1			4
膀胱全摘(尿管皮膚瘻造設術)									1				1
膀胱腸瘻閉鎖術(その他のもの)										1			1
膀胱尿管逆流手術	1												1
膀胱破裂閉鎖術						1							1
膀胱瘻造設術				1									1
回腸導管尿管吻合部狭窄拡張術						1							1
総計	124	129	140	118	113	128	119	127	126	125	126	111	1,486

●神経精神科（2022年度）

入院（2022年度）

年度	新入院件数	退院件数
1965	91	36
1970	204	195
1975	224	218
1980	212	210
1985	293	278
1990	282	282
1995	313	319
1996	340	335
1997	384	387
1998	358	356
1999	354	343
2000	349	357
2001	376	379
2002	334	330
2003	315	320
2004	323	316
2005	331	336
2006	228	273
2007	206	218
2008	184	201
2009	239	307
2010	247	286
2011	309	290
2012	314	336
2013	272	281
2014	290	288
2015	300	309
2016	284	283
2017	279	273
2018	269	270
2019	233	237
2020	199	198
2021	164	169
2022	182	177

2022年度 平均在院日数 64.0日

入院形態別 入院状況（2022年度、在院は2022年6月30日現在）

	在院患者数	%	新入院件数	%
任意入院	9	28.1	75	41.2
医療保護入院	22	68.8	95	52.2
応急入院	0	0	0	0
措置入院	1	3.1	8	4.4
緊急措置入院	0	0	4	2.2
その他	0	0	0	0
合計	32	100	182	100

疾病分類別 入院状況（2022年度、在院は2022年6月30日現在）

	在院患者数	%	新入院件数	%
F0：症状性・器質性	1	3.1	10	5.5
F1：精神作用物質性	0	0	4	2.2
F2：統合失調症	17	53.1	77	42.3
F3：気分（感情）障害	9	28.1	56	30.8
F4：神経症性	1	3.1	8	4.4
F5：生理：身体的要因	1	3.1	5	2.7
F6：人格障害	0	0	0	0
F7：知的障害	1	3.1	2	1.1
F8：心理的発達障害	2	6.3	6	3.3
F9：小児・青年期障害	0	0	0	0
G4：てんかん	0	0	5	2.7
その他	0	0	9	4.9
合計	32	100	182	100

外来患者数（2022年度）

ICD-10	女		女 集計	男		男 集計	総計
	再診	初診		再診	初診		
F0	53	6	59	41	7	48	107
F1	14	4	18	47	5	52	70
F2	379	20	399	397	14	411	810
F3	422	39	461	282	26	308	769
F4	291	38	329	159	12	171	500
F5	43	3	46	25	1	26	72
F6	9	2	11	8	1	9	20
F7	43	16	59	59	24	83	142
F8	73	5	78	189	16	205	283
F9	41	7	48	106	4	110	158
G3	2		2	3	1	4	6
G4	119	1	120	137	6	143	263
その他	19	22	41	21	16	37	78
総計	1,508	163	1,671	1,474	133	1,607	3,278

年齢	女		女 集計	男		男 集計	総計
	再診	初診		再診	初診		
0-9	27	3	30	71	10	81	111
10-19	169	37	206	267	23	290	496
20-29	126	30	156	103	20	123	279
30-39	145	22	167	123	17	140	307
40-49	229	18	247	248	14	262	509
50-59	246	19	265	236	15	251	516
60-69	229	12	241	190	11	201	442
70-79	214	12	226	172	17	189	415
80-89	100	9	109	62	3	65	174
90-99	23	1	24	2	3	5	29
総計	1,508	163	1,671	1,474	133	1,607	3,278

●救命救急センター（2022年度）

外来部門

【1】受診数等

総受診数 44,365 人

入院 6,782 人

入院率 15.3%

年 度	2022 年度	2021 年度
受 診 数	44,365	38,154
入 院 数	6,782	7,032
紹 介 数	2,523	2,714
救 急 車	8,904	7,792
手 術	299	327
外 来 死 亡	249	202

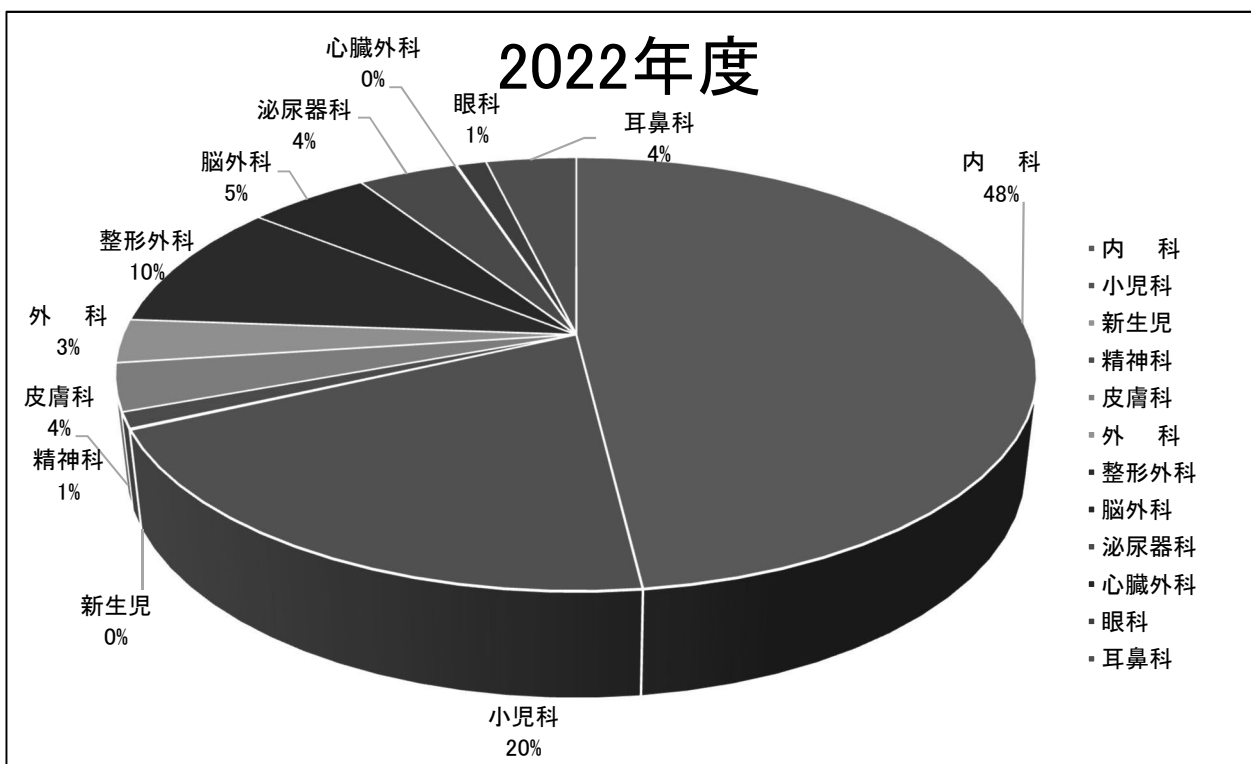
【2】診療科別受診数

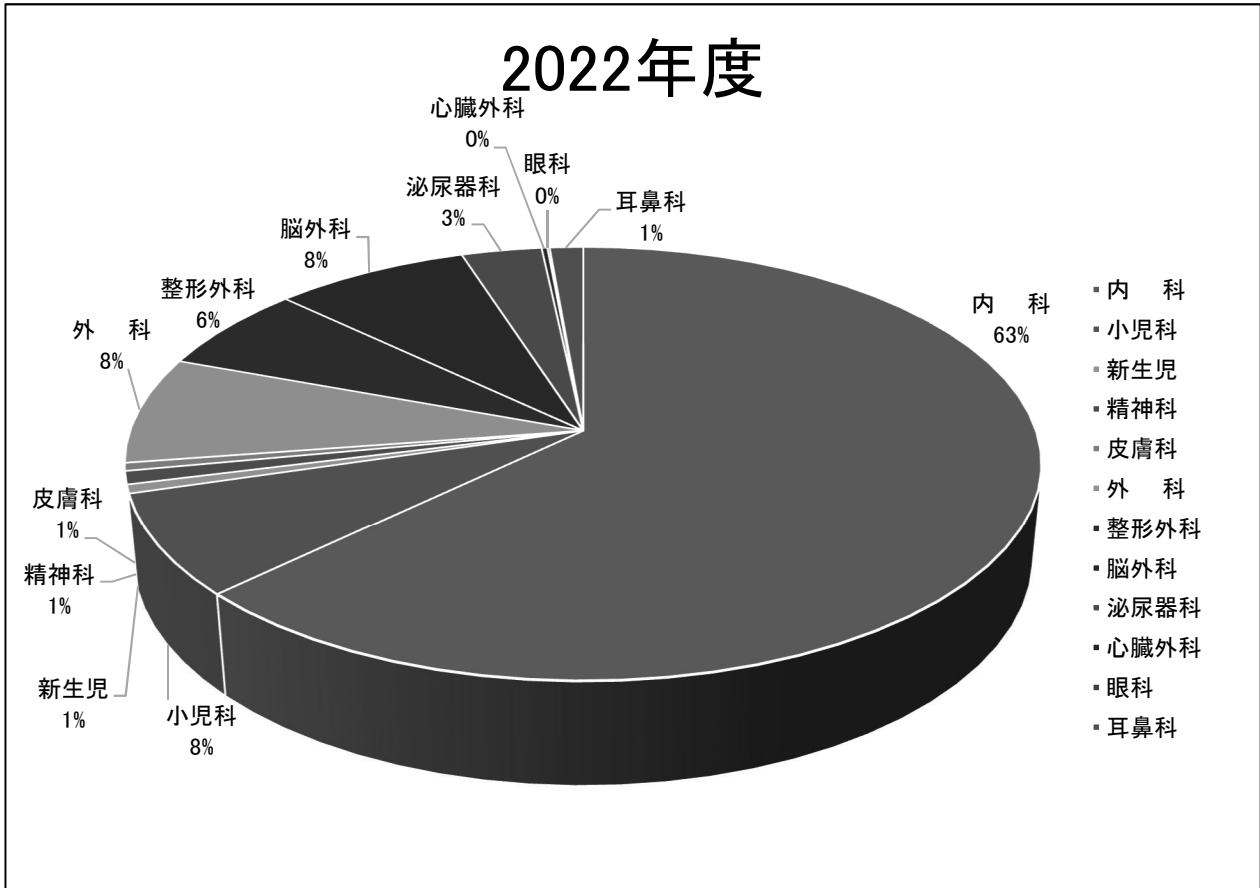
診療科別の受診数を示す。

年 度	2022 年度	2021 年度
内 科	19,755	16,704
小 児 科	8,223	5,535
新 生 児	42	43
精 神 科	484	447
皮 膚 科	1,451	1,319
外 科	1,337	1,341
整 形 外 科	3,931	3,861
脳 外 科	2,079	1,915
泌 尿 器 科	1,702	1,495
心 臓 外 科	26	38
眼 科	508	626
耳 鼻 科	1,549	1,533
歯 口 科	342	371
産 婦 人 科	780	863
透 析 科	211	254
麻 酔 科	2	5
形 成 外 科	1,943	1,804

【3】外来診療科別比率

外来受診数





【4】市町村別受診数

市町村名	2022年度	2021年度
旭市	16,015	13,531
銚子市	5,370	4,891
匝瑳市	4,943	4,429
東庄町	1,834	1,496
香取市	4,459	3,647
東金市	642	464
九十九里	222	234
大網白里	172	151
鹿嶋・神栖	3,677	3,174

【5】年齢別受診数

	受診者数 (人)	入院数 (人)	入院率 (%)
10歳未満	8,491	496	5.8%
10代	3,142	98	3.1%
20代	2,997	149	5.0%
30代	3,043	212	7.0%
40代	3,161	286	9.0%
50代	3,788	498	13.1%
60代	4,670	910	19.5%
70代	6,976	1,682	24.1%
80代	5,974	1,728	28.9%
90歳以上	2,123	723	34.1%
年齢不明	0	0	100%

入院部門統計

救命救急センター入院状況

ERW-A病棟/04-I病棟 入院数 (人)

4月	76	12
5月	81	11
6月	79	19
7月	67	16
8月	87	10
9月	76	10

10月	77	15
11月	64	16
12月	85	18
1月	90	20
2月	65	17
3月	59	17

ERW病棟 (04-I含む) 入院数計

2020年度	1,148人
2021年度	1,106人
2022年度	1,087人

メディカル・コントロール (MC) 部門

- 【1】事後検証
- 【2】プロトコール策定
- 【3】症例検討会
- 【4】教育

●緩和ケアセンター（2022年度）

緩和ケア病棟年間報告

2022年度（2022/4/1～2023/3/31）

1：依頼科

科別	消化器内科	呼吸器内科	血液内科	泌尿器科	婦人科	脳外科	歯口科	外科	耳鼻科	皮膚科	整形外科	眼科	合計
累計	52	36	8	19	14	4	3	15	17	2	0	0	170

2：入棟経路

	他院	自宅	一般病棟	シルバー	施設	合計
累計	2	61	104	3	0	170

3：居住地

	旭市内	旭市外	県外	合計
累計	41	98	31	170

4：年齢 性別

年齢	20以下	21～30	31～40	41～50	51～60	61～70	71～80	81以上	合計
男	0	0	1	1	2	26	40	29	99
女	0	1	1	5	5	6	20	33	71

5：原発部位（多重癌を含む）

病名	呼吸器	上部消化管	下部消化管	肝・胆・膵	婦人生殖器	乳腺	泌尿器	皮膚	頭頸部	脳	血液	原発不明	肉腫	その他	合計
累計	36	14	11	35	13	5	19	2	20	4	8	4	2	0	173

6：転帰

	死亡	在宅	転棟	転院	施設	合計
累計	151	10	2	0	0	163

7：剖検率

	剖検者数	剖検率
累計	6	4%

8：緩和ケア病棟外来受診者数（入棟相談外来） 220名

9：入棟前死亡患者数 33名

月	在院患者延数	入院患者実数	1日平均入院患者数	平均在院日数	退院患者数	死亡退院	解剖数	待機日数
4月	251	12	8.4	20.9	12	11	1	0.7
5月	306	11	9.9	27.8	11	8	0	0.6
6月	357	18	11.9	23.03	13	12	1	0.9
7月	345	13	11.1	23.8	16	14	0	1.5
8月	341	13	11.0	22.7	17	17	2	2.0
9月	360	17	12.0	25.7	11	9	0	1.3
10月	375	16	12.1	23.4	16	16	1	0.9
11月	342	16	11.4	22.1	15	15	1	1.4
12月	416	11	13.4	34.7	13	12	0	2.9
1月	391	11	12.6	35.5	11	11	0	1.7
2月	378	11	13.5	42	7	6	0	2.1
3月	564	21	18.2	26.9	21	20	0	2.8
年間	4,426	170	12.1	27.4	163	151	6	1.6

2022/4/1～2023/3/31

病院死亡者総数 1,226名
 内 癌死亡者数 548名
 その他死亡者数 678名
 緩和ケア病棟死亡者数 151名

緩和ケアチーム実績年報報告（入院）

【2022年4月～2023年3月】

新規・継続件数 46件

新規・継続	新規
件数	46

緩和ケア加算

緩和ケア診療加算	加算
件数	0

転帰 5件

転帰内容	継続 (入院)	継続 (外来通院へ)	終了 (退院)	終了 (転院)	終了 (緩和ケア病棟)	終了 (入院)	死亡
件数	3	0	1	0	13	18	11

依頼科

依頼科	内 (消化器)	内 (呼吸器)	内 (血液)	内 (神経内科)	内 (腎臓)	外 (消化器)	外 (呼吸器)	外 (甲状腺)
件数	13	5	1	0	0	4	0	0
依頼科	外 (乳腺)	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	産婦人科	皮膚科	耳鼻咽喉科	歯科口腔 外科
件数	2	0	3	3	7	0	4	4

初回依頼内容（*重複あり）

依頼内容	疼痛	その他の 身体症状	精神	家族ケア	スピリチュ アルペイン	倫理	告知意思 決定支援	療養	その他
件数	20	8	17	3	4	0	0	0	11

※（ ）内は非がん患者件数となります

●PET画像診断センター・核医学科（2022年度）

2020年初頭に始まった新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、長期にわたって核医学部門は検査依頼件数の減少という形で影響を受けてきた。今年度もその影響は持続しており、前年度に比して検査件数はPET/CT検査で微増、その他の核医学検査で減少という結果であった。ただし、近隣医療機関からの紹介による検査、人間ドックのPET/CT検査は概ね横ばいの経過であり、今後院内の検査においても徐々にコロナ以前の状況に戻っていくことを期待する次第である。

近年目覚ましい核医学治療の発展を受け、当院でもRI内用療法を拡充すべきであると考えてきた。2022年6月に核医学科外来（完全予約制）を開設したのは大きな動きであるが、初年度は治療自体の認知度の限界もあって依頼が少なく、外来診療および治療を行ったのは甲状腺癌術後のヨードアブレーション治療1件のみにとどまった。一方、前年度に保険承認された難治性神経内分泌腫瘍に対するルタテラ®治療を院内で実施可能とすべく、関連科および10階東病棟のスタッフでワーキンググループを立ち上げて準備を進め、2023年度初頭より本治療の院内実施が可能となった。地域の患者の利便性向上は当然として、「院内でできる治療を院内で行う」ことで少しでも都心の治療枠への圧迫軽減に寄与できればと考えている。

今後の展開として、本稿執筆時点では保険適用外であるが、近い将来に承認が期待されるアミロイドPETを院内で実施できるよう環境を整えていく予定である。RI内用療法についても県内の主要医療機関と連携しつつ、院内での実施を活発化していきたいと思う。

最後に2022年度のPET/CT検査の実施件数（合計1,492件）、シンチおよびSPECT(/CT)検査の実施件数（合計1,724件）の内訳を表1、2に示す。

表1 PET/CT検査数

	件数
診療	1,319（うち他院紹介233）
ドック	173

表2 シンチおよびSPECT(/CT)検査数

検査名	件数	検査名	件数
骨シンチ	452	脳血流シンチ (^{123}I -IMP)	226
ガリウムシンチ	150	脳DATシンチ	152
肺換気血流シンチ	25	副甲状腺シンチ	24
心筋血流シンチ ($^{99\text{m}}\text{Tc}$ -MIBI)	295	唾液腺シンチ	15
心筋血流シンチ (^{201}Tl Cl)	57	センチネルリンパ節シンチ ($^{99\text{m}}\text{Tc}$ -フィチン酸)	117
心筋MIBGシンチ	104	甲状腺摂取率シンチ	21
心筋ピロリン酸シンチ	37	その他	49

注：年間施行件数が10件以下の検査（消化管出血シンチ、リンパ管シンチ、腎動態シンチ、ソマトスタチン受容体シンチ、副腎シンチなど）については「その他」に集約した

●集中治療科（2022年度）

ISO 質目標に基づいた振り返り

「質」目標達成計画として以下の4項目を挙げて取り組んだ。

1. 専従医師確保:2年で1名の確保を目標に、救急救命科と協働して後期研修医の勧誘と教育強化に取り組んだ。
2. 協働先救急救命科に7月から外科系の救急指導医1名を確保でき、若手の教育に尽力して頂いている。引き続きリクルート活動を継続中。
3. 電子パス導入の推進:心臓外科のTAVI(経カテーテル的大動脈弁植込み術)症例について循環器内科と共に電子パス作成を検討中。
4. 標準化死亡比の改善:30%以下を目標に、VAP発生率8%未満を実現するため、VAP予防バンドルの実施徹底に取り組んだ。VAP発生率は6.3%、人工呼吸器装着1000日あたりのVAP発症例数は8.9症例と、それぞれ4.5ポイント、6.3症例悪化したにも関わらず標準化死亡比は26%と13ポイント改善した。これは2021年度のCOVID-19(27症例)の標準化死亡比が95と極めて高かったのに対して2022年度のCOVID-19(3症例)の標準化死亡比が28と大きく改善したためと考える。VAP発生率が10%を超えている心臓外科症例において特に人工呼吸器からの早期離脱が望まれる。
5. 平均在室期間の短縮:在室14日を越える症例の5%以下への削減に取り組んだ。平均在室日数は6.7日と0.6日増加、在室14日を越える症例は7.7%と1.8ポイント悪化、集中治療加算対象外の在留日数は18%と1ポイント悪化した。目標達成のためには引き続き長期滞在症例の削減が必須と考える。

診療実績

	2022年度 集中治療科 入退室動向(2022.4.1~2023.3.31)																		
	入室数	科別割合	予定手術後	院内急変	救外	死亡数	死亡率(%)	平均滞在日数	>2週滞在率	CRRT施行率	CRRT日数	APACHE2	予測死亡率	標準化死亡比	人工呼吸器例数	平均人呼日数	VAP発生率	VAP/1000d	SOFA
心臓外科	39	22	31	2	6	2	5	8	7.7	5%	9	19	33	15	36	7	11	31	9
内科	96	53	0	82	14	11	11	6	7.3	9%	3	16	28	41	27	10	4	4	6
外科	31	17	9	20	2	2	6	9	10	19%	9	21	42	16	23	7	4	5	9
透析科	1	1	0	0	1	0	0	1				22	42	0	0				6
脳外科	2	1	0	1	1	0	0	6				26	57	0	1	7			12
整形外科	3	2	0	2	1	0	0	18	33			24	50	0	2	18			9
泌尿器科	1	1	0	1	0	0	0	4		100%	1	25	53	0	0				11
歯口科	5	3	5	0	0	0	0	2				17	28	0	5	2			5
産婦人科	2	1	0	2	0	0	0	2				18	29	0	1	2			5
耳鼻科	1	1	0	0	1	0	0	10				15	21	0	1	8			9
形成外科	0																		
合計	181	100	45	110	26	15	8.3%	6.7	7.7%	10%	5.7	18	32	26	96	7.0	6.3%	8.9	7.0

(25% 61% 14%)

CRRT: continuous renal replacement therapy: 持続腎代替(透析)療法

APACHE II: acute physiologic and chronic health evaluation II: 重症度評価の指標

標準化死亡比(SMR: standardized mortality ratio): ICU死亡率/予測死亡率

VAP: ventilator-associated pneumonia: 人工呼吸器関連肺炎

VAP/1000d: 人工呼吸器装着1000日あたりのVAP発症例数

SOFA: sequential organ failure assessment score: 臓器障害/不全評価の指標

●臨床病理科 (2022年)

2022年のスタッフは常勤医師4名、臨床検査技師12名、電子顕微鏡技師1名、診療情報管理士1名、医療事務1名の体制にてスタートした。

ISO15189の定期審査にも通り、認定を継続している。

このような忙しい中でも長谷川隼医師が病理専門医資格を取得、小久保侑美技師が認定病理検査技師資格を取得する。

遠隔病理診断センターはさんむ医療センター、東京本郷の旭中央病院附属病理診断科診療所共に順調に稼働中である。

検体数(2022年)

	剖検	細胞診	組織	組織至急	迅速	電顕手術例	電顕剖検例	蛍光手術例	蛍光剖検例	免疫手術例	免疫剖検例	特染手術例	特染剖検例	組織ブロック	剖検ブロック	免疫関連遺伝子再構成手術例	Her2遺伝子手術例
1月	8	956	864		26	3		13		314	19	219	15	4,804	535		7
2月	6	911	854	2	27	11		15		340	27	248	24	4,577	598	3	2
3月	4	1,028	1,000		28	12		20		422	19	307	21	5,132	382	2	7
4月	5	1,012	888		26	11		13		356	5	246	4	4,709	210		10
5月	5	1,033	846	1	27	8		11		339	18	236	17	4,132	397	1	6
6月	8	1,168	1,039		25	8		10		362	20	254	18	5,301	753	3	12
7月	3	1,022	977	1	25	14		19		363	20	283	19	5,100	401	4	7
8月	5	980	998	1	36	9		23		376	17	275	16	5,026	503	1	8
9月	7	1,049	924		28	7		14		383	8	278	9	5,136	282	2	7
10月	7	1,236	913	1	28	5		20		345	19	251	16	5,022	741		6
11月	4	1,321	938	2	32	11		18		376	24	261	20	4,835	443	3	9
12月	8	1,098	876	2	24	13		18		378	24	268	24	4,619	447	4	9
合計	70	12,814	11,117	10	332	112		194		4,354	220	3,126	203	58,393	5,692	23	90

発行レポート、染色枚数

	仮発行レポート	発行レポート	再発行レポート	手術(HE)	手術(特染)	剖検(HE)	剖検(特染)	手術(免疫種類)	手術(免疫枚数)	剖検(免疫種類)	剖検(免疫枚数)	手術(免疫+IHC+I)	剖検(免疫+IHC+I)
1月		818	156	5,073	901	662	352	343	408	18	30	686	36
2月		889	156	4,838	1,107	723	432	381	470	18	26	762	36
3月		999	224	5,466	1,146	411	298	450	549	8	14	900	16
4月	1	913	176	4,973	1,036	235	108	445	510	1	1	890	2
5月	1	825	195	4,393	1,001	453	382	377	438	4	7	754	8
6月		1,022	187	5,599	1,004	870	489	427	521	17	38	854	34
7月	1	1,006	170	5,390	1,261	508	299	388	494	19	39	776	38
8月	1	981	169	5,379	1,176	598	395	420	508	6	6	840	12
9月	2	917	202	5,454	1,028	300	242	410	513	8	10	820	16
10月		954	165	5,314	1,022	829	486	401	488	17	33	802	34
11月	1	912	188	5,143	1,329	558	364	417	522	27	30	834	54
12月		924	198	4,964	1,146	528	332	377	481	8	9	754	16
合計	7	11,160	2,186	61,986	13,157	6,675	4,179	4,836	5,902	151	243	9,672	302

剖検

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	健診	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月				1					4			1						2					8
2月				1					4			1											6
3月									2			1		1									4
4月									4		1												5
5月						1			2			1	1										5
6月									6			2											8
7月									2			1											3
8月									4													1	5
9月									7														7
10月						1			5		1												7
11月									2			2											4
12月									7									1					8
合計				2		2			49		2	9	1	1				3				1	70

細胞診

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	健診	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月	1	498		236		32			70		11		1	1		8	1		86		11		956
2月	3	499		193		32			60		12			3		12			87		10		911
3月	1	555		250		32			55		24	2		1		11	1		88		8		1,028
4月	5	550		227		29			74		24	4		1	1	11			80		6		1,012
5月	2	555		240		32			59		22			1		3	1		107		11		1,033
6月	4	671		248		30			59		22	1	3	6		9			108		7		1,168
7月	4	543		242		21			67		20			1		15			100		9		1,022
8月	1	528		190		26			70		34	3	2	1		9			104		12		980
9月	6	543		237		45	2		55		32					10			104		15		1,049
10月	7	609		249		25		128	68		22					9			111		8		1,236
11月	3	584		228		34		261	65		25			3		10			104		4		1,321
12月	2	522		214		36		115	57		26			4	1	9			104		8		1,098
合計	39	6,657		2,754		374	2	504	759		274	10	6	22	2	116	3		1,183		109		12,814

組織診

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	健診	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月	15	112		88		129			303	56	50	5	5	6	42	32		9	8		4		864
2月	13	108		81		127		1	322	52	32	6	2	9	48	26		4	19		4		854
3月	8	127		93	3	147			365	75	38	9	2	15	43	48	4	7	11		5		1,000
4月	13	105		79	2	146			339	55	45	5	3	14	34	30	1	7	9		1		888
5月	18	113		75		140			308	53	41	6	2	4	26	30	3	8	17		2		846
6月	23	136		84	1	153			385	65	55	8	4	7	50	32	2	9	22		3		1,039
7月	20	122		79		139			369	73	45	9	6	12	43	30	2	7	20		1		977
8月	16	124		72		133		3	387	79	54	5	3	7	44	47	1	6	13		4		998
9月	13	129		82		133			342	56	50	7	2	7	34	33	3	4	21		8		924
10月	17	117		97	2	134		1	311	77	42	5	4	6	39	33	1	8	12		7		913
11月	16	113		86	1	134			352	65	62	3	1	3	47	30	1	7	15		2		938
12月	15	116		91		130			323	51	38	4		8	36	33	2	12	14		3		876
合計	187	1,422		1,007	9	1,645		5	4,106	757	552	72	34	98	486	404	20	88	181		44		11,117

組織至急検体

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	健診	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計	
1月																								
2月									1							1								2
3月																								
4月																								
5月																1								1
6月																								
7月											1													1
8月									1															1
9月																								
10月																1								1
11月									1							1								2
12月											1					1								2
合計									3		2					5								10

迅速診断

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	健診	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計	
1月		1		2		20					1	2												26
2月		4		1		19						2			1									27
3月		2				20					1	4				1								28
4月		2				21					1	2												26
5月				3		21						3												27
6月		1				21						3												25
7月				2		16						5			1	1								25
8月		4		1		26						4			1									36
9月		2		1		21						3										1		28
10月		1		2		22						2				1								28
11月		5				26										1								32
12月		2		1		19					1	1												24
合計		24		13		252					4	31			3	4						1		332

免疫組織化学

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	健診	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計	
1月	1	5		12		65			36	6	6	3	2		1	3						3	143	
2月		9		12		64			41	8	9	6	2	1	2	2								156
3月		10		22		72			48	12	3	10	1	3	1	3						1		186
4月		7		19		64			41	8	8	3	1	1	2	2								156
5月		8		12		70			31	6	6	7			2	1								143
6月		15		18		76			36	4	10	5		1	3	2	1		3					174
7月		9		16		75			33	5	3	4	1		1	2			1					150
8月		7		15		82			44	3	9	6			1	3						1		171
9月		8		17		82			33	10	14	6			2	2			1		2			177
10月		12		17		69			37	9	9	6	1		1									161
11月		11		16		70			45	6	18	2				2								170
12月		9		19		72			30	10	10	3			1	3						1		158
合計	1	110		195		861			455	87	105	61	8	6	17	25	1		5		8			1,945

蛍光抗体法

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	健診	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月										11				2									13
2月									1	7				7									15
3月									1	11				8									20
4月									2	4				7									13
5月									2	6				3									11
6月					1				1	5				3									10
7月									2	8				9									19
8月									3	15				5									23
9月									2	8				4									14
10月									1	16				3									20
11月									2	14				2									18
12月									3	9				5		1							18
合計					1				20	114				58		1							194

電子顕微鏡検査

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	健診	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月									1					2									3
2月									4					7									11
3月									3	1				8									12
4月									4					7									11
5月									5					3									8
6月					1				4					3									8
7月									5					9									14
8月									4					5									9
9月									3					4									7
10月									2					3									5
11月									9					2									11
12月									8					5									13
合計					1				52	1				58									112

遺伝子検査

	RAS	大腸 BRAF	EGFR	ALK	ALK	ALK	遺伝子 再構成	HER2	CDK N2A	1p/ 19q	MYC	PD-L1	ROS1	皮膚 BRAF	MSI	MYD 88	オンコ マイン	MET	ア モ イ	その他	計	
	Q-PCR	Q-PCR	Q-PCR	RT-PCR	iAEP	FISH	E-PCR	FISH	FISH	FISH	FISH	IHC	RT-PCR	皮膚 PCR	PCR	PCR	Dx					
1月	9	9	6	0	5	0	0	7	0	0	0	11	6	0	25	0	3	5		パネル 1	87	
2月	9	9	2	0	1	0	2	2	0	0	0	7	1	0	14	1	3	0	1	CCR4 1	52	
3月	5	5	4	0	2	0	3	7	0	0	1	13	2	1	8	0	5	5		myChice 1	62	
4月	2	2	3	0	1	0	0	7	0	0	0	12	1	1	4	1	2	3	4		43	
5月	5	5	2	0	2	0	1	10	0	0	0	16	2	0	11	0	6	4	2		66	
6月	5	5	2	0	0	0	3	7	0	0	0	12	0	1	20	0	2	2	4		63	
7月	9	9	2	0	1	0	4	7	0	0	0	15	2	0	12	0	8	1	3	CCR4 2 EZH2 1	76	
8月	7	7	1	0	1	0	0	9	0	0	0	12	1	0	15	0	1	3	3	myChice 1 CCR4 1	62	
9月	3	3	4	0	1	0	2	8	0	0	0	13	1	0	10	1	4	3	7	CCR4 1	61	
10月	2	2	1	0	1	0	2	10	0	1	1	17	1	0	4	1	1	1	10		55	
11月	1	1	2	0	0	0	4	5	0	0	0	19	2	0	5	0	0	0	13	CCR4 1 RET 1	55	
12月	4	4	1	0	0	0	3	13	0	0	0	13	0	0	13	0	0	0	5		56	
計	61	61	30	0	15	0	24	92	0	1	2	160	19	3	141	4	35	27	52		11	738

●遠隔病理診断センター(2022年度)

インターネット回線を介した遠隔デジタル病理診断システムを用いて、旭中央病院の病理診断の充実を図るとともに、地域の拠点病院として地域の病理診断を支援している。

旭中央病院の病理診断支援実績に関しては病理診断科診療所の項目で報告する。ここではさんむ医療センター（山武市）との間で行っている遠隔病理診断実績について報告する。なお、旭中央病院は地域がん連携拠点病院であり、地域がん診療病院であるさんむ医療センターとグループ指定を受けており、遠隔病理診断はがん診療連携の一環でもある。

遠隔デジタル病理診断システムによる組織診断、細胞診断に加え、Skype を用いてさんむ医療センター検査課臨床検査技師と協力して手術標本の切り出しも行っている。複雑な症例の癌の広がり把握に有用である。また迅速診断の際にも、インターネット経由で標本作製の進行状況を把握しながら診断を行うことができている。また、診療以外の活動として、さんむ医療センターで年4回開催されているキャンサーボードに向けて、毎回、総計5症例について病理診断、組織所見の解説を音声付きパワーポイントとして提供した。

以下に各診断件数、および免疫染色件数を示す。

	組織診	迅速 組織診断	細胞診	迅速 細胞診	免疫染色
2022年4月	60	1	105	1	2
5月	56	1	127	2	2
6月	64	1	133	2	9
7月	61	0	104	1	13
8月	65	2	121	1	18
9月	59	0	137	1	12
10月	72	0	139	3	21
11月	68	1	137	2	5
12月	68	1	149	0	8
2023年1月	59	0	119	0	13
2月	53	0	110	1	11
3月	74	5	126	2	19
計	759	12	1,507	16	133

なお、新たに東総・北総地域の連携として、柏市にある病院との間で遠隔病理診断を開始するべく、準備を進めている。

●遺伝子診療科（2022年度）

1年間のトピックス

2022年10月より、産婦人科の高橋が遺伝子診療科も兼任することになり、主に遺伝性乳癌卵巣癌（HBOC）にかかわる遺伝学的検査および、そのための遺伝カウンセリングを行う体制を構築した。

医局会や院内メールを活用して *BRCA1/2* 遺伝子検査提出体制の情報提供を行なった結果、2022年10月以降は産婦人科、乳腺センター、泌尿器科から検査依頼をしていただけるようになった。遺伝カウンセリング加算の算定には施設認定の維持が必要であり、1月から12月までの間に20件以上の遺伝カウンセリング実施実績が求められているが、必要件数を満たすことができた。

がん遺伝子パネル検査については、がんゲノム医療連携病院としての認定要件を満たすために調整を行い、2023年度の内容ではあるが2023年6月1日をもって承認を得ることができた。

2023年度には消化器内科からも膵臓癌関連の *BRCA1/2* 遺伝子検査を実施できるようさらに窓口を広げ、HBOC以外の遺伝学的検査およびそのための遺伝カウンセリング体制を構築できるよう調整を進めている。また、がん遺伝子パネル検査も実施できるようになったため、さらに診療実績を充実させられるよう努めていく所存である。

診療実績 2022年度（2022年4月～2023年3月）

年間遺伝カウンセリング件数 29件

遺伝学的検査提出件数 24件



看 護 局



●看護局（2022年度）

<COVID-19の対応>

2020年春から世界的に広がった新型コロナウイルス感染症は、3年に渡り猛威を振るい私たちの生活に大きな影響を及ぼした。2023年3月末時点でのコロナ患者の総入院数は1086名となり、惜しくも97名の方が治療の甲斐なくお亡くなりになった。面会制限が続く中、患者さん、家族の気持ちに寄り添い Zoom を通しての面会や、時にはPPEを着ての直接面会等、できる限り最善の看護を提供してきた。

7波以前では経験したことがなかった院内感染が発生し、各部署で対応に追われたが、大きなクラスター発生には至らなかった。

	期間	入院数	死亡数	ECMO	人工呼吸器	NHF	NPPV
第6波	4/1～7/11	50	2	0	0	2	0
第7波	7/12～10/27	208	6	0	2	6	1
第8波	10/28～3/31	354	11	0	1	7	3
合計		612	19	0	3	15	4

	第6波	第7波	第8波	合計
香取海匠	42	172	296	510
山武長生夷隅	4	20	34	58
印旛	0	3	3	6
千葉	0	0	2	2
東葛南部	0	0	2	2
東葛北部	0	0	2	2
君津	0	0	0	0
県外	4	13	15	32
国外	0	0	0	0
合計	50	208	354	612

<看護局ナースングインディケーター（NI）の作成>

医療の質を評価する指標として、様々な施設がQI(Quality Indicator)を設定されている。看護の質も同様に指標を設定し、継続的にデータ収集、分析、評価、改善することで、質の向上を目指したいという考えでNI(Nursing Indicator)を設定している施設もある。

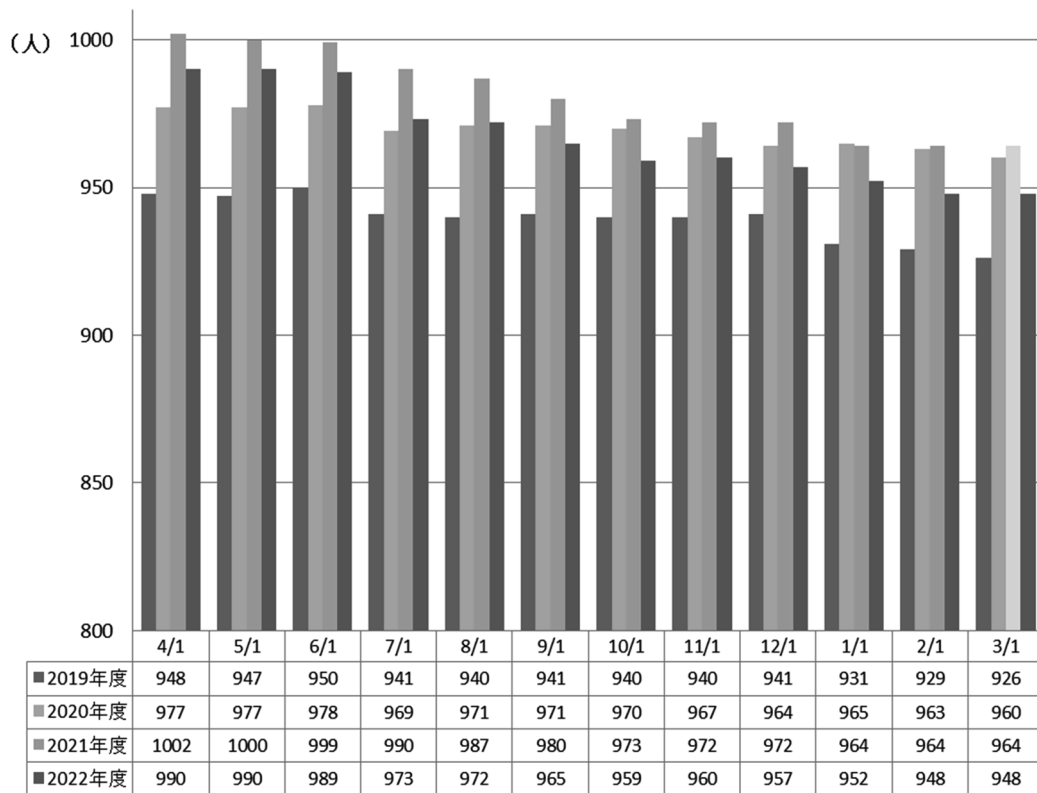
2022年に看護局の約束事としての「教育の充実」「地域貢献」「チーム医療」といった側面から、医療の質評価枠組みである「構造」「過程」「結果」の視点で指標を作成した。必要な資源を活用し日々の看護介入により患者や家族にどのようなアウトカムをもたらしているかを評価した。

評価指標および目標値と結果の一部を以下に掲載する。目標値は日本看護協会のデータベース事業（DiNQL）の病院機能および入院基本料が同じ病院でベンチマークした結果を参考に設定している。

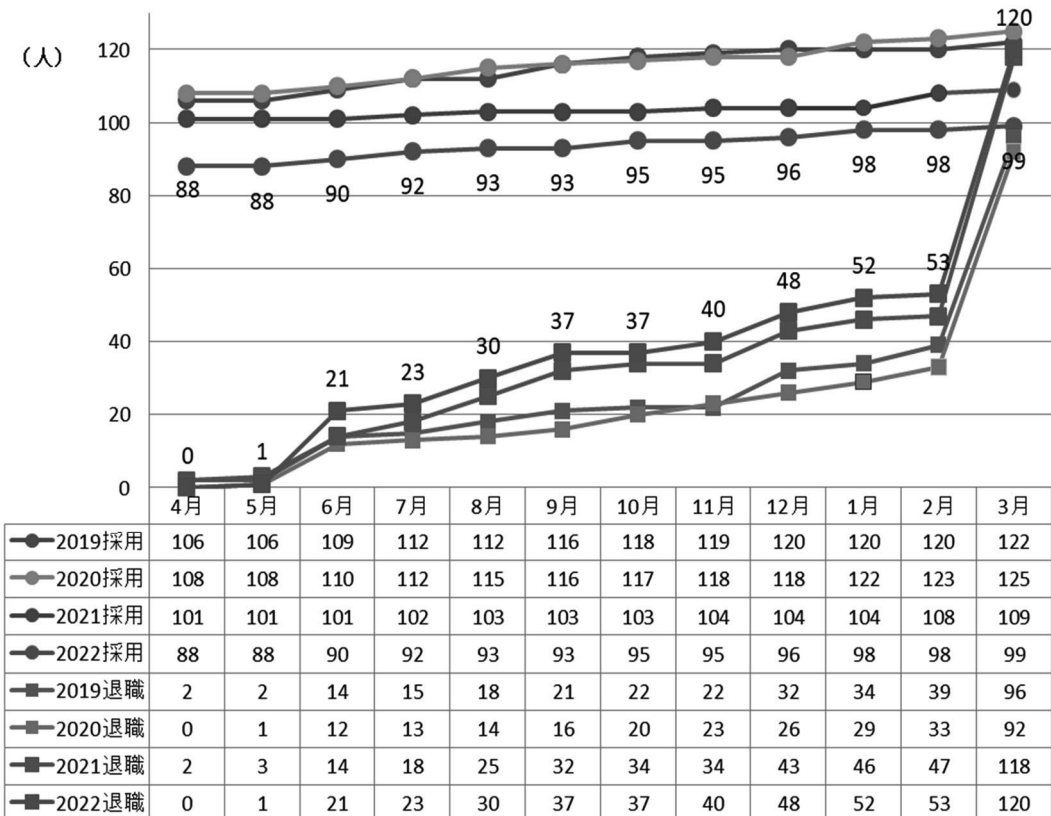
スキンケア関連の指標については目標を達成しているが、医師の参加を必須とする多職種退院ケアカンファレンスや治療方針の合意形成率などは目標値より低く、行動制限関連なども低い結果となった。これらは有効な病床管理にもつながる重要な点であり、当地域における当院の役割を果たすためにも目標達成に向けPDCAサイクルを回していく必要がある。

指標	目標値	2022年度結果
①多職種での退院ケアカンファレンスの実施割合	9.0%	5.84%
②入院後2週間以内の治療方針合意形成率	80.0%	61.90%
③身体的拘束実施割合	10.0%	11.40%
④身体拘束解除取り組んだ患者割合	10.0%	7.40%
⑤スキントラブル（IAD；失禁関連皮膚炎）発生率	8.0%	4.41%
⑥スキンケア発生率	3.0%	2.87%

2019～2022年度有資格者数推移

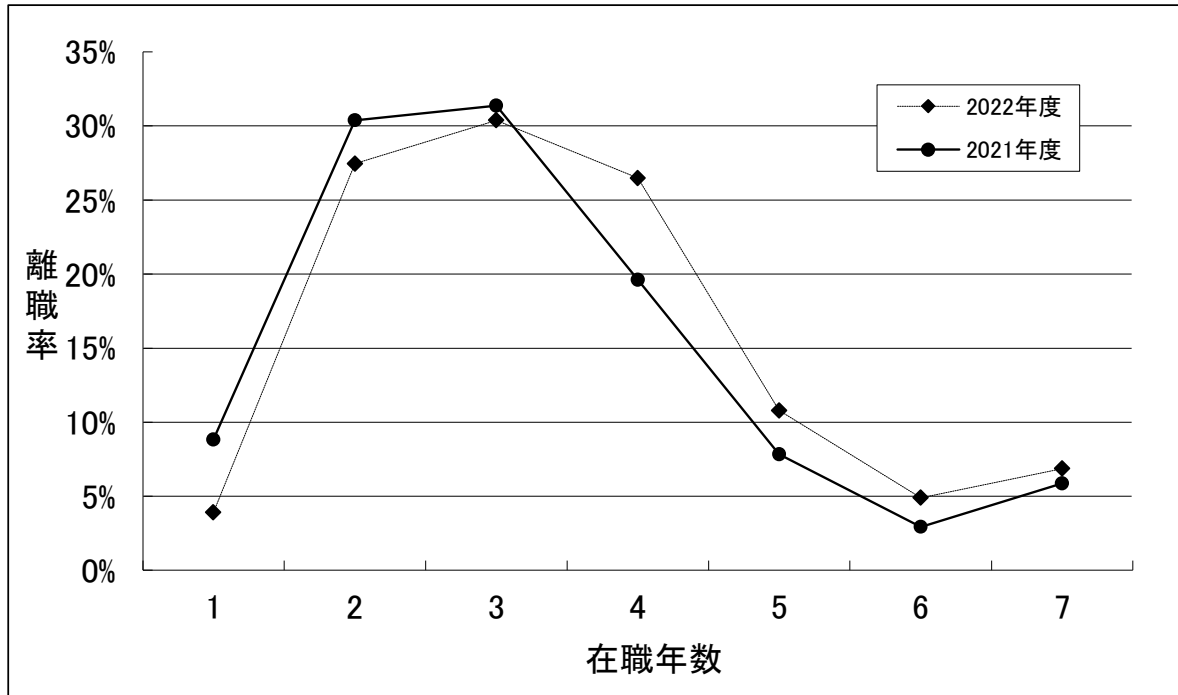


2019～2022年度 退職・採用数(累計)



在職年数別離職数及び離職率（有資格者）

在職年数		～1年	～3年	～5年	～10年	～20年	～30年	～40年以上
離職数	2022年度	4	28	31	27	11	5	7
	2021年度	9	31	32	20	8	3	6
離職率	2022年度	3.9%	27.5%	30.4%	26.5%	10.8%	4.9%	6.9%
	2021年度	8.8%	30.4%	31.4%	19.6%	7.8%	2.9%	5.9%



<EPA>

EPAとは（経済連携協定）に基づき、ベトナム政府の協力のもと、日本の看護師国家資格の取得を目指して日本で働く看護師候補生を受け入れて4年目となった。

2023年3月末現在、8人を受け入れ5人が日本の看護師国家資格を取得した。

現在、4名が中央手術室・救命救急センター・血管撮影室で勤務している。看護教育や言語・コミュニケーションの課題があり、一般科での勤務が難しい状況ではあるが、ベトナム人看護師の頑張っている姿に励まされたり、その姿を見て、自ら学ぶ姿勢が強くなったといった職員の意識に変化を与えることができている。今後、少子高齢化により就業人口が減少する中で、看護師を確保していくことが困難となることも予測される。それらを踏まえ、外国人看護師の受け入れを2027年度まで継続していくこととなった。

入職年度	氏名	国家試験合格状況				就業状況
		2019	2020	2021	2022	
2019	A	○				2020年7月退職
	B	×	×	×		2021年3月退職
2020	C			○		2022年4月～中央手術室
	D			○		2022年4月～救命救急センター
2021	E			×	○	2023年4月～中央手術室
	F			×	○	2023年4月～血管撮影室
2022	G				×	看護補助員として勤務
	H				×	看護補助員として勤務

リーダー別研修			
研修日	研修名	講師（代表者）	受講者数
6月2日	実地指導者 研修	教育委員会	50
6月15日	リーダーシップ1 研修（業務リーダー）	教育委員会	33
6月27日	2021年度のリーダーⅡ 中間進捗状況 確認検討会	教育委員会 常任	9
7月11日	メンバーシップ研修	教育委員会	83
9月21日	2年目対象 看護倫理の基本	教育委員会	中止
9月29日	2年目対象 看護倫理の基本	教育委員会	中止
10月6日	リーダー1（業務リーダー） 中間研修	教育委員会	30
10月18日	実地指導者 中間研修	教育委員会	48
10月19日	2022年度リーダーⅡ①	教育委員会 常任	20
11月28日	2022年度リーダーⅡ②	教育委員会 常任	18
12月23日	2022年度リーダーⅡ③	教育委員会 常任	20
12月23日	2021-22年度 リーダーⅡ研修・実践成果発表会	教育委員会 常任	9
1月23日	リーダー1 まとめの研修	教育委員会	28
1月24日	3年目看護師事例紹介研修発表会	教育委員会	38
1月31日	3年目看護師事例紹介研究発表会	教育委員会	36
2月2日	実地指導者 まとめの研修	教育委員会	47
2月8日	2022-23年度 リーダーⅡ研修④	教育委員会 常任	19
2月13日	令和5年度の 3年目事例紹介研究説明会	教育専従 穴澤加代子	77
3月8日	リーダーⅡ⑤	教育委員会 常任	20
3月13日	2023年度 新たに実地指導者になる方 対象 動機付け研修	教育専従 穴澤加代子	57

研究発表会			
研修日	研修名	講師（代表者）	研究者+参加
7月14日	2022年度 院内看護研究発表会	教育委員会研究グループ	98
11月10日	2022年度 院内看護研究発表会	教育委員会研究グループ	64

実践研修			
がん看護シリーズ（ビデオオンデマンド 1か月配信）			
研修日	研修名	講師（代表者）	受講者数
7月1日～ 7月31日	がん看護実践研修 がん薬物療法～使用時の当院での注意	がん化学療法看護認定看護師 金芳佳子	107
8月1日～ 8月31日	がん看護研修会 乳がんケアと患者サポート	乳がん看護認定看護師 新井田明美	91
9月1日～ 9月30日	がん看護実践研修 がん薬物療法～使用時の当院での注意	がん化学療法看護認定看護師 金芳佳子	98
10月1日～ 10月31日	がん看護研修 こころのつらさは解決できるのか？	緩和ケア認定看護師 信太千恵子	91
11月1日～ 11月30日	がん看護実践研修 緩和的放射線治療を受ける患者の看護	がん放射線療法看護認定看護師 鵜澤友美	86
12月1日～ 12月31日	がん疼痛看護 生活のしやすさ質問票・持続皮下注射の方法と 注意点	がん性疼痛看護認定看護師 石毛明子	76
高齢者・慢性期疾患シリーズ			
11月22日	認定看護師研修会 糖尿病をもつ患者様に関わる時、ぜひ注目して ほしいこと	糖尿病看護認定看護師 宮原孝子	21
1月11日	高齢者の栄養管理	摂食嚥下看護特定認定看護師 掛巢孝則	他職種含 18
クリティカルケアシリーズ			
11月11日	フィジカルアセスメント実践研修 ルーチンで終わらせない	集中ケア認定看護師 伊藤滋子	16
3月13日	RRTを知ろう	集中ケア認定看護師 伊藤滋子	20

文献検索研修			
8月個別対応	便利システムを活用した文献検索	図書室司書 長谷川亜紀	1か月間で 26
9月個別対応	便利システムを活用した文献検索	図書室司書 長谷川亜紀	1か月間で 14
10月21日 集合研修	便利システムを活用した文献検索	図書室司書 長谷川亜紀	14
2月13日 集合研修	便利システムを活用した文献検索	図書室司書 長谷川亜紀	40
臨床指導者講習会伝達			
2月14日	千葉県実習指導者講習会受講者による 伝達講習	7西 笠谷莉子 1-7 塚本 美沙子	学校教員含 44
嘔吐処理			
9月27日	実践研修 嘔吐処理セットの使い方と 感染予防	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	3
診療タスク会 特定看護師			
10月20日	診療タスク会研修 「特定看護師って何するの？」	皮膚・排泄ケア特定認定看護師 加瀬昌子	17
排尿チーム			
12月1日～ 1月28日	排尿ケアチームの実際 基本を知ろう	透析センター 土屋和佳奈 他 排尿ケアチーム	57
認定看護師 トピックス研修 医療安全			
1月20日～ 3月19日	医療安全 ～看護の根拠を考えながら～	新生児集中ケア認定看護師 飯高絵里子	28
認定看護師 トピックス研修			
1月20日～ 3月19日	レジリエンスって何？ ～しなやかな心を育む～	新生児集中ケア認定看護師 宇野優美	28
フットケアチーム研修			
6月14日	ABI測定の意義と測定方法 簡易ABI測定演習	内科科長 循環器医師 早川直樹	37
11月1日	ABI測定の意義と測定方法 簡易ABI測定演習	内科科長 循環器医師 早川直樹	22

院内認定/技能認定研修			
CVポート穿刺技能認定（ビデオオンデマンド）			
1月20日～ 1月31日	CVポート院内技能認定研修会 第V期	化学療法看護認定看護師 金芳佳子	21
1月20日～ 1月31日	CVポート 第I～V期フォローアップ研修	化学療法看護認定看護師 金芳佳子	92
PICC技能認定（ビデオオンデマンド）			
7月1日～ 8月31日	PICC/CV概論	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	33
7月1日～ 8月31日	PICCの包交手順	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	32
7月1日～ 8月31日	PICCの採血手順	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	31
7月1日～ 8月31日	PICC/CVの抜去時介助手順	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	31
7月1日～ 2月14日	中心静脈カテーテル院内技能認定看護師 育成研修	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	31
1月14日～ 2月18日	中心静脈カテーテル院内技能認定看護師 フォローアップ研修	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	47
スキンケア基礎ゼミ（ビデオオンデマンド）			
6月8日～ 6月28日	褥瘡対策の現状 ・ハイリスク用紙を中心に	皮膚・排泄ケア認定看護師 スキンケア相談室 越川綾子	164
7月6日～ 7月27日	スキンケア スキンケアの基礎知識	皮膚・排泄ケア認定看護師 7階西病棟 椎名幸恵	157
8月3日～ 8月24日	褥瘡評価（DESIGN-R2020）褥瘡治療	皮膚・排泄ケア認定看護師 7階西病棟 椎名幸恵	145

9月7日～ 9月28日	エビデンスから考えるポジショニング	リハビリテーション科 理学療法士 川島康平	157
10月5日～ 10月26日	栄養管理 ①栄養と褥瘡 ②院内の栄養剤の種類	①NST委員会 摂食・嚥下特定認定看護師 掛巢孝則 ②坂井厚夫 (管理栄養士)	138
11月16日	最終考査		45
スキンケアステップアップゼミ (ビデオオンデマンド)			
6月15日～ 7月6日	①薬剤の選択と特徴 ②被覆材の選択と特徴	①薬剤師 三浦弓枝 ②スキンケア相談室 越川綾子	128
7月13日～ 8月3日	IAD、スキントアのケア	皮膚・排泄ケア認定看護師 7階西病棟 椎名幸恵	118
8月24日～ 9月14日	創の診方：創傷治癒過程、 クリティカルコロナイゼーション等	形成外科医師 柴崎由佳子	108
9月21日～ 10月12日	リンパ浮腫の治療とケア	形成外科医師 田代絢亮	106
10月12日	レポートの書き方	教育専従 穴澤加代子	19
11月9日	最終考査		26
感染基礎ゼミ (ビデオオンデマンド+見学)			
6月20日～ 12月6日	1.感染症法 2.感染対策の基本 3.病原体別対応	感染管理認定看護師 宮本頼子	74
7月20日～ 12月6日	1.職業感染防止 2.針刺対応 3.ワクチン接種	感染管理認定看護師 宮本頼子	74
8月17日～ 12月6日	1.汚染機材の再生処理の実際を見学し理解を 深める (見学9月7日 もしくは14日)	中央洗浄滅菌室 阿天坊 一隆	74
10月19日～ 12月6日	医療関連感染Part1 1.CAUTI 2.CLABSI	1.泌尿器科部長 中津裕臣 2.感染管理特定認定看護師 佐々木優子	74
11月16日～ 12月6日	医療関連感染Part2 1.誤嚥性肺炎病態 2.ST療法 3.歯科衛生士	1.感染症センター長 古川恵一 2.ST療法士 福田直輝 3.歯科衛生士 網中克恵	74
12月7日	最終考査 (筆記)		36
1月18日	最終考査 (実技)		36
感染ステップアップゼミ (ビデオオンデマンド+見学)			
10月12日or 10月26日～ 11月16日	レポートの書き方	教育専従 穴澤加代子	4
6月28日or 7月12日～ 11月16日	1.感染症法 2.よく見る疾患と治療 3.よく使用される抗菌薬 4.アナフィラキシーについて	感染症科部長 中村朗	4
7月27日、 28日	1.臨床でよく見る病原微生物 ・グラム染色 ・検査容器の確認	細菌検査室ICT 太田祐加	4
9月29日～ 11月16日	1.培養結果と薬剤感受性、 選定について	薬剤局ICT 鈴木裕人	4
10月27日～ 11月16日	1.デバイス調査とサーベイランス	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	4
11月17日	最終考査 (筆記)		4

補助員研修			
研修日	研修名	講師 (代表者)	受講者数
5月23日	日常生活に関わる業務 病院食と安全な食事介助技術	摂食嚥下特定認定看護師 掛巢孝則	16
6月13日	現場指導担当者研修	教育専従 穴澤加代子	14

6月22日	日常生活に関わる業務 オムツ交換とスキンケア	皮膚・排泄ケア認定看護師 7階西病棟 椎名幸恵	12
7月12日	日常生活にかかわる業務 安全な移乗と安楽をもたらすポジショニング	理学療法士 井上将人	11
9月30日	感染予防技術 嘔吐処理セットを使ってみよう	感染管理認定看護師 宮本頼子	8
10月26日	診療の補助にかかわる業務 臨時入院時に渡す書類の説明と、健康保険証の種類と見方	看護補助員マイスター 向後佳代子（副主査）	15
11月2日	実践研修 初めて学ぶコミュニケーション技術	教育専従 穴澤加代子	15
11月11日	生活環境にかかわる業務 環境を整える	教育専従 穴澤加代子	12
11月29日	実践研修 看護補助員の職業倫理	教育専従 穴澤加代子	14
1月16日	診療の補助にかかわる業務 検体・輸血製剤の取り扱いと検査の送り迎えで 気をつけたいこと	臨床検査科（技師長） 岩井利恵	7

新人看護師研修（必修）

研修日	研修名	講師 代表者	受講者数
4月 1、4、5、6、8日	新採用職員に対する総務人事課 オリエンテーション	総務人事課	86 既卒+EPA含
4月7日	医療安全 チームステップス	BeeAct	86 既卒+EPA含
4月8日	接 遇 外部講師による講習	接遇委員会	86 既卒+EPA含
4月5、6、7日	感染管理 基礎講習	感染管理認定看護師 五十嵐礼子	85 既卒+EPA含
4、5、6、7日	電子カルテ基本操作講習(基本①) 電子カルテ講習（看護②）	医療情報室 年光康雄	35 外部校卒・既卒
4月11日	安全管理 基礎講習	医療安全管理推進室 大島 誠	86 既卒+EPA含
4月 12、13、14日	与薬の援助技術 安全管理 輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理	教育専従 大橋佐知子	86 既卒+EPA含
	与薬の援助技術 点滴静脈内注射 採血	教育委員	86 既卒+EPA含
4月15日	A看護局オリエンテーション 看護局について 図書利用方法 教育プログラム eラーニング説明	看護管理室 伊藤由紀恵 図書司書 長谷川亜紀 教育専従 大橋佐知子 教育専従 穴澤加代子	86 既卒+EPA含
	B交流会 / 看護師確保チーム	看護師確保チーム	84
4月18日	看護連盟説明・看護協会入会書類作成	看護管理室 日下喜久江 看護管理室事務 安井和美	84 既卒+EPA含
4月19日	情報管理 看護記録 概論	医療情報室 年光康雄	83
4月20日	与薬の援助技術 インスリンを正しく行うための基礎知識と 管理	糖尿病看護認定看護師 宮原孝子 他	延期
4月22日	アウトカム管理型看護 看護計画 看護計画立案・看護記録について	医療情報室 年光康雄	84 既卒含
4月 25、26、27日	呼吸・循環を整える技術 酸素吸入・吸引	教育専従 穴澤加代子	87 既卒+EPA含
	排泄援助技術 導尿・尿道留置カテーテル	教育専従 大橋佐知子	87 既卒+EPA含
4月28日	重症度、医療・看護必要度 概論編	医療情報室 年光康雄	87 既卒+EPA含
5月11日	重症度、医療・看護必要度 実践編	医療情報室 年光康雄	82

5月16日	新人ナースと初心者のための クリニカルパス基礎講座	パス委員会 小林 康祐 (医師) 年光康雄	85 既卒含
5月18日	環境調整技術 療養環境・人的環境	新生児集中ケア認定看護師 5北 飯高絵里子	83
	社会人基礎力 ストレスマネジメント	産業カウンセラー取得者 血管撮影室 高木知美	
5月24、25日	創傷管理技術① 院内褥瘡対策の現状 診療計画書と予防対策	皮膚・排泄ケア認定看護師 9西 大木朝香	86 既卒+EPA含
5月30日 6月6日	死亡時のケアに関する技術 死後のケア	緩和ケア認定看護師 1-7 信太千恵子 新生児集中ケア認定看護師 5北 飯高絵里子	86 EPA含
6月10日	新人看護師 リフレッシュ研修	看護師確保・定着チーム	83
6月20日	与薬の援助技術 インスリンを正しく行うための基礎知識と 管理	糖尿病看護認定 宮原孝子 他	83
6月24日	感染管理技術 感染フィールドチェック	感染管理特定・認定看護師 佐々木優子	85 既卒+EPA含
6月28、29日	創傷管理技術 DESIGN-R評価と治療の実際	皮膚・排泄ケア認定看護師 越川綾子	87 既卒+EPA含
7月4、7日	看護の気づき、自分を振り返ろう	教育専従 大橋佐知子	86 EPA含
7月20日	与薬の技術 輸血製剤の基礎知識 ①	輸血認定検査技師 岩井利恵 (技師長)	延期
7月25、29日	救命処置技術 ① BLS ② 気管挿管の物品理解と介助	BLSインストラクター看護師 教育委員	延期
8月8日	新人看護師に知っておいてほしい退院支援 意思決定支援 あなたは支援者になっていますか？	退院支援・訪問看護室 相澤彩乃 退院支援委員	延期
8月24日	与薬の技術 輸血製剤の副作用	輸血認定検査技師 岩井利恵 (技師長)	延期
9月1日	安全確保の技術 放射線検査と治療時の看護	放射線科外来 高木 恵	ビデオ学習変更 83
9月5日	DST主催 安全/倫理 身体拘束と倫理	精神看護認定看護師 鈴木 恵	ビデオ学習変更 83
9月14日	パス委員会 主催 クリニカルパスと看護過程	パス委員会 年光康雄 パス委員数名	中止
10月28日	与薬の技術 輸血製剤の基礎知識	輸血認定検査技師 岩井利恵 (技師長)	84 既卒+EPA含
10月31日 11月7日	知識・技術の統合 多重課題シミュレーション	教育委員会 新人担当グループ	81
11月 14、15日	救命処置技術 ① BLS ② 気管挿管の物品理解と介助	BLSインストラクター看護師 教育委員	中止
11月22日	与薬の技術 輸血製剤の副作用	輸血認定検査技師 岩井利恵 (技師長)	81 既卒+EPA含
1月18日	新人看護師に知っておいてほしい退院支援 意思決定支援 あなたは支援者になっていますか？	退院支援・訪問看護室 相澤彩乃 退院支援委員	78 既卒含
3月15日	1年の振り返り研修 研修修了証授与	教育委員会 新人担当グループ	80

●スキンケア相談室（2022年度）

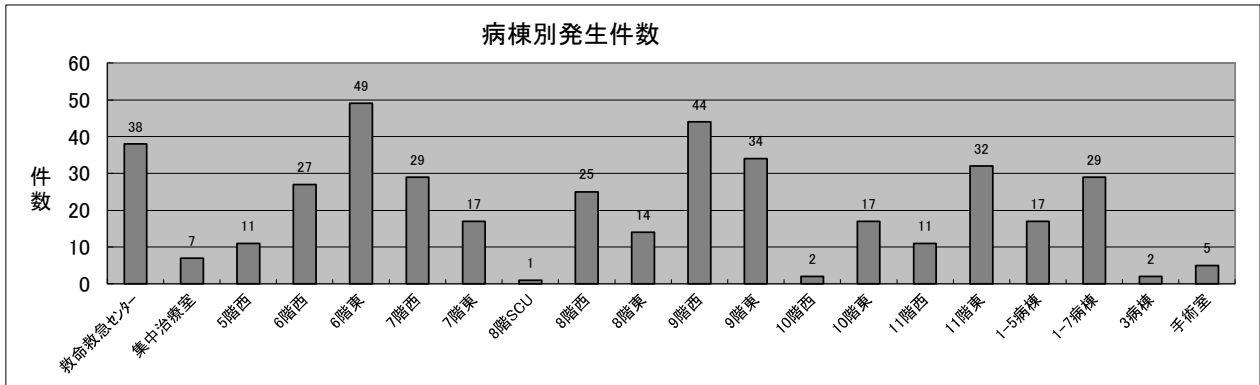
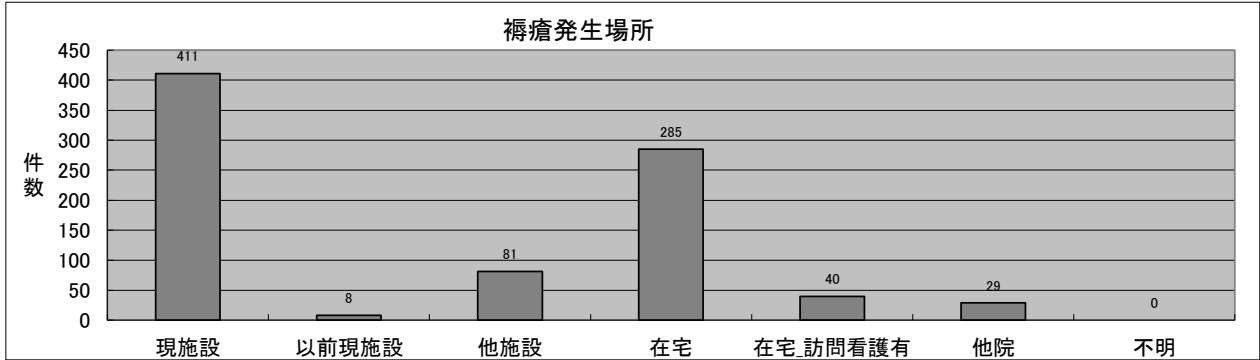
1. 褥瘡ハイリスク計画立案状況

2,687 件×500 点=13,435,000 円（診療報酬）

2. 褥瘡発生状況

褥瘡発生件数 846 件（院内発生 411 件 48.7% 自宅（訪問含）325 件 38.4%）

院内発生率=1.83% 院内発生：昨年度に比べて 36 件増



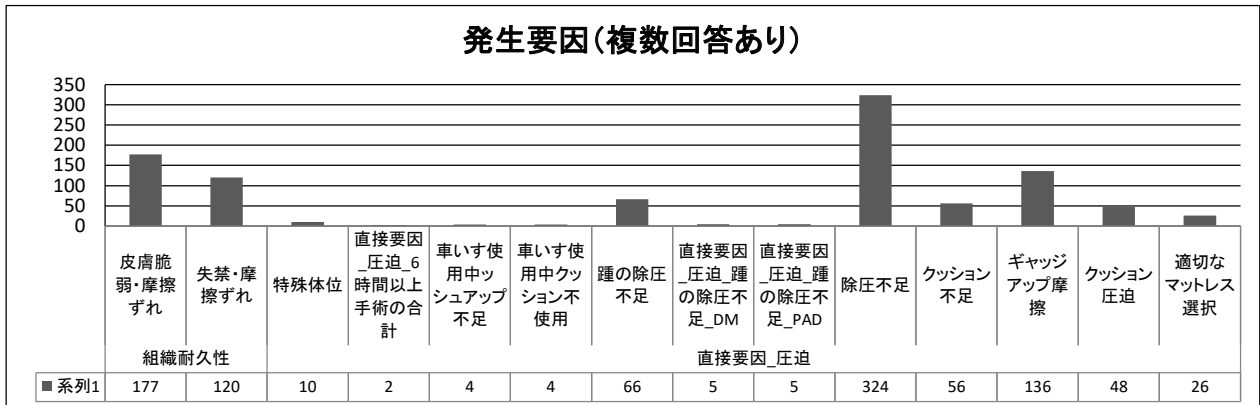
昨年度より増加部署6東（15）、9西（19）、1-7（18）、11東（9）、10東（6）

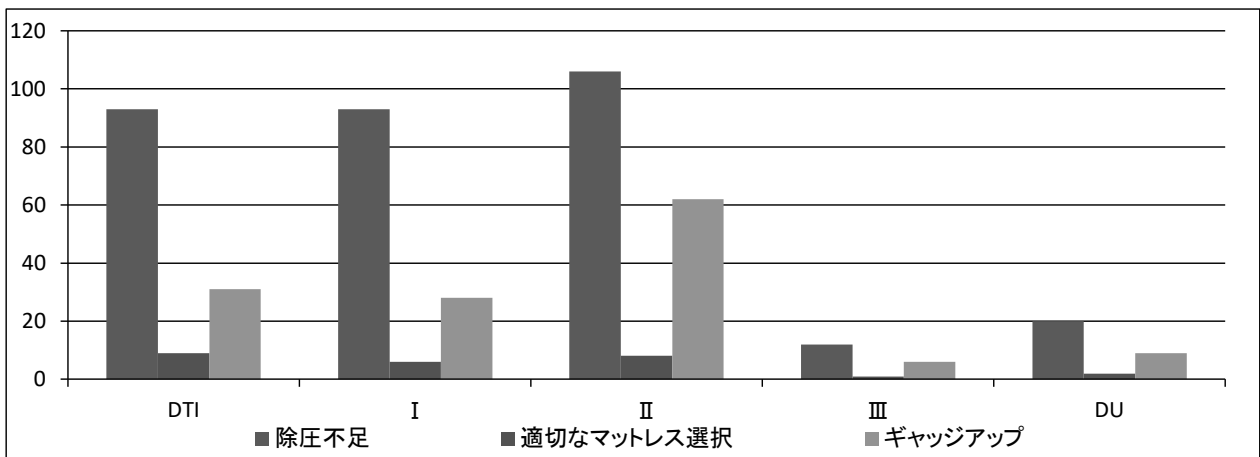
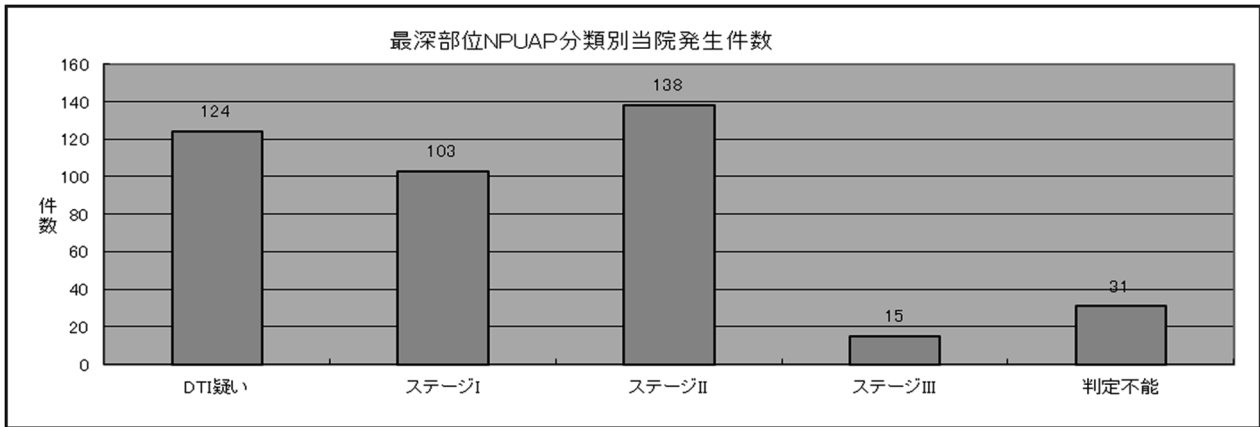
（ ）増加件数

昨年度より減少部署ERWA（11）、ICU（8）、7東（8）、8東（7）

（ ）減少件数

2-1) 発生要因(複数回答あり)



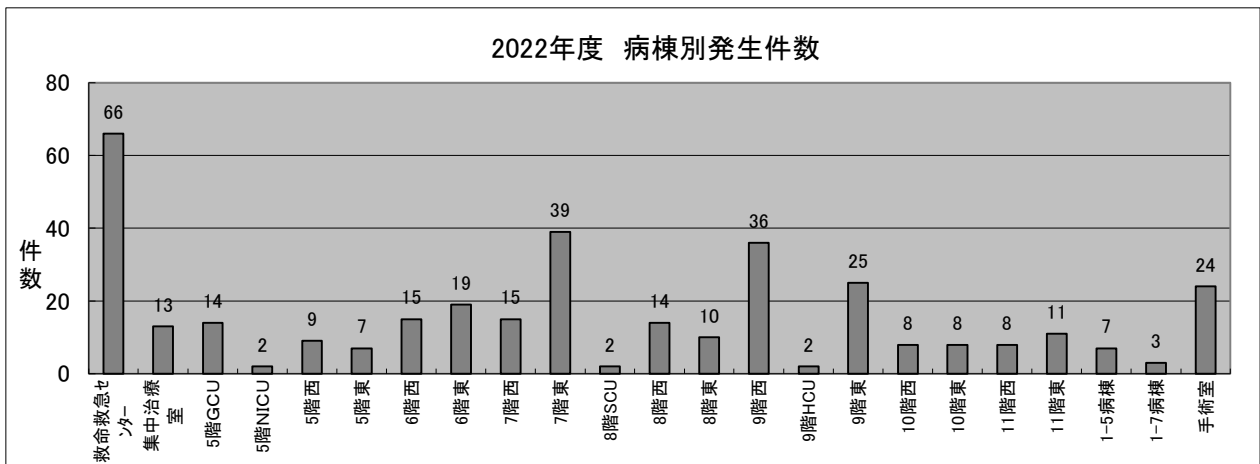


除圧不足（背抜きや体位変換を評価）324件は、院内発生411件中の79%を占めた。

適切なマットレス選択ができなかった26件は6%ではあったが、マットレスの選択が薄かったり、ウレタンで発生が119件が約3割であった。

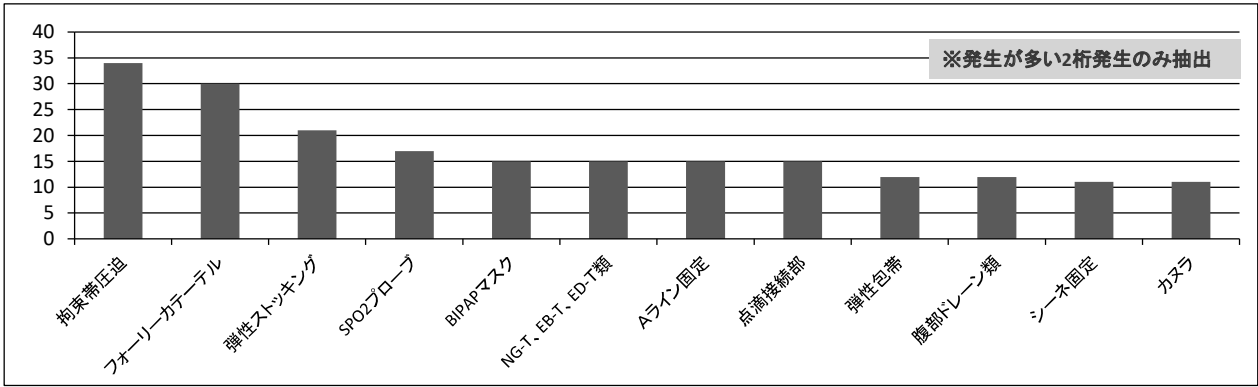
3. MDRPU 発生状況

院内発生率=1.80%



MDRPUは昨年度と比べて、発生率は変化がないが、変化していた部署は、7東が9件減少、9西が15件増加していた。

3-1) 医療機器圧迫発生主要因

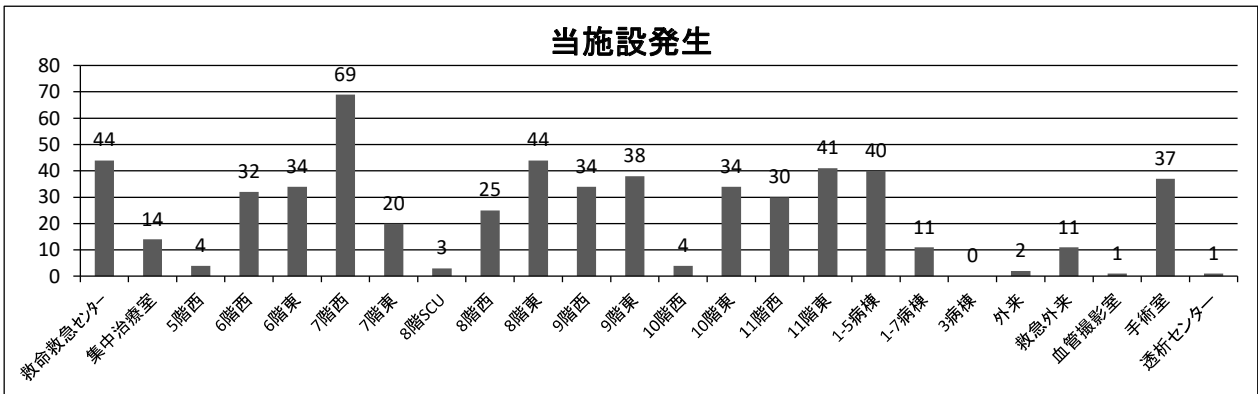


4, スキン - テア発生状況

4-1) スキンテア発生件数 676 件(院内 573 件、院外 103 件)

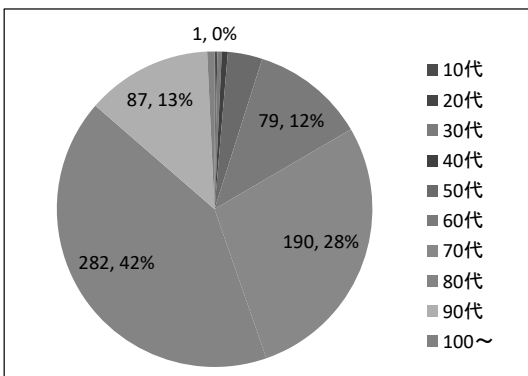
院内発生率：2.87%

発生年齢 70 代以上が 84% を占めた (昨年度は 73%)



4-2) 発生年齢と治療薬

70 代以上が 84% を占め、昨年度の 73% に比べて増加



治療薬	現在あり	過去あり	計	使用率
ステロイド内服剤の使用歴	93	29	122	21%
ステロイド外用剤の使用歴	17	16	33	
凝固剤使用歴	108	36	144	25%
抗血小板薬使用歴	79	19	98	17%
抗がん剤・分子標的薬使用歴	14	52	66	
人工透析療法歴	45	10	55	
スキンテア部の放射線療法歴	2	3	5	

(複数回答あり)

75 歳以上、治療薬使用者はスキンテア発生のハイリスク
高齢者が増加し、特に抗凝固剤や抗血小板薬使用薬使用歴者
(42%) と多い結果であった。

4-3) 発生要因

直接要因

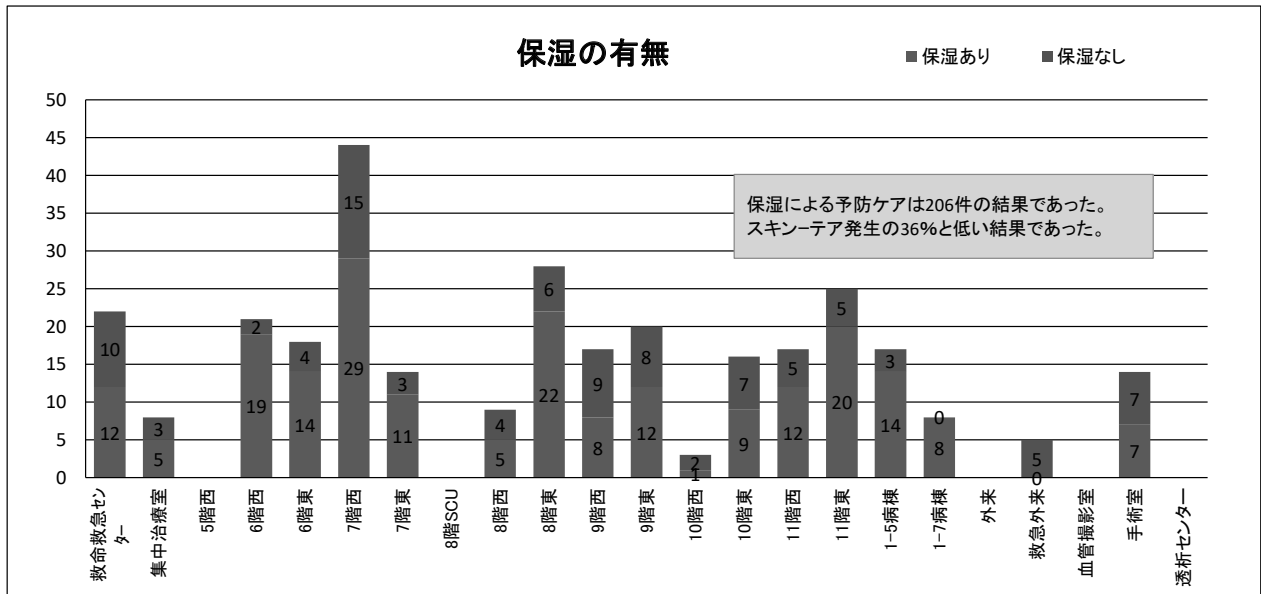
患者の行動面	件数	～にぶつけた 総計 153
ベッド柵にぶつけた	99	
せん妄状態	41	
車椅子にぶつけた	4	
トイレにぶつけた	4	
トイレにぶつかった	2	
ストレッチャーにぶつけた	3	
転倒した	45	
治療やケア等に抵抗	17	
掻いた	30	
患者がテープを剥離した	15	
自己抜去	9	
ミトンでの摩擦	5	
その他	85	

管理要因

管理場面	件数
テープ剥離時	162
移動介助時	24
リハビリ時の摩擦・ずれ	4
入浴・清拭・更衣の清潔ケア時	33
抑制帯による摩擦・ずれ	18
ネームバンドによる摩擦・ずれ	9
駆血帯使用時の摩擦・ずれ	2
管理その他	88

4-4) 予防対策

※2回/日以上保湿でスキン-ケア減少の報告あり



●訪問看護室（2022年度）

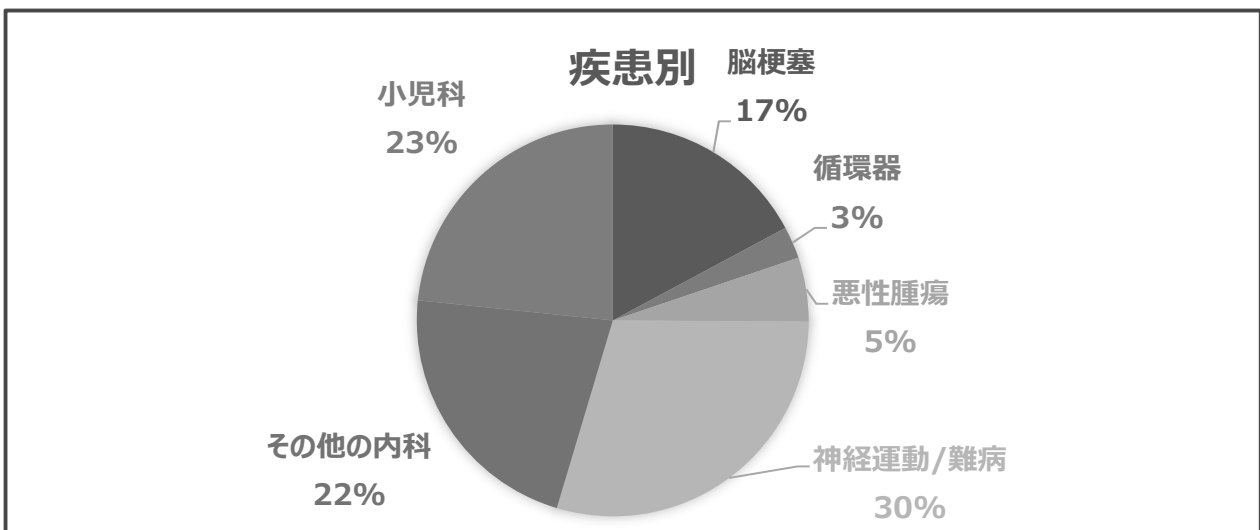
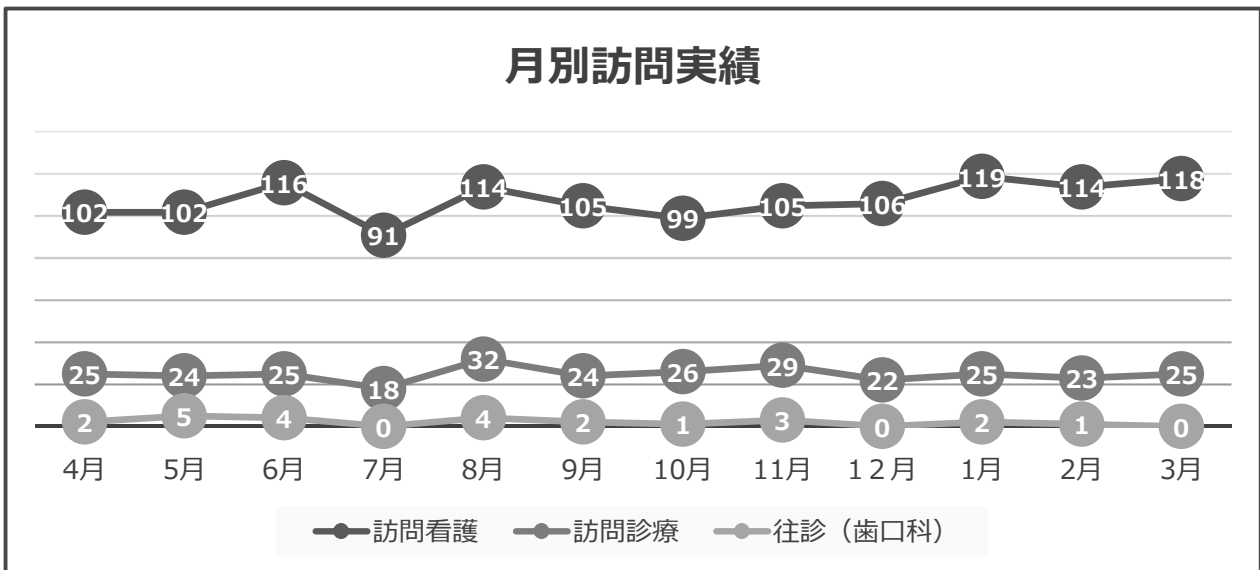
1年間のトピックス

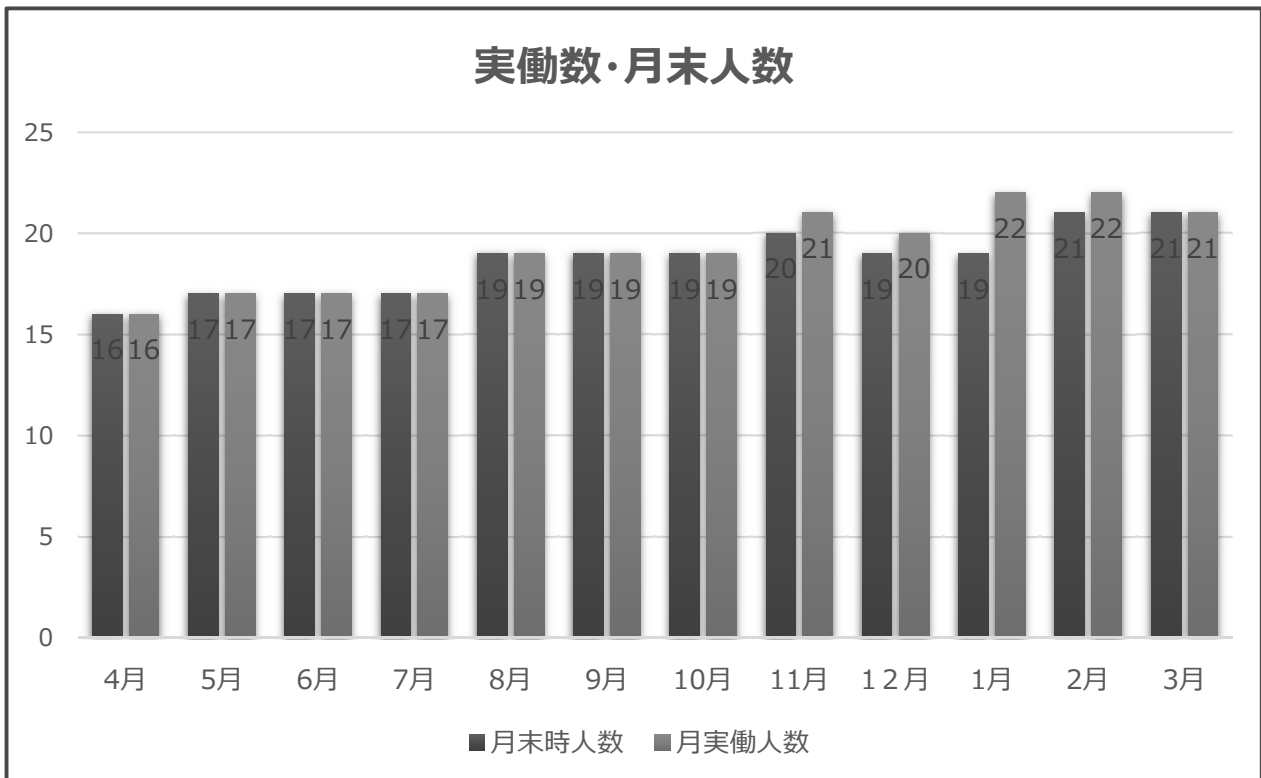
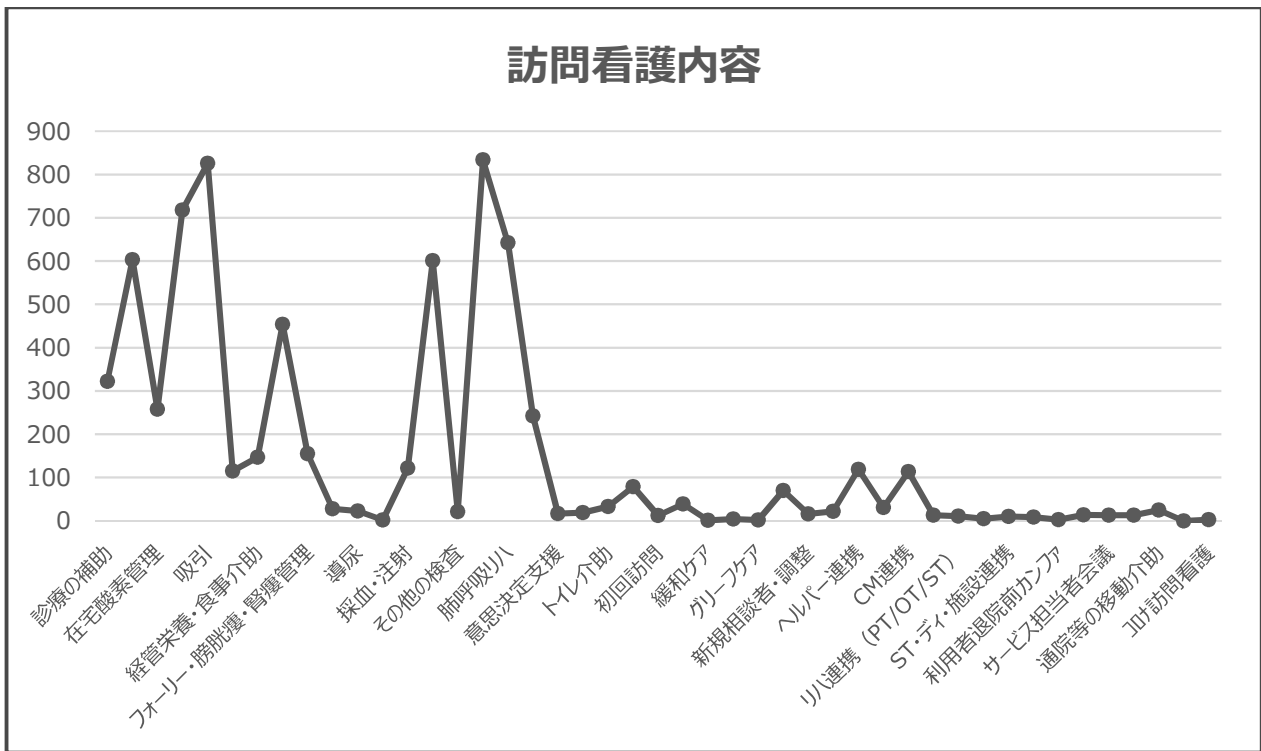
2022年度も、コロナ陽性者・濃厚接触者の在宅看護援助の提供を行い、コロナワクチン接種の訪問を行った。悪性腫瘍の方の治療や病状経過と共にどのような生活を希望されるか、ご自身の思いを尊重しながら担当医師をはじめ認定看護師や外来看護師・病棟看護師と連携を図り在宅看護提供を行った。

診療実績

実働数は増え、月別実績ではコロナ感染が拡大した8月は陽性者の看護提供が多かった。

新規利用者は、難病や医療依存度が高い方が多く、病院内だけでなく地域支援者、多職種と協働するケースがさらに増えている。





●中央洗浄滅菌室（2022年度）

2022.4.1～2023.3.31

滅菌			滅菌 OPE		消毒								
汎用	セット	縫合セット 胸腔ドレナージ 気管切開 歯科3点	10,946	外科	7,781	汎用	セット	23,938					
				心臓外科	1,008		単品	47,693					
				整形外科	2,303		チューブ作製	6,401					
	再滅菌	24	婦人科	1,072	病棟セット	2,610	部署	外来セット	7,630				
								病棟単品	73,298				
								外来単品	97,553				
								透析センター鉗子	2,702				
								学校検診器材	4,800				
								消毒セット計	34,178				
								消毒単品計	232,447				
単品	76,455	歯口科	265	形成外科	550	機器使用回数	AC滅菌機 No.1	1,095					
							再滅菌	69	耳鼻科	689	AC滅菌機 No.2	1,110	
セット	病棟セット	1,453	形成外科	550	眼科		7,827	AC滅菌機 No.3	1,172				
								再滅菌	24	脳外科	1,163	AC滅菌機 No.4	1,088
								外来セット	9,050	泌尿器科	3,475	EOG滅菌機No.1	167
								再滅菌	11	泌尿器科	3,475	EOG滅菌機No.2	145
再滅菌	11	泌尿器科	3,475	泌尿器科	3,475		低温プラズマ滅菌機 No.1	801					
								低温プラズマ滅菌機 No.2	845				
								単層式洗浄機 No.1	2,681				
								単層式洗浄機 No.2	2,821				
								単層式洗浄機 No.3	2,588				
								二層式洗浄機 No.4	4,427				
病棟単品	6,075	その他	2,264	その他	2,264		真空式洗浄機	1,503					
							再滅菌	368	再滅菌セット	146	ソニックイリゲーター	214	
							外来単品	73,903	借用器械	6,341	オリンパス OER-3 回	809	
							再滅菌	631	単品・ディスポ	23,317	ファイバー 本	537	
滅菌セット	56,392	再滅菌単品	366	再滅菌単品	366		メジャリング 個	1,016					
							その他	125					
滅菌単品	181,184	超勤時間減少への取り組み OPE器材 2重P～1重Pへ一部変更 縫合セット クルム包装→パック化 大型洗浄機アルカリ洗剤洗浄工程を増やす 耳鼻科外来 吸引管個包装化					エンドクレンズD 回	718					
							経食道エコー 本	631					
総合計	セット	90,570				ファイバー 本	61						
	単品	413,631				眼科硬性鏡 本	39						



藥 劑 局



●薬剤局（2022年度）

① 2022年度のトピックス（ISO 質目標に基づいた振り返り）

薬剤部門の2022年度ISO 質目標は、1) タスクシフト/シェアに向けた業務検討と推進、2) 診療報酬への対応（取得に向けた取り組み）、3) 院内フォーミュラーの推進、4) 病院機能評価更新審査に向けた取り組み、以上の4テーマを掲げた。

各テーマに沿って担当チームを作り、計画的に検討会議を開催し、目標達成に努めた。

- 1) 昨年度の3月に門前保険薬局から開始した「疑義照会簡素化プロトコール」の成果から、地域保険薬局へも説明会を設け、6月より取組みを拡大した。処方医・外来事務への問い合わせの減少、保険薬局の負担軽減と患者待ち時間の減少に繋がっている。入院早期の持参薬鑑別への取り組みとして、ERW 病棟での介入を開始し、持参薬オーダーの誤入力防止や適正化に貢献した。
- 2) 診療報酬への対応としては、後発医薬品使用体制加算1（後発品置換率90%以上）の維持及び薬剤管理指導算定件数の増加に向けて部署内目標を掲げ達成できた。また、外来抗がん剤治療の質向上目的に保険薬局と連携を図り、連携充実加算の取得を新たに開始した。有害事象の早期発見に繋がり、指導件数は順調に増加している。
- 3) 上半期に抗がん剤バイオシミラーの採用とレジメン登録の変更、新規院内フォーミュラーの導入を同時に行ない、22年度から新たに導入となった外来化学療法でのバイオ後続品導入初期加算の取得並びに購入額・医療費削減に成果をもたらした。また、既存のフォーミュラーのモニタリングから後発品への切替も円滑に実施できた。
- 4) 前回審査の改善事項（夜間の注射払出し）への対応として、夜勤者全員が注射オーダーの処方監査が出来るようにトレーニングを完了した。薬品管理においては看護局の協力のもと病棟配置の麻薬・向精神薬等の見直しを行なって改善を図ったが、金庫の鍵の運用や病棟配置薬全般の在庫数量に対する指摘を受け（B評価）、目標のA評価には届かなかった。今後の改善に向けて他部署を交えた協議を重ねたい。

② 2022年度 業務実績

- | | | |
|---------------|---------------|-----------------|
| 1) 薬品使用額実績 | 5) 外来患者指導業務実績 | 9) 製剤業務実績 |
| 2) 処方せん発行実績 | 6) 入院患者指導業務実績 | 10) 医薬品情報関連業務実績 |
| 3) 注射調剤業務実績 | 7) 病棟薬剤業務実績 | 11) TDM 業務実績 |
| 4) 抗がん剤調製業務実績 | 8) 外来薬剤鑑別業務実績 | 12) PET 業務実績 |

1) 2022年度 薬品使用額実績（薬効分類別薬価額）

薬効分類	使用額（千円）	比率（%）
中枢神経系用薬	135,861	1.54
末梢神経系用薬	74,244	0.84
感覚器官用薬	151,719	1.72
循環器官用薬	147,807	1.68
呼吸器官用薬	99,466	1.13
消化器官用薬	131,886	1.50
ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）	326,285	3.71
泌尿生殖器官及び肛門用薬	7,328	0.08
外皮用薬	18,446	0.21
ビタミン剤	7,133	0.08
滋養強壯薬	44,056	0.50
血液・体液用薬	338,871	3.85
人工透析用薬	59,332	0.67
その他の代謝性医薬品	756,329	8.60
細胞賦活用薬	182	0.00
腫瘍用薬	4,778,783	54.33
アレルギー用薬	42,975	0.49
再生医療等製品	47,777	0.54
漢方製剤	4,077	0.05
抗生物質製剤	256,427	2.92
化学療法剤	611,787	6.96
生物学的製剤	556,564	6.33
寄生動物用薬	5,818	0.07
調剤用薬	11,263	0.13
診断用薬	134,132	1.52
治療を目的としない医薬品	9,050	0.10
アルカロイド系麻薬	16,706	0.19
非アルカロイド系麻薬	21,739	0.25
合計	8,796,044	100.00

2) 2022年度 処方せん発行実績 (処方せん発行件数)

処方区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外 院外処方	20,471	20,406	21,581	21,445	22,366	21,538	20,787	20,855	21,607	20,575	19,259	21,983	252,873
来 院内処方	2,215	2,019	1,887	2,700	3,220	2,289	1,922	2,197	2,534	2,545	1,681	1,853	27,062
院外率%	90.2	91.0	92.0	88.8	87.4	90.4	91.5	90.5	89.5	89.0	92.0	92.2	90.3
入院処方	9,039	8,869	9,592	9,383	9,121	8,641	8,835	8,685	9,241	8,646	8,180	9,390	107,622

3) 2022年度 注射調剤業務実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処方枚数	9,383	10,083	10,655	11,210	10,977	10,520	11,155	12,087	10,008	9,929	9,396	11,033	126,436
件数	23,329	26,309	27,883	28,843	28,224	27,149	27,802	30,182	25,367	24,396	24,585	28,147	322,216
剤数	66,001	74,169	81,167	82,973	82,344	78,437	79,299	85,775	74,743	70,611	70,022	79,780	925,321

4) 2022年度 抗がん剤調製業務実績 (処方せん枚数)

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
04I	1												1
05西	16	19	18	21	23	23	18	11	14	14	11	16	204
05東	2		1	2					1		1		7
06西	24	16	8	25	19	28	18	28	11	32	10	19	238
06東	11	30	27	6	3	1	4	10	1		1	12	106
07西													0
07東		1											1
08西				1		1	1			1			4
08東・8SCU	1	4			4	8	10	5	5			5	42
09西	2	3		7	1	7	6	9	8	2	3	3	51
09東	6	14	20	21	22	8	14	32	36	19	33	29	254
10西						1						1	2
10東	36	33	37	43	35	41	29	17	37	33	23	28	392
11西	173	179	186	165	165	157	204	131	93	111	85	137	1,786
11東	1	1	1	2	2	2	1	3	2	1		3	19
1-5	3	3	2	7	9	3		3	2	2	1	2	37
1-7					1								1
3病													0
ERW	1		1								2		4
ドック													0
外科	225	216	206	183	200	186	193	195	181	178	180	184	2,327
眼科													0
救急科					2	1							3
歯口科												3	3
耳鼻科	11	12	11	10	22	17	12	18	20	25	29	35	222
小児科		1		1		1	1		1		1		6
内科	722	665	732	681	745	766	762	797	811	748	714	847	8,990
脳外科		2	3	1	2	1	2	3	2	6	6	4	32
泌尿器科	83	82	92	92	100	90	89	83	80	88	90	91	1,060
皮膚科	4	7	7	8	11	6	3	4	2	5	5	4	66
婦人科	29	28	25	26	27	17	27	30	18	28	25	27	307
合計	1,351	1,316	1,377	1,302	1,393	1,365	1,394	1,379	1,325	1,293	1,220	1,450	16,165

5) 2022年度 外来患者指導業務実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般	452	469	413	422	329	409	446	457	425	420	443	444	5,129
化学療法	79	51	85	69	71	61	76	76	69	100	95	108	940

6) 2022年度 入院患者指導業務実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
嚮 指導患者数	1,228	1,160	1,257	1,267	1,325	1,253	1,276	1,340	1,300	1,158	1,180	1,376	15,120
嚮 指導回数	1,755	1,628	1,816	1,747	1,877	1,755	1,791	1,870	1,816	1,635	1,689	1,949	21,328
嚮 医事請求数	1,543	1,471	1,608	1,573	1,698	1,576	1,652	1,723	1,669	1,516	1,526	1,771	19,326
退院時薬剤指導	361	316	426	424	399	395	392	358	382	262	311	400	4,426
麻薬管理指導	29	31	67	71	79	61	88	83	93	79	94	115	890

7) 2022 年度 病棟薬剤業務実績

業務内容 * 1	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医薬品の投薬・注射状況の把握	2,160	2,035	2,268	2,115	2,330	2,180	2,202	2,251	2,171	2,147	2,008	2,234	26,101
医薬品安全性情報等の提供（医療者からの相談）	118	165	155	125	109	133	130	150	118	123	104	129	1,559
持参薬の確認及び服薬計画の提案	488	522	495	447	498	479	489	469	444	460	428	614	5,833
薬剤投与前の相互作用の確認	2	1	0	5	0	1	2	2	3	4	9	12	41
ハイリスク薬等に係る投与前の詳細な説明	41	38	52	40	32	40	52	34	35	25	17	34	440
薬剤投与前の流量又は投与量の計算等の実施	73	85	72	63	76	54	61	41	57	54	60	93	789
その他 * 2	1,249	1,232	1,358	1,261	1,268	1,228	1,264	1,211	1,134	1,087	999	1,159	14,450
合計	4,131	4,078	4,400	4,056	4,313	4,115	4,200	4,158	3,962	3,900	3,625	4,275	49,213

* 1 業務内容は、厚生労働省通知区分による。

* 2 その他に含まれる業務は、TDM情報等による処方提案、抗がん剤レジメン確認による副作用低減の処方提案、抗がん剤の無菌調製、TDM・検査オーダー依頼、退院先の施設等との連携、カンファレンス参加などがある。

8) 2022 年度 外来薬剤鑑別業務実績

診療科	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院手術 サポート センター	患者数	28	31	40	37	31	41	35	41	44	54	67	64	513
	他院薬品数	67	82	112	83	109	94	71	128	77	64	176	124	1,187
	当院薬品数	31	38	93	64	42	68	54	58	48	54	45	79	674
	合計薬品数	98	120	205	147	151	162	125	186	125	118	221	203	1,861
外科 (乳腺センター を含む)	患者数	104	93	109	108	103	100	105	96	106	105	94	101	1,224
	他院薬品数	395	345	432	478	352	411	403	372	366	396	348	435	4,733
	当院薬品数	221	239	223	222	158	153	200	155	238	301	195	229	2,534
	合計薬品数	153	584	655	700	510	564	603	527	604	697	543	664	6,804
泌尿器科	患者数	97	77	100	103	118	87	113	98	109	87	87	98	1,174
	他院薬品数	482	349	535	495	504	370	530	476	577	396	494	499	5,707
	当院薬品数	135	61	114	135	132	50	145	83	84	76	59	98	1,172
	合計薬品数	617	410	649	630	636	420	675	559	661	472	553	597	6,879
整形外科	患者数	38	38	34	34	30	43	38	34	30	48	32	45	444
	他院薬品数	183	187	220	187	158	192	283	145	161	218	174	259	2,367
	当院薬品数	94	82	79	70	71	126	90	103	76	118	105	101	1,115
	合計薬品数	277	269	299	257	229	318	373	248	237	336	279	360	3,482
婦人科	患者数	25	38	29	26	35	23	30	20	20	29	26	15	316
	他院薬品数	80	120	107	64	149	61	57	56	51	81	66	50	942
	当院薬品数	30	30	32	25	54	31	58	43	45	32	46	28	454
	合計薬品数	110	150	139	89	203	92	115	99	96	113	112	78	1,396
心臓外科	患者数	1	3	6	3	9	9	4	6	1	1	9	11	63
	他院薬品数	4	0	14	26	35	35	22	14	8	0	42	33	233
	当院薬品数	0	18	35	6	26	48	6	21	5	6	33	53	257
	合計薬品数	4	18	49	32	61	83	28	35	13	6	75	86	490
耳鼻科	患者数	27	14	27	20	23	21	23	16	23	23	23	16	256
	他院薬品数	106	53	69	82	81	56	56	62	77	52	54	46	794
	当院薬品数	81	27	59	53	76	49	44	23	51	35	53	43	594
	合計薬品数	187	80	128	135	157	105	100	85	128	87	107	89	1,388
皮膚科	患者数	6	5	12	6	12	7	9	12	10	18	7	14	118
	他院薬品数	35	19	70	31	69	46	43	67	58	130	43	75	686
	当院薬品数	21	17	42	5	16	12	24	27	11	24	12	19	230
	合計薬品数	56	36	112	36	85	58	67	94	69	154	55	94	916

診療科	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
歯口科	患者数	2	6	5	3	7	5	6	7	4	6	7	3	61
	他院薬品数	9	46	29	10	36	13	23	16	12	37	26	14	271
	当院薬品数	0	1	15	5	27	11	11	5	14	5	1	4	99
	合計薬品数	9	47	44	15	63	24	34	21	26	42	27	18	370
形成外科	患者数	9	14	9	14	14	11	13	7	5	0	1	3	100
	他院薬品数	49	60	54	71	74	24	58	32	20	0	8	20	470
	当院薬品数	26	20	6	16	17	26	11	19	4	0	3	18	166
	合計薬品数	75	80	60	87	91	50	69	51	24	0	11	38	636
内科	患者数	153	167	199	163	178	186	175	179	160	188	151	156	2,055
	他院薬品数	643	774	787	697	716	725	656	688	656	789	718	673	8,522
	当院薬品数	773	708	929	738	814	888	796	916	705	944	670	741	9,622
	合計薬品数	1,416	1,482	1,716	1,435	1,530	1,613	1,452	1,604	1,361	1,733	1,388	1,414	18,144
脳外科	患者数	17	11	11	16	14	12	12	17	14	15	11	6	156
	他院薬品数	57	67	70	49	43	65	68	47	42	62	22	17	609
	当院薬品数	64	12	30	50	47	22	16	32	44	50	21	20	408
	合計薬品数	121	79	100	99	90	87	84	79	86	112	43	37	1,017
眼科	患者数	18	14	25	21	11	20	25	20	21	23	16	9	223
	他院薬品数	79	91	106	70	62	86	106	117	143	142	73	31	1,106
	当院薬品数	70	40	123	59	33	67	82	64	47	79	70	44	778
	合計薬品数	149	131	229	129	95	153	188	181	190	221	143	75	1,884
小児科	患者数	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	3
	他院薬品数	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	当院薬品数	0	0	0	3	0	0	0	0	6	0	5	0	14
	合計薬品数	0	0	0	7	0	0	0	0	6	0	5	0	18
神経精神科	患者数	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	4
	他院薬品数	0	0	0	0	2	0	20	1	0	0	0	0	23
	当院薬品数	0	0	0	0	8	3	4	5	0	0	0	0	20
	合計薬品数	0	0	0	0	10	3	24	6	0	0	0	0	43
透析科	患者数	0	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	2	8
	他院薬品数	0	0	0	4	1	0	0	0	0	11	0	24	40
	当院薬品数	0	0	9	15	13	0	0	10	12	1	0	0	60
	合計薬品数	0	0	9	19	14	0	0	10	12	12	0	24	100
産科	患者数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	他院薬品数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当院薬品数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
	合計薬品数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
救急外来	患者数	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	他院薬品数	0	11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
	当院薬品数	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	合計薬品数	0	19	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22
合計	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	患者数	525	515	608	556	587	566	589	555	549	598	533	543	6,724
	他院薬品数	2,189	2,204	2,608	2,351	2,391	2,178	2,396	2,221	2,248	2,378	2,244	2,300	27,708
	当院薬品数	1,546	1,302	1,789	1,466	1,534	1,554	1,541	1,564	1,390	1,725	1,320	1,477	18,208
合計薬品数	3,735	3,506	4,397	3,817	3,925	3,732	3,937	3,785	3,638	4,103	3,564	3,777	45,916	

9) 2022 年度 製剤業務実績

製剤名	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アズノール・リドカイン軟膏	g	360	180	180	360	540	270	180	180	540	270	360	180	3,600
アズノールG添加口腔ケア用含嗽液	L	1	0.5	1	1.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.5	9.5
アズノールN口腔ケア用含嗽液	L	0.5		1.5	0.5	0.5	0.5	0.5		0.5	0.5	0.5	0.5	6
2千倍アドレナリン液	mL	900	1,240	1,100	1,040	1,020	820	920	1,120	1,020	1,020	1,300	1,240	12,740
0.01%アドレナリン+2%キシロカイン	mL	20	40	40	20	40	20	60	20	40	40	40	40	420
アドレナリン0.02%+キシロカイン0.5%	mL	200	200	200	200	200	320	200	200	200	200	200	300	2,620
5千倍アドレナリン	mL	1,800	1,600	1,950	1,550	2,100	1,700	1,850	1,550	2,000	1,750	2,000	2,200	22,050
20万倍アドレナリン液	mL	500	400	950	750	700	1,100	800	600	700	500	900	800	8,700
アトロピン点眼液0.5%	本				2		2							4
2.0%塩化アルミニウム液	mL		500		500		500				500		500	2,500
AZ含嗽液	mL	500	1,000.5	500	500	1,000	500	500	1,000	500	500	1,500	500	8,500.5
HSE (ボスミン高加濃食塩水注)	mL	100	180	80	140	120	120	120	120	180	120	120	100	1,500
Mohs ベースト	g									250				250
塩化ナトリウム点眼液5%	本		8		8		8		8			8		40
オキシドール2倍希釈液	L	4.5	5	5	5.5	5.5	5	4.5	4.5	5	5.5	4.5	5.5	60
オリブ油(滅菌)	mL		40	20	20	20	20	20	20	40	40	40		280
カプトドロップ	本	8	12	8	8	12	8	8	8	8	8	4	12	104
カルバマゼピン坐薬(200mg)	個		60		30									90
4%キシロカイン点眼液	mL	24	24	40	16	30	36	24	30	38	22	32	28	344
0.025%逆性石ケン液	L	4.4	4.8	5	5.4	5.4	4.6	4.6	4.2	4.4	4.4	5	5.8	58
クエチアピン坐剤25mg	個					10		30				30		70
グリセリン(滅菌)	L	18.1	18.1	23.3	22.2	21.3	17.2	19.2	15.2	22.7	15.2	17.2	22.3	232.1
グルタルアルデヒド溶液	mL				500					500		500		1,500
0.05%クロキサジノン点眼液	本								2					2
KOH20%+DMSO15%	mL			20	30			30	10		10		10	110
ゲンタシンガーゼ	缶	3		3	3	3	5	3	3	9		4	2	38
鼓膜麻酔液	mL				10			10			10			30
酢酸3%	mL		600	500	700	500	500		500	500		500	500	4,800
サンディミュン点眼液	本		3			3						4		10
2.0%自己血清点眼液	mL	135	300	290	340	105	375	35	110	405	30	215	140	2,480
2%重ソウ水	L	3	5	3	4.5	4	4.5	5	4	3.5	4	3.5	5	49
硝酸銀液0.02%	mL		80											80
硝酸銀液0.05%	mL		80											80
硝酸銀液10%	mL						10							10
小児用ベネトリン吸入液0.075%	mL	300	500	500	600	700	400	700	600	400	200	200	300	5,400
SADBE 2% *1	mL	40		40			20			20			40	160
SADBE 0.2% *1	mL	100	60	40	20		20		20	40		40	60	400
SADBE 0.02% *1	mL	20	80	40	20		20		40	40		40	60	360
SADBE 0.002% *1	mL		40		20		20			20			20	120
SADBE 0.0002% *1	mL		40		20		20			20			20	120
SADBE 0.00002% *1	mL		40		20		20			20			20	120
SADBE 0.000002% *1	mL		20		20		20			20			20	100
スコボラミン軟膏	g			40	20					20				80
生食点鼻液	mL	30					20	30					32	112
生食点眼液	本							4	4				4	12
DMSO液50%	mL	60												60
0.5%デノシン点眼液	本	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
トルイジンブルー	mL						20							20
ニフレック洗腸液	L	150	140	180	150	178	130	160	160	160	150	150	160	1,868
パッチテスト	伴	2						2			2			6
バルプロ酸坐剤200mg	個					30	30		90			30		180
バルプロ酸坐剤600mg	個						15							15
ピオクタン1%	mL	500		60	120	120	545	135	590	60	120	50	180	2,480
ピューラックス3倍希釈液	L	1,350	900	1,350	900	1,350	900	900	900	1,350	900	900	900	12,600
1%ブイフェンド点眼液	本								8	1	2	1	1	13
液状フェノール	mL	20		20	20	30	20	40			20			170
フェノール水溶液(5%) [注射]	A					10								10
プリナ点鼻液	本												20	20
プリナ点眼液	本	20		20		20		20	20		20			120
0.1%アトリン点眼液	本	12	20	8	8	12	4	8	12		16	24	12	136
【滅菌済眼軟膏】プロベト5g	個												40	40
0.05%アキサジノン点眼液	本								1					1
A'クロキサジノン点眼液	個				100	50	99	129	99	147	212		225	1,061
A'クロキサジノン腸溶性点眼液	個			98		39	186			98	40	155	129	745
A''リンコリウム10倍希釈点耳液	本		10			10							10	30
墨汁注	個				39			31		40				40
1.6倍希釈ポピラール液	L	20.4	18	24	20.8	19.8	21.4	20.6	23.2	21.2	18.8	17.2	16.4	241.8
メチレンブルー2%	mL		20					40		20		20		100
0.8%トロンダゾール液(トロンダゾール加入)	mL									500				500
0.8%トロンダゾール液(トロンダゾール加入)	mL							500					1,100	1,600
メトロニダゾール・ゲル(0.8%)	g	500	500			500	3,000	2,500	1,000				500	8,500
メントール入りベナバスタ	g		510									510		1,020
10%リドカインクリーム	g	1,000			1,000		1,000			500	500	1,000		5,000
内服用ルゴール液	mL						100			20				120
ルゴール液(シラートテスト用)	mL	300	300	300	301	200	600	600	300	600	600	700	600	5,401
ルゴール液(内視鏡用)	mL	350	300	200	370	450	200	350	320	200	150	450	270	3,610
ローダミンB (0.1%)	mL											100		100

*1: スクвален酸ジブチルエステルアセトン液

10) 2022 年度 医薬品情報管理科業務実績

院内副作用報告件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3

新規採用品目数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
17	0	28	18	0	26	6	0	12	0	14	6	127

削除品目数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
9	0	9	17	0	13	2	0	5	0	9	11	75

欠品・品薄

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
16	27	6	15	12	12	12	5	7	5	4	6	127

回収

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	4	1	1	2	1	2	2	13

治験調剤件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
14	13	14	9	16	7	11	7	7	8	12	6	124

11) 2022 年度 TDM 業務実績 (血中薬物濃度解析件数)

薬物	入院/外来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		テオフィリン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	入	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	1	7
バルプロ酸	外	6	5	8	9	24	8	7	10	14	9	11	16	127
	入	0	0	3	0	1	4	0	0	3	3	3	1	18
カルバマゼピン	外	2	3	1	7	12	1	1	7	3	2	2	6	47
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
フェニトイン	外	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	4
	入	0	1	3	4	1	5	9	2	0	2	1	0	28
フェノバルビタール	外	1	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	5
	入	0	0	1	5	0	3	1	1	0	0	0	2	13
エトスクシミド	外	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゾニサミド	外	0	0	0	1	2	1	0	0	1	0	1	1	7
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クロナゼパム	外	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	4
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

薬物	入院/外来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ラモトリギン	外	3	0	0	0	3	0	2	1	1	1	1	1	13
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クロバザム	外	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リチウム	外	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
ジゴキシン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	4
アミカシン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
ゲンタマイシン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	1	2	4	2	5	4	1	0	3	1	0	2	25
トブラマイシン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	2	5
バンコマイシン	外	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	入	95	78	83	97	85	114	73	88	65	63	88	117	1,046
テイコプラニン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	2	1	5	7	9	8	4	4	1	2	3	4	50
シクロスポリン	外	1	3	1	1	3	0	1	1	2	3	1	2	19
	入	0	0	0	0	0	1	1	5	4	3	1	1	16
ポリコナゾール	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	2	0	0	0	1	0	1	0	4	4	3	0	15
タクロリムス	外	1	2	1	2	3	1	1	0	0	1	0	0	12
	入	0	0	0	3	0	0	0	1	0	2	0	0	6
合計 (外来+入院)		115	95	112	145	155	151	104	122	104	100	120	161	1,484

12) 2022 年度 PET 業務実績 (FDG 合成実績)

積算サイクロトロン照射時間 (hr)	200.9
積算照射電流 (μ Ah)	6027.5
合成回数 (回)	222
総 F-合成量 (GBq)	7429.4
総 FDG 合成量 (GBq)	5532.2
合成収率 (%)	74.5%



診療技術局

●中央検査科（2022年度）

2022年度も「検査サービスに対する満足度の向上および精密かつ正確で質の高い臨床検査データを迅速に提供する」をモットーに、ISO15189の維持・継続に向けた取り組みを行い、継続審査により適合が認められ継続が承認されました。

2022年の年末には、免疫化学自動分析装置が更新され機器の台数の削減により効率化や測定時間短縮に取組み、検査結果が出るまでの時間が短縮されました。

検査件数は全体としては対前年度比101.7%とやや増加。内訳は検体検査の一般検査110.1%、血液検査102.3%、生化学検査100.7%、細菌検査110.9%、免疫血清検査192.0%、輸血検査113.4%、夜間休日検査101.6%でした。生理検査は心電図検査98.3%、呼吸機能検査99.1%、超音波検査100.7%、脳波検査98.2%、無散瞳眼底検査103.4%、聴力検査105.3%でした。生理検査も昨年に続き回復傾向が認められました。同様に医療連携強化施策の一環として導入された生理検査機器共同利用件数も501件で対前年比103.9%と増加が見られました。

ここ数年は新型コロナの影響により職員の負担も増大し対応に苦慮しました。今後は、働きやすい職場作りによる職員の満足度向上、教育の充実・技術の向上を目指して改革を推し進めたい。また、検査の質向上としてISO15189においては、第3回サーベイランスに取組むと同時にISO15189(2012)からISO15189(2022)のバージョンアップ対応に向けても取組んでいきます。

2022年度 中央検査科業務件数

部署	検査件数
一般検査	110,136
血液検査	586,388
生化学検査	4,402,873
細菌検査	159,375
免疫血清検査	36,156
輸血検査	34,316
心電図検査	41,090
呼吸機能検査	18,145
超音波検査	20,161
脳波検査	2,668
無散瞳眼底検査	3,032
聴力検査	7,346
夜間休日検査	753,184
総合計	6,174,870
外部委託検査	96,928
中央採血室採血患者数	145,790

I. 中央採血室 2022年度

診療科	採血患者数
内科	101,262
外科	12,947
心臓外科	1,997
整形外科	1,768
泌尿器科	10,410
神経科	1,937
脳外科	694
耳鼻科	2,175
皮膚科	2,597
歯口科	294
眼科	1,643
形成外科	533
麻酔科	310
産科	1,635
婦人科	5,368
リハビリ科	0
放射線科	3
透析	60
小児科	0
救急科	0
職員検診	157
外来患者合計	145,790
月平均患者数	12,149

II. 検体検査部門

1. 一般検査 2022年度

検査項目	外来	入院	合計
尿定性	45,321	5,899	51,220
尿沈渣	34,802	5,220	40,022
妊娠反応	78	0	78
便潜血	6,956	552	7,508
寄生虫検査	21	15	36
髄液検査	106	273	379
穿刺液検査	176	160	336
精液検査	29	0	29
便中ロタウイルス	13	26	39
便中アデノウイルス	13	26	39
RSウイルス	306	28	334
A群β溶連菌	145	14	159
アデノウイルス	134	18	152
尿レジオネラ	452	180	632
肺炎球菌	452	179	631
ヒトメタニューモイ	381	17	398
糞便塗抹顕微鏡検査	90	269	359
SARS 迅速	6,108	103	6,211
インフルエンザ	1,436	112	1,548
マロ抗原	20	6	26
総件数	97,039	13,097	110,136

2. 血液検査 2022年度

検査項目	外来	入院	合計
血算	154,766	54,801	209,567
血液像	134,357	52,281	186,638
血液像目視	8,601	7,321	15,922
網状赤血球数	4,982	3,359	8,341
出血時間	1,722	28	1,750
PT	33,165	20,552	53,717
APTT	26,383	19,720	46,103
Fib	6,939	9,792	16,731
FDP	2,199	3,723	5,922
Dダイマー	10,829	11,573	22,402
ATⅢ	285	713	998
第ⅩⅢ因子	99	64	163
SFMC	1,032	356	1,388
ループス	83	62	145
混合試験	15	7	22
骨髓像	217	177	394
血沈	15,143	955	16,098
凝集能 ADP・コラーゲン	6	2	8
その他 BAL・HPC	0	79	79
総件数	400,823	185,565	586,388

3. 生化学検査 2022年度

依頼項目	項目数	外来	入院	合計
蛋白(血清、他)	23	304,772	102,600	407,372
アミノ酸窒素化合物	12	466,541	157,933	624,474
酵素	26	872,132	307,006	1,179,138
鉄代謝	3	38,468	10,826	49,294
心筋マーカー	4	40,968	10,248	51,216
ビリルビン	5	146,348	51,560	197,908
脂質	15	296,668	15,956	312,624
電解質・金属	17	706,859	249,820	956,679
糖代謝	24	179,838	17,781	197,619
内分泌・下垂体	24	15,345	1,980	17,325
内分泌・甲状腺	10	28,256	3,916	32,172
内分泌・性腺	2	491	48	539
感染症・炎症マーカー	13	186,101	65,556	251,657
腫瘍マーカー	13	51,553	1,715	53,268
補体・免疫グロブリン	6	37,251	5,642	42,893
自己免疫関連	3	13,950	732	14,682
薬物	17	3,889	2,521	6,410
透析液	5	7,215	0	7,215
その他	3	2	13	15
iCGM(リブレ)	1	89	12	101
SMBG	1	201	71	272
総件数		3,396,937	1,005,936	4,402,873

4. 免疫・血清検査 2022年度

依頼項目	外来	入院	合計
寒冷凝集反応	9	13	22
IgE	1,090	227	1,317
クオクアロリン	179	93	272
血液粘稠度	9	2	11
抗DNA	2,040	113	2,153
リンパ球サブセット	488	12	500
造血腫瘍	0	23	23
HIV PCR 定量	506	10	516
高感度PNH(WB・RB)	14	9	23
RNA抽出	2	0	2
HCV RNA 定量	946	89	1,035
アレルギー(特異IgE)	6,056	1,153	7,209
研究アディ	604	3	607
研究Treg	0	0	0
CoV抗原	17,132	5,334	22,466
総件数	29,075	7,081	36,156

5. 細菌検査 2022年度

検査項目	外来	入院	合計
塗抹	11,064	8,308	19,372
培養			
血液	8,912	7,110	16,022
髄液	145	184	329
尿	6,019	2,959	8,978
泌尿器	23	19	42
婦人科	983	299	1,282
眼	259	22	281
耳	101	421	522
咽頭	267	1,186	1,453
鼻腔	195	257	452
喀痰	2,038	2,335	4,373
便	324	1,761	2,085
胆汁	30	153	183
胃液	0	292	292
開放性膿	1,088	687	1,775
非開放性膿	485	757	1,242
穿刺液	251	381	632
嫌気培養	12,763	11,028	23,791
感受性			
1菌種	3,302	2,099	5,401
2菌種	1,680	1,109	2,789
3菌種以上	810	353	1,163
同定菌数	25,436	19,048	44,484
大腸菌検査	230	234	464
ペロ毒素	1	0	1
CDトキシン	48	937	985
耐性菌検出	2,768	1,930	4,698
質量分析	6,537	5,107	11,644
抗酸菌			
塗抹	1,091	1,006	2,097
培養	1,098	1,027	2,125
同定(DDH)	146	135	281
同定(質量分析)	47	20	67
ジェノスカラー	0	0	0
耐性	50	20	70
総件数	88,191	71,184	159,375

6. 輸血検査 2022年度

検査項目	外来	病棟	合計
ABO血液型	8,667	1,507	10,174
Rh(D)式血液型	8,667	1,507	10,174
不規則抗体スクリーニング	5,839	903	6,742
D陰性確認試験	50	9	59
直接ケムス	92	49	141
間接ケムス	1,709	65	1,774
抗体価	16	0	16
解離試験	13	7	20
Rh他因子	25	13	38
交差適合試験	1,708	3,008	4,716
T&S	0	304	304
抗体同定	43	15	58
輸血副作用	9	9	18
自己血	80	2	82
総件数	26,918	7,398	34,316

7. 外部委託検査 2022年度

検査項目	外来	入院	合計
SRL	24,317	72,396	96,713
LSI	36	165	201
BML	2	12	14
総件数	24,355	72,573	96,928

Ⅲ. 生理検査部門 2022年度

1. 心電図検査

検査項目	外来	入院	合計
心電図	24,397	4,118	28,515
R-R 間隔	79	55	134
心臓超音波	6,944	2,320	9,264
トレッドミル負荷心電図	118	4	122
24時間ホルター心電図	777	37	814
24時間自動血圧	13	0	13
ABI・PWV	110	81	191
Late potential	29	8	37
血管超音波検査	739	332	1,071
携帯型発作時心電図	58	0	58
心音図	0	0	0
心臓超音波経食道法	229	293	522
心筋スペクト	320	29	349
総件数	33,813	7,277	41,090

2. 呼吸機能検査

検査項目	外来	入院	合計
スクリーニング	14,452	1,114	15,566
呼吸機能精密検査	875	198	1,073
呼吸抵抗検査	6	0	6
呼気 NO	1,015	56	1,071
心肺運動負荷試験	174	0	174
連続呼気ガス分析	174	0	174
可逆性テスト	1	3	4
喘息運動負荷試験	1	0	1
酸素消費量測定	0	1	1
鼻腔通気度	50	0	50
時間内歩行試験	25	0	25
総件数	16,773	1,372	18,145

3. 超音波検査

検査項目	外来	入院	合計
腹部超音波	12,911	1,421	14,332
血管超音波	1,225	717	1,942
表在超音波	3,222	105	3,327
乳房超音波	50	0	50
造影超音波	0	26	26
穿刺超音波	463	21	484
総件数	17,871	2,290	20,161

4. 脳波検査

検査項目	外来	入院	合計
脳波	854	511	1,365
筋電図	652	144	796
誘発電位	53	135	188
平衡機能	91	0	91
自律神経	8	3	11
睡眠ポリグラフ	109	62	171
術中モニタリング	0	46	46
総件数	1,767	901	2,668

5. 眼底検査

検査項目	外来	入院	合計
眼底撮影	3,032	0	3,032
総件数	3,032	0	3,032

6. 聴力検査

検査項目	外来	入院	合計
標準純音聴力	1,920	76	1,996
気導純音聴力	535	11	546
チンパノメトリー	533	25	558
耳小骨筋反射	110	3	113
標準語音聴力	19	0	19
内耳機能	2	0	2
中耳機能	9	1	10
耳管機能	72	1	73
耳音響放射	78	2	80
耳鳴検査	0	0	0
簡易聴力	3,466	0	3,466
新生児聴力	0	483	483
総件数	6,744	602	7,346

Ⅳ. 夜間休日検査 2022年度

項目名	項目数	外来	入院	合計
血算	1	11,572	18,654	30,226
血液像	1	10,931	17,704	28,635
PT	1	7,752	10,059	17,811
APTT	1	7,607	10,579	18,186
Fib	1	4,351	6,945	11,296
FDP	1	892	2,368	3,260
Dダイマー	1	6,041	5,657	11,698
ATⅢ	1	135	832	967
SFMC	1	99	202	301
血沈	1	95	101	196
蛋白	17	23,251	33,193	56,444
酵素	21	71,648	105,189	176,837
ビリルビン	6	10,664	17,529	28,193
CRP	1	10,311	15,723	26,034
γ-GT	1	210	374	584
脂質	13	11,301	4,415	15,716
アミノ酸	8	34,864	51,081	85,945
電解質・金属	13	57,944	85,350	143,294
糖・糖代謝	12	5,683	2,505	8,188
心筋マーカー	4	10,090	6,788	16,878
薬物	4	30	29	59
尿薬物スクリーニング	1	49	6	55
エタノール	1	61	1	62
パラコート	1	6	0	6
梅毒検査	1	2,272	914	3,186
HBs 抗原(CLIA)	1	2,330	942	3,272
HCV 抗体(CLIA)	1	2,343	938	3,281
HBs 抗体(CLIA)	1	990	239	1,229
HIV 抗体(CLIA)	1	2,270	918	3,188
透析液	5	2,150	0	2,150
血ガス	2	86	780	866
尿定性	1	3,700	2,903	6,603
尿沈渣	1	3,655	2,573	6,228
妊娠反応	1	200	5	205
髄液細胞数	1	93	64	157
穿刺液細胞数	6	128	96	224
インフルエンザ	2	3,502	121	3,623
尿レジオネラ	1	877	208	1,085
肺炎球菌	1	874	215	1,089
その他感染症	10	1,352	191	1,543
SARS 迅速	1	11,309	437	11,746
CoV 抗原	1	7,593	2,632	10,225
血液型	1	1,440	481	1,921
直接ケムス	1	10	5	15
間接ケムス	1	21	21	42
不規則抗体スクリーニング	1	1,440	339	1,779
交差試験 R	1	408	874	1,282
交差試験 F	1	137	337	474
交差試験 P	1	25	233	258
細菌培養	5	3,391	3,251	6,642
総件数		338,183	415,001	753,184

●放射線科（2022年度）

人員について

4月より診療放射線技師2名（正規職員）をご採用頂き、技師38名（嘱託・再雇用職員2名を含む）、医学物理士1名、補助員2名の41名の体制となった。

年度目標について

医師の働き方改革に伴いタスクシフト/シェア推進検討チーム指針に従い「イメージガイド下放射線治療（IGRT）での位置照合」などの業務内容を報告した。診療放射線技師法改正に対応し告示研修の参加者は前年度と合わせ28名、受講率74%となった。引き続き推進していきたい。また、適切な教育・研修の方法・医療安全の強化についてモダリティごとについて検討し事例を共有した（2月）。

装置更新について

2022年10月にCT装置がご承認を得て更新された。低被ばくで良質な画像が得られるほか、最新のアプリケーション搭載によりDual Energy撮影を簡便に行うことができ応用の拡大が期待できる。2023年3月には移動型X線装置、X線読み取り装置の更新のご承認を賜り検査効率の向上、より低被ばくの撮影が可能となった。

他職種との連携について

血管撮影室運営会議において神田先生（循内）を議長に各職種より活発な意見交換が得られている。本年度は血管撮影装置の中長期的な更新計画について検討し、次期議長の櫛田先生（循内）と共に人的資源を含め理事長先生・院長先生へ提案する機会を賜った（3月）。

（診療放射線技師長 宮崎孝）

2022年度 放射線科業務年報（人数）

	一般撮影		CT				MRI			治療			血管					RI		PET	合計
	歯科CT		第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	治療棟	本館	腔内	AG2腹部	AG3心カテ	AG4心カテ	AG5頸頸部	ope15	第1	第2		
2022年4月	8,575	33	977	529	900	1,433	415	434	461	806	332	12	47	69	125	37	13	58	108	135	15,499
2022年5月	8,857	37	948	493	858	1,533	399	407	485	625	266	3	28	56	119	31	17	45	95	138	15,440
2022年6月	9,337	41	1,138	529	990	1,560	456	536	528	737	317	7	55	68	122	30	12	39	105	134	16,741
2022年7月	8,765	41	1,081	442	924	1,553	387	504	478	738	299	6	46	67	120	28	19	42	98	138	15,776
2022年8月	9,200	45	1,070	472	982	1,563	439	483	461	688	374	14	46	65	116	23	14	51	85	127	16,318
2022年9月	8,919	39	1,332	637	1,540	456	422	490	473	646	312	5	60	56	116	28	10	53	106	105	15,805
2022年10月	8,988	41	1,175	687	1,499	837	430	512	495	754	332	5	59	58	127	36	12	51	96	123	16,317
2022年11月	8,979	36	1,130	567	1,327	1,053	419	480	477	793	286	2	60	64	114	41	17	43	86	116	16,090
2022年12月	8,908	37	1,117	583	1,186	1,390	423	512	457	890	324	4	54	64	130	37	12	43	83	122	16,376
2023年1月	8,702	39	1,059	630	1,061	1,494	407	469	457	545	268	3	37	56	116	43	13	51	93	111	15,654
2023年2月	8,357	41	968	567	957	1,312	400	439	417	683	299	5	53	55	109	39	12	42	92	117	14,964
2023年3月	9,697	51	1,101	537	1,098	1,624	468	482	525	771	384	3	71	66	138	32	14	65	122	126	17,375
合計	107,284	481	13,096	6,673	13,322	15,808	5,065	5,748	5,714	8,676	3,793	69	616	744	1,452	405	165	583	1,169		
	107,765		48,899				16,527			12,538			3,382					1,752		1,492	192,355
月平均	8,940	40	1,091	556	1,110	1,317	422	479	476	723	316	6	51	62	121	34	14	49	97		
	8,980		4,075				1,377			1,045			282					146		124	16,030
前年度比			107%	101%	124%	88%	99%	103%	98%	91%	101%	72%	116%	95%	99%	104%	106%	89%	100%		
	98%		103%				100%			94%			102%					96%	103%	99%	

●臨床工学室（2022年度）

2022年度の方針・概要

2022年度ISO「質」目標として、①各部署による働き方改革、タスクシフト/シェア、②診療報酬改訂による見直しと安全強化、③将来的な業務構想と医療の質の向上を目標としました。各部署ともに業務は増加しているが、将来を見据えて部署研修を実施しています。タスクシフト/シェア研修についても全体の64%が実施できました。未実施者については業務業況に応じて研修予定となっています。体流量測定を簡易にできる装置導入により診療報酬加算が算定できるよう取り組みました。ヒヤリハットは昨年度より微増となりましたが各部署ともに安全強化に取り組んでいます。上位上司による部署研修を実施しました。新年度から取り組もうとしている各部署へのローテーションが医療の質の向上に繋がると考えます。

（臨床工学室 岩井 昇）

臨床工学室 業務（治療）実績

臨床工学室 人工透析センター

2022.04.01 ～ 2023.03.31 (件)

血液浄化療法名	症例数		施行件数	
	他病棟症例数	総症例数	他病棟施行数	総施行数
血液透析(HD)	79	278	347	3,965
血液透析+ (CAPD 併用)	0	2	0	14
オンライン血液透析濾過 (CAPD 併用)	0	2	0	71
血液透析+リクセル	0	4	0	389
オンライン血液透析濾過(OHDF)	0	382	0	47,519
間歇補充型血液透析濾過 (IHDF)	0	148	0	4,329
限外濾過 (ECUM)	0	0	0	0
持続緩除式血液透析濾過(CHDF)	101	101	520	520
持続緩除式血液透析(CHD)	1	1	1	1
持続緩除式血液濾過(CHF)	0	0	0	0
血漿交換(PE)	3	8	7	40
二重膜濾過血漿交換(DFPP)	2	4	10	16
選択的血漿成分吸着(PA)	0	5	0	33
エンドトキシン吸着(PMX-DHP)	4	4	5	5
活性炭吸着療法 (DHP)	0	0	0	0
顆粒球除去療法(G-CAP)	0	1	0	15
腹水濾過濃縮再静注法(CART)	0	1	0	2
自家末梢血幹細胞採取 (AU-PBSCH)	0	10	0	17
同種末梢血幹細胞採取 (AL-PBSCH)	0	5	0	6
リンパ球細胞輸注 (DLI)	0	0	0	0
吸着式潰瘍治療法 (HA_Rheocarna)	0	5	0	71
骨髄濃縮 (BMP)	0	1	0	1
総 数	190	962	890	57,013

人工透析センター保守業務実績

(件)

	始業点検	使用中点検	終業点検	合 計
水処理装置(個人用RO含む)	708	1,320	—	2,028
透析液溶解・供給装置	624	1,398	726	2,748
透析装置 (個人機含む)	677	—	239	916
血液浄化装置	463	—	—	463
合 計	2,472	2,718	965	6,155

機器調整・修理件数

(件)

水処理装置	23
透析液溶解・供給装置	28
透析装置 (個人機含む)	81
血液浄化装置	18
計	150

透析液環境検査

(検体)

ET 検査	311
細菌検査	311
計	622

臨床工学室 ME機器管理室実績

2022.04.01 ~ 2023.03.31 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
血管撮影室業務 (心臓カテーテル検査、心臓内電気 生理検査、ペースメーカー関連業務)	221	196	224	197	197	204	213	207	213	185	193	251	2,501
構造的な心疾患治療	6	11	8	6	10	5	9	8	10	7	8	8	96
IABP	導入件数	5	5	10	7	4	3	9	8	8	7	8	77
	使用中点検	8	8	19	11	6	3	11	11	14	11	8	114
ECOM(PCPS)	導入件数	2	1	5	2	2	2	4	1	2	4	3	31
	使用後点検	143	151	167	133	150	158	162	135	171	158	148	1,826
レシプレーター	使用中点検	110	100	32	38	55	20	9	21	36	12	13	476
	高気圧酸素治療件数	0	0	0	18	11	0	7	17	7	0	0	60
ペースメーカー 関連業務	病棟点検	49	60	54	65	54	58	66	57	55	47	48	675
	外来点検	160	163	178	191	158	185	177	161	185	183	158	2,077
	遠隔モニタリング	30	38	31	39	36	38	41	44	35	42	39	454
各種 ME 機器	点検	59	38	82	46	120	114	99	226	82	107	46	1,046
	修理	23	33	30	18	21	24	21	23	26	23	23	281
ラジオ波焼灼療法	0	2	1	2	0	0	0	1	3	4	3	3	19
合計	816	806	841	773	824	814	828	920	847	790	698	776	9,733

臨床工学室 中央手術室実績

2022.04.01 ~ 2023.03.31 (件)

各科依頼	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心臓外科	16	21	17	14	14	15	15	17	23	6	13	11	182
泌尿器科	37	39	44	42	57	42	29	36	23	35	40	41	465
婦人科	10	11	7	14	9	12	8	9	12	13	15	8	128
耳鼻咽喉科	7	7	7	8	6	14	7	9	3	7	8	9	92
歯口科	0	1	2	3	1	3	0	2	1	0	0	0	13
整形外科	2	5	5	6	6	4	4	5	4	5	5	2	53
外科	13	15	38	31	22	28	27	28	24	31	25	22	304
脳外科	4	5	8	6	4	4	2	2	0	2	3	4	44
眼科	4	2	5	3	2	3	0	7	5	2	3	1	37
形成外科	0	3	1	1	2	1	1	1	0	0	0	1	11
腎内科	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	5
循環器内科	0	0	5	3	5	2	6	6	4	4	6	6	47
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
麻酔科	14	13	25	23	16	10	19	16	14	16	7	15	188
救命救急科	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0	6
精神神経科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	108	123	164	154	147	138	121	140	113	122	126	122	1,578

機器修理

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
院内修理	18	18	21	17	9	9	13	12	18	24	18	16	193

定期点検

(件)

電気メス	24
除細動器	8
人工心肺一式	68
生体情報モニタ	176
麻酔器	65
IABP	4
シリンジポンプ	127
輸液ポンプ	4

(件)

天吊機器	106
フロア使用機器	26
その他点検	113
毎月点検	1,537
納品・返却時点検	47

点検合計 2,305 (件)

保守業務 (修理+点検) 2,498 (件)

総計 (依頼業務+保守業務) 4,076 (件)

●神経精神科 (2022年度)

神経精神科 臨床心理

神経精神科 公認心理師業務年報 2022年度

	面接				心理査定				心理療法		予診	集団療法	個別支援	合計	(21年度)	(20年度)	(19年度)
	本人	家族	関係者	電話相談	知能査定	性格査定	その他	査定処理	本人	家族							
外来	12	11	0	2	86	67	121	888	391	23	61	0	3	1,665	(1,840)	(1,461)	(2,350)
入院	1	2	0	3	11	15	14	66	46	4	—	49	102	313	(209)	(327)	(328)
デイケア	54	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	229	2	285	(281)	(332)	(378)
合計	67	13	0	5	97	82	135	954	437	27	61	278	107	2,263	(2,330)	(2,120)	(3,056)
(21年度)	(77)	(7)	(2)	(11)	(118)	(73)	(131)	(951)	(604)	(16)	(37)	(274)	(29)	(2,330)			
(20年度)	(190)	(14)	(3)	(26)	(93)	(87)	(182)	(628)	(582)	(26)	(32)	(209)	(48)	(2,120)			
(19年度)	(235)	(8)	(17)	(105)	(143)	(168)	(336)	(865)	(894)	(25)	(40)	(194)	(26)	(3,056)			

	リエゾン				緩和ケア		地域支援	会議	カンファレンス	情報処理	教育・研修	職員メンタルヘルス		その他	合計
	心理面接	カンファレンス	コンサルテーション	ラウンド延べ人数	心理面接	カンファレンス						本人	関係者		
合計	44	189	0	225	1	9	3	277	628	1,257	41	0	0	436	3,110
(21年度)	(20)	(135)	(2)	(405)	(0)	(4)	(0)	(349)	(883)	(1,497)	(208)	(0)	(0)	(335)	(4,257)
(20年度)	(44)	(45)	(3)	(575)	(0)	(5)	(2)	(362)	(996)	(1,695)	(42)	(0)	(0)	(488)	(4,257)
(19年度)	(16)	(78)	(0)	(598)	(6)	(18)	(16)	(288)	(998)	(2,233)	(56)	(177)	(160)	(518)	(5,162)

精神保健福祉士 (PSW)

ケースワーク 2022年度

(総員 7名)

月	合計	実施方法					紹介経路				援助手段				
		新規	継続	入院	外来	その他	職員	本人	家族	その他	面接	訪問	電話	文書	カンファ
4月	519	65	454	157	341	21	351	87	30	51	130	160	168	36	25
5月	487	81	406	156	308	23	339	71	25	52	139	168	121	32	27
6月	553	101	452	192	346	15	370	86	32	65	164	168	144	55	22
7月	486	113	373	158	310	18	316	64	45	61	148	164	113	43	18
8月	473	71	402	119	327	27	329	57	22	65	123	169	146	18	17
9月	515	70	445	157	349	9	341	96	24	54	142	147	172	39	15
10月	498	55	443	136	347	15	334	74	44	46	137	151	149	33	28
11月	418	60	358	96	302	20	266	53	35	64	119	105	142	32	20
12月	535	78	457	107	402	73	346	73	39	77	115	187	182	33	18
1月	507	85	422	154	330	23	345	79	30	53	150	163	137	40	17
2月	467	81	386	141	312	14	312	103	21	31	129	148	149	30	11
3月	582	100	482	192	370	20	378	119	31	54	142	177	195	37	31
合計	6,040	960	5,080	1,765	4,044	278	4,027	962	378	673	1,638	1,907	1,818	428	249

月	援助内容												
	受診	入院	退院	療養	経済	就労	教育	住宅	家族	生活	心理	人権	その他
4月	48	19	44	72	34	14	6	8	23	227	9	10	5
5月	46	20	43	102	36	6	2	8	15	179	17	2	11
6月	56	24	77	92	42	14	2	5	21	194	10	4	12
7月	65	38	60	57	40	7	3	1	6	191	11	3	4
8月	49	35	35	75	29	8	1	7	17	192	17	4	4
9月	34	27	45	100	23	21	2	3	20	215	15	4	6
10月	52	16	44	88	35	14	16	8	22	176	16	6	5
11月	61	14	27	50	41	7	7	5	11	185	2	2	6
12月	59	27	31	76	47	7	1	8	26	235	8	3	7
1月	49	20	38	80	33	5	11	4	22	219	13	4	9
2月	42	15	49	67	48	7	0	6	24	188	6	3	12
3月	70	30	79	80	37	10	1	6	22	210	19	3	15
合計	631	285	572	939	445	120	52	69	229	2,411	143	48	96

関連業務

分類	業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
情報処理														
C1	記録(カルテ、ケース記録、DC個人記録など)	593	631	815	643	630	677	667	567	667	609	626	736	7,861
C2	各種文書(届出書類等)	21	46	36	34	20	17	19	14	13	11	13	17	261
C3	資料作成・整理	29	21	18	24	19	30	16	14	22	16	8	17	234
C4	統計	38	38	53	40	43	45	42	29	41	35	35	46	485
C5	その他(患者等の情報交換含む)	167	133	175	164	163	143	146	102	155	140	142	163	1,793
院内関係業務														
C6	ケースカンファレンス	126	148	180	150	107	137	152	89	125	111	148	156	1,629
C7	各種会議	36	37	37	28	36	31	37	32	35	30	33	33	405
C8	各種行事	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	4
C9	院内教育・実習指導	14	1	3	2	4	22	21	0	1	1	1	0	70
C10	院内研修・研究	36	2	6	1	6	4	5	2	8	2	2	2	76
C11	管理	32	28	38	26	30	31	23	24	33	38	30	34	367
C12	その他(関連業務の情報交換含む)	98	30	118	101	93	104	94	88	103	84	99	95	1,107
地域関係業務(準備・片付け含む)														
C13	関係機関連絡調整	192	186	269	198	190	179	164	138	190	163	169	215	2,253
C14	関係機関主催会議	4	5	4	6	6	11	3	7	11	6	6	4	73
C15	関係機関主催行事	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	4
C16	教育・実習指導	0	0	0	0	1	12	0	0	0	0	0	0	13
C17	研修・研究・学会	0	0	0	4	2	6	2	0	2	2	3	1	22
C18	社会資源開拓(職場開拓含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C19	ボランティア養成・支援	3	2	2	3	2	1	3	2	4	3	4	2	31
C20	精神保健福祉士協会(全国・県など)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
C21	その他(関係業務などの情報交換含む)	0	11	3	9	12	3	15	13	15	5	5	2	93
総計		1,390	1,319	1,757	1,434	1,366	1,454	1,409	1,123	1,425	1,257	1,325	1,524	16,783

グループワーク

	実施回数	参加者数
4月	20	189
5月	43	399
6月	54	556
7月	36	316
8月	46	367
9月	44	385
10月	48	405
11月	46	320
12月	42	370
1月	31	204
2月	32	247
3月	35	327
合計	477	4,085

デイケアセンター

2022年度デイケア在籍者統計（2022年4月1日～2023年3月31日）

男女比

男性	68
女性	74
合計	142

年齢	男性	女性	合計	%
10代	2	8	10	7.0%
20代	6	15	21	14.8%
30代	12	4	16	11.3%
40代	18	22	40	28.2%
50代	16	11	27	19.0%
60代	11	8	19	13.4%
70代	3	6	9	6.3%
80代	0	0	0	0.0%
合計	68	74	142	100.0%
平均年齢	46.8	43.1	46.2	

通所期間	男性	女性	合計	%
6ヶ月以内	6	3	9	6.3%
1年以内	5	4	9	6.3%
1年	9	15	24	16.9%
2年	3	8	11	7.7%
3～5年	14	11	25	17.6%
5～10年	21	23	44	31.0%
10年以上	10	10	20	14.1%
合計	68	74	142	100%
平均通所期間	5年 11ヶ月	5年 9ヶ月	5年 7ヶ月	

診断名	(ICD10)	男性	女性	合計	%
器質性健忘症候群	F04	1	0	1	0.7%
器質性精神障害	F06	0	0	0	0.0%
統合失調症	F20	38	38	76	53.5%
統合失調感情障害	F25	1	1	2	1.4%
躁病	F30	0	1	1	0.7%
躁うつ病	F31	10	11	21	14.8%
うつ病	F32	4	1	5	3.5%
不安障害	F40・F41	1	3	4	2.8%
強迫性障害	F42	0	0	0	0.0%
PTSD	F43.1	0	0	0	0.0%
適応障害	F43.2	0	4	4	2.8%
身体表現性障害	F45	1	0	1	0.7%
摂食障害	F50	0	2	2	1.4%
パーソナリティ障害	F60	0	2	2	1.4%
知的障害	F70・F71	1	3	4	2.8%
広汎性発達障害	F84	6	5	11	7.7%
多動性障害	F90	0	1	1	0.7%
その他		4	3	7	4.9%
合計		67	75	142	100%

住所地

海匝郡市	旭市	54
	銚子市	30
	匝瑳市	10
	小計	94
香取郡市	香取市	14
	香取郡	13
	小計	27
山武郡市	東金市	0
	山武市	5
	山武郡	7
	小計	12
その他の千葉県		1
茨城県	鹿嶋市	0
	神栖市	5
	その他の茨城県	2
	小計	7
その他の都道府県		1
合計		142

2022年度デイケア退所者統計(2022年4月1日～2023年3月31日)

男女比

男性	22
女性	28
合計	50

年齢	男性	女性	合計	%
10代	2	2	4	8.0%
20代	3	4	7	14.0%
30代	1	7	8	16.0%
40代	7	6	13	26.0%
50代	4	5	9	18.0%
60代	1	2	3	6.0%
70代	4	2	6	12.0%
80代	0	0	0	0.0%
合計	22	28	50	100.0%
平均退所時年齢	46.1	42.3	45.1	

通所期間	男性	女性	合計	%
6ヶ月以内	2	4	6	12.0%
1年以内	0	1	1	2.0%
1年	0	2	2	4.0%
2年	2	2	4	8.0%
3～5年	3	2	5	10.0%
5～10年	1	1	2	4.0%
10年以上	14	16	30	60.0%
合計	22	28	50	100%
平均通所期間	6年 6ヶ月	2年 1ヶ月	4年 2ヶ月	

診断名	(ICD10)	男性	女性	合計	%
器質性健忘症候群	F04	0	1	1	2.0%
器質性精神障害	F06	0	0	0	0.0%
統合失調症	F20	9	16	25	50.0%
統合失調感情障害	F25	0	0	0	0.0%
躁病	F30	0	0	0	0.0%
躁うつ病	F31	5	3	8	16.0%
うつ病	F32	3	2	5	10.0%
不安障害	F40・F41	0	0	0	0.0%
強迫性障害	F42	0	0	0	0.0%
PTSD	F43.1	0	0	0	0.0%
適応障害	F43.2	0	0	0	0.0%
身体表現性障害	F45	0	0	0	0.0%
摂食障害	F50	0	1	1	2.0%
パーソナリティ障害	F60	0	0	0	0.0%
知的障害	F70・F71	0	1	1	2.0%
広汎性発達障害	F84	2	1	3	6.0%
多動性障害	F90	0	0	0	0.0%
その他		3	3	6	12.0%
合計		22	28	50	100%

住所地

海匝郡市	旭市	13
	銚子市	8
	匝瑳市	9
	小計	30
香取郡市	香取市	6
	香取郡	4
	小計	10
山武郡市	東金市	0
	山武市	5
	山武郡	3
	小計	8
その他の千葉県		0
茨城県	鹿嶋市	1
	神栖市	1
	その他の茨城県	0
	小計	2
その他の都道府県		0
合計		50

退所転機

終了	31
中断	19
合計	50

退所理由

就労	8
就学	0
社会資源利用	4
社会内適応	4
終了その他	10
精神科入院	15
他科入院	0
症状再燃	0
参加意欲低下	3
対人関係問題	0
問題退所	0
死亡	1
中断その他	5
合計	50

神経精神科 OT センター

神経精神科 OT センター 利用者統計 2022 年度

利用者

	入院	外来	合計
男性	55	21	76
女性	53	26	79
合計	108	47	155

年齢

	入院	外来	合計
～10代	8	7	15
20代	9	1	10
30代	10	7	17
40代	18	19	37
50代	27	5	32
60代	20	5	25
70代	14	3	17
80代	2	0	2
合計	108	47	155

疾患分類別

ICD-10		入院	外来	合計	
F0	症状性を含む器質性精神障害	6	1	7	(4.5%)
F1	精神作用物質使用による精神および行動の障害	1	1	2	(1.3%)
F2	統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	52	30	82	(52.9%)
F3	気分障害	34	6	40	(25.8%)
F4	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	4	2	6	(3.9%)
F5	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	3	0	3	(1.9%)
F6	成人の人格および行動の障害	0	1	1	(0.6%)
F7	精神遅滞	3	1	4	(2.6%)
F8	心理発達の障害	5	2	7	(4.5%)
F9	小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	0	3	3	(1.9%)
合計		108	47	155	(100.0%)

●臨床栄養科（2022年度）

◆基本方針：食の安全性・満足度の向上・栄養管理業務の充実

◆質目標

1. 診療報酬改定による栄養部門増収
周術期管理加算や早期栄養介入の加算実現に向けて、栄養管理業務の見直しや変更を行う。
2. 食材価格の全体把握とその評価
1日あたりの食材費上昇の原因の解明と食種別平均単価の割り出し、近隣、直診病院との比較。
3. 給食業務委託への円滑な移行
1年間の準備期間を考え、今年度中に業務委託仕様書を完成させる。その為の情報収集を行う。

給食管理

食数については、608,259食となり、ほぼ前年度並みとなった。給食収益も同様である。

新型コロナやウクライナ情勢の影響もあり年度後半から食品の値上げが始まった。その影響で食材費は後半から上昇していった。

年度合計は、163,979,000円となり前年度を10,000,000円程上回った。それに伴い1日あたりの食材費も800円を超えて前年度から50円強上昇した。来年度以降も値上げは続く見通しで少しでも上昇幅を抑える努力が必要である。

給食業務委託については、3月に委託業者がプロポーザルで決定した。2023年度の1年間かけて準備を行っていく。

業務量が非常に多いので、漏れのないようしっかり準備していく。

栄養管理

今年度の栄養指導件数は、3,206件となり前年度比-8%となった。内訳では外来栄養指導が好調だった。

今年度診療報酬改定で、集中治療室からの早期離床を推進するため、周術期における適切な栄養管理を推進する目的で、「早期栄養介入管理加算」「周術期栄養管理実施加算」が新設された。医事課の協力を得て、7月から算定が可能となった。

今年度は、早期栄養介入管理加算が2,784件、周術期栄養管理実施加算が1,354件算定した。金額で11,478,300円となった。今後も積極的に介入し、増収につなげていきたい。

チーム医療・地域医療連携

NST、褥瘡、糖尿病といった「チーム医療」に栄養科はかかわっている。糖尿病サポートチームは、周辺地域住民の血糖コントロール改善が主な活動目標であり、地域のイベントに参加してきた。新型コロナの影響もあり、様々なイベントが中止になっており十分な活動はできなかった。

今後、再開されれば以前のように積極的に参加していきたい。

地域との連携も、オンライン会議になったり研修会が中止になったりして交流が十分にできなかった。

感染が落ち着けば徐々に、活動を以前のように広げていきたい。

入院患者食数

	一般食										特別治療食										検査食	合計	その他				
											加算					非加算							特養	養護	シルバーケア	ケアハウス	デイケア
	普通食	全粥食	7分粥食	5分粥食	3分粥食	流動食	嚥下食	離乳食	調乳	糖尿病食	心疾患食	肺炎食	腎臓病食	透析食	腎臓病食 蛋白質制限	濃厚流動食 経管	計	比率 (%)	濃厚流動食 経管	濃厚流動食 経口							
2022年4月	12,697	4,573	2,723	9,076	321	320	3,638	108	930	5,170	4,134	268	0	0	2,564	12,136	23.7%	3,192	723	584	240	51,261	3,272	2,070	8,651	2,862	396
5月	11,917	4,850	2,641	9,289	242	382	3,781	57	827	4,894	4,292	571			2,822	12,579	24.4%	3,526	711	481	209	51,492	3,370	2,065	8,685	3,166	360
6月	13,067	3,927	2,372	9,388	312	406	3,765	37	608	4,934	3,580	505			2,634	11,653	23.0%	3,556	704	666	210	50,671	2,949	1,730	8,246	3,032	434
7月	13,739	4,228	2,160	10,564	262	373	3,808	118	564	4,872	2,893	452			2,695	10,912	20.8%	4,122	768	488	251	52,357	3,097	1,599	8,278	3,170	408
8月	12,105	5,228	1,996	10,241	301	400	3,176	101	622	3,938	2,975	714			2,725	10,352	20.6%	4,323	690	569	231	50,335	3,028	1,316	9,056	2,924	397
9月	11,447	5,263	1,887	10,127	173	375	3,492	57	429	3,483	2,785	911			2,414	9,593	19.6%	4,410	671	778	200	48,902	2,675	864	8,561	2,875	407
10月	13,097	5,074	2,189	9,321	451	503	3,938	37	505	3,391	2,985	956			2,811	10,143	19.6%	4,804	567	897	177	51,703	2,696	469	8,421	3,212	416
11月	12,331	4,867	2,079	8,555	362	420	3,930	49	758	4,002	3,286	557			2,733	10,578	21.3%	4,015	548	976	224	49,692	2,532	5	8,227	3,008	412
12月	12,070	5,215	2,365	10,549	229	382	3,910	170	716	3,607	3,421	393			2,454	9,875	19.1%	4,007	665	1,284	210	51,647	2,469	0	8,234	3,137	398
2023年1月	12,211	4,459	2,725	10,422	422	314	4,021	24	691	3,541	3,083	392			2,471	9,487	18.4%	4,404	927	1,182	228	51,517	1,994	0	8,886	3,130	375
2月	10,821	4,032	2,503	8,045	192	324	4,387	17	531	3,888	3,226	444			2,872	10,430	22.0%	4,126	917	889	269	47,483	1,313	0	8,101	2,809	402
3月	11,956	5,013	2,212	8,861	195	519	4,024	65	220	3,985	3,529	654			3,440	11,608	22.7%	4,370	837	1,025	294	51,199	1,119	0	9,073	3,071	482
小計	147,458	56,729	27,852	114,438	3,462	4,718	45,870	840	7,401	49,705	40,189	6,817			32,635	129,346	21.3%	48,855	8,728	9,819	2,743	608,259	30,514	10,118	102,419	36,396	4,887
合計	608,259																				184,334						

栄養指導件数(個別)

	糖尿病		高血圧 心疾患		脂質異常症		肥満		腎臓病・透析		肝臓病・膵炎		大腸がん		クローン病 潰瘍性大腸炎		マーゲンESD		嚥下食		周術その他	
	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来
2022年4月	23	66	17	3	0	1	1	2	14	64	0	0	13	0	1	0	21	0	3	0	3	95
5月	15	62	10	3	0	2	0	4	12	61	1	1	12	0	1	0	16	0	1	0	6	70
6月	28	61	13	2	0	0	0	4	8	65	0	2	13	1	1	0	21	0	1	0	10	64
7月	10	48	4	7	0	1	0	4	8	67	0	3	16	0	0	0	12	0	1	0	8	63
8月	11	41	2	8	0	4	0	3	4	53	1	2	17	2	1	0	27	0	2	0	4	60
9月	8	36	0	8	0	2	1	3	8	45	2	1	16	2	1	2	29	0	1	0	2	55
10月	15	45	0	3	0	1	0	2	6	60	1	0	14	1	1	1	18	0	6	0	1	53
11月	9	43	0	8	1	4	2	5	8	51	0	3	20	0	1	0	21	0	3	0	4	60
12月	12	45	4	11	0	1	0	8	10	51	0	0	19	1	1	1	24	3	3	0	7	60
2023年1月	11	39	1	4	0	0	1	12	9	52	1	1	12	1	0	1	15	0	2	1	6	64
2月	13	41	0	4	2	3	1	5	14	64	1	0	14	0	1	0	22	1	0	0	4	58
3月	19	58	2	6	0	1	0	6	12	58	0	2	9	2	0	1	22	0	2	0	5	62
小計	174	585	53	67	3	20	6	58	113	691	7	15	175	10	9	6	248	4	25	1	60	764
合計	759		120		23		64		804		22		185		15		252		26		824	

栄養指導件数(集団)

	外来			
	糖尿病外来教室		ドック指導	
	回数	患者数	回数	患者数
2022年4月	1	1	12	31
5月	2	5	14	46
6月	1	1	18	72
7月	2	2	15	63
8月	2	2	17	79
9月	2	2	15	68
10月	3	3	16	75
11月	1	1	14	69
12月	3	3	13	77
2023年1月	3	5	15	69
2月	2	3	14	56
3月	2	4	15	51
小計	24	32	178	756
合計	24回 32人			

※ドック指導は指導料なし

栄養管理加算

	早期栄養介入管理加算	周術期栄養管理実施加算
	件数	件数
2022年4月		
5月		
6月		
7月	234	136
8月	316	159
9月	301	151
10月	322	171
11月	346	142
12月	329	148
2023年1月	306	137
2月	308	146
3月	322	164
合計	2,784	1,354

●医療連携福祉相談室（2022年度）

相談係 2022年度年報（2022年4月1日～2023年3月31日）

1. 主な業務について

医療連携福祉相談室 相談係では、地域の医療機関・関係機関との連携強化のため、以下の取り組みを推進した。

併設施設との連携強化のため、5/12 に介護老人保健施設シルバーケアセンターとの話し合いを開催し、入所検討会の開催頻度や在宅復帰見込みの無い患者さんの受け入れ、協力者が不在または遠方の患者さんの受け入れなど、MSW がシルバーケアセンターとの入所調整で課題と感じている内容について話し合い、受け入れ基準の緩和について協議を行った。また、シルバーケアセンターの空床情報、待機者リストを毎日更新して確認できるようにしていただいた。

関係機関との連携をよりシームレスにするため、地域連携パスの運用を推進している。2021年からイムス佐原リハビリテーション病院と運用を開始した大腿骨近位部骨折地域連携パスを、6/9 よりシルバーケアセンターと、8/1 より成田リハビリテーション病院とも運用を開始している。また、6/29 に心不全地域連携クリニカルパス導入に向けた近隣医療機関とのキックオフミーティングをwebで開催した。

当院の転院調整の現状と課題を近隣の医療機関と共有させていただくため、8/9に「香取海匝地域エリアの病院ネットワークを考える会」でwebにて情報共有を行った。香取海匝地域の医療資源は限られているため、関係機関との連携を更に強化していきたい。

独居高齢者世帯の増加や人間関係の希薄化により、身寄りや協力者がいない患者さんが年々増加している。治療終了後、やむを得ず転院または施設入所せざるを得ない患者さんも少なくないが、既存のシステムでは身寄りがいる前提で受け入れを検討される関係機関も多く、退院調整が難渋するケースもある。同じような悩みを抱える関係機関も多くあると思われ、「身寄りや協力者がいない患者さんへの支援について考える」をテーマにした、第12回地域医療連携懇談会を10/12にweb形式で開催し約100名の方にご視聴いただいた。

香取海匝難病相談支援センター事業の一環で、7月と2月に第三号喀痰吸引等研修を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、直近3年間は年1回の開催だったが、今年度は地域からの要望もあり年2回の開催とした。

がん診療連携拠点病院の指定要件が改定され、「外来初診時から治療開始までを目処に、がん患者及びその家族が一度はがん相談支援センターを訪問できる体制を整備することが望ましい」との一文が明記され、告知の段階で『がん相談支援センターご案内』というパンフレットを患者さん・ご家族へお渡しすることとなった。また、新型コロナウイルス感染症の影響で2020年1月から開催を延期していた、がん患者サロンを11月に約3年ぶりに開催した。

児童虐待対策関連で、2/10に千葉県虐待対策研究会と院内家族支援チーム主催の研修会をハイブリッド形式で開催し、約120名の方に視聴・参加いただいた。また、認知症疾患医療センター関連で、2/14に千葉県認知症地域支援推進員28名を対象に講演を行った。

2. 入院・外来ケース件数

	入院	外来	合計
新規	2,409	598	3,007
再来	59	34	93
継続	1,833	398	2,231
実件数	4,301	1,030	5,331
延件数	19,315	2,013	21,328

3. 紹介経路（新規・再来、実件数のみ）

	本人	家族	知人	医師	看護師	院内職員	関係機関	その他	合計
新規	39	79	0	1,182	1,311	172	199	25	3,007
再来	3	14	0	37	19	4	16	0	93
合計	42	93	0	1,219	1,330	176	215	25	3,100

4. 診療科別実件数（新規・再来、継続件数）

内科	2,616	救命救急科	37
脳神経外科	658	耳鼻咽喉科	30
整形外科	487	皮膚科	21
透析科	393	心臓外科	17
小児科	326	神経精神科	13
産科	236	歯口科	12
新生児科	113	眼科	9
泌尿器科	110	リハビリテーション科	1
外科	102	その他	20
形成外科	73	合計	5,331
婦人科	57		

5. MSW 行動別業務集計（新規・再来、継続件数）

	面接	電話	文書	訪問	行動別延件数	実件数
受診援助	159	388	11	0	558	81
入院援助	14	122	2	0	138	25
退院援助	6,116	33,683	137	3	39,939	3,663
療養上の問題調整	756	1,899	62	0	2,717	594
経済問題調整	757	1,657	4	1	2,419	340
就労問題調整	6	8	0	0	14	5
家族問題調整	835	3,150	0	0	3,985	623
合計	8,643	40,907	216	4	49,770	5,331

6. 関連業務集計

	関連業務	総件数
クライアント 処遇会議	病棟ケースカンファレンス（ERW、1-5、1-7、NICU、5東、5西、6東、6西、7東、7西、8東、8西、9東、9西、10東、10西、11東、11西）、心不全チームカンファレンス、HIVカンファレンス、緩和ケアチームカンファレンス、FAST（家族支援チーム）、化学療法センター合同カンファレンス、安全・患者サポートカンファレンス、AYA世代がん患者支援チームカンファレンス、認知症サポートチームカンファレンス、移植前カンファレンス	927
各種会議	千葉県東部地域救急医療ネットワーク会議、千葉県がん診療連携協議会相談支援専門部会、千葉県総合難病相談支援センター会議、千葉県循環器病対策推進協議会、千葉県脳卒中連携会議、香取広域医療的ケア児童支援会議、香取海匠病院ネットワークを考える会、旭市救急医療ネットワーク会議、旭市認知症初期集中支援チーム委員会、旭市要保護児童対策地域協議会、旭市地域自立支援協議会、旭市犯罪被害者支援連絡協議会、虐待防止委員会、大腿骨近位部骨折WEB会議、HIV拠点病院会議、心不全地域連携バス会議、外国人医療費検討会議、診療技術局代表者会議、診療技術局全体会議、患者相談中央会議、患者相談支援連絡会議、総合患者支援センター会議、新型コロナウイルス感染対策本部会議、新型コロナウイルス5類移行に伴う病院長会議、新型コロナウイルス感染症に関する連携会議、在院日数短縮プロジェクト会議、母子保健連絡会議、入院・手術サポートセンター（PFMセンター）運営会議、診療技術局教育委員会、診療技術局安全委員会、がん診療あさひ編集委員会、がん診療運営委員会、高次脳機能障害連絡会議、緩和ケア病棟入棟審査会、クリニカルパス委員会、健康づくり支援委員会、退院支援委員会、病床管理委員会、ボランティア委員会	610
研修・研究・学会	喀痰吸引研修、千葉県子ども虐待対策研究会、地域連携懇談会 等	66
教育・実習指導	旭中央病院附属看護学校講義、千葉科学大学実習生対応 等	149
情報処理	日報、月報、年報、がん相談、難病相談業務集計 等	3,734
その他関連業務	がん患者サロン 等	1,038
	合計	6,524

7. がん相談について

①相談件数 [入院] 実件数 645 件、総件数 3,039 件 [外来] 実件数 252 件、総件数 499 件

②相談を受けた患者の疾患

S 状結腸がん、悪性黒色腫、悪性中皮腫、悪性リンパ腫、胃がん、陰茎がん、咽頭がん、横行結腸がん、回盲部がん、下行結腸がん、肝がん、肝細胞がん、胆管がん、肝内胆管がん、肝門部胆管がん、気管支がん、急性骨髄性白血病、急性混合性白血病、原発不明がん、血管内リンパ腫、結腸がん、甲状腺がん、肛門管がん、喉頭がん、骨髄異形成症候群、子宮がん、子宮頸がん、子宮上皮がん、子宮体がん、十二指腸がん、十二指腸乳頭部がん、歯肉がん、上顎洞がん、上行結腸がん、小細胞肺がん、食道がん、腎がん、腎盂がん、腎細胞がん、膵がん、膵体部がん、膵頭部がん、膵尾部がん、舌がん、前立腺がん、大腸がん、多発性骨髄腫、胆嚢がん、虫垂がん、直腸がん、乳がん、尿管がん、脳腫瘍、肺がん、肺腺がん、メルケル細胞がん、膀胱がん、慢性骨髄性白血病、盲腸がん、有棘細胞がん、頬粘膜がん、視床星細胞腫、卵巣がん、甲状腺がん、頭蓋内胚細胞腫瘍、中枢神経原発びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫

③がん患者サロン

例年月 1 回、第 3 月曜日(14:00~16:00)に医療連携福祉相談室にて開催しているが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により開催が中止となった。11 月に事前申込みの予約制で感染対策を講じながら一度開催した。参加者は 3 名で、60 代 2 名 70 代 1 名であった。病名は白血病、子宮体がん、胃がんであった。コロナ禍で他者との関わりが減り、サロンで直接話ができるのは嬉しいといった声が聞かれた。2023 年度は対面でのサロンを再開している。

8. 難病相談について

①相談件数 [入院] 実件数 179 件、総件数 1,052 件 [外来] 実件数 25 件、総件数 78 件

②相談を受けた患者様の疾患

筋萎縮性側索硬化症、進行性核上性麻痺、パーキンソン病、大脳皮質基底核変性症、多発性硬化症/視神経脊髄炎、慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)、ミトコンドリア病、全身性アミロイドーシス、顕微鏡的多発血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、悪性関節リウマチ、原発性抗リン脂質抗体症候群、全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎/多発性筋炎、全身性強皮症、シェーグレン症候群、再発性多発軟骨炎、ベーチェット病、特発性拡張型心筋症、特発性血小板減少性紫斑病、血栓性血小板減少性紫斑病、IgA 腎症、後縦靭帯骨化症、特発性大腿骨頭壊死症、下垂体前葉機能低下症、サルコイドーシス、特発性間質性肺炎、慢性血栓閉塞性肺高血圧症、網膜色素変性症、クローン病、潰瘍性大腸炎、筋ジストロフィー、前頭側頭葉変性症、一次性ネフローゼ症候群、後天性赤芽球癆

③難病に関する講演・研修会の開催事業

演題等	対象者	参加者数	内容
喀痰吸引等研修 (第 3 号)	香取・海匠地域の患者を担当するヘルパー等	①14 名 ②6 名	香取・海匠地域の患者を担当するヘルパー等を対象とし、①2022 年 7 月 5 日(火)~6 日(水)、②2023 年 2 月 14 日(火)~15 日(水)に喀痰吸引等研修(第 3 号)を行った。

9. 認知症相談について ※外来での対応件数のみ

(1) 専門医療相談件数（月別）（電話による相談及び面接による相談、それぞれの件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	31	15	23	36	19	24	41	32	25	32	35	34	347
面接	6	0	28	1	3	4	6	6	1	3	1	3	62
合計	37	15	51	37	22	28	47	38	26	35	36	37	409

(2) 専門医療相談のための地域包括支援センターとの連絡調整件数（月別）及びその他機関との情報収集・提供件数（月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域包括支援センターとの連絡調整件数	4	0	7	4	2	1	3	5	1	6	2	1	36
その他機関との情報収集・提供件数	7	0	22	15	6	9	16	4	3	9	6	0	97
合計	11	0	29	19	8	10	19	9	4	15	8	1	133

2022 年度認知症疾患医療センター会議関連

開催日	参加人数
2022 年 10 月 12 日	2022 年度 第 1 回 認知症疾患医療連携協議会（ZOOM 講演） 81 名

10. 家族問題調整（FAST ケース）について

新規相談件数

年度	身体的虐待	ネグレクト	心理的虐待	性的虐待	DV	特定妊婦	高齢者虐待	障害者虐待	計
2018 年	39	73	17	14	10	56	15	3	227
2019 年	40	74	14	20	7	56	18	1	230
2020 年	28	183	16	23	11	66	18	3	348
2021 年	23	128	15	40	14	50	9	4	283
2022 年	15	124	25	44	16	59	11	4	298

対応実件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実件数	54	34	62	58	56	51	49	55	39	53	46	66	623

対応延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	277	196	342	275	252	306	267	324	181	189	198	343	835
面接	66	72	103	64	64	28	132	67	60	36	41	102	3,985
合計	343	268	445	339	316	334	399	391	241	225	239	445	4,820

虐待種別

身体的虐待	15
ネグレクト	124
心理的虐待	44
性的虐待	25
DV	16
特定妊婦	59
高齢者虐待	11
障害者虐待	4
合計	298
(児童虐待のみ 208)	

被虐待児の性別

男	69
女	139
計	208

被虐待児の発達障害の有無

有り	41
無し	167
総計	208

発見時の被虐待児の年齢

新生児（出生後 28 日未満）	54
乳児（1 歳未満）	13
幼児（1 歳から 6 歳）	52
小学生（7 歳から 12 歳）	57
中学生（13 歳から 15 歳）	24
高校生（16 歳から 18 歳）	8
合計	208

児童虐待ケースの対応内容

児童相談所 通告	9
児童相談所 連携	71
市町村 通告	19
市町村 連絡	109
合計	208

児童相談所通告ケースの種別

身体的虐待	2
ネグレクト	6
心理的虐待	1
性的虐待	0
特定妊婦	3
合計	12

児童虐待ケースの保護者の問題

経済的問題	43
精神疾患	45
DV	16
知的障害	5

勉強会開催

開催日	テーマ	参加人数
2022年12月23日	FAST 院内勉強会	27名
2023年2月10日	虐待における医療機関と司法との連携（web開催）	ハイブリッドで約100名
2023年3月9日	FAST 院内勉強会	25名

11. 退院調整業務について

①退院者数 2,262名

②年齢別

	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代～	合計
在宅	4	3	7	8	40	61	119	96	37	375
施設	0	0	3	5	6	22	40	118	82	276
転院	8	4	3	32	63	149	334	554	225	1,372
死亡	0	0	1	1	7	15	49	108	58	239
合計	12	7	14	46	116	247	542	876	402	2,262

※退院後の療養先について

自宅への退院は「在宅」、介護老人保健施設や介護老人福祉施設などへの入所は「施設」、他の医療機関への転院は「転院」、退院調整中に死亡した場合は「死亡」としている

③依頼元診療科

診療科	件数	診療科	件数
内科	1,283	婦人科	12
整形外科	358	皮膚科	10
脳神経外科	290	救命救急科	9
透析科	130	耳鼻咽喉科	9
泌尿器科	60	小児科	5
外科	55	歯口科	2
形成外科	24	眼科	1
心臓外科	14	総計	2,262

④地域連携パス使用件数

千葉県脳卒中地域連携パス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年	15	10	12	9	10	11	13	21	14	11	22	23	171
2021年	13	13	17	16	21	20	14	24	17	16	7	13	191
2022年	15	12	13	9	7	12	9	12	15	13	12	13	142

大腿骨頸部骨折地域連携パス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年	—	—	0	4	2	7	3	1	5	3	0	3	28
2022年	1	2	2	5	3	5	6	3	11	14	3	7	62

⑤調整先

(1) 医療機関 1,372件

病院	住所	件数
イムス佐原リハビリテーション病院	香取市	313
九十九里ホーム病院	匝瑳市	98
たむら記念病院	銚子市	89
匝瑳市民病院	匝瑳市	62
児玉病院	銚子市	59
成田リハビリテーション病院	成田市	58
東庄病院	香取郡東庄町	51
栗源病院	香取市	44
東陽病院	山武郡横芝光町	44
多古中央病院	香取郡多古町	39
本多病院	香取市	35
銚子市立病院	銚子市	29
長谷川病院	八街市	29
さんむ医療センター	山武市	28
渡辺病院	茨城県神栖市	27
島田総合病院	銚子市	22
鹿島病院	茨城県鹿嶋市	22
田辺病院	旭市	21
内田病院	銚子市	21
香取おみがわ医療センター	香取市	18
神栖済生会病院	茨城県神栖市	17
白十字総合病院	茨城県神栖市	17
宮本病院	茨城県稲敷市	16
県立佐原病院	香取市	14
海上寮療養所	旭市	13
九十九里病院	山武郡九十九里町	12
浅井病院	東金市	11
高根病院	山武郡芝山町	10
京友会病院	旭市	9
新八街総合病院	八街市	9
千葉みなとリハビリテーション病院	千葉市	8
千葉大学医学部附属病院	千葉市	7
大栄病院	成田市	6
鹿島神宮前病院	茨城県鹿嶋市	6
季美の森リハビリテーション病院	大網白里市	4
千葉リハビリテーションセンター	千葉市	4
飯倉医院	旭市	3
成田富里徳洲会病院	富里市	3
東千葉メディカルセンター	東金市	3
東邦大学医療センター佐倉病院	佐倉市	3
富家千葉病院	千葉市	3
千葉県こども病院	千葉市	3
日本医科大学千葉北総病院	印西市	3
東京湾岸リハビリテーション病院	習志野市	3
藤田病院	匝瑳市	2
成田赤十字病院	成田市	2
国際医療福祉大学成田病院	成田市	2
南八街病院	八街市	2
大網病院	大網白里市	2
三橋病院	千葉市	2
井上記念病院	千葉市	2
リハビリテーション病院さらしな	市原市	2
鈴木神経科病院	茂原市	2

病院	住所	件数
亀田総合病院	鴨川市	2
新東京病院	松戸市	2
国立がん研究センター東病院	柏市	2
泉リハビリテーション病院	流山市	2
東京慈恵会医科大学附属病院	東京都港区	2
東京都立駒込病院	東京都文京区	2
山野病院	香取市	1
聖マリア記念病院	成田市	1
千葉みなと病院	千葉市	1
千葉メディカルセンター	千葉市	1
千葉県がんセンター	千葉市	1
千葉市立青葉病院	千葉市	1
木村病院	千葉市	1
令和リハビリテーション病院	千葉市	1
山王病院	千葉市	1
みはま病院	千葉市	1
聖隷佐倉市民病院	佐倉市	1
穴倉病院	茂原市	1
茂原中央病院	茂原市	1
聖光会病院	長生郡長柄町	1
セントマーガレット病院	八千代市	1
勝田台病院	八千代市	1
島田台総合病院	八千代市	1
千葉県循環器センター	市原市	1
白金整形外科病院	市原市	1
鎗田病院	市原市	1
袖ヶ浦さつき台病院	袖ヶ浦市	1
船橋市立リハビリテーション病院	船橋市	1
船橋中央病院	船橋市	1
船橋二和病院	船橋市	1
北柏リハビリ総合病院	柏市	1
江陽台病院	流山市	1
小張総合病院	野田市	1
小山記念病院	茨城県鹿嶋市	1
前田病院	茨城県鹿嶋市	1
水戸協同病院	茨城県水戸市	1
水府病院	茨城県水戸市	1
原宿リハビリテーション病院	東京都渋谷区	1
江戸川メディケア病院	東京都江戸川区	1
東京さくら病院	東京都江戸川区	1
日本大学医学部付属板橋病院	東京都板橋区	1
築地神経科クリニック	東京都中央区	1
杉並リハビリテーション病院	東京都杉並区	1
国分寺病院	東京都国分寺市	1
杏林大学医学部附属病院	東京都三鷹市	1
市ヶ尾病院	神奈川県横浜市	1
昭和大学横浜市北部病院	神奈川県横浜市	1
横浜市立市民病院	神奈川県横浜市	1
新座病院	埼玉県新座市	1
リハビリテーション天草病院	埼玉県越谷市	1
富士見高原病院	長野県諏訪郡	1
コープリハビリテーション病院	岡山県倉敷市	1
合計		1,372

(2) 施設 276 件

施設	住所	件数
介護老人保健施設シルバーケアセンター	旭市	92
特別養護老人ホーム花園	匝瑳市	15
特別養護老人ホームやすらぎ園	旭市	9
特別養護老人ホーム白寿園	旭市	7
特別養護老人ホーム東風荘	旭市	6
障害者支援施設聖マリア園	旭市	6
介護老人保健施設なごさ	銚子市	5
特別養護老人ホーム竜神苑	香取郡東庄町	5
特別養護老人ホーム松丘園	匝瑳市	4
九十九里ホーム山田特別養護老人ホーム	香取市	4
介護老人保健施設おおくすの郷	香取市	4
住宅型有料老人ホーム神代の森	香取郡東庄町	4
特別養護老人ホーム三愛	山武郡横芝光町	4
グループホームけあビジョンホーム旭	旭市	3
特別養護老人ホーム太陽の家	匝瑳市	3
障害者支援施設聖マーガレットホーム	匝瑳市	3
介護付有料老人ホームエクセルシオール佐原	香取市	3
特別養護老人ホーム横芝光	山武郡横芝光町	3
介護老人保健施設エスポワール成田	成田市	3
グループホームふくろう	旭市	2
恵天堂特別養護老人ホーム	旭市	2
介護老人保健施設すこやかリハビリケアセンター	旭市	2
特別養護老人ホーム第二やすらぎ園	旭市	2
特別養護老人ホーム東総園	旭市	2
介護老人保健施設ミス・ヘンテ記念ケアセンター	匝瑳市	2
介護老人保健施設そうさぬくもりの郷	匝瑳市	2
障害者支援施設しおさいホーム	匝瑳市	2
飯倉駅前特別養護老人ホームシオン	匝瑳市	2
特別養護老人ホームシオン	銚子市	2
介護老人保健施設とよさと	銚子市	2
介護老人保健施設慈風苑	銚子市	2
ケアハウス第2 かがが苑	銚子市	2
サービス付高齢者住宅ハートケアホームなごやか	銚子市	2
特別養護老人ホーム吉祥苑	山武郡横芝光町	2
特別養護老人ホームはまなす	茨城県神栖市	2
グループホームふれ愛	旭市	1
ケアハウス東総園	旭市	1
けあビジョンホーム旭	旭市	1
やすらぎ園ケアハウス	旭市	1
介護老人福祉施設こもれび	旭市	1
共同生活援助事業所菜の花ハイツ	旭市	1
特別養護老人ホーム東風荘松里館	旭市	1
グループホーム森の家	匝瑳市	1
グループホーム第二希望の里	匝瑳市	1
グループホーム楠の杜	匝瑳市	1
サービス付高齢者住宅柚庵	匝瑳市	1
障害者支援施設八日市場学園	匝瑳市	1
特別養護老人ホーム瑞穂園	匝瑳市	1
養護老人ホーム瑞穂園	匝瑳市	1

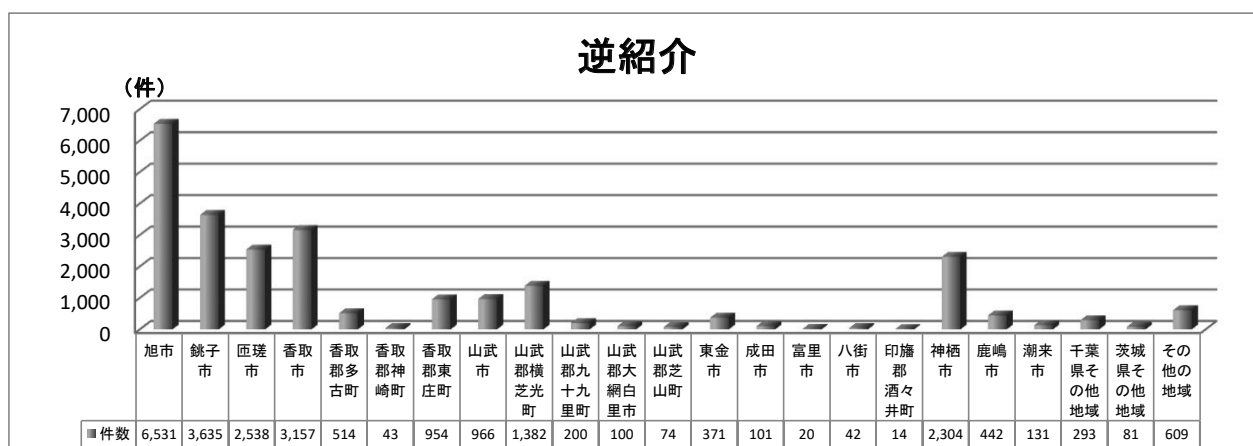
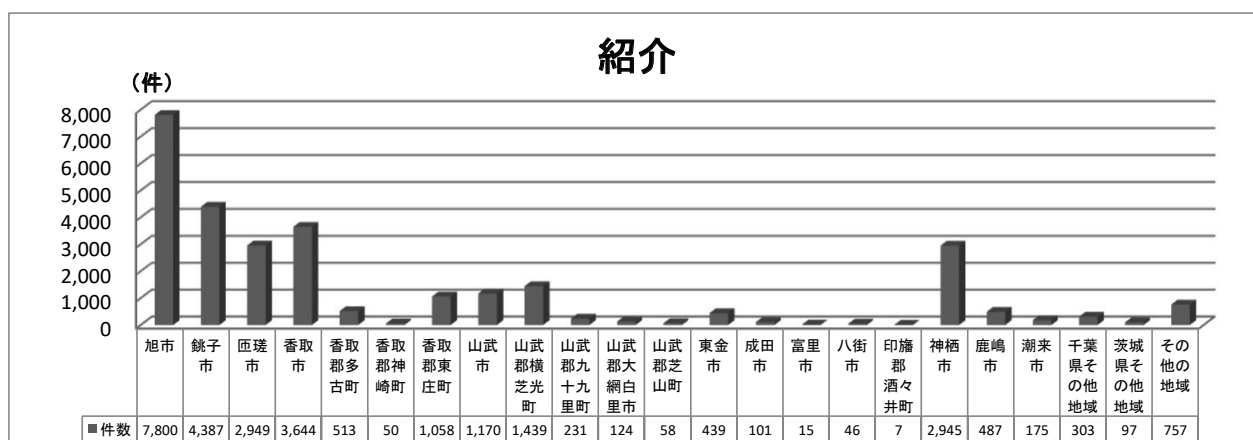
施設	住所	件数
グループホームかがが苑	銚子市	1
グループホーム銀河	銚子市	1
グループホーム銀河橋本	銚子市	1
小規模多機能ホームやわら	銚子市	1
盲養護老人ホーム猿田の丘なでしこ	銚子市	1
有料老人ホームいるかくらぶ	銚子市	1
グループホームおみがわの憩	香取市	1
グループホーム香取の杜中々	香取市	1
グループホームメイプル	香取市	1
グループホーム山里	香取市	1
介護老人保健施設夢プラスワン	香取市	1
小規模多機能型居宅介護日下部ホーム	香取市	1
特別養護老人ホームかとり郷福楽園	香取市	1
特別養護老人ホーム水都苑	香取市	1
特別養護老人ホーム杜の家くりもと	香取市	1
特別養護老人ホーム東総あやめ苑	香取市	1
複合福祉施設 香取の杜 中々	香取市	1
介護老人保健施設深深	香取郡東庄町	1
特別養護老人ホーム靄靄	香取郡東庄町	1
特別養護老人ホーム多古特別養護老人ホーム	香取郡多古町	1
グループホーム宝の里	香取郡神崎町	1
サービス付高齢者向け住宅園芸シニアハイツ宝の里	香取郡神崎町	1
介護付有料老人ホームエクセルシオール山武	山武市	1
介護老人保健施設松尾リハビリ苑	山武市	1
介護老人保健施設日向の里	山武市	1
グループホーム光	山武郡横芝光町	1
養護老人ホーム坂田苑	山武郡横芝光町	1
介護老人保健施設透光苑	成田市	1
グループホーム咲顔	東金市	1
特別養護老人ホーム芙蓉荘	東金市	1
サービス付き高齢者向け住宅おおあみの里	大網白里市	1
山武みどり学園	大網白里市	1
特別養護老人ホーム季美の森	大網白里市	1
特別養護老人ホーム杜の街	大網白里市	1
住宅型有料老人ホームプラチナプレイス	茂原市	1
有料老人ホームグレイト茂原	茂原市	1
介護付有料老人ホーム夢眠ちば	佐倉市	1
視覚障害者施設愛光	佐倉市	1
グループホーム島田	八千代市	1
サービス付高齢者住宅ユーカリ小金原	松戸市	1
NPO 法人潮騒ジョブトレーニングセンター	茨城県神栖市	1
介護老人保健施設シオン	茨城県神栖市	1
障害者支援施設神栖啓愛園	茨城県神栖市	1
特別養護老人ホームマリンピア神栖	茨城県神栖市	1
指定障害者支援施設鹿島更生園	茨城県鹿嶋市	1
有料老人ホーム鶴沼の里	茨城県土浦市	1
サービス付高齢者住宅メディカルケアメゾン小田本通り	神奈川県川崎市	1
合計		276

連携係

連携係は地域医療機関との窓口として、紹介患者様の受診案内や転院受入れ調整を行っています。更に登録医制度や検査機器共同利用システムを活用し、地域の「かかりつけ医」の先生方との紹介・逆紹介の循環を円滑に推進し、地域完結型医療の構築に資するよう訪問活動を行っております。検査機器共同利用では多くの地域医療機関の皆様にご利用頂き、当年度は年間3,000件を超える全国有数の実績となりました。紹介情報管理においては紹介患者情報を集約し、当院にご紹介頂いた患者様の診療経過を速やかに報告し、当院受診後も患者様の円滑な受診に繋がるよう管理を行っております。

地域医療者（医師）懇談会につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度まで開催を見送ってまいりましたが、当年度は2022年8月29日及び2023年3月17日にいずれもweb開催で実施し、香取海匝地域のみならず鹿行、成田方面の医師ほか多職種の方々にご視聴頂きました。

2022年度 紹介・逆紹介患者数 居住地別件数



2022年度 紹介・逆紹介患者数 居住地別件数と比率

		都道府県	市町村	紹介 件数	全体に占 める比率	逆紹介 件数	全体に占 める比率		
診 療 圏	二 次 保 健 医 療 圏	千葉県	旭市	7,800	27.1%	6,531	26.7%		
		千葉県	銚子市	4,387	15.2%	3,635	14.8%		
		千葉県	匝瑳市	2,949	10.2%	2,538	10.4%		
		千葉県	香取市	3,644	12.7%	3,157	12.9%		
		千葉県	香取郡多古町	513	1.8%	514	2.1%		
		千葉県	香取郡神崎町	50	0.2%	43	0.2%		
		千葉県	香取郡東庄町	1,058	3.7%	954	3.9%		
	香取海匠二次保健医療圏 小計				20,401	70.7%	17,372	71.0%	
	山 武 地 区	千葉県	山武市	1,170	4.1%	966	3.9%		
		千葉県	山武郡横芝光町	1,439	5.0%	1,382	5.6%		
		千葉県	山武郡九十九里町	231	0.8%	200	0.8%		
		千葉県	山武郡大網白里市	124	0.4%	100	0.4%		
		千葉県	山武郡芝山町	58	0.2%	74	0.3%		
		千葉県	東金市	439	1.5%	371	1.5%		
		山武地区 小計				3,461	12.0%	3,093	12.6%
		千葉県	成田市	101	0.4%	101	0.4%		
		千葉県	富里市	15	0.1%	20	0.1%		
		千葉県	八街市	46	0.2%	42	0.2%		
	千葉県	印旛郡酒々井町	7	0.0%	14	0.1%			
	茨城県	神栖市	2,945	10.2%	2,304	9.4%			
	茨城県	鹿嶋市	487	1.7%	442	1.8%			
	茨城県	潮来市	175	0.6%	131	0.5%			
	千葉県 その他 地域				303	1.1%	293	1.2%	
	茨城県 その他 地域				97	0.3%	81	0.3%	
	その他の地域				757	2.6%	609	2.5%	
	合 計				28,795	100%	24,502	100%	

2022年度 登録医・カルナコネク 加入医療機関数 市町村別一覧表

市町村	医科		歯科		合計	
	登録医	カルナ	登録医	カルナ	登録医	カルナ
旭市	26	23	26	23	52	46
匝瑳市	18	18	8	7	26	25
銚子市	25	20	25	18	50	38
香取市	35	30	11	8	46	38
東庄町	2	2	1	1	3	3
多古町	2	2	0	0	2	2
神崎町	0	0	0	0	0	0
山武市	5	3	1	1	6	4
横芝光町	5	5	0	0	5	5
九十九里町	1	1	0	0	1	1
成田市	1	1	0	0	1	1
東金市	1	1	0	0	1	1
大網白里市	1	1	0	0	1	1
四街道市	1	0	0	0	1	0
神栖市	16	15	6	6	22	21
鹿嶋市	4	2	2	2	6	4
銚田市	1	1	0	0	1	1
合計	144	125	80	66	224	191

(2023年3月31日現在)

2022年度 訪問件数一覧表

訪問年月	件数
2022年4月	21
5月	28
6月	23
7月	21
8月	7
9月	4
10月	12
11月	9
12月	12
2023年1月	18
2月	4
3月	9
合計	168

(単位:件)

2022年度 共同利用実績

検査項目	件数
単純CT	996
造影CT	60
CT-CAG	21
歯科CT	13
単純MRI	1,362
造影MRI	20
一般撮影	17
マンモグラフィ	5
核医学	40
骨密度	20
腹部超音波	269
心臓超音波	166
甲状腺超音波	42
頸動脈超音波	11
ABI・PWV	2
ホルター心電図	11
合計	3,055

紹介患者係

2017年3月より「地域医療支援病院」となり二人主治医制のさらなる推進のため、かかりつけ医の紹介相談、大学病院への受診案内や予約手続き、セカンドオピニオンの相談等、他医療機関への紹介に関しての窓口として業務を行った。

また2019年度より、満床等により入院出来ない患者さんの他医療機関への調整業務も担当している。他医療機関のご協力により、前年度件数と同程度の調整を行った。かかりつけ医相談等の対応件数は1,033件（前年度+4.9%）と増加している。

その他、共同利用受付窓口や看護師対応による総合相談窓口としての役割や紹介状の確認、発送業務も行っており、発送件数は28,638件（前年度比+2.0%）と年々増加している。

2022年度紹介患者センター来室件数

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
180	160	190	167	159	162	196	188	178	185	210	225	2,200

うち、2022年度かかりつけ医相談・受診予約等件数

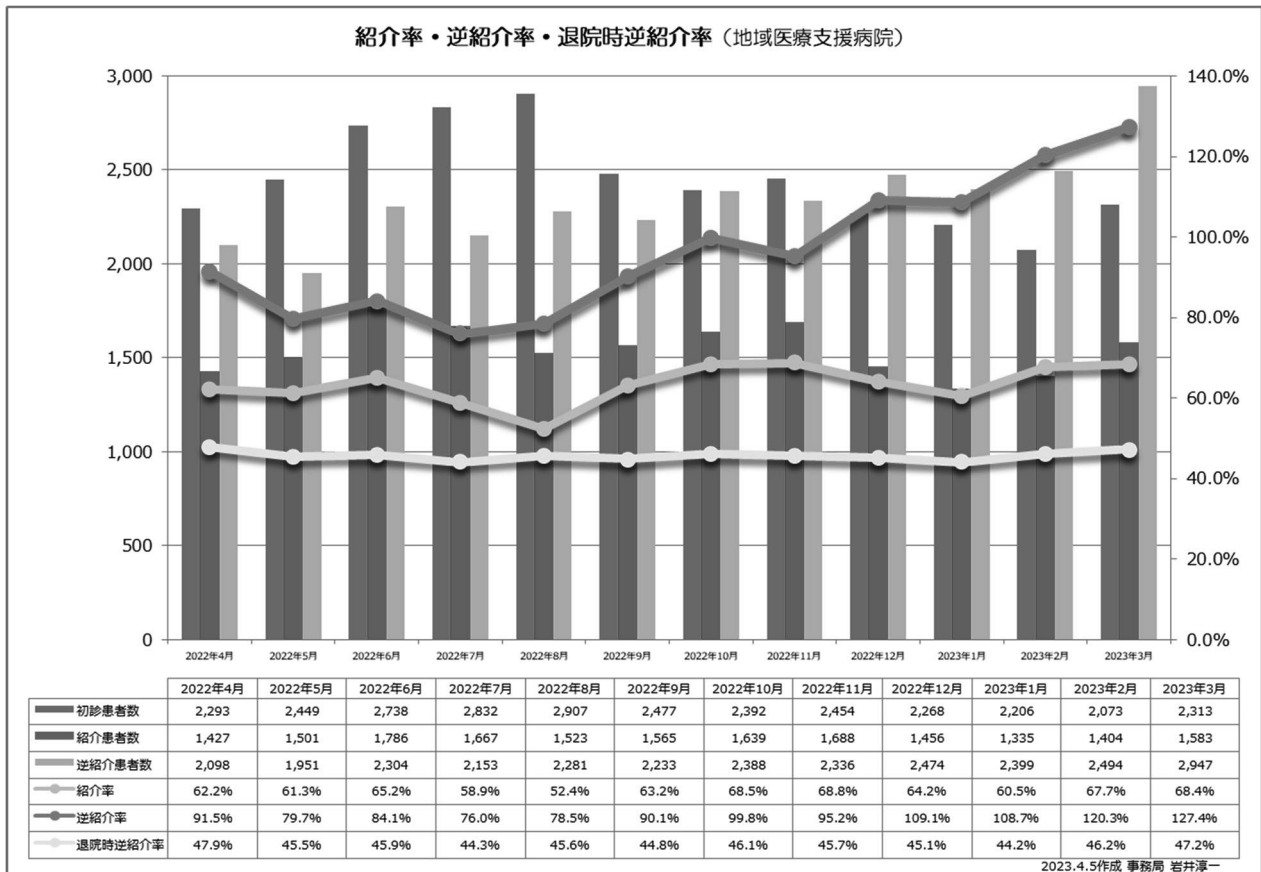
(単位：件)

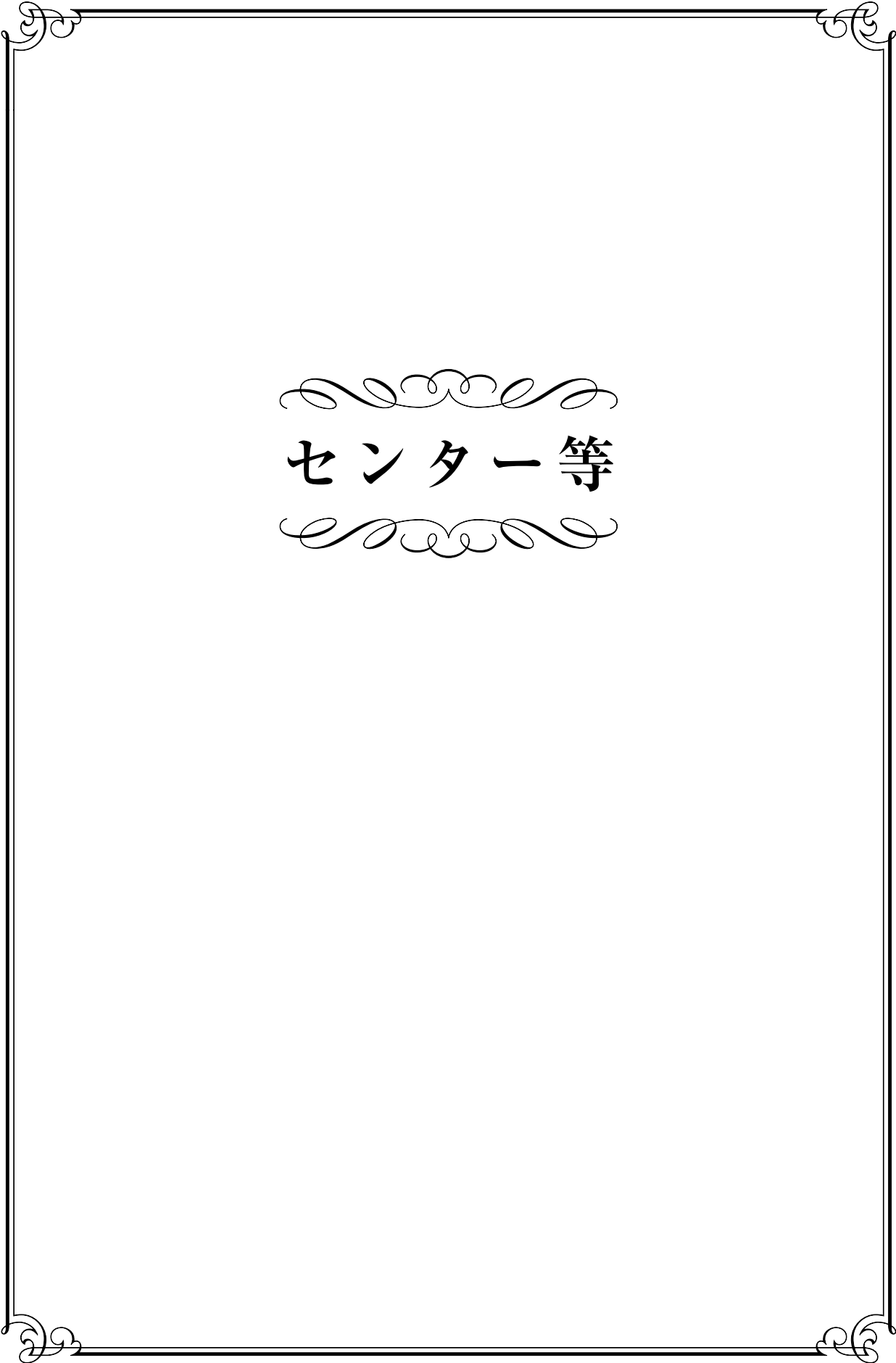
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
90	61	72	72	62	79	84	88	94	100	108	123	1,033

2022年度紹介状発送件数

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2,359	2,074	2,295	2,445	2,354	2,234	2,331	2,465	2,345	2,334	2,416	2,986	28,638





センター等

● 予防医学研究センター（2022年度）

トピックス

1. 利用者の推移

2022年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対策を実施しながら、人間ドックや単独脳ドック等の健診業務を行った。実施にあたっては引き続き当院感染予防対策および健診関連団体「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染対策」に従い、問診によるリスク評価、体温測定による体調把握を行い、体調不良や身近に感染者がいる場合には、受診延期勧奨、体調回復後に改めて予約調整を行い受診していただいた。

受診者数は、2016-2019年度平均受診者数との比較で、ドック全体では（2016～2019年度平均 3,258人、2022年度 3,055人）93.8%と回復傾向（参考2021年度 91.0%）であった。コース別受診者数比較では、1日ドック（2016～2019年度平均 2,026名、2022年度 2,171名）と7.2%増加、2日ドックは（2016～2019年度平均 1,232名、2022年度 884名）とコロナ禍以前と比較し約70%までしか回復していない。1日ドックの利用者増加の要因として、コロナ禍以前からみられた2日ドック利用者減少傾向に加え、コロナ感染拡大により、これまで2日ドック利用者の中から1日ドックに変更されたことが考えられる。増加する1日ドック希望者に応えるため、2日ドック8枠から2枠を1日ドックに振替えたことがあげられる。

2. ドックフォロー外来開設

2022年度よりセンター長によるドックフォロー外来が毎週水曜日午後5時に内科外来ブースにおいてスタートをした。当院で人間ドックを受診された方の支援目的とし、完全予約制とした。当院人間ドック診察医より、ドックフォロー外来受診指示された方および要精密検査、要治療と指示されたが当院外来に通院中でない、かかりつけ医のいない方を対象としている。

3. 新規オプション検査の導入

2022年4月より、オプション検査としてスモールデンス LDL (sd-LDL) とビタミンDを導入した。sd-LDLは動脈硬化性疾患に対して強い相関があるとされ、またビタミンD濃度が低いと骨折リスクの増加、筋力の低下することが知られている。2022年度の件数はsd-LDL 654件、ビタミンD 480件であった。

4. 今後の課題

生活習慣病対策として必要不可欠なものとされる特定健診・特定保健指導について、令和6年4月より第4期が開始される予定である。第4期ではより成果に注目したアウトカムの評価、達成状況の見える化をして指導することになる。ドック受診者は特定健診項目を併せて実施したことになるため、各コースでの保健指導の実施が求められる。人間ドック運営実施するだけでなく特定保健指導レベルの対応ができるよう、個々の受診者に寄り添った生活改善などの指導を行うために、さらに内容の充実を図り良質な保健指導の実施、積極的な医療介入が必要な要精検・要治療指示者への関りについてスキルアップが望まれる。

人間ドック 月別受診者数

コース種別	性別	月												合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1日ドック	男性	93	80	109	103	114	99	108	97	100	102	107	115	1,227
	女性	72	85	95	82	83	79	79	75	65	65	76	88	944
	小計	165	165	204	185	197	178	187	172	165	167	183	203	2,171
2日ドック	男性	29	36	62	56	55	56	50	43	58	46	48	42	581
	女性	10	20	21	22	30	22	34	37	38	33	18	18	303
	小計	39	56	83	78	85	78	84	80	96	79	66	60	884
合計	男性	122	116	171	159	169	155	158	140	158	148	155	157	1,808
	女性	82	105	116	104	113	101	113	112	103	98	94	106	1,247
	合計	204	221	287	263	282	256	271	252	261	246	249	263	3,055

年代別受診者数

年代	1日ドック		2日ドック		計
	男性	女性	男性	女性	
40歳未満	49	33	8	6	96
40～49歳	141	95	55	19	310
50～59歳	228	222	94	46	590
60～69歳	419	331	183	116	1,049
70～79歳	356	241	198	96	891
80歳以上	34	22	43	20	119
小計	1,227	944	581	303	3,055
総計	2,171		884		3,055

契約団体数

自治体 国保・高齢者医療	25
共済組合	4
健保連集合契約・健保直接契約	23
企業・事業所	16
健診代行機関	8★
	★16事業所

脳ドックコース別受診者数

コース	月													合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
オプションコース	22	39	41	43	41	29	40	38	50	42	36	34	455	
単独脳ドックコース	17	18	29	26	41	24	21	27	22	12	18	22	277	
計	39	57	70	69	82	53	61	65	72	54	54	56	732	

定期健康診断受診者

受託企業数 19社

	男性	女性	計
受診者	69	81	150

人間ドックオプション検査件数

検査項目	月													合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
HCV抗体	18	23	29	31	22	18	16	10	25	14	24	23	253	
HIV抗体	11	6	12	4	10	6	5	3	7	9	13	11	97	
子宮頸がん	2	8	6	9	19	8	11	9	22	22	16	19	151	
子宮体がん	8	20	5	12	14	11	11	8	16	11	15	13	144	
脳検診	22	39	41	43	41	29	40	38	50	42	36	34	455	
肺がん検診	6	10	16	12	11	13	15	14	14	14	14	12	151	
乳がん検診	8	19	12	13	20	17	17	18	20	21	12	14	191	
腫瘍マーカー	110	130	143	174	142	128	133	108	141	116	142	149	1,616	
甲状腺機能検査	28	31	42	25	28	17	27	18	22	20	26	39	323	
骨密度検査	12	15	14	13	12	9	18	16	16	12	13	15	165	
麻酔（内視鏡）	12	12	25	15	12	9	9	12	11	12	21	17	167	
血液型	10	5	11	19	10	14	14	16	12	18	7	0	136	
RF	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
CRP	5	2	2	3	6	7	9	6	6	9	13	2	70	
歯科検診	0	1	2	2	5	1	2	2	0	3	1	2	21	
PET	18	21	16	24	13	13	11	8	13	5	15	16	173	
内臓脂肪面積測定	28	24	44	26	30	27	22	28	38	30	33	37	367	
ノコバクター・ヒロリIgG抗体	40	45	50	32	30	30	28	37	27	32	33	46	430	
血圧脈波検査	9	10	19	19	26	25	20	19	21	21	13	13	215	
sdLDL-C	58	48	75	70	53	47	54	43	44	52	49	61	654	
25(OH)VitaD	39	50	54	36	43	35	30	42	38	39	32	42	480	
合計	444	519	618	582	547	464	492	455	543	502	528	565	6,259	

sdLDL-C および 25(OH)VitaD は 4 月より開始

人間ドックで発見された癌症例

病名	症例数	男性	女性
胃がん	4	3	1
食道がん	1	1	0
十二指腸がん	2	1	1
肺がん	2	2	0
大腸がん	1	0	1
前立腺がん	9	9	0
腎臓がん	1	0	1
膀胱がん	1	1	0
乳がん	2	0	2
子宮頸がん	1	0	1
胃悪性リンパ腫	1	1	0
合計	25	18	7

令和4年度(2022)人間ドック成績一覧

A ; 異常なし B ; 所見あるも心配なし C ; 軽度異常あり生活習慣改善を要す
D1 ; 要医療 (E ; 現在治療中を含む) D2 ; 要精密検査

ドック全受診者成績

	40歳未満				40歳～49歳				50歳～59歳				60歳～69歳			
受診者数	96				310				590				1,049			
異常なし (A+B)	16				30				17				8			
症例	判定															
	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥満	86	3	2	5	271	18	12	9	501	45	20	24	955	61	13	20
呼吸器疾患	87	0	2	7	292	0	3	15	530	0	8	52	915	1	17	114
高血圧	81	10	5	0	225	43	39	3	353	76	159	2	440	156	451	2
高コレステロール	90	5	0	1	291	12	0	7	520	53	0	14	987	50	0	12
高中性脂肪	92	2	0	2	297	12	0	1	575	12	0	3	1,040	7	0	2
高尿酸	85	6	0	5	285	16	0	9	520	36	0	34	935	65	0	49
心電図異常	82	7	0	7	278	16	1	15	500	45	2	41	866	88	6	89
食道疾患	91	2	1	0	265	39	1	0	510	72	3	0	878	149	4	3
胃疾患	75	18	0	1	217	84	0	4	339	245	2	0	404	614	1	18
十二指腸疾患	91	2	1	0	297	6	0	0	560	23	1	0	978	49	1	1
胆石・胆嚢 [*] リープ [*]	74	22	0	0	208	94	0	1	360	212	0	3	640	376	1	8
肝機能異常 (脂肪肝含)	67	25	0	4	154	141	0	15	278	290	0	22	539	484	0	24
糖尿病	76	19	0	1	186	97	14	13	275	216	66	33	325	455	169	100
血液疾患	91	3	1	1	280	14	5	11	543	27	8	12	986	44	7	12
便潜血	90	0	0	6	283	0	1	24	548	0	5	33	969	0	5	70
前立腺疾患	24	0	0	0	72	0	0	1	234	0	0	2	435	0	0	23
婦人科	17	3	5	4	57	18	12	11	131	61	12	13	301	66	8	11
乳房疾患	5	0	0	1	15	0	0	4	43	1	2	2	105	5	0	7
眼底・視力検査	89	0	0	5	278	5	1	26	499	8	3	74	783	27	9	222

	70歳～79歳				80歳以上				総計			
受診者数	891				119				3,055			
異常なし (A+B)	2				1				74			
症例	判定											
	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥満	839	37	5	10	112	3	2	2	2,764	167	54	70
呼吸器疾患	684	0	33	173	80	0	11	26	2,588	1	74	387
高血圧	310	138	442	1	31	22	66	0	1,440	445	1,162	8
高コレステロール	848	36	0	7	114	4	0	1	2,850	160	0	42
高中性脂肪	877	11	0	3	118	1	0	0	2,999	45	0	11
高尿酸	805	49	0	37	106	5	0	8	2,736	177	0	142
心電図異常	645	113	14	117	83	13	5	18	2,454	282	28	287
食道疾患	765	111	3	0	99	15	2	1	2,608	388	14	4
胃疾患	228	639	1	12	20	95	1	1	1,283	1,695	5	36
十二指腸疾患	833	38	1	3	113	3	0	1	2,872	121	4	5
胆石・胆嚢 [*] リープ [*]	529	324	2	7	78	33	0	2	1,889	1,061	3	21
肝機能異常 (脂肪肝含)	522	348	0	16	84	33	0	2	1,644	1,321	0	83
糖尿病	234	392	175	90	28	57	27	7	1,124	1,236	451	244
血液疾患	816	48	8	19	102	8	1	8	2,818	144	30	63
便潜血	784	0	10	92	94	0	1	23	2,768	0	22	248
前立腺疾患	340	0	0	37	48	0	0	9	1,153	0	0	72
婦人科	231	43	7	12	26	1	0	1	763	192	44	52
乳房疾患	81	4	0	9	17	1	0	2	266	11	2	25
眼底・視力検査	572	24	15	267	50	4	1	63	2,271	68	29	657

ドック男性受診者成績

	40歳未満				40歳～49歳				50歳～59歳				60歳～69歳			
受診者数	57				196				322				602			
異常なし (A+B)	10				18				7				3			
症例	判定															
	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥満	51	1	2	3	167	13	9	7	264	30	14	14	550	34	6	12
呼吸器疾患	55	0	0	2	181	0	2	13	283	0	4	35	500	1	15	84
高血圧	44	8	5	0	135	31	27	3	155	48	118	1	207	94	300	1
高コレステロール	52	4	0	1	182	10	0	4	301	15	0	6	578	21	0	3
高中性脂肪	55	1	0	1	187	8	0	1	312	8	0	2	596	5	0	1
高尿酸	52	3	0	2	181	11	0	4	304	14	0	4	577	23	0	2
心電図異常	45	7	0	5	172	12	1	11	266	29	2	25	478	59	5	60
食道疾患	54	1	1	0	159	34	1	0	263	56	3	0	486	104	3	3
胃疾患	43	12	0	1	145	47	0	2	192	128	2	0	223	363	1	9
十二指腸疾患	53	2	1	0	187	5	0	0	300	20	1	0	554	38	1	1
胆石・胆嚢ホリフ	41	16	0	0	118	73	0	0	176	130	0	3	328	245	1	5
肝機能異常 (脂肪肝含)	37	17	0	3	81	104	0	11	133	178	0	11	280	307	0	13
糖尿病	43	14	0	0	98	76	11	11	118	131	49	24	146	268	122	66
血液疾患	56	1	0	0	189	5	0	2	303	12	1	6	560	30	4	8
便潜血	55	0	0	2	180	0	1	14	299	0	3	19	556	0	2	40
前立腺疾患	24	0	0	0	72	0	0	1	234	0	0	2	435	0	0	23
婦人科																
乳房疾患																
眼底・視力検査	53	0	0	3	174	4	1	17	263	5	3	47	441	16	8	131

	70歳～79歳				80歳以上				総計			
受診者数	554				77				1,808			
異常なし (A+B)	0				0				38			
症例	判定											
	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥満	527	19	3	5	73	2	0	2	1,632	99	34	43
呼吸器疾患	382	0	23	148	48	0	7	22	1,449	1	51	304
高血圧	168	80	305	1	20	14	43	0	729	275	798	6
高コレステロール	538	13	0	3	75	2	0	0	1,726	65	0	17
高中性脂肪	543	10	0	1	76	1	0	0	1,769	33	0	6
高尿酸	533	19	0	2	74	3	0	0	1,721	73	0	14
心電図異常	371	86	14	82	46	11	4	16	1,378	204	26	199
食道疾患	473	72	2	0	67	6	2	1	1,502	273	12	4
胃疾患	118	419	1	9	11	63	1	1	732	1,032	5	22
十二指腸疾患	509	34	0	2	73	2	0	1	1,676	101	3	4
胆石・胆嚢ホリフ	314	207	2	5	46	24	0	1	1,023	695	3	14
肝機能異常 (脂肪肝含)	305	236	0	9	50	27	0	0	886	869	0	47
糖尿病	120	244	138	52	13	36	23	5	538	769	343	158
血液疾患	492	40	6	16	64	5	0	8	1,664	93	11	40
便潜血	492	0	8	50	60	0	1	16	1,642	0	15	141
前立腺疾患	340	0	0	37	48	0	0	9	1,153	0	0	72
婦人科												
乳房疾患												
眼底・視力検査	357	10	11	164	36	3	0	38	1,324	38	23	400

ドック女性受診者成績

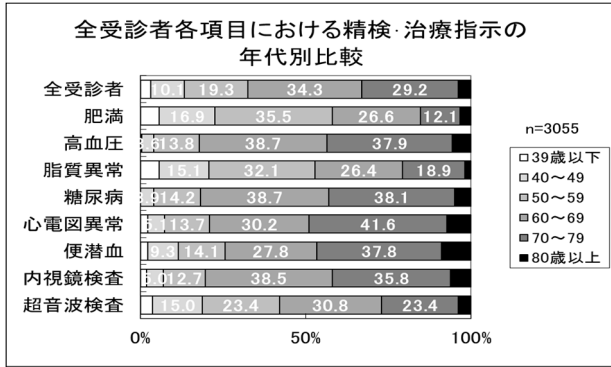
	40歳未満				40歳～49歳				50歳～59歳				60歳～69歳			
受診者数	39				114				268				447			
異常なし (A+B)	6				12				10				5			
症例	判定															
	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥満	35	2	0	2	104	5	3	2	237	15	6	10	405	27	7	8
呼吸器疾患	32	0	2	5	111	0	1	2	247	0	4	17	415	0	2	30
高血圧	37	2	0	0	90	12	12	0	198	28	41	1	233	62	151	1
高コレステロール	38	1	0	0	109	2	0	3	219	38	0	8	409	29	0	9
高中性脂肪	37	1	0	1	110	4	0	0	263	4	0	1	444	2	0	1
高尿酸	33	3	0	3	104	5	0	5	216	22	0	30	358	42	0	47
心電図異常	37	0	0	2	106	4	0	4	234	16	0	16	388	29	1	29
食道疾患	37	1	0	0	106	5	0	0	247	16	0	0	392	45	1	0
胃疾患	32	6	0	0	72	37	0	2	147	117	0	0	181	251	0	9
十二指腸疾患	38	0	0	0	110	1	0	0	260	3	0	0	424	11	0	0
胆石・胆嚢ホリフ	33	6	0	0	90	21	0	1	184	82	0	0	312	131	0	3
肝機能異常 (脂肪肝含)	30	8	0	1	73	37	0	4	145	112	0	11	259	177	0	11
糖尿病	33	5	0	1	88	21	3	2	157	85	17	9	179	187	47	34
血液疾患	35	2	1	1	91	9	5	9	240	15	7	6	426	14	3	4
便潜血	35	0	0	4	103	0	0	10	249	0	2	14	413	0	3	30
前立腺疾患																
婦人科	17	3	5	4	57	18	12	11	131	61	12	13	301	66	8	11
乳房疾患	5	0	0	1	15	0	0	4	43	1	2	2	105	5	0	7
眼底・視力検査	36	0	0	2	104	1	0	9	236	3	0	27	342	11	1	91

	70歳～79歳				80歳以上				総計			
受診者数	337				42				1,247			
異常なし (A+B)	2				1				36			
症例	判定											
	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥満	312	18	2	5	39	1	2	0	1,132	68	20	27
呼吸器疾患	302	0	10	25	32	0	4	4	1,139	0	23	83
高血圧	142	58	137	0	11	8	23	0	711	170	364	2
高コレステロール	310	23	0	4	39	2	0	1	1,124	95	0	25
高中性脂肪	334	1	0	2	42	0	0	0	1,230	12	0	5
高尿酸	272	30	0	35	32	2	0	8	1,015	104	0	128
心電図異常	274	27	0	35	37	2	1	2	1,076	78	2	88
食道疾患	292	39	1	0	32	9	0	0	1,106	115	2	0
胃疾患	110	220	0	3	9	32	0	0	551	663	0	14
十二指腸疾患	324	4	1	1	40	1	0	0	1,196	20	1	1
胆石・胆嚢ホリフ	215	117	0	2	32	9	0	1	866	366	0	7
肝機能異常 (脂肪肝含)	217	112	0	7	34	6	0	2	758	452	0	36
糖尿病	114	148	37	38	15	21	4	2	586	467	108	86
血液疾患	324	8	2	3	38	3	1	0	1,154	51	19	23
便潜血	292	0	2	42	34	0	0	7	1,126	0	7	107
前立腺疾患												
婦人科	231	43	7	12	26	1	0	1	763	192	44	52
乳房疾患	81	4	0	9	17	1	0	2	266	11	2	25
眼底・視力検査	215	14	4	103	14	1	1	25	947	30	6	257

全受診者の各項目における精検・治療指示の年代別比較

(人)

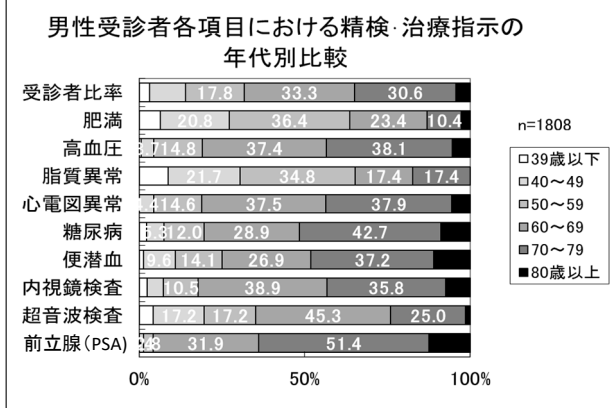
	39歳以下	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	全体
全受診者	96	310	590	1,049	891	119	3,055
肥満	7	21	44	33	15	4	124
高血圧	5	42	161	453	443	66	1,170
脂質異常	3	8	17	14	10	1	53
糖尿病	1	27	99	269	265	34	695
心電図異常	7	16	43	95	131	23	315
便潜血	6	25	38	75	102	24	270
内視鏡検査	5	13	33	100	93	16	260
超音波検査	4	16	25	33	25	4	107



男性受診者の各項目における精検・治療指示の年代別比較

(人)

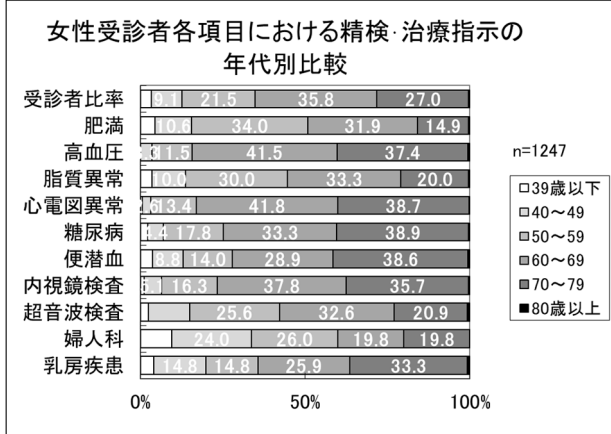
	39歳以下	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	全体
男性受診者	57	196	322	602	554	77	1,808
肥満	5	16	28	18	8	2	77
高血圧	5	30	119	301	306	43	804
脂質異常	2	5	8	4	4	0	23
糖尿病	0	22	73	188	190	28	501
心電図異常	5	12	27	65	96	20	225
便潜血	2	15	22	42	58	17	156
内視鏡検査	4	8	17	63	58	12	162
超音波検査	3	11	11	29	16	1	64
前立腺 (PSA)	0	1	2	23	37	9	72



女性受診者の各項目における精検・治療指示の年代別比較

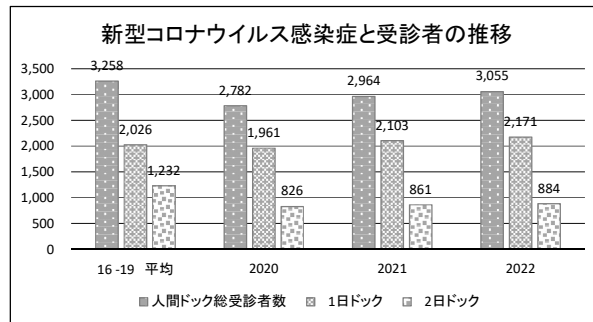
(人)

	39歳以下	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	全体
女性受診者	39	114	268	447	337	42	1,247
肥満	2	5	16	15	7	2	47
高血圧	0	12	42	152	137	23	366
脂質異常	1	3	9	10	6	1	30
糖尿病	1	5	26	81	75	6	194
心電図異常	2	4	16	30	35	3	90
便潜血	4	10	16	33	44	7	114
内視鏡検査	1	5	16	37	35	4	98
超音波検査	1	5	11	14	9	3	43
婦人科	9	23	25	19	19	1	96
乳房疾患	1	4	4	7	9	2	27



参考: 新型コロナウイルス感染症と受診者の推移

項目	年度			
	16-19 平均	2020	2021	2022
人間ドック総受診者数	3,258	2,782	2,964	3,055
1日ドック	2,026	1,961	2,103	2,171
2日ドック	1,232	826	861	884
脳ドック受診者数	292	181	277	277
定期健康診断受診者数	183	171	142	150
総受診者数	3,733	3,140	3,383	3,482



●入院・手術サポートセンター（2022年度）

【入退院部門】

- ・入院前に面談を行い、退院困難要因の抽出を行う
- ・面談を行うことで安心、安全に入院できるよう支援する
- ・必要時には医療連携室、入院病棟、外来と情報共有し、入院前から退院支援の介入ができる
- ・入院書類説明と同時に薬剤鑑別を実施し休薬指示を患者へ説明
- ・検査、処置などに必要な食止めの説明

《実績》：2022年度は5871人に入院前面談を実施し昨年度より394人増加しています。予約枠に限りがあるため増枠できるよう努めています。

【周術期部門】

- ・手術に必要な検査が実施されているか確認し、既往歴などを聴取することでハイリスク患者を抽出し手術が安全に行える
- ・確実な禁煙・休薬
- ・肺合併症予防のため、呼吸訓練器の指導

《実績》：2022年度の周術期介入率は67.3%で昨年度より増加しています。しかし、休止薬・禁煙達成率は99.9%で目標の100%に達成していないため、100%の達成に向けて各診療科とともに患者への指導をこれからも努力していきます。

【月別予定入院患者数】

2022年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
	内科	305	307	341	326	316	293	329	305	290	289	294	317	3,712
	外科	107	108	132	123	131	119	122	125	134	125	120	119	1,465
	整形外科	24	29	30	28	33	25	30	33	29	36	31	30	358
	心臓外科	5	6	4	4	5	6	7	7	6	2	3	6	61
	眼科	73	74	91	82	81	72	83	98	68	84	75	60	941
	形成外科	14	18	27	28	22	23	21	15	12	6	6	5	197
	歯口科	4	7	10	9	10	8	10	11	5	7	7	10	108
	皮膚科	13	8	11	7	17	10	13	13	13	12	13	12	131
	耳鼻科	31	35	27	28	30	26	34	32	24	22	31	39	359
	泌尿器科	117	122	130	107	132	127	127	126	113	126	110	127	1,464
	脳外科	30	19	18	23	21	25	24	25	21	22	26	25	279
	婦人科	33	44	46	53	45	62	54	39	41	39	45	50	551
	産科	58	49	55	60	59	60	69	61	52	63	52	55	693
	小児科	9	16	10	16	21	13	21	14	16	22	22	14	194
	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【面談数】

入退院支援看護師入院前面談	443	465	509	470	551	516	537	516	497	517	412	438	5,871
周術期看護師面談新患	146	149	164	162	169	158	157	164	150	154	154	149	1,876
周術期看護師面談再診	77	77	109	92	99	115	104	122	115	119	84	115	1,228
総計	666	691	782	724	819	789	798	802	762	790	650	702	8,975

センター経由率 ※1	83.3	72.7	78.4	74.9	76.7	76.2	74.5	78	75.2	76.8	75.7	73
周術期部門介入率 ※2	60.1	56.8	59.4	61	58.6	61.8	63.9	76.1	83.9	73.7	74.1	78.4

※1：PFM センター介入患者数/病院全体の予定入院患者数×100

※2：周術期介入患者数/予定全身麻酔手術（mECT,小児、アンギオ除く）×100

文責 江畑 純

KPI

PFMセンター介入率 2022/4月～2023/3月 76.6% * 昨年度より算定開始	入退院面談患者数 2022/4月～2023/3月 5,871人 2021年度：5,164人	周術期面談患者数 2022/4月～2023/3月 1,876人 2021年度：1,772人	周術期介入率 2022/4月～2023/3月 67.3% 2021年度：58.1%
周術期栄養指導件数 2022/4月～2023/3月 758件 2021年度：1,113件 周術期栄養管理実施加算 895件 * 昨年度後期より算定開始	周術期口腔ケア 依頼件数 2022/4月～2023/5月 1,737件 2021年度：1,620件	周術期リハビリ 指導件数 2022/4月～2023/5月 340件 2021年度：323件	
【算出方法】 PFMセンター介入率 ：精神科を除く予定入院患者数を分母に、センター介入数より算出 周術期介入率 ：予定全身麻酔手術（m-ECT・アンギオ・小児を除く）患者数を分母に、センター介入症例数より算出 周術期栄養指導（実施加算）・口腔ケア依頼件数・リハビリ指導件数 ：集計期間に於ける各科介入数 休止薬・禁煙達成率 ：各対象患者数を分母に、センター介入により中止・延期なく手術に至った症例数より算出	休止薬達成率 2022/4月～2023/3月 99.9% (2021年度：99.9%)	禁煙達成率 2022/4月～2023/3月 99.9% (2021年度：100%)	

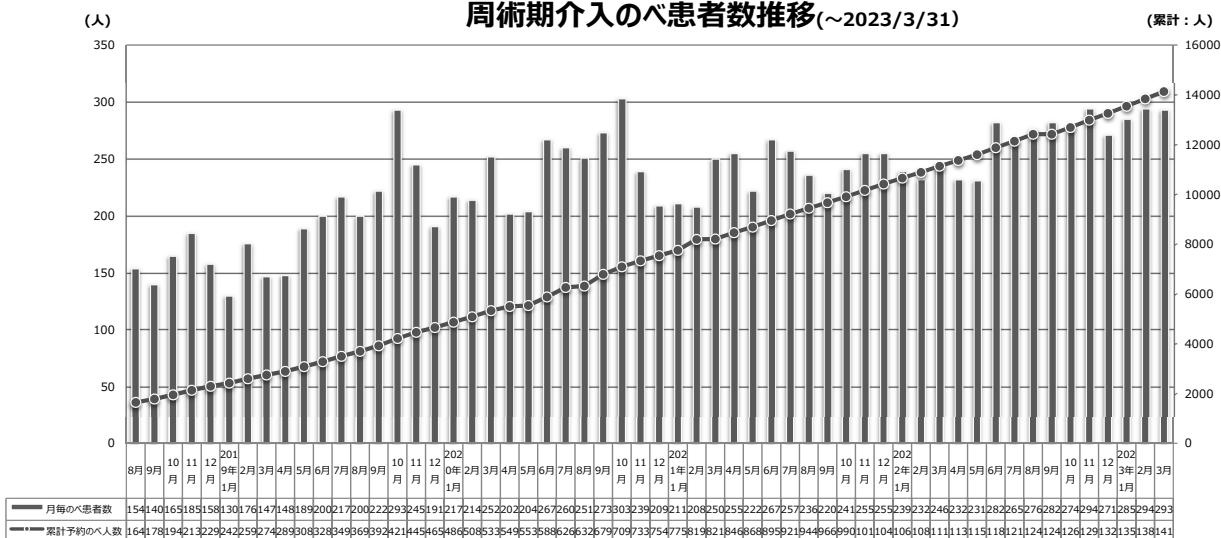
－周術期介入患者数まとめ－

- 集計期間：2016/6/7～2023/3/31時点
- 周術期介入 のべ患者数 合計：14,132名
 - 周術期介入 実患者数 合計：7,835名

【科別詳細（実患者）】

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 外科 (4,267名) 2016/6～ | 歯科口腔外科(123名) 2020/4～ |
| 泌尿器科 (922名) 2018/4～ | 形成外科(84名) 2020/8～ |
| 婦人科 (1,136名) 2018/9～ | 内科(58名) 2020/7～ |
| 整形外科 (384名) 2019/3～ | 脳外科 (19名) 2020/7～ |
| 心臓外科 (180名) 2019/8～ | 眼科 (10名) 2020/8～ |
| 耳鼻咽喉科 (642名) 2020/3～ | 皮膚科 (10名) 2020/9～ |

周術期介入のべ患者数推移(～2023/3/31)



【算出条件】

のべ患者数：周術期センター患者リスト統合データより算出。
 のべ患者1予約＝1患者としてカウント
 実患者数：同一患者で複数回OPEを実施している患者は、OPE1回につき実患者1でカウント。センター受診前の入院キャンセル、オペ中止はカウント除外(延期はカウント)



診療支援・企画情報局



●経営企画室（2022年度）

1. 2022年度のトピック

(1) 2021年度業務実績の評価

2021年度業務実績の評価については、2021年度計画の各目標に対して進捗状況と自己評価を取りまとめた。

第2期中期計画の2年目となる2021年度は、前年度から引き続き新型コロナウイルスによる患者数の減少やエネルギーコストをはじめとした物価高騰等の影響を受け、病院運営は厳しい状況が続いた。一方、診療体制としては、地域の拠点病院としてコロナ感染患者を多数受け入れるとともに、市民のワクチン接種の促進にも積極的に協力し地域医療体制の維持に努めた。

このような状況下ではあるが、各目標の自己評価については、いずれも計画通りに進捗した「B」と評価され、感染症医療や市の施策への協力等の項目において「A」評価となった。

この内容について理事会、評価委員会等に説明を行ない2021年度実績の総合評価はB評価で旭市長に承認された。

(2) 2022年度アクションプランに基づいたプロジェクトの推進と実施結果

2022年度のアクションプランは以下の7項目で構成されている。

- 1-1 働き方改革への対応
- 2-1 医療安全の推進
- 2-2 病院機能評価更新審査に向けた対応
- 2-3 診療報酬改定への対応
- 2-4 病棟機能再編の検討
- 3-1 次期中期計画策定に向けた準備・検討
- 3-2 みらいあさひとの連携

当室が主体的に対応した取組は、「病院機能評価更新審査に向けた対応」と「次期中期計画策定に向けた準備・検討」、「みらいあさひとの連携」の3点である。

「病院機能評価更新審査に向けた対応」に関しては、感染症BCP策定プロジェクトを担った。当プロジェクトは担当副院長と感染対策室を中心に関係部門の代表者等によって感染症BCP策定のための協議を重ね、2022年10月に完成、院内承認を得た。その後、第8波の際に実運用を開始することとなった。

「次期中期計画策定に向けた準備・検討」では、国が求めている公立病院経営強化プラン策定の検討に加え、人口減少や受療動向等、医療を取り巻く環境の変化を見据えた将来的な施設整備の方向性の検討を行っており、2023年も継続検討としている。

また、「みらいあさひとの連携」に関しては、旭市が設置した公設民営施設である多世代交流施設「おひさまテラス」において、当院職員による住民向け健康講座を開催するほか、みらいあさひ協議会で推進している今後のまちづくりプラン策定に参画している。

(3) HCU（高度治療室）の設置について

2021年度から取組んできた外科病棟へのHCU設置については、施設・設備の整備や諸手続が完了し、2022年11月に9階西病棟に4床のHCUを開設するに至った。開設後は、高リスクの術後患者やICU離脱後も集中的な治療を要する患者等を収容し、順調に運営している。

●医療情報室（2022年度）

総評

オンライン資格確認（2021年度末稼働開始）や電子処方箋といった国の掲げるデジタル化政策に対してどこよりも早く取り組み、稼働を迎えてきたが、補填機能が未実装ということもあり、普及率は今一つといったところとなっている。今後の改善を必要とする。また、医師働き方改革対策においてシステム面での課題が大きく、テコ入れが必要と考えている。

世間一般的には、Windows や iOS といったオペレーティングシステムの考え方が大幅に変わり、常に最新のバージョンで稼働することが迫られることで、システムのライフサイクルが変化し、急にアプリが正常に動かなくなるトラブルに巻き込まれることが多くなり、それを放棄したところではランサムウェア等のウイルス感染に巻き込まれるといった状況となっている。従来は放置できた分野に手を入れなければならない事に対する現場の「メンテナンス疲れ」や、サポート体制維持のためのメーカー側対策であるサブスクリプション化といった保守費用の高騰など、情報システム分野においてはサポート対応が維持できる所と、そうでない所の二極化が顕著になってくるのが想像つく。ここまで管理範囲が巨大化したとはいえ、空中分解しないように注意を払っていきたいと考える。

<主な対応イベント>

2022.05	カルナコネット I E サポート終了対策実施
2022.06	地域連携視察 Meraki ネットワーク順次切替
2022.07	日本病院学会（島根）演題発表
2022.07	シスコシステムズ「H.Day2022」講演
2022.08	電子処方箋対応 H P K I カード申請手続開始
2022.08	NURO オンライン取材対応（パンフレット化）
2022.09	医師懇談会を WEB 開催（ZOOM-Webinar 利用）
2022.09	研修医採用のオンライン面接対応
2022.09	10月医療改訂対応
2022.09	仮想基盤速度アップ
2022.10	亀田総合病院オンライン視察受入（WEB）
2022.10.31	電子処方箋事業 STEP1 稼働開始（デジタルデータを国に転送）
2022.11	飯岡診療所電子カルテリプレース
2022.11	Safemaster ヴァージョンアップ
2022.11	電子処方箋運用切替説明会実施（院内職員向け+リコージャパン）
2022.11	日本光電 PrimeVita ヴァージョンアップ
2022.12	オンライン診察室開設（3病棟5階：コロナ陽性医が利用）
2022.12	医療機能評価受審
2022.12	厚生労働省主催電子処方箋説明会（演者）
2022.12	モダリティ対策ファイヤウォール機構稼働開始
2022.12.23	電子処方箋事業本稼働（電子処方箋発行開始）
2023.01	つぐみ寮 W i f i 設備運用開始
2023.01	さんむ医療センター顕微鏡機器メンテナンス訪問
2023.02	ヤマト運輸視察受入れ（電子処方箋事業）
2023.02	飯岡診療所オンライン資格確認開始
2023.02	千葉大学医学部附属病院視察訪問（ユヤマ：ケモロ）
2023.02	オンプレミスエラーニングシステム「バリテス」本稼働
2023.02	FMV（デスクトップPC）順次更新開始
2023.02	J U S T D W H 本稼働
2023.02	佐賀好生館病院視察（カンパニー）
2023.03	Synapse ZERO サーバ更新
2023.03	名戸ヶ谷病院訪問（遠隔病理事業）
2023.03	医師懇談会を WEB 開催（ZOOM-Webinar 利用）
2023.03	耳鼻咽喉科名称変更対応
2023.03	かぜ外来設備撤去

<スタッフ（2023.3. 現在）>

職員：15名（医師 1 名、看護師 3 名、事務 11 名）
協力会社：2名（インフラ監視・保守 ネットワンシステムズ）
4名（ヘルプデスク対応 エヌデーデー）
7名（24時間常駐現場対応 日鉄テックスエンジ）

●診療支援室（2022年度）

【2022年度部署目標】

1. 働き方改革の推進（超勤前年比▲1%以上削減、有給休暇取得10日以上）
2. 働き方改革への支援（タスクシフト・シェアへの協力）
3. 医療の質の維持向上（2週間以内サマリ完成率95%以上、診断書90%以上）
4. DX推進への協力（保険給付デジタル化の推進）

【目標に対する取り組み及び実績】

1. 業務体制及び業務内容を見直し、業務負担の平準化を推進。超勤は毎月個人毎に前年度との比較データを提供し削減に向けて意識付けを図った。結果として超勤は前年度▲13.5%、有給休暇取得も平均16日となり目標値を大きく上回る結果となった。
2. 医師の働き方改革への支援に関しては、人員の問題もあり支援範囲の拡大には至っていない。
3. 完成率を安定的に維持するため、複数担当制の構築を実施した。結果としてコロナでスタッフの欠員が発生した状況でも完成率低下には至らず、サマリ97.1%、診断書94.3%と目標を達成した。
4. 保険給付デジタル化はIBM及び明治安田生命とPoC（概念実証）まで完了した。課題は多いが今後プロトタイプの実成・プレスリリース・学会等を通じて取り組みに賛同する医療機関や保険会社を増やし横展開する方向で検討中である。

【業務実績まとめ】

<サマリ>

- ・2週間以内完成率97.1%・サマリ作成補助率49.9%（9,774件）

<診断書等>

- ・2週間以内完成率94.3%・作成補助件数23,666件
- ・退院時逆紹介作成補助件数5,123件

<内科外来患者数（内科外来診療支援）>

- ・173,029人

事務局

●総務人事課（2022年度）

【働き方改革】

アクションプランに掲げられた「働き方改革」について、医師のICカード打刻率は2022年度平均で81.1%となり、昨年度より3%上昇し、打刻への意識定着を図った。引続き打刻意識の定着に努める。医師労働時間短縮計画については、診療科ごとに適用を希望する基準、時間外労働時間の短縮目標、取組み内容について調整を行い、医師労働時間短縮計画を2023年3月に医療機関勤務環境評価センターに提出した。次年度は、当該評価結果を受け、千葉県に特例水準対象医療機関の指定申請をすることとしている。

【監査】

監事監査は決算監査及び業務監査（定例監査、特別監査）、会計監査人による監査は期末決算監査、期中監査が行われ、何れも適正な業務の遂行及びコンプライアンス遵守について指摘はなかった。

内部監査室における個人情報保護に関する内部監査においては、改正個人情報保護法に対応すべく体制整備することを相互に確認し、規程改正等を行った。

【公用車管理】

・救急車運用

転院搬送201件、NICU搬送56件（迎え42件、転

院14件）、ドクターカー出動139件、Drヘリ対応27件

・車両購入

車いすリフト不具合が多かった車いす送迎車（シルバーケア使用）を購入した。コロナ禍ではありましたが大幅な遅れもなく納車された。今後も経年劣化の車両については順次更新を図っていく。

・公用車運用

公用車に関しては夏場のエアコンのガス漏れ車両が数台あったが、その他については大きな修理もなく、また大きな事故等の報告もなく安全な運用ができた。

【図書管理】

①購入資料：単行書/122冊、学術雑誌/75誌、電子ジャーナル契約数/4,243誌

②契約データベース：Clinical Key、Cochrane Library、DynaMed、医学中央雑誌、医書.jp、メディカルオンライン+eBooks

③相互貸借：院外外注（院内所蔵分含む）/1,615件、当院受付け/450件

④図書室利用実習：図書室資料の使い方・図書室の使い方/2回、医学中央雑誌検索講習/2回（個人講習を含まない）

●経理課（2022年度）

<2022年度の部署方針と実施成果>

1. 「人材の育成・強化」

2022年度は「中長期的な視点に立った人材育成」に重点を置き、若手職員（主任、主事クラス）の指導・育成に取り組んだ。これまで先輩、上司が担当していた難度の高い業務を経験する機会を設け、周りの助けを借りながらも完結させた。今後もこの取り組みを継続し、次年度には主担当者として業務をこなせるレベルへの到達をめざす。

2. 「業務の効率化」

事務の効率化と明確化に注力。まずは身近なルーティンワークから着手し、担当者、精査者双方の作業

効率のアップを進めたが、まだまだ改善の余地がある。改善すべき業務をリストアップし、次年度以降も強力で推進していくもの。

<2022年度決算について>

2022年度も当院の経営は、繰り返される新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けることとなった。こうした中、患者の受入、病床の確保など地域基幹病院としての役割を適切に果たすとともに、市民のワクチン接種にも積極的に貢献した。

厳しい経営状況であったが、国・県・旭市からの補助金等助成もあり、最終的に9億707万円の純利益を計上することができた。

●医事課（2022年度）

【2022年度部署目標】

1. 2022年度診療報酬改定への対応（新設施設基準等への対応）
2. 適切な診療報酬請求（保留及び返戻未請求レセプト残高4億未満※コロナ除く）
3. 働き方改革の推進（業務遂行体制の改善及び超過勤務削減）

【目標に対する取り組み及び実績】

1. 新設された施設基準は適切に申請を行い、経過措置のある基準についても適宜申請を行った。（急性期充実体制加算・ハイケアユニット入院料医療管理料・看護職員処遇改善評価料等）

2. 保留・返戻レセプトの管理を徹底し残高削減に取り組んだが、コロナの影響で業務負担が増加した影響もあり、年度末残高は5.3億で目標未達成となった。
3. 業務遂行体制に関しては有効な方策を実施することはできなかったが、超勤時間の前年同月比を毎月フィードバックすることにより削減への意識付けを図り、結果として減少傾向となっている。

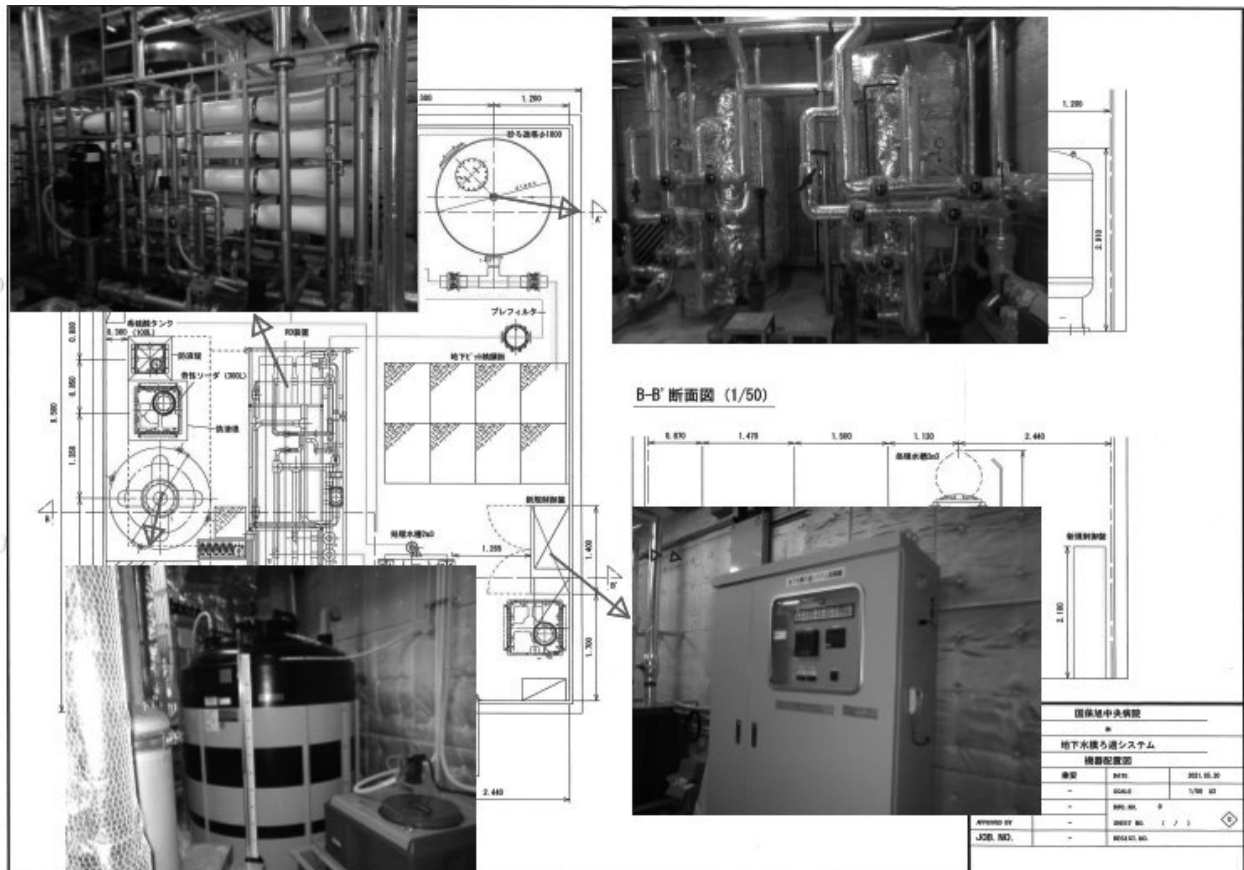
【2022年度診療報酬請求額合計】

37,323,581千円（前年比103.21%）

※詳細は「科別請求額前年比（2022年度）」参照

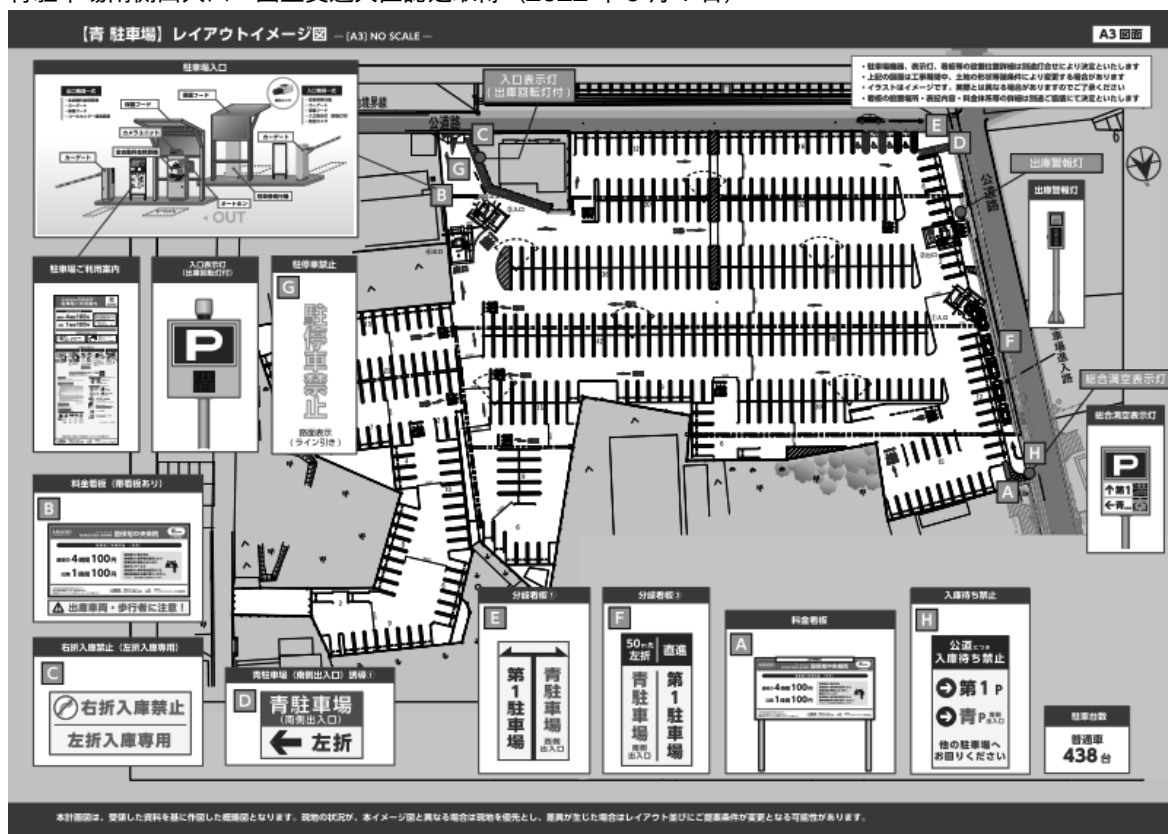
●施設課（2022年度）

【地下水膜ろ過システム更新】（2022年8月16日給水開始）



【青駐車場有料化】（2023年4月1日より有料化開始）

青駐車場南側出入口 国土交通大臣認定取得（2022年9月1日）



【2022年度・排水処理量】

本館 下水道放流	本館以外附属含む 汚水処理場処理	合計
145,484 m ³	104,042 m ³	249,526 m ³

【2022年度・廃棄物処理量】

一般 廃棄物	医療 廃棄物	感染医療 廃棄物	合計
685.21 t	35.75 t	554.78 t	1275.74 t

節水及びゴミの削減にご協力をお願いします。

【電気・重油・ガス使用量削減】

エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）において、エネルギー管理指定工場などは、「エネルギー消費原単位年平均1パーセント改善目標」とされています。

当院全体のエネルギーの使用に係わる原単位変化は、2013年度原油換算 9,129kl に対して 2022年度原油換算 7,110kl (-2,019kl)となっており、対2013年度比 77.9%です。

空調・照明等を中心に、省エネルギー対策を実施した結果、大幅な削減を達成することが出来ました。

これは、当課のみならず病院職員の省エネへの意識が高まり、皆様のご協力の下達成出来たものと考えます。

今後も、節電等省エネにご協力をいただけますようお願いいたします。

内 訳	2013年度	2022年度	2013年度差
電 気	28,199 千 kwh	24,004 千 kwh	-4,195 千 kwh
重 油	475kl	316kl	-159kl
ガ ス	1,244 千 m ³	772 千 m ³	-472 千 m ³

●契約課（2022年度）

1. 2022年度の方針

2022年度部署方針は、材料費・経費等の削減（価格交渉の強化）を継続し、経営基盤の安定・強化に繋げるとした。

2. 価格交渉強化の取り組み

上記、部署方針を実現するため目標値を設定し、下記内容で削減に取り組んだ結果、一定の成果を出すことができた。

(1) 器具備品費・開発費の削減

見積もりを精査し必要性の有無、競合品の検討および実績を参考に交渉を行う。

特に重要（高額）案件について価格交渉の強化を図る。

(2) 委託費の削減

必要性の有無、複数年契約の活用など契約方法の見直しおよび実績を参考に交渉を行う。

(3) 診療材料費の削減

ベンチマークデータの活用、製品切り替えおよび高額医療材料（循環器・整形等領域）の価格交渉の強化を図り、購入額の削減を行う。

3. その他

新型コロナウイルス、世界情勢の影響、物価上昇などにより医療機器をはじめ診療材料等の不足、納期遅延、価格高騰が生じている。このような状況下でも病院機能を低下させることがないよう資材の調達を行うこと、また値上がり続ける医療機器、診療材料などの価格を抑えるため価格交渉の強化に努めた。

●広報患者相談課（2022年度）

○スタッフ数 12 名

○2022年度の方針と評価

〈部署方針〉

- ①減員体制での円滑な業務運営：業務分掌表の見直しにより職員間の協業体制を強化。各担当業務の生産性向上。
- ②広報の充実・確立に向けての取組推進：ステークホルダーの満足度向上のため、ホームページ・院外広報誌・院内広報誌等を充実させる。
- ③開院 70 周年記念行事に向けての準備着手：2023 年の記念行事に向け、運営委員会事務局として貢献する。
- ④未収金の抑制：発生から弁護士委託までの督促サイクルを速やかに行い、不良債権化を抑制する。

〈評価〉

- ①業務分掌表の見直しを行い、超勤時間は上半期平均 10:04 から、年度末平均は 9:53 に改善した。苦情対応件数 177 件と前年度比 128.3%と業務量は増えている。
- ②入院満足度調査のホームページについて昨年度 4.61 から 5.13 に評価が上がった。トップページのお知らせを上に移動しアクセスしやすくした。
- ③3月1日の開院記念日に合わせ、職員公募による開院 70 周年記念ロゴマーク制定、院外広報誌への特集記事掲載を企画・実施した。
- ④入院 85.4%・外来 95.0%いずれも徴収率の目標を達成している。



醫療安全管理推進室



●医療安全管理推進室（2022年度）

□部門目標

2022年度の当室の基本方針は、1.①適正な報告件数を継続する（病床数×5.5以上;5,500件/年）、②Good Job!報告の促進（Good Job!報告10%増）、2.RRSシステム本稼働運用の準備が完了、3.医療安全のための院内認定研修システムの確立、4.レポート報告を活用した防止対策検討、とした。

□目標を達成するための具体的な活動

1. ①セーフティマネージャー全体会議（研修形式）の開催、②Good Job!ポイント制度/ Good Job!共有の継続
2. a.RRS 検討会議および作業部会の開催（1回/月）、b.モデル病棟での運用開始と活動評価、c.広報活動の実施（研修会2回）
3. a.中心静脈穿刺研修会（1回/年）、b.PICC 実技研修会（1回/年）、他
4. a.薬剤アレルギーについてのセーフティマネージャーワーキングの立ち上げ（現状分析と課題抽出）

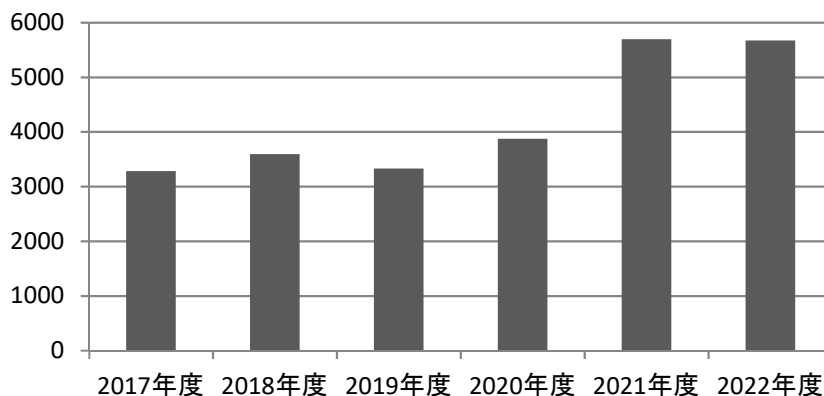
□活動実績

1. ①Bee Act 主催の医療安全担当者向け研修を5回開催した。※2022年度インシデント報告総数は5,678件で目標値(5,500件)を大きく上まわった。
②昨年からの Good Job!ポイント制度を継続するとともに、Good Job!事例の共有を積極的に行った。

※2022年度の Good Job!は14%増（過去最高）となった。Good Job!対象者には、10P 達成「ストラップ」、20P 達成「エコバック」、30P 達成「ピンバッジ」を進呈している。

2. 11月からモデル病棟より運用開始した。カルテを確認し重症者を拾出しラウンドを行い、今後、順次全病棟へ展開予定である。広報活動としてe-ラーニングツール（Safety Plus）に「RRTについて」を掲載しアナウンスした。
3. 6月に中心静脈穿刺研修会（1年次研修医33名受講）とPICC実技研修会（2年次研修医18名受講）を開催し、「講義」と「シミュレーターによる実技演習」を実施した。関連診療科からの協力が得られ、継続できる体制の確立へ向けることができた。
4. 新たに薬剤アレルギーワーキングを立ち上げ、現状分析と課題抽出を行った。そして、アナフィラキシー対策として、薬剤アレルギー情報の把握・共有ができるシステム（電子カルテへの禁忌・アレルギーの登録、インシデント管理システムを活用した発生状況の報告と把握、薬剤アレルギーカードの作成等）の整備に取り組んでいる。
次年度も引き続き、医療安全の推進に向けて努力していきたい。

インシデント・アクシデント報告件数



※ 対象:総カウント件数

■医療安全研修会<2022 年度>

[院内]

開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
＜主催：教育委員会、医療安全・事故防止対策会議、他＞				
4月1日(木)	新採用職員	新採用者オリエンテーション	「医療安全管理」 講師：医療安全管理推進室長 糸林 詠	123名
4月7日(木)	新採用職員	新採用者対象 チームSTEPPS 研修会	チーム医療による医療安全「Team STEPPS研修会」 「チームワークの重要性の理解(チームの鎖)」、他 講師：チームSTEPPS推進PJチーム(Bee Act) リハビリテーション科 岩瀬 浩一 臨床工学室 佐藤 昭生 他、Bee Actメンバー	157名
5月10日(火) ※5月17日～	医師、 研修医、 他	血糖管理システムの 使用方法について (集合研修) ※e-ラーニングツール Safety Plus 動画掲載	「インスリンの適切なオーダーの仕方 過去のインシデントより」 講師：糖尿病代謝内科 木下 大輔	105名 (計)
7月1日(金) ※7月15日～	全職員、 近隣施設職員 (WEB参加)	2022年度リスクマ ネジメント講演会 (集合研修) ※e-ラーニングツール Safety Plus 動画掲載	「ダブルチェックは有効か？」 講師：京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 教授・部長 松村 由美 先生	2,227名 (計)
10月7日(金) ※11月9日～	セーフティ マネージャー、 他	新インシデント 管理システム 操作説明会 (集合研修) ※e-ラーニングツール Safety Plus 動画掲載	新インシデント管理システム操作説明会 ・「報告書の作成、コメントの確認等」 (一般利用者及び現場管理者向け) ・「報告書の確認・承認と管理者記載欄の入力等」 (現場管理者向け) 講師：医療安全管理推進室 医療安全管理者 大島 誠	191名 (計)
11月15日(火) ※12月1日～	病院職員	2022 医薬品・ 医療機器・医療放 射線安全研修会 (集合研修) ※e-ラーニングツール Safety Plus 動画掲載	1. 医薬品安全管理「注射剤について」 講師：薬剤局 薬剤師 磯部 優子 2. 医療機器安全管理「モニターアラームについて」 講師：臨床工学室 臨床工学技士 江崎 龍城 3. 医療放射線安全管理「放射線診療従事者の被曝管理」 講師：放射線科 医学物理士 藤田 圭一	746名 (計)
2023年 1月19日(木)	病院職員、 附属看護学校・ 教員、学生	ドレーン・チューブ EXPO2022	「ドレーン・チューブEXPO 2022」 ※ドレーン・チューブワーキンググループメンバー等 による展示、実演等 主催：ドレーン・チューブワーキンググループ、 医療安全推進委員会 後援：行動制限検討委員会、看護局、他	184名 (看護 学校 含む)
1月23日(月) ～	全職員	2022年度 医療安全研修会 (e-ラーニングツール Safety Plus等による 研修)	2022年度 医療安全研修会 「当院の医療安全の現状と今後の取り組み」 講師：医療安全管理推進室 医療安全管理者 大島 誠	2,210名

開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
3月24日(金) ～	病院職員	第23回リスクマネジメント大会 (e-ラーニングツール Safety Plus等による研修)	1. 基調報告 医療安全管理推進室長 ジェネラルセーフティマネージャー 糸林 詠 2. セーフティマネージャーワーキング活動報告 (2022年度最終報告) 3. 医療安全活動 優秀表彰	146名
<主催：診療局>				
4月6日(水)	新研修医	2022年度 新研修医オリエンテーション	「医療安全について」 講師：医療安全管理推進室 医療安全管理者 白土 てる子 「Safe Masterインシデント管理システム操作説明」、他 講師：医療安全管理推進室補佐 診療情報管理士 梅原 馨	35名
6月11日(土)	2年次 研修医、他	研修医対象 PICC実技研修会	PICC実技研修会 「末梢挿入型中心静脈カテーテル挿入について(講義)(実技演習)」 講師(5名) <循環器内科>平野 智士・外田 望・速水 康成 <脳神経外科>梁 鉉宇 <放射線科>山下 航	18名
6月25日(土)	1年次 研修医、他	研修医対象 中心静脈穿刺 研修会	中心静脈穿刺研修会 「中心静脈穿刺について(講義)(実技演習)」 講師(8名) <外科>西村 隆則・岡本 行平・佐藤 誉哉 <救急救命科>藤森 大輔 <血液内科>清水 亮・大野 沙耶香 <循環器内科>外田 望・速水 康成	33名
<主催：看護局>				
4月11日(月)	新人看護師	新人看護師 安全研修会	「安全管理 基礎講習会」 講師：医療安全管理推進室 医療安全管理者 大島 誠、他 共催：看護局リスク委員会	86名
4月12日(火) 4月13日(水) 4月14日(木)	新人看護師	新人看護師 安全研修会	与薬の援助技術 安全管理 「輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理」 講師：看護支援室 大橋 佐知子、穴澤 加代子	84名
6月3日(金)	看護局 リスク委員	看護局 安全研修会	「インシデントレポートについて」 講師：医療安全管理推進室 医療安全管理者 大島 誠、他	28名
7月1日(金)	看護局 リスク委員	看護局 安全研修会	「KYT危険予知トレーニングについて」 講師：医療安全管理推進室 医療安全管理者 大島 誠、他	29名
<主催：薬剤局>				
9月15日(木)	薬剤局職員	薬剤局 安全研修会	e-ラーニング セーフティプラス視聴研修会 「医師の処方ミス」(動画講義)	19名
1月26日(木)	薬剤局職員	薬剤局 安全研修会	e-ラーニング セーフティプラス視聴研修会 「アレルギー既往歴の確認不足」(動画講義)	15名
5月26日(木) 6月23日(木) 9月15日(木) 11月24日(木) 1月26日(木) 3月23日(木)	薬剤局職員	薬剤局 安全研修会	インシデント(未然も含む)事例検討会 指導者：薬剤局安全部会	101名 (計)
<主催：診療技術局>				
9月6日(火)	診療技術局 職員	診療技術局 安全研修会	「インシデントの原因分析と対策 ～完璧な人間なんていない なぜヒトは間違えるのか?」 講師：医療安全管理推進室顧問 鈴木 真	63名

開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
3月16日 (木)	診療技術局 職員	診療技術局 安全研修会	「安全に配慮した基本動作と移乗介助方法」 講師：リハビリテーション科 理学療法士 井上 将人	17名
<主催；事務局>				
1月13日 (金) 1月17日 (火) 1月18日 (水)	事務局職員 (外来担当)	事務局 安全研修会	「クレーム研修会」 講師：広報患者相談課 安藤 洋和	38名 (計)
2月2日 (木)	窓口業務 担当職員 (一般・ 委託職員)	事務局 安全研修会	手話研修会「ドラマ silentから聴覚障害と手話を学ぼう」 講師：歯科口腔外科 歯科技工士長 外口 晴久	9名
<主催；診療支援・企画情報局>				
11月～12月	診療支援・ 企画情報局 職員	診療支援・ 企画情報局 研修会	e-ラーニング セーフティプラス視聴研修会 個人情報・プライバシー④「情報漏えい事故」、他	102名

[院外]

開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
4月27日 (水)	薬剤局職員	薬剤局 安全研修会 不眠症診療を 考えるWeb研修会	ー特別講演ー 座長 武蔵野赤十字病院 院長 泉 並木 先生 「医療訴訟事例からみる不眠症治療を考える」 講師：札幌医科大学 病院管理学 准教授 橋本 暁佳 先生 主催：エーザイ株式会社	13名
6月21日 (火)	看護師	令和4年度 千葉県看護協会 医療安全担当者 中央交流会 (Web開催)	医療安全担当者中央交流会 「身体抑制をしない看護を目指した体制づくり」 主催：千葉県看護協会	1名
6月27日 (月)	病院職員	不眠症診療 Webセミナー	不眠症診療Webセミナー 座長：旭中央病院 神経精神科主任部長 青木 勉 「入院患者における不眠対策～せん妄リスクの観点から～」 演者：岡山大学病院 精神科神経科 助教 井上 真一郎 先生 主催：エーザイ株式会社	数名
6月29日 (水)	病院職員	Otsuka Webinar 医療安全・ 患者安全 ZOOMウェビナー (LIVE配信)	演題Ⅰ「日本の医療機器・機材安全の現状と課題」 演者：名古屋大学医学部附属病院 副院長 患者安全推進部 教授 長尾 能雅 先生 演題Ⅱ「生体透過光を応用した胃管位置確認法～安全、 迅速、簡便な確認法～」 演者：国際医療福祉大学病院 麻酔科 教授 正木 英二 先生	数名
9月5日 (月)	医師、 看護師、他	BD VAMセミナー (WEB開催)	末梢静脈カテーテル静脈炎発生頻度と危険因子の抽出2 ～最新の解析結果から～ 座長：聖路加国際病院QIセンター 感染管理室マネージャー 坂本 史衣 先生 演者：自治医科大学附属さいたま医療センター 救急科 学内講師/EICU医長 安田 英人 先生 主催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社	数名

開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
11月23日(水)	看護師、他	“いのちをまもる パートナーズ” 医療安全全国 フォーラム2022 (オンラインライブ 配信+オンデ マンド配信)	シンポジウムテーマ；レポート加算を活かす! ～不幸なレポート事故を防ぐために～ 主催：一般社団法人 医療安全全国共同行動	数名
3月4日(土)	医療従事者	2022年度患者 安全推進全体 フォーラム (開催形式 オンライン開催 Zoomウェビナー)	「臨床現場におけるよい判断・意思決定とは 一切迫した状況での安全を考えるー」 基調講演「人間らしさを理解する：医療現場における よりよい判断や意思決定の実践に向けて」 講師：追手門学院大学 心理学部心理学科 人工知能・認知科学専攻 准教授 本田 秀仁先生、他 主催：(公財)日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進協議会	数名
3月22日(水)	医師、他	医療安全 Webセミナー (開催形式 WEB配信)	講演Ⅰ 「医療安全から見た肝炎ウイルス検査結果伝達漏れ対策」 講師：千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部 副部長・消化器内科 助教 中本 晋吾先生、他 共催：千葉県肝疾患相談センター・アッガイ合同会社 後援：千葉県	数名
3月29日(水)	医療従事者	東総地区 不眠症診療 WEBセミナー	東総地区不眠症診療WEBセミナー 座長：旭中央病院 神経精神科主任部長 青木 勉 一般講演Ⅰ：急性期セッション 「当院における不眠時の対応について」 演者：国保旭中央病院 薬剤局 廣田 佳孝 他、 共催：旭匠瑳医師会 銚子市医師会 香取郡市医師会 エーザイ株式会社	数名

[その他] 学会発表

開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
11月26日(土) 11月27日(日)	医師、 看護師、他	第17回 医療の質・安全 学会学術集会	学会テーマ；現場から生まれる医療の質・安全の知 ～改善と変革へつなげるために～ 講演「ポジティブインシデント報告の取り組み ～Good Job!シールの進呈及び賞賛事例の共有～」 演者：総合病院 国保旭中央病院 医療安全管理者 白土 てる子 主催：一般社団法人 医療の質・安全学会	2名



TQMセンター



●TQMセンター(2022年度)

2022年度の方針・概要

TQMセンター運営の基本理念は、2010年開設以来一貫して「医療の質を高める組織作り」と「内部コミュニケーションの充実」である。これに基づき、(1)医療の質指標(Quality Indicator, QI)の分析、(2)QC活動、(3)院内横断活動部門の支援、(4)病院評価への参画の4つを活動の柱としている。

2022年度は、3項目について以下の点を目標・方針とし全て達成した。

- (1)病院機能評価の認定更新；各評価項目に対応する院内整備。
- (2)QI指標の情報発信；QIReviewの作成及び院内配布。
- (3)文章の一元化管理；CoMedixにて各部署のマニュアル等を閲覧可能な状態に整備。

2022年度の活動

- (1) QI分析(図1-1~1-4；2022年度日本病院会QIプロジェクトから抜粋)

他施設との比較

- a. 日本病院会QIプロジェクト
- b. 京都大学QIP
- c. がん登録QI研究
- d. 全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表等推進事業
- e. 日本医療機能評価機構 医療の質可視化プロジェクト

- (2) QC活動

2022年度のQC活動は、6サークルの参加があった(表1)。5月のキックオフミーティングから2月の発表大会まで、アドバイザーの協力のもとサークル活動を継続し、全サークルがQC工程を終了した。2023年2月16日の発表大会は、新型コロナウイルス感染症への対応により無観客で発表を撮影し、動画・抄録による採点とした。動画はバリテスに掲載し、院内公開した。最優秀賞「どうする水剤」(薬剤局)、優秀賞「ふしぎ多変始屋11東病室」(11階東病棟)が受賞した(表2)。

- (3) 横断活動支援

A. 横断活動ジャーナル

2011年度から院内横断活動の紹介として、12グループ(院内感染対策委員会、褥瘡対策委員会、NST委員会、クリニカルパス委員会、緩和ケアチーム、家族支援チーム、薬剤局、リハビリテーション科、糖尿病サポートチーム、病院まつり実行部会、排尿ケアチーム、PICC/CVチーム)の活動を横断活動ジャーナルにて発行している。2022年度は、6回発行した。

B. まめ知識講座

2015年2月から、患者さんの健康維持・病気の予防と対応に関する知識の普及、院内滞在時間の有効活用を目的として「まめ知識講座」を開催しているが、2022年度は新型コロナウイルス感染症への対応により休講とした。4月に演者の方など56名を対象にアンケート調査を行い、28名の回答を得た。回答結果を基に代替えとして「まめ知識リーフレット」を作成し、8月に各科外来へ配布した。

- (4) 病院評価

A. 患者満足度調査

例年6月に実施している患者満足度調査(入院表3))を、2022年度は新型コロナウイルス感染症への対応により入院調査のみ6月に実施した。

各カテゴリーの平均は、昨年度より概ね上がった。「この病院について総合的な評価」の設問については、若干評価が下がった。

B. 外来患者待ち時間調査

外来患者待ち時間調査(表4)では、予約外診察待ち時間平均64.2分、予約診察待ち時間平均35.0分であった。患者が外来に到着してから薬引換までの院内滞在時間全体としては1時間台が5%減少し、3時間以上は5%増加するなど全体としてはやや増加する傾向が見られた。

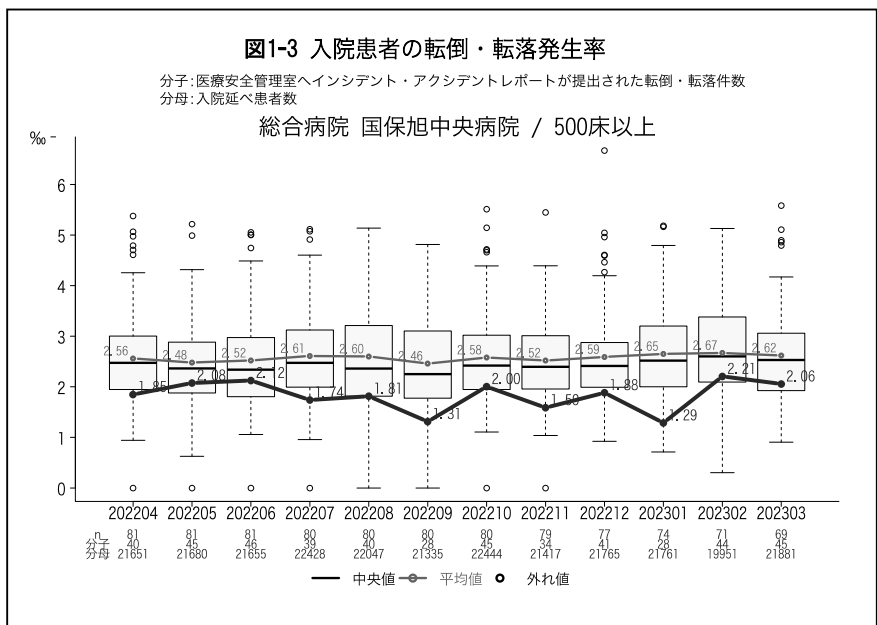
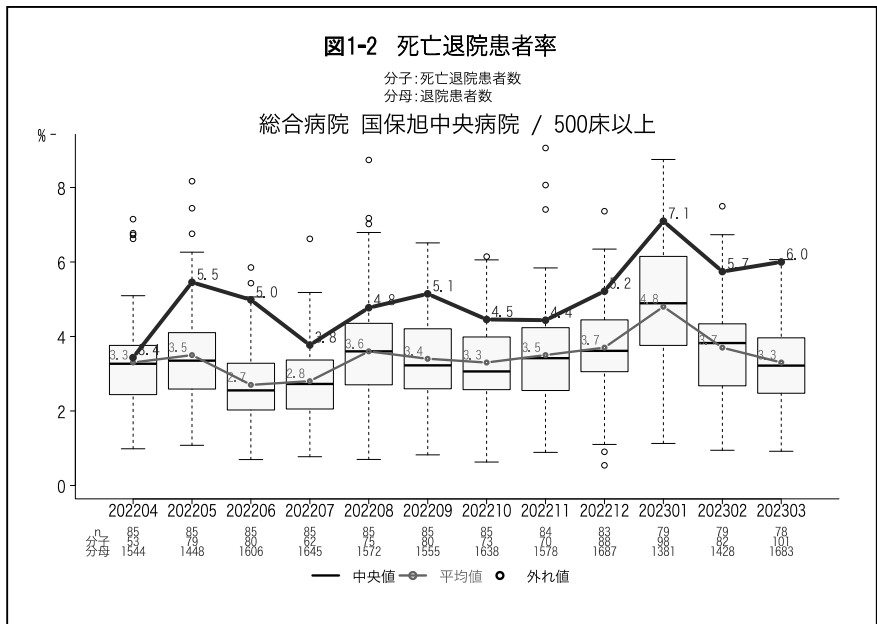
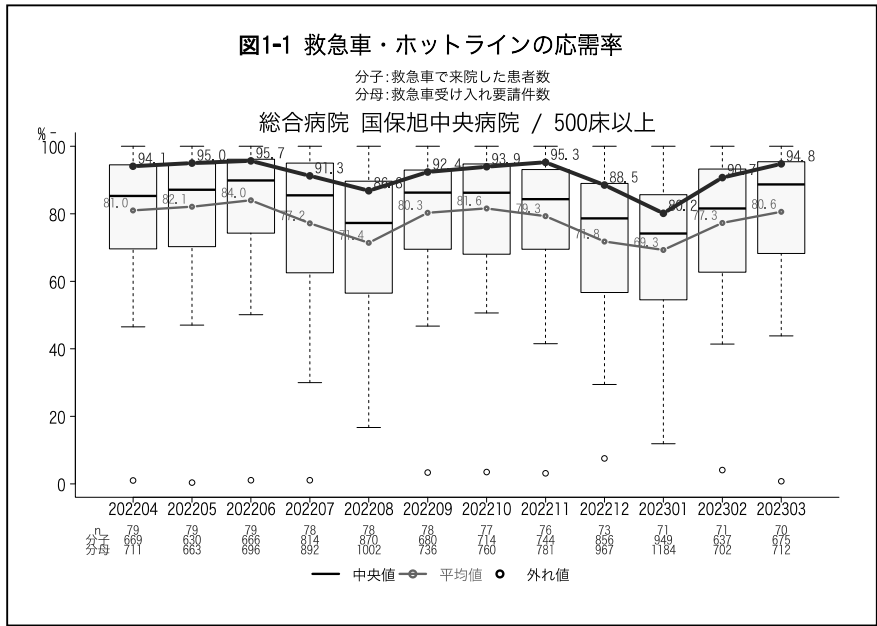
2022年度も調査結果を各部署にフィードバックし、課題となった項目の対策・実施計画を検討していただき、検討結果をあわせて患者満足度調査の冊子を発行した。

C. ISO外部審査

2023年3月1日(水)~2日(木)の2日間において、ISO外部審査を受審した。今回の審査では、全19審査枠において30部署および委員会が対象となった。審査の結果は、「高く評価できる事項・20項目」、「観察事項・20項目」、「軽微な不適合ならびに重大な不適合・0項目」となった。不適合がなかったことから、是正処置を行なうことなく審査員から承認された。

D. 病院機能評価審査

2022年12月21日(水)~22日(木)2日間において、病院機能評価訪問審査を受審した。結果は、すべて「B評価以上」だったことから、認定期間が更新された。



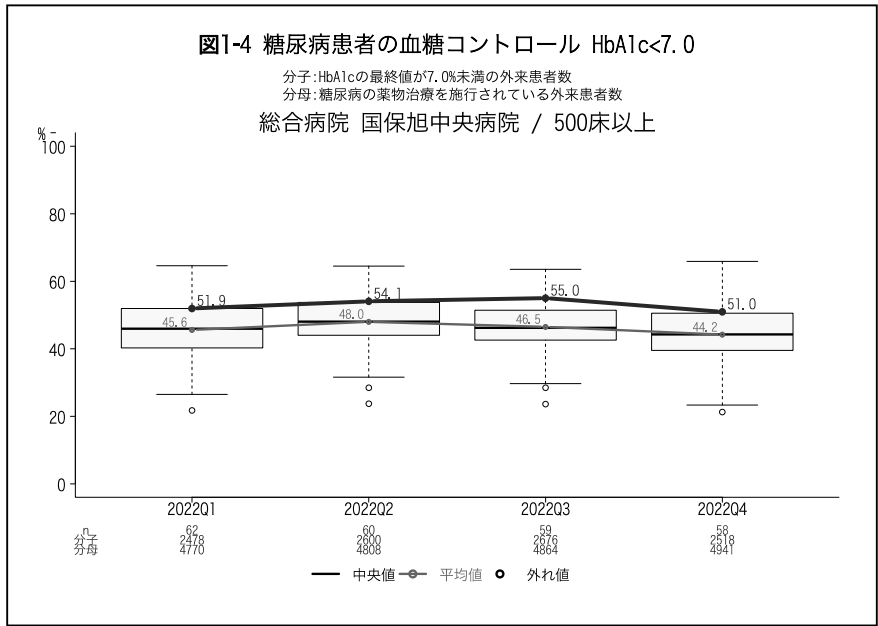


表1. 2022年度QC活動参加サークル一覧

No.	参加部署	サークル名	テーマ
1	中央手術室	ねばやさ～粘り強く優しく～	全身麻酔で手術を受ける発達障害者へのサポート
2	11階東病棟	ふしぎ多変始屋11東病室	始業前業務削減に向けての業務改善
3	リハビリテーション科・9階西病棟合同	HBK×FAMILY	予定手術患者の術後せん妄の半減
4	薬剤局	どうする水剤	実習生の水剤調剤に対する評価を上げる指導水準を一定レベルにし、薬剤師毎のバラツキを少なくする
5	10西・9西・耳鼻科・放射線科・手術室・PFM合同	旭卍チャレンジャーズ	子ども S(説明) D(同意) G(がんばり) s(支援する)・外来からの周術期における、連携を、強化
6	中央検査科	ガッテン！腕まくり	採血時の身支度時間が短縮できないか

表2. 2022年度QC活動発表大会(ビデオ審査) 表彰サークル

授賞	参加部署・サークル名
最優秀賞	薬剤局・どうする水剤
優秀賞	11階東病棟・ふしぎ多変始屋11東病室

表3. 2022年6月実施 入院患者満足度調査点数グラフ 全病棟

		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
◆医師について◆										
1 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	702	99.5%			8.05			-0.10	7.43(7.42)
	昨年度	689	99%			8.15				
2 入院中の診察、治療方針、経過、検査、手術などの説明	今年度	703	99.6%			7.41			-0.12	
	昨年度	687	98.8%			7.53				
3 担当医に対する信頼感	今年度	702	99.5%			7.72			-0.15	
	昨年度	687	98.8%			7.87				
4 悩みや相談に対する適切な応対	今年度	696	98.6%			7.18			-0.08	
	昨年度	679	97.6%			7.26				
5 看護師・事務職員などへの連絡	今年度	688	97.5%			7.38			0.17	
	昨年度	678	97.5%			7.21				
6 プライバシーへの配慮	今年度	690	97.8%			7.71			0.17	
	昨年度	674	97%			7.54				
7 退院後の注意事項などに関する説明	今年度	683	96.8%			7.28			0.11	
	昨年度	673	96.7%			7.17				
8 地域の医療機関への紹介に関する説明	今年度	645	91.4%			6.69			0.09	
	昨年度	642	92.4%			6.60				

		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
◆看護職員について◆										
1 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	704	99.8%			7.90			-0.26	7.35(7.41)
	昨年度	688	98.9%			8.16				
2 相談しやすい雰囲気	今年度	703	99.6%			7.62			-0.14	
	昨年度	686	98.6%			7.76				
3 ナースコールを押してから訪室までの時間	今年度	674	95.7%			7.02			0.16	
	昨年度	676	97.2%			6.86				
4 患者さんが頼んだことに対しての確実な対応	今年度	692	98.1%			7.42			-0.05	
	昨年度	674	97%			7.47				
5 入院中のスケジュール、検査、手術などの説明	今年度	699	99.1%			7.31			-0.08	
	昨年度	687	98.8%			7.39				
6 悩みや相談に対する適切な応対	今年度	683	96.8%			7.21			-0.04	
	昨年度	667	95.9%			7.25				
7 看護職員同士の連絡	今年度	683	96.8%			6.64			-0.04	
	昨年度	663	95.3%			6.68				
8 医師・事務職員などへの連絡	今年度	677	95.9%			7.22			-0.02	
	昨年度	671	96.5%			7.24				
9 プライバシーへの配慮	今年度	680	96.4%			7.56			-0.06	
	昨年度	670	96.3%			7.62				
10 退院手続きの説明	今年度	687	97.4%			7.55			-0.03	
	昨年度	664	95.5%			7.58				
11 退院後の注意事項などに関する説明	今年度	681	96.5%			7.20			-0.03	
	昨年度	663	95.4%			7.23				
12 看護に対しての全体的な満足度	今年度	697	98.8%			7.56			-0.16	
	昨年度	683	98.2%			7.72				

		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
◆その他職員について◆										
1【放射線職員（レントゲン・CT・MRI・アイソトープ・PETなど）】										
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	633	89.8%			7.48			-0.01	7.35(7.34)
	昨年度	618	88.8%			7.49				
b 対応や説明	今年度	630	89.3%			7.15			-0.03	
	昨年度	605	87%			7.18				
c プライバシーへの配慮	今年度	615	87.2%			7.43			0.09	
	昨年度	596	85.7%			7.34				
2【検査室職員（心電図・超音波・内視鏡検査など）】										
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	622	88.2%			7.49			0.00	7.42(7.34)
	昨年度	600	86.3%			7.49				
b 対応や説明	今年度	617	87.4%			7.28			0.10	
	昨年度	585	84.1%			7.18				
c プライバシーへの配慮	今年度	603	85.5%			7.49			0.14	
	昨年度	578	83.1%			7.35				

2022年6月実施 入院患者満足度調査点数グラフ 全病棟

3【リハビリテーション職員（理学・作業療法など）】		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	505	71.6%						0.10	7.38(7.31)
	昨年度	505	72.6%							
b 対応や説明	今年度	499	70.7%						-0.01	
	昨年度	492	70.7%							
c プライバシーへの配慮	今年度	494	70%						-0.08	
	昨年度	486	69.9%							
d リハビリの量(回数・時間など)	今年度	496	70.3%						0.23	
	昨年度	486	69.9%							
e リハビリの質(内容)	今年度	493	69.9%						0.11	
	昨年度	489	70.3%							
4【医療連携福祉相談室職員】		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	480	68%						0.13	7.48(7.35)
	昨年度	485	69.7%							
b 対応や説明	今年度	475	67.3%						0.05	
	昨年度	469	67.4%							
c プライバシーへの配慮	今年度	476	67.5%						0.20	
	昨年度	469	67.4%							
5【栄養士】		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	491	69.6%						0.02	7.41(7.29)
	昨年度	487	70%							
b 対応や説明	今年度	485	68.7%						0.09	
	昨年度	474	68.2%							
c プライバシーへの配慮	今年度	478	67.8%						0.26	
	昨年度	466	67.1%							
6【薬剤師】		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	592	83.9%						-0.13	7.85(7.96)
	昨年度	570	81.9%							
b 対応や説明	今年度	584	82.8%						-0.10	
	昨年度	558	80.2%							
c プライバシーへの配慮	今年度	565	80.1%						-0.11	
	昨年度	543	78.1%							
7【電話交換職員（病院への電話に最初に対応する）】		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
a 言葉づかい、応対	今年度	534	75.7%						0.28	7.15(6.91)
	昨年度	526	75.6%							
b プライバシーへの配慮	今年度	516	73.1%						0.19	
	昨年度	496	71.3%							
8【病棟清掃担当者】		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	631	89.4%						-0.43	7.23(7.65)
	昨年度	620	89.1%							
b プライバシーへの配慮	今年度	604	85.6%						-0.40	
	昨年度	594	85.4%							
9【シーツ交換担当者】		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	589	83.5%						-0.35	7.29(7.67)
	昨年度	596	85.7%							
b プライバシーへの配慮	今年度	574	81.4%						-0.42	
	昨年度	578	83.2%							
◆病院食について◆		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
提供時間	今年度	645	91.4%						0.22	5.76(5.27)
	昨年度	642	92.4%							
温度	今年度	643	91.1%						0.65	
	昨年度	641	92.3%							
食事内容	今年度	642	91.1%						0.61	
	昨年度	639	92%							

2022年6月実施 入院患者満足度調査点数グラフ 全病棟

◆施設設備について◆

	時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
1 院内の案内表示	今年度	610	86.5%		6.12			-0.25	6.31(6.31)
	昨年度	605	87%		6.37				
2 院内の飲食スペース・施設 a 本館1階売店	今年度	590	83.6%		5.83			0.00	
	昨年度	590	84.9%		5.83				
b 本館12階売店	今年度	559	79.2%		5.86			0.19	
	昨年度	550	79.3%		5.67				
c 本館1階コーヒーショップ	今年度	555	78.7%		6.24			-0.08	
	昨年度	550	79.2%		6.32				
d 展望ラウンジ	今年度	553	78.6%		6.52			0.17	
	昨年度	549	79.3%		6.35				
3 院内放送の音量	今年度	579	82.1%		6.04			-0.02	
昨年度	587	84.4%		6.06					
4 病棟、病室の静けさ	今年度	644	91.3%		5.66			-0.18	
昨年度	639	91.9%		5.84					
5 病棟、病室のにおい	今年度	646	91.6%		6.37			-0.10	
昨年度	641	92.1%		6.47					
6 病棟、病室の温度設定	今年度	648	91.8%		5.76			0.04	
昨年度	640	92.1%		5.72					
7 病棟、病室の清潔さ	今年度	648	91.8%		7.11			-0.36	
昨年度	642	92.4%		7.47					
8 トイレ、洗面所、入浴シャワー室の清潔さ	今年度	641	90.8%		7.09			-0.18	
昨年度	634	91.3%		7.27					
9 シーツ交換は丁寧で行き届いていたか	今年度	633	89.8%		7.10			-0.37	
昨年度	626	90%		7.47					

◆相談・支援体制について◆

	時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
相談したい部署の案内表示はわかりやすいか	今年度	541	76.7%		6.17			0.55	6.43(6.06)
	昨年度	533	76.7%		5.62				
相談された部署の対応は役立ったか	今年度	534	75.7%		6.68			0.18	
	昨年度	518	74.5%		6.50				

◆入院・手術サポートセンターについて◆

	時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
1 [入院のご案内]の冊子	今年度	648	91.8%		7.26			0.15	7.61(7.55)
	昨年度	629	90.4%		7.11				
2 入院手続きの説明 a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	671	95.1%		7.72			0.06	
	昨年度	659	94.7%		7.66				
b 対応や説明	今年度	665	94.2%		7.56			0.09	
	昨年度	656	94.3%		7.47				
c プライバシーへの配慮	今年度	648	91.8%		7.62			0.11	
	昨年度	639	92%		7.51				
3 入院・手術について看護師の説明a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	671	95.1%		7.83			0.01	
	昨年度	657	94.4%		7.82				
b 対応や説明	今年度	668	94.7%		7.69			0.12	
	昨年度	654	94%		7.57				
c プライバシーへの配慮	今年度	648	91.8%		7.70			0.04	
	昨年度	638	91.7%		7.66				
d 説明を受けたことで安心して入院する事ができた	今年度	662	93.8%		7.48			-0.08	
	昨年度	653	93.9%		7.56				

◆全体的なことについて◆

	時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
1 病院の公式ホームページから目的の情報を見つけることができた	今年度	537	76.1%		5.13			0.52	7.03(6.98)
	昨年度	530	76.2%		4.61				
2 入院中に必要な情報が、充分入手できた	今年度	579	82.1%		5.55			0.26	
	昨年度	592	85.1%		5.29				
3 安心して入院生活を送れた	今年度	665	94.2%		7.48			0.11	
	昨年度	657	94.4%		7.37				
4 今後も当院を利用したい	今年度	671	95.1%		7.96			-0.15	
	昨年度	661	95%		8.11				
5 当院を家族・知人に紹介したい	今年度	653	92.5%		7.12			-0.08	
	昨年度	641	92.1%		7.20				
6 病院は感染対策が来ていると思うか	今年度	665	94.2%		7.31			-0.11	
	昨年度	660	94.9%		7.42				
7 患者さん誤認防止のための本人確認	今年度	667	94.5%		8.16			-0.15	
	昨年度	656	94.3%		8.31				
8 この病院についての総合的な評価	今年度	676	95.8%		7.51			-0.05	
	昨年度	668	96%		7.56				

表4. 2022年6月 患者待ち時間調査 実績

調査実施期間 ; 2022年6月 外来診療日(22日間)
 調査対象延べ患者数 ; 39,537名 (「旭中央病院診療実績」の外来患者数 53,437名)
 測定内容 ; 以下の7箇所の調査時刻に該当した患者数と待ち時間

- 1.「婦人科」は、日付のみの予約で時間指定はない。従って、全ての受診患者は「外来到着から診察開始」までを診察待ち時間とする。
- 2.「指標1」に於いて、予約時刻に遅れて到着した場合は「予約時刻」からではなく「外来到着時刻」から測定する。
- 3.「指標1」に於いて、予約時刻より早く診察が開始された場合の待ち時間は「0分」とする。
- 4.各指標に於いて、最短時間と最長時間の科を次の色で示す。

最長科	最短科
-----	-----
- 5.1時間毎の推移の各指標に於いて、最長の時間帯を次の色で示す。

最長の時間帯

指標No.	診察待ち時間				会計待ち時間				くすり待ち時間		院内滞在時間			
	1		2		3		4		5		6-1		6-2	
指標名	予約時刻から 診察開始		外来到着から 診察開始		診察終了から 計算可能		計算可能から 会計可能		診察終了から 薬引換		外来到着から 会計可能		外来到着から 薬引換	
	調査対象 患者数	平均(分)	調査対象 患者数	平均(分)	調査対象 患者数	平均(分)	調査対象 患者数	平均(分)	調査対象 患者数	平均(分)	調査対象 患者数	平均(分)	調査対象 患者数	平均(分)
	18,702	35.0	7,085	64.2	34,448	20.7	36,838	4.1	1,507	38.4	36,875	106.8	1,616	128.8
内科	7,485	42.3	1,029	100.9	13,049	17.8	13,071	7.3	734	40.6	13,089	124.4	757	146.3
小児科	507	34.0	209	85.8	1,156	12.6	1,674	2.3	67	27.5	1,675	93.5	99	75.9
外科	841	39.6	131	81.4	1,673	31.6	1,786	4.6	64	39.2	1,787	124.1	64	141.0
乳腺センター	396	14.8	116	37.1	584	13.6	569	1.7	30	40.2	569	64.5	30	106.4
整形外科	769	19.5	275	86.0	2,167	27.0	2,126	2.2	34	42.3	2,126	111.8	35	110.8
脳外科	121	22.9	579	49.7	878	27.2	849	2.5	8	46.4	830	86.1	8	103.9
泌尿器科	1,333	39.6	359	40.8	2,166	29.5	2,089	2.6	255	27.6	2,096	120.2	263	125.8
眼科	2,367	58.9	213	39.5	2,153	25.4	2,499	2.1	35	39.9	2,500	146.0	46	151.5
皮膚科	135	12.3	1,458	54.6	1,790	26.3	1,748	2.6	61	47.4	1,759	95.2	66	117.9
耳鼻科	1,097	14.8	626	39.4	1,817	21.6	1,815	2.3	30	40.2	1,815	74.6	30	94.4
歯口科	916	11.1	158	76.2	1,241	9.2	1,945	1.6	51	27.2	1,945	71.1	71	99.7
産科	481	30.7	23	40.3	501	24.7	570	2.0	1	136.0	579	87.2	3	101.0
婦人科			1,806	67.1	2,035	19.4	2,309	2.0	11	27.5	2,312	97.3	11	95.0
神経科	1,407	12.3	39	47.8	1,867	17.6	1,883	1.6	112	52.1	1,885	60.0	117	101.5
麻酔科	257	10.2	3	61.3	269	14.8	248	4.2	4	34.3	248	67.9	4	56.8
心臓外科	119	19.9			164	7.9	173	4.3	6	50.3	173	83.5	6	122.8
形成外科	471	16.1	61	41.6	909	19.2	873	4.1	4	29.5	876	67.7	6	154.3
リハビリ					29	10.4	611	1.9			611	77.7		

1時間毎の推移	調査対象 患者数	待ち時間 (分)	調査対象 患者数	待ち時間 (分)	調査対象 患者数	待ち時間 (分)	調査対象 患者数	待ち時間 (分)	調査対象 患者数	待ち時間 (分)	調査対象 患者数	待ち時間 (分)	調査対象 患者数	待ち時間 (分)
8時以前	9	14.2	752	74.9									134	144.7
8時台	1,854	27.2	2,165	67.2	2,258	20.7	1,498	2.5	70	38.9	11,858	115.7	321	129.4
9時台	4,352	33.3	1,902	66.2	6,599	23.4	5,936	2.9	224	37.8	8,530	112.1	295	131.1
10時台	4,007	41.9	1,725	63.5	6,800	23.8	6,859	3.2	260	34.9	6,672	110.6	300	134.7
11時台	2,698	45.4	541	33.0	6,134	24.1	6,469	4.4	254	39.8	2,597	104.7	152	140.1
12時台	667	48.7			3,882	21.4	4,827	5.2	200	47.6	1,841	98.7	110	127.8
13時台	1,556	27.5			2,914	16.5	3,600	6.1	144	42.4	2,510	86.0	149	119.3
14時台	1,992	30.2			2,689	13.7	3,251	5.4	152	35.2	1,716	77.2	91	113.9
15時台	1,203	22.6			1,953	12.4	2,398	4.0	116	35.0	897	63.6	47	77.1
16時台	362	18.7			992	9.7	1,513	3.5	74	29.4	247	51.3	17	55.8
17時以降	2	0.0			227	6.4	487	3.0	13	25.0	7	24.4		



内部監査室



●内部監査室（2022年度）

当年度の取組（2022年4月～2023年3月）

内部監査室は2020年10月1日に開設以降、全職員がTQMセンターと兼務して業務を遂行している。当室が行なう業務は、主に「法人としての内部監査」、「監事特別監査への立ち会い」、「会計監査人の年度末棚卸確認及び現金実査への立ち会い」である。

法人としての内部監査では、今年度の監査テーマを「個人情報の取扱いについて現状を監査する」とし、内部監査実施計画書に基づき、2023年2月7日から2月21日までの期間において院内8部署（下表参照）を対象に実施した。監査の視点を「個人情報の安全管理体制及び運用状況」、「診療記録の開示に関する院内体制及び運用状況」、「情報システムの安全管理体制及び運用状況」、「特定生物由来製品の使用管理体制及び運用状況」として、約3ヶ月前に点検表（監査項目）を被監査部署に配布し、事前に自己評価を行なったうえで対面での監査を実施した。監査の結果としては、改善を要する事項13件、推奨事項15件を確認し、各々改善要求を該当部署に通知した。

監事特別監査は2022年10月18日、スキルセンターと医療連携福祉相談室に対して行なわれ、当室も同席し、総評を確認した。両部署の業務は適正に行なわれているとの評価であった。

会計監査人による年度末棚卸確認が2023年3月31日、現金実差が同年4月3日に実施され、両日への立ち会いを行なった。両日とも、現場において問題なく運営されていることを確認した。

2022年度 内部監査の視点と対象部署

監査の視点	対象部署
個人情報の安全管理体制及び運用状況、 診療記録の開示に関する院内体制及び運用状況	総務人事課
	広報患者相談課
	医事課
	診療情報管理室
情報システムの安全管理体制及び運用状況	医療情報室
特定生物由来製品の使用管理体制及び運用状況	薬剤局
	中央検査科
	契約課



地域医療支援センター



●地域医療支援センター（2022年度）

千葉県策定の「香取海浜保健医療圏地域医療再生計画」を背景に、医療提供体制の強化や地域医療の質の向上を図ることを目的に、2012年3月より支援業務を展開しています。

現在、地域医療支援センターは「教育ユニット」「臨床研究支援ユニット」の2つの機能を担っています。教育ユニットである「スキルセンター」では、トレーニング室や模擬病室などの施設、および医療用シミュレータや検査・診断用機器等を活用し、院内スタッフ及び地域の医療従事者への教育訓練支援を継続しています。

また、臨床研究支援ユニットである「臨床研究支援センター」では、倫理審査委員会事務局支援（院内臨床倫理問題や臨床研究に関する審議支援）、多職種から構成される院内CRCやデータマネージャーによる臨床研究実施支援、並びに治験施設支援機関（SMO）による治験業務支援を継続しています。

〔トピックス〕

<スキルセンター>

- ・新型コロナウイルスの感染拡大「第7波」の影響により、2022年7月から9月の研修やイベントは中止または延期となりました。
- ・2022年11月以降、地域から多くの医療従事者等が参加するJPTEC(病院前外傷教育)プロバイダー更新コース、PALS(小児二次救命処置法)プロバイダーコース、千葉県東部地域救急業務メディカルコントロール協議会「ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習」を3年ぶりに開催しました。

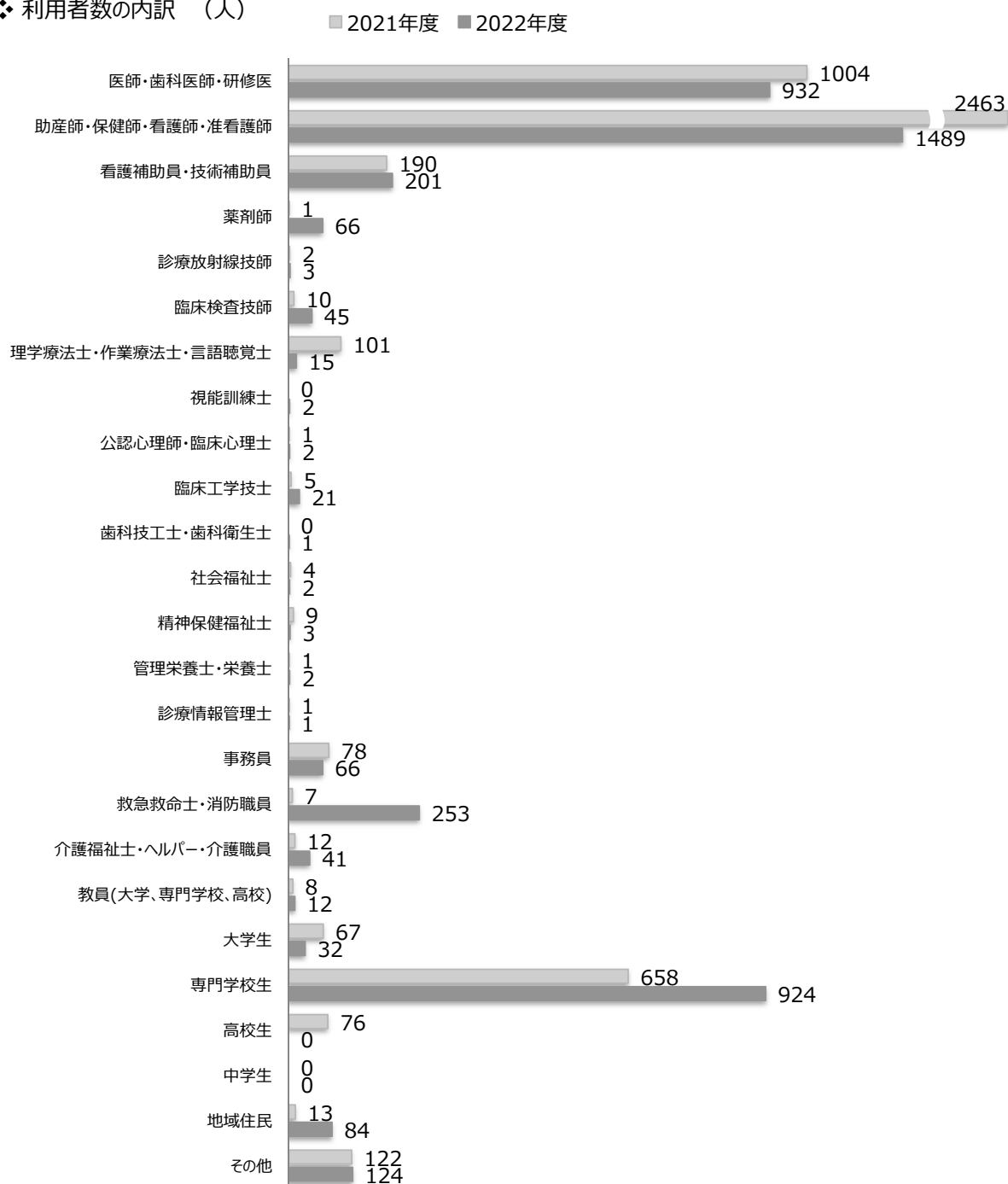
<臨床研究支援センター>

- ・大学病院からの協力要請を背景に、当院では初となる医師主導治験が開始されました（医師主導治験への参加）。医師主導治験用の標準業務手順書及び治験審査委員会標準業務手順書を新たに定め、院内CRCが当該治験業務支援を実施しています。
- ・2022年度も初期研修医卒業研究への支援を実施し、2023年2月、院内で卒業研究発表会が開催されました(2年次初期研修医;29名)。卒業研究は当院初期研修プログラムの特徴の一つです。

< スキルセンター 施設およびシミュレータ機器等の利用状況 (2022年度) >

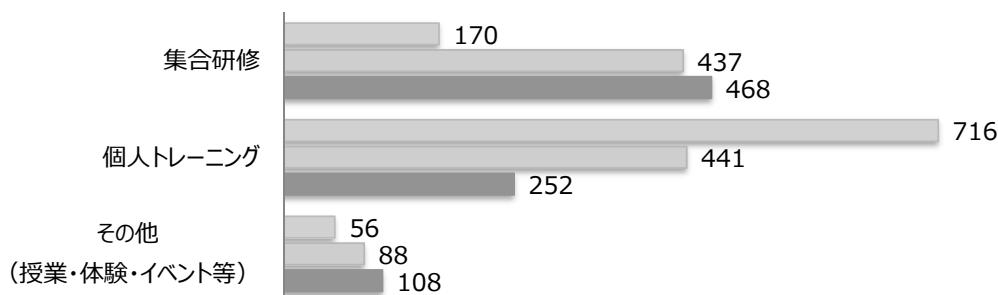
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	63	57	59	69	75	82	101	74	80	75	56	37	828
利用者数 (講師・指導者を除く)	508	484	566	489	198	139	397	471	242	362	221	244	4,321
利用日数	24	22	27	23	26	25	25	26	23	21	23	17	282
利用者数のうち 院外からの利用者数	0	38	62	36	97	6	12	162	102	9	16	90	630
利用件数のうち センター外への機器等持出数	15	7	8	25	33	25	39	27	37	23	12	18	269

❖ 利用者数の内訳 (人)



❖ 目的別の利用件数 (件)

■ 2020年度 ■ 2021年度 ■ 2022年度

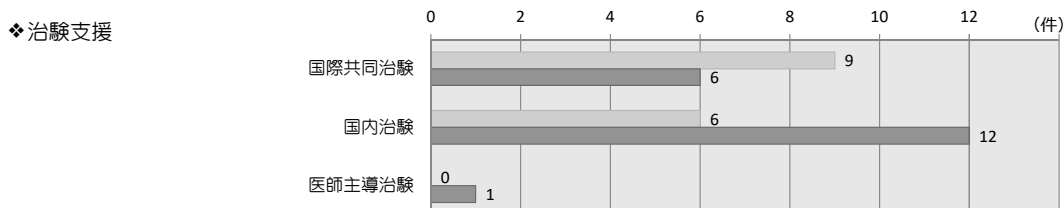
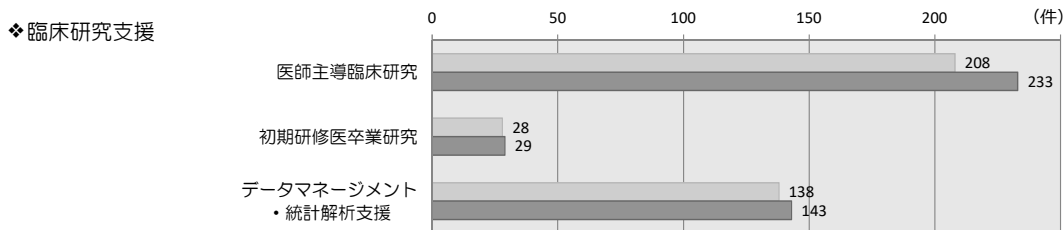
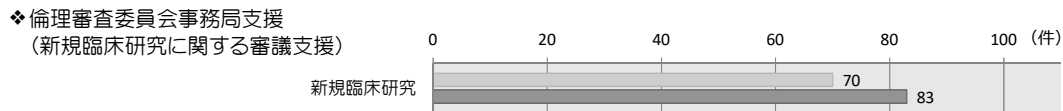
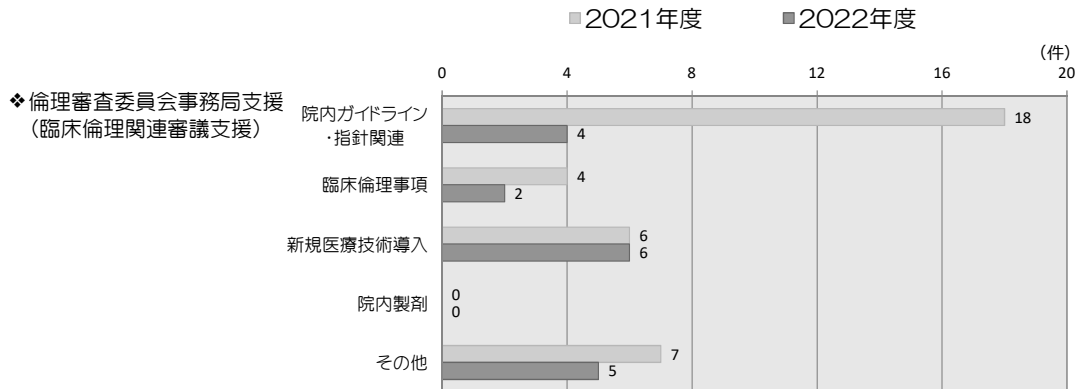


❖ 利用者の利用内容

利用者	利用内容 (教育、訓練、授業など)
医師 歯科医師 研修医	気管挿管、気管切開、電子加圧操作、内視鏡手術、超音波診断、感染対策、縫合、血管吻合、小児手背静脈路確保、小児骨髄路確保、臨床研究コンサルテーション、中心静脈穿刺挿入、動脈採血、心臓超音波検査、腹部超音波検査、外科ハズレ、PICC穿刺挿入、日本救急医学会ICLS、日本ACLS協会BLS、DPAT災害時記録訓練、JMECC(日本内科学会内科救急・ICLS)、消化器内視鏡検査、JPTEC(病院前外傷教育)、PALS(小児二次救命処置法)、生命・医療倫理セミナー、血管確保
助産師 保健師 看護師 准看護師	感染管理、輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理、気管挿管の介助、点滴静脈内注射・採血、酸素吸入・吸引、導尿・尿道留置カテーテル、日本救急医学会ICLS、褥瘡・診療計画書と予防対策、一次救命処置、日本ACLS協会BLS、死後のケア、DPAT災害時記録訓練、二次救命処置、DESIN-R評価と治療、看護の気づき・自分を振り返ろう、救急勉強会、嘔吐処理セットの正しい使い方と感染予防、急変時対応、多重課題シミュレーション、JPTEC(病院前外傷教育)、アセスメントに関する勉強会、PALS(小児二次救命処置法)、中心静脈カテーテル実技、生命・医療倫理セミナー、アンビュ換気練習、クーム対応、手話講習、多数傷病者に関する勉強会 千葉県看護協会オンライン研修「フレッシュセミナー(春・秋)」「看護職のストレスマネジメント」「新型コロナウイルス感染症の現状と対応」「看護補助員の活用推進のための看護管理者研修」「認定看護管理者教育課程」「アセスメント研修会」「人を育てる臨地実習」「コミュニケーションスキルを学ぶ」「共に考えよう! 2年目としてやりがいのある働き方」「小児虐待の芽をつむ多職種連携」「医療安全ⅡチームステップⅡ」「看護実践における看護倫理」「がん医療の最新知識と患者・家族の療養支援」「医療安全Ⅲ医療事故事例を法律から見てみる・看護記録」「ハラスメントのない職場環境を目指して」「急性期から回復期へつなぐ皮膚排泄ケアの基本」「病院から在宅につなぐ褥瘡の予防とケア」「タイムマネジメントのコツを知ってワークライフも生き生きと!」「リダーシップ」研修「これからのキャリア発達・キャリア開発を考える」
看護補助員 技術補助員	病院食と安全な食事介助技術、感染基礎、現場指導者研修、基礎看護技術、私生活と入浴ケア、安全な移乗と安楽をもたらすポイントシミュレーション、一次救命処置、足浴体験、嘔吐処理セットを使ってみよう・感染性胃腸炎拡大防止、急変時の対応、臨時入院時に渡す書類の説明と、健康保険証の種類と見方、初めて学ぶコミュニケーション技術、環境を整える、業務上の倫理、検体・輸血製剤の取扱いと検査の送り迎えで気をつけたいこと、クーム対応
診療放射線技師・臨床検査技師	一次救命処置、採血、JPTEC(病院前外傷教育)、生命・医療倫理セミナー
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	一次救命処置、日本救急医学会ICLS、生命・医療倫理セミナー、吸引実技
公認心理師	一次救命処置
社会福祉士・精神保健福祉士	一次救命処置、DPAT災害時記録訓練、生命・医療倫理セミナー、クーム対応、急変時対応
事務員	一次救命処置、DPAT災害時記録訓練、クーム対応、手話講習
救急救命士・消防職員	JPTEC(病院前外傷教育)、ビデオ硬性喉頭鏡講習
介護福祉士・ヘルパー・介護職員	喀痰吸引等基本研修
教員	一次救命処置、JPTEC(病院前外傷教育)、採血
大学生	採血実習、医学生見学、看護学生インターンシップ、一次救命処置
専門学校生	附属看護専門学校授業「衛生的手洗い」「個人防護具の着脱」「高齢者疑似体験」「一次救命処置」「経鼻経管栄養法」「フィジカルアセスメント」「吸引」「輸液」「静脈血採血」「注射」実習前打ち合わせ、看護学生インターンシップ
地域住民	出前講座「心肺蘇生法・AEDの使い方」

<臨床研究支援センター 業務支援状況概略（2022年度）>

倫理審査委員会 事務局支援	院内ガイドライン・指針関連に関する審議支援(4件)
	臨床倫理関連に関する審議支援(13件) (内訳) 臨床倫理事項(2件) 新規医療技術導入(保険未承認:2件、保険適応外:1件、保険適応内:3件) その他(5件)
	新規臨床研究に関する審議支援(83件)
	第6回 生命・医療倫理セミナー(受講者:111名、同DVD上映会:88名)
臨床研究支援	医師主導臨床研究(233件)、 初期研修医卒業研究 (29件)
	データマネージメント・統計解析支援(143件)
	研究デザイン・統計コンサルテーション[外部講師招聘](計24回開催、延べ受講者:119名)
治験支援	国際共同治験(6件)、 国内治験(12件)、 医師主導治験(1件)



① 2022 年度 臨床研究実施状況（医師主導臨床研究）

（2023/3/31 時点）

部署	研究種別	人を対象とする生命科学・医学系 研究に関する倫理指針		臨床研究法 (特定臨床研究)	
		(前向き)	(後向き)		
診療局	アレルギー・ 膠原病内科	当院単独	2	11	
		多施設共同	8	5	3
	血液内科	当院単独		3	
		多施設共同	8	6	7
	呼吸器内科	当院単独			
		多施設共同	5	12	8
	循環器内科	当院単独	1	3	
		多施設共同	18	12	2
	消化器内科	当院単独		5	
		多施設共同	11	13	4
	腎臓内科	当院単独			
		多施設共同	1		
	総合診療内科	当院単独		4	
		多施設共同			
	糖尿病代謝内科	当院単独		3	
		多施設共同	5	2	
	神経内科	当院単独		2	
		多施設共同			
	感染症科	当院単独		1	
		多施設共同		2	
	外科	当院単独		8	
		多施設共同	1	3	
	整形外科	当院単独			
		多施設共同	4	1	
	脳神経外科	当院単独		1	
		多施設共同		1	1
	泌尿器科	当院単独		2	
		多施設共同		5	
	産婦人科	当院単独			
		多施設共同	1		1
	神経精神科	当院単独	1		
		多施設共同		3	
小児科	当院単独		3		
	多施設共同		1		
救急救命科	当院単独		1		
	多施設共同	1	1		
集中治療科	当院単独				
	多施設共同	1			
形成外科	当院単独		2		
	多施設共同				
麻酔科	当院単独	2	3		
	多施設共同		1		
診療局	耳鼻咽喉科	当院単独	1		
		多施設共同			
	皮膚科	当院単独			
		多施設共同	1		
	臨床病理科	当院単独		2	
		多施設共同	1	2	
PET画像診断センター	当院単独		3		
	多施設共同		2		
予防医学研究センター	当院単独		5		
	多施設共同				
(小計)		当院単独	7	62	
		多施設共同	66	72	26
(合計)					233

② 2022 年度 臨床研究セミナー等の開催状況

	講師	演題	区分	開催日	受講者数
第6回 生命・医療倫理セミナー (日本専門医機構認定共通講習)	生命倫理政策研究会・共同代表 橋島 次郎 先生	医療現場における人工知能 利用に関する倫理	倫理領域	2022/11/8	111名 同DVD上映会:88名

③ 2022 年度 治験実施状況一覧 (2022 年 4 月～ 2023 年 3 月)

(2023/3/31時点)

	診療科	対象疾患	Phase	デザイン	実施症例 / 契約症例	備考
1	アレルギー ・膠原病内科	関節リウマチ(継続試験)	Ⅲ	OT	4/4	
2		関節リウマチ	Ⅲ	DBT	0/4	
3		遺伝性血管性浮腫(拡大治験)	Ⅲ	OT	1/1	2022/9/1治験終了
4	循環器内科	心不全	Ⅲ	DBT	3/8	2022/6/12治験終了
5		高リポ蛋白血症	Ⅱ	DBT	6/9	2022/12/21治験終了
6		高リポ蛋白血症	Ⅲ	DBT	8/8	
7		高リポ蛋白血症	Ⅲ	DBT	0/4	
8		末梢動脈疾患		OT	13/15	
9		末梢動脈疾患	Ⅱ	OT	3/5	
10		心筋梗塞再発予防	Ⅲ	DBT	5/10	2022/10/26治験終了
11		EVT止血デバイス	医療機器	SA	12/20	
12	腎臓内科	高リン血症	Ⅲ	DBT	0/6	
13	外科	直腸癌患者	ビポダル	SBT	1/4	
14	泌尿器科	膀胱癌	Ⅱ	OT	1/4	
15		前立腺癌	Ⅲ	DBT	4/5	
16		前立腺癌	Ⅳ	DBT	1/1	
17	形成外科	皮膚潰瘍	Ⅲ	DBT	0/1	2022/10/26治験終了
18	PET画像 診断センター	冠動脈造影検査	Ⅲ	DBT	0/10	
(計) 7診療科、18治験						

OT: 非盲検試験

SBT: 単盲検試験

DBT: 二重盲検比較試験

SA: シングルアーム試験



附属施設・併設施設



●旭中央病院附属飯岡診療所（2022年度）

2022年度総受診者数は3,740人（2021年度3,960人）、1日平均25.1人（2021年度27.3人）と前年度からやや減少傾向にある。

2022年度は火曜日、水曜日、金曜日の週3回午前だけの診療を行っている。

元々高齢の患者さんが多かったが、当診療所への通院が困難で、在宅診療をご希望される患者さんが増加傾向にあり、当院でも訪問診療を今後検討する必要があるのではないかと感じる。

●旭中央病院附属病理診断科診療所（2022年度）

2021年6月の診療所開所時には常勤病理専門医一名体制であったが、その後、2022年10月からは本院より常勤病理専門医一名が週一日当診療所勤務として加わり、更に2023年3月からは非常勤病理専門医一名が週一日当診療所勤務を開始した。2023年4月からは更に非常勤病理専門医が二名となる。

また、2022年度には診療所常勤病理専門医が、日本専門医機構病理専門医資格更新、日本臨床細胞学会細胞診専門医資格更新、及び日本病理学会分子病理専門医資格を更新した。

インターネットVPN回線を用いた遠隔デジタル病理診断システムは順調に稼働しており、当診療所は地方独立行政法人が開設した病理診断科診療所第一号として、引き続き日本全国に活動を発信していく。

また、本年度は病理診断科と共に放射線科の先生方とも診療所の共同利用を進めており、今後も協力体制を進めていく予定である。

表1. 月別病理診断報告数

2022年	4月	99
	5月	81
	6月	113
	7月	105
	8月	110
	9月	114
	10月	96
	11月	106
	12月	97
2023年	1月	75
	2月	89
	3月	123
	計	1208

表2. 病理診断臓器別割合

2022年4月～2023年3月	
胃	14.8%
十二指腸	1.2%
回腸	0.8%
大腸	54.8%
頭頸部	0.5%
食道	2.3%
婦人科	22.9%
泌尿器	2.1%
その他	0.6%

●旭中央病院附属看護専門学校（2022年度）

高等学校卒業生の減少と相まって受験生の確保が最重要課題になっています。そして当地域は少子化の波が特に厳しくなっています。今後、受験生人口が持続的に減少する中、志願者数をどれだけ確保できるかは学校の存在意義に直結し、旭中央病院の看護師確保にいかに関与できるかが問われるところになります。2022年度の看護師国家試験は合格率100%、卒業生49名が旭中央病院に就職しました。

2022年度からは、少子高齢社会における適切な医療・看護のあり方を反映した新しいカリキュラムでの教育が開始されました。臨床判断、多職種連携など地域包括ケアシステムを重視した内容となっています。

2022年度の卒業生は入学時から新型コロナウイルス感染症の影響でマスクによる生活でした。よって入学式をはじめとした式典は全て縮小開催となり、保護者の出席は叶いませんでした。しかし、卒業式は保護者とともに清々しい笑顔で卒業式を迎えることができました。

I 年間行事

月	全体行事	月	全体行事
4	8日(金) 始業 12日(火) 入学前オリエンテーション 13日(水) 入学式 ※縮小開催 14日(木) 入学後オリエンテーション 15日(金) 入学後オリエンテーション 21日(木) 22日(金) 3年生ケースレポート発表会	10	15日(土) 推薦社会人入試 31日(月) 継灯式 ※縮小開催
5	5月9日(月)～7月15日(金) 臨地実習(3年生) 26日(木) 学校運営会議	11	7日(月)～14日(月) 基礎実習Ⅱ 15日(火)～25日(金) 健康の回復に向けた日常生活支援実習 18日(金) 千葉県看護学生研究発表会 Web開催 28日(月)～12月12日(月) 統合実習(3年生)
6	22日(水) 高校教員対象学校説明会 25日(土) ホームカミングデイ	12	14日(水) 終業
7	19日(火)～22日(金) 看護を知る実習 23日(土) オープンキャンパス ※Web開催 25日(月) 終業	1	6日(金) 始業 11日(水)～2月14日(火) 臨地実習(2年生) 12日(木) 18日(水) 職員採用試験 13日(金) 14日(土) 一次入試
8	20日(土) オープンキャンパス ※Web開催 25日(木) 始業 30日(火) 全校避難訓練	2	17日(金) 18日(土) 二次入試 5日(日) 准看護師試験 12日(日) 第112回看護師国家試験 会場：東京 20日(月) 21日(火) 就職オリエンテーション
9	9月1日(木)～11月1日(火) 臨地実習(3年生) 17日(土) オープンキャンパス ※Web開催	3	7日(火) 卒業式 14日(火) 修了式 24日(金) 第112回看護師国家試験 合格発表

II 2022年度実施 (2023年 入学者選抜試験)

57名入学

	社会人選考	指定校推薦	公募制推薦	一般一次	一般二次
試験日	10月15日 筆記・面接	10月15日 筆記・面接		1月13日 筆記 14日 面接	2月17日 筆記 18日 面接
志願者数	19	33	12	44	17
受験者数	19	33	12	39	13
合格者数	5	23	7	20	6
入学者数	5	23	7	17	5

III 2022年度 学生在籍状況

4月在籍162名→3月末在籍157名

	在籍数 4月	在籍数 3月末	2022年度退学数
1年生 60	57	54	3
2年生 59	50	50	0
3年生 58	55	53	2

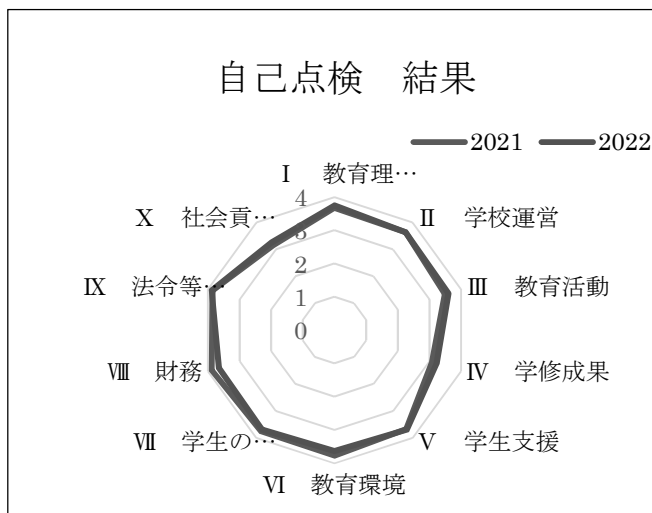
IV 学校自己点検・評価結果（2022年度）

評価は4段階とし、4 適切、3 ほぼ適切、2 やや不適切、1 不適切の評価となります。

評価結果

3.5以下太字

評価 大項目	2021	2022
I 教育理念・目的	3.68	3.75
II 学校運営	3.64	3.64
III 教育活動	3.49	3.60
IV 学修成果	3.08	3.23
V 学生支援	3.67	3.70
VI 教育環境	3.77	3.63
VII 学生の募集と受け入れ	3.75	3.70
VIII 財務	3.88	3.65
IX 法令等の順守	3.86	3.88
X 社会貢献・地域貢献	3.15	3.25



V 学校関係者評価（2022年度）

1. 日 時 2023年3月28日（火） 14:00～15:10
2. 場 所 旭中央病院附属看護専門学校 会議室
3. 出席者

1) 評価委員：5名

① 関連業界等関係者

葛見 浩 : 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 総務人事課長

伊藤由紀恵 : 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 看護局長

② 卒業生

林 恭子 : 旭中央病院附属看護専門学校 同窓会長

③ 教育に関し知見を有する者

鈴木 志敏 : 旭中央病院附属看護専門学校 教育学講師

④ 在学生

若松 咲奈 : 旭中央病院附属看護専門学校 自治会代表

4. 2022年度 学校関係者評価結果

※評価は4段階（適切、ほぼ適切、やや不適切、不適）

1. 教育理念・目的

I	評価項目	全体評価結果
教育理念・目的	1 教育理念・目的・育成人材像は、定められているか	適切：3 ほぼ適切：7
	2 学校における看護教育の特色は明確であるか	
	3 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	
	4 学校の理念・目的・育成人材像・特色などが、学生・保護者・に周知されているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・学生に対して更に理念の浸透に努力してください。 ・学校の将来構想が描けると具体的な取り組み、行動化に繋がると思う。 ・人口減少に伴い、求められる未来像を予測した人勢育成が課題となっていく。 ・令和5年度に病院の中期計画を策定する。次期中期計画も踏まえた学校の将来構想も考えて頂きたい。 ・教育理念を一人一人の先生方が授業や学生の学びに具体化することが大切である。常にそのイメージをもつことが重要。 	

2. 学校運営

	評価項目	全体評価結果
II 学校運営	5 目的等に沿った運営方針が策定されているか	適切：10
	6 理念等を達成するための事業計画が策定されているか	
	7 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか、有効に機能しているか	
	8 人事、給与に関する規定等は整備されているか	
	9 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	
	10 教育活動等に関する情報公開が適正にされているか	
	11 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの充実が課題。双方向のコミュニケーションのあり方検討が求められる。 ・業務の効率化のためのマニュアルの見直し、スリム化を図る必要がある。 ・マニュアル整備がされると業務の分配も可能になると考える。 ・評価項目11は改善点や課題も見えてきている。 ・学生情報等管理システムのサポートが終了となるため、新しいシステムの導入が必要。 ・教育活動に関する情報公開は学生募集にもつながると思われるので積極的な情報公開をお願いしたい。 ・うまく活用されていない業務マニュアルについては、活用されるような見直しが必要と思われる。 ・始業前でも業務であるならば、なんらかの措置をとるべきである。 ・業務の効率化は今後も改善を継続すべき課題であろう。 	

3. 教育活動

	評価項目	全体評価結果
III 教育活動	12 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	適切：1 ほぼ適切：9
	13 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	
	14 カリキュラムは体系的に編成されているか	
	15 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	
	16 授業評価の実施・評価体制はあるか	
	17 成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	
	18 目標とする資格・免許取得の指導体制はあるか	
	19 資格・要件を備えた教員を確保しているか	
	20 関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取り組みがおこなわれているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・教員による指導の差があるのではないか ・永年の課題であるが、教員の充足とレベルアップを期待する。 ・教育到達レベルや単位はシラバスに明記されていると思う。しかし、実際の学習時間の確保、その為の取り組みを明確にした方がよい。 ・教員の指導力向上に向けた取り組みが、学生の学習環境改善につながるため自己研鑽に努めてほしい。 ・学生の視点に立ち相互理解が図れるとよい。 ・教員資格をもっていない看護師に同じように求めるのはハードルが高い。興味をもって異動してくる看護師が引き続き教員として務められるよう指導方法等、工夫してほしい。 ・研究授業や研修の充実により指導力の育成を図っているが、更なる指導力向上をねらうことが大事である。 	

4. 学修成果

	評価項目	全体評価結果
IV 学修成果	21 就職率の向上が図られているか	適切：1 ほぼ適切：8 やや不適切：1
	22 資格取得率の向上が図られているか	
	23 退学率の低減が図られているか	
	24 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・退学者の減少については引き続き取り組むことを願いたい。 ・教員の努力不足だけではないが留年率、退学率の低減は重要課題。 ・学習支援の強化を図っていく。 ・就職率は100%ということであれば就職率向上という目標での評価が難しいので評価項目の見直しが必要ではないか。 ・退学理由の分析をぜひ願いたい。 ・留年しても6年まで在籍は可能であるが、看護師としての適性を見極め、早急に結論を出すことも学生のためである。最近、看護師の仕事ができない方も増えており勤務病棟にとっては負担である。 	

5. 学生支援

	評価項目	全体評価結果
V 学生支援	25 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	適切：3 ほぼ適切：7
	26 学生相談に関する体制は整備されているか	
	27 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	
	28 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	
	29 学生住宅の設置など生活環境の支援は行われているか	
	30 保護者と適切に連携しているか	
	31 卒業生への支援体制はあるか	
	32 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	
	33 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・学生のしおりに記載され説明も受けてはいるが、学校カウンセラーの存在を認知している学生は少ない。 ・卒業生が職場への適応が円滑でない場合には、看護局との連携・情報共有があるとよい。 ・再試験、再実習者を減少させるための日々の関わりを指導者側である程度統一をした方がよい。学生が主体的に取り組める環境作りをしていく。学生個々の特性を理解する。 ・18歳で成人を迎えるが、社会人育成としての機能も担う役割がある。必然的に保護者の立ち位置も支援者であることに変わりはないため、人的環境として整備していくことが学生支援に繋がっていくといえる。 ・教員のガイダンス参加もあり高校のニーズに応えることができていると思われる。 ・今後も学生の意見を取り入れながら対応を願いたい。 ・会議の中の意見で外部実習の交通費の不公平感などがあがったが、他校では遠方へ実習に行くケースも多い。またアパートを借りての実習もある。車の使用は禁止されており、公共交通機関の利用が原則であることを考えるとだいぶ考えが甘いと感じた。またコンビニの自販機の件も近くにコンビニやスーパーもあるので必要はないと思われる。 ・ハラスメントの研修を実施した方がよい（実施しているのであればOK） 	

6. 教育環境

VI	評価項目	全体評価結果
教育環境	34 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	適切：3 ほぼ適切：7
	35 学外の実習施設、研修等について十分な教育体制を整備しているか	
	36 防災に対する体制は整備されているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニの自販機を置くなど学生の昼食をとる環境の充実を図ってほしい。 ・教育環境は整備されている。しかし、学生からの要望もあると思うので話せる機会が必要と感じる。 ・評価項目35で交通費の意見が出たが、外部実習の交通費は妥当、適切な方法で対応していけるとよい。 ・時代のニーズに合わせて整備していけるとよい。 ・今後も学生の意見を取り入れながら対応をお願いしたい。 	

7. 学生の募集と受け入れ

VII	評価項目	全体評価結果
学生募集と受け入れ	37 学生募集活動は、適正に行われているか	適切：4 ほぼ適：6
	38 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	
	39 入学選考基準も明確化し、適正に運用しているか	
	40 学納金は妥当なものとなっているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・特にこの地域で少子化が急速に進行しているので学校全体で将来像を議論する機会をもちたい。 ・今年度も感染予防をふまえた募集活動であったため難しかったと思う。Web開催や公募推薦を導入するなど取り組みはされている。 ・少子化に伴い更なる発信も求められる。 ・コロナも5類となることから学生募集活動についても、以前のようなオープンキャンパス実施するのか検討してほしい。 	

8. 財務

VIII	評価項目	全体評価結果
財務	41 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	適切：6 ほぼ適切：4
	42 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	
	43 財務について適正に執行管理が行われているか	
	44 財務情報公開の体制整備はできているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・財務基盤は安定しており、執行管理も適正である。 ・予算・決算について、病院経理課とヒヤリングを行い、決定しています。 ・財務情報は公開されていないが、行政の監査で適切な判断されている。 	

9. 法令等の順守

	評価項目	全体評価結果
IX 法令等の順守	45 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がなされているか	適切：8 ほぼ適切：2
	46 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	
	47 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	
	48 自己評価結果を公表しているか	
	49 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	
	50 学校関係者評価結果を公表しているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・学生に対して個人情報保護の重要性教育をお願いします。 ・在校生も交えて学校評価を行っている。 ・今後 i p a d 使用による個人情報の取り扱いについて問題がないか検討していく必要がある。 	

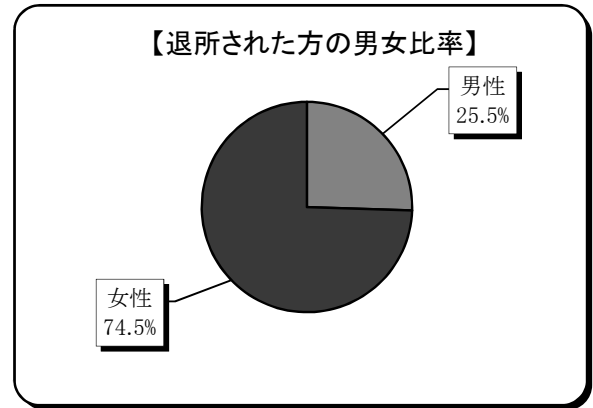
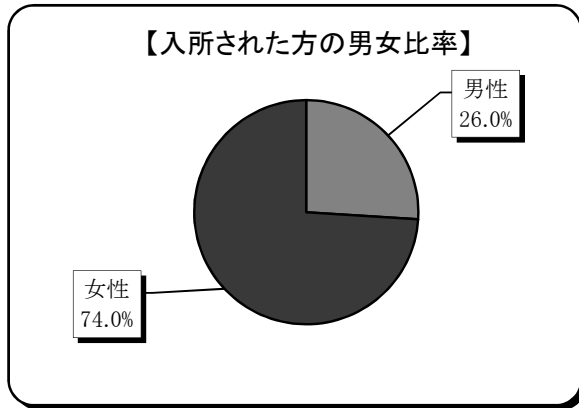
10. 社会貢献・地域貢献

	評価項目	全体評価結果
X 社会貢献・地域貢献	51 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	適切：1 ほぼ適切：9
	52 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響や学業もあるためやむを得ない面もあると思われます。 ・コロナ感染に伴う社会の動きが未だ不安定なので評価が困難。安定した社会に戻った時の貢献のあり方を議論していくことが必要。 ・今後は更なる地域との交流が求められる。 ・コロナ後の学校の地域貢献について検討を進めてほしい。 ・コロナが落ち着いてくれば社会貢献の動きも戻ってくるはずである。 	

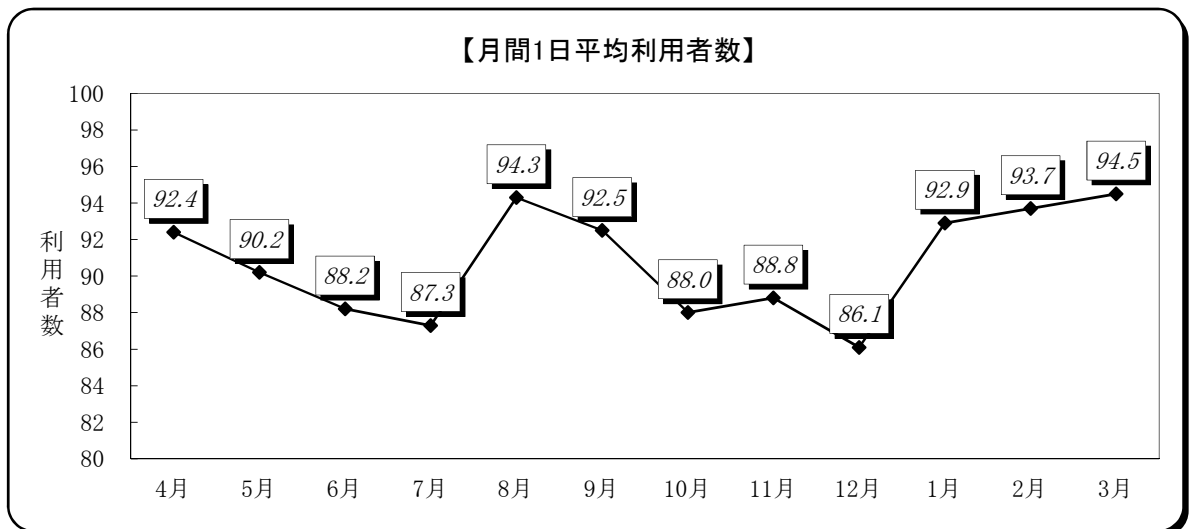
●介護老人保健施設シルバーケアセンター（2022年度）

1.『介護老人保健施設』『短期入所療養介護』の利用状況

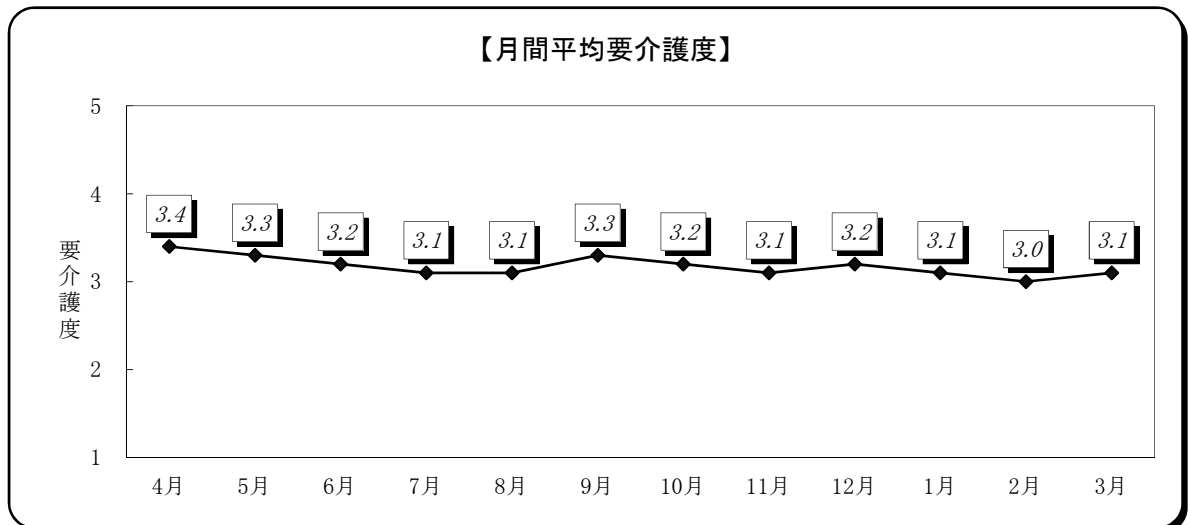
【入所された人数】男性76名 女性216名 合計292名 【退所された人数】男性75名 女性219名 合計294名



【年度内1日平均在所者数】90.7名

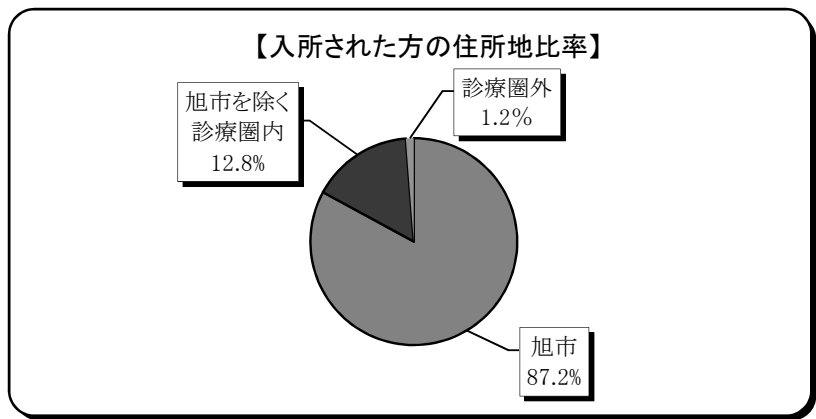


【老健年度内平均要介護度】3.18



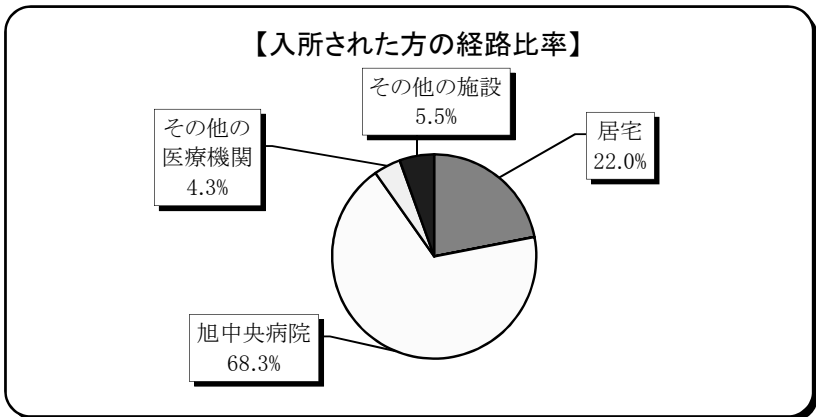
【老健入所された方の住所地】

旭市 136名
旭市を除く診療圏内 26名
診療圏外 2名



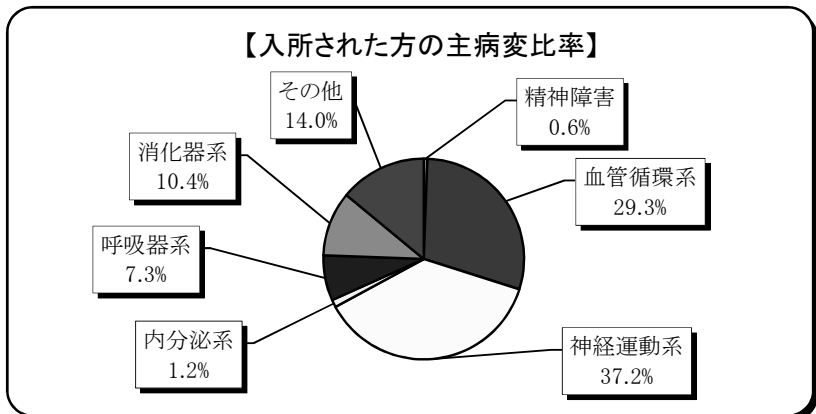
【老健入所された方の経路】

家庭 36名
介護保険施設 0名
旭中央病院 112名
その他の医療機関 7名
その他の施設 9名



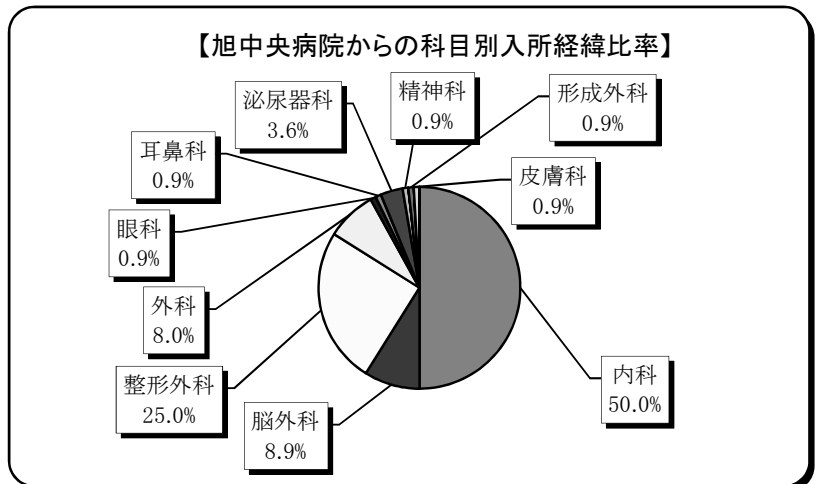
【老健入所された方の主病変】

精神障害系 1名
血管循環系 48名
神経運動系 61名
内分泌系 2名
呼吸器系 12名
消化器系 17名
その他 23名
上記の内特定疾病(2号被保険者) 2名
【2号被保険者=40歳以上65歳未満の利用者】



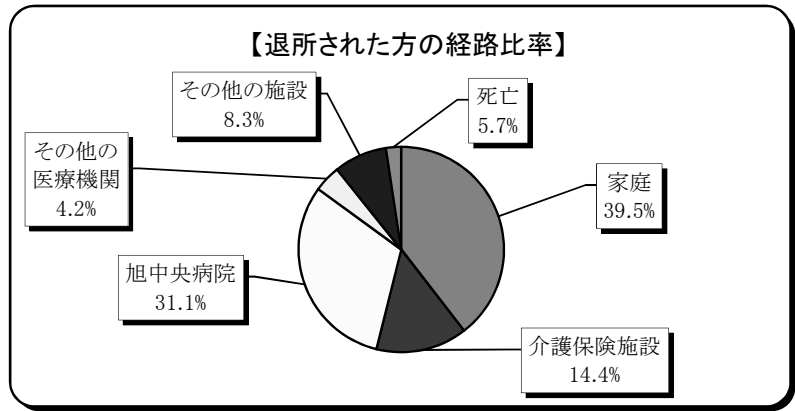
【旭中央病院からの科目別老健入所経緯】

内科 56名
脳外科 10名
整形外科 28名
外科 9名
眼科 1名
耳鼻科 1名
泌尿器科 4名
精神科 1名
心臓外科 0名
形成外科 1名
麻酔科 0名
皮膚科 1名
婦人科 0名

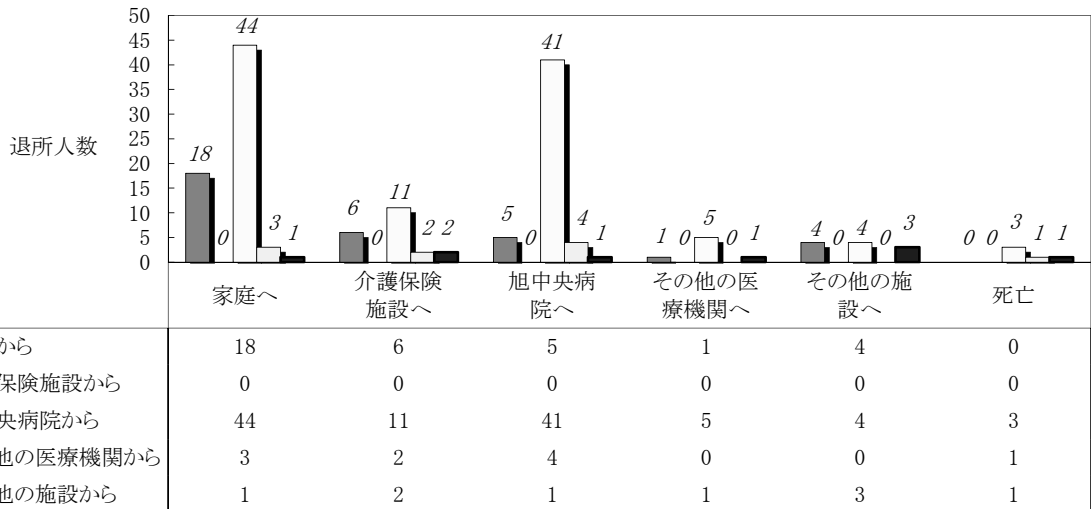


【老健から退所された方の経路】

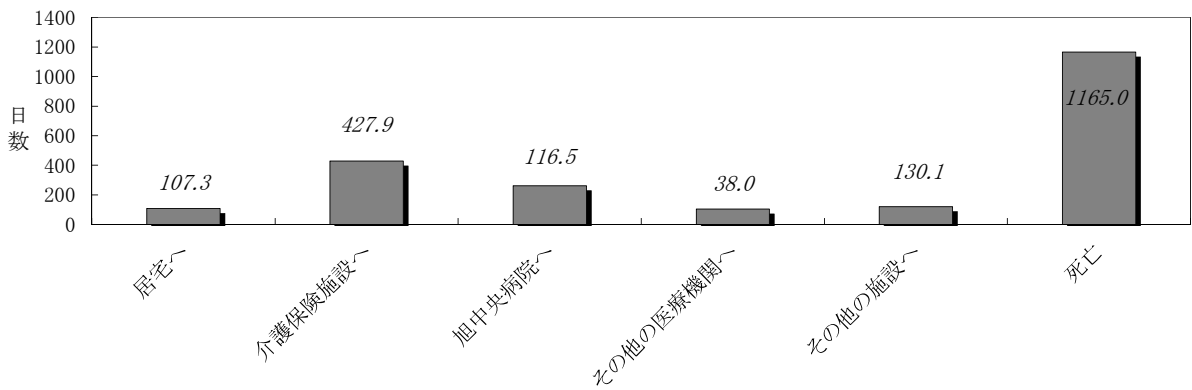
家庭 66名
 介護保険施設 24名
 旭中央病医院 52名
 その他の医療機関 7名
 その他の施設 14名
 死亡 4名



【老健から退所された方の入所経緯別人数】

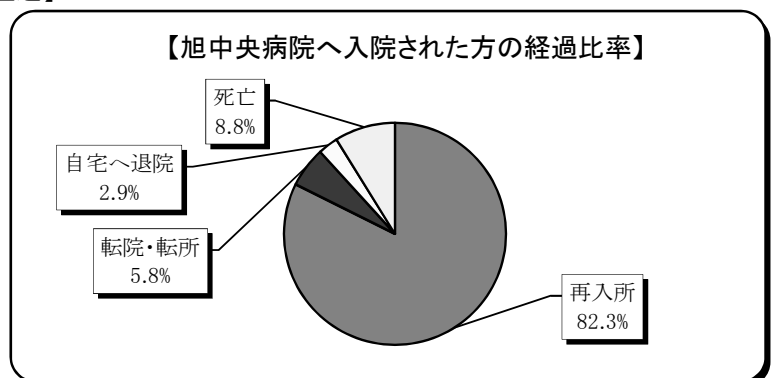


【退所経緯別平均在所日数】 全退所者平均在所日数227.5日(7.5ヶ月)



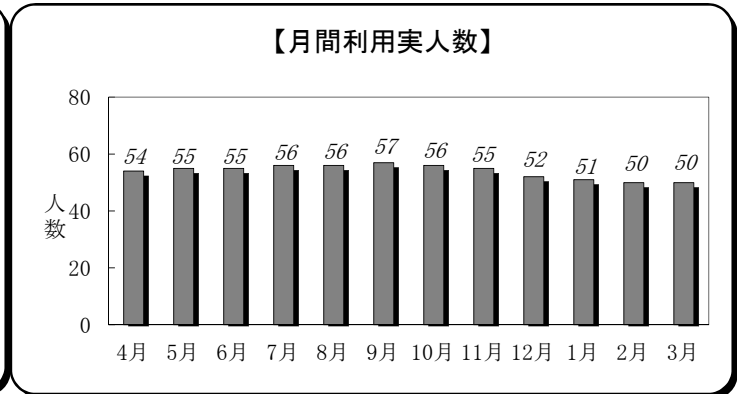
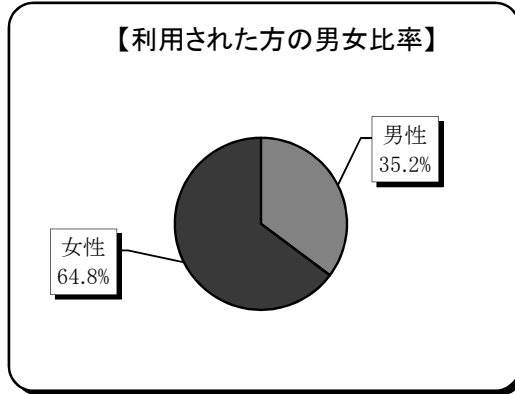
【老健から旭中央病院へ入院された方の経過】

当施設へ再入所 28名
 他の医療機関・施設へ転院・転所 2名
 自宅へ退院 1名
 死亡 3名

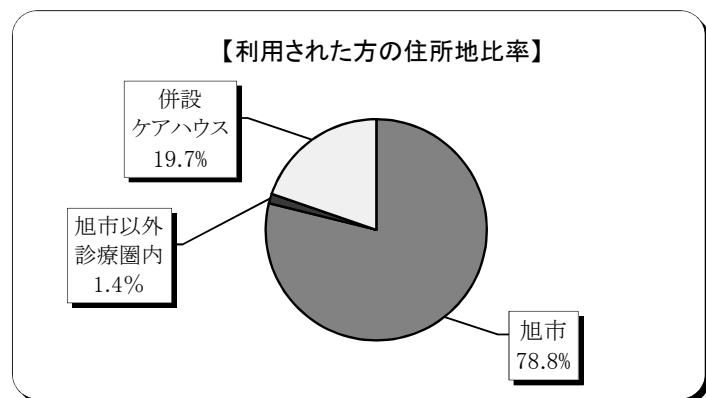


2.『通所リハビリテーション』の利用状況

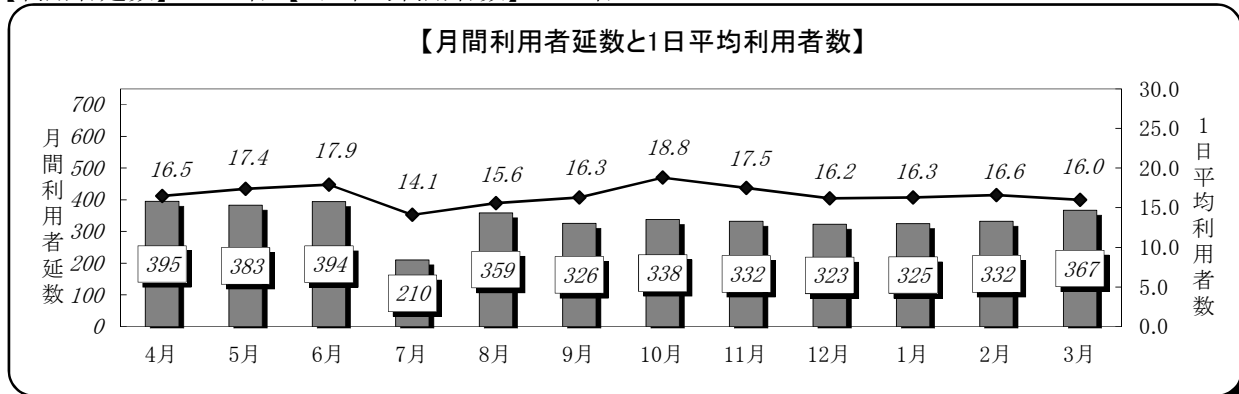
【利用された実人数】男性 25名 女性 46名 合計 71名



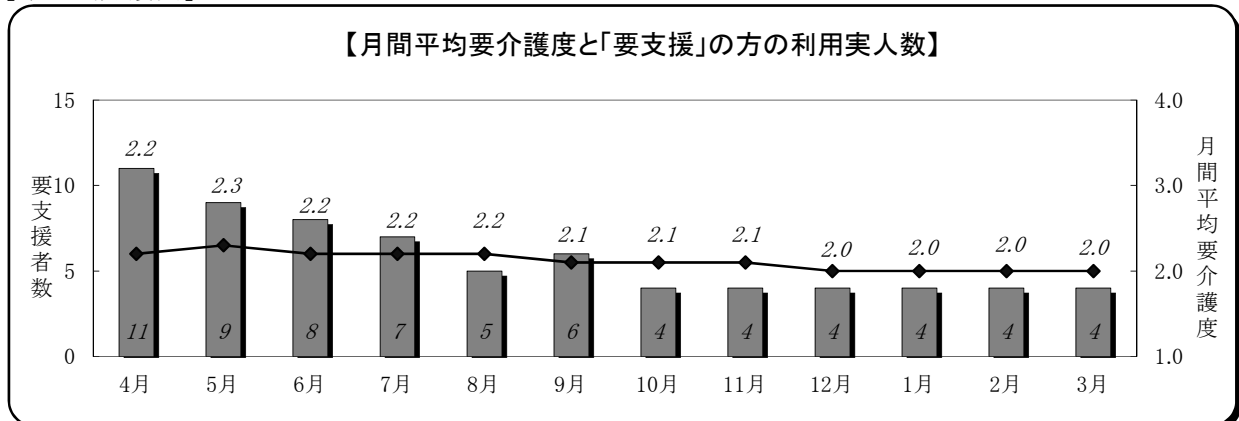
【利用された方の住所地】
 旭市 56名
 旭市を除く診療圏内 1名
 診療圏外 0名
 併設ケアハウス 14名



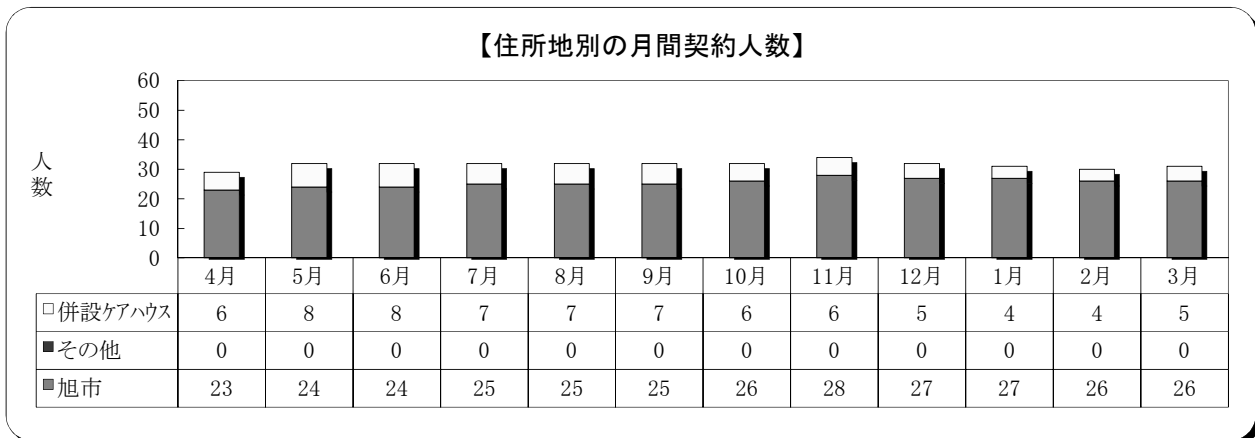
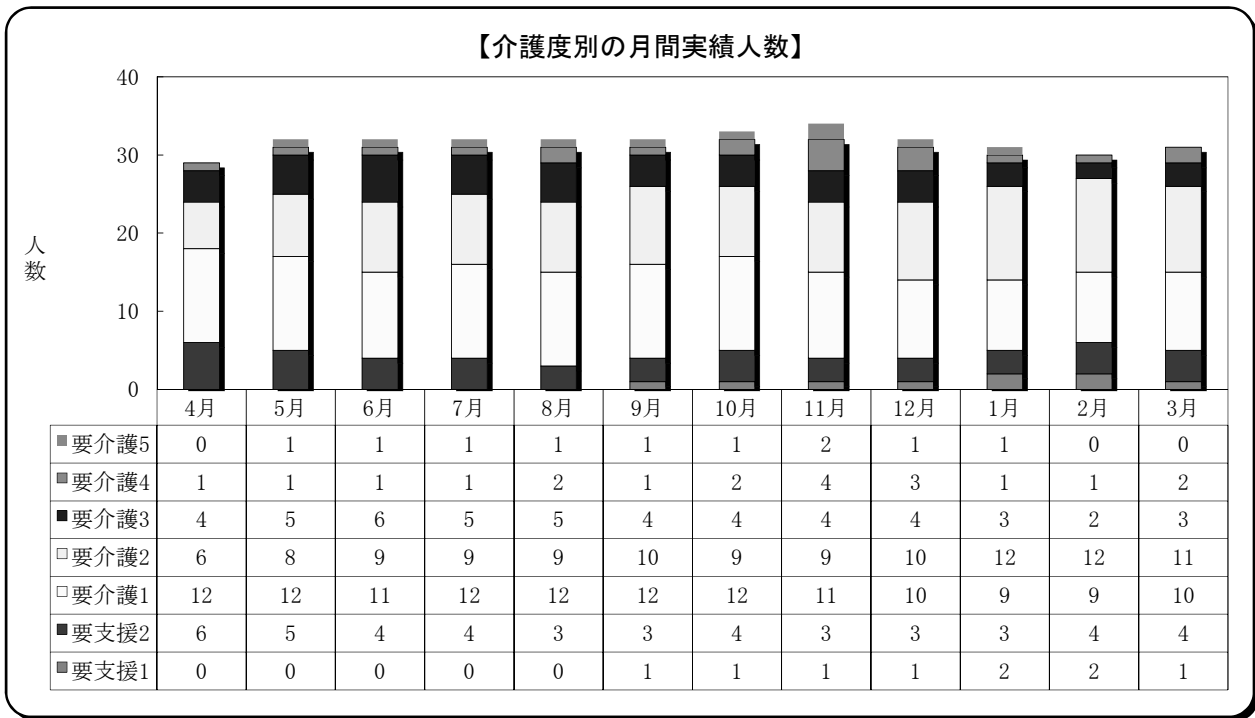
【利用者延数】 4084名 【1日平均利用者数】 16.6名



【平均要介護度】 2.1



3.『居宅介護支援』の利用状況



〈集計注釈〉

- ①『介護老人保健施設』と『短期入所療養介護』における「利用人数」については、1人の方が複数回利用された場合はその回数で集計した。
- ②『通所リハビリテーション』における「利用された方の住所地」については、ケアハウスが併設であるため、その特殊性からケアハウスからの利用については単独で集計した。その他、実際の住所地と現在生活している場所の住所地が異なる方は、現在生活している住所地より集計した。
- ③『介護予防短期入所療養介護』と『介護予防通所リハビリテーション』の実績についてはそれぞれ『短期入所療養介護』と『通所リハビリテーション』へ包括した。
- ④「要介護度」については各月末時点での要介護度で集計した。

● 養護老人ホーム東総園・特別養護老人ホーム東総園（2022年度）

養護老人ホーム東総園は2022年6月末で特定施設入居者生活介護事業を廃止した。そして、入所者全員の転出を終え、11月30日をもって廃止となった。

■ 主な行事及びクラブ活動

① 季節毎の行事

	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム
春	ひな祭り	
夏	お盆法要 納涼会	
秋	敬老会(敬老の祝い)	
冬	廃止：2022年11月30日	クリスマス会 新年会 節分

② クラブ活動

養護老人ホーム	特別養護老人ホーム
習字 華道 手芸	習字 生け花 手芸

■ 特養事業状況

① 職員の状況 (2023年3月31日現在)

職種	特 養
施設長	1
事務長	1
生活相談員 (社会福祉士)	2 (2)
事務職員	2
看護職員	5
介護職員 (介護福祉士)	29 (27)
管理栄養士	2
嘱託医	2
その他	4
計	48

② 保険者 措置実施機関別利用者数 (2023年3月31日現在)

保険者名 措置実施機関	特 養			前年度
	男	女	計	
旭市	3	7	10	38
神栖市	0	1	1	1
合計	3	8	11	39

③ 年齢構成 (2023年3月31日現在)

年齢別	特 養		
	男	女	計
64以下	0	0	0
65～69	0	0	0
70～74	1	1	2
75～79	0	0	0
80～84	0	2	2
85～89	0	3	3
90～94	0	2	2
95～	2	0	2
計	3	8	11
平均年齢	87.0	85.8	86.18
前年平均年齢	83.7	87.1	86.43

④ 月別要介護認定状況 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
養護	3.2	3.2	2.6	2.0	3.0	3.0	0	0	廃止				
特養	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.7	3.6	3.6	3.8	3.8	4.0	3.7

⑤ 入退所状況 (2022年4月1日～2023年3月31日)

入 所 経 路			退 所 経 路					
在宅から		養 護		特 養		養 護		特 養
	独 居				入院先での逝去			3
	同 居			1	園内での逝去			4
	グループホーム				他の施設へ	22		17
	ケアハウス				自宅(家族)復帰	1		
					社会復帰			
					病院			5
他の施設から	養護		1					
	特養							
	老健							
	病院							
合 計			0	2		23	29	

■ 在宅支援事業状況（2022年4月1日～養護2022年6月30日：特養2023年3月31日）

① 短期入所生活介護

事業規模

	養 護	特 養
専用ベッド数	6床	2床
1日当たりの平均利用数	0人	0.05人
利用率 延べ利用者数／専用ベッド数×365日	0%	2.6%

利用状況

	利用人数	延べ日数	月平均利用日数
特 養	5	19	1.6日
養護（基準該当）	0	0	0日
生活管理（旭市）	0	0	0日

② 居宅介護支援（介護予防含む）

年間延べ人数	月平均人数
1,180	98.3

●ケアハウス東総園（2022年度）

1.入退居状況

	退 居		退居後	入 居		入居前（居住地）
2022年 4月	1名	女：88歳	家族と同居	1名	女：88歳	自宅（旭市）
5月	1名	女：105歳	シルバーケアセンターへ入所	1名	女：80歳	シルバーケアセンター（銚子市）
7月	1名	男：78歳	アパート	1名	女：89歳	泉リハビリテーション病院（旭市）
8月	1名	女：93歳	シルバーケアセンターへ入所 （のち、死去）	1名	男：88歳	自宅（東庄町）
9月	1名	女：96歳	シルバーケアセンターへ入所	1名	女：80歳	自宅（銚子市）
10月	1名	女：95歳	入院先にて死去	1名	男：91歳	自宅
11月	1名	女：96歳	シルバーケアセンターへ入所	1名	男：97歳	自宅（香取市）
12月	1名	女：100歳	シルバーケアセンターへ入所	1名	女：74歳	自宅（千葉市）
2023年 2月	1名	女：84歳 （死去）	シルバーケアセンターへ入所 （のち、死去）	1名	女：95歳	自宅（旭市）
3月	1名	女：96歳	シルバーケアセンターへ入所	1名	女：81歳	自宅（香取市）
計	10名 （男1名・女9名）			10名 （男3名・女7名）		

2. 入院・入所状況 延べ 16名（2022年4月1日～2023年3月31日）

	病名	入院・入所先
女性	腰椎圧迫骨折	シルバーケアセンター
女性	脳梗塞の疑い	シルバーケアセンター
女性	気管支炎の増悪	シルバーケアセンター
女性	直腸脱	9階東病棟
女性	視力低下によるADL低下	シルバーケアセンター
女性	右上腕骨近位部骨折	シルバーケアセンター
女性	新型コロナウイルス感染症	6階東病棟
女性	感染症罹患によるADL低下	シルバーケアセンター
女性	腰椎圧迫骨折によるADL低下	シルバーケアセンター
女性	椎体圧迫骨折	シルバーケアセンター
女性	脳梗塞	8階西病棟
男性	脳梗塞	8階西病棟
男性	憩室出血	10階東病棟
男性	閉塞性動脈硬化症	救命救急センター
男性	閉塞性動脈硬化症	シルバーケアセンター
女性	転倒によるADL低下	シルバーケアセンター

3. 介護度別要介護認定者（2023年3月31日現在・総入居者数40名）

要支援1	4名
要支援2	4名
要介護1	13名
要介護2	6名
要介護3	0名
要介護4	2名
要介護5	0名
合 計	29名

4. 市町村別入居状況（2023年3月31日現在）

市町村名等	入居者数
旭市	25名
匝瑳市	1名
銚子市	3名
その他（県内）	8名
その他（県外）	3名
合計	40名

5. 年齢別・男女別入居者数（2023年3月31日現在）

	55～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	計
男	0	1	0	1	3	4	5	14
女	0	0	0	3	6	8	9	26
計	0	1	0	4	9	12	14	40

	男	女	全体
平均年齢	85.5	87.5	86.8

6. 令和4年度実施行事

2022年4月	ケアハウス パワーアップの日（食事会） 午後のお茶会（しし座）	午後のお茶会（おひつじ座）	卯月のごはん
5月	行楽弁当の日（食事会） 皐月のごはん	午後のお茶会（ふたご座）	午後のお茶会（おうし座）
6月	午後のお茶会（りょうけん座） ピクニックの日（食事会）	水無月のごはん	午後のお茶会（うしかい座）
7月	文月のごはん（七夕） 午後のお茶会（へびつかい座）	午後のお茶会（かに座）	避難訓練（火災想定）
8月	葉月のごはん（納涼会）	縁日ゲーム大会	午後のお茶会（花火）
9月	午後のお茶会（おとめ座）	長月のごはん（敬老会）	開園記念の会（食事会）
10月	午後のお茶会（てんびん座） 健康チェック（1回目）	ふかし芋の会	神無月のごはん 午後のお茶会（ハロウィン）
11月	健康チェック（1回目） 避難訓練（大地震想定）	午後のお茶会（さそり座）	霜月のごはん（食事会） 運動会
12月	午後のお茶会（カシオペヤ座） 年越しそばの日（食事会）	忘年会（食事会） 年越しゲーム大会	ビンゴゲーム大会 クリスマス会
2023年1月	新年会（食事会）	新年ゲーム大会	睦月のごはん 午後のお茶会（みずがめ座）
2月	如月のごはん（食事会） おでんの日（食事会）	午後のお茶会（オリオン座）	午後のお茶会（うお座）
3月	健康チェック（2回目） 午後のお茶会（やまねこ座）	弥生のごはん（ひな祭り） ありがとうの日（食事会）	非常食の日

7. クラブ活動（2023年3月現在）

ラジオ体操
ピアダンス（ボランティア講師）
編み物（ボランティア講師）
フットバス&看護相談の日

8. その他

2022年度は新型コロナウイルス感染症に対する国の方針を受け、当園においても、入居者がご家族や友人と触れ合える機会を持てるよう、外出制限や面会制限の緩和を行った。同時に、日々の健康観察や新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底し、入居者の体調変化に留意しつつ、園内イベント等を実施してきた。入居者は日々のラジオ体操の他、ピアダンスや編み物などのクラブ活動を楽しみにされている。

入居者の高齢化が進み、2022年3月末の時点で、入居者の平均年齢は86.8歳となっており、要介護認定者（要支援～要介護まで）が全体の75%を占めている。単独での外出が困難な入居者も増えており、日々の生活の楽しみの一つとなるよう行事食やお茶会に工夫を凝らしながら実施している。

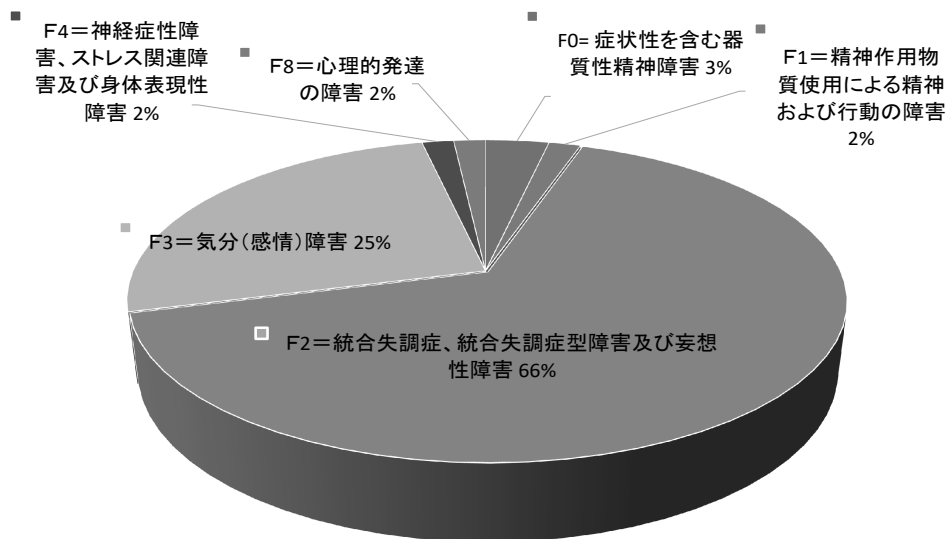
入居調整については、地域とのつながりを大切にし、併設のシルバーケアセンターとの連携を深めながら、積極的な受け入れを行ってきた。今後も入居者に合わせた生活援助と支援を行っていききたい。

●訪問看護ステーション 旭こころとくらしのケアセンター（AKK）（2022年度）

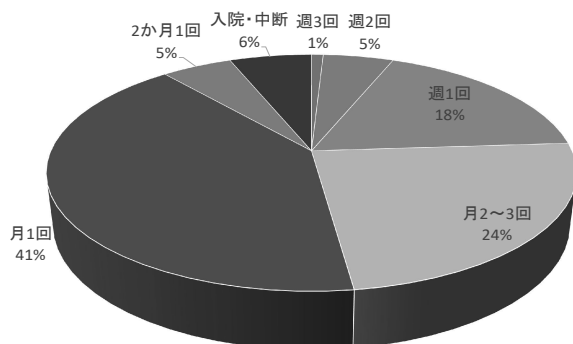
年度別実績

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
登録者数(平均)	140	132.2	127	117.8	117.4
看護師数(常勤換算)	5.5	5.5	5	3.5	5.1
訪問者数	1,529	1,452	1,324	1,204	1,190
新規受け入れ	17	8	8	4	12
終了	17	19	14	8	13
訪問件数(コストなし含む)	5,245	4,733	4,062	3,285	3,786
精神科基本療養費算定件数	4,787	4,362	3,741	2,997	3,012
複数名訪問加算算定件数	44	79	88	125	538
24時間対応体制算定数	1,529	1,452	1,324	1,113	1,190
夜間休日電話対応件数		1,164	1,164	1,084	1,536

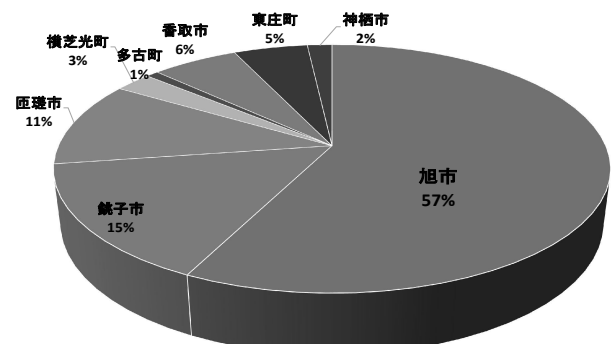
利用者の疾患分類 2022年6月1日 n=117



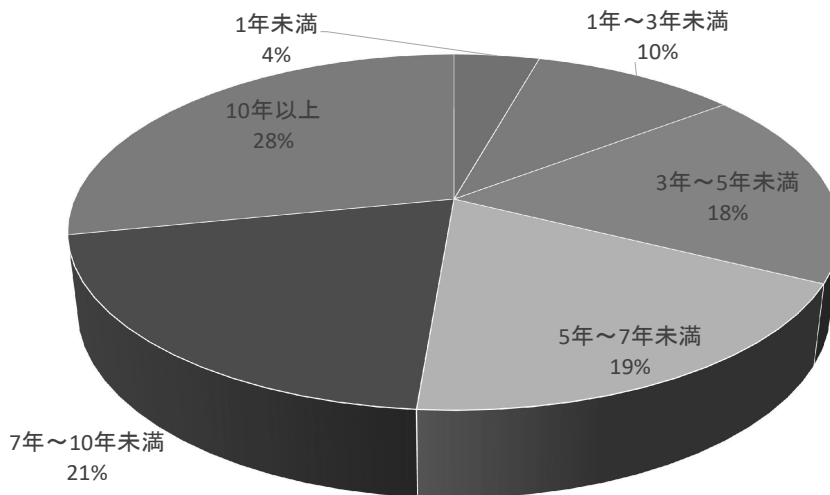
訪問頻度 (2022年6月1日) n=117



訪問地域 (2022年6月1日現在) n=117



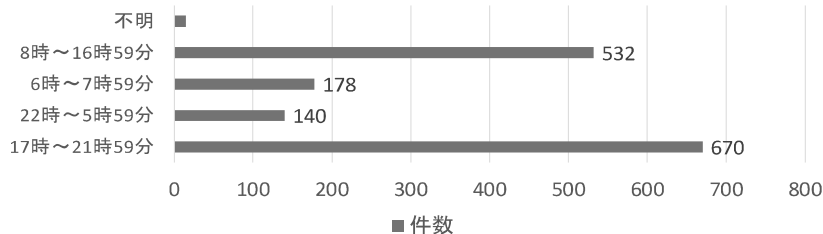
訪問看護利用期間（2022年6月1日現在） n=117



24時間対応体制（2018～2022年度）

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年
算定件数	1529件	1452件	1324件	1204件	1190件
電話件数		1164件	1164件	1084件	1536件
算定料金（全収入に対する比率）	(16.9%)	(17.7%)	(18.1%)	(19.5%)	(18.4%)
看護師1名当たりの待機の回数(月) ※②	6.6回	6.6回	7.2回	10回	8回～12回

2022年度電話件数



設立から13年目の2022年10月を迎えたAKKは、2021年度の看護師不足による影響を受け、人員削減と受け入れ件数の減少に直面しました。しかし、2022年度には看護師の増員により6名体制に回復し、新規受入訪問件数も正常化しました。

2023年度では、母体病院や関連施設との連携を強化し、情報や支援体制を円滑に共有し、継続的なケアを提供する体制を確立することを目指します。さらに、安全対策を一層強化するために、複数名での訪問看護を積極的に導入します。チームワークの向上を図り、訪問看護の質を向上させることを目標に掲げます。

これらの取り組みにより、AKKはより信頼性の高いケアを提供し、利用者のニーズに適切に応えることを目指します。引き続き、地域の精神科医療・精神保健福祉に貢献するために努力し、さらなる発展を目指しています。

文責 河口 成富

旭中央病院年報 2022

第22号

2023年12月20日 発行

発行所 地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院

千葉県旭市イ 1326 番地

<https://www.hospital.asahi.chiba.jp/>

発行者 吉田 象二

印刷所 株式会社 博愛社
